SHARP

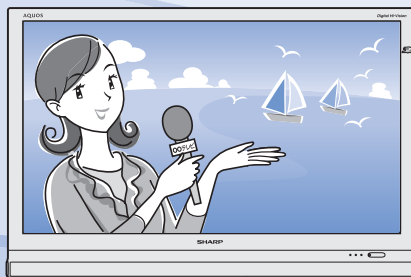
AQUOS

取扱説明書

液晶カラーテレビ

形　名

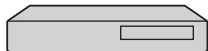
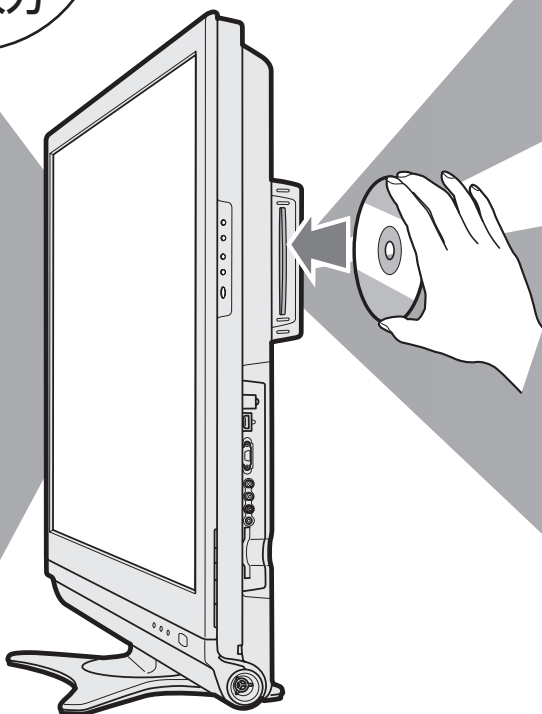
エル シー　ディーエックス
LC-52DX2
エル シー　ディーエックス
LC-46DX2
エル シー　ディーエックス
LC-40DX2

はじめに
準備
番組を見る
BDレコーダー機能で録画・録画予約
BDレコーダー機能で再生
レコーダー・プレーヤー・パソコンなどにつなぐ
ファミリンクで録画・再生
本機の機能の活用
故障かな・仕様・寸法図など
English Guide

テレビ台などは別売りです。

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用前に「安全上のご注意」（14ページ）を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができるところに必ず保存してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と、保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。
- 基本部のセットイラストは、LC-52DX2で記載しています。

本機に内蔵の BDレコーダー機能について

見る
再生

BDビデオの再生についてのお知らせ

① 新しいBDビデオの中には最新のTV本体ソフトでないと再生できないものがあります。それらに対応するためテレビ本体ソフトのバージョンアップデートが必要な場合があります。
アップデートは、地上デジタルやBSデジタル放送で行われますので、必ずデジタル放送が受信できていることが必要です。
また、ホームメニューの「設定」－「（視聴準備）」－「各種設定」－「ダウンロード設定」で「する」に設定（工場出荷時の設定）しておくと、デジタル放送波を利用したソフトウェアのダウンロードが自動的に行われ、常に最新のソフトウェアにアップデートされます。

② テレビ本体ソフトのバージョンアップデートについては、シャープホームページのAQUOSサポートステーション（http://www.sharp.co.jp/support/aquos/）からご覧いただけます。

- 本機は、BD ／ DVD ／ CD プレーヤーとしても使えます。
- 本機で再生に使えるディスクは以下のとおりです。

> - 市販のBDビデオ※1、DVDビデオ※1、CD
> - 本機の内蔵BDレコーダー機能で録画したBD-RE／BD-R
> - 他のBDレコーダーで録画したBD-RE／BD-R※2
> - AVCHD方式のデジタルビデオカメラで録画した8cmのDVD-RW／DVD-R／DVD-RAM※3
> - 他の機器で録画し、再生できるように処理（ファイナライズ）したDVD-RW／DVD-R／DVD+RW／DVD+R
> - JPEGファイルの記録されたCD-R/CD-RW/DVD-RW※4
> - 音楽用CDフォーマットされた音楽用CD/CD-R/CD-RW

※1 BD ビデオや DVD ビデオは、各国に合わせて再生できるソフトが決められています。
その再生できるディスクのコードをリージョンコードといいます。
本機では、BD ビデオはリージョンコード「A」または「All Region（オールリージョン）」、DVD ビデオはリージョンコード「2」または「All（オール）」のソフトが再生できます。
※2 一部再生できないディスクもあります。
※3 カートリッジから取り出せるタイプ。
※4 DVD-RW に JPEG ファイルを記録できるシャープ製レコーダーで記録されたもの。

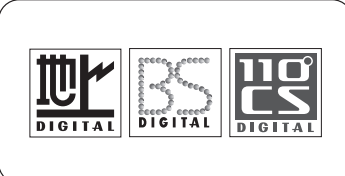
本機は DVD への録画はできません。

BD-RE または BD-R に 録画・予約録画

- 本機に内蔵の BD レコーダー機能を使って、映像を BD-RE または BD-R に録画・予約録画できます。

録画用には、包装に以下の表示のあるものをご購入ください。

例）包装のおもて面

例）包装のうら面

BD-RE の場合：2.1
BD-R の場合　：1.1
（右記のいずれか）　1.2
1.2 LTH
1.3※

※ BD-R Ver.1.3 LTH ディスクは、本機ではご使用になれません。

もくじ

● キーワードは、知りたい内容をもくじから探すときに便利です。
お使いいただく上で、特に大切な用語（キーワード）は太字にしています。

はじめに

テレビを見るための準備

詳しいもくじは ············ **33**ページ

テレビを見る

詳しいもくじは ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ **84**ページ

次のページに続く

本機に内蔵のBD(ブルーレイディスク)レコーダー※機能で録画・予約録画する

詳しいもくじは ·········· 126ページ

※ 本書では、「BD(ブルーレイディスク)レコーダー」を「BDレコーダー」と記載しています。
「BD」は、「ブルーレイディスク」の略称です。

キーワード　　ページ

本機に内蔵のBD(ブルーレイディスク)レコーダー※機能で再生する

詳しいもくじは ·········· 153ページ

※ 本書では、「BD(ブルーレイディスク)レコーダー」を「BDレコーダー」と記載しています。
「BD」は、「ブルーレイディスク」の略称です。

キーワード　　ページ

次のページに続く

レコーダーやプレーヤー、パソコンなどをつなぐ

詳しいもくじは ………… **185**ページ

ビデオデッキやハードディスク・DVD(HDD/DVD)レコーダーで録画・再生する

ゲーム機やオーディオ機器、パソコンをつないで楽しむ

AQUOSレコーダーで録画・再生する（ファミリンク機能を使う）

本機をさらに活用する

詳しいもくじは ………… 217ページ

インターネットを楽しむ

インターネットで番組を楽しむ

写真を見る・音楽を聴く

故障かな?と思ったら/こんなときは

詳しいもくじは …… **295**ページ

故障かな?と思ったら

次のページに続く

こんなときは

- 本書に掲載している画面表示やイラストは説明用のものであり、実際の表示とは多少異なります。
- 本取扱説明書では、特に機種名を明示している場合を除いて LC-52DX2 を例にとって説明しています。LC-46DX2、LC-40DX2 は外形寸法などは異なりますが、使いかたは同じです。
- 本機を廃棄または譲渡する場合には、個人情報の消去（初期化）をお願いします。（▶ **319** ページ）

付属品の使いかた

● 安全と性能維持のため、同梱のケーブルを必ずご使用ください。

本機を操作する

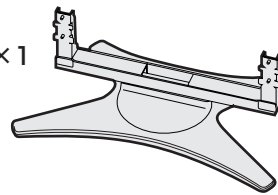
リモコン×1

リモコン用乾電池※
(単3形乾電池×2)

※ アルカリ乾電池を
ご使用ください。

乾電池を入れて使います。
▶54ページ

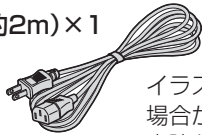
本機を設置する

スタンド×1

スタンド取付ネジ×4
(黒色:M5)

六角レンチ×1

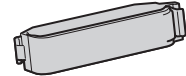
本機に取り付けます。 ▶42ページ

電源コンセントとつなぐ

電源コード(約2m)×1

イラストと異なる
場合がありますが、
支障ありません。

本機に電源を供給します。 ▶51ページ

ケーブルをまとめる

ケーブルクランプ×1

つないだケーブルをまとめます。
▶51ページ

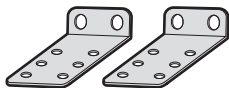
転倒を防ぐ(台・壁・柱などに固定)

クランプ×2

クランプ取付ネジ×2

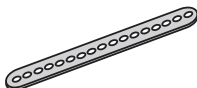
市販のひもと金具を使い、壁や柱に
固定するときに使います。 ▶52ページ

LC-52DX2/LC-46DX2

固定金具×2

ネジ×4

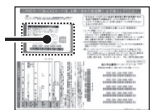
台などに固定する
ときに使います。
▶53~54ページ

LC-40DX2

固定バンド×1

固定バンド
取付ネジ×1

デジタル放送を見る

B-CASカード×1

デジタル放送を見る
ときに使います。
▶43ページ

- B-CASカードは本体を覆っているシートに貼り付けられているB-CASパンフレットの袋の中の台紙についています。
- 開封すると添付されている契約約款に同意したとみなされます。開封前に必ず契約約款をよくお読みください。

取扱説明書など

取扱説明書(本書)×1※

かんたん!!ガイド×1※

保証書×1

※ 当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。
This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

安全上のご注意

● ご使用前に**「安全上のご注意」**を必ず読み、正しく安全にご使用ください。

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、つぎのように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

警告	**人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。**
注意	**人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。**

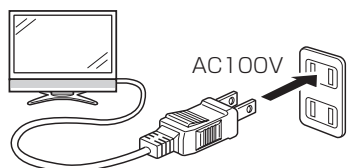
図記号の意味
（図記号の一例です）

 記号は、気をつける必要があることを表しています。

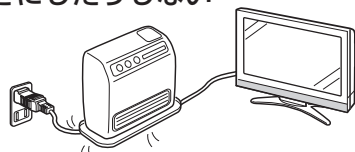
 記号は、してはいけないことを表しています。

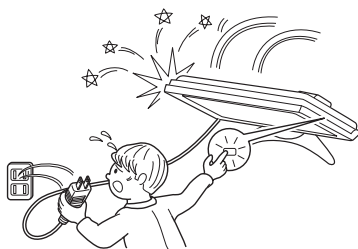
 記号は、しなければならないことを表しています。

警告

交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない

火災・感電の原因となります。

電源コードに重いものを載せたり、本機の下敷きにしたりしない

禁止

火災・感電の原因となります。

落としたり、キャビネットを破損したときは、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

煙やにおい、音などの異常が発生したら、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。修理を販売店に依頼してください。
お客様自身による修理は絶対におやめください。

テレビに水が入るような使いかたをしたり、ぬらしたりしない

火災·感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

水ぬれ禁止

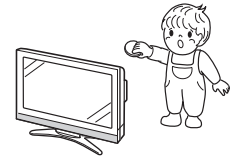
⚠ 警告

内部に水や異物が入ったときは、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

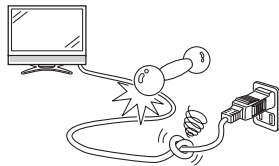
電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

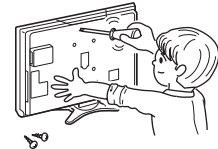
異物を入れない

禁止

通風孔（裏ぶたのすき間）などからもの（可燃性・導電性のものを含む）を入れると、火災・感電の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

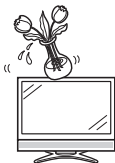
電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、加熱したりしない

禁止

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）交換をご依頼ください。そのまま使用すると、コードが破損して、火災・感電の原因となります。

本機の裏ぶたを外したり、改造したりしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があるため、さわると感電の原因となります。また、レーザー光が目に当たると目を痛める原因となります。内部の点検、修理は販売店にご依頼ください。

本機の上に花びん等、水の入った容器を置かない

水ぬれ禁止

水がこぼれるなどして中に入ると、火災・感電の原因となります。

風呂やシャワー室では使用しない

風呂、シャワー室での使用禁止

火災・感電の原因となります。

不安定な場所に置かない

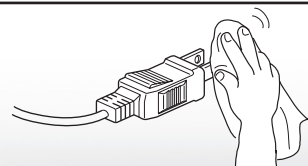
禁止

落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

雷が鳴り出したら、アンテナ線やプラグに触れない

接触禁止

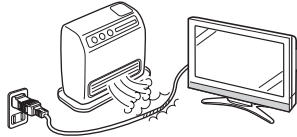
感電の原因となります。

電源プラグの刃や刃の付近に、ホコリや金属物が付着しているときは、プラグを抜いて乾いた布で取り除く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

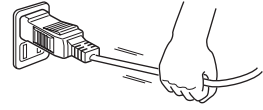
ほこりを取る

⚠ 注意

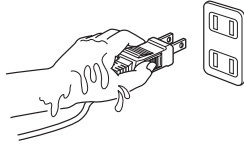
電源コードを熱器具に近づけない

禁止

電源コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

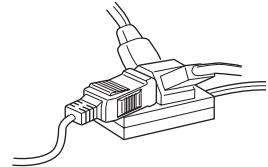
電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

禁止

電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

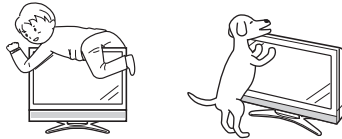
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

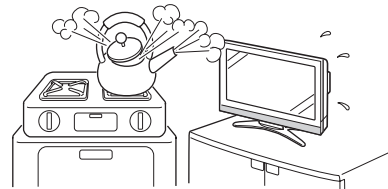
タコ足配線をしない

禁止

火災・感電の原因となることがあります。

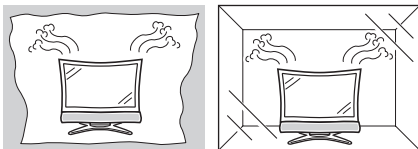
重いものを置いたり、上に乗ったりしない

禁止

倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。特にお子様やペットにはご注意ください。

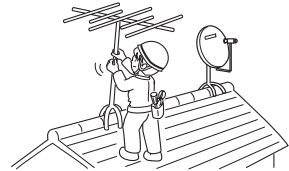
湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かない

禁止

調理器具や加湿器などのそばに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

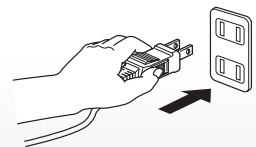
風通しの悪いところに入れない・密閉した箱に入れない・じゅうたんや布団の上に置かない・布などをかけない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

アンテナ工事は、技術経験が必要ですので販売店にご相談ください

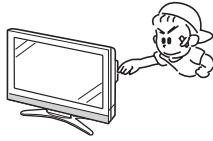
離して配置

- 送配電線の近くに設置してしまうと、アンテナが倒れた際に感電の原因となることがあります。
- BS・110度CSデジタル放送受信アンテナは強風の影響を受けやすいので堅固に取り付けてください。

電源プラグは確実に差し込む

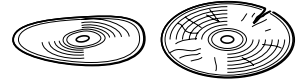
電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して火災・感電の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

確実に差し込む

⚠ 注意

ディスク挿入口に手を入れない

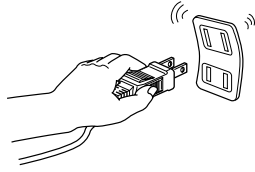
指のケガに注意

小さなお子さまがディスク挿入口に、手を入れないようご注意ください。けがの原因となることがあります。

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない

禁止

飛び散ってけがの原因となることがあります。BD ユニットの故障の原因にもなり、ディスクが取り出せなくなります。

⚠ 注意

電源プラグはゆるみのあるコンセントに接続しない

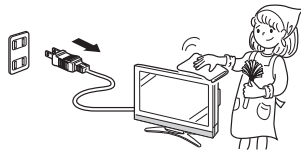
禁止

発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店に交換の依頼をしてください。

移動させるときは、接続されている線などをすべて外す

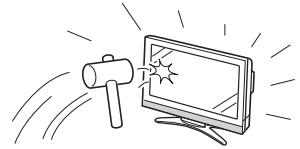
接続線をはずす

接続線を外さないで移動させると、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

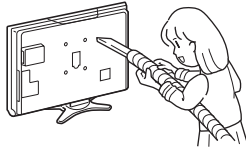
お手入れのときや長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

感電や火災の原因となることがあります。

液晶画面に衝撃を与えない（物を当てたり、先の尖ったもので突いたりしない）

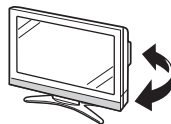
禁止

液晶画面のパネルが割れることがあります。

通風孔に付着したホコリやゴミをこまめに取り除く
内部の掃除は販売店に依頼する

注意

内部や通風孔にホコリをためたまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。内部の掃除費用については、販売店にご相談ください。

スタンドの角度を調整するときは注意する

手を挟まれないよう注意

指のケガに注意

手や指がはさまれてけがの原因となることがあります。また無理に傾けると転倒して落下やけがの原因となることがあります。

健康のために、次のことをお守りください

- 連続して使用する場合は、1 時間ごとに 10 分～ 15 分の休憩を取り、目を休ませてください。
- 新聞が楽に読める程度の明るさの場所で使用してください。
- 日光が画面に直接当たる所では使用しないでください。
- この製品を使用しているときに身体に疲労感、痛みなどを感じたときは、すぐに使用を中止してください。
  使用を中止しても疲労感、痛みなどが続く場合は、医師の診察を受けてください。
- ごくまれに、強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ている際に、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす方がおられます。
  このような経験のある方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。また本製品を使用しているときにこのような症状が起きたときは、すぐに使用を中止して医師の診察を受けてください。

お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

アルカリ電池についての安全上のご注意

● 液もれ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠ 注意

電池は幼児の手の届く所に置かない

禁止

電池は飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに止まったりして大変危険です。飲み込んだおそれがあるときは、ただちに医師と相談してください。

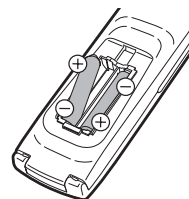
電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

表示どおりに入れる

間違えると電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池のアルカリ液がもれたときは素手でさわらない

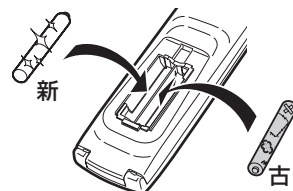
禁止

- 電池のアルカリ液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師と相談してください。

指定以外の電池を使わない。新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

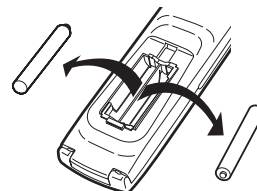
禁止

電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない。乾電池は充電しない

禁止

- 電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 電池の外装ラベルをはがしたり、傷つけないでください。発熱事故の原因となることがあります。

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

指示

電池を入れたままにしておくと、過放電によりアルカリ液がもれ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

●**保存のしかた**：⊕、⊖の方向をそろえて、低温で乾燥した涼しい場所及び湿気の少ない風通しのよい場所に保存してください。

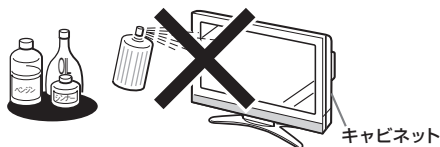
●**廃棄のしかた**：⊕と⊖をセロハンテープで絶縁して廃棄します。各自治体によって「ゴミの捨てかた」が違います。地域の条例に従ってください。

守っていただきたいこと

キャビネットのお手入れのしかた

- 汚れは柔らかい布（綿、ネル等）で軽く拭きとってください。
- 化学雑巾（シートタイプのウエット･ドライのものも含め）をご使用になられますと、本体キャビネットの成分が変質したり、ひび割れなどの原因となる場合があります。
- 硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、キャビネットの表面に傷がつきます。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした柔らかい布（綿、ネル等）をよく絞って拭きとり、柔らかい乾いた布で仕上げてください。
- キャビネットにはプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどで拭いたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。

キャビネット

- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

液晶ディスプレイパネルのお手入れのしかた

- お手入れの際は、必ず本体の電源スイッチを「切」にし、コンセントから電源プラグを抜いてから行ってください。
- ディスプレイパネルの表面は、柔らかい布（綿、ネル等）で軽く乾拭きしてください。ディスプレイパネルの保護のため、ホコリのついた布や洗剤、化学雑巾（シートタイプのウエット・ドライのものも含め）などを使わないでください。パネルの表面がはく離することがあります。

AQUOSクリーニングクロス推奨品
24×24cm:
CA300WH1※
40×30cm:
CA300WH2※

※ 販売店またはシャープホームページ内のシャープいい暮らしストア(ネット販売)でお求めください。

- 硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、パネルの表面に傷がつきますのでご注意ください。
- 汚れがひどい場合は、柔らかい布（綿･ネル等）を軽く水で湿らせて、そっと拭いてください。（強くこすったりすると、ディスプレイパネルの表面に傷が付いたりしますので、ご注意ください。）
- ディスプレイパネルの表面にホコリがついた場合は、市販の除塵用ブラシ（静電気除去ブラシ）をお使いください。

アンテナについて

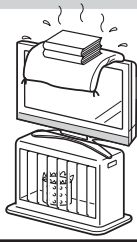
- 妨害電波の影響を避けるため、交通のひんぱんな自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。
  万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。BS・110度CSデジタル放送用のアンテナ線には、必ず専用のケーブルを使用してください。（▶ **47～49** ページ）
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、販売店にご相談ください。

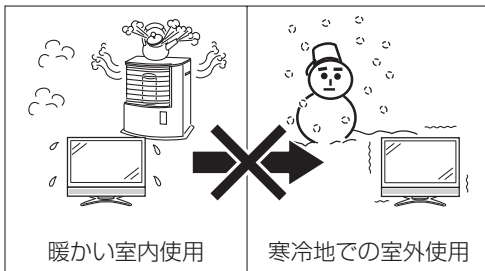
守っていただきたいこと

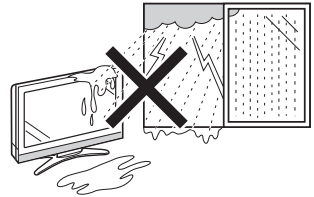
設置について

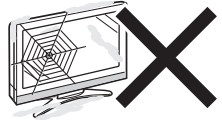
・発熱する機器の上には本機を置かないでください。
・本機の上には物を置かないでください。

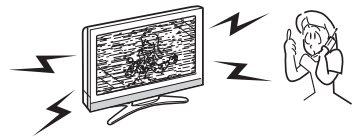
急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は避けてください

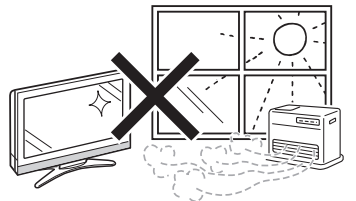
・急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は、画面の表示品位が低下する場合があります。

ステッカーやテープなどを貼らないでください

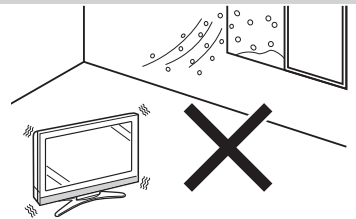
・キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。

雨天・降雪中でのご使用の場合

・雨天・降雪中でのご使用の場合は、本機をぬらさないようにご注意ください。

長期間ご使用にならないとき

・長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

電磁波妨害に注意してください

・本機の近くで携帯電話、ラジオ受信機、トランシーバー、防災無線機などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

直射日光・熱気は避けてください

・窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
・直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

低温になる部屋（場所）でのご使用の場合

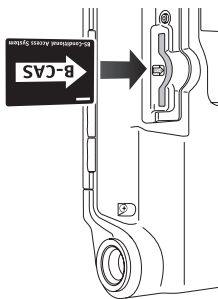
・ご使用になる部屋（場所）の温度が低い場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
・低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や液晶画面の故障の原因となります。
（使用温度：5℃～35℃）

国外では使用できません

・この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

守っていただきたいこと

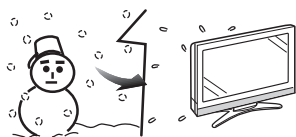
B-CASカードは必要なときだけ抜き差しする

・必要以外に抜き差しすると故障の原因となることがあります。
・B-CASカードの中にはICチップが内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れたりしないようご注意ください。

・本機に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」にならないよう、上図のとおりに挿入してください。

取扱い上のご注意

・液晶画面を強く押したり、ボールペンのような先の尖ったもので押さないでください。また、落としたり強い衝撃を与えないようにしてください。特に液晶画面のパネルが割れたり、傷がつく原因となりますのでご注意ください。
・振動の激しいところや不安定なところに置かないでください。
また、絶対に落としたりしないでください。故障の原因となります。

結露（つゆつき）について

・本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずにお待ちください。そのままご使用になると故障の原因となります。

使用環境について

・本機を冷え切った状態のまま室内に持ち運んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。

注意

・周囲温度は5～35℃の範囲内でご使用ください。正しい使用温度を守らないと、故障の原因となります。

注意

・長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜く

・傾けて設置せず垂直になるよう設置してください。BDユニットが傾き正常な録画・再生ができません。

使用が制限されている場所

・航空機の中など使用が制限または禁止されている場所で使用しないでください。事故の原因となるおそれがあります。

● 静止画を長時間表示しないでください。残像の原因となることがあります。

画面が暗くなったり、チラついたときは（蛍光管について）

● 本機に使用している蛍光管には、寿命があります。

・画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、新しい専用蛍光管ユニットに取り替えてください。
寿命の目安… 約60,000時間（室温25℃で、明るさを「標準」に設定して連続使用した場合、明るさが半減する時期の目安）
・詳しくは、販売店またはシャープお客様相談センターにお問い合わせください。

● ご使用初期において、蛍光管の特性上、画面にチラツキが出ることがあります。
この場合、本体の電源スイッチでいったん電源を切り、再度電源を入れ直して動作を確認してください。

守っていただきたいこと

引っ越しや輸送のときは

・ディスクを取り出してから梱包してください。
また、ふだんご使用にならないときも、ディスクを取り出してから、電源を切ってください。

使用温度について

・室温が 5℃～ 35℃の状態でご使用ください。室温の温度変化は、1 時間あたりの温度変化を 10℃以内に保つことをおすすめします。寒冷地区でのご使用の場合は、特につゆつきにご注意ください。

磁気について

・本機に磁石、電気時計、磁石を使用した機器やおもちゃなど磁気を持っているものを近づけないでください。磁気の影響を受けて、画面の色が乱れたり、ゆれたり、大切な記録が損なわれたりすることがあります。

ディスクを入れるときは

・ディスク挿入口にディスクを入れるときは、無理に入れないでください。既にディスクが入っているときにもう 1 枚挿入しようとすると、故障の原因になります。

壁掛け設置をするときは

・ディスクを取り出してから設置してください。また、ふだんご使用にならないときも、ディスクを取り出してから、電源を切ってください。

重要　必ずお読みください

■ **大切な録画の場合は**........ 事前に試し録りをするなど、機器が正常に働くことを確認してから行ってください。

■ **録画（録音）内容の補償はできません**........ 万一何らかの原因で本機が故障し、データが消失した場合、または不具合により録画・録音されなかった場合の録画・録音内容の補償については、ご容赦ください。

■ **著作権について**............... あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、著作権保護のための信号が記録されている放送番組の録画・録音はできません。

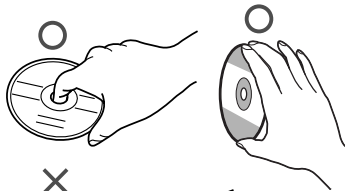
■ **録画防止機能について**.... 本機は、複製防止機能（コピーガード）を搭載しており、著作権などによって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画することができません。

■ **保証について**.................. 本機を分解しますと、保証が無効になります。

■ **再生の制限について**........ 本機は、無許諾のディスク（海賊版など）の再生を制限する機能を搭載しており、このようなディスクを再生することはできません。

ディスク（BD・DVD・CD）の取り扱いに関するご注意とお知らせ

ディスク（BD・DVD·CD）の取り扱いはていねいに

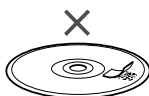
- 記録面（再生面）には手を触れないでください。

- ディスクに紙やシールを貼らないでください。

ディスク（BD・DVD·CD）のお手入れについて

- ディスクについた指紋や汚れを落とすときは、柔らかい布でディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取るようにしてください。

- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で軽く拭き取り、乾いた布でからぶきしてください。
- シンナーやベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは絶対に使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。

ディスクの再生で音飛びしたり、画像が乱れるときは

- レンズにゴミやほこりがたまると、音飛びしたり画像が乱れて見える場合があります。
  修理は、お買いあげの販売店またはお客様相談センター（▶ **330** ページ）にご依頼ください。

ディスク（BD・DVD·CD）の保管のしかた

- ディスクのケースに入れ、立てて保管してください。

- 直射日光の当たるところや熱器具などのそば、湿気の多いところは避けて保管してください。

- 落としたり、強い振動やショックを与えないでください。

- ほこりの多いところやカビの発生しやすいところは避けてください。

つゆつきについて

- 以下のような温度差の激しいところに設置すると、内部のピックアップレンズやディスクに「つゆつき（結露）」が起こる場合があります。
  - 暖房をつけた直後。
  - 湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき。
  - 冷えた場所（部屋）から急に暖かい部屋に移動したとき。

つゆがつくと

ディスクの信号が読み取れず、この製品が正常な動作をしないことがあります。

つゆをとるには

ディスクを取り出して、電源を切り、つゆがなくなるまで放置してください。そのままご使用になると、故障の原因になります。

特殊な CD について

- 特殊形状（ハート形や六角形など）のディスクは使用しないでください。故障の原因となります。

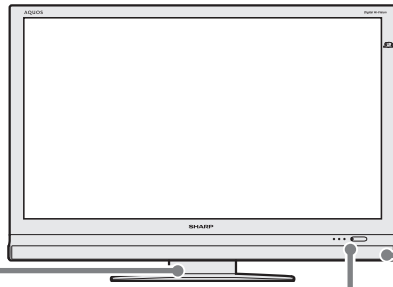
録画中に停電になったときは

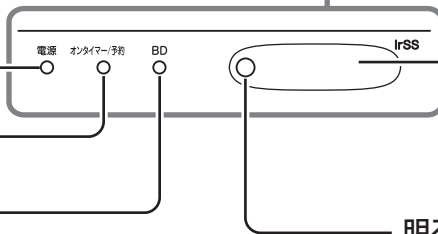
- 録画中に停電になったときは、録画の内容が損なわれることがあります。また、BD が使用できなくなる場合があります。

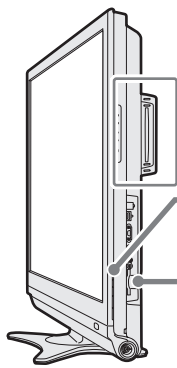
本体各部やリモコンボタンのなまえ

・ の中の数字は、詳しい説明を掲載しているおもなページです。

本体

前面

本体前面のBDランプは、次のように点灯します。

・赤：BDに録画中
・青：ディスクを再生中
・白：ディスクが入っているとき(待機中・停止中)／ディスクの初期化中
・ディスクが入っていないときは、点灯しません。

右側面

▼本体右側面

ディスク挿入口 131
録画ボタン 138
録画停止ボタン 138
再生ボタン 157
停止ボタン 157
ディスク取出しボタン 132

電源スイッチ 55
ホーム(メニュー)ボタン 32
入力/放送切換(決定)ボタン 189
選局(∧順／∨逆)ボタン
音量(＋／－)ボタン

ICチップを本機の前面側に向けてカードを挿入します。

ICチップ

B-CASカード挿入口 43

B-CASカードは必ず挿入してください。
B-CASカードはデジタル信号の暗号化を解除する「鍵」のような役割をしていますので、B-CASカードが挿入されていないと、デジタル放送が視聴／録画できません。
詳細は▶**43**ページをご覧ください。

次のページに続く

背面

- LC-52DX2 を例に説明していますが、LC-46DX2、LC-40DX2 も端子の配置は同じです。

電話線をつなぐ

電話回線端子 231・241

HDMI 対応機器をつなぐ

入力1・入力2(HDMI) 50・186・187・193・198・206

入力4(D5) 50・186・193

入力6 186・193

コントロール(RS-232C)端子 223

パソコンをつなぐ

入力7(アナログRGB) 199

入力2/入力7 音声入力端子 198・199・204

LAN端子(通常)(10BASE-T/100BASE-TX) 241

- インターネットやアクトビラ、IPTV、デジタル放送の双方向通信で使用します。(LAN：ローカルエリアネットワークの略称)

入力6／モニター音声出力 186・193・196

- 入力と出力を切り換えられる端子です。出力に切り換えた場合は、音声のみの出力になります。「モニター音声出力」で切り換えます。(▶196 ページ)
- 工場出荷時は入力端子としてはたらきます。

アンテナ入力 BS・110度CSデジタル 47〜49

デジタル音声出力(光)端子 195

アンテナ入力 地上デジタル 地上アナログ(VHF・UHF) 46〜49

外部機器を一時的につなぐのに便利です

入力3(HDMI) 50・186・187・193・198・206

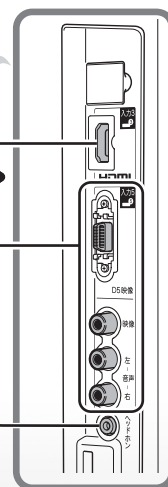
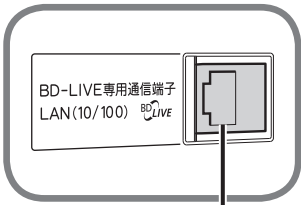
入力5(D5) 186・193

ヘッドホン端子

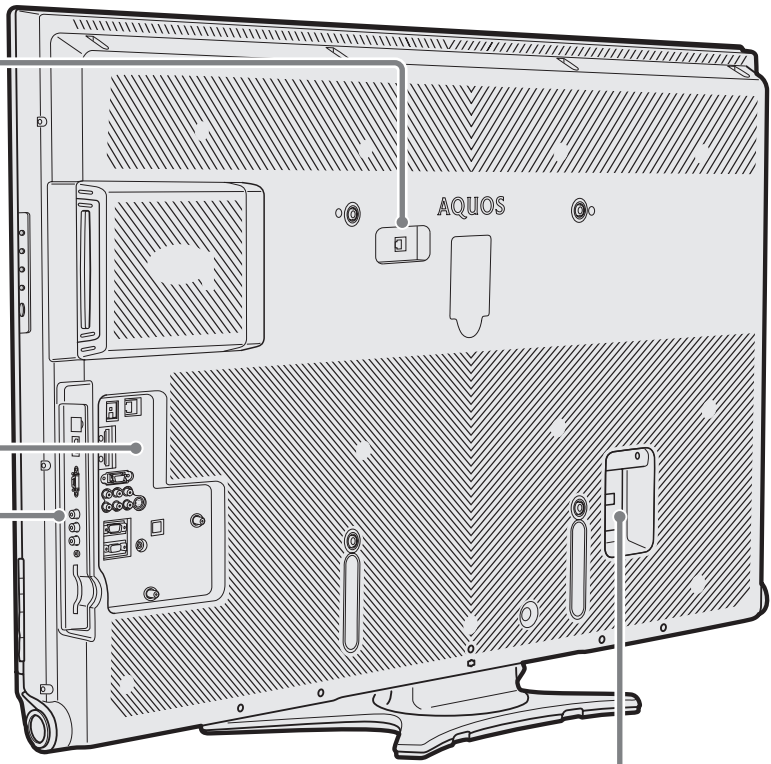
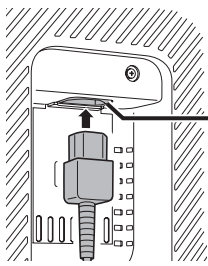
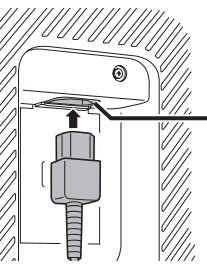
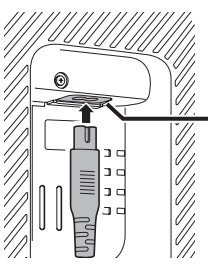
- ステレオミニプラグ(φ 3.5mm)の付いたヘッドホンをご用意ください。
- ヘッドホンをつないだときでも、スピーカーから音を出すようにすることができます。(ヘッドホンで聞くときの音の出かたを変える▶ 125 ページ)
- 入力ごとに別々の音量に設定できます。

30

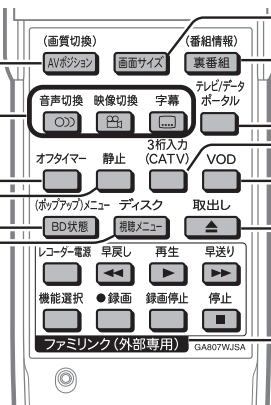
ヘッドホンの音量表示

BD-LIVE専用通信端子
LAN(10/100)

LAN端子(BD-LIVE専用)
(10BASE-T/100BASE-TX)

241

・BD-LIVE 対応のディスクを楽しむために接続する端子です。

AQUOS

※付属の電源コードはイラストと異なる場合がありますが、支障ありません。

リモコンのボタン

番組の選択手順と操作のしかたについて、詳しくは▶85ページをご覧ください。
電源を入／切する 55
選局する 86
・各種設定の数字入力にも使用します。
放送の種類を切り換える 85
・初めてCSチャンネルを選ぶときは 60
連動データ放送を見る 90・105・169
音を一時的に消す 86
・消音となってから30分経過すると自動的に音量0になります。この状態から音声を聞くには、音量＋ボタンで音量を調整してください。
音量を調整する 86
番組表を表示する 92・94
番組表から録画予約する 140・211
メニューを消す
操作を終了する 32
・メニューや電子番組表を消したり操作を中止したいときなどに使うと便利です。
BDディスクに録画した番組の一覧を見る 157
ディスクのトップメニューを表示する 161
画面にチャンネル番号などを表示する 87
BDディスクに録画した番組を再生する 156
再生中に、早送りや早戻しなどの操作をする 166～168
インターネットやIPTVを表示する 247・267
入力を切り換える 189
順／逆で選局する 86
・地上デジタル放送は選局の順番を切り換えることができます。
（選局ボタンでの選局される順番について（地上デジタル放送のみ）87）
・工場出荷時の状態では、CATVチャンネルはスキップ設定されています。
（解除のしかた 78）
ホームメニューを表示する 32
カーソルボタンで選ぶ 32
決定する 32
1つ前の画面に戻る 32
カラーボタンで番組表の機能を使う 94～95
・連動データ放送画面の操作にも使用します。 105
ツールメニューを表示する 30
見ている番組をBDに録画する 138
録画を止める 138
電源
1 あ .:/
2 か ABC
3 さ DEF
4 た GHI
5 な JKL
6 は MNO
7 ま PQRS
8 や TUV
9 ら WXYZ
10 ゛゜ 0 ?!
11 わをん
12 全/半
放送切換
地上D
BS
CS
地上A
データ連動
消音
音量
選局
インターネット
入力切換
番組表
予約
ホーム
決定
終了
戻る
青
赤
緑
黄
トップメニュー
画面表示
再生リスト
ツール
早戻し
再生
早送り
前
次
一時停止
10秒戻し
30秒送り
停止
●録画
録画停止
フタ内のボタン　フタ両側の突起部（ ）を持ち、引き上げます。
AVポジションを選ぶ 112
音声を切り換える 102・103・169
映像を切り換える 103・170
字幕を表示する（切り換える） 103・170
タイマーで電源を切る 221
画面を静止する 104
BDの状態を見る 148
BDのポップアップメニューやDVDのディスクメニューを表示する 161
録画モニター 139
視聴メニューを表示する 171
画面サイズを選ぶ 109・200
裏番組の一覧を見る 93
メディアの種類を切り換える 85
3桁入力で選局する 88
CATV放送を選局する 89
VOD操作パネルを表示する 275・279
ディスクを取り出す 132
ファミリンク 210～216
・ファミリンク対応の録画機器などを操作します。
（画質切換）
AVポジション
画面サイズ
（番組情報）
裏番組
音声切換
映像切換
字幕
テレビ/データポータル
オフタイマー
静止
3桁入力（CATV）
VOD
（ポップアップ）メニュー
ディスク
取出し
BD状態
視聴メニュー
レコーダー電源
早戻し
再生
早送り
機能選択
●録画
録画停止
停止
ファミリンク（外部専用）
GA807WJSA

本機の機能と操作のしかた（ホームメニューの基本操作）

- 本機の設定や操作を行うとき、その入り口となる画面のことを「ホームメニュー」と呼びます。
  ここでは、ホームメニューの見かたや使いかたについて説明します。

ホームメニュー画面について

1 ホーム を押す

- 画面にホームメニューが表示されます。

ガイド表示
- 選択項目のガイダンスが表示されます。
- 選択した項目により表示内容が変わります。
- この位置、もしくは画面下に表示されます。

ホームメニューを呼び出すと、視聴中の画面は縮小表示されます。

ホームメニュー項目

機能選択メニュー
- アイコンで表示されます。アイコンを選択すると下に名称が表示されます。
- ホームメニュー項目によっては表示されない場合があります。
- 機能選択メニューで選んだメニュー名が表示されます。

機能別選択・設定項目
- 項目によって、表示や操作のしかたは異なります。それぞれのページをご覧ください。

視聴中の番組情報がテロップとして流れます。

視聴中の番組タイトルが表示されます。

ホームメニュー項目

例）

番組表（予約） ― ホームメニュー項目

・放送の種類を選び、番組の検索や視聴／録画予約／ポータルリストの表示を行うことができます。

機能選択メニュー：
- 地上デジタル
- BS デジタル
- CS デジタル
- IPTV（テレビ）

機能別選択・設定項目：

項目	ページ
番組表	▶94
日時検索	▶95
ジャンル検索	▶95、99
番組詳細検索	▶95、100

IPTV（ポータル）

項目	ページ
ポータルリスト	▶273

アナログ

項目	ページ
録画予約	▶144

チャンネル ▶85

・ホームメニューから放送の種類→番組（またはチャンネル）の順に選んで視聴することができます。

設定

・本機をお使いになるためのさまざまな設定を行うことができます。
・**「設定」メニューの項目や設定のしかたは、56 ページ「テレビを見るための設定をする」をご覧ください。**

視聴準備
放送を視聴するための設定項目です。

映像調整
映像をお好みの状態に調整する項目です。

音声調整
音声をお好みの状態に調整する項目です。

安心・省エネ
電力資源を有効に使用するための設定項目です。

機能切換
本機のいろいろな機能の設定項目です。

お知らせ
本機が受信した情報を確認するための項目です。

ツール

・便利な機能をショートカットメニューにまとめました。

項目	ページ
AV ポジション(画質切換)	▶112
映像調整	▶114、194
音声調整	▶117～119
番組情報	▶86、94、104
画面サイズ	▶109
３桁入力	▶88
テレビ / データ / ポータル	▶85
VOD	▶274
BD 状態	▶148
ディスク取り出し	▶132
画面表示設定	
文字サイズ	▶121
Language(言語)	▶355
表示色	▶122
選局効果	▶107
字幕表示	▶103
番組名表示	▶104
映像反転	▶122
画面位置	▶108
リンク操作	
レコーダー電源入／切	▶209
録画リストから再生	▶214
スタートメニュー表示	▶212
機器のメディア切換	▶210
リンク予約(録画予約)	▶212
音声出力機器切換	▶215
サウンドモード切換	▶216
操作機器の選択	▶215
ファミリンク設定	▶207
タイマー機能	▶221
お知らせ(受信機レポート)	▶39、316

リンク操作

・外部機器とファミリンク接続している場合に、本機から外部機器の操作を行うことができます。

リンク予約

・外部レコーダーの電子番組表を本機に呼び出して予約録画を行うことができます。

番組表（予約）

・放送の種類を選び、番組の検索や視聴／録画予約／ポータルリストの表示を行うことができます。

おしらせ

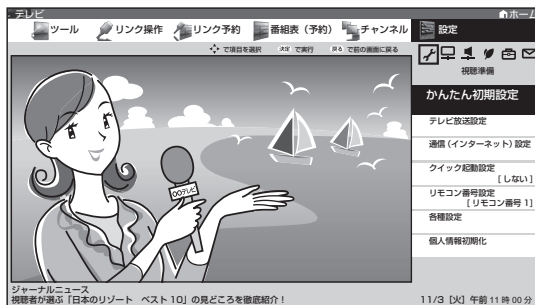
・ここでは、説明のために本機で表示されるすべてのメニュー項目を記載していますが、実際にすべての項目が同時に表示されることはありません。本機の状態により必要な項目が表示されます。
・⃠マークがつき、灰色で表示されるメニュー項目は、選択できません。
・ホームメニューの表示内容は変更される場合があります。
・ホームメニュー画面や電子番組表などの表示色を変更することができます。(表示色▶**122**ページ)
・ホームメニュー画面に表示される文字の大きさを大きくすることができます。(文字サイズ▶**121**ページ)

ホームメニュー画面を英語で表示するには ▶355ページ
To display menu screens in English ▶Page **355**

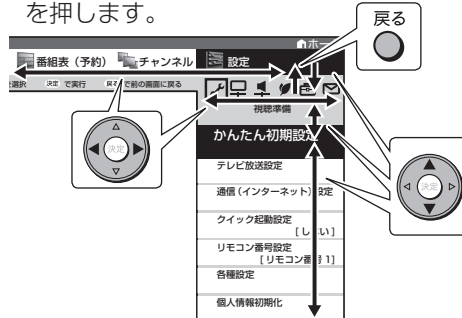
ホームメニューの基本操作

1 ホームメニューを表示する

ホームを押す

▼ホームメニュー画面

2 メニューを選ぶ

① **メニュー項目を ◎ または ◎ で選ぶ**
- 選んだ項目に合わせて、続く項目の表示が切り換わります。
- 表示される内容は状況によって異なります。

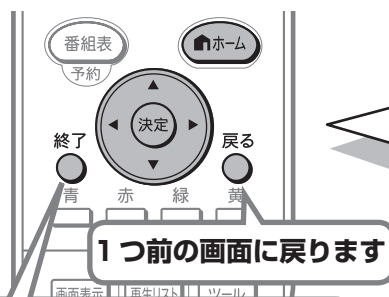
② **◎ で次の項目へ移動する**
- ホームメニュー項目へ戻るときは、戻るボタンを押します。

- 条件によりメニュー項目に⊘マークがつき、灰色で表示される場合がありますが、その項目は選択することができません。

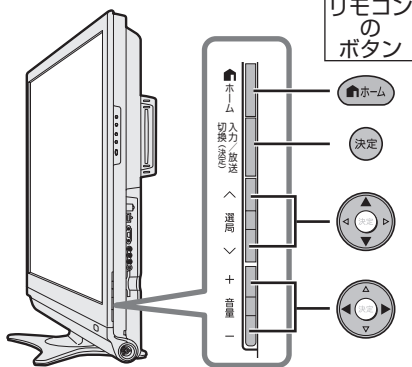
③ **続く項目が表示されなくなったら 決定 を押す**
- このときは、ガイド表示に「決定」が表示されます。

▼ガイド表示の例

◆ で項目を選択　決定 で実行

使えるカーソルボタン

- 表示中の画面で使用できるボタンが案内されています。案内は、画面によって異なります。

ホームメニューは本体のボタンでも操作できます

▼本体側面

ホームメニューを表示しているときは、上図のように本体のボタンが、ホーム（メニュー）ボタン、決定ボタン、カーソルボタンとして機能します。

3 ガイド表示を参考に、操作を進める

操作方法は、機能や項目によって異なります。使用するボタンについては、ガイド表示を参考にしてください。

テレビを見るための準備

デジタル放送を受信するための豆知識

放送を受信するために

どんな放送を受信できるの？

- 放送には地上の放送と衛星の放送があります。本機では、次の放送を受信することができます。

☆ 地上の放送局から受信する放送

- 地上デジタル放送
- 地上アナログ放送（2011年放送終了）

☆ 放送衛星から受信する放送

- BSデジタル放送
- 110度CSデジタル放送

- 本機では、「地上アナログ放送」「地上デジタル放送」「BS デジタル放送」「110 度 CS デジタル放送」の 4 つの放送を受信できます。
- これらの放送を受信するためには、専用のアンテナが必要です。

どんなアンテナが必要なの？

☆ 地上の放送を受信するためのアンテナ

UHFアンテナ

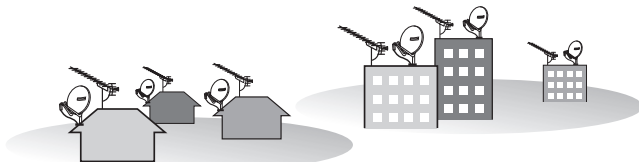
- 地上デジタル放送とUHF帯域の地上アナログ放送を受信できます。

VHFアンテナ

- 地上アナログ放送のみ受信できます。**地上デジタル放送は受信できません。**

☆ 衛星放送を受信するためのアンテナ

BS・110度CS共用アンテナ

- BSデジタル放送も110度CSデジタル放送も、このアンテナで受信できます。
  ※ 他の衛星放送は、衛星の向きが違うため受信できません。

- マンションなど共同受信の場合は管理者へご確認ください。
- CATV による受信は、CATV 放送会社にご確認ください。

従来の放送（アナログ放送）との違い

デジタル放送って何が違うの？

● アナログ放送とデジタル放送では、放送のしくみが違います。

☆ アナログ放送の場合

☆ デジタル放送の場合

・映像などをそのまま信号にして送ります。

● テレビは受信した信号をそのまま映像にして表示します。受信環境が悪ければ、その分画質も悪くなります。

● 受信した暗号はB-CASカードで解読し、デジタル放送対応テレビが数字データを映像などに戻して、画面に表示します。

・デジタル放送は数字データを正しく受信できれば、常に一定の画質で表示されます。画質は劣化しません。ただし、受信できないときは何も映りません。
・デジタル放送は数字データを整理し圧縮してから送信するので、アナログ放送よりはるかに多い情報量を送信できます。

B-CAS（ビーキャス）カードを差し込んでおくのはなぜ？

● デジタル放送の画質は常に一定で劣化することはありません。これは、デジタル方式で録画やダビングする場合も同じです。このため、放送局は数字データを暗号に置き換え、録画やダビングできる回数に制限をかけて送信しています。この暗号はテレビでは解読できないようになっていて、B-CASカードが暗号を解く鍵の役割をしています。

・デジタル放送※を見るには、B-CASカードをテレビに差し込んでおく必要があります。
※有料放送は、視聴契約しないと視聴できません。

本機：デジタル放送受信機について

デジタル放送の特長を生かした機能

- デジタル放送は原理的には信号を数字に置き換えて送信するしくみなので、膨大な情報を圧縮して整理し、送信することができます。アナログ放送ではできなかったデジタル放送の特長を生かした放送サービスが追加されています。

☆ 電子番組表の送信

- 予約録画・視聴予約が電子番組表からできます。

電子番組表（例）

☆ 地域別の情報送信

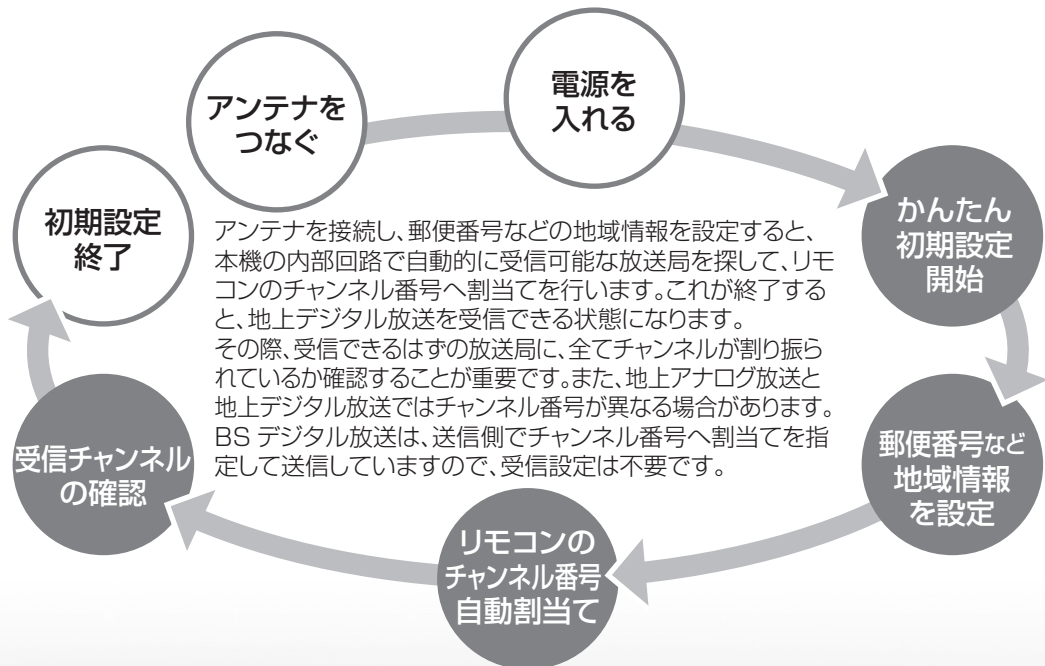
- 連動データ放送では地域別の情報を送信しています。

連動データ放送（例）

・これらの機能を使うために、地域設定、郵便番号入力（▶ **57・64 ページ**）が必要になります。

かんたん初期設定とは

アンテナをつなぐ → 電源を入れる → かんたん初期設定開始 → 郵便番号など地域情報を設定 → リモコンのチャンネル番号自動割当て → 受信チャンネルの確認 → 初期設定終了

アンテナを接続し、郵便番号などの地域情報を設定すると、本機の内部回路で自動的に受信可能な放送局を探して、リモコンのチャンネル番号へ割当てを行います。これが終了すると、地上デジタル放送を受信できる状態になります。
その際、受信できるはずの放送局に、全てチャンネルが割り振られているか確認することが重要です。また、地上アナログ放送と地上デジタル放送ではチャンネル番号が異なる場合があります。
BS デジタル放送は、送信側でチャンネル番号へ割当てを指定して送信していますので、受信設定は不要です。

ハイビジョン放送を録画するには

BD ディスクを入れて、デジタル放送の番組を録画する

- 録画画質「標準（DR)」で録画すれば、放送内容に合わせて HD（ハイビジョン画質）や SD（標準画質）で録画されます。
- 録画画質「2 倍」「3 倍」「5 倍」「7 倍」で録画すると、圧縮したハイビジョン画質で長時間録画することができます。

☆ BD ディスクの準備

- 本機の電源を入れて、録画用の BD ディスク（BD-RE Ver. 2.1 ／ BD-R Ver. 1.1、Ver. 1.2、Ver. 1.2 LTH、Ver. 1.3※）を挿入します。（※ BD-R Ver. 1.3 LTH ディスクは、本機ではご使用になれません。）

☆ すぐに録画する

① 録画したい番組を選びます。

-

や

で選びます。

② リモコンふた上の ●録画 を押して録画します。

- 録画が開始します。

アナログ放送をすぐに録画したい場合は、▶ **138 ページ、139 ページ**をご覧ください。

☆ 予約録画する（一発予約）

① 番組表（予約）を押して電子番組表を表示します。

② 予約録画したい番組を選びます。

- 予約した時刻で録画されます。

アナログ放送を予約録画したい場合は、▶ **144 ページ、145 ページ**をご覧ください。

録画した番組を再生する（▶ **156** ページ）

録画ができていない？

こんなときは ▶ **300・310** ページ

テレビを見る準備をする（電源を入れるまで）

準備のながれ

● 以下の順番で、本機の準備をします。

デジタル放送を受信するための豆知識／デジタル放送の種類と特長について ▶34～39ページ
・デジタル放送についてお知りになりたい場合にご覧ください。

本機を置く場所を決める ▶40ページ
・設置や接続に別売品を使う場合は、「別売品について」をご覧ください。（▶ **41** ページ）

スタンドを取り付ける▶42ページ

B-CASカードを挿入する ▶43ページ
・電源を入れる前にB-CASカードを挿入してください。

アンテナのつなぎかた ▶46～49ページ
・テレビだけをつなぐ場合
・録画機器もつなぐ場合

外部機器の映像（DVDやビデオテープなど）を見るためのつなぎかた ▶50ページ

電源コードをつなぐ／ケーブルやコードをまとめる ▶51ページ

本機を固定して転倒を防ぐ ▶52～54ページ

電源を入れる ▶54～55ページ
・リモコンの準備をして、本機の電源を入れます。

放送を受信するために最初に必要な設定（かんたん初期設定）について ▶57～59ページ

デジタル放送の種類と特長について

● 本機では、従来の地上アナログ放送に加え、次の3種類のデジタル放送を受信できます。

地上デジタル放送

2003年12月から東京･大阪･名古屋の3大都市圏の一部地域で開始され、2006年12月に全国の都道府県庁所在地で開始された放送です。

- **迫力あるワイド画面とデジタルハイビジョンの高画質**
- **高音質とマルチチャンネルのサラウンド放送**
- **天気予報やニュースなどの、番組に連動したデータ放送**
- **視聴者参加型の双方向通信番組**

重 要

・受信には、UHF対応のアンテナが必要です。お使いのアンテナがUHF対応であればそのまま使えます（取り替えや調整が必要になることもあります）。
VHFアンテナでは受信できません。

UHFアンテナ（市販品）

地上デジタル放送のCATV放送対応について
・本機で受信できるケーブルテレビ（CATV）の方式は「パススルー方式」（UHF帯、ミッドバンド［MID］帯、スーパーハイバンド［SHB］帯、VHF帯）です。トランスモジュレーション方式の場合、ケーブルテレビ専用受信機を介して視聴できます。

デジタル放送のその他の特長

臨時放送（臨時編成サービス）
・スポーツ中継の延長などで、臨時に行うマルチチャンネル放送です。案内画面が表示されたときに、決定ボタンで切り換えます。

イベントリレーサービス
・スポーツ中継の延長時などに、別チャンネルで続きを放送するサービスです。案内画面が表示されるので、決定ボタンで切り換えます。延長された番組を予約録画していた場合、自動的に追従します。
※ファミリンク予約録画（▶ **211** ページ）の場合、お使いのAQUOSレコーダーによっては追従されません。

緊急警報放送
・地震などの際の緊急警報放送です。案内画面が表示されたときに、決定ボタンで切り換えます。

マルチビューサービス
・一つの番組の中で、カメラアングルを変えて最大3つの映像が放送されるサービスです。リモコンふた内の映像切換ボタンで切り換えます。

重 要

- **アンテナ工事は、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。**
- デジタル放送を受信するには、本機に B-CAS カードを入れてください。（▶ **43** ページ）
- データ放送の双方向通信などで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

おしらせ

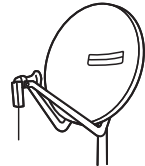
- ARIB 放送規格の変更により、ホームメニューなどの仕様が変わる場合があります。
  ARIB（Association of Radio Industries and Businesses）とは、通信・放送分野の電波利用システムの標準化や、電波利用に関する調査、研究などを行う社団法人の名称です。
- 地上アナログ放送は 2011 年 7 月に、BS アナログ放送は 2011 年までに終了することが、国の方針として決定されています。

BS デジタル放送

放送衛星（Broadcasting Satellite）を使ったデジタル放送です。一部有料放送やNHKを除き、無料で楽しめます。（2009年7月現在）

- **迫力あるワイド画面とデジタルハイビジョンの高画質**
- **視聴者参加型の双方向通信番組**
- **2種類のデータ放送（独立データ放送・番組に連動したデータ放送）**

重 要

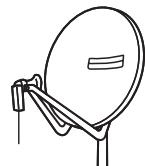
- 受信には、BS・110度CSデジタル放送共用のアンテナ（市販品）が必要です。

BS・110度CS デジタル共用 アンテナ （市販品）

110 度 CS デジタル放送

BSデジタル放送用人工衛星と同じ東経110度にある通信衛星（Communication Satellite）を使ったデジタル放送です。おもなサービスに「スカパー！e2」があります。110度CSデジタル放送は一部を除き有料です。受信するには、見たいチャンネルを視聴契約する必要があります。

- **テーマ別に専門化した多数のチャンネル**
- **画面をブックマーク登録し、簡単に再表示可能**
- **ボード（掲示板）機能でサービス情報の案内を閲覧可能**

重 要

- 受信には、BS・110度CSデジタル放送共用のアンテナ（市販品）が必要です。
  従来のCSアンテナやBSアナログ用アンテナでは受信できません。また、ブースターや分配器等をご使用になっている場合は、110度CS帯域（2150MHz）まで対応したものに交換する必要があります。

BS・110度CS デジタル共用 アンテナ （市販品）

降雨対応放送（BS のみ）

- 降雨・降雪による電波減衰時に画質や音質を落とした信号を放送するサービスです。案内画面が表示されたときに、決定ボタンで切り換えます。リモコンふた内の映像切換ボタンで元の映像に戻れます。

ブックマーク

- コンテンツ画面にブックマーク※アイコンが表示されているときは、その情報（ブックマーク記録コンテンツ）を登録しておき、後でブックマークを一覧表示・選択して、関連チャンネルを呼び出すことができます。
  ※「ブックマーク」とは、しおりのことです。
  画面によっては、特定のページを表示するための絵文字（ブックマークアイコン）が表示されます。
  インターネットのブックマークとは異なります。

ご案内チャンネルの表示

- 未契約の有料放送事業者の放送番組を選局したとき、「視聴するには契約登録が必要」である旨の案内に加え、代替番組の視聴案内が表示されます。

（画面例）

ご案内チャンネルを視聴しますか?
みる　みない

110度ＣＳデジタル放送の専用サービス

ボード（掲示板）

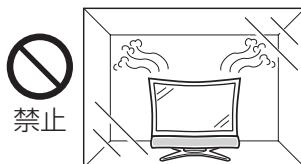
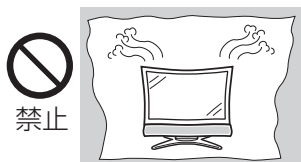
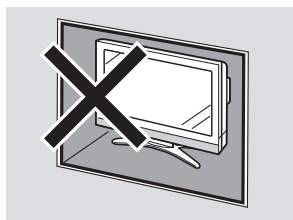
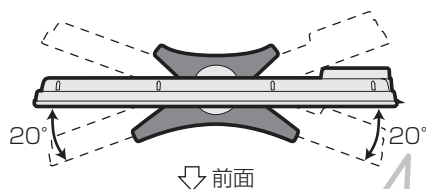
- プラットホーム（スカパー！ e2）単位で、いろいろなサービス情報の案内がボード（掲示板）に表示されます。ホームメニューの「設定」－「✉（お知らせ）」－「ボード（CSデジタル）」からボード画面を呼び出し、サービス情報を見ることができます。（▶**316**ページ）

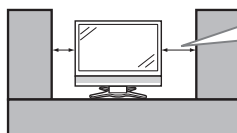
（画面例）

本機を置く場所を決める

- 本機は付属のスタンドを取り付けて設置します。
- 別売の壁掛け金具などを使って設置することもできます。（別売品について ▶ **41** ページ）
- 以下のような設置のしかたをしないでください。
  - 風通しの悪いところに入れない
  - 密閉した箱に入れない
  - じゅうたんや布団の上に置かない
  - 布などをかけない
  - 極端に温度が高い場所や低い場所には設置しない（使用温度 5℃～ 35℃）
  - 湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かない。

禁止

禁止

  - 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。壁に埋め込む設置や枠で囲むなどをしないでください。

角度調整のしかた

スタンド下部（図の濃い色の部分）を片方の手でしっかりと押さえ、手をはさまないように注意しながら本体を回転させます。左右各 20 度の範囲内で調整できます。

- 設置の際には以下の点をお守りください。
  - 傾斜のない、平らな場所に設置してください。すべりやすい面、カーペットなどの柔らかい面、不安定な場所を避けて設置してください。
  - 持ち上げたり、運んだりする場合は、液晶パネルやスピーカーを持たないでください。
  - 左側は 10cm、右側は 15cm 以上スペースを空けてください。
    左右のスペースが少ないとスピーカーからの音が聞こえにくくなる場合があります。また、設置している周囲の環境によっては、音声の聞こえ方が変化する場合があります。このような場合は、ホームメニューの「設定」－「（視聴準備）」－「視聴環境設定」－「視聴環境設定（音声）」や「設定」－「（音声調整）」で調整してください。
    また、本体の右側にはディスクの挿入・取り出しのためのスペースも必要となりますのでご注意ください。

  - 台の上に設置する場合は、本機の重量に耐えうる、十分な幅と奥行きのある、堅固で転倒しにくい台をお使いください。
  - 転倒防止策を実施してください。（▶ **52 ～ 54** ページ）
  - テレビ台に固定する場合は、スタンドに転倒防止部品を取り付けてから、本機にスタンドを取り付けてください。
  - キャスター付きのテレビ台をご使用の場合、移動するとき以外は必ずキャスター用受皿を使用して固定しておいてください。
  - 本機を持ち上げたり、運んだりする場合は、スピーカーネット部を強く押さないでください。

重 要

- 本機を傾けて使用することはできません。傾けて使用すると BD ユニットが傾き、正常な再生・録画ができません。

別売品について

- 液晶カラーテレビ専用の別売品をとりそろえております。お近くの販売店でお買い求めください。

（2009年7月現在）

No.	品　名	形　名	対応機種
1	壁掛け金具	AN-52AG6	LC-52DX2/ LC-46DX2/ LC-40DX2
2	システムラック	AN-65SR3	
3	壁寄せスタンド	AN-52WS2	
4	壁寄せスタンド 壁寄せスタンド （壁寄せスタンドオプションAN-52RS1 が必要です。） 壁寄せスタンドオプション	AN-52WS1 ※ AN-52RS1	

※ AN-52WS1 をご使用になる場合、別途、壁寄せスタンドオプション AN-52RS1 が必要です。
AN-52WS1 をお持ちでない場合は、AN-52WS2 のご使用をおすすめします。

おしらせ

- LC-52DX2 の金具取付ピッチは 400mm × 400mm です。
- LC-46DX2 の金具取付ピッチは 400mm × 400mm です。
- LC-40DX2 の金具取付ピッチは 400mm × 400mm です。
- 壁に掛けて設置する場合は **340 ～ 342** ページをご覧ください。
  この場合、付属のスタンドを取り付ける必要はありません。
- 壁掛金具は傾けない（0 度の設定）でお使いください。

おしらせ

- 本機に適合する別売品が新しく追加発売になることがあります。ご購入の際には、最新のカタログで適合性をご確認いただき、販売店にご相談の上、お買い求めください。

重 要

- 本機を傾けて使用することはできません。傾けて使用すると BD ユニットが傾き、正常な再生･録画ができません。0 度の設定で取り付けてください。

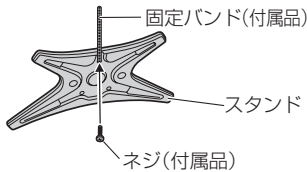
スタンドを取り付ける

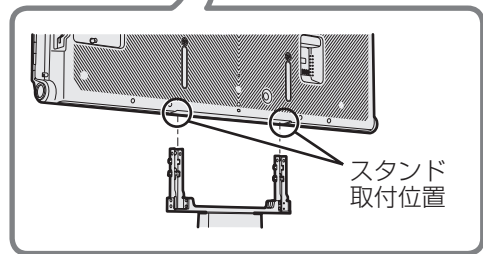
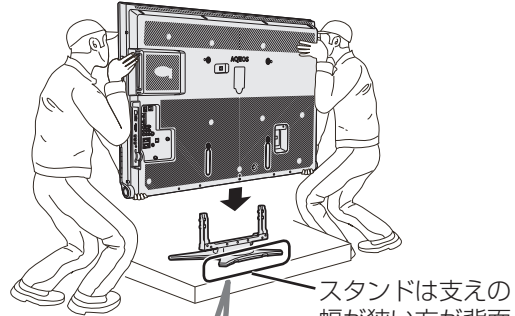
電動ドライバーを使う場合、締め付けトルクは約 2.0N・m（20kgf・cm）に設定してください。

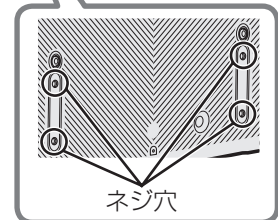
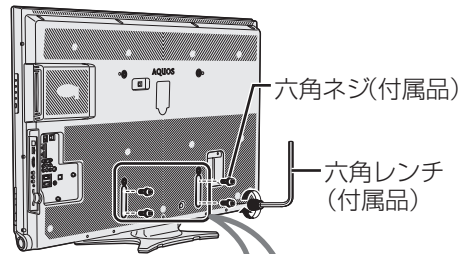
重 要

- 必ず 2 人以上で、スタンドの取り付けを行ってください。

おしらせ

- 本機を設置する際は壁や柱またはテレビを設置する台に固定して転倒を防いでください。（▶ **52 〜 54** ページ）
  なお、LC-40DX2 を台に固定する場合は、スタンドに固定バンドを取り付ける必要があります。本機にスタンドを取り付ける前に、スタンドに固定バンドを取り付けておいてください。

1 スタンドを立て、本機底面のスタンド取付位置を確かめてまっすぐゆっくりおろす

- 本体を持ち上げる際は、液晶パネルを持たないでください。片手で底面を持ち、もう一方の手で上部をささえて、本体に傷がつかないようにしてください。

2 六角ネジ（4 本）で、本機とスタンドを固定する

- 付属の六角レンチで確実に締め付け、固定してください。

- 固定後はぐらつきやゆるみなどがないか、確実にネジが締まっているか、確かめてください。

B-CAS カードを挿入する

B-CAS カードを挿入する（B-CAS カードの役割について）

- デジタル放送（地上デジタル放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送）を楽しむために、B-CAS（ビーキャス）カードを本機に必ず入れてください。B-CAS カードを入れないと、デジタル放送が映りません。
- B-CAS カードは、視聴情報などが記憶されますので常に本機に入れておいてください。

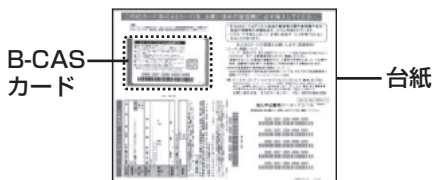
付属のB-CASカード

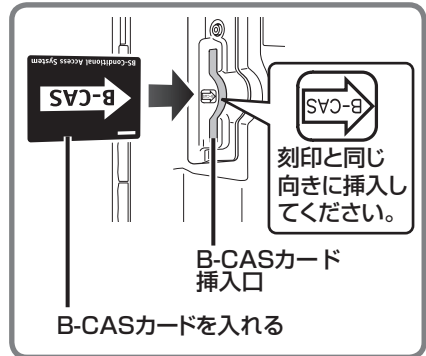
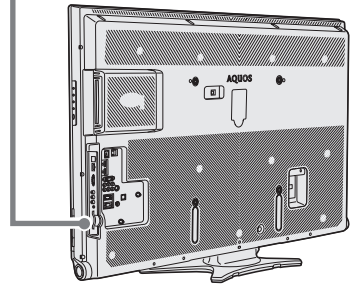
重 要

B-CAS カードの取り扱いについて

- 折り曲げたり、変形させたり、傷をつけたりしない
- 重いものを載せたり、踏みつけたりしない
- IC チップには触れない
- 分解、加工しない
- B-CAS カードの取り扱いの詳細は、カードを貼ってある台紙の説明をご覧ください。
- B-CAS カードについてのお問い合わせ先

B-CAS カード カスタマーセンター
電話 0570-000-250
（2009 年 7 月現在）

1 B-CAS カードの台紙の内容を読み、同意の上で B-CAS カードを台紙からはずす

- B-CAS カードは本体を覆っているシートに貼り付けられているB-CAS パンフレットの袋の中の台紙についています。
- 開封すると添付されている契約約款に同意したとみなされます。開封前に必ず契約約款をよくお読みください。

2 B-CAS カードを正しい向きで奥までしっかり差し込む

重 要

- B-CAS カード挿入口には、本機に付属している B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。
- B-CAS カードは大切に保管してください。仮に他人があなたの B-CAS カードを使用して有料放送を視聴した場合でも、視聴料はあなたの口座に請求されます。
- B-CAS カードに関するメッセージが画面に表示されたとき以外は、カードを抜き差ししないでください。

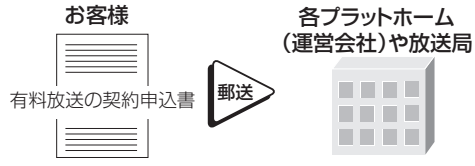
おしらせ

万一、B-CAS カードを抜く場合は

- 本体の電源スイッチで電源を切り、電源コンセントを抜いた状態で、B-CAS カードを持ち、ゆっくりと抜いてください。
- 破損などにより B-CAS カードの再発行を依頼する場合は、費用が必要です。詳しくは、B-CAS カスタマーセンターにご連絡ください。（連絡先はカードに記載されています。）
- すべての接続を終えて電源を入れた後、「システム動作テスト」（▶ **234** ページ）を行うと、カード番号が表示され、B-CAS カードが正しく挿入されているか確認できます。

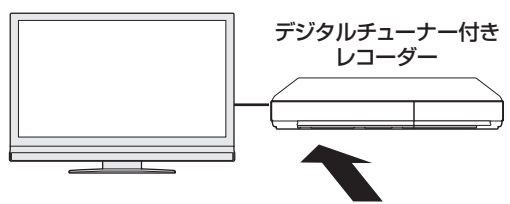
次のページに続く

WOWOW や スカパー! e2 などの有料放送を見るときは

- 有料放送を視聴するには、スカパー！ e2 などの各プラットホーム（運営会社）や放送局との視聴契約が必要です。それぞれの契約申込書に必要事項を記入し、郵送してください。（インターネットで申し込める場合もあります。）

本機の BD レコーダー機能で有料放送を録画する場合には

- 本機の BD レコーダー機能で有料放送を録画する場合には、本機に付属している B-CAS カードを有料放送の受信契約時に登録し、本機に挿入してください。

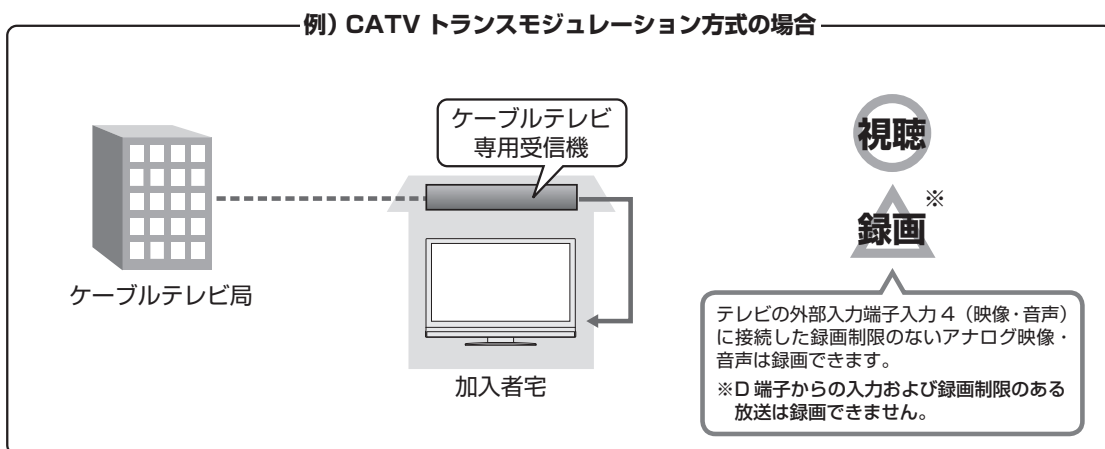
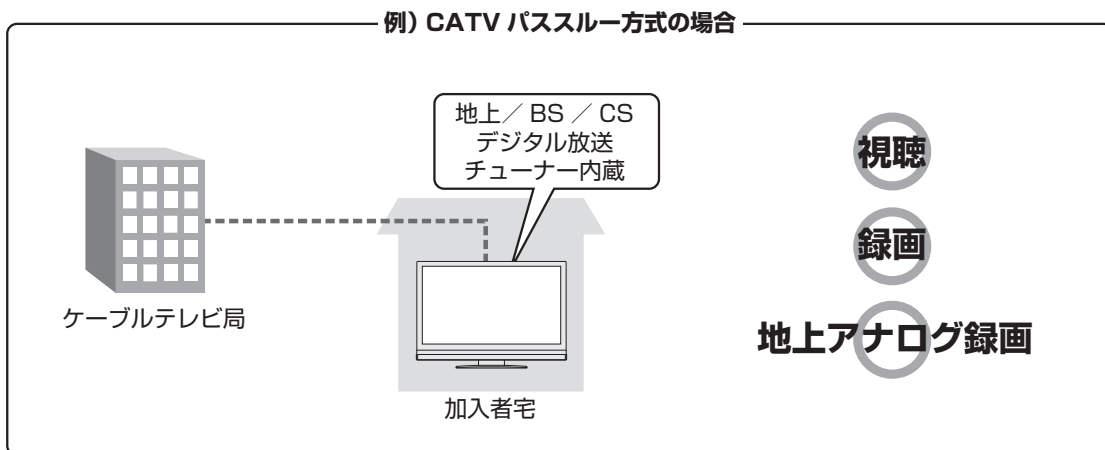
お手持ちのデジタルチューナー付きレコーダーで有料放送の受信契約をしている場合には

- デジタルチューナー付きレコーダーを使って有料放送を録画するときは、有料放送の受信契約時に登録したB-CASカードがレコーダーに挿入されていることをご確認ください。受信契約時に登録した B-CAS カードがレコーダーに挿入されていないと有料放送を録画することはできません。

有料放送で登録した
B-CASカードは
レコーダーに挿入します。

- レコーダーで受信している内容を本機で視聴したいときは、リモコンの入力切換ボタンでレコーダーが接続されている外部入力に切り換えてください。
- 有料放送を録画しながら別の有料放送を視聴したい場合は、複数の有料受信契約をする必要があります。

ケーブルテレビ(CATV)によるデジタル放送受信世帯のお客様へのご案内

- 放送の受信環境によっては、本機で録画できない場合があります。
- ケーブルテレビ会社の専用受信機の受信機能や、CATV 放送のサービス方式についての詳しいことは、ご加入のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

ケーブルテレビ(CATV)を受信している場合の視聴・録画の条件(例)

おしらせ

IPTV をご視聴になるときは

- 本機で IPTV をご視聴になる場合は、ご家庭のブロードバンド環境を確認し、本機の LAN 端子(通常)との接続と設定が必要です。
  詳しくは「双方向通信／インターネット／ホームネットワークの準備をする」(▶ **229** ページ)をご覧ください。

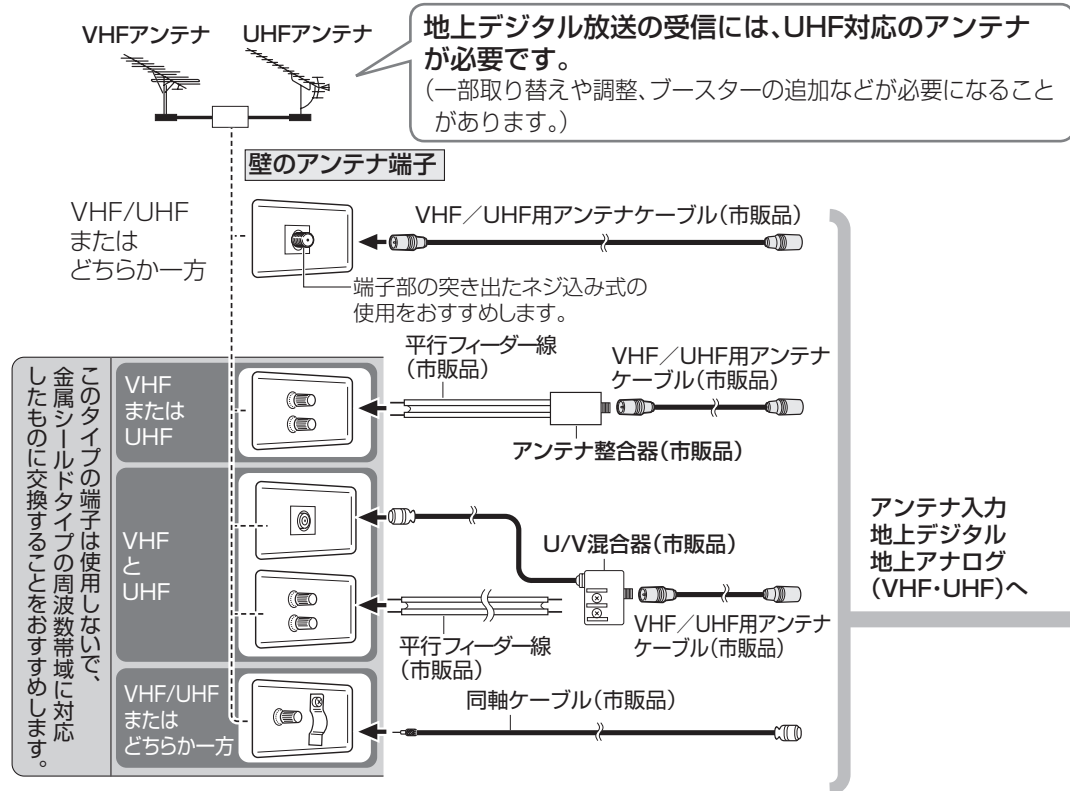
BD-LIVE(BD ライブ)対応の BD ビデオをご視聴になるときは

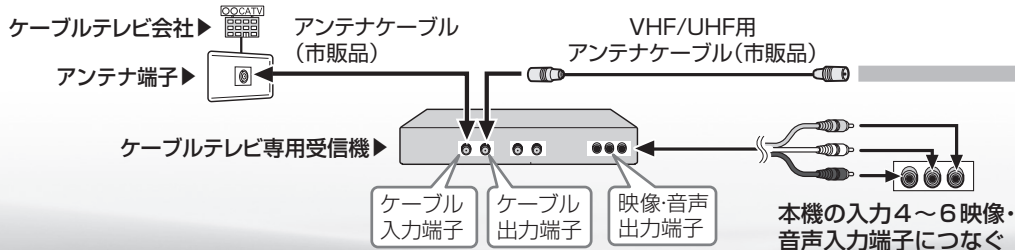
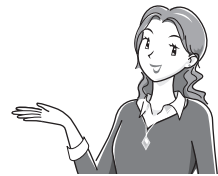
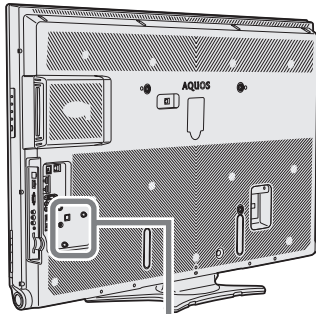
- BD ビデオには BD-LIVE(BD ライブ)という新しい再生機能に対応したものがあります。インターネットに接続して特典映像などのさまざまな情報をダウンロードすることができます。
- ご視聴になる場合は、ご家庭のブロードバンド環境を確認し、本機の LAN 端子(BD-LIVE 専用)との接続と設定が必要です。
  詳しくは「BONUS VIEW™、BD-LIVE 対応の BD ビデオを見る」(▶ **162** ページ)をご覧ください。

アンテナをつなぐ（テレビだけをつなぐ場合）

● 録画機器もつなぐ場合は、「アンテナをつなぐ（レコーダー（録画機器）もつなぐ場合）」（▶ **48 ～ 49** ページ）をご覧ください。

地上デジタル・地上アナログ放送用アンテナとつなぐ

● 地上デジタル放送と、地上アナログ放送（従来の放送）を見るための接続です。
● BS デジタル放送や 110 度 CS デジタル放送も見る場合は、「BS・110 度 CS デジタル放送用アンテナとつなぐ」（▶ **47** ページ）をご覧ください。
● 一部、追加の部品が必要になる場合があります。販売店にご相談ください。

ケーブルテレビを見るときは

● **接続については、CATV（ケーブルテレビ）会社にお問い合わせください。**
● CATV（ケーブルテレビ）会社が地上デジタル放送をパススルー方式（▶ **65** ページ）で再送信している場合は、地上デジタル放送が楽しめます。
- 本機で受信できるのは、「UHF帯」、「VHF帯」、「ミッドバンド(MID:C13～C22)帯」、「スーパーハイバンド(SHB:C23～C62)帯」です。トランスモジュレーション方式の場合、ケーブルテレビ専用受信機を介して視聴できます。

放送の種類により以下のアンテナが必要です。
地上デジタル放送……………………………UHFアンテナ
BSデジタル／110度CSデジタル放送 ····BS･110度CSデジタル共用アンテナ

▼本体背面

ケーブルをつなぐときは、スパナなどの工具で強く締め付けないでください。

アンテナ入力
地上デジタル
地上アナログ
（VHF･UHF）

アンテナ入力
BS･110度
CSデジタル

▶アンテナ端子部

録画機器をつなぐ場合のアンテナのつなぎかたは…
▶次ページをご覧ください。

BS・110 度 CS デジタル放送用アンテナとつなぐ

- ご使用の環境により、以下のどちらかの接続を行ってください。
- かんたん初期設定では、「BS/CS アンテナ設定」で「する」を選択します。（▶ **58** ページの手順 **5**）

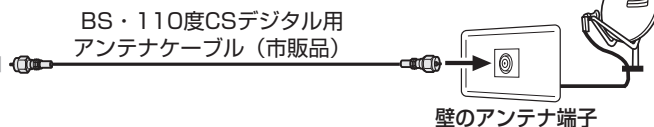
おしらせ

- **接続をやり直すときは、ディスクを取り出し、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。（▶ 51 ページ）**
  （BS・110 度 CS デジタルアンテナ入力端子は、BS・110 度 CS デジタルアンテナに取り付けられた BS・110 度 CS コンバーターに +15V ／ +11V の電源を供給する働きも持っています。この電源は、アンテナに対して電源を供給するためのものです。本機とアンテナの間にブースターなどの機器を取り付けて使用される場合は、専用の電源が必要です。）
- 市販のブースター、アンテナ線や分配器をご使用になる場合は、110 度 CS 帯域（2150MHz）まで対応しているものをご使用ください。（アンテナ線は S-5C-FB など。）詳しくはお買いあげの販売店にご相談ください。
- 従来の BS アナログアンテナでは、110 度 CS デジタル放送は受信できません。また、BS デジタル放送も場合によっては映らないことがあります。

BS・110 度 CS デジタル共用アンテナを個人で設置しているとき
（BS・110 度 CS デジタルと VHF/UHF が別の端子のとき）

BS・110度CSデジタル共用アンテナ

BS・110度CSデジタル用
アンテナケーブル（市販品）

壁のアンテナ端子

マンションなどの共聴システムで受信するとき
（BS・110 度 CS デジタルと VHF/UHF が混合されているとき）

BS/UV分波器（市販品）は金属シールドタイプで110度CS帯域（2150MHz）まで対応したものをご使用ください。

BS・110度CS
デジタル共用
アンテナ

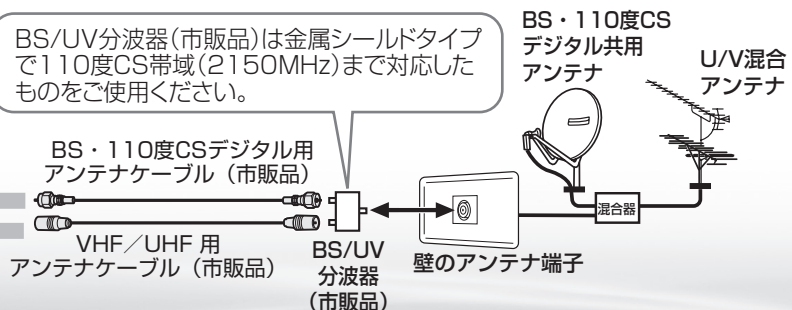
U/V混合
アンテナ

BS・110度CSデジタル用
アンテナケーブル（市販品）

VHF／UHF 用
アンテナケーブル（市販品）

BS/UV
分波器
（市販品）

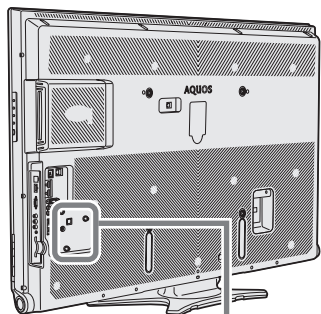
壁のアンテナ端子

はじめに
準備
番組を見る
BDレコーダー機能で録画・予約録画
BDレコーダー機能で再生
レコーダー・プレーヤー・パソコンなどにつなぐ
ファミリンクで録画・再生
本機の機能の活用
故障かな・仕様・寸法図など
English Guide

アンテナをつなぐ（レコーダー（録画機器）もつなぐ場合）

デジタルチューナー搭載のレコーダー（録画機器）の場合

アンテナケーブルは、できるだけ太くて短いアンテナケーブルをお使いください。アンテナケーブルが長くなるほど受信した電波の強度が弱くなります。

地上デジタルと地上アナログの入力が同じ端子の録画機器につなぐとき

▼本体背面

アンテナ入力
BS・110度
CSデジタル

アンテナ入力
地上デジタル
地上アナログ
（VHF・UHF）

◀アンテナ端子部

ケーブルをつなぐときは、スパナなどの工具で強く締め付けないでください。

VHF/UHF用
アンテナケーブル
（市販品）

BS・110度CS用
アンテナケーブル
（市販品）

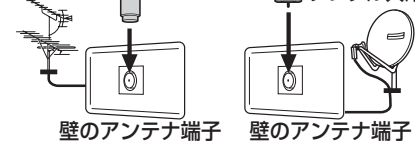
▶録画機器

電源　VHF/UHF アンテナ 入力 出力　BS/110度CS デジタルアンテナ 入力 出力

VHF/UHF
混合アンテナ

VHF/UHF用
アンテナケーブル
（市販品）

BS・110度CS用
アンテナケーブル
（市販品）

BS・110度CS
デジタル共用アンテナ

壁のアンテナ端子　壁のアンテナ端子

● 壁のアンテナ端子が VHF/UHF/BS 混合の場合は、次のページをご覧ください。

地上デジタルと地上アナログの入力が別々の端子の録画機器につなぐとき

▼本体背面

アンテナ入力
BS・110度
CSデジタル

アンテナ入力
地上デジタル
地上アナログ
（VHF・UHF）

◀アンテナ端子部

ケーブルをつなぐときは、スパナなどの工具で強く締め付けないでください。

VHF/UHF用
アンテナケーブル
（市販品）

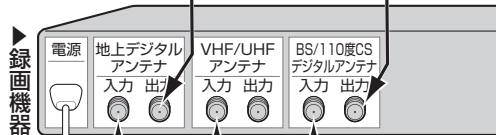
BS・110度CS用
アンテナケーブル
（市販品）

▶録画機器

電源　地上デジタル アンテナ 入力 出力　VHF/UHF アンテナ 入力 出力　BS/110度CS デジタルアンテナ 入力 出力

VHF/UHF用
アンテナケーブル
（市販品）

BS・110度CS用
アンテナケーブル
（市販品）

分配器
（市販品）

VHF/UHF
混合アンテナ

VHF/UHF用
アンテナケーブル
（市販品）

BS・110度
CSデジタル
共用アンテナ

壁のアンテナ端子　壁のアンテナ端子

デジタルチューナーを搭載していないレコーダー（録画機器）の場合

壁のアンテナ端子がVHF/UHF/BS 混合の場合

アンテナケーブルは、できるだけ太くて短いアンテナケーブルをお使いください。アンテナケーブルが長くなるほど受信した電波の強度が弱くなります。

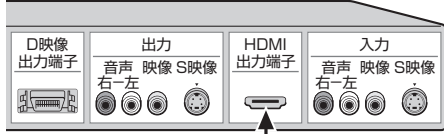
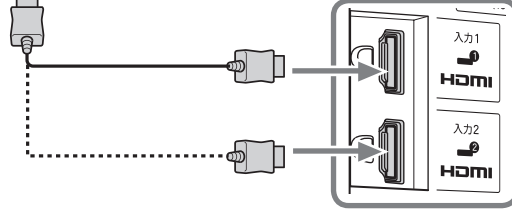
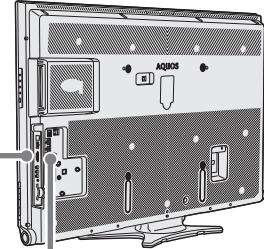
● 壁のアンテナ端子が VHF/UHF/BS 混合の場合は、右記をご覧ください。

● 壁のアンテナ端子が VHF/UHF/BS 混合の場合は、BS/UV 分波器（市販品）を使って、VHF/UHF 用と BS・110 度 CS デジタル用の信号を分けてから録画機器やテレビにつなぎます。

BS/UV 分波器（市販品）は金属シールドタイプで 110 度 CS 帯域（2150MHz）まで対応したものをご使用ください。

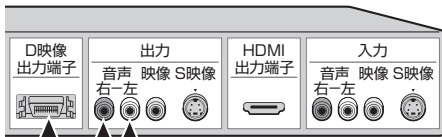
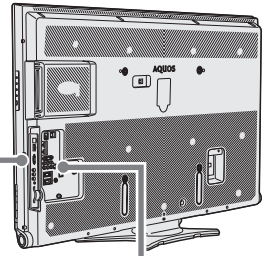
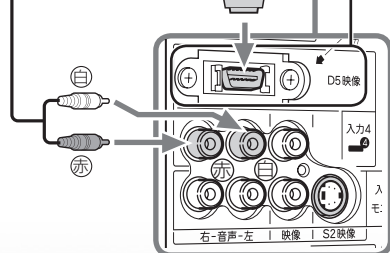
レコーダーやプレーヤーをつなぐ

BD・DVD・ビデオテープなどの映像を見るためのつなぎかたです。アンテナのつなぎかたは **46 ～ 49** ページをご覧ください。

HDMI 出力端子のある録画再生機器につなぐ場合の接続例

▼録画再生機器（地上デジタルと地上アナログの入力が同じ端子の例）　▼本体背面

- 本機の HDMI 入力端子は 1080p の信号入力に対応しています。1080p の映像信号を入力するときは、HIGH SPEED（カテゴリー 2）に対応した HDMI ケーブルをお使いください。
- HDMI ケーブルは、必ず市販の HDMI 規格認証品（カテゴリー 2 推奨）をご使用ください。規格外のケーブルを使用した場合、映像が映らない、音が聞こえない、ファミリンクが動作しないなど、正常な動作ができません。

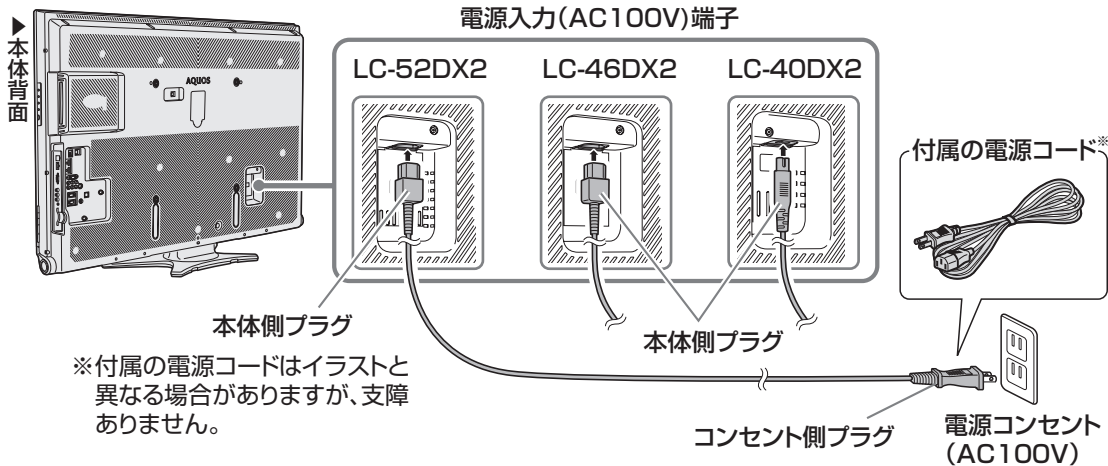
AQUOS レコーダーと接続している場合は

- 「ファミリンク設定」をします。▶ **207** ページ

D 映像出力端子のある録画再生機器につなぐ場合の接続例

▼録画再生機器（地上デジタルと地上アナログの入力が同じ端子の例）　▼本体背面

電源コードをつないでケーブルやコードをまとめる

電源コードをつなぐ

⚠注意　接続が終わるまでは、電源を入れないでください。

● 付属の電源コードの本体側プラグを、本体背面右側の「電源入力（AC100V）端子」に接続し、コンセント側プラグをご家庭のコンセントに接続します。

・本機は主電源コンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにしてください。

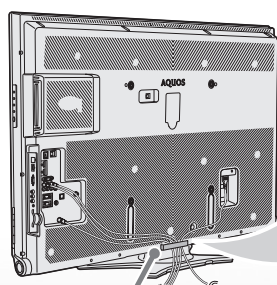
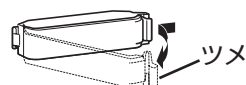
重要

- 電源コードのプラグは抜けないように、確実に接続してください。
- 電源プラグは、コンセントに差し込んだ直後に抜かないでください。まれに、初期設定の状態に戻り、「番組予約」などが消去されます。このような場合、必要に応じて再度、設定を行ってください。（再設定できないものもあります。）
- 使用中にいきなり電源プラグを抜いたり、電源をしゃ断したりしないでください。故障の原因になります。
- 録画可能なBD-REまたはBD-Rを挿入した状態で電源コードを抜かないでください。ディスクが読めなくなったり、読み込みに時間がかかる場合があります。ディスクの読み込みが完了するまで 10 分以上かかる場合もあります。

つないだケーブルやコードをまとめる

● 本機につないだケーブルが誤って強く引かれた場合、端子部が破損するおそれがあります。端子部の負荷を軽減して破損防止を図るために、ケーブル類は必ず付属のケーブルクランプで固定してください。

1　付属のケーブルクランプを取り付ける

2　電源コードやケーブルを、ケーブルクランプに通す

ケーブルをケーブルクランプに通します。

3　端子からケーブルが抜けていないか確認する

本機を固定して転倒を防ぐ

⚠注意

- 地震等での製品の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止対策を行ってください。
- 転倒･落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒･落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適切な補強を施してください。
  また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものですが、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

● 転倒防止を行う前にすべての接続を済ませておいてください。

壁や柱に固定する

付属の転倒防止用部品

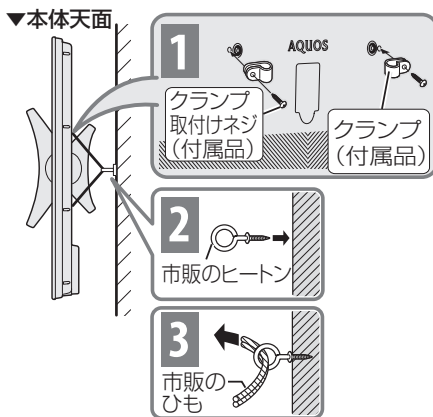
クランプ×2

クランプ
取付けネジ×2

1 付属の転倒防止用クランプ(2個)を、付属のクランプ取付けネジで本機に取り付ける

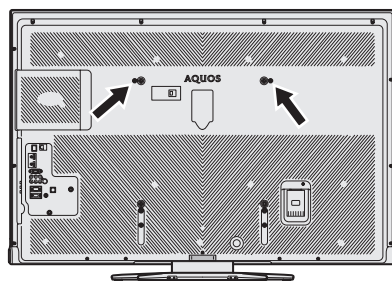
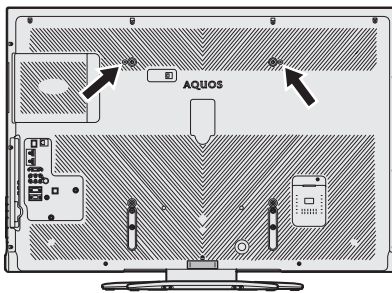
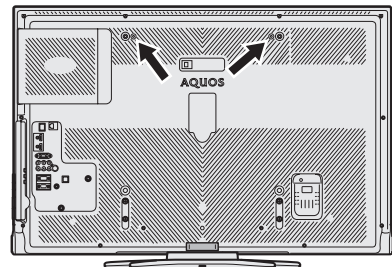
- 「転倒防止クランプを取り付ける位置」(▶**右記**)をご覧ください。

2 市販の金具(ヒートン)を壁または柱に取り付ける

- ひもを固定する金具は、ひもがはずれない形状のヒートンをご使用ください。
- 取り付けた金具が容易にはずれないか確認してください。

3 本機に取り付けたクランプと、壁または柱に取り付けた金具(ヒートン)の穴に、市販の丈夫なひもを通して本機を固定する

転倒防止クランプを取り付ける位置

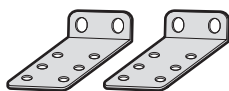
- クランプを取り付けるときは、同じ形状のネジ2本を使います。

LC-52DX2

LC-46DX2

LC-40DX2

テレビ台などに固定する

LC-52DX2/LC-46DX2 の場合

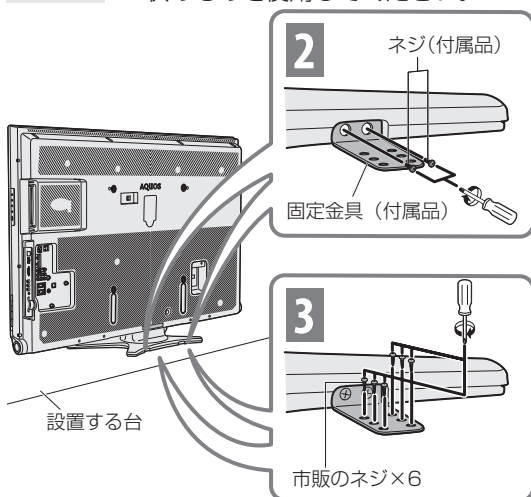
重 要

- 必ず 2 人以上で作業を行ってください。
- 台の上に設置する場合は、本機の重量に耐えうる、十分な幅と奥行きのある、堅固で転倒しにくい台をお使いください。
- 設置する台がガラスや金属など市販のネジで固定できない場合は、壁や柱に固定してください。（▶ **52** ページ）

付属の転倒防止用部品

固定金具×２　　ネジ×４

1 設置する台などの上に位置決めする

2 付属の固定金具を取り付ける

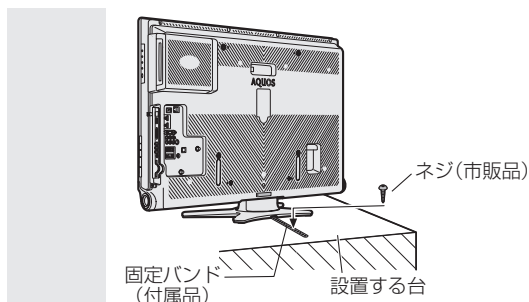
3 市販のネジを使い、固定金具の穴に上からネジを取り付けて固定する

- 市販のネジは、確実に固定できる形状のものを使用してください。

LC-40DX2 の場合

重 要

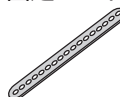
- 必ず 2 人以上で作業を行ってください。
- 台の上に設置する場合は、本機の重量に耐えうる、十分な幅と奥行きのある、堅固で転倒しにくい台をお使いください。
- 設置する台がガラスや金属など市販のネジで固定できない場合は、壁や柱に固定してください。（▶ **52** ページ）

市販のネジを使い、固定バンドの穴に上からネジを取り付けて固定する

- 市販のネジは、確実に固定できる形状のものを使用してください。

スタンドに固定バンドを取り付けるには

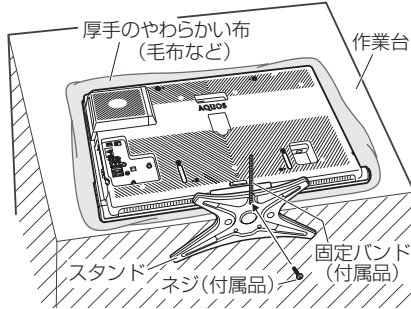
● スタンドに固定バンドを取り付ける前に、本機にスタンドを取り付けたときは、次の方法で固定バンドを取り付けてください。

付属の転倒防止用部品

固定バンド　　ネジ※

※ネジは 2 種類あります。クランプ取付ネジと間違わないようにしてください。
固定バンド用のネジは 1 本のみ、クランプ取付ネジは、同じ形状のものが 2 本あります。

1 作業をする平らな台の上に厚手の柔らかい布などを敷き、その上に画面を下にしたうつ伏せの状態で本機を置く

次のページに続く

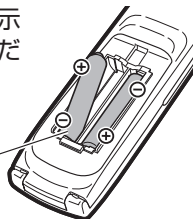
2 スタンド底面に、転倒防止用の固定バンドを取り付ける

3 本機を起こし、設置する台などの上に位置決めする

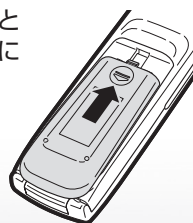
電源を入れる

リモコンに乾電池を入れる

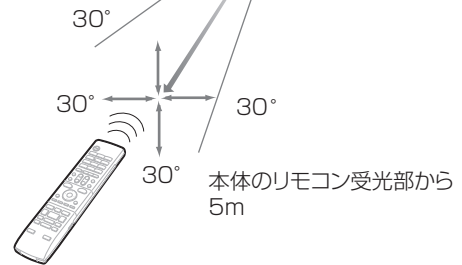
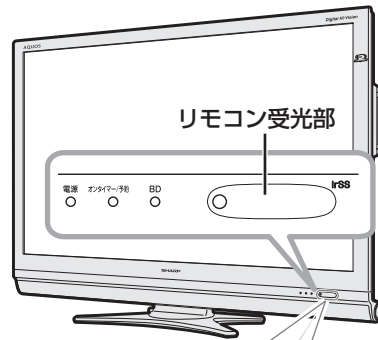
1 リモコン裏側の電池カバーを開ける

2 付属の単３形乾電池（アルカリ）を入れる

・電池は、⊕⊖の表示どおりに入れてください。

3 電池カバーを元どおりに閉める

・カバーは、カチッと音がするまで確実に閉めてください。

おしらせ

乾電池を交換するときは
・乾電池は単３形のアルカリ乾電池をご使用ください。

リモコンで操作できる範囲

リモコン送信の範囲と距離、本体のリモコン受信の範囲と距離を合わせて確実に１個のリモコンボタンを押してください。

重 要

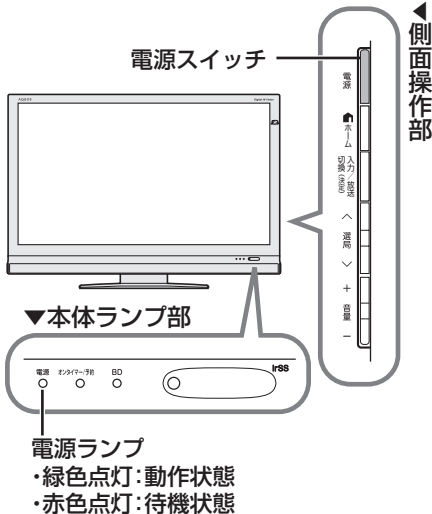
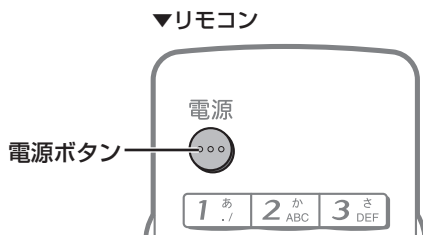
リモコン使用上のご注意
・リモコンには衝撃を与えないでください。また、水にぬらしたり湿度の高いところに置かないでください。
・リモコン番号（▶ **123** ページ）を設定する機能があるため、リモコンが付属している本機以外の AQUOS では正しく操作できない場合があります。

リモコンを操作しても時々反応しなくなったときなどは、乾電池の寿命が考えられます。
早めに新しい乾電池と交換してください。

電源を入れる

● あらかじめケーブル類を接続してください。

1 本体の側面操作部にある電源スイッチを押し、電源を入れる

・電源ランプが緑色に点灯します。

2 リモコンの電源ボタンで電源を入／切する

重 要

- 録画可能な BD-RE または BD-R を挿入した状態で電源コードを抜かないでください。ディスクが読めなくなったり、読み込みに時間がかかる場合があります。ディスクの読み込みが完了するまで10 分以上かかる場合もあります。

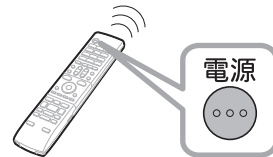
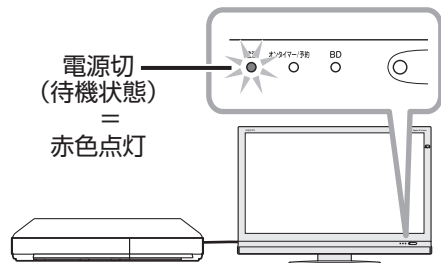
おしらせ

- 本機は電源待機状態のときでも、デジタル放送局と通信を行います。
- 本機の電源を切る際、電源が切れるまでにしばらく時間がかかることがあります。（本機内部の情報をメモリーに記憶するための時間です。）
- 電源コードを接続している場合は、本体の電源スイッチで電源を切っても微少な電力が消費されています。

クイック起動機能について
（▶ 106 ページ）

- リモコンで電源を入れたとき、起動時間を短縮してすぐに操作できる状態にする機能です。（この機能を使用すると待機時の消費電力が増えますので、あらかじめ同意の上でご使用ください。）

録画中の電源（切）について

- 本機のBD レコーダー機能で録画する場合、本体の電源スイッチで電源を切らないでリモコンの電源ボタンで電源を切る（待機状態にする）ようにしてください。

テレビを見るための設定をする

● ホームメニューの「設定」から、本機をお使いになるための様々な設定を行うことができます。

設定項目の一覧

● 各機能の詳細や操作のしかたは、それぞれのページをご覧ください。
● ここでは、説明のために「設定」で表示されるすべてのメニュー項目を記載していますが、実際にすべての項目が同時に表示されることはありません。本機の状態により必要な項目が表示されます。

設定

視聴準備

放送を視聴するための設定項目です。

安心・省エネ

電力資源を有効に使用するための設定項目です。

お知らせ

本機が受信した情報を確認するための項目です。

映像調整

映像をお好みの状態に調整する項目です。

音声調整

音声をお好みの状態に調整する項目です。

機能切換

本機のいろいろな機能の設定項目です。

・ホームメニュー項目の詳細については「ホームメニュー項目の一覧」（▶**320**～**327**ページ）をご覧ください。

放送を受信するために最初に必要な設定（かんたん初期設定）について

● お買いあげ後、B-CAS カードを入れて、初めて電源を入れると「かんたん初期設定」の画面が表示されます。「かんたん初期設定」は画面を見ながら操作・設定してください。受信できる地上デジタル・地上アナログ放送のチャンネルが設定されます。

- ネットワーク機能（インターネットや IPTV など）をお使いになる場合は、ブロードバンドルーターと LAN 端子を市販の LAN ケーブルで接続してください。

かんたん初期設定を中断した場合は…

- 初めて電源を入れて「かんたん初期設定」を行っている途中で電源が切れた場合は、次に電源を入れた場合に再度「かんたん初期設定」画面になります。
- 「かんたん初期設定」をリモコンの終了ボタンを押して終了した場合は、次に電源を入れても「かんたん初期設定」画面が表示されません。ホームメニューから選んで「かんたん初期設定」をやり直してください。（▶**59**ページ）

おしらせ

- 設定中に戻るボタンで一つ前の画面に戻れます。

1 メッセージを確認して決定する

決定 を押す

接続確認 / 地域設定 / 郵便番号設定 / チャンネル設定 / BS/CSアンテナ設定 / IPTV設定 / 完了確認

アンテナ線の接続はお済みですか?
お済みでない場合は、一旦電源を切り、
「かんたんガイド」、または「取扱説明書」に
従って正しく接続してください。

AVポジションを「標準」に設定しました。
ご家庭での視聴に適した映像・音声設定です。

次へ

途中で設定を中止するときは
- 電源をお切りください。再度電源を入れると「かんたん初期設定」画面が表示されます。

B-CAS カードが正しく挿入されていないときは
- 「B-CAS カードを正しく挿入してください。」と表示されます。
  電源を切り、▶ **43** ページの手順に従って B-CAS カードを挿入してください。

リモコンと本体のリモコン番号が異なるときは
- 「リモコンと本機のリモコン番号が違うため操作できません。」と表示されます。
  ▶ **123** ページの手順に従ってリモコン番号の設定を行ってください。

◆地域を設定する

2 ①お住まいの地域を選ぶ

で選び 決定 を押す

接続確認 / 地域設定 / 郵便番号設定 / チャンネル設定 / BS/CSアンテナ設定 / IPTV設定 / 完了確認

お住まいの地域を設定してください。

北海道	東北
関東	甲信越／北陸
中部／東海	近畿
中国／四国	九州／沖縄

②お住まいの都道府県または地域を選ぶ

◆郵便番号を入力する

3 郵便番号を入力する

1 〜 10 で入力し 決定 を押す

接続確認 / 地域設定 / 郵便番号設定 / チャンネル設定 / BS/CSアンテナ設定 / IPTV設定 / 完了確認

お住まいの郵便番号を入力してください。

1 6 2 - 8 4 0 8

次へ

- 「0」を入力するときは 10 を押します。

◆チャンネルを設定する

4 「する」を選ぶ

で選び

決定 を押す

接続確認 / 地域設定 / 郵便番号設定 / チャンネル設定 / BS/CSアンテナ設定 / IPTV設定 / 完了確認

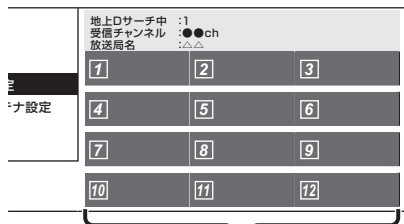
地上デジタル放送と地上アナログ放送の
チャンネル設定をしますか?
設定しない場合は、「しない」を選択してください。
現在の地域設定は○○です。

する　しない

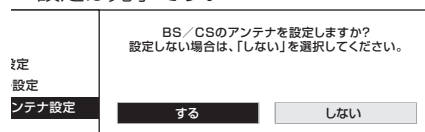
- チャンネル設定が終わるまでしばらくお待ちください。

次のページに続く

▼

- 自動的に地上デジタル放送・地上アナログ放送のチャンネルが登録されます。

1 ～ 12 は、リモコンの**数字ボタン（チャンネルボタン）**に対応しています。

- 次の画面が表示されたらチャンネル設定は完了です。

BS／CSのアンテナを設定しますか?
設定しない場合は、「しない」を選択してください。
設定 / 設定 / ンテナ設定
する　しない

おしらせ

チャンネル設定の途中で「地上デジタル放送のチャンネルが見つかりませんでした。」と表示されたときは

- **地上デジタル放送を受信できる地域の場合**
  本体の電源スイッチでいったん電源を切ってVHF/UHF アンテナの接続を確認してください。電源を入れ直すとかんたん初期設定の画面が表示されます。
  なお、地上デジタル放送の受信には、UHF アンテナが必要です。
- **また、地上デジタル放送を受信できない地域の場合**
  決定ボタンを押してください。アナログ放送のチャンネル設定が始まります。

チャンネル設定の途中で「地上アナログ放送のチャンネルが見つかりませんでした。」と表示されたときは

- **地上アナログ放送を受信する場合**
  本体の電源スイッチでいったん電源を切ってVHF/UHF アンテナの接続を確認してください。電源を入れ直すとかんたん初期設定の画面が表示されます。
- **地上アナログ放送を受信しない場合**
  決定ボタンを押して手順 5 へ進みます。

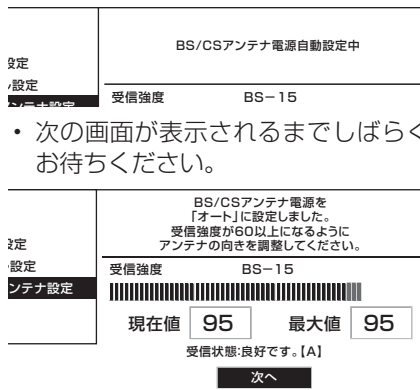
◆ BS･CS アンテナを設定する

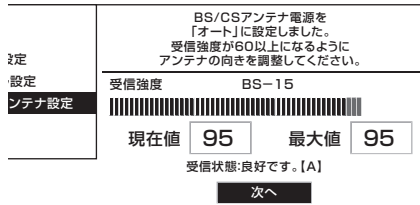
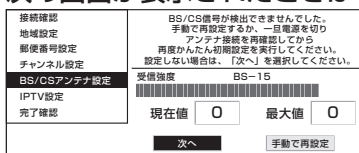
5 「する」または「しない」を選ぶ

で選び
決定 を押す

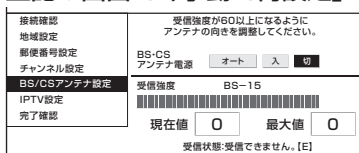
- BS・CS アンテナを接続しない場合は「しない」を選び、次ページの手順 7 に進みます。

BS／CSのアンテナを設定しますか?
設定しない場合は、「しない」を選択してください。
設定 / 設定 / ンテナ設定
する　しない

- 「する」を選んだときは、次の画面が表示されます。

- 次の画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

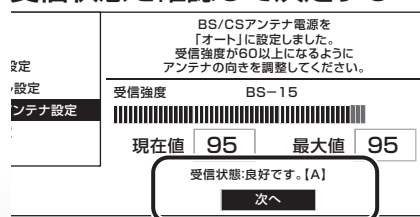
BS/CSアンテナ電源を
「オート」に設定しました。
受信強度が60以上になるように
アンテナの向きを調整してください。
受信強度 BS−15
現在値 95　最大値 95
受信状態:良好です。【A】
次へ

次の画面が表示されたときは

- **BS・CS アンテナを接続していないとき**
  「次へ」を選び決定ボタンを押してください。
- **BS・CS アンテナを接続しているとき**
  本体の電源スイッチでいったん電源を切って、BS・110 度 CS デジタル用アンテナケーブルの接続を確認してください。（▶ **47** ～ **49** ページ）
  電源を入れ直すとかんたん初期設定の画面が表示されます。

上記の画面で「手動で再設定」を選んだときは

- 左右カーソルボタンで、BS・CS アンテナに電源を供給するかを選び、決定ボタンを押したあと、「次へ」で決定ボタンを押すと、次ページの手順 7 の画面が表示されます。

アンテナ接続を変更したときや移転などでBS・110 度 CS デジタル用アンテナの電源の設定を変えるときは（▶ 61 ～ 62 ページ）

6 受信状態を確認して決定する

を押す

- 「受信状態：良好です。【A】」と表示されないときは次ページの対処が必要です。

「受信状態:良好です。【A】」と表示されないときは

（▶ **309**ページもご覧ください。）

画面に表示されるメッセージ例	対処のしかた
受信強度が 60 以下です。【B】	受信強度が 60 以上になるようにアンテナの向きや接続を調整してください。
アンテナ信号が強すぎます。【C】	アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の取り付けが必要です。販売店などにご相談ください。
アンテナ信号が不足しています。【C】	ブースターの調整や取り付けが必要です。販売店などにご相談ください。
アンテナ信号が良くありません。【D】	本体の電源スイッチでいったん電源を切り、アンテナ線を確認してください。（▶ **47** ～ **49** ページ）
受信できません。【E】	本体の電源スイッチでいったん電源を切り、アンテナの設置やアンテナ線を確認してください。（▶ **47**～**49**ページ）

7 IPTV サービスを利用する場合は「する」を選ぶ

で選び

を押す

- **IPTV サービスを利用するには**
  IPTV サービスの契約、光回線の契約、ブロードバンド環境が必要です。本機をブロードバンド環境につないでおいてください。

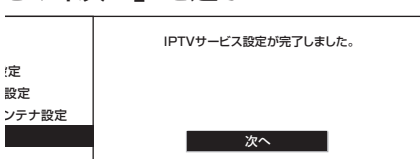
IPTVサービスの設定をしますか?
（IPTVサービスを提供する
光ファイバー回線の契約が必要です。）

する　しない

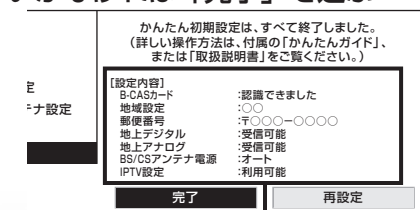
8 IPTV サービス設定が完了したら、「次へ」を選ぶ

を押す

IPTVサービス設定が完了しました。

次へ

9 設定された内容を確認し、間違いがなければ「完了」を選ぶ

で選び

を押す

設定内容が表示されますので確認してください。

- これで設定は完了です。

映りかたを確かめましょう。▶79ページをご覧ください。

おしらせ

- デジタル放送の双方向番組を利用する場合は、双方向通信のための接続と設定が必要です。（▶ **229** ～ **235** ページ）
- B-CAS カードの挿入や電話回線の接続が正しく行われているかをテストできます。（「システム動作テスト」▶ **234** ページ）

引っ越しなどで「かんたん初期設定」をやり直す場合は

1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

を押し

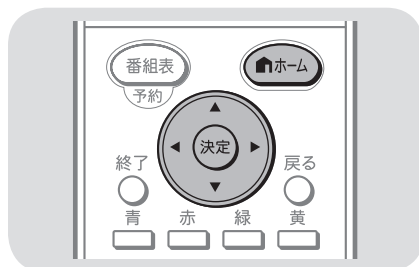
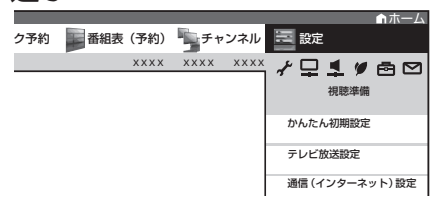
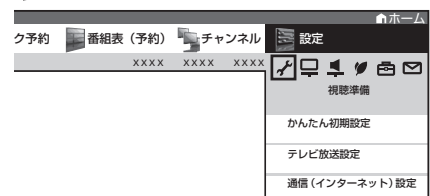
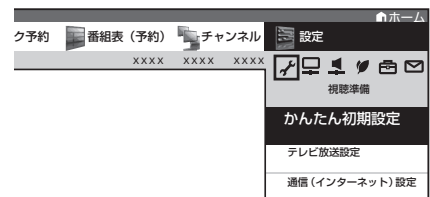
で選ぶ

2 （視聴準備）を選ぶ

で選ぶ

3 「かんたん初期設定」を選ぶ

で選び

決定 を押す

- 「かんたん初期設定」が表示されますので、かんたん初期設定を行ってください。（▶ **57** ページ）

次のページに続く

「かんたん初期設定」を行っても受信できない放送があるときや設定の変更をしたい場合

● 次の設定を行ってください。

デジタル放送用アンテナの設定をする	• デジタル放送のアンテナの向きの調整や信号の強さのテスト、BS・110 度 CS デジタル放送用アンテナへの電源供給の設定を行います。（▶ **61** ページ）
お住まいの地域で放送されている地上デジタル放送を受信するために（地域選択／郵便番号設定）	• デジタル放送の地域情報を視聴するために、お住まいの地域を選んで郵便番号を入力します。（▶ **63** ページ）
地上デジタル放送のチャンネルを追加したり設定をやり直すときは	• 受信できる地上デジタル放送のチャンネルを探します。（▶ **65** ページ）
デジタル放送のチャンネルの個別設定	• デジタル放送のチャンネルの設定を個別に変更することもできます。（▶ **67** ページ）
地上アナログ放送のチャンネルを追加したり設定をやり直すときは	• 地上アナログ放送（従来の VHF･UHF 放送）の受信設定です。工場出荷時は、東京地区で受信できる VHF チャンネルが設定されています。 • 受信できる地上アナログ放送のチャンネルを探します。（▶ **69** ページ）
地上アナログ放送のチャンネルの個別設定	• 地上アナログ放送のチャンネルの受信状態や設定を個別に変更することもできます。（▶ **77** ページ）
CATV（ケーブルテレビ）のチャンネルの設定	• CATV チャンネルのスキップを解除します。（▶ **78** ページ）

CS チャンネルのネットワーク情報を取得する（110 度 CS デジタル放送を初めて選局するとき）

おしらせ

選局したい放送局のチャンネル番号が表示されない場合

• 数字ボタン（チャンネルボタン）1 または 2 を押し、目的のチャンネル番号が表示されるまで、約 5 秒待ちます。（1 または 2 を押したとき、「現在放送されていません。[E203]」と表示される場合がありますが、そのままの状態で約 5 秒待ってください。そのまま待つことで CS ネットワーク情報を取得することができます。）

● CS ネットワーク情報を取得するため、次の手順で操作してください。

1 CS デジタル放送を選ぶ

CS を押す

2 100ch を選んで、約 5 秒待つ

1 を押す

3 001ch を選んで、約 5 秒待つ

• 2009 年 7 月現在 CS001ch は放送されていません。

2 を押す

4 選局したい放送局のチャンネル番号が表示されることを確認する

を押す

デジタル放送用アンテナの設定をする

- デジタル放送用のアンテナの接続を変更したときなどは、再度アンテナ設定画面を見ながらアンテナ電源の設定やアンテナの向きを調整します。（初めて設置するときや引っ越したときなどは、「かんたん初期設定」（▶ **57・59** ページ）を行ってください。）

重要

- アンテナ電源供給の設定は、アンテナに対して電源を供給するためのものです。もし、本機とアンテナの間にブースターなどの機器を接続して使用される場合は、専用の電源が必要です。

おしらせ

アンテナ設定画面について

- 共聴アンテナなどに接続したときの「BS・CS アンテナ電源」の設定を誤って「入」にしたり、新しくアンテナの接続を変更したりした場合で、「アンテナ線の接続や設定に不具合がありますのでアンテナ電源を「切」にしました。受信できない場合は、本体の電源を切ってから、アンテナの接続を確認してください。」などのお知らせが表示されたときは、電源を入れ直してください。
- アンテナ設定画面は無操作のまま 1 分経過しても消えません。消すときは、終了ボタンを押してください。

BS・110度CSデジタル用アンテナの電源の設定を変える／電波の強さ(受信強度)を確認する

（例） BSデジタル放送のアンテナ設定をする

1 BS を押す

BS デジタル放送を選ぶ

- 画面に「放送が受信できません」と表示されても、設定は行えます。

2 ホームを押し、で選ぶ

ホームメニューから「設定」を選ぶ

3 で選ぶ

（視聴準備）を選ぶ

4 で選び 決定を押す

「テレビ放送設定」を選ぶ

5 で選び 決定を押す

「アンテナ設定」を選ぶ

次のページに続く

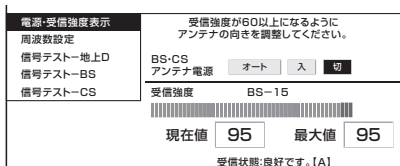
6 「電源・受信強度表示」を選ぶ

で選び

を押す

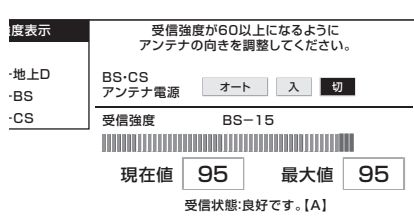
◆アンテナに電源を供給するための設定

7 「オート」「入」「切」のいずれかを選ぶ

で選ぶ

オート	本機の電源が入っているとき、アンテナ電源の設定を自動的に制御してアンテナに電源を供給します。（リモコンで電源を切ったときは、アンテナ電源も切れた状態になります。）
入	本機の電源が入っているとき、アンテナに電源を供給します。リモコンで本機の電源を切ったときも、常にアンテナ電源は「入」になります。「オート」を選んでBSデジタル放送が受信できたりできなかったりするときは、「入」を選びます。
切	アンテナ電源が常に「切」になります。共聴アンテナに接続しているときなど、電源を供給しないときに選びます。

◆受信強度の調整

8 受信強度が最大になるようにアンテナの向きを調整する

度表示
-地上D
-BS
-CS
受信強度が60以上になるように
アンテナの向きを調整してください。
BS･CS
アンテナ電源　オート　入　切
受信強度　BS−15
現在値 95　最大値 95
受信状態:良好です。【A】

- 受信強度が 60 以上になるように、アンテナの向きを調整してください。（アンテナの向きの調整が済んでいる場合は、この手順は必要ありません。）

9 調整が終わったら決定ボタンを押す

を押す

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

- 手順 8 で「受信状態：良好です。【A】」と表示されないときは、「アンテナ受信強度に関するエラーメッセージ」（▶ **309** ページ）をご覧になり適切な処置を行ってください。
- 地上デジタル放送にはアンテナ電源入／切の設定はありません。
- 受信強度表示はアンテナの角度の最適値を確認するためのものです。表示される数値などは、具体的な受信強度などを示すものではありません。（表示される数値は、受信 C/N※の換算値です。）
  ※受信 C/N とは放送に関する信号とノイズなどの不要な信号の割合です。

信号テストをするときは

（例） BSデジタル放送の信号テストをする

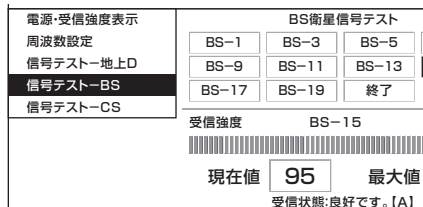
1 左記の手順 6 で「信号テストーBS」を選ぶ

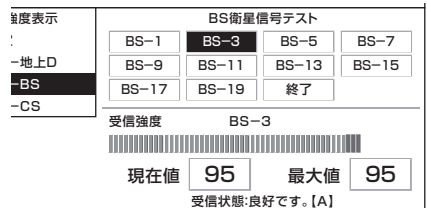
で選び

を押す

電源･受信強度表示
周波数設定
信号テストー地上D
信号テストーBS
信号テストーCS
BS衛星信号テスト
BS−1　BS−3　BS−5
BS−9　BS−11　BS−13
BS−17　BS−19　終了
受信強度　BS−15
現在値 95　最大値
受信状態:良好です。【A】

2 確認したい項目を選ぶ

で選び

を押す

- 現在、信号が送られているのは「BS-1」「BS-3」「BS-9」「BS-13」「BS-15」です。（2009 年 7 月現在）

- 「受信状態：良好です。【A】」と表示されていることを確認してください。

3 「終了」を選ぶ

で選び

を押す

・ 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

地上デジタル放送・110 度 CS デジタル放送の信号テストについて

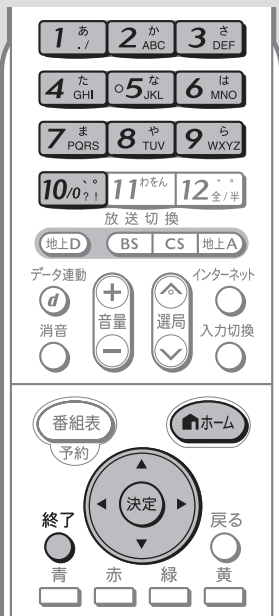
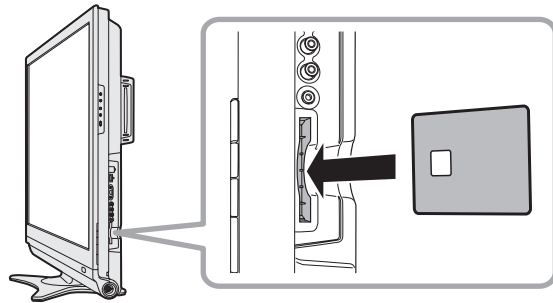
・ 手順 1 で「信号テストー地上 D」または「信号テストー CS」を選び、決定ボタンを押します。あとは同じ要領で行ってください。

周波数設定について

・ 手順 1 で「周波数設定」を選ぶと、新しい衛星が追加されたり現在の衛星が故障したりした場合などに、新しい周波数を入力することで受信に必要な情報を取得できます。
通常は、設定する必要はありません。
（例：BS15 のアンテナ受信周波数 11996 を入力すると 15ch の受信強度が表示されます。）

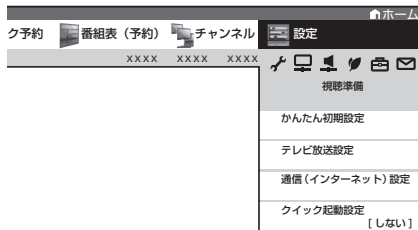
お住まいの地域で放送されている地上デジタル放送を受信するために（地域選択／郵便番号設定）

重 要

・ B-CAS カードは正しい向きに挿入してありますか。正しい向きに入っていないとデジタル放送が受信できません。（▶ **43** ページ）

次のページに続く

地域選択／郵便番号設定

- 地上デジタル放送の地域情報を受信するために、地域設定をお住まいの地域に設定します。**チャンネル設定（▶ 65 ページ）の前に、必ず地域設定をしてください。**
- お客様がお住まいの地域に向けたデジタル放送の緊急ニュースなどの文字情報やデータ放送などの地域情報を受信するために必要です。

1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

を押し

で選ぶ

2 （視聴準備）を選ぶ

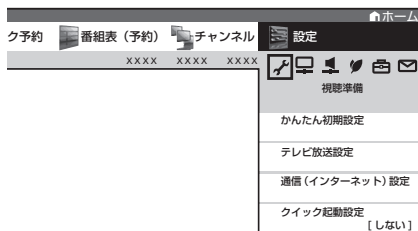
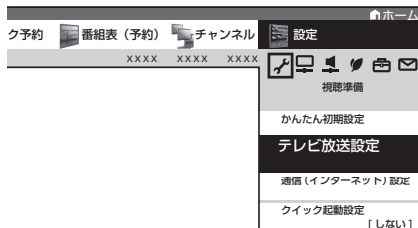
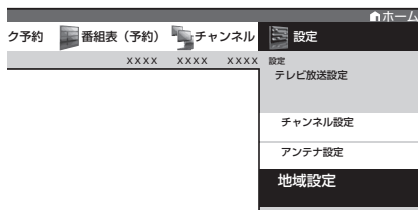
3 「テレビ放送設定」を選ぶ

4 「地域設定」を選ぶ

◆地域選択

5 「地域選択」を選ぶ

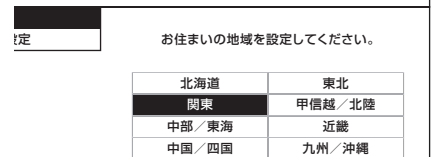
で選び

を押す

地域選択
郵便番号設定
現在の地域設定は　東京　です
地域設定を変更する場合は、
［決定］ボタンを押してください
地域設定の変更後は、チャンネル設定
地上デジタル ー 自動を行ってくださ

おしらせ

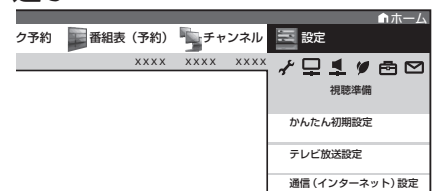
- 「地域選択」は、工場出荷時は「関東」－「東京」に設定されています。
- 地域選択を変更した場合は、「チャンネル設定」から「地上デジタルー自動」を行ってください。

6 お住まいの地域を選ぶ

で選び 決定 を押す

7 お住まいの都道府県または地域を選ぶ

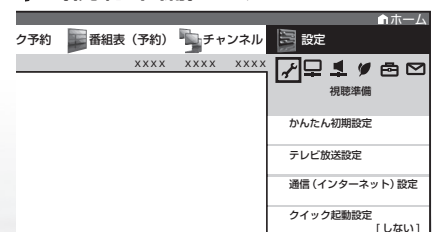
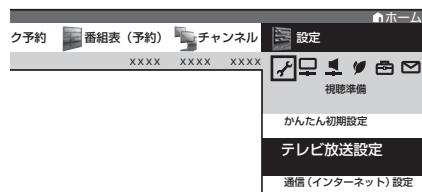
で選び 決定 を押す

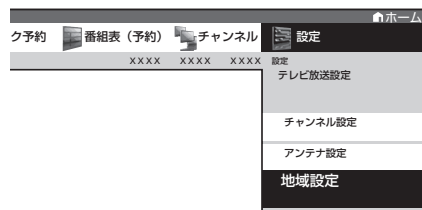
◆郵便番号設定

8 ホームメニューから「設定」を選ぶ

9 （視聴準備）を選ぶ

で選ぶ

10 「テレビ放送設定」を選ぶ

で選び

を押す

11 「地域設定」を選ぶ

で選び

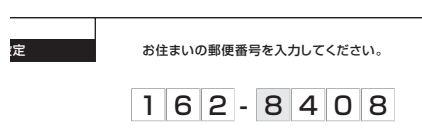
決定 を押す

12 「郵便番号設定」を選ぶ

で選び

決定 を押す

13 郵便番号を入力する

1 ～ 10/0 で入力し

を押す

- 入力した番号を修正するときは、修正したい欄を左右カーソルボタンで選び、数字ボタン（チャンネルボタン）で入力し直します。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

- 郵便番号で「0」を入力したい場合は、10/0 を押します。

地上デジタル放送のチャンネルを追加したり設定をやり直すときは

● 地上デジタル放送のチャンネル設定を再度行う場合の手順です。**チャンネル設定の前に、必ず「地域設定」（▶ 64 ページ）をしてください。**

重要

新しく放送が開始されたチャンネルを追加するときは

- 「地上デジタル－自動」を行った後で、新しく開始された放送チャンネルを追加する場合、手順 6 －②で「地上デジタル－追加」を選びます。すでに登録されているチャンネルはそのまま残り、新しく確認されたチャンネルが追加されます。追加が終わったら、「終了」で決定ボタンを押します。

おしらせ

地上デジタル放送の CATV（ケーブルテレビ）放送対応について

- CATV による地上デジタル放送の視聴については、お客様が契約されている CATV 会社にお問い合わせください。
- 本機で受信できるケーブルテレビ（CATV）の方式は、「パススルー方式」（UHF 帯、ミッドバンド［MID］帯、スーパーハイバンド［SHB］帯、VHF 帯）です。トランスモジュレーション方式の場合、ケーブルテレビ専用受信機を介して視聴できます。
- CATV パススルー方式とは、CATV 配信局が地上デジタル放送を、内容はそのままで CATV 網に流す放送方式です。この方式では、地上デジタル放送が本来使っている UHF 帯のチャンネルとは異なる他のチャンネルに周波数を変換して再送信することがあります。

次のページに続く

1 地上デジタル放送を選ぶ

を押す

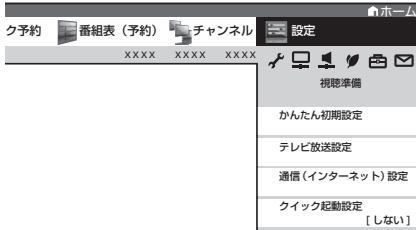
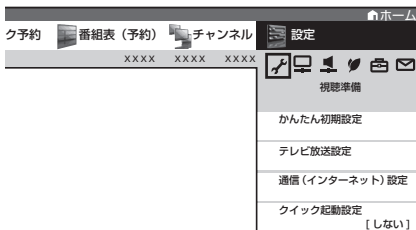
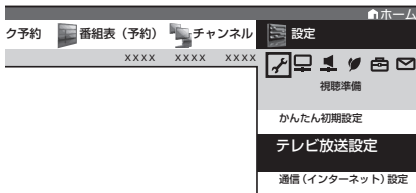
2 ホームメニューから「設定」を選ぶ

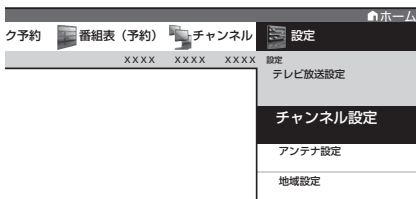
を押し
で選ぶ

3 （視聴準備）を選ぶ

で選ぶ

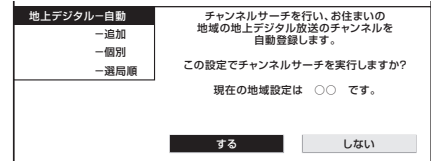
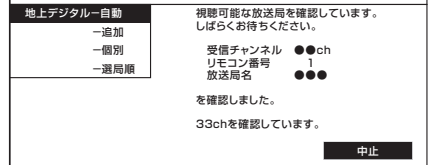
4 「テレビ放送設定」を選ぶ

で選び
を押す

5 「チャンネル設定」を選ぶ

で選び
を押す

6 ①「地上デジタル」を選ぶ ②「地上デジタル一自動」を選ぶ

で選び
を押す

7 「する」を選ぶ

で選び
を押す

- 自動登録が始まります。

- 自動登録が終了すると、登録終了の画面が表示され、しばらくすると手順 5 の画面に戻ります。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

デジタル放送の チャンネルの個別設定

● 登録したデジタル放送のチャンネルは、次の設定内容を変更できます。

項目	内容
数字ボタン	リモコンの数字ボタン(チャンネルボタン)を押したときに受信するチャンネルを設定します。
枝番	受信した放送局の3桁チャンネル番号が重複している場合は、4桁め(枝番)を変更して区別できます。 (地上デジタル放送の場合のみ)
スキップ	選局(∧順／∨逆)ボタン(緑)で選局をしたときに、視聴しないチャンネルを飛ばせます。「する」でスキップが設定され、「しない」で解除されます。地上デジタル放送のチャンネルをスキップ設定したときは、番組表や裏番組一覧にスキップ設定したチャンネルを表示するかどうかを設定できます。

おしらせ

地上デジタル放送の受信チャンネル番号と枝番について

- 地上デジタル放送では、1 ～ 12 の数字ボタン（チャンネルボタン）の番号のほかに、3 桁のチャンネル番号が付けられています。1 つの放送局が複数の番組を同時に放送する場合には、3 桁のチャンネル番号で区別することになります。
- 3 桁のチャンネル番号は、放送地域内（都府県、北海道は 7 地域）ではそれぞれ別番号になっています。従って、通常は 3 桁で放送番組を特定できます。ただし、お住まいの地域により、隣接する他地域の放送も受信できることがあります。この場合は、3 桁チャンネル番号が重複することがあります。このときは、さらにもう 1 桁（これを「枝番」といいます）を入力して選局することになります。

(例)地上デジタル放送の数字ボタンを変更する

1 デジタル放送を選ぶ

地上D BS CS のいずれかを押す

2 ホームメニューから「設定」を選ぶ

ホーム を押し

で選ぶ

3 (視聴準備)を選ぶ

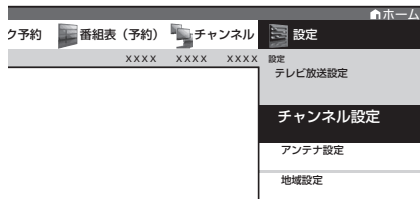
で選ぶ

4 「テレビ放送設定」を選ぶ

で選び

を押す

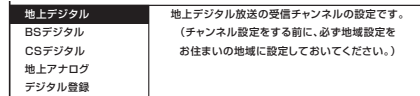
次のページに続く

5 「チャンネル設定」を選ぶ

で選び 決定 を押す

6 「地上デジタル」「BS デジタル」「CS デジタル」のいずれかを選ぶ

で選び 決定 を押す

地上デジタル
BSデジタル
CSデジタル
地上アナログ
デジタル登録

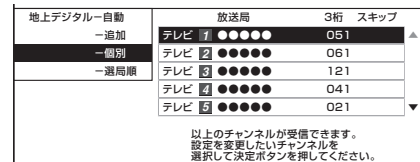
地上デジタル放送の受信チャンネルの設定です。
（チャンネル設定をする前に、必ず地域設定をお住まいの地域に設定しておいてください。）

- 「地上デジタル」を選んだ場合は、手順 7 に進みます。
- 「BS デジタル」または「CS デジタル」を選んだ場合は、手順 8 に進みます。

7 「地上デジタル−個別」を選ぶ

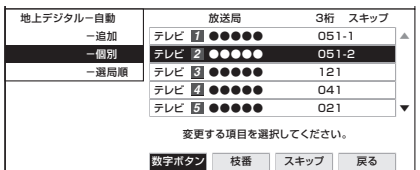
で選び 決定 を押す

地上デジタル−自動
−追加
−個別
−選局順

放送局		3桁	スキップ
テレビ 1	●●●●●	051	
テレビ 2	●●●●●	061	
テレビ 3	●●●●●	121	
テレビ 4	●●●●●	041	
テレビ 5	●●●●●	021	

以上のチャンネルが受信できます。
設定を変更したいチャンネルを
選択して決定ボタンを押してください。

8 変更したいチャンネルを選ぶ

で選び 決定 を押す

9 「数字ボタン」を選ぶ

で選び 決定 を押す

- 枝番を入力する場合は、「枝番」を選び、1～9を押します。
- チャンネルをスキップする場合は、「スキップ」を選び、左右カーソルボタンで「する」を選びます。地上デジタル放送のチャンネルのスキップを設定した場合は、つづけてスキップしたチャンネルを番組表や裏番組一覧で非表示にするかの設定ができますので、「する」または「しない」を選んでください。（▶右記）

10 入力欄に数字を入力して決定する

1 ～ 12 で入力し 決定 を押す

- 数字ボタンが重複している場合は、「数字ボタンが重複しています。置き換えますか？」と表示されます。（枝番の場合は、「枝番が重複しています。置き換えますか？」と表示されます。）

数字ボタンを置き換える場合
手順 11 に進みます。

置き換えずに別の数字にする場合
画面の「戻る」を選び、別の数字を入力して決定ボタンを押してください。

11 「確認」を選ぶ

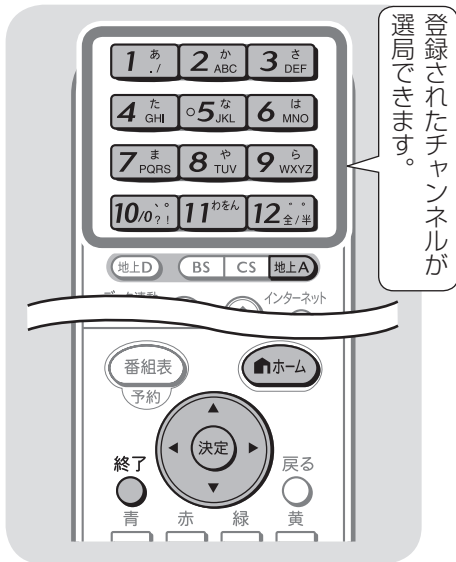
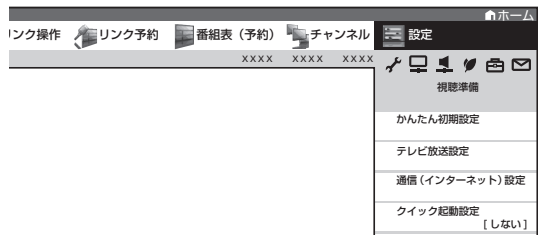
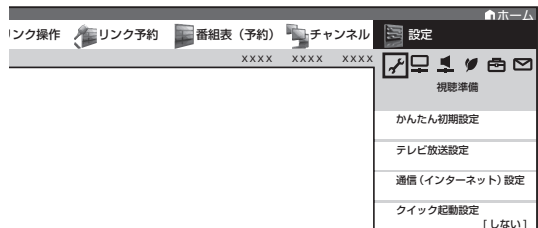
で選び 決定 を押す

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

スキップしたチャンネルを電子番組表や裏番組一覧で非表示にするには（地上デジタル放送のみ）

1. 手順 6 で「地上デジタル」を選び、決定する
2. 「地上デジタル−個別」を選び、決定する
3. スキップするチャンネルを選び、決定する
4. 「スキップ」を選び、決定する
5. 「選局順逆時にこのチャンネルをスキップして選局しますか？」の表示で「する」を選び、決定する
6. 「番組表、裏番組の表示時にも、このチャンネルをスキップしますか？」の表示で「する」を選び、決定する
   - スキップ設定した地上デジタル放送のチャンネルが、番組表や裏番組一覧に表示されなくなります。
     ただし、スキップ設定したチャンネルでも視聴中の場合は、番組表や裏番組一覧に表示されます。

地上アナログ放送のチャンネルを追加したり設定をやり直すときは

- お住まいの地域で受信できる VHF と UHF のチャンネルを自動的に登録できます。
- 登録できるチャンネルは最大 12 局です。

重 要

- 登録完了まで電源を切らないでください。
- この操作を行ったときは、現在登録されているチャンネルを消して新たに登録し直します。

おしらせ

「地上アナログ−地域番号」について

- 「地上アナログ−自動」を行ってもチャンネルが受信できない場合、「地域番号早見表」（▶ **71** ～ **72** ページ）、「地域番号一覧表」（▶ **73** ～ **76** ページ）で都市名・放送局名・受信チャンネルを確認し、次ページの手順 **6** −②で「地上アナログ−地域番号」を選びます。お住まいの地域に最も近い都市名の地域番号を数字ボタン（チャンネルボタン）または左右カーソルボタンで入力し、「開始」で決定ボタンを押します。
- 工場出荷時は、地域番号「000」に設定されています。

「地上アナログ−追加」について

- 空きチャンネルに追加できる放送局がないかどうかを自動で探したい場合、次ページの手順 **6** −②で「地上アナログ−追加」を選び、左右カーソルボタンで「する」を選んで決定します。見つかったチャンネルが右側に表示されていきます。

1 地上アナログ放送を選ぶ

地上A を押す

2 ホームメニューから「設定」を選ぶ

ホーム を押し

決定 で選ぶ

3 （視聴準備）を選ぶ

で選ぶ

4 「テレビ放送設定」を選ぶ

で選び

決定 を押す

5 「チャンネル設定」を選ぶ

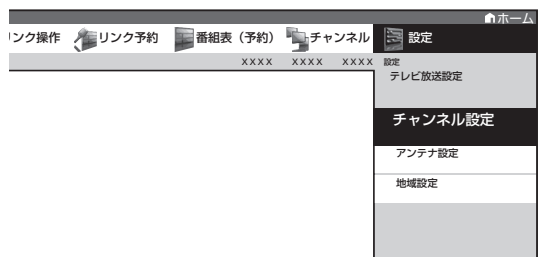
で選び

決定 を押す

次のページに続く

6

で選び

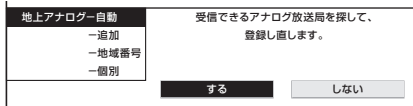
を押す

①「地上アナログ」を選ぶ
②「地上アナログー自動」を選ぶ

7

で選び

決定

を押す

「する」を選ぶ

- 画面左上に「サーチ中」が表示されます。

- 見つかったチャンネルが表示されます。
- 放送チャンネルがまったく見つからない場合は、設定前のチャンネルが表示されます。
- チャンネル設定が完了すると「登録しました」と表示され、しばらくすると手順 5 の画面に戻ります。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

「地上アナログー自動」を行っても受信できないチャンネルがあるときは

- 地域番号一覧表（▶ **73** ～ **76** ページ）に掲載されている都市の近郊にお住まいの場合、掲載されているチャンネルと放送局名が正しい場合は、その都市の地域番号で設定してください。
- お住まいの都市の地域番号で設定しても受信できない場合があります。このときは、「地上アナログー追加」（▶ **69** ページ）または「地上アナログー個別」（▶ **77** ページ）を行ってください。
- 地域番号を設定したときに、地域番号一覧表に放送局名が記載されていないチャンネルは、自動的にチャンネルスキップされます。（地域番号「000」は除く）
- 地域番号設定をした後、「地上アナログー追加」を実行すると、受信できる放送局が増える場合があります。（UHF 放送が受信できる地域など）

地域番号早見表

五十音	都市名	地域番号
あ	会津若松市	021
	青森市	010
	明石市	063
	昭島市	030
	秋田市	015
	阿久根市	095
	上尾市	027
	朝霞市	027
	旭川市	002
	足利市	027
	厚木市	033
	網走市	001
	我孫子市	029
	尼崎市	061
	安城市	054
い	飯田市	045
	池田市	061
	生駒市	061
	石巻市	014
	和泉市	061
	伊勢崎市	025
	伊丹市	061
	市川市	029
	一宮市	054
	市原市	029
	茨木市	061
	今治市	081
	入間市	027
	いわき市	020
	岩国市	077
う	宇治市	060
	宇都宮市	101
	宇部市	076
	浦安市	029
え	海老名市	033
	江別市	001
お	青梅市	030
	大分市	091
	大垣市	047
	大阪市	061
	大館市	016
	大津市	058
	大牟田市	086
	岡崎市	054
	岡山市	070
	沖縄市	096
	小樽市	007
	小田原市	035
	帯広市	005
	小山市	027
か	各務原市	106
	加古川市	063
	鹿児島市	094
	橿原市	065
	柏市	029
	春日井市	054
	春日部市	027
	門真市	061
	金沢市	041
	鎌倉市	033
か	刈谷市	054
	川口市	027
	川越市	027
	川崎市	033
	河内長野市	061
	川西市	064
き	木更津市	029
	岸和田市	061
	北九州市	084
	北見市	009
	岐阜市	047
	京都市 1	060
	京都市 2	098
	桐生市	102
く	釧路市	004
	熊谷市	103
	熊本市	090
	倉敷市	070
	久留米市	085
	呉市	073
こ	高知市	082
	甲府市	043
	神戸市	061
	郡山市	019
	小金井市	030
	越谷市	027
	小平市	030
	小牧市	054
	小松市	041
さ	さいたま市	027

次のページに続く

五十音	都市名	地域番号
さ	堺市	061
	佐賀市	087
	酒田市	018
	相模原市	033
	佐倉市	029
	佐世保市	089
	札幌市	001
	座間市	033
	狭山市	027
し	静岡市	049
	下関市	075
	周南市	074
	上越市	038
す	吹田市	061
	鈴鹿市	057
せ	瀬戸市	054
	仙台市	013
そ	草加市	027
た	大東市	061
	高岡市	040
	高崎市	025
	高槻市	061
	高松市	078
	宝塚市	061
	立川市	030
	多摩市	105
ち	茅ケ崎市	034
	千葉市	029
	調布市	030
つ	津市	057
	つくば市	029
	土浦市	029
	鶴岡市	018
と	東京23区	030
	徳島市	097
	所沢市	027
	鳥取市	067
	苫小牧市	006
	富山市	039
	豊川市	055
	豊田市	056
	豊中市	061
	豊橋市	055
と	富田林市	061
な	長岡市	037
	長崎市	088
	長野市	044
	流山市	029
	名古屋市	054
	那覇市	096
	奈良市	065
	習志野市	029
に	新潟市	037
	新座市	027
	新居浜市	080
	西宮市	061
ぬ	沼津市	052
ね	寝屋川市	061
の	野田市	029
	延岡市	093
は	函館市	003
	秦野市	036
	八王子市	104
	八戸市	011
	羽曳野市	061
	浜田市	069
	浜松市	050
	半田市	054
ひ	東大阪市	061
	東久留米市	030
	東村山市	030
	彦根市	059
	日立市	023
	ひたちなか市	022
	日野市	030
	姫路市	062
	枚方市	061
	平塚市	034
	弘前市	010
	広島市	071
ふ	福井市	042
	福岡市	083
	福島市	019
	福山市	072
	藤枝市	053
	藤沢市	033
ふ	富士市	051
	富士宮市	051
	府中市（東京）	030
	船橋市	029
へ	別府市	091
ほ	防府市	074
ま	前橋市	025
	町田市	033
	松江市	068
	松阪市	057
	松戸市	029
	松原市	061
	松本市	046
	松山市	079
み	三郷市	027
	三島市	052
	三鷹市	030
	水戸市	022
	都城市	092
	宮崎市	092
む	武蔵野市	030
	室蘭市	008
も	盛岡市	012
	守口市	061
や	矢板市	100
	焼津市	049
	八尾市	061
	八千代市	029
	八代市	090
	山形市	017
	山口市	074
	大和市	033
よ	横須賀市	033
	横浜市	033
	四日市市	057
	米子市	068
わ	和歌山市1	107
	和歌山市2	099

地域番号一覧表

都道府県	都市名	地域番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	リモコン番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			受信チャンネル											
			放送局名											
工場出荷時設定		000	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
北海道	札幌	001	1	2	3	17	5	6	27	8	35	10	11	12
			北海道放送		NHK 総合	テレビ北海道	札幌テレビ		北海道文化放送		北海道テレビ			NHK 教育
	旭川	002	1	2	33	37	39	6	7	8	9	10	11	12
				NHK 教育	テレビ北海道	北海道文化放送	北海道テレビ		札幌テレビ		NHK 総合		北海道放送	
	函館	003	21	27	35	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			テレビ北海道	北海道文化放送	北海道テレビ	NHK 総合		北海道放送				NHK 教育		札幌テレビ
	釧路	004	1	2	39	41	5	6	7	8	9	10	11	12
				NHK 教育	北海道テレビ	北海道文化放送			札幌テレビ		NHK 総合		北海道放送	
	帯広	005	32	2	34	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			北海道文化放送		北海道テレビ	NHK 総合		北海道放送				札幌テレビ		NHK 教育
	苫小牧	006	47	49	51	53	55	57	61	8	9	10	11	12
			テレビ北海道	NHK 教育	NHK 総合	北海道文化放送	北海道放送	札幌テレビ	北海道テレビ					
	小樽	007	24	2	26	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			テレビ北海道	NHK 教育	北海道文化放送	北海道テレビ			札幌テレビ		北海道放送		NHK 総合	
	室蘭	008	1	2	29	37	39	6	7	8	9	10	11	12
				NHK 教育	テレビ北海道	北海道文化放送	北海道テレビ		札幌テレビ		NHK 総合		北海道放送	
	北見	009	1	2	3	4	59	61	7	8	9	10	53	12
				NHK 教育			北海道文化放送	北海道テレビ	札幌テレビ		NHK 総合		北海道放送	
青森	青森	010	1	2	3	4	5	6	38	8	34	10	11	12
			青森放送テレビ		NHK 総合		NHK 教育		青森テレビ		青森朝日放送			
	八戸	011	1	2	33	4	31	6	7	8	9	10	11	12
					青森テレビ		青森朝日放送		NHK 教育		NHK 総合		青森放送テレビ	
岩手	盛岡	012	1	2	3	4	5	6	7	8	31	35	11	33
						NHK 総合		IBC テレビ		NHK 教育	岩手朝日テレビ	テレビ岩手		めんこいテレビ
宮城	仙台	013	1	2	3	4	5	6	32	8	34	10	11	12
			東北放送		NHK 総合		NHK 教育		東日本放送		宮城テレビ			仙台放送
	石巻	014	59	2	51	4	49	6	61	8	55	10	11	57
			東北放送		NHK 総合		NHK 教育		東日本放送		宮城テレビ			仙台放送
秋田	秋田	015	1	2	3	4	5	6	7	8	9	31	11	37
				NHK 教育							NHK 総合	秋田朝日放送	秋田放送テレビ	秋田テレビ
	大館	016	1	2	3	4	5	6	7	8	9	59	11	57
				(NHK 教育)		NHK 総合		秋田放送テレビ		NHK 教育	(NHK 総合)	秋田朝日放送	(秋田放送テレビ)	秋田テレビ
山形	山形	017	1	2	3	4	5	36	30	8	9	10	11	38
						NHK 教育		テレビユー山形	さくらんぼテレビ	NHK 総合		山形放送		山形テレビ
	鶴岡	018	1	2	3	4	5	6	7	39	9	22	11	24
			山形放送		NHK 総合			NHK 教育		山形テレビ		テレビユー山形		さくらんぼテレビ
福島	福島	019	1	2	31	4	33	6	35	8	9	10	11	12
				NHK 教育	テレビユー福島		福島中央テレビ		福島放送		NHK 総合		福島テレビ	
	いわき	020	1	62	3	4	5	58	7	8	9	10	11	60
				テレビユー福島		NHK 総合		福島中央テレビ		福島テレビ		NHK 教育		福島放送
	会津若松	021	1	2	3	4	5	6	7	47	9	37	11	41
			NHK 総合		NHK 教育			福島テレビ		テレビユー福島		福島中央テレビ		福島放送
茨城	水戸	022	44	2	46	42	5	40	7	38	9	36	11	32
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ		TBS テレビ		フジテレビ		テレビ朝日		テレビ東京
	日立	023	52	2	50	54	5	56	7	58	9	60	11	62
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ		TBS テレビ		フジテレビ		テレビ朝日		テレビ東京
栃木	矢板	100	40	2	30	36	33	42	7	45	9	59	11	61
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ	とちぎテレビ	TBS テレビ		フジテレビ		テレビ朝日		テレビ東京
	宇都宮	101	51	2	49	53	5	55	7	57	31	41	11	44
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ		TBS テレビ		フジテレビ	とちぎテレビ	テレビ朝日		テレビ東京
群馬	前橋	025	52	2	50	54	40	56	7	58	9	60	48	62
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ	放送大学	TBS テレビ		フジテレビ		テレビ朝日	群馬テレビ	テレビ東京
	桐生	102	51	2	57	53	40	55	7	35	9	59	41	61
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ	放送大学	TBS テレビ		フジテレビ		テレビ朝日	群馬テレビ	テレビ東京
埼玉	さいたま	027	1	2	3	4	16	6	7	8	38	10	11	12
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ	放送大学	TBS テレビ		フジテレビ	テレビ埼玉	テレビ朝日		テレビ東京
	熊谷	103	51	2	35	53	5	55	16	57	30	59	11	61
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ		TBS テレビ	放送大学	フジテレビ	テレビ埼玉	テレビ朝日		テレビ東京

次のページに続く

都道府県	都市名	地域番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		リモコン番号 / 受信チャンネル / 放送局名												
千葉	千葉	029	1	2	3	4	16	6	7	8	42	10	46	12
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ	放送大学	TBS テレビ		フジテレビ	テレビ神奈川	テレビ朝日	千葉テレビ	テレビ東京
東京	23 区	030	1	2	3	4	14	6	38	8	42	10	46	12
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ	東京メトロポリタン	TBS テレビ	テレビ埼玉	フジテレビ	テレビ神奈川	テレビ朝日	千葉テレビ	テレビ東京
	八王子	104	33	2	29	35	40	37	7	31	9	45	11	62
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ	東京メトロポリタン	TBS テレビ		フジテレビ		テレビ朝日		テレビ東京
	多摩	105	49	2	47	51	61	53	7	55	9	57	11	59
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ	東京メトロポリタン	TBS テレビ		フジテレビ		テレビ朝日		テレビ東京
神奈川	横浜	033	1	2	3	4	16	6	7	8	42	10	11	12
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ	放送大学	TBS テレビ		フジテレビ	テレビ神奈川	テレビ朝日		テレビ東京
	茅ヶ崎	034	33	2	29	35	5	37	7	39	31	41	11	43
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ		TBS テレビ		フジテレビ	テレビ神奈川	テレビ朝日		テレビ東京
	小田原	035	52	2	50	54	5	56	7	58	46	60	11	62
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ		TBS テレビ		フジテレビ	テレビ神奈川	テレビ朝日		テレビ東京
	秦野	036	47	2	49	51	5	53	7	55	61	57	11	59
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ		TBS テレビ		フジテレビ	テレビ神奈川	テレビ朝日		テレビ東京
新潟	新潟	037	21	2	29	4	5	6	7	8	9	35	11	12
			新潟テレビ 21		テレビ新潟		新潟放送			NHK 総合		新潟総合テレビ		NHK 教育
	上越	038	1	2	3	4	5	37	7	27	9	10	11	33
			NHK 教育		NHK 総合			新潟テレビ 21		テレビ新潟		新潟放送		新潟総合テレビ
富山	富山	039	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	32	34
			北日本テレビ		NHK 総合							NHK 教育	チューリップ	富山テレビ
	高岡	040	50	2	48	4	5	6	7	8	9	46	42	44
			北日本テレビ		NHK 総合							NHK 教育	チューリップ	富山テレビ
石川	金沢	041	1	2	3	4	5	6	25	8	9	33	11	37
						NHK 総合		MRO テレビ	北陸朝日放送	NHK 教育		テレビ金沢		石川テレビ
福井	福井	042	39	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			福井テレビ		NHK 教育			MRO テレビ			NHK 総合		FBC テレビ	
山梨	甲府	043	1	2	3	4	5	6	37	8	9	10	11	12
			NHK 総合		NHK 教育		山梨放送		テレビ山梨					
長野	長野	044	1	44	50	4	40	6	42	8	46	10	48	12
				NHK 総合	長野朝日放送		テレビ信州		長野放送		NHK 教育		信越放送	
	飯田	045	44	2	3	4	5	6	7	42	9	40	11	12
			長野朝日放送		NHK 教育	NHK 総合		信越放送		テレビ信州		長野放送		
	松本	046	1	44	50	4	48	6	42	8	46	10	40	12
				NHK 総合	長野朝日放送		テレビ信州		長野放送		NHK 教育		信越放送	
岐阜	岐阜	047	1	2	39	4	5	6	35	8	9	10	11	37
			東海テレビ		NHK 総合		CBC テレビ		中京テレビ		NHK 教育		メ～テレ	ぎふチャン
	各務原	106	1	2	3	4	5	6	35	8	9	10	11	41
			東海テレビ		NHK 総合		CBC テレビ		中京テレビ		NHK 教育		メ～テレ	ぎふチャン
静岡	静岡	049	1	2	31	4	33	6	35	8	9	10	11	12
				NHK 教育	静岡第一テレビ		静岡朝日テレビ		テレビ静岡		NHK 総合		静岡放送	
	浜松	050	1	30	3	4	5	6	7	8	9	28	11	34
				静岡第一テレビ		NHK 総合		静岡放送		NHK 教育		静岡朝日テレビ		テレビ静岡
	富士	051	1	54	27	4	29	6	39	8	52	10	41	12
				NHK 教育	静岡第一テレビ		静岡朝日テレビ		テレビ静岡		NHK 総合		静岡放送	
	沼津	052	1	51	61	4	57	6	59	8	53	10	55	12
				NHK 教育	静岡第一テレビ		静岡朝日テレビ		テレビ静岡		NHK 総合		静岡放送	
	藤枝	053	1	44	24	4	26	6	38	8	42	10	40	12
				NHK 教育	静岡第一テレビ		静岡朝日テレビ		テレビ静岡		NHK 総合		静岡放送	
愛知	名古屋	054	1	2	3	4	5	6	35	8	9	10	11	25
			東海テレビ		NHK 総合		CBC テレビ		中京テレビ		NHK 教育		メ～テレ	テレビ愛知
	豊橋	055	56	2	54	4	62	6	58	8	50	10	60	52
			東海テレビ		NHK 総合		CBC テレビ		中京テレビ		NHK 教育		メ～テレ	テレビ愛知
	豊田	056	57	2	53	4	55	6	59	8	51	10	61	49
			東海テレビ		NHK 総合		CBC テレビ		中京テレビ		NHK 教育		メ～テレ	テレビ愛知
三重	津	057	1	2	3	4	5	6	35	8	9	33	11	25
			東海テレビ		NHK 総合		CBC テレビ		中京テレビ		NHK 教育	三重テレビ	メ～テレ	テレビ愛知
滋賀	大津	058	1	28	3	36	5	38	7	40	9	42	30	46
				NHK 総合		毎日テレビ		ABC テレビ		関西テレビ		読売テレビ	びわ湖放送	NHK 教育
	彦根	059	1	52	3	54	56	58	7	60	9	62	11	50
				NHK 総合		毎日テレビ	びわ湖放送	ABC テレビ		関西テレビ		読売テレビ		NHK 教育

	リモコン番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域番号	受信チャンネル 放送局名											
京都	京都 1	060	1	2 NHK 総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABC テレビ	34 京都テレビ	8 関西テレビ	26 奈良テレビ	10 読売テレビ	11	12 NHK 教育
	京都 2	098	32 NHK 京都	2 NHK 総合	34 京都テレビ	4 毎日テレビ	21 テレビ大阪	6 ABC テレビ	7	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	11	12 NHK 教育
大阪	大阪	061	1	2 NHK 総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABC テレビ	34 京都テレビ	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	30 テレビ和歌山	12 NHK 教育
兵庫	神戸	061	1	2 NHK 総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABC テレビ	34 京都テレビ	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	30 テレビ和歌山	12 NHK 教育
	姫路	062	1	50 NHK 総合	56 サンテレビ	54 毎日テレビ	5	58 ABC テレビ	7	60 関西テレビ	9	62 読売テレビ	11	52 NHK 教育
	明石	063	1	51 NHK 総合	55 サンテレビ	53 毎日テレビ	19 テレビ大阪	57 ABC テレビ	7	59 関西テレビ	9	61 読売テレビ	30 テレビ和歌山	49 NHK 教育
	川西	064	1	29 NHK 総合	33 サンテレビ	35 毎日テレビ	5	37 ABC テレビ	7	39 関西テレビ	9	41 読売テレビ	11	31 NHK 教育
奈良	奈良	065	51 (NHK 総合)	2 NHK 総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABC テレビ	62 奈良テレビ	8 関西テレビ	55 (奈良テレビ)	10 読売テレビ	11	12 NHK 教育
和歌山	和歌山 1	107	1	32 NHK 総合	3	42 毎日テレビ	5	44 ABC テレビ	7	46 関西テレビ	9	48 読売テレビ	30 テレビ和歌山	25 NHK 教育
	和歌山 2	099	1	50 NHK 総合	3	54 毎日テレビ	5	58 ABC テレビ	7	60 関西テレビ	9	62 読売テレビ	56 テレビ和歌山	52 NHK 教育
鳥取	鳥取	067	1 日本海テレビ	2	3 NHK 総合	4 NHK 教育	5	6	7	24 山陰中央テレビ	9	22 BSS テレビ	11	12
島根	松江	068	30 日本海テレビ	2	34 山陰中央テレビ	4	5	6 NHK 総合	7	8	9	10 BSS テレビ	11	12 NHK 教育
	浜田	069	1	2 NHK 総合	54 日本海テレビ	4	5 BSS テレビ	6	7	58 山陰中央テレビ	9 NHK 教育	10	11	12
岡山	岡山	070	23 テレビせとうち	2	3 NHK 教育	4	5 NHK 総合	25 瀬戸内海テレビ	35 OHK テレビ	8	9 西日本放送	10	11 山陽放送	12
広島	広島	071	31 テレビ新広島	2	3 NHK 総合	4 RCC テレビ	5	6	7 NHK 教育	8	9	35 広島ホームテレビ	11	12 広島テレビ
	福山	072	5 NHK 総合	2	57 広島ホームテレビ	4	54 テレビ新広島	6	3 NHK 教育	8	9	7 RCC テレビ	11	11 広島テレビ
	呉	073	1 NHK 教育	2	24 広島ホームテレビ	4	5 広島テレビ	6	26 テレビ新広島	8	9 RCC テレビ	10	11 NHK 総合	12
山口	山口	074	1 NHK 教育	2	3	4	28 山口朝日放送	6	38 テレビ山口	8	9 NHK 総合	10	11 山口放送	12
	下関	075	41 NHK 教育	2 九州朝日放送	23 TVQ 九州放送	4 山口放送	21 山口朝日放送	6 (NHK 総合)	33 テレビ山口	8 RKB 毎日放送	39 NHK 総合	10 テレビ西日本	35 福岡放送	12 (NHK 教育)
	宇部	076	55 NHK 教育	2 九州朝日放送	3	4	24 山口朝日放送	6 (NHK 総合)	44 テレビ山口	8 RKB 毎日放送	58 NHK 総合	10 テレビ西日本	61 山口放送	12
	岩国	077	1 NHK 教育	2	3	4 RCC テレビ	62 テレビ山口	6	28 山口朝日放送	8	9 NHK 総合	10 南海テレビ	11 山口放送	12 広島テレビ
徳島	徳島	097	1 四国テレビ	2	3 NHK 総合	4 毎日テレビ	5	6 ABC テレビ	7	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	11	38 NHK 教育
香川	高松	078	33 瀬戸内海テレビ	2	39 NHK 教育	4	37 NHK 総合	6	31 OHK テレビ	8	41 西日本放送	10	29 山陽放送	19 テレビせとうち
愛媛	松山	079	1	2 NHK 教育	3	29 あいテレビ	25 愛媛朝日テレビ	6 NHK 総合	7	37 テレビ愛媛	9	10 南海テレビ	11	35 広島ホームテレビ
	新居浜	080	1	2 NHK 総合	3	4 NHK 教育	14 愛媛朝日テレビ	6 南海テレビ	7	36 テレビ愛媛	9	10	27 あいテレビ	12
	今治	081	1	30 NHK 教育	3	27 あいテレビ	14 愛媛朝日テレビ	32 NHK 総合	7	36 テレビ愛媛	9	34 南海テレビ	11	38 広島ホームテレビ
高知	高知	082	1	2	3	4 NHK 総合	5	6 NHK 教育	7	8 高知放送	9	38 テレビ高知	11	40 高知さんさんテレビ
福岡	福岡	083	1 九州朝日放送	2	3 NHK 総合	4 RKB 毎日放送	5	6 NHK 教育	7	8	9 テレビ西日本	10	19 TVQ 九州放送	37 福岡放送
	北九州	084	1	2 九州朝日放送	23 TVQ 九州放送	35 福岡放送	5	6 NHK 総合	7	8 RKB 毎日放送	9	10 テレビ西日本	11	12 NHK 教育
	久留米	085	57 九州朝日放送	2	46 NHK 総合	48 RKB 毎日放送	5	54 NHK 教育	7	8	60 テレビ西日本	10	14 TVQ 九州放送	52 福岡放送
	大牟田	086	58 九州朝日放送	19 TVQ 九州放送	53 NHK 総合	61 RKB 毎日放送	5	50 NHK 教育	7	8	55 テレビ西日本	10	43 福岡放送	12
佐賀	佐賀	087	19 TVQ 九州放送	36 サガテレビ	40 NHK 教育	38 NHK 総合	48 RKB 毎日放送	52 福岡放送	57 九州朝日放送	60 テレビ西日本	9 (NHK 総合)	10	11 熊本放送	12

次のページに続く

都道府県	都市名	地域番号 \ リモコン番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			受信チャンネル 放送局名											
長崎	長崎	088	1 NHK 教育	2	3 NHK 総合	4	5 長崎放送	6	37 テレビ長崎	8	27 長崎文化放送	10	25 長崎国際テレビ	12
	佐世保	089	1	2 NHK 教育	3	17 長崎国際テレビ	5	31 長崎文化放送	7	8 NHK 総合	9	10 長崎放送	11	35 テレビ長崎
熊本	熊本	090	1	2 NHK 教育	16 熊本朝日放送	4	22 熊本県民テレビ	6	34 テレビ熊本	8	9 NHK 総合	10	11 熊本放送	12
大分	大分	091	1 (NHK 教育)	2	3 NHK 総合	34 あいテレビ	5 大分テレビ	6 (NHK 総合)	36 テレビ大分	32 テレビ愛媛	24 大分朝日放送	10 南海テレビ	11	12 NHK 教育
宮崎	宮崎	092	1	2	3	4	5	35 テレビ宮崎	7	8 NHK 総合	9	10 宮崎放送	11	12 NHK 教育
	延岡	093	1	2 NHK 教育	3	4 NHK 総合	5	6 宮崎放送	7	39 テレビ宮崎	9	10	11	12
鹿児島	鹿児島	094	1 南日本放送	2	3 NHK 総合	4	5 NHK 教育	6	32 鹿児島放送	8	38 鹿児島テレビ	10	30 鹿児島読売テレビ	12
	阿久根	095	1	17 鹿児島読売テレビ	3	23 鹿児島放送	5	35 鹿児島テレビ	7	8 NHK 総合	9	10 南日本放送	11	12 NHK 教育
沖縄	那覇	096	1	2 NHK 総合	3	4	5	6	7	8 沖縄テレビ	28 琉球朝日放送	10 琉球放送テレビ	11	12 NHK 教育

- 地域番号別に設定されたリモコン番号と受信チャンネル・放送局名は、当社が 2007 年 2 月に調査した結果によるものです。

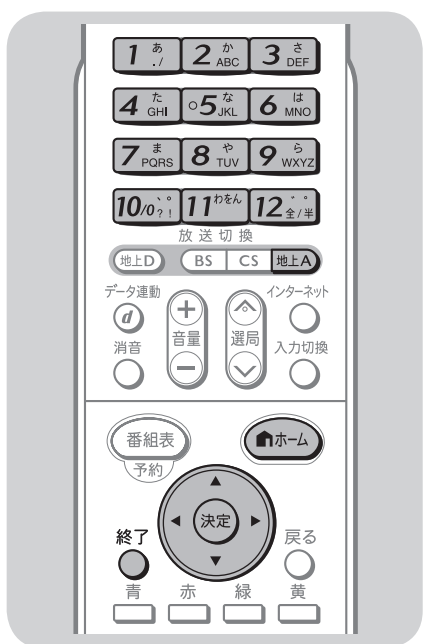
その他の地域番号 （＊印のチャンネルはスキップされません。）

● 地域番号は「000」から「107」までありますが、次の番号に該当する地域はありません。

リモコン番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
地域番号	受信チャンネル											
024	＊29	2	＊27	＊25	5	＊23	7	＊21	＊31	＊19	11	＊17
026	＊43	2	＊45	＊39	＊40	＊37	7	＊35	9	＊33	＊41	＊31
028	＊33	2	＊35	＊25	5	＊23	＊16	＊21	＊28	＊19	11	＊17
031	＊51	2	＊49	＊53	＊47	＊55	7	＊57	9	＊59	11	＊61
032	＊30	2	＊32	＊26	＊28	＊24	7	＊22	9	＊20	11	＊18
048	＊1	2	＊3	4	＊5	6	＊35	8	＊9	10	＊11	＊28
066	1	＊32	3	＊42	5	＊44	7	＊46	9	＊48	＊30	＊26

地上アナログ放送のチャンネルの個別設定

● 登録したチャンネルは、個別に以下の項目を変更できます。

項目	内容
受信チャンネル	リモコンの数字ボタン（チャンネルボタン）を押したときに選局するチャンネルを設定します。地域番号一覧表に当てはまらない地域や、地域番号によるチャンネル設定後に他の放送チャンネルを追加したいときは、この操作で一局ずつ設定してください。 新聞の番組表などのチャンネルの順番に合わせておくと便利です。
チャンネル表示	画面に表示されるチャンネル番号を設定します。お住まいの地域で使い慣れたチャンネル表示に変更できます。
受信微調整	受信中の映像（設定画面の背景で表示されている映像）が最も鮮明に見えるように、受信状態を調整します。－64～0～+63の範囲で調整できます。
スキップ	選局（∧順／∨逆）ボタン（緑）で選局をしたときに、視聴しないチャンネルを飛ばせます。「する」でスキップの設定をし、「しない」で解除されます。

1 地上アナログ放送を選ぶ

地上A を押す

2 ホームメニューから「設定」を選ぶ

を押し

で選ぶ

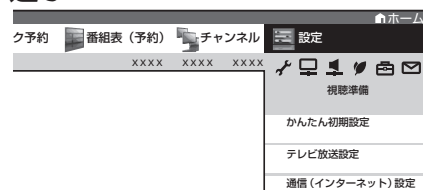
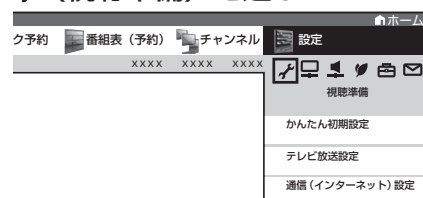
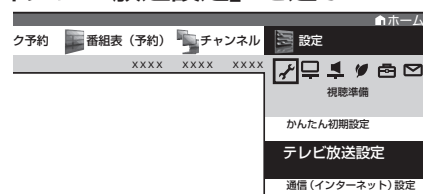
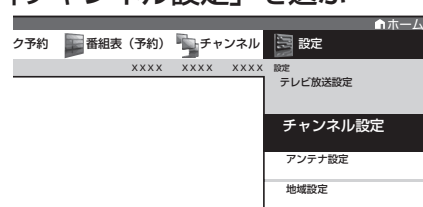
3 （視聴準備）を選ぶ

で選ぶ

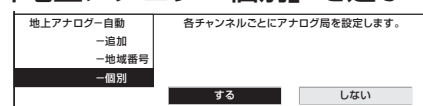
4 「テレビ放送設定」を選ぶ

で選び 決定 を押す

5 「チャンネル設定」を選ぶ

で選び

を押す

6 「地上アナログ」で決定する

決定 を押す

7 「地上アナログ－個別」を選ぶ

で選び

決定 を押す

次のページに続く

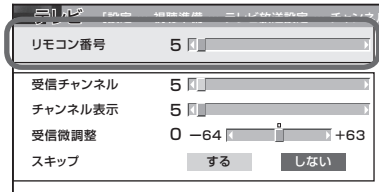
8 「する」を選ぶ

で選び

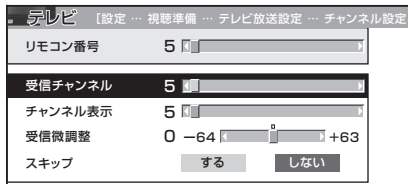
を押す

9 変更したい「リモコン番号」（放送チャンネル）を選ぶ

で選ぶ

- 地上アナログチャンネルは、「1」～「20」です。
- CATV チャンネルは「C13」～「C63」です。
- リモコン番号「1」～「12」を変更するときは、リモコンの数字ボタン（チャンネルボタン）を押しても選べます。

10 変更したい項目を選ぶ

で選ぶ

（例）受信チャンネルを変更する場合

11 画面の指示に従い、数値や項目を設定する

で選ぶ

- 詳しくは、前のページの表を参照してください。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

選局ボタン(緑)でCATVチャンネルを選局したいときは(CATVスキップ解除)

● CATV チャンネル（C13 ～ C63）は、工場出荷時にスキップ「する」の状態になっています。選局ボタン（緑）で選局したいときは、次の操作を行ってください。

1 前ページの手順 1 ～ 8 を行う

2 「リモコン番号」を選ぶ

で選ぶ

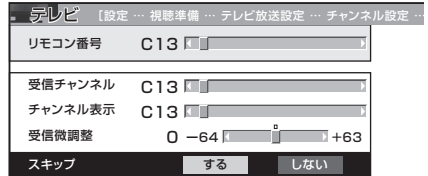
3 スキップを解除したい CATV チャンネルを選ぶ

で選ぶ

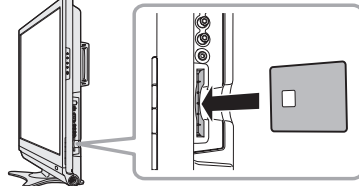
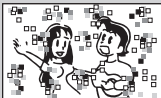
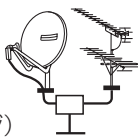
4 「スキップ」を選ぶ

で選ぶ

5 「しない」を選ぶ

で選ぶ

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

CATV（ケーブルテレビ）放送について

- CATV のサービスが行われている地域のみ受信できます。
- CATV を受信するときは、使用する機器ごとに CATV 会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画にはホームターミナル（アダプター）が必要になります。詳しくは CATV 会社にご相談ください。
- 本機の CATV チャンネルは、C13 ～ C63 チャンネルの範囲で選局できます。（「ケーブルテレビのチャンネルを選ぶ」 ▶ **89** ページ）
- 「受信チャンネル」の設定で、CATV チャンネルを設定すると、リモコンの数字ボタン（チャンネルボタン）で CATV チャンネルを選局できます。
- **左記**の手順 10 で「受信チャンネル」を選び、手順 11 で右カーソルボタンまたは左カーソルボタンを押し続けると、放送を探して受信します。

映りかたを確かめる

- リモコンを使って番組を選んでみましょう。
- 本体の電源スイッチで電源を入れてから操作します。

1 放送の種類を選ぶ

放送切換ボタンを押します。

放送切換

- 地上デジタル放送 ― 地上D
- BSデジタル放送 ― BS
- 110度CSデジタル放送 ― CS
- 地上アナログ放送（従来の放送）― 地上A

デジタル放送の場合は
テレビ／データ／ポータルボタンを押します。

- テレビ/データ ポータル を押すと、テレビ放送⇒ラジオ放送※⇒データ放送※⇒テレビ放送…が切り換わります。IPTVの場合は、IPTV⇒ポータル⇒IPTV…が切り換わります

ホームメニューから表示する場合は

- 「設定」－「(機能切換)」－「視聴操作」－「テレビ／データ／ポータル」を選びます。
- 「ツール」－「テレビ／データ／ポータル」を選びます。

※放送がある場合に切り換わります。

2 数字ボタン（チャンネルボタン）または選局ボタンでチャンネルを選ぶ

数字ボタン（チャンネルボタン）　選局ボタン

- 選局 ∧ 順方向に選局
- 選局 ∨ 逆方向に選局

放送の種類やチャンネルの確認のしかた

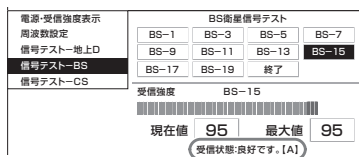
- テレビ画面の**チャンネルサイン**で確認できます。チャンネルサインは画面表示を押すと表示できます。画面表示を繰り返し押すと表示内容が変わります。（▶ **87** ページ）

▼テレビ画面のチャンネルサイン(例)

番組名と放送時間を表示することもできます。番組名表示（▶ **104** ページ）を「する」に設定すると表示されます。

テレビが正しく映らないときや画質が悪いときは（「放送が受信できません。[E202]」と表示される）

	こんな症状が出るときは	▶ここをお確かめください	▶参照ページ
地上アナログ放送	色じま模様が出る	・アンテナケーブルが古くなっていませんか。	–
	雪が降っているような画面になる	・アンテナ線が切れていませんか。	–
		・アンテナの向きは正しいですか。	–
		・平行フィーダー線の場合、本機から線をできるだけ離してください。	46
デジタル放送	映像も音声も出ない	・アンテナケーブルは接続されていますか。	46～49・83
		・端子を間違えて接続していませんか。	–
		・アンテナケーブルが切れていませんか。	–
		・BS·CS アンテナ電源設定を「オート」にしてみてください。「オート」に設定している場合は「入」にしてみてください。	61～62
		・B-CAS カードは正しく挿入されていますか。	43
	画面に四角いノイズ（モザイク）が出る	・アンテナの向きは正しいですか。	–
		・「受信状態：良好です。【A】」と表示されていることを確認してください。表示が異なる場合は、「アンテナ受信強度に関するエラーメッセージ」（▶ **309** ページ）をご覧になり必要な処置をしてください。	61～62
		・110 度 CS デジタル放送の場合は、アンテナケーブルや分配器は 110 度 CS 帯域対応のものを使用していますか。	–
	WOWOWやスターチャンネルなどの有料放送が視聴できない	・WOWOW やスターチャンネルは有料です。視聴するためには契約をしてください。	44
	110度CSデジタル放送が視聴できない	・アンテナやアンテナケーブル、分波器は 110 度 CS 帯域（2150MHz）まで対応のものを使用していますか。	47～49
	画面にノイズが出る	・ノイズが出るときはケーブル同士を離すと軽減されることがあります。	–
		・アンテナケーブルは正しく接続されていますか。	46～49・83
	特定のチャンネルだけ映らない	・有料放送は視聴契約が必要です。	44
		・アンテナの受信強度を確認してください。	61～62

電源・受信強度表示 / 周波数設定 / 信号テスト－地上D / 信号テスト－BS / 信号テスト－CS
BS衛星信号テスト: BS−1 BS−3 BS−5 BS−7 BS−9 BS−11 BS−13 BS−15 BS−17 BS−19 終了
受信強度 BS−15
現在値 95 最大値 95
受信状態：良好です。【A】

● アンテナの接続については、**46～49**、**83**ページをご覧ください。

受信状態の一覧を表示する

● 受信状態が悪い場合、「放送が受信できません。【E202】」や「現在放送されていません。【E203】」と表示されます。

> 放送が受信できません。【E202】
> アンテナの接続状況や調整をご確認ください。
> 雨や雪などの天候の影響で一時的に受信できない場合もあります。(決定)で受信状態一覧へ

> 現在放送されていません。　【E203】
> 番組表などで放送時間を確認してください。
> 雨や雪などの天候の影響で一時的に受信できない場合もあります。(決定)で受信状態一覧へ

● これらの画面が表示されているときに、(決定) を押すと受信状態の一覧が表示されます。
この画面では、デジタル放送の各チャンネルの受信強度や地上デジタル放送で受信できるチャンネルなどが表示されます。

現在の受信状態の説明
（画面は一例です。）

解決方法が表示されます。

現在の地域設定
お住まいの地域に設定されていない場合、地上デジタル放送を正しく受信できません。

テレビ　受信状態一覧　　　11/ 3 [火] 午前1□:00

各チャンネルのアンテナ受信状態の一覧表示です。
(決定) キーを押すと受信状態を再確認することができます。

<BS・CS>
一部の放送の受信状態が悪くなっています。
◇設置されているBS・CSアンテナが、BSデジタル・110度CSデジタル放送受信に対応していない
◇アンテナケーブルや分配器などがデジタル対応でない
※アンテナ機器の交換は販売店などにご相談ください。

【ここをお確かめください】
◇BS・CSアンテナがBSデジタル・110度CSデジタルに対応しているかご確認ください。
◇アンテナケーブル、ブースターや分配器などは衛星デジタル放送の受信に対応したものをご使用ください。

<地上デジタル>

放送局	3桁		受信強度 2009/2/19	受信強度 現在	状態
NHK総合・東京	011	1	87	64	A
NHK教育・東京	021	2	87	65	A
日本テレビ	041	4	90	66	A
TBS	061	6	82	41	C
フジテレビジョン	081	8	77	35	C
テレビ朝日	051	5	85	53	B
テレビ東京	071	7	80	39	C
放送大学	121	12	80	43	C
tvk	–		32	0	☆E

☆が示されているチャンネルは隣接地域向け放送であるため、この地域では受信強度が十分確保できない可能性があります。

<BS・CSアンテナ>

BS 衛星信号	受信強度 現在	状態
BS–1	94	A
BS–3	94	A
BS–5	–	–
BS–7	–	–
BS–9	94	A
BS–11	–	–
BS–13	94	A
BS–15	94	A

CS 衛星信号	受信強度 現在	状態
CS–2	90	A
CS–4	86	A
CS–6	67	A
CS–8	69	A
CS–10	46	B
CS–12	45	B
CS–14	43	B
CS–16	56	D
CS–18	42	B
CS–20	31	B
CS–22	41	C
CS–24	1	C

［受信状態］
A　アンテナ信号は良好です
B　受信強度が60以下です
C　アンテナ信号が不足しています　または、アンテナ信号が強すぎます
D　受信状態が良くありません
E　受信できません
※良好な受信には、受信強度が60以上必要です。

［設定内容］
地域設定　:○○
郵便番号　:〒000-0000
B–CASカード　:OK
BS・CSアンテナ電源　:オート（切）
バージョン情報　:00000000 0000000 00000000

(決定)を押す　(戻る)で前の画面に戻る

地上デジタル放送の受信状態一覧

BSデジタル放送／110度CSデジタル放送の受信状態一覧

受信状態の一覧は、直前に視聴していた放送（「地上デジタル」または「BS デジタル・110 度 CS デジタル」のいずれか一方）が表示されます。

最新の状態を表示するには
(決定) ボタンを押します。
表示が切り換わるまで時間がかかる場合があります。

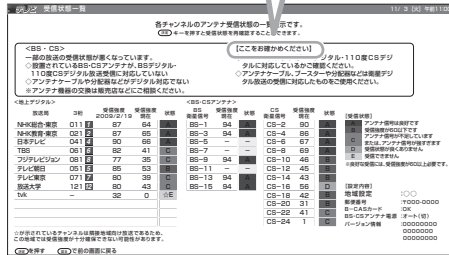
画面を消すときは
終了 を押します。

次のページに続く

地上デジタル放送で受信できないチャンネルがあるときは

【ここをお確かめください】

【ここをお確かめください】の表示内容を確認してください。

- 地上デジタル放送用アンテナとの接続については **46 ～ 49** ページをご覧ください。
  また「アンテナ接続のワンポイントアドバイス」（▶ **83** ページ）もご覧ください。
- かんたん初期設定をやり直すときは **59** ページをご覧ください。
- 受信している放送局をリモコンの数字ボタンに割り当てることができます。数字ボタンが割り当てられていない場合は、3 桁入力で選局できます。
  リモコンの数字ボタンを割り当てるには「デジタル放送のチャンネルの個別設定」（▶ **67** ページ）をご覧ください。

▼地上デジタル放送の受信チャンネル一覧

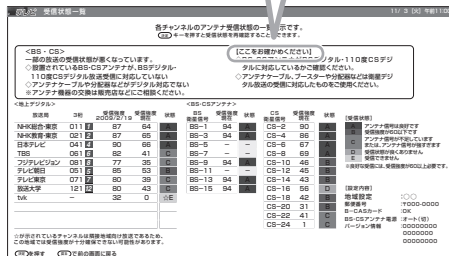
<地上デジタル>

放送局	3桁	受信強度 2009/2/19	受信強度 現在	状態
NHK総合･東京	011 1	87	64	A
NHK教育･東京	021 2	87	65	A
日本テレビ	041 4	90	66	A
TBS	061 6	82	41	C
フジテレビジョン	081 8	77	35	C
テレビ朝日	051 5	85	53	B
テレビ東京	071 7	80	39	C
放送大学	121 12	80	43	C
tvk	–	32	0	☆E

現在割り当てられているリモコンの数字ボタン

BS・110 度 CS デジタル放送が映らないときは

【ここをお確かめください】の表示内容を確認してください。

- BS · 110 度放送用アンテナとの接続については **47 ～ 49** ページをご覧ください。
  また「アンテナ接続のワンポイントアドバイス」（▶ **83** ページ）もご覧ください。
- かんたん初期設定をやり直すときは **59** ページをご覧ください。

おしらせ

BS デジタル放送の受信状態について

- 現在、信号が送られているのは「BS-1」「BS-3」「BS-9」「BS-13」「BS-15」です。このため、「BS-5」「BS-7」「BS-11」「BS-17」「BS-19」の受信状態は表示されません。
  （2009 年 7 月現在）

BS・110 度 CS デジタル放送について

- デジタル放送には有料放送があります。視聴するには、視聴契約する必要があります。

アンテナ接続のワンポイントアドバイス

- お住まいの地域やチャンネルによっては電波が弱く、アンテナの接続方法やレコーダーなどの機器との接続により、映らない場合が考えられます。このような場合、アンテナの接続状況を変えていただくと映る場合がありますので、本ページを参考にご確認をお願いします。

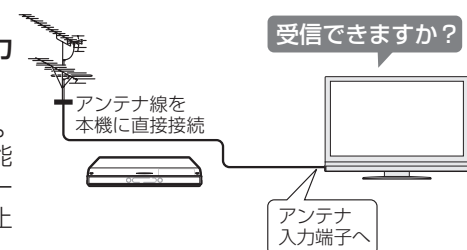
こんなときは

アンテナ線を、レコーダーを経由して本機に接続している場合に、レコーダーは放送を受信できるのに本機は受信できない。

アドバイス

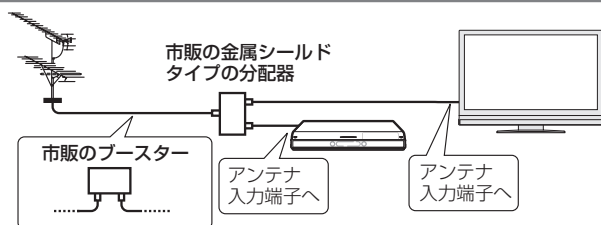
レコーダーに接続しているアンテナ線を本機の入力に直接接続してみてください。

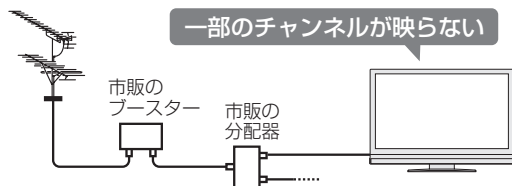
本機が受信できる場合は、本機の故障ではありません。

- レコーダーに内蔵されているアンテナ分配機能の性能により、本機が受信できないことがあります。レコーダーの出力端子から本機の入力端子に接続するのは止めましょう。

解決方法

アンテナ線を市販の金属シールドタイプの分配器で分配して、レコーダーと本機のそれぞれに接続してください。

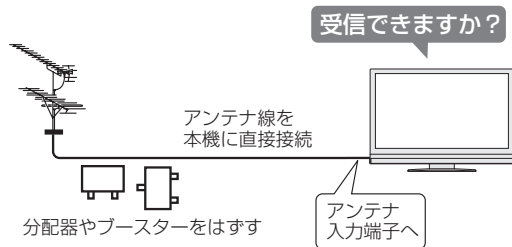
それでも受信できない場合は…

- アンテナ線を市販のブースターに接続してください。

こんなときは

分配器やブースターを使用している場合に一部のチャンネルだけ映らない。

アドバイス

使用している分配器やブースターをはずして、アンテナ線を本機に直接接続してみてください。
（レコーダーやパソコンなどの使用を止めて確認してください。これらの機器から発生する電波などによる障害も考えられます。）

正しく受信できる場合は、本機の故障ではありません。

- 分配器やブースターの性能により、正しく受信できないことがあります。

解決方法

市販の、地上デジタル放送やＢＳデジタル放送に対応している分配器やブースターと交換してください。

それでも受信できない場合は…

- ご購入のご販売店などにご相談ください。

テレビを見る

リモコンで番組を選ぶ

基本的な選びかた

● リモコンを使って番組を選んでみましょう。

おしらせ

- デジタル放送は B-CAS カード（▶ **43** ページ）を挿入しないと視聴できません。
- **110 度 CS デジタル放送を初めて選局するときは、▶ 60** ページをご覧ください。

1 放送の種類(ネットワーク)を選ぶ

① 放送切換ボタンを押します。

放送切換

デジタル放送
- 地上デジタル放送 ― 地上D
- BSデジタル放送 ― BS
- 110度CSデジタル放送 ― CS

地上アナログ放送（従来の放送） ― 地上A

② デジタル放送と IPTV では テレビ/データ ポータル を押してメディアの選択ができます。
- 放送がある場合のみ切り換わります。

- デジタル放送　テレビ → ラジオ※ → データ放送
- IPTV　テレビ ⟷ ポータルサイト

※ 2009 年 7 月現在、BS デジタルのラジオ放送は行われておりません。ラジオ放送が再開された場合は、テレビ放送→ラジオ放送→データ放送→テレビ放送の順に切り換わります。

ホームメニューから番組を選ぶときは

- ホームメニューから「チャンネル」を選び、放送の種類→番組（またはチャンネル）の順に選びます。

工場出荷時のデジタルチャンネル一覧

おしらせ

- 右記のチャンネル一覧は 2009 年 7 月現在のもので、変更されることがあります。
- デジタル登録画面を表示中に、各放送切換ボタンまたはテレビ／データ／ポータルボタンを押すと、放送の種類とテレビ／データが切り換わり、その放送のデジタル登録画面が表示されます。
- 放送のないメディア（テレビ／データ）には切り換わりません。

BS デジタル放送のチャンネル

数字ボタン(チャンネルボタン)	テレビ		データ	
	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号
1	NHK BS1	101	―	―
2	NHK BS2	102	ウェザーニュース	910
3	NHK h	103	―	―
4	BS 日テレ	141	―	―
5	BS 朝日1	151	―	―
6	BS-TBS	161	―	―
7	BS ジャパン	171	―	―
8	BS フジ･181	181	―	―
9	WOWOW	191	―	―
10	スターチャンネル	200	―	―
11	BS 11	211	―	―
12	TwellV	222	―	―

次のページに続く

おしらせ

数字ボタンを使った選局と、放送切換ボタンについて

- 数字ボタン（チャンネルボタン）を押すと現在視聴している放送のチャンネルが選局されます。リモコン番号については ▶ **123** ページをご覧ください。
- チャンネルを切り換えたときに動きの効果がつくように設定できます。（▶ **107** ページ）

デジタル放送は、電子番組表や裏番組一覧でも番組を選べます。
（▶**92**･**93**ページ）

2 チャンネルを選ぶ

数字ボタン(チャンネルボタン)または選局ボタン(緑)を押します。

- 数字ボタン（チャンネルボタン）には、各放送局のチャンネルが登録（設定）されており、ワンタッチ選局できます。
- 登録されているチャンネルの一覧も確認できます。（▶ **90** ページ）

- 地上デジタル放送は、選局順が設定できます。（▶ **87** ページ）

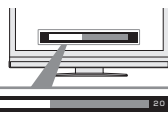
3 音量を調節する

音量ボタンや消音ボタンで調節します。

- 「＋」で音が大きく、「－」で音が小さくなります。

画面下部に音量レベルが表示されます。

消音

- 一時的に音を消せます。

おしらせ

視聴中の番組の番組情報を見る

- ホームメニューから「ツール」－「番組情報」を選ぶと、視聴中の番組情報が画面に表示されます。

110度CSデジタル放送のチャンネル

数字ボタン（チャンネルボタン）	テレビ チャンネル番号
1	100
2	001
3	－
4	－
5	－
6	－
7	－
8	－
9	－
10	－
11	－
12	－

地上デジタル放送のチャンネル

数字ボタン（チャンネルボタン）	チャンネル名	チャンネル番号
1	NHK総合･東京	011
2	NHK教育･東京	021
3	－	－
4	日本テレビ	041
5	テレビ朝日	051
6	TBS	061
7	テレビ東京	071
8	フジテレビジョン	081
9	東京MXテレビ	091
10	－	－
11	－	－
12	放送大学	121

工場出荷時は関東の東京で受信できるチャンネルが登録されています。

おしらせ

- 3 桁のチャンネル番号でも選局できます。（▶ **88** ページ）
- 2009 年 7 月現在、CS001ch は放送されていません。

放送の種類やチャンネルの確認のしかた

● 放送の種類やチャンネルはテレビ画面のチャンネルサインで確認できます。

1 チャンネルサインを表示する

画面表示 を押す

▼テレビ画面のチャンネルサイン

視聴中の番組の放送局名

視聴中の番組のチャンネル番号

映像の種類と画質について ▶**343**ページ

リモコンの数字ボタン（チャンネルボタン）の番号

視聴中の番組名と情報他にも情報がある場合に表示されます。

2 チャンネルサインの表示を切り換える

画面表示 を押す

• 次のように切り換わります。

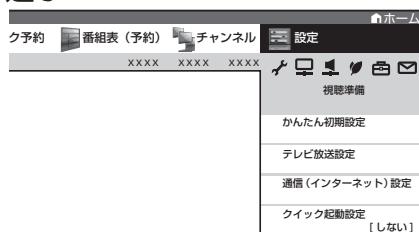
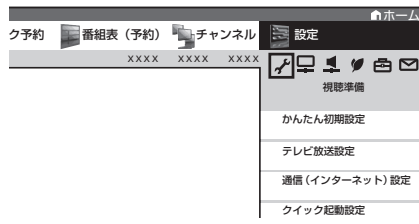
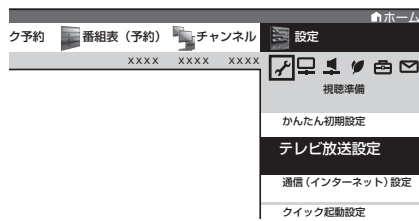
• 上記は、ホームメニューの「設定」－「（視聴準備）」－「各種設定」－「時計設定」－「時刻表示」（▶ **105** ページ）を「する」にしている場合です。

選局ボタンの選局順を変更する（地上デジタル放送のみ）

● 工場出荷時は、3 桁チャンネル番号順に選局されます。この順番を電子番組表（▶ **92** ページ）に表示されている順番に変更することもできます。

1 地上デジタル放送を選ぶ

地上D を押す

2 ホームメニューから「設定」を選ぶ

を押し

で選ぶ

3 （視聴準備）を選ぶ

で選ぶ

4 「テレビ放送設定」を選ぶ

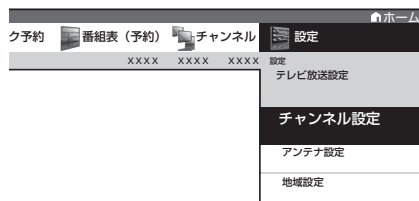
で選び

を押す

5 「チャンネル設定」を選ぶ

で選び

を押す

次のページに続く

6 「地上デジタル」を選ぶ

で選び

を押す

7 「地上デジタル一選局順」を選ぶ

で選び

決定

を押す

8 「モード 1」または「モード 2」を選ぶ

で選び

を押す

- 「モード 1」: 放送局推奨の番組表並び順で選局できます。
- 「モード 2」: チャンネル番号（3 桁）の順番で選局できます。
- 操作を終了する場合は終了ボタンを押します。

その他の選びかた

3 桁入力で選ぶ（デジタル放送のみ）

- 3 桁チャンネル番号（デジタルチャンネル一覧 ▶ **85**・**86** ページ）を入力しても選局できます。

1 デジタル放送の種類を選ぶ

地上D BS CS のいずれかを押す

2 3桁入力欄を表示する

3桁入力(CATV) を押す

- 繰り返し押して放送の種類を切り換えることもできます。

3 3桁チャンネル番号を入力する

1 〜 10/0 で入力

(例)BSデジタル放送の161チャンネル(BS-TBS)を選んでいるとき

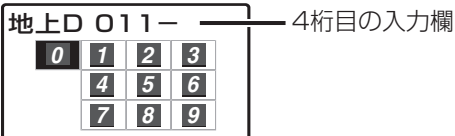
- 間違った番号を入力した場合は、3桁入力ボタンを押してから入力し直します。
- 「0」を入力するときは10/0を押します。

おしらせ

ホームメニューから3桁入力欄を表示する

- 手順 2 で「ツール」－「3桁入力」を選びます。
- 手順 2 で「設定」－「(機能切換)」－「視聴操作」－「3桁入力」を選びます。

地上デジタル放送の場合は

- 地上デジタル放送でチャンネル番号の重複する放送局がある場合は、4桁目（枝番）の選択画面が表示されます。数字ボタン（チャンネルボタン）で枝番を入力します。

ケーブルテレビのチャンネルを選ぶ

- ケーブルテレビ(CATV)放送を視聴するには、CATV会社との契約が必要です。
- CATVチャンネルは工場出荷時、チャンネルスキップ「する」に設定されています。(解除のしかた▶ 78ページ)
- 本機のCATVチャンネルは、C13～C 63チャンネルの範囲で選局できます。

1 地上アナログ放送を選ぶ

地上A を押す

2 CATVを選ぶ

3桁入力(CATV) を押す

3 チャンネル番号を入力する

1 〜 12 で入力

(例)　C23を選ぶとき

2、3の順に押します。

おしらせ

- ホームメニューからケーブルテレビのチャンネルを選ぶ場合は、「設定」－「(機能切換)」－「視聴操作」－「CATV」を選びます。
- 3桁入力(CATV)を繰り返し押すことで、CATVに切り換えることもできます。

データ放送で天気予報や株価などの情報を見る

独立データ放送の番組から選ぶ

1 BS デジタル放送を選ぶ

を押す

2 データ放送に切り換える

を押す

3 天気予報や株価のチャンネルを選ぶ

を押す

連動データ放送（データ連動）の番組から選ぶ

1 デジタル放送の視聴中に、連動データ放送の画面を表示する

を押す

2 メニューに表示されている目次から、天気予報や株価の項目を選ぶ

- 操作のしかたは、表示されているメニューの内容によって異なります。

で選び

を押す

天気予報や株価を知りたいときは地域設定（▶**64**ページ）を行ったあとデータ放送をご活用ください。

デジタル放送のチャンネルのボタン番号を確認・変更する

● 数字ボタン（チャンネルボタン）の登録内容が確認できます。また、現在の登録を変更することもできます。

登録チャンネルを確認する

1 登録を確認したいデジタル放送を選局する

- 確認したいデジタル放送の種類（地上デジタル放送／ BS デジタル放送／ 110 度 CS デジタル放送）やメディア（テレビ／データ／ポータル）を選びます。

のいずれかを押す

を押す

2 ホームメニューから「設定」を選ぶ

を押し
で選ぶ

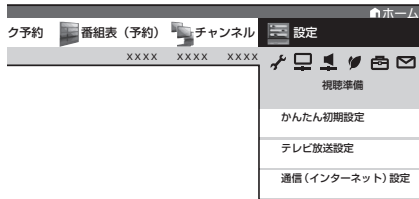
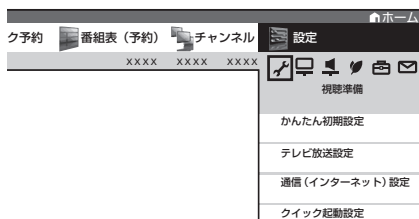
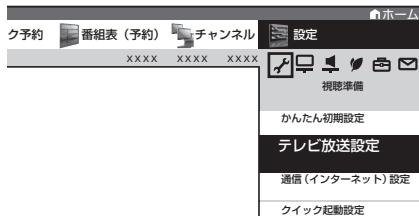
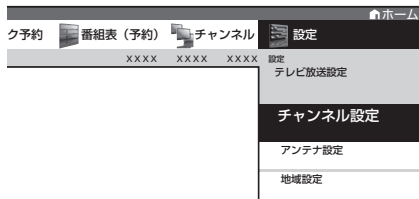
3 （視聴準備）を選ぶ

で選ぶ

4 「テレビ放送設定」を選ぶ

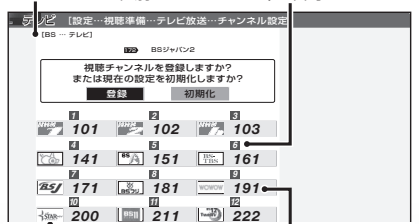
で選び
決定
を押す

5 「チャンネル設定」を選ぶ

で選び
を押す

6 ①「デジタル登録」を選ぶ
②「する」を選ぶ

で選び
決定
を押す

- チャンネルの一覧が表示されます。

(例)BS デジタル放送の、テレビ放送の一覧

- 終了する場合は、終了ボタンを押します。

チャンネルを登録する

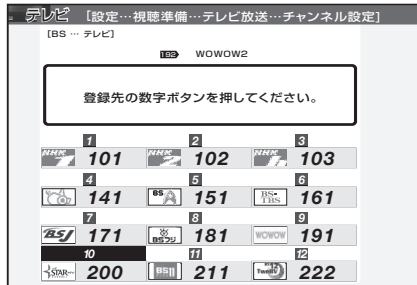
1 登録したいチャンネルを選局する

2 左記の手順 2 ～ 6 を行う

3 「登録」を選ぶ

で選び
決定
を押す

4 登録したい数字ボタン（チャンネルボタン）を押す

1 ～ 12 のいずれかを押す

- 登録確認画面が表示されます。
- 終了する場合は、終了ボタンを押します。（押さなくても、しばらくすると画面表示は消えます。）

おしらせ

- 登録できるのは、各デジタル放送ネットワーク（地上、BS、CS）の各メディア（テレビ／データ／ポータル）につき 12 局までです。
- 設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、手順 3 で「初期化」を選び、決定ボタンを押したあと左右カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押します。

電子番組表（EPG※）で番組を選ぶ

映画や音楽などジャンルごとの番組一覧を表示したり、一週間先までに放送される番組を確認できます。

電子番組表とは

- テレビ画面に表示される番組の一覧表のことを「電子番組表」といいます。
- 地上デジタル放送や BS・110 度 CS デジタル放送では電子番組表が送信されています。デジタル放送の受信中に（番組表 予約）を押すと、電子番組表が表示できます。
- 地上アナログ放送・外部ビデオ入力には電子番組表はありません。ホームメニューから選んでアナログ予約画面を呼び出すことができます。(▶ **144**ページ)

※「EPG」とは、Electronic Program Guide のことです。

こんなことができます

		ページ
基本の使いかた	電子番組表で番組を選ぶ	**94 ～ 95**
	番組情報を見る	**94**
	放送中の他の番組（裏番組）を調べる	**93**
番組の便利な探しかた	分類（ジャンル）・特徴・キーワードで番組を探す	**95**
	日時を指定して番組を探す	**95**
電子番組表を活用するための設定のしかた	電源待機中に地上デジタル放送の電子番組表を自動で取得させる（番組表取得）	**96**
	電子番組表のジャンルアイコンを目立たせる	**96**
	電子番組表の表示のしかたを変える	**97 ～ 98**
	ホームメニューなどの文字を大きくする（文字サイズ）	**121**
番組の予約録画のしかた	番組を BD レコーダー機能で予約録画する	**140**
	予約の設定を変える・取り消す	**146**

電子番組表の見かた

- 本書に記載の電子番組表は、画面に情報を多く表示できるように設定したものを例にしています。「文字サイズ」（▶ **121** ページ）を「標準」に、「表示方式」（▶ **97** ページ）を「モード 1」に設定すると、画面に情報を多く表示できるようになります。

（画面の表示例）

予約リストについて

- 電子番組表から「一発予約」（▶ **140** ページ）を行うと、予約リストが電子番組表の左端に表示されます。予約リストとは、設定した予約録画や視聴予約の一覧です。
- 予約リストは、１ページ４番組・全４ページ (合計 16 番組）まで表示されます。
- 予約の変更は、予約リストから行います。予約リストの操作と番組表の操作の切り換えは、カラーボタン（黄）で行います。

おしらせ

- 本機で視聴に使える電子番組表を表示できるのは、デジタル放送のみです。
- 電子番組表やホームメニュー画面などの表示色を変更することができます。（画面表示色設定 ▶ **122** ページ）
- 本書ではおもに BS デジタル放送の電子番組表の画面を表示例にしています。
- 地上デジタル放送の電子番組表は、送信している各チャンネルから取得する必要があります。
- BD レコーダー機能を使って BD を再生しているとき、電子番組表は表示できません。

電子番組表の表示内容について

表示される情報の期間

- テレビ放送……8 日分
- データ放送……最低 1 日分
- 表示時間………3 時間または6時間（文字サイズの設定によって変わります。▶ **121** ページ）

おしらせ

- 電源を入れてからすぐに番組表ボタンを押すと、番組表の内容が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

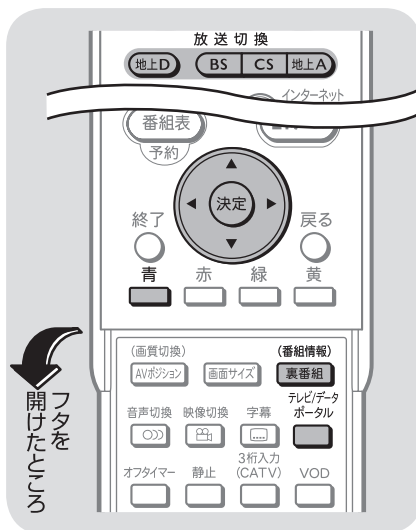
番組情報を示すアイコン

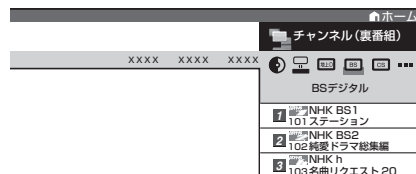
アイコン	項目
	視聴予約している番組
	予約録画(BD録画)している番組
	予約録画(ファミリンク録画)している番組
	録画できない番組
	録画に制限がある番組

ジャンルを示すアイコン

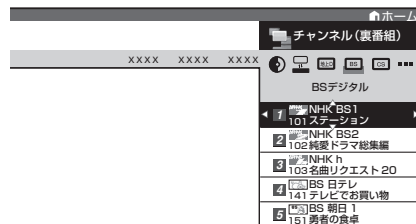
アイコン	ジャンル	アイコン	ジャンル
	おすすめ		ニュース／報道
	スポーツ		情報／ワイドショー
	ドラマ		音楽
	バラエティ		映画
	アニメ／特撮		ドキュメンタリー／教養
	劇場／公演		趣味／教育
	福祉		

放送中の他の番組（裏番組）を調べる

● 視聴中に裏番組を一覧で確認できます。

1 裏番組の一覧を表示する

(番組情報) 裏番組 を押す

2 裏番組を選ぶ

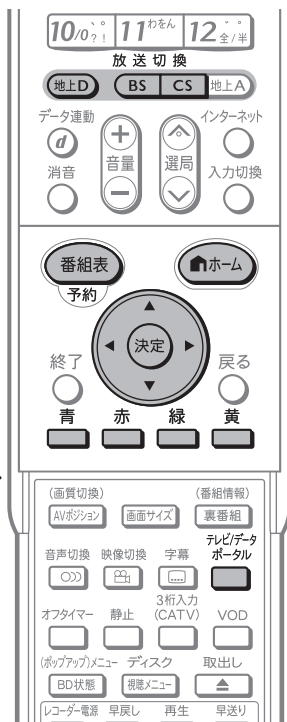
- 選んだ番組に切り換わります。

で選び 決定 を押す

- 裏番組を選び 青 を押すと、番組情報が表示されます。

おしらせ

- 地上 D・BS・CS のいずれのネットワークについても、また、テレビ・データ・IPTV のポータル画面のいずれのメディアについても、同じように裏番組一覧を表示できます。
- アナログ放送では、放送局番号とチャンネル番号のみ表示されます。
- 裏番組一覧を表示しているときに放送切換ボタン（地上 D・BS・CS・地上 A）、左右カーソルボタンを押すと、他のネットワークやメディアの裏番組一覧に切り換えることができます。

電子番組表の使いかた

IPTVの番組表については、▶270ページをご覧ください。

フタを開けたところ

1 電子番組表を表示する

番組表 予約 を押す

- 放送切換ボタンやテレビ／データ／ポータルボタンで、放送の種類（番組表の表示内容）を変更できます。
- ホームメニューから表示する場合は、「番組表（予約）」から放送の種類、「番組表」の順に選びます。

（モード 1 の例：放送局名の表示は変更になることがあります。）

電子番組表を閉じる

番組表 予約　電子番組表を閉じる

- 通常の画面に戻ります。

※ 予約リストに表示される録画可能時間の残量表示は、表示されている番組表（地上D／BS／CS）のハイビジョン放送を録画できる時間です。

番組内容の紹介(番組情報)を見るには

1 内容を確認したい番組を選ぶ

で選ぶ

2 番組情報の画面を表示する

青 を押す

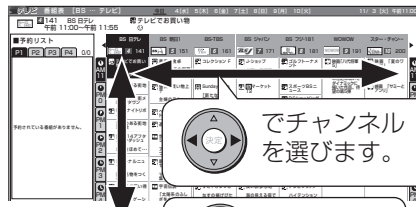
- 番組情報が表示されます。
- 番組情報案内に従って、カラーボタン、テレビ／データボタン、カーソルボタンを使い、希望する情報を選択します。

視聴中の番組の情報を見るには

- ホーム を押してホームメニューを表示させると、画面下部に視聴中の番組情報が表示されます。（▶104 ページ）（電子番組表を表示する必要はありません。）

番組表表示中の音声について

- デジタル放送の電子番組表を表示しているときに次の操作をしたときは、一時的に音声が停止します。
  - カーソルボタンで別のチャンネルを選んだとき
  - 放送切換ボタン(地上D･BS･CS)で放送の種類を切り換えたとき
  - 赤ボタンでジャンル検索画面を表示したとき
  - 緑ボタンで日時検索画面を表示したとき
  - 黄ボタンで予約リスト画面を表示したとき

2 見たい番組を選ぶ

で選び
決定を押す

- 放送中の番組を選んだときは、選んだ番組が選局されます。
- 放送予定の番組を選んだときは、BD レコーダー機能で予約録画設定されます。
  (予約については▶ **140** ページをご覧ください。)

隠れている部分を見るには

- 現在の時間帯より前の番組表は表示できません。
- 電子番組表の表示方式を切り換えることができます。(▶ **97** ページ)

分類(ジャンル)・特徴・キーワードで番組を探すには

1 ジャンル検索の画面を表示する

赤 を押す

- 詳しい使いかたは ▶ **99** ページをご覧ください。

2 番組詳細(特徴・キーワード)検索の画面に切り換える

赤 を押す

- 詳しい使いかたは ▶ **100** ページをご覧ください。
- ジャンル検索に戻るときは、戻るボタンを押します。

日時を指定して番組を探すには

1 日時検索の画面を表示する

緑 を押す

- ホームメニューから日時検索することもできます。

2 時間帯を選ぶ

で選び
を押す

- 緑ボタンと黄ボタンで日にちを変更できます。

3 見たい番組を選ぶ

で選び
を押す

- 放送中の番組を選んだときは、選んだ番組が選局されます。
- 放送予定の番組を選んだときは、BD レコーダー機能で予約録画設定されます。(予約については▶ **140** ページをご覧ください。)

電子番組表をもっと便利に利用する

● 電子番組表をもっと便利に利用するため、電子番組表の表示内容の設定を変更できます。

電源待機中に地上デジタル放送の電子番組表を自動で取得させる（番組表取得）

● 地上デジタル放送の電子番組表を電源待機中に自動取得することができます。自動取得しておくと、電子番組表の表示がスムーズになります。

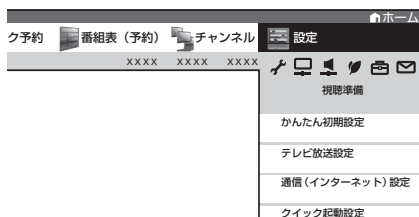
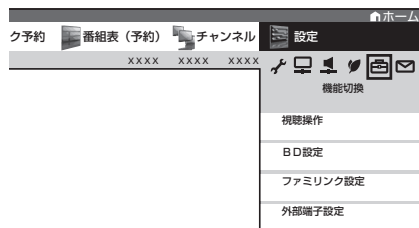
1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

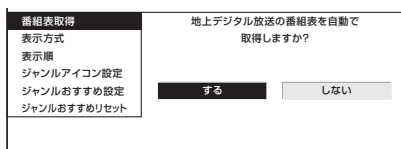
を押し
で選ぶ

2 （機能切換）を選ぶ

で選ぶ

3 「番組表設定」を選ぶ

で選び
を押す

4 「番組表取得」を選ぶ

で選び
を押す

5 「する」を選ぶ

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

で選び
を押す

おしらせ

番組表取得を「する」に設定した場合は
- リモコンで電源を切っても、電源が切れるまでにしばらく時間がかかることがあります。（本機が放送局の番組情報を取得しているためです。）
- 本体の電源スイッチで電源を切った場合は、自動取得できません。

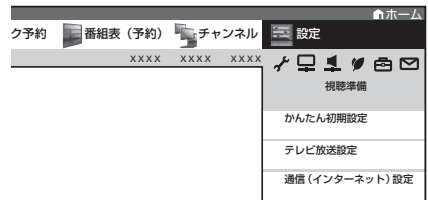
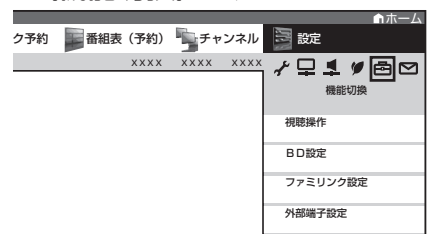
電子番組表のジャンルアイコンを目立たせる（ジャンルアイコン設定）

● 電子番組表のジャンルを示すアイコン（▶ **93** ページ）に濃淡を付けて、識別しやすくできます。

1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

を押し
で選ぶ

2 （機能切換）を選ぶ

で選ぶ

3 「番組表設定」を選ぶ

で選び
を押す

4 「ジャンルアイコン設定」を選ぶ

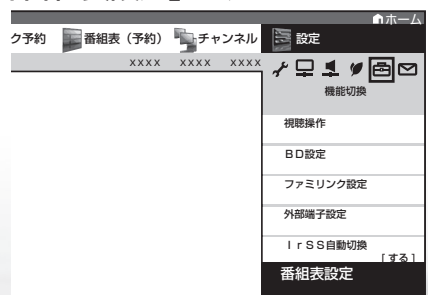
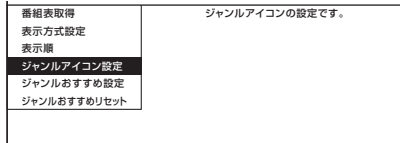
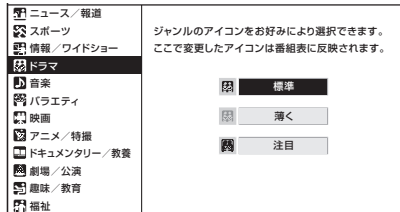
で選び

を押す

番組表取得
表示方式設定
表示順
ジャンルアイコン設定
ジャンルおすすめ設定
ジャンルおすすめリセット

ジャンルアイコンの設定です。

5 ジャンル名を選ぶ

で選び

決定を押す

6 「標準」「薄く」「注目」のいずれかを選ぶ

で選び

を押す

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おすすめアイコンを表示する

- ホームメニューから「チャンネル」で見たい番組を探すとき、あなたがよく見ているジャンルの番組の番組情報画面におすすめアイコンを表示します。
- 番組情報画面は、番組を（決定）で選び、青を押すと表示されます。

- ホームメニューから「設定」－「（機能切換）」－「番組表設定」－「ジャンルおすすめ設定」を選び、「する」に設定します。
- おすすめアイコンが1つも付いていない状態に戻すときは、「設定」－「（機能切換）」－「番組表設定」－「ジャンルおすすめリセット」－「する」を選びます。

電子番組表の並べかたや表示範囲を変える（表示方式）

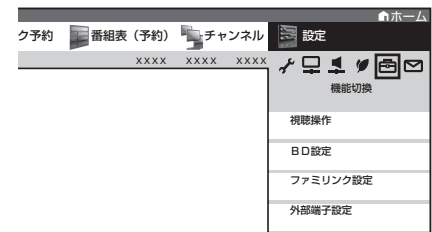
- 番組表に一度に表示できる範囲の設定ができます。

1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

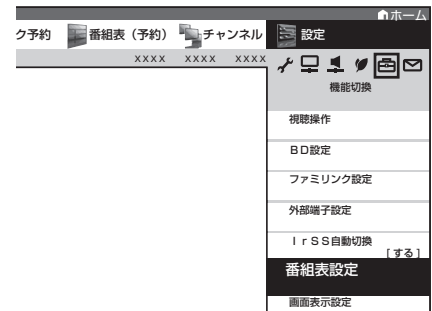
を押し

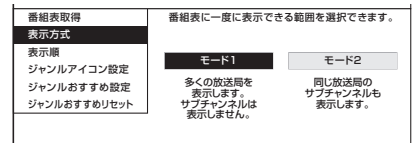
で選ぶ

2 （機能切換）を選ぶ

で選ぶ

3 「番組表設定」を選ぶ

で選び

決定を押す

4 「表示方式」を選ぶ

で選び

を押す

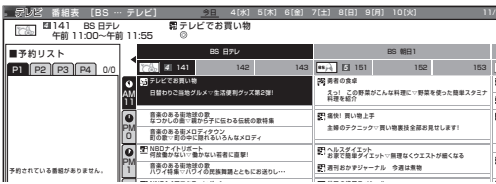
次のページに続く

5 「モード1」または「モード2」を選ぶ

で選び
を押す

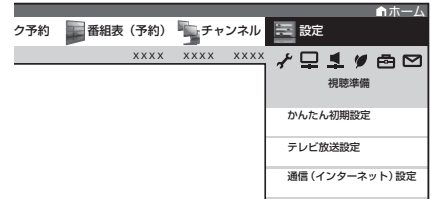
- **「モード 1」**：多くのチャンネル※を同時表示します。（工場出荷時には「モード 1」に設定されています。）
- **「モード 2」**：同じ放送局のサブチャンネルも表示します。
  ※ 画面文字サイズ設定が「標準」のときは、7 チャンネル分を表示します。画面文字サイズ設定が「大きな文字」のときは、5 チャンネル分を表示します。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

モード 1 の電子番組表の例

モード 2 の電子番組表の例

- 文字サイズ（▶ **121** ページ）を「大きな文字」にしている場合は、「モード 2」を選択できません。

電子番組表の表示の順番を変える（表示順）

- 番組表に表示されるチャンネルの順番を設定できます。

1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

を押し
で選ぶ

2 （機能切換）を選ぶ

で選ぶ

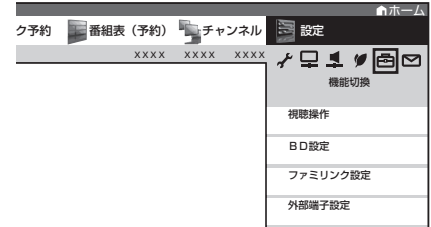
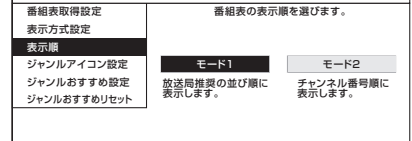
3 「番組表設定」を選ぶ

で選び
を押す

4 「表示順」を選ぶ

で選び
を押す

5 「モード1」または「モード2」を選ぶ

で選び
を押す

- **「モード 1」**：放送局推奨の並び順に表示します。
- **「モード 2」**：チャンネル番号順に表示します。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

番組を検索する

日時、キーワードや特徴、ジャンルなどをキーにして、見たい番組を素早く検索することができます。

検索の種類

番組の検索には、次のような方法があります。

■日時検索

日時から番組を検索する方法です。

- 使いかたは、▶ **95** ページをご覧ください。

■ジャンル検索

見たいジャンルから番組を選ぶ方法です。

- 使いかたは、「ジャンルから番組を検索する（ジャンル検索）」をご覧ください。

■番組詳細検索

検索条件を選択し、その条件に当てはまる番組を検索する方法と、キーワードを入力し、そのキーワードを含む番組を検索する方法があります。

- 使いかたは、▶ **100** ページ「検索条件やキーワードから番組を検索する（番組詳細検索）」をご覧ください。
- ホームメニューから「番組表（予約）」を選び、検索することもできます。

ジャンルから番組を検索する（ジャンル検索）

1 赤 を押す

電子番組表が表示されている状態でカラーボタン（赤）を押す

- ジャンル検索画面が表示されます。

（画面の表示例）

はじめに
準備
番組を見る
BDレコーダー機能で録画・予約録画
BDレコーダー機能で再生
レコーダー・プレーヤー・パソコンなどにつなぐ
ファミリンクで録画・再生
本機の機能の活用
故障かな・仕様・寸法図など
English Guide

2 見たいジャンルと日にちを選ぶ

①上下カーソルボタンでジャンルを選ぶ

②左右カーソルボタンで日にちを選ぶ

で選ぶ

を押す

- 検索された番組が表示されます。
- 「おすすめ」を選ぶと、過去の視聴履歴をもとにあなたへのおすすめ番組を検索します。

3 決定する

を押す

- カーソルが番組に移動し、番組を選べるようになります。

4 番組を選ぶ

で選び

を押す

- 番組の情報が表示されます。
- 放送中の番組を選んだときは、選んだ番組が選局されます。
- 決定ボタンを押すと、選んだ番組が録画予約されます。
- （番組表 予約）で検索を終了します。

おしらせ

ジャンル検索画面でカラーボタン（赤）を押すと、番組詳細検索画面に切り換わります。ジャンル検索画面に戻るときは、戻るボタンを押してください。

検索条件やキーワードから番組を検索する（番組詳細検索）

1 電子番組表が表示されている状態でカラーボタン（赤）を2回押す

赤

を押す

- ジャンル検索画面→番組詳細検索画面と切り替わります。

（画面の表示例）

■条件を指定して検索する（特徴検索）

● 最初にお使いになるときは、検索条件が設定されていません。「検索条件を変更するときは」（▶ **101** ページ）を参考に検索条件を設定してください。

1 検索条件と日にちを選ぶ

①上下カーソルボタンで検索条件を選ぶ

②左右カーソルボタンで日にちを選ぶ

で選ぶ

- 検索された番組が表示されます。

2 決定する

を押す

- カーソルが番組に移動し、番組を選べるようになります。

3 番組を選ぶ

で選び

を押す

- 番組の情報が表示されます。
- 放送中の番組を選んだときは、選んだ番組が選局されます。
- 決定ボタンを押すと、選んだ番組が録画予約されます。
- 番組表(予約)で検索を終了します。

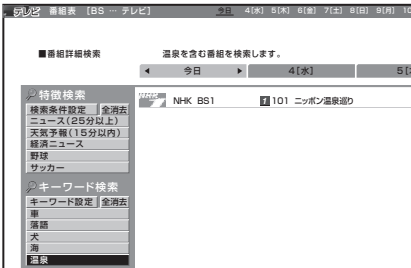
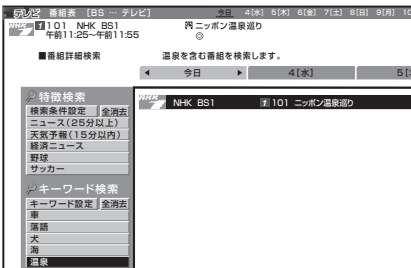
■キーワードから検索する(キーワード検索)

● 最初にお使いになるときは、キーワードが設定されていません。「キーワードを変更するときは」(▶**右記**)を参考にキーワードを設定してください。

1 キーワードと日にちを選ぶ

で選ぶ

①上下カーソルボタンでキーワードを選ぶ
②左右カーソルボタンで日にちを選ぶ

- 検索された番組が表示されます。

2 決定する

を押す

- カーソルが番組に移動し、番組を選べるようになります。

3 番組を選ぶ

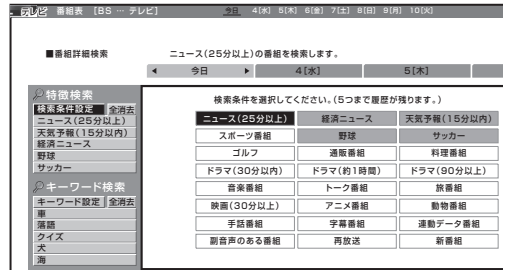
で選び

を押す

- 番組の情報が表示されます。
- 放送中の番組を選んだときは、選んだ番組が選局されます。
- 決定ボタンを押すと、選んだ番組が録画予約されます。
- 番組表(予約)で検索を終了します。

■検索条件を変更するときは

「特徴検索」を最初にお使いになるときや検索条件を変えたいときは、「検索条件設定」を選び決定ボタンを押します。

- 検索条件候補が一覧表示されます。

- 上下左右カーソルボタンで検索条件を選び、決定ボタンを押します。
- 5つまで選ぶことができます。
- 合計で5つを超えたときは、古いものから削除されます。

検索条件を選んで消去するときは

① 消去したい検索条件を選び 赤 を押す。
②「する」を選んで 決定 を押す。
- 選んだ検索条件が消去されます。

検索条件をすべて消去するときは

①「全消去」を選び 決定 を押す。
②「する」を選んで 決定 を押す。
- 検索条件がすべて消去されます。

■キーワードを変更するときは

●「キーワード検索」を最初にお使いになるときやキーワードを変えたいときは、「キーワード設定」を選び決定ボタンを押します。
- ソフトウェアキーボードからキーワードを入力します。ソフトウェアキーボードの使いかたは「文字を入力する」(▶ **226** ページ)をご覧ください。
- 全角20文字以内(半角文字は入力できません)。
- カラーボタン(黄)でキーワードが追加されます。合計で5つを超えたときは、古いものから削除されます。

キーワードを選んで消去するときは

① 消去したいキーワードを選び 赤 を押す。
②「する」を選んで 決定 を押す。
- 選んだキーワードが消去されます。

キーワードをすべて消去するときは

①「全消去」を選び 決定 を押す。
②「する」を選んで 決定 を押す。
- キーワードがすべて消去されます。

音声・映像・字幕を切り換える

おしらせ

音声の見分けかた

- 二重音声放送やステレオ放送、モノラル放送は、テレビ画面のチャンネルサインの色で区別することができます。

地上アナログ放送で二重音声放送（二ヶ国語、主音声＋副音声、ステレオ）の番組を見るときは

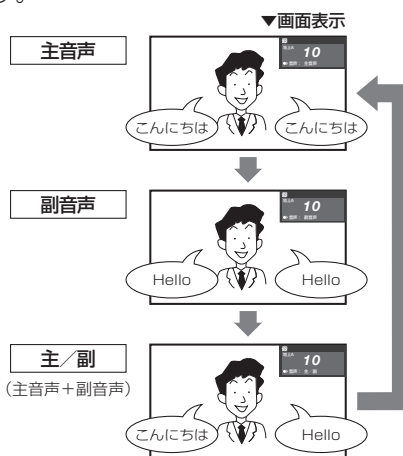
- 二重音声放送やステレオ放送の番組をご覧のとき、音声を切り換えて楽しめます。

二重音声放送の音声を切り換える

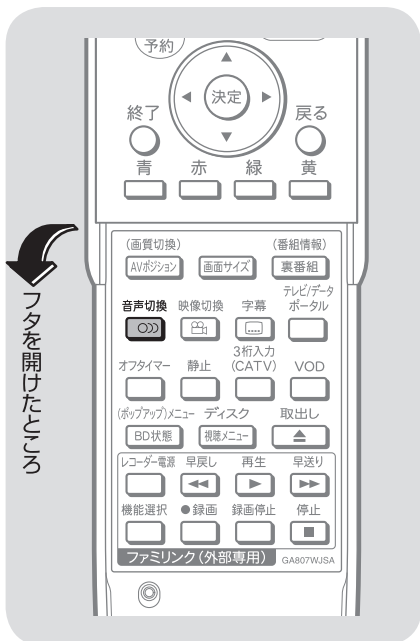
- ニュースや洋画などの二ヶ国語放送で、吹き替えの日本語（主音声）と英語などの外国語（副音声）の２種類の音声が楽しめます。

音声切換 を押す

お好みの音声を選ぶ

- ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

※ 本機に内蔵の BD レコーダー機能を使って二重音声放送を録画する際は、視聴している状態の音声で記録されますので、二重音声で録画したい場合には、主／副に設定してください。

音声をモノラルで聞きたいときは

- ステレオ放送のときは、自動的に「ステレオ」になります。
- 音声切換ボタンを押して「モノラル」にすると、ステレオ放送を受信してもモノラル音声になります。
  テレビ画面右上のチャンネルサインに「モノラル」と表示されます。
  ステレオ音声で聞くときは、再度音声切換ボタンを押して「ステレオ」に切り換えてください。

おしらせ

- 雑音が多いときは、音声切換ボタンで「モノラル」にすると雑音が減って聞きやすくなることがあります。

デジタル放送で映像・音声・字幕を切り換える

- 複数の映像（最大４つ）または音声（最大８つ）がある番組をご覧のとき、映像および音声を切り換えて楽しめます。
- 字幕のある番組をご覧のとき、字幕を表示できます。複数の字幕がある番組の場合は、字幕を切り換えて楽しめます。

▼テレビ画面のチャンネルサイン

おしらせ

音声の選択について

- マルチ音声番組を受信したときは、前回の選択にかかわらず、「音声１」が選択されます。
- 二重音声番組を受信したときは、前回選択されていた音声が選択されます。
- 予約録画時に「詳細を設定する」を選択していない場合、二重音声の場合は、直前に視聴した音声で録画します。その他の場合は、「音声１」で録画します。

字幕表示について

- ホームメニューの「設定」－「(機能切換)」－「画面表示設定」－「字幕表示」で設定します。

項目	内容
する	・字幕のあるデジタル放送の番組で、字幕を常に表示させます。 ・リモコンふた内の字幕ボタンを押すと、複数の字幕の切り換えができます。字幕表示は消えません。
しない	・リモコンふた内の字幕ボタンを押すと、字幕表示の入／切と複数の字幕の切り換えができます。（工場出荷時の設定）

複数の映像を楽しむ

映像切換 を押す

映像を切り換える

- ボタンを押すたびに映像※が切り換わり、テレビ画面右上のチャンネルサインに映像表示が出ます。

※番組によって映像の数は異なります。

複数の音声を切り換える

音声切換 を押す

音声を切り換える

- ボタンを押すたびに音声が切り換わり、テレビ画面右上のチャンネルサインに音声表示が出ます。
- デジタル放送は「モノラル」への切り換えができません。

マルチ音声番組のとき：音声１ → 音声2～8※ →（音声１に戻る）

※番組によって音声の数は異なります。

二重音声番組のとき：主 → 副 → 主/副 →（主に戻る）

字幕を表示する／複数の字幕を切り換える

字幕 を押す

字幕を表示する（切り換える）

- ボタンを押すたびに字幕※の表示が切り換わり、テレビ画面右上のチャンネルサインに字幕表示が出ます。（切り換わりかたは、左記の「字幕表示」の設定によって変わります。）

  ※放送局から強制的に表示する字幕が送られてくる場合があります。その際は、字幕表示「入」・「切」やチャンネルサインに関係なく、字幕が表示されます。

- 「字幕表示」を「しない」に設定しているとき

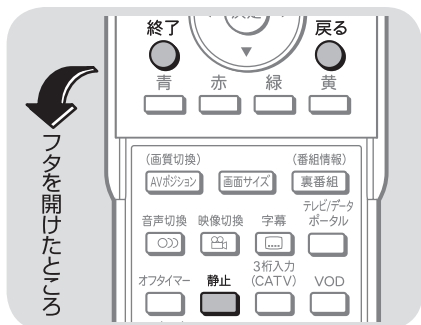
字幕が2種類あるとき：字幕非表示 → 字幕１表示 → 字幕2表示 →（字幕非表示に戻る）

字幕が１種類のとき：字幕非表示 → 字幕表示 →（字幕非表示に戻る）

- 「字幕表示」を「する」に設定しているとき

字幕が2種類あるとき：字幕１表示 → 字幕2表示 →（字幕１表示に戻る）

字幕が１種類のとき：字幕表示のまま変化なし

テレビを見るときの便利な使いかた

おしらせ

- ホームメニューから静止する場合は､「設定」－「🧰（機能切換）」－「視聴操作」－「静止」を選び、設定します。
- 次の場合は、静止画が解除されます。
  - ・選局や入力切換の操作をしたとき
  - ・ホーム（メニュー）ボタンを押したとき
  - ・映像を静止してから 30 分経過したとき
- 静止画表示中は画面サイズや AV ポジションの切り換えや、番組表、裏番組の表示はできません。

番組名表示

- 選局したときに、番組名を表示するように設定することができます。
- ホームメニューの「設定」－「🧰（機能切換）」－「画面表示設定」－「番組名表示」で設定します。

項目	内容
する	選局したときに、番組タイトルや放送時間が画面に表示されます。選局したチャンネルで次の番組が 2 分以内に始まる場合は、次の番組名と時間も表示されます。
しない	何も表示しません。

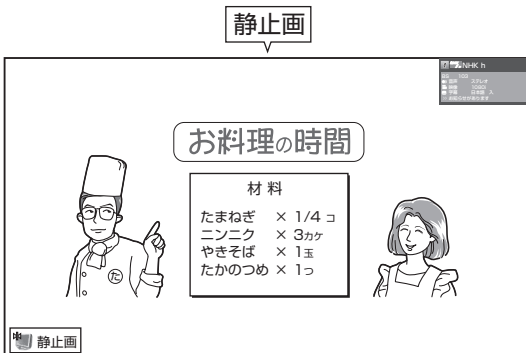
見ている画面を静止させる

- いま見ている放送や映像を静止できます。
  料理番組のメモをとったりするときに便利です。

1 静止 を押す

視聴中に映像を静止させる

- 視聴中の映像が静止画になります。

静止画

2 静止 を押す

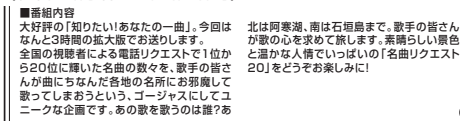
元に戻す

- 視聴中のチャンネルの現在の映像に戻ります。
- 戻るボタンまたは終了ボタンを押しても元に戻せます。

見ているデジタル放送の番組の詳細を知りたいときは

- デジタル放送の番組視聴中に、番組情報が表示できます。
- ホームメニューの「ツール」－「番組情報」を選ぶと、番組情報が表示されます。

（番組情報の画面例）

■番組内容
大好評の「知りたい!あなたの一曲」。今回はなんと3時間の拡大版でお送りします。全国の視聴者による電話リクエストで1位から20位に輝いた名曲の数々を、歌手の皆さんが曲にちなんだ各地の名所にお邪魔して歌ってしまおうという、ゴージャスにしてユニークな企画です。あの歌を歌うのは誰?あ　北は阿寒湖、南は石垣島まで。歌手の皆さんが歌の心を求めて旅します。素晴らしい景色と温かな人情でいっぱいの「名曲リクエスト20」をどうぞお楽しみに!

他にも情報がある場合に表示されます。

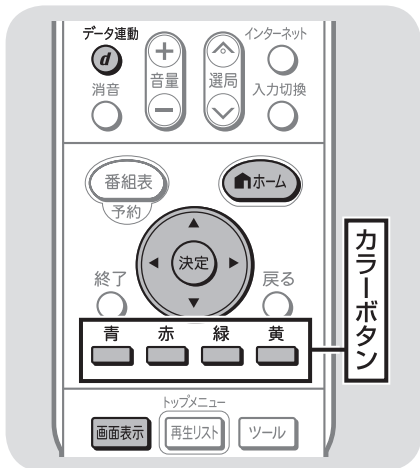
- 番組情報の右側に◀ ▶マークがある場合は、左右カーソルボタンで表示の送り・戻しができます。
- 終了ボタンを押すと、番組情報が消えます。

おしらせ

- 「設定」－「🧰（機能切換）」－「視聴操作」－「番組情報」を選んでも表示できます。

番組に連動したデータ放送を見る

おしらせ

- 電源を入れた直後やチャンネルを切り換えた直後は、データ連動ボタンを押しても連動データ放送画面が表示されないことがあります。この場合は、約20秒待ってからもう一度データ連動ボタンを押してください。（表示されるまでの時間は、放送内容によって異なります。）

● テレビ放送に連動したデータ放送がある場合は、連動データ放送が視聴できます。

データ放送画面を表示する

を押す

連動データ放送を含む番組の視聴中に、連動データ放送の画面を表示する

（例）

- テレビ放送に戻すときは、もう一度データ連動ボタンを押します。

データ放送画面の基本操作

● データ放送は放送局側で制作したメニュー画面により操作が異なりますので、画面の表示に従って操作してください。

● 例えば、カーソルボタン（上・下・左・右）で画面の項目を選んで決定したり、カラーボタン（青・赤・緑・黄）で対応する項目を選んだりして操作します。

時刻を表示する（時刻表示）

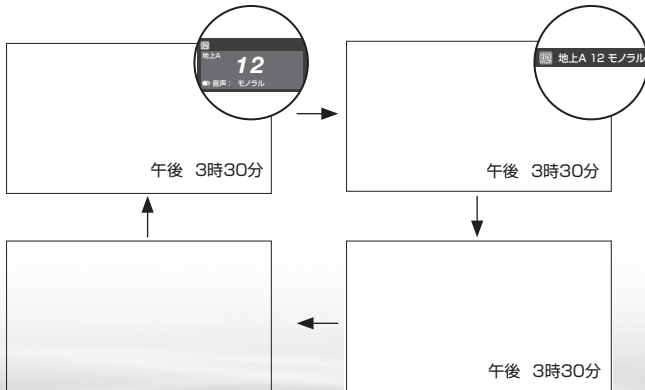
重 要

- デジタル放送が受信できないなど、時刻が自動設定されないときは、ホームメニューの「設定」－「🔧（視聴準備）」－「各種設定」－「時計設定」－「時刻設定」で時刻を合わせておいてください。（▶ **107** ページ）

時刻表示のしかたを選ぶ

● ホームメニューの「設定」－「🔧（視聴準備）」－「各種設定」－「時計設定」－「時刻表示」で設定します。

項目	内容
する	画面表示ボタンを押すたびに、現在時刻を表示／非表示にします。
する（30分ごと）	毎時00分と30分に現在時刻を表示します。
しない	表示しません。

●「する」に設定したときは、画面表示 を押すごとに、以下のように表示が変わります。

電源を入れてから画面が出るまでの時間を早くする（クイック起動設定）

クイック起動設定とは

- クイック起動設定とは、電源を入れてから画面が出るまでの時間や、BDレコーダー機能の起動時間を早くするための設定です。
- ホームメニューの「設定」－「 （視聴準備）」－「クイック起動設定」で設定します。
- クイック起動設定を「する」に設定することをおすすめします。

クイック起動を設定すると

- 例えば市販の BD ビデオを挿入したときに、自動的に再生が始まるまでの時間が早くなります。

おしらせ

- クイック起動を「する」に設定した場合、BD レコーダー機能を常時待機状態にして、起動からBD 読み込みまでの動作時間を短縮します。（BD レコーダー機能を常時待機状態にするので消費電力がアップします。工場出荷時は「しない」に設定されています。）

- リモコンで電源を入れてからの本機の起動時間を短くします。
- ホームメニューの「設定」－「 （視聴準備）」－「クイック起動設定」で設定します。

項目	内容
しない	クイック起動しません。
しない（BDは有効）	BD ディスクを入れたときの BD レコーダー機能の起動時間を早くします。「しない」ときより、消費電力が増えます。
する（常に BD は有効）	電源切時に、常に有効にします。「しない」ときより、待機時の消費電力が増えます。
する（2 時間のみ有効）	電源切後 2 時間のみクイック起動を有効にします。

目覚ましとして使うなどタイマーで電源を入れる（オンタイマー）

- 指定した時刻に、自動的に電源が入るように設定できます。設定すると、本体のオンタイマー／予約ランプが赤色に点灯します。
- ホームメニューの「ツール」－「タイマー機能」－「オンタイマー」で設定します。設定する場合は、「オンタイマー」を「入」にして、以下の各項目を設定します。
- オンタイマー機能を使うには、本機の内蔵時計が正しく合っていることが必要です。時刻が自動設定されない場合には、次のページの「時刻設定」で合わせてください。

項目	内容
曜日	タイマーで電源を入れたい曜日を設定します。「毎日」「月－土」「月－金」「毎週○曜」（○は日から土のいずれか）の中から選べます。
オン時刻（時）	タイマーで電源を入れたい時刻（時）を設定します。
オン時刻（分）	タイマーで電源を入れたい時刻（分）を設定します。
オン入力	タイマーで電源が入ったとき、画面に表示される放送の種類（地上D、ＢＳ、ＣＳ、地上Ａ）、入力、またはディスク（本体の BD レコーダー機能）を選びます。入力６は、「モニター音声出力」（▶ **196** ページ）が「入力」に設定されているときのみ選べます。
オン CH	タイマーで電源が入ったとき、画面に表示されるチャンネルを選びます。
音量	タイマーで電源が入ったときの音量を選びます。０～60 の範囲で選べます。

おしらせ

- 「オン入力」をディスク（内蔵の BD レコーダー機能）に設定している場合には、あらかじめ本機に再生するディスクをセットしてください。本機にディスクが入っていないときは、ディスク（内蔵の BD レコーダー機能）以外で最後に視聴したチャンネルまたは外部入力の画面で電源が入ります。
- 一度オンタイマーを「入」にすると、「切」にするまで繰り返しオンタイマーが働きます。
- お出かけになるときなどオンタイマーで自動的に電源を入れたくない場合は、本体の電源スイッチで電源を切るか、オンタイマーを解除し、オンタイマー／予約ランプの色を確認してください。本体の電源スイッチで電源を切った場合には、予約録画・視聴予約は実行されませんのでご注意ください。

- オンタイマーで電源が入ってから2時間操作をしない場合は、電源が切れます。(電源が切れる5分前になると、画面左下にメッセージが表示されます。)
- ホームメニューから「設定」－「(安心・省エネ)」－「オンタイマー」を選んでも、設定することができます。
- 手動で時計を設定している場合、設定できる日付(2035年12月31日)をまたいだ状態では、正しく動作しない場合があります。
- オンタイマーで外部入力を使用する場合には、あらかじめ外部入力機器の電源を入れ、視聴できる状態にしておいてください。外部入力機器が視聴できる状態になっていなければ映像や音声は出ませんのでご注意ください。

時計を合わせる(時刻設定)

● 画面に現在時刻を表示したり、指定した時刻に電源を自動的に入れるオンタイマー機能を使うには、本機の内蔵時計を正しい時刻に合わせる必要があります。

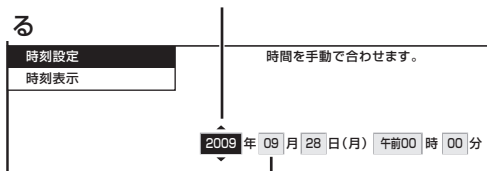
自動時刻設定機能について

● デジタル放送を受信している場合やインターネットに接続している場合は、自動的に時刻が設定されます。
デジタル放送が受信できないなど、自動設定されないときは、「時刻が設定されていません。」と表示されます。この場合は、下記の手動設定を行ってください。

手動で時刻を設定する

● ホームメニューの「設定」－「(視聴準備)」－「各種設定」－「時計設定」－「時刻設定」で設定します。

(例) 2009 年 9 月 28 日　午前10時30分に合わせる

1 上下カーソルボタンで「2009」年に合わせる

2 右カーソルボタンを押す

3 上下カーソルボタンで「09」月に合わせる

4 右カーソルボタンを押す

5 同じようにして「日」「時」「分」を合わせる

6 決定ボタンを押す

おしらせ

- 時刻が自動設定されている場合、「時刻設定」は選べません。
- 設定できる時刻は 12 時間表示です。
- 設定できる日付は、2035 年 12 月 31 日までです。
- 設定後、現在時刻を確認したいときは、時刻表示(▶ **105** ページ)を「する」に設定したあと、画面表示ボタンを押してください。
- 電源プラグをコンセントから抜いたり停電が起きた場合、時刻情報は消去されます。この場合は、時刻設定をし直してください。

チャンネルの切り換え時に動きの効果をつける

● チャンネルを切り換えたときに動きの効果がつくよう設定できます。

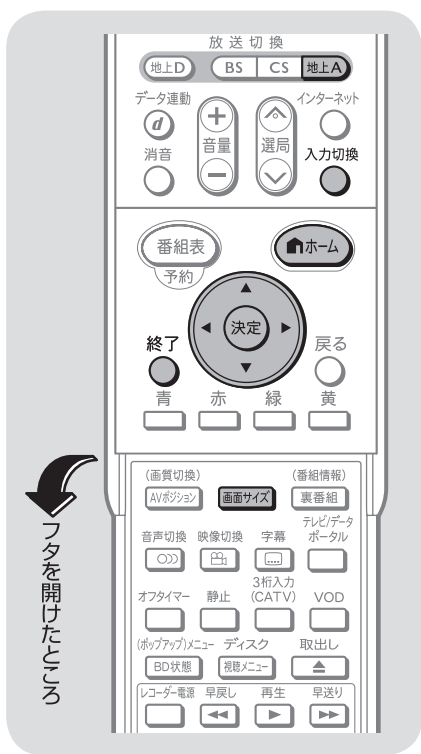
● ホームメニューの「設定」－「(機能切換)」－「画面表示設定」－「選局効果」で設定します。

項目	内容
する	選局効果を設定します。
しない	選局効果を設定しません。

- 「ツール」－「画面表示設定」－「選局効果」を選んでも設定することができます。

「する」に設定したときの画面の切り換わりかた

- 選局ボタンで選局したときは、画面の上または下から次のチャンネルに変わります。
- 放送切換ボタンで選局したときは、画面の左または右から次のチャンネルに変わります。
- チャンネルボタンや3桁入力(▶ **88** ページ)などその他の手順で選局したときは、画面の外周または中央から次のチャンネルに切り換わります。

画面のサイズや映像、音声を調節する

画面の位置がずれているときは（画面位置）

● インターネット閲覧時はできません。

1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

を押し
で選ぶ

2 （機能切換）を選ぶ

で選ぶ

3 「画面表示設定」を選ぶ

で選び
を押す

4 「画面位置」を選ぶ

で選び

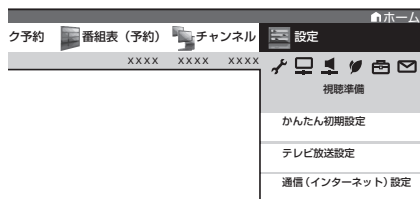
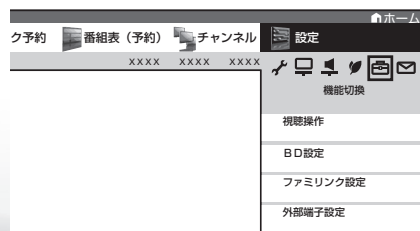
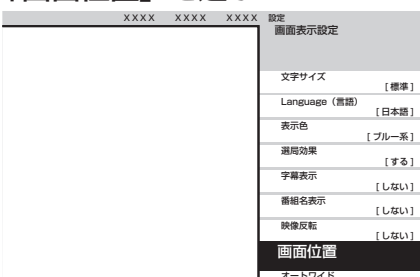
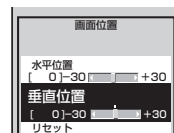
を押す

5 「水平位置」または「垂直位置」を選ぶ

で選ぶ

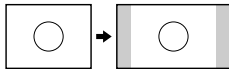
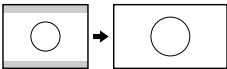
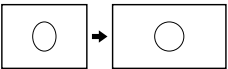
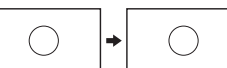
6 適切な位置に調整する

で選び

を押す

• 調整をやり直す場合は、戻るボタンを押します。

項目	内容
水平位置	画像が右寄りまたは左寄りの状態にあるときに、左右カーソルボタンで調整します。
垂直位置	画像が上がりすぎまたは下がりすぎの状態にあるときに、左右カーソルボタンで調整します。
リセット	工場出荷時の状態に戻します。

7 画面の位置を確定する

を押す

映像の左右に黒帯が出たり上下幅が変わるときは（画面サイズ）

- 画面サイズを切り換えて、映像の左右や上下の幅を変えることができます。
- 映像の種類（▶ **192**ページ）によって、選べる画面サイズは異なります。

ノーマル	シネマ	フル	スマートズーム
通常のテレビ（4：3サイズ）の映像をそのまま映します。	シネスコまたは16：9サイズの映画ソフトを画面いっぱいに映します。	16：9から4：3に圧縮された映像を元の16：9に戻して画面いっぱいに映します。	通常4：3映像をより自然に拡大して映します。

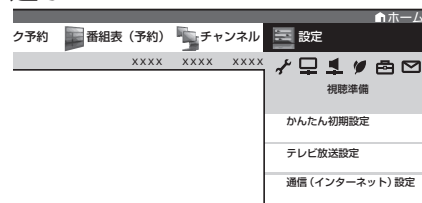
ワイド	アンダースキャン
通常4：3映像を画面いっぱいに映します。	入力信号どおりの映像で映します。 16:9 16:9

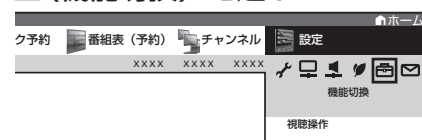
重 要

- 本機の画面サイズ切換機能を使うとき、テレビ番組やビデオソフトなど、オリジナル映像の画面比率と異なる画面サイズを選択すると、本来の映像とは見えかたが変わります。この点にご留意の上、画面サイズをお選びください。
- ワイド映像でない通常（4：3）の映像を、画面サイズ切換機能を利用して画面いっぱいに表示してご覧になると、画像周辺部分が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像をご覧になるときは、画面サイズを「ノーマル」にしてください。
- 画面サイズ変更前の映像信号の縦横比によっては、「シネマ」に切り換わっても画面の上下に黒い帯が残る場合があります。
- 市販ソフトによっては、字幕など画像の一部が欠けることがあります。このようなときは、画面サイズ切換機能で最適なサイズに切り換え、画面位置（▶ **108**ページ）で垂直位置を調整してください。このとき、ソフトによっては画面の端や上部にノイズや曲がりが生じることがありますが、故障ではありません。
- テレビを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等にて、画面サイズ切換機能（オートワイド機能を含む）を利用して画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。
- 画面サイズを切り換えるときに画面が乱れる場合がありますが、故障ではありません。

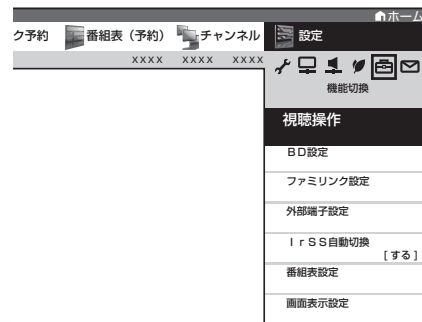
1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

を押し

で選ぶ

2 （機能切換）を選ぶ

で選ぶ

- 表示中に次の操作を行います。
- 画面サイズボタンを押すと直接手順 **5** の画面が表示されます。

3 「視聴操作」を選ぶ

で選び

を押す

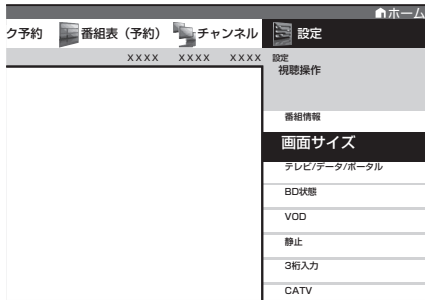
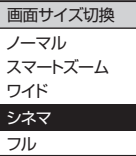
次のページに続く

4 「画面サイズ」を選ぶ

で選び
を押す

5 お好みの画面サイズを選ぶ

で選び
を押す

画面サイズ切換
ノーマル
スマートズーム
ワイド
シネマ
フル

映像の種類	選択できる画面サイズ
480i 地上アナログ放送 ビデオ映像など 480p	→ノーマル →スマートズーム →ワイド →シネマ →フル →（ノーマルへ戻る）
1080i ハイビジョン	→フル1 →フル2（1035i）※ →Dot by Dot →スマートズーム →ワイド →シネマ →（フル1へ戻る）
1080 p ハイビジョン	→フル →Dot by Dot →スマートズーム →ワイド →シネマ →（フルへ戻る）
720p ハイビジョン	→フル →アンダースキャン →スマートズーム →ワイド →シネマ →（フルへ戻る）

※1035i は、本機の画面表示（チャンネルサイン）では「1080i」と表示されます。

おしらせ

- ホームメニューから「ツール」－「画面サイズ」を選んでも設定できます。

映像を最適な大きさに自動で切り換える／画面の大きさが勝手に変わるのを防ぐ（オートワイド）

- オートワイドは、オリジナル映像の種類によって、映像を最適な画面サイズで表示する機能です。デジタル放送視聴時は選択できません。

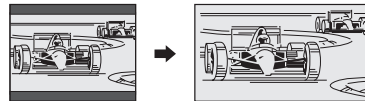
項目	内容
映像判別	受信している地上アナログ放送や入力１～６から入力された映像の上下に黒い幕があるとき、画面サイズを自動的に「シネマ」（▶ **109** ページ）にします。
S2 対応（入力選択が「ビデオ映像」以外のとき）	入力６の S2 映像端子から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズにします。
D 端子識別（入力選択が「ビデオ映像」以外のとき）	入力４・５の D 映像端子とビデオ機器との接続に使うケーブルの種類により、画面サイズの判定方法を変えます。D端子ケーブルのときは「する」にすると自動的に最適な画面サイズになります。D- コンポーネント変換ケーブルのときは D 端子識別が動作しないので「しない」に設定します。
HDMI 識別	入力１・２・３から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズにします。

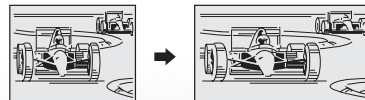
おしらせ

- ビデオ機器やゲーム機などを S2 映像端子や D 映像端子で接続した場合でも、機器やソフトなどによってはオートワイド機能が働かない場合があります。
- 「映像判別」は、D 端子から入力された映像が 480p、1080i、720p、1080p の場合は働きません。また、HDMI 端子から入力された映像が、1080i、720p、1080p の場合も働きません。
- S2 対応を設定しても、入力された映像によっては最適な画面サイズにならない場合があります。

オートワイド機能を働かせたときの画面表示例

上下に黒い帯の入った映像の場合

 ➡

横方向に圧縮された映像(スクイーズ映像)の場合（映像判別を除く）

 ➡

画面が大きくなったり小さくなったりするときは

- オートワイド機能が働いているときに、画面が大きくなったり小さくなったりすることがあります。
  これは最適な画面サイズを探すために起こる現象で、故障ではありません。
  気になる場合は、手順 6 ～ 7 ですべての項目の設定を「しない」にしてください。

1 放送や入力を切り換える

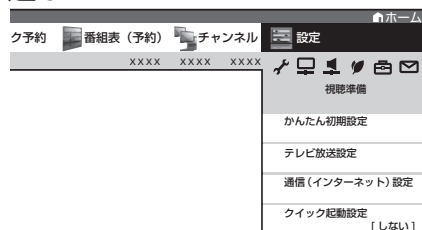
地上A や 入力切換 を押す

映像判別を設定するとき
- 地上アナログ放送を選局するか、入力１～６に切り換えます。

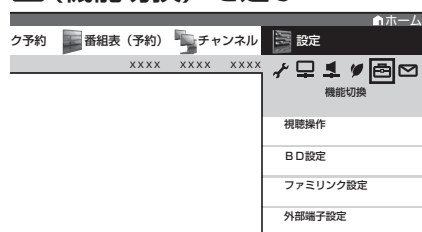
HDMI 識別を設定するとき
- HDMI ケーブルをつないだ入力１・２・３に切り換えます。

D 端子識別を設定するとき
- D 端子ケーブルをつないだ入力４・５に切り換えます。

S2 対応を設定するとき
- S 端子ケーブルをつないだ入力６に切り換えます。

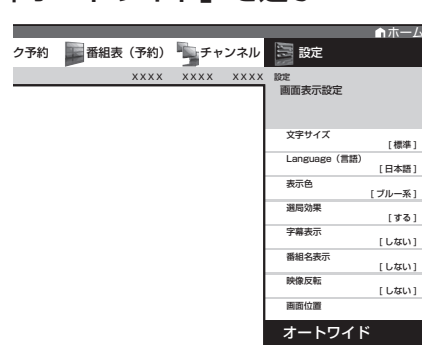
2 ホームメニューから「設定」を選ぶ

ホーム を押し で選ぶ

3 （機能切換）を選ぶ

で選ぶ

4 「画面表示設定」を選ぶ

で選び 決定 を押す

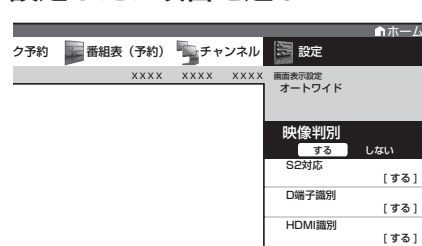
5 「オートワイド」を選ぶ

で選び

決定 を押す

6 設定したい項目を選ぶ

で選ぶ

7 「する」または「しない」を選ぶ

で選び 決定 を押す

する　：画面サイズを自動で最適化します。

しない：画面サイズの最適化機能は働きません。

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

映画やゲームなどに適した映像・音声にする(AVポジション)

番組や入力の内容に合った映像や音声に設定を変えられます。

おしらせ

- AV ポジションの「ぴったりセレクト」「標準」「映画」「映画(リビング)」「ゲーム」「PC」「フォト」「ダイナミック」は、映像調整(▶ **114** ページ)を行うと、行った調整が反映されたまま記憶されます。
  入力切換を行っても、「ぴったりセレクト」「標準」「映画」「映画(リビング)」「ゲーム」「PC」「フォト」「ダイナミック」は、それぞれ記憶された設定で調整されます。
- 入力ごとに個別の調整を用意したいときは、「AV メモリー」で設定してください。
- IrSS™、ホームネットワークの画面のとき、「映画」、「映画(リビング)」、「ゲーム」は選べません。
- AV ポジションは入力ごとに別のものを選べます。(例えば、テレビは「標準」、入力 1 は「ダイナミック」など)
- AV ポジション「ぴったりセレクト」を選択した場合でも、放送や BD などのコンテンツによっては、本機能の効果が十分に得られない場合があります。

おしらせ

その他の AV ポジションの表示のしかた

- (画質切換)AVポジション を押すと、画面左下に現在の AV ポジションが表示されます。

AVポジション:標準 ― AVポジション表示

続けて(画質切換)AVポジションを押し、お好みの設定を選びます。

- ホームメニューから「ツール」-「AV ポジション(画質切換)」を選びます。

項目	内容
ぴったりセレクト	見ている映像や音声に応じて、ふさわしい設定を自動的に行います。
標準(工場出荷時の設定)	映像や音声の設定がすべて標準値になります。
映画	コントラストを抑えることにより、暗い映像を見やすくします。
映画(リビング)	リビングなど明るいところで、映画などの映像を見るときにおすすめのモードです。
ゲーム	テレビゲームなどの映像を、明るさを抑えて目にやさしい映像にします。すばやい反応を要求されるゲームの場合は、このモードでお使いください。
PC※1	PC 用の画面モードです。
AV メモリー	入力ごとにお好みの調整内容を記憶できます。
フォト	静止画を見やすくします。
ダイナミック	くっきりと色鮮やかな映像で、スポーツ番組などを迫力あるものにします。
ダイナミック(固定)	くっきりと色鮮やかな映像で、スポーツ番組などを迫力あるものにします。「ダイナミック」に比べ、より鮮明な感じの画質になります。この設定のときは、映像調整や音声調整ができません。

※1「PC」は入力 1 ~ 3、入力 7 選択時に表示されます。

1 ホームメニューを表示する

ホーム を押す

2 「設定」を選ぶ

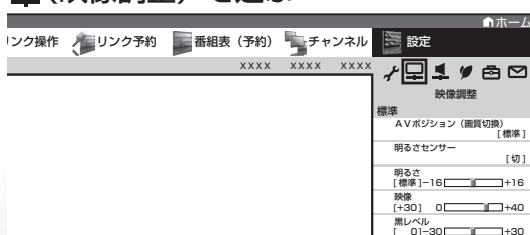
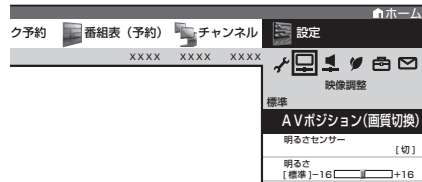
で選ぶ

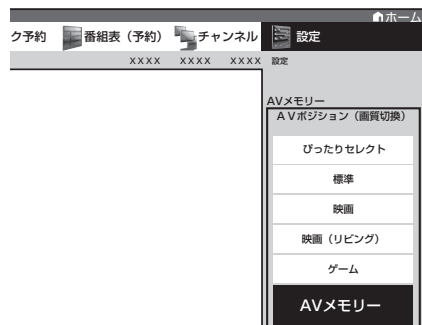
3 (映像調整)を選ぶ

で選ぶ

4 「AVポジション（画質切換）」を選ぶ

で選び
決定 を押す

ホーム
ク予約 番組表（予約） チャンネル 設定
映像調整
標準
AVポジション(画質切換)
明るさセンサー ［切］
明るさ ［標準］−16 +16

5 お好みの設定を選ぶ

で選び
決定 を押す

おしらせ

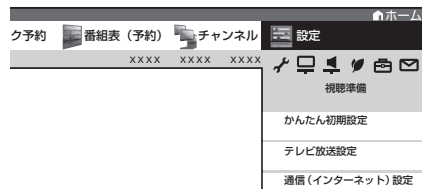
- AV ポジションを「PC」に切り換えるとき、または「PC」から別の AV ポジションに切り換えるときは、一時的に映像が消えます。

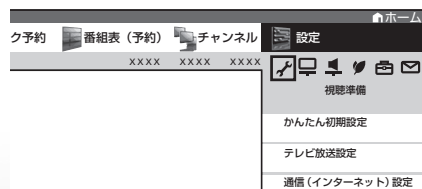
照明の明るさを設定する（部屋の照明設定）

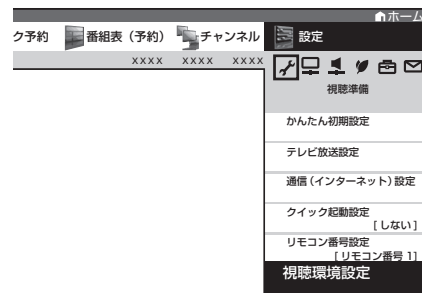
- AV ポジション「ぴったりセレクト」にて、最適な画質調整を行うために必要な設定です。

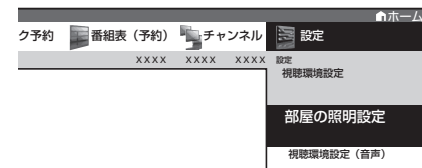
1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

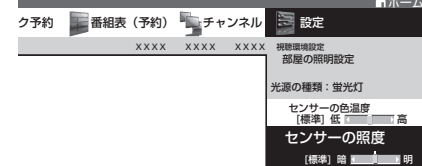
を押し

で選ぶ

2 （視聴準備）を選ぶ

で選ぶ

3 「視聴環境設定」を選ぶ

で選び
決定 を押す

4 「部屋の照明設定」を選ぶ

で選び
決定 を押す

5 「センサーの色温度」または「センサーの照度」を選び、調整を行う

で選び
決定 を押す

センサーの色温度

- センサーの色温度調整を行い、部屋の照明とメニュー画面に表示される光源の種類が一致するように調整してください。

センサーの照度

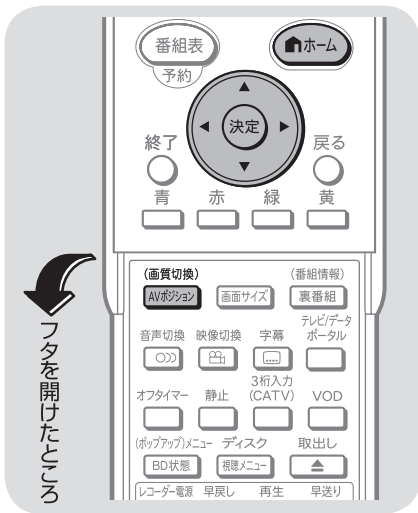
- 蛍光灯／白熱灯なのに「外光（明室）」と誤検出されている場合にセンサー照度調整をしてください。

おしらせ

- 外光（太陽光）が十分な明るさで差し込んでいなければ、「蛍光灯／白熱灯」と表示されます。光が遮られていなくてもお部屋に対してテレビが暗いと感じられる場合には調整してください。
- 電球色蛍光灯を使用の場合には「白熱灯」と表示されますが、不具合ではありません。
- AV ポジション「ぴったりセレクト」選択時に有効となる設定です。
- テレビの前に障害物が置かれていないか確認してください。
- 照明が暗すぎると、蛍光灯や白熱灯の判別ができなくなります。

画面の明るさや色を変える（映像調整）

● 選択している AV ポジションの映像を調整できます。

項目	内容
明るさセンサー	室内の照明状況など周囲の明るさに応じて、画面の明るさを自動的に調整するかを設定します。 明るさセンサーの動作する明るさの範囲やセンサーの感度を手動で調整することもできます。（明るさセンサー設定 ▶ **116** ページ、部屋の照明設定 ▶ **113** ページ）
明るさ	画面をお好みの明るさに調整します。調整すると明るさセンサーは「切」になります。
映像	映像の強弱を調整します。
黒レベル	画面を見やすい明るさに調整します。
色の濃さ	映像の色の濃さを調整します。
色あい	色を調整します。
画質	画面をお好みの画質に調整します。 AQUOS 純モード対応レコーダーが接続されているとき、レコーダーによっては、番組表示時やモードによって選択できない場合があります。
肌色補正	肌色を補正します。
プロ設定	映像をさらにきめ細かく調整します。（▶ **115** ページ）
リセット	映像調整をすべて工場出荷時の設定に戻します。

おしらせ

- AV ポジションごとに、お好みの映像調整を記憶できます。先にAVポジション（▶ **112** ページ）を選んでから映像調整してください。

AV ポジションによる違いについて

- 「ダイナミック(固定)」では、調整できません。
- 「AV メモリー」は、入力ごとの調整となります。
- その他の AV ポジションで映像調整を行うと、すべての入力でその結果が有効になります。

映像調整の各項目の設定範囲については、▶320・324ページをご覧ください。

1 映像調整をしたい AV ポジションを選ぶ

を押す

- ボタンを押すたびに、AV ポジションが次のように切り換わります。

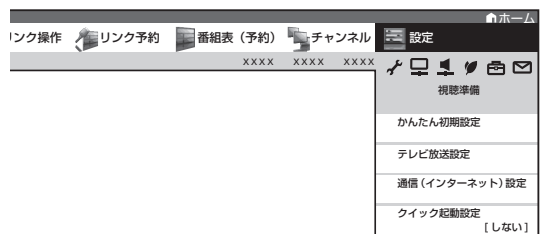
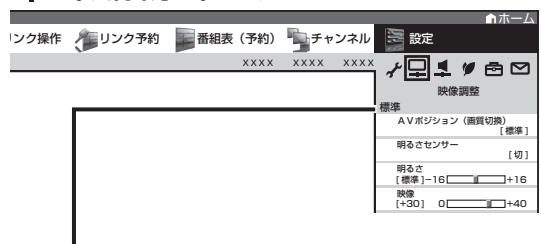
ダイナミック(固定) → ぴったりセレクト → 標準 → 映画 → 映画(リビング) → ゲーム → PC※1 → AVメモリー → フォト → ダイナミック

※1「PC」は入力 1 〜 3、入力 7 選択時に表示されます。

2 ホームメニューから「設定」を選ぶ

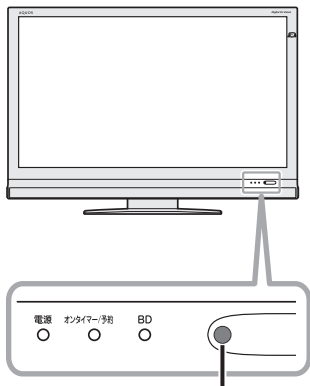
ホーム を押し 決定 で選ぶ

3 （映像調整）を選ぶ

▼ 決定 で選ぶ

- 選択中の AV ポジションが表示されます。この画面から AV ポジションボタンを押して AV ポジションを切り換えることもできます。
- 「ツール」－「映像調整」を選んでも調整できます。

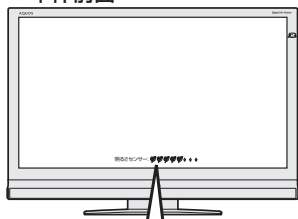
明るさセンサーについて

・ 明るさセンサー受光部の前にものを置いたりすると、明るさを感知できなくなります。

▼本体前面

明るさセンサー受光部

明るさセンサーを「入：表示あり」にすると

・ 自動調整中、明るさセンサー機能の効果が画面に表示されます。

▼本体前面

・ 音量表示中、消音中は表示されません。
・ ホームメニュー表示中は表示されない場合があります。

4

◆「明るさセンサー」「肌色補正」「プロ設定」以外を設定する場合
①左右カーソルボタンでお好みの設定にし、決定キーを押す

②決定キーを押して確定する

◆「明るさセンサー」「肌色補正」「プロ設定」を設定する場合
決定を押したあと画面に従って操作する

プロ設定の項目

「プロ設定」の各項目の設定範囲については、「ホームメニュー項目の一覧」(▶ **320**·**324** ページ)をご覧ください。

項目	内容
カラーマネージメント	色の構成要素となる 6 つの系統色を調整し、色相・彩度・明度を変化させます。 **カラーマネージメントの調整項目について** 例: 色相の調整の場合
色温度	青みがかった白（色温度：高）にするか、赤みがかった白（色温度：低）にするかを調整します。 また、色温度ごとに R ゲイン、G ゲイン、B ゲインの値を変えて、ホワイトバランスを微調整することができます。
QS 駆動（120Hz）	• **アドバンス（強）**：通常 60 コマ／秒で表示される映像を 120 コマ／秒に補間し、より滑らかに表示します。 また、動きの速い映像や撮影時にぼやけてしまった映像をくっきりと、より見やすくします。 • **アドバンス（標準）**：通常 60 コマ／秒で表示される映像を 120 コマ／秒に補間し、より滑らかに表示します。 また、動きの速い映像を落ち着き感のある表示とします。 • **スタンダード**：動きの速い映像をくっきりと、より見やすくします。 • **しない**：QS 駆動を停止します。
アクティブコントラスト	シーンに応じて映像のコントラストを自動的に調整します。「する」「しない」の 2 つの中から選べます。
ガンマ設定	映像の明るい部分と暗い部分の階調の差を調整できます。

カラーマネージメントの調整項目（例: 色相の調整の場合）

系統色	調　整 −30……0……+30
R(赤)	マゼンタに近づく⟷黄に近づく
Y(黄)	赤に近づく⟷緑に近づく
G(緑)	黄に近づく⟷シアンに近づく
C(シアン)	緑に近づく⟷青に近づく
B(青)	シアンに近づく⟷マゼンタに近づく
M(マゼンタ)	青に近づく⟷赤に近づく

次のページに続く

プロ設定を工場出荷時の設定に戻したいときは

• ▶ **114** ページの手順 3 の後に「リセット」を選び、決定ボタンを押したあと、左右カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押します。

項目	内容
Ｉ／Ｐ設定	「動画より」の設定（通常のテレビ放送やビデオなどをきめ細かい映像で楽しむモード）と「静止画より」の設定（静止画やグラフィックなどの画像を、チラツキのない滑らかな映像で楽しむモード）を切り換えます。 元がプログレッシブの映像（480p、720p、1080p）および PC 信号入力では、選択できません。
フィルムモード	フィルム収録のＤＶＤなど、元信号が 24 コマ／秒の映像を高画質で再生するための設定です。 ＡＶポジションが「ゲーム」のとき、元が 480p、720p、1080i、1080p の映像および PC 信号入力では、選択できません。 PC 信号入力では選択できません。 • **アドバンス (強)**：映像の動きをより滑らかにして高画質に再生します。 • **アドバンス (標準)**：映像の動きを滑らかにして高画質に再生します。 • **スタンダード**：映像の各コマの表示時間を等しく再生します。より映画館の臨場感が味わえるモードです。 • **しない**：フィルムモードを停止します。
デジタル NR	本機で録画した番組やビデオなどの再生映像を、すっきりさせる機能です。1080p の映像および AV ポジションが「PC」のときは、選択できません。
3 次元設定	映像素材に応じた設定にすると、画質が改善されます。 地上アナログ放送、ビデオ映像以外を視聴しているときは、選択できません。
モノクロ	白黒映像にします。
明るさセンサー設定	明るさセンサー「入」時の、稼動範囲の上限と下限をお好みの値に設定できます。 周囲の明るさにもよりますが、設定範囲がせまい場合は、明るさセンサーが働きません。
リセット	プロ設定をすべて工場出荷時の設定に戻します。

画面のチラつきやざらつきを抑えてすっきりさせる

• 「プロ設定」の「デジタル NR」を「アクティブ」「強」「中」「弱」のいずれかに設定してみてください。

お好みの音質にする（音声調整）

音声調整の設定範囲については、▶320ページをご覧ください。

● 選択している AV ポジションの音声を調整できます。
● お客様が実際にお使いの音量で調整してください。

おしらせ

- 手順 2 で「ツール」－「音声調整」を選んでも音声調整することができます。
- ＡＶポジションごとに、お好みの音声調整を記憶できます。先にＡＶポジション（▶ **112** ページ）を選んでから音声調整を行ってください。

次の場合は音声調整が行えません

- AVポジションを「ダイナミック（固定）」にしているとき
- ヘッドホンを接続しているとき（「ヘッドホン設定」が「モード2」のときを除く）
- モニター音声出力を「モニター音声出力（可変 1）」に設定しているとき
- ファミリンク機能選択メニューで「AQUOS オーディオで聞く」に設定しているとき

「サラウンド」について

- ヘッドホンで音声を聴いているときや、入力６／モニター音声出力端子からの音声出力、デジタル音声出力（光）端子からの出力では、サラウンドの効果が得られません。
- 放送や DVD などのコンテンツによっては、サラウンドの効果が得られないことがあります。
- IrSS™ モードのときはサラウンドの設定ができません。

工場出荷時の設定に戻したいときは

- 手順 4 で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。
  左右カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押します。

項目	内容
オートボリューム	自動的に最適な音量に調整する機能です。詳しくは「音量を自動で調整する（オートボリューム）」（▶ **118** ページ）をご覧ください。
高音	高音を調整できます。
低音	低音を調整できます。
バランス	左右のスピーカー音声のバランスを調整できます。
サラウンド	内蔵のスピーカーで臨場感あふれるマルチチャンネルサラウンド空間を実現します。
音質補正	選択している AV ポジションの音質を設定します。 • モード１ 補正しません。原音に忠実な設定です。 • モード２ 映画や音楽番組などに適した設定です。 • モード３ ニュースやスタジオ番組などに適した設定です。
リセット	音声調整をすべて工場出荷時の設定に戻します。
声の聞きやすさ	人の声や会話などを聞きやすくするための設定です。

1 (画質切換) AVポジション を押す

音声調整をしたい AV ポジションを選ぶ

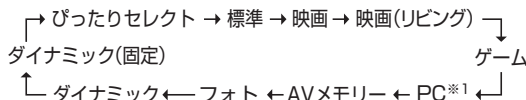
- ボタンを押すたびに、AV ポジションが次のように切り換わります。

ぴったりセレクト → 標準 → 映画 → 映画（リビング） → ゲーム → PC※1 → AVメモリー → フォト → ダイナミック → ダイナミック（固定） → ぴったりセレクト

※1 「PC」は入力 1 ～ 3、入力 7 選択時に表示されます。

2 ホーム を押し で選ぶ

ホームメニューから「設定」を選ぶ

3 で選ぶ

（音声調整）を選ぶ

- 選択中の AV ポジションが表示されます。
  この画面から AV ポジションボタンを押して AV ポジションを切り換えることもできます。

次のページに続く

4 調節したい項目を選ぶ

で選ぶ

5

で選び 決定 を押す

◆「高音」「低音」「バランス」を設定する場合
左右カーソルボタンでお好みの設定にする

◆「サラウンド」を設定する場合
左右カーソルボタンで「入」または「切」を選ぶ

決定 を押し で選び 決定 を押す

◆「オートボリューム」を設定する場合
上下カーソルボタンで「強」「中」「弱」「切」のいずれかを選ぶ

◆「音質補正」を設定する場合
上下カーソルボタンで「モード1」「モード2」「モード3」のいずれかを選ぶ

◆「声の聞きやすさ」を設定する場合
上下カーソルボタンで「モード1」「モード2」「モード3」「しない」のいずれかを選ぶ

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

- AV ポジションを「ぴったりセレクト」に設定している場合、オートボリュームなどは自動で制御されるため、変更できません。

音量を自動で調整する（オートボリューム）

- チャンネルを切り換えたときやコマーシャルに切り換わったときなど極端に音量が変わるとき、自動的に音量を調整して不快感を軽減できます。
- 撮影した映像や他の機器で録画した番組の音量が小さすぎるときは、自動的に聞こえやすい音量になります。

1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

を押し

で選ぶ

2 （音声調整）を選ぶ

で選ぶ

3 「オートボリューム」を選ぶ

で選び 決定 を押す

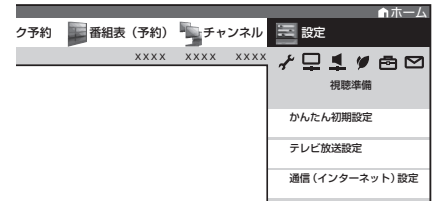
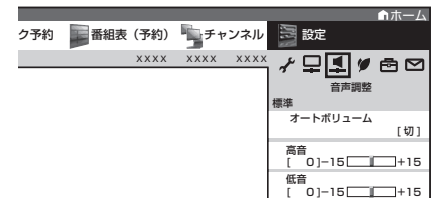
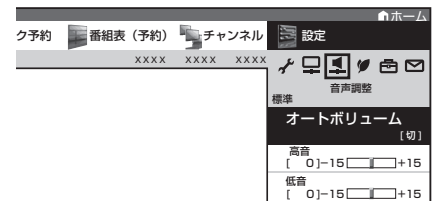
4 「強」「中」「弱」のいずれかを選ぶ

で選び 決定 を押す

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

強
中
弱
切

おしらせ

- 声の聞きやすさ設定を「モード1」「モード2」「モード3」のいずれかに設定している場合、オートボリュームは自動的に設定され、変更できません。
- この機能は、本機のスピーカーから出力される音声に対してのみ働きます。ヘッドホンや外部スピーカーの音声に対しては働きません。
- AV ポジションを「ぴったりセレクト」に設定している場合、オートボリュームは自動で制御されるため、変更できません。
- 放送や DVD などのコンテンツによっては、本機能の効果が十分に得られない場合があります。

会話を聞き取りやすくする（声の聞きやすさ）

- ドラマや映画のセリフが聞き取りにくいとき、人の声に関する音域を強調させて聞き取りやすくすることができます。

おしらせ

- この機能は、本機のスピーカーから出力される音声に対してのみ働きます。ヘッドホンや外部スピーカーの音声に対しては働きません。
- 放送や DVD などのコンテンツによっては、本機能の効果が得られにくい場合や、声の一部が聞きづらくなる場合があります。その場合はモードを変えるか「しない」にしてください。

1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

を押し
で選ぶ

2 （音声調整）を選ぶ

で選ぶ

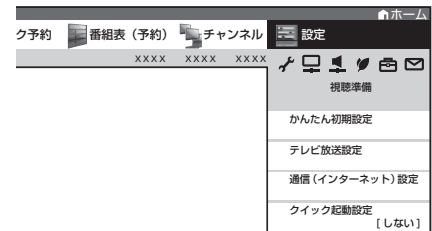
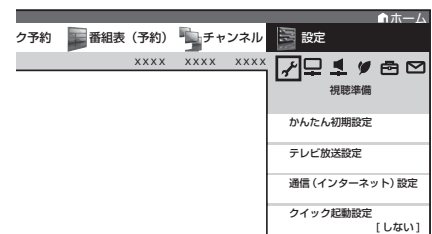
3 「声の聞きやすさ」を選ぶ

で選び
決定
を押す

4 「モード 1」「モード 2」「モード 3」のいずれかを選ぶ

で選び
を押す

- **「モード 1」**：音の大きさをそろえた標準的な音質にします。小さい音のセリフを大きく、大きな音のセリフを小さくすることにより、セリフを聞きとりやすくするモードです。
- **「モード2」**：標準よりもマイルドな音質にします。セリフ以外の効果音や雑音を小さくし、セリフを聞きとりやすくするモードです。モード 1 同様に、小さい音のセリフを大きく、大きい音のセリフを小さくすることにより、セリフを聞きとりやすくもします。
- **「モード3」**：標準よりもくっきりした音質にします。セリフの音質をくっきりさせて、聞きとりやすくするモードです。モード 1 同様に、小さい音のセリフを大きく、大きい音のセリフを小さくすることによりセリフを聞きとりやすくもします。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

※声の聞きやすさを「モード 1」～「モード 3」に設定したときは、「音質補正」の効果はあまり得られません。また、AV ポジションを「ぴったりセレクト」に設定している場合、「ぴったりセレクト」の音声の効果は得られません。

部屋や置きかたに適した音質を選ぶ

- この機能は、当社が開発した視聴環境に適した音質の設定機能です。

おしらせ

- 視聴環境設定は、一般的な洋室、寝室、和室を目安に音を設定していますが、部屋によっては効果が分かりにくい場合があります。その場合は、音声調整（▶ **117** ページ）で調整してください。
- 声の聞きやすさ設定を「モード 1」「モード 2」「モード 3」のいずれかに設定している場合は、視聴環境設定は選べません。
- この機能は、本機のスピーカーから出力される音声に対してのみ働きます。ヘッドホンや外部スピーカーの音声に対しては働きません。

1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

を押し
で選ぶ

2 （視聴準備）を選ぶ

で選ぶ

次のページに続く

3 「視聴環境設定」を選ぶ

で選び

を押す

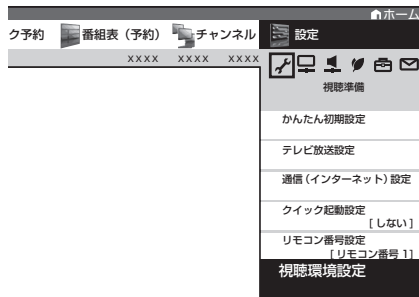
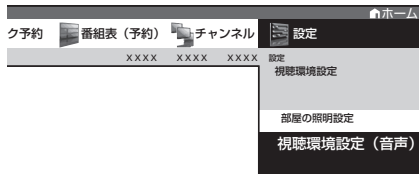
4 「視聴環境設定（音声）」を選ぶ

で選び

を押す

5 「個別設定」を選ぶ

で選び

を押す

- 「標準」は、設定オフの状態になります。

6 視聴している部屋の種類を選ぶ

で選び

を押す

部屋の種類を設定します。

洋室	フローリングの床のように反響の大きい部屋の場合に選びます。
寝室	ベッドなどの音声を吸収するものがある部屋の場合に選びます。
和室	畳部屋で音声を吸収する大きな家具がない部屋の場合に選びます。

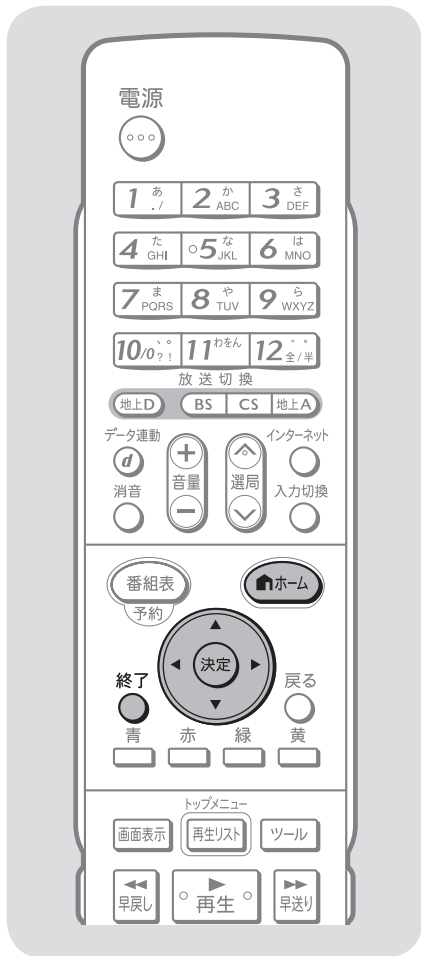
7 本機の設置場所を選ぶ

で選び

を押す

壁寄せ	部屋の壁面に平行に設置している場合に選びます。
コーナー置き	部屋の角に設置している場合に選びます。
壁掛け	専用の壁掛け金具で、部屋の壁に設置する場合に選びます。 （▶**340**ページ）

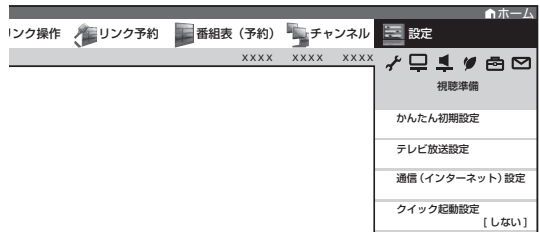
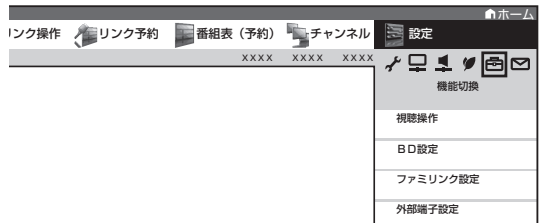
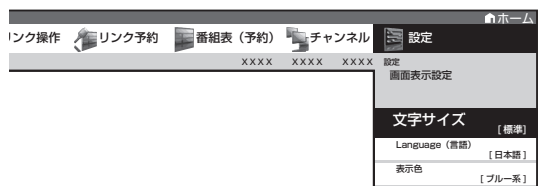
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

番組表、ホームメニュー表示や映像表示、音声などをお好みに変更する

おしらせ

「大きな文字」にしたときは
- 番組表の表示が変わります。「番組表設定」－「表示方式」が「モード1」の場合は、番組表に表示されるチャンネルが５ チャンネル分の３時間表示になります。「モード２」の場合は、「モード１」に設定が変更されます。

ホームメニューなどの文字を大きくする（文字サイズ）

● ホームメニューや番組表などに表示される文字の大きさを大きくすることができます。

1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

ホーム を押し
で選ぶ

2 （機能切換）を選ぶ

で選ぶ

3 「画面表示設定」を選ぶ

で選び
決定 を押す

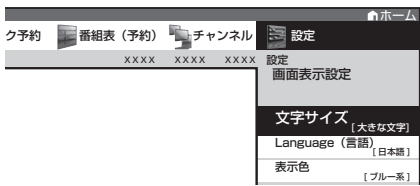
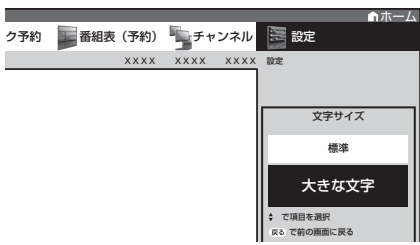
4 「文字サイズ」を選ぶ

で選び
決定 を押す

はじめに
準備
番組を見る
BDレコーダー機能で録画・予約録画
BDレコーダー機能で再生
レコーダー・プレーヤー・パソコンなどにつなぐ
ファミリンクで録画・再生
本機の機能の活用
故障かな・仕様・寸法図など
English Guide

次のページに続く

5 「大きな文字」を選ぶ

で選び
決定
を押す

- ホームメニュー画面などの文字が大きな文字で表示されます。
- 元へ戻したい場合は、「標準」を選びます。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

番組表やホームメニューなどの配色を変える（表示色）

- 番組表、裏番組一覧、番組情報、ホームメニュー画面、チャンネル表示画面、入力切換画面、画面サイズメニュー画面、お好み選局画面などの表示色を、「グレー系」「ブルー系」「レッド系」「グリーン系」の４種類から選ぶことができます。
- ホームメニューの「設定」－「（機能切換）」－「画面表示設定」－「表示色」で設定します。

映像の向きを変えるには（映像反転）

- 映像を反転して映せます。映像を鏡に映してご覧になるときなどに便利です。
- ホームメニューの「設定」－「（機能切換）」－「画面表示設定」－「映像反転」で設定します。
- 決定ボタンを押さなくても、選択しただけで画面が反転します。

項目	内容
しない	通常の表示にします。（工場出荷時の設定） ABC
左右反転	左右を反転します。 ABC（左右反転）

おしらせ

- ホームメニューも反転表示されます。
- 音声は左右反転しません。

映像を消して音声だけを聞く（映像オフ）

- ホームメニューの「設定」－「（安心・省エネ）」－「映像オフ」で設定します。

項目	内容
する	映像を消して、音声だけを楽しめます。
しない	映像と音声を楽しむ通常の状態にします。

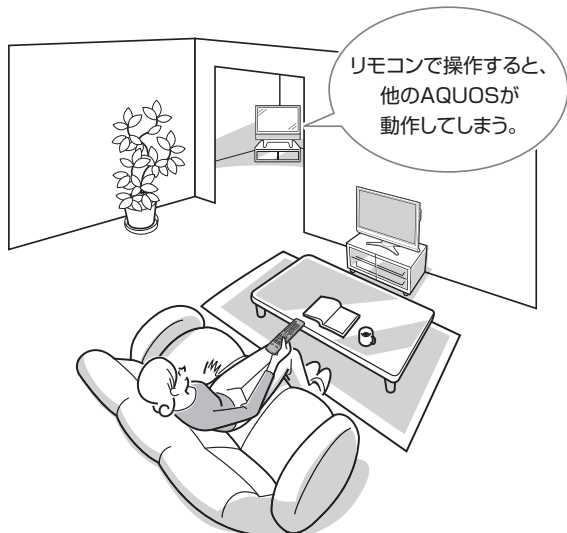
おしらせ

- 映像オフを「する」にしているとき、オフタイマー残り時間などのメッセージが表示されると、映像が復帰します。
- 操作により映像が復帰したり、一度電源を切ったりすると、自動的に設定が「しない」になります。

映像を復帰させたいときは

- 選局ボタン（緑）を押すなど、「音量調整」、「消音」、「音声切換」以外の操作をしてください。

2台のAQUOSをそれぞれのリモコンで操作するには

● 2台のAQUOSを近くに設置している場合に、リモコンの操作でAQUOSが2台とも動作してしまう場合があります。このとき、リモコン番号の設定を行うと他のAQUOSの動作を防ぐことができます。

おしらせ

- 工場出荷時の設定は、本体側・リモコン側ともリモコン番号「1」です。

リモコン番号について

- リモコン番号には「1」「2」があり、リモコン側のリモコン番号と本体側のリモコン番号を合わせると、リモコンで操作できるようになります。
- 2台のAQUOSを近くに設置している場合は、本機のリモコン番号を他のAQUOSと異なる番号に設定してお使いください。例えば、他のAQUOSが「1」なら本機は「2」にします。
- 設定されているリモコン番号が本体とリモコンとで異なっている場合、リモコンボタンを続けて押すと、画面左下に「リモコン番号の設定が異なります」と表示されます。

本体側とリモコン側のリモコン番号を設定する

重要

- 先にリモコン側のリモコン番号を変更すると、リモコンで本体側の設定が行えません。

◆本体側の切り換え

1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

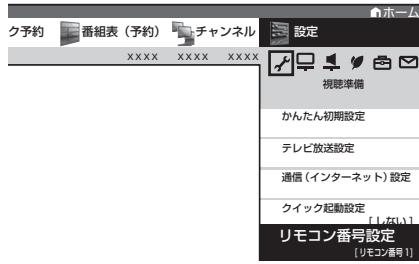
ホーム を押し

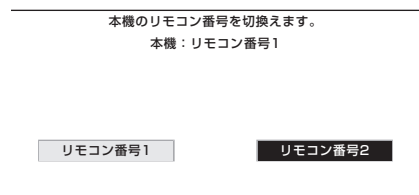
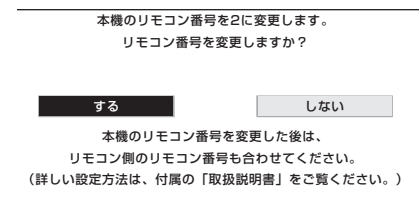
で選ぶ

2 （視聴準備）を選ぶ

で選ぶ

次のページに続く

3 「リモコン番号設定」を選ぶ

で選び
を押す

4 「リモコン番号 1」または「リモコン番号 2」を選ぶ

で選び
決定
を押す

本機のリモコン番号を切換えます。
本機：リモコン番号1

リモコン番号1　リモコン番号2

5 「する」を選ぶ

で選び
を押す

本機のリモコン番号を2に変更します。
リモコン番号を変更しますか？

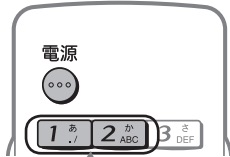
する　しない

本機のリモコン番号を変更した後は、
リモコン側のリモコン番号も合わせてください。
（詳しい設定方法は、付属の「取扱説明書」をご覧ください。）

- 設定されているリモコン番号が本体側とリモコン側とで異なっている場合、リモコンのボタンを続けて押すと、画面左下に「リモコン番号の設定が異なります」と表示されます。

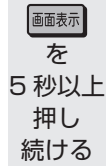
◆リモコン側の切り換え

1 リモコンの「1」または「2」を押した状態で電源ボタンを 5 秒以上押す

- 上記手順 4 で選んだリモコン番号と同じ番号にしてください。

本体側のリモコン番号をリモコンに合わせる

- リモコン側と本体側のリモコン番号が異なるとき、本体側をリモコン側のリモコン番号に合わせることができます。

1 リモコン番号が異なるときに、5 秒以上押し続ける

画面表示
を
5 秒以上
押し
続ける

- 本体側のリモコン番号変更画面が表示されます。

2 メッセージを確認し、「する」を選ぶ

で選び
決定
を押す

▼本体側のリモコン番号変更画面

リモコンと本機のリモコン番号が違います。
本機のリモコン番号を変更しますか？

本機　：リモコン番号1
リモコン　：リモコン番号2

する　しない

- リモコン番号切換メニューが表示され、番号切換ができます。
- 設定されているリモコン番号が本体側とリモコン側とで異なっている場合、リモコンのボタンを続けて押すと、画面左下に「リモコン番号の設定が異なります」と表示されます。

おしらせ

- 本体側のリモコン番号変更画面が表示されてから、約 10 秒以内に操作を行ってください。約 10 秒を経過すると、画面が消えます。

個人情報を初期化したときは
- 個人情報を初期化すると、本体側のリモコン番号は「1」に戻ります。

本体のボタンで、本体側のリモコン番号を設定するには
① 本体の入力／放送切換（決定）ボタンを 5 秒間押すと、切換メニューが表示されます。
② 本体の音量（＋／－）ボタンで「リモコン番号 1」または「リモコン番号 2」を選択します。
③ 本体の入力／放送切換（決定）ボタンを押して決定します。

ヘッドホンで聞くときの音の出かたを変える

● ヘッドホン使用中に、スピーカーとヘッドホン端子から出る音声を切り換えます。

ヘッドホンを使用しているとき

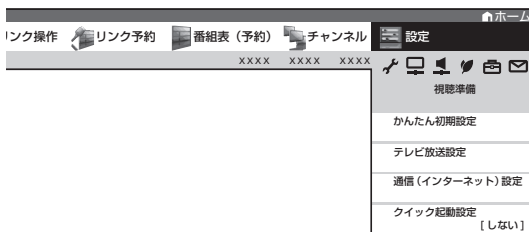
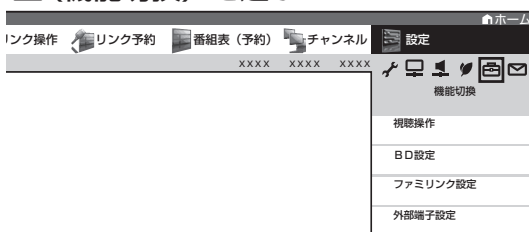
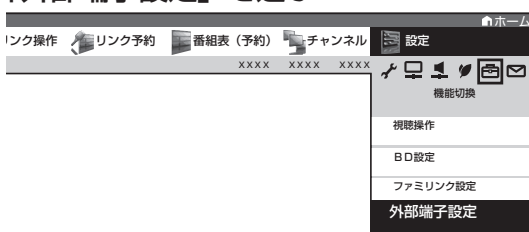
項目	スピーカー	ヘッドホン
モード 1 (スピーカーから音を出さない)	× (出力されません)	見ている画面の音声
モード 2 (スピーカーだけでは聞きづらい方と、スピーカー音量を大きくし過ぎたくない方とが一緒に楽しむ)	見ている画面の音声	見ている画面の音声

ヘッドホンを使用しないとき

- 設定に関係なくスピーカーから音が出ます。

「モード 2」の音量調整について

- スピーカーの音量調整はリモコンで行います。
- ヘッドホンの音量調整は本体の音量（＋／－）ボタンで行います。
- リモコンの消音ボタンを押してもヘッドホンの音量は「0」になりません。

1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

ホーム を押し ▲▼◀▶ で選ぶ

2 (機能切換) を選ぶ

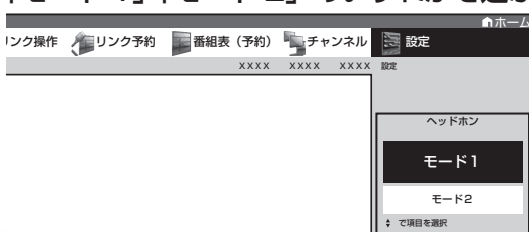
▲▼ ◀▶ で選ぶ

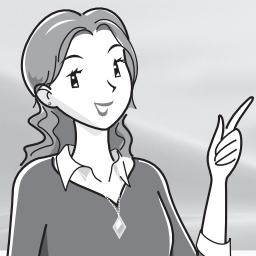
3 「外部端子設定」を選ぶ

▲▼ で選び 決定 を押す

4 「ヘッドホン」を選ぶ

▲▼ で選び 決定 を押す

5 「モード 1」「モード 2」のいずれかを選ぶ

▲▼ で選び 決定 を押す

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

本機に内蔵のBD(ブルーレイディスク)レコーダー※機能で録画・予約録画する

※ 本書では、「BD(ブルーレイディスク)レコーダー」を「BDレコーダー」と記載しています。
「BD」は、「ブルーレイディスク」の略称です。

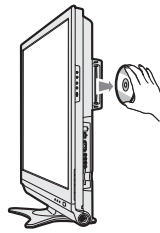
DVDやCDには録画できません。

ページ

BDレコーダー機能を使った録画・予約録画について

再生については**154**ページをご覧ください。

本機に内蔵のBDレコーダー機能を使った録画・予約録画について

● 本機に内蔵の BD レコーダー機能を使って、BD-RE または BD-R に録画・予約録画できます。

録画・予約録画ができるものとできないものについて

放送・機器	視聴		本機の BD レコーダー機能で録画・予約録画
地上アナログ放送	視聴	○	○
地上デジタル放送	視聴	○	○
BSデジタル放送 110度CSデジタル放送	視聴	○	○
CATV(ケーブルテレビ) (パススルー方式)	視聴	○	○
CATV(ケーブルテレビ) (ケーブルテレビ専用受信機を使用)	視聴	○	△※
お手持ちのレコーダーやプレーヤー (ビデオデッキ、DVDプレーヤー、HDD・DVDレコーダーなど)	視聴(再生)	○	△※
IPTV	視聴	○	×

CATV(ケーブルテレビ専用受信機を使用)：テレビの外部入力端子入力4(映像・音声)に接続した録画制限のないアナログ映像・音声は録画できます。
※D端子からの入力および録画制限のある放送は録画できません。

お手持ちのレコーダーやプレーヤー：テレビの外部入力端子入力4(映像・音声)に接続した録画制限のないアナログ映像・音声は録画できます。
※D端子からの入力および録画制限のある放送は録画できません。

次のページに続く

録画・予約録画用に購入するディスクについて

- 本機で録画ができるディスクは、BD-RE（繰り返し録画用）と BD-R（1 回録画用）の 2 種類です。
ご購入の際は、ディスクの包装を見て以下の内容が表示されているものをご購入ください。（不明な点などがございましたら、販売店にご相談ください。）

録画用には、包装に以下の表示のあるものをご購入ください。

※ BD-R Ver.1.3 LTH ディスクは、本機ではご使用になれません。

重 要

- **有料放送の視聴・録画には、視聴契約が必要です。**
- **DVD ディスクには録画できません。**
- あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

おしらせ

- BD-RE Ver.1.0（カートリッジ付き）のディスクは使えません。
- 8cm 盤の BD-RE/BD-R は録画に使えません。
- 本機以外で録画した BD は空き容量のあるディスクでも録画用として使用できない場合があります。

- 録画・予約録画の種類については、**129** ページをご覧ください。
- 再生の種類については、**154** ページをご覧ください。
- 視聴制限レベルや優先言語の設定、録画した番組（タイトル）の保護や消去、使用済みの BD-RE を未使用の状態に戻すなどの便利な機能については、**155** ページをご覧ください。
- ディスクの入れかた・出しかたについては、**131** ～ **132** ページをご覧ください。
- ファミリンク機器を本機につないで録画・再生する場合は、**210** ～ **216** ページをご覧ください。

録画・予約録画の種類について

- BD-RE または BD-R に録画をする方法は、以下のとおりです。
- 予約機能として、予約録画ではなく視聴の予約もできます。（▶ **149** ページ）

録画･予約録画の種類		ページ
今見ている番組を、BD-RE／BD-Rに録画したいときは	録画	DVDには録画できません。

これから放送される番組を、BD-RE／BD-Rに予約録画したいときは	予約録画	DVDには録画できません。

デジタル放送の予約（録画）の設定を、BD-REに書き込みたいときは	予約録画	BD-RまたはDVDには録画できません。

お気に入りの番組を予約録画設定し、BD-RE ディスクに予約情報を書き込むことができます。
本機の操作に慣れているかたに予約情報を書き込んでいただくと、本機の操作に慣れていないかたでもディスクを入れるだけで予約録画ができるので便利です。

録画･予約録画の設定について　　　　ページ

次のページに続く

BD に録画をする前に

● 番組を録画する前に、以下をお読みください。

重 要

予約を設定しているときや、録画中に電源を切るときは
- リモコンの電源ボタンで電源を切ってください。**本体の電源スイッチで電源を切ると、予約が実行されません**。また、**録画中の場合は、録画が停止します**。

録画できる番組数について
- 1 枚の BD-RE/BD-R に録画できる番組数は 200 番組までです。

録画の予約件数について
- 予約件数は最大で 16 番組です。それ以上の予約はできません。（件数には電子番組表予約、日時指定予約が含まれます。）
- 16 件を超える予約を完了しようとするとメッセージが表示されます。不要な予約を取り消してください。

予約の開始時刻について
- 予約の開始時刻になると、録画が停止されます。（予約録画／ファミリンク予約優先）

録画・予約録画できない場合について
- 独立データ放送や、録画が禁止されている番組は録画できません。
- 録画中に、録画禁止の番組が始まったり電波状況が悪くなった場合は、録画が停止・一時停止する場合があります。
- 録画中に電源コードが抜けたり、予約した番組が休止していた場合は、録画が一時停止する場合があります。
- 番組が始まるまで２分を切ると、予約ができません。録画用ディスク（BD）は、予約録画開始時刻の４分前までに挿入してください。
- 録画中に停電になったときや誤って電源プラグを抜いたときは、録画されたところまで保存されます。
- 録画中は IPTV、インターネット、ホームネットワーク、IrSS™ を視聴できません。

予約録画実行中の制限について
- 予約が実行中（録画中）の場合は、実行中の予約と時刻の重なる新たな予約は設定できません。すぐに予約を設定したいときは、予約録画を停止させてから設定してください。

地上アナログ放送録画中の制限について
- 地上アナログ放送録画中は、入力切換、放送切換、選局はできません。

おしらせ

予約録画について
- 番組の頭切れ防止のため、設定した時刻より数秒早く録画が始まります。
- 時間の連続した予約設定をしている場合、次番組は先頭から録画を開始するため、前番組は予約の終了時刻よりも早く録画が終わります。
- 既存の予約と日時が重なっている場合は、メッセージが表示されます。画面に従って操作し直してください。

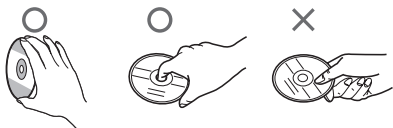
操作中に録画開始時刻が近づいた場合
- テレビ画面にメッセージが表示されます。

マルチビューサービス放送を BD に録画して再生する場合は
- 「録画画質」を「標準（DR)」にして録画してください。「録画画質」を「2 倍」「3 倍」「5 倍」「7 倍」にしているときは、視聴中の映像が録画されます。
- 「5 倍」「7 倍」で録画したときは、連動データ放送は録画されません。
- 詳しくは **133** ページをご覧ください。

コピー制御信号について
- BD に録画した番組は、BD からダビングもムーブ（移動）もできません。
  録画禁止の番組は録画できません（視聴のみ）。デジタル放送には「録画可能」「ダビング 10」「1 回だけ録画可能」「録画禁止」のコピー制御信号が含まれています。
- CATV チューナーや外部機器からのコピーガードされた放送は、録画できません（視聴のみ）。詳しくは録画機器の取扱説明書をご覧になるか、下記へお問い合わせください。

コピー制御お問合せセンター
電話：0570-000-288
（午前10時～午後8時）
2009年7月現在

ディスクの持ちかた

- ディスクを持つときは、光っている面に指紋や汚れなどが付かないようにご注意ください。

- ディスクの光っている面に、指紋や汚れが付着していないことを確かめてから挿入してください。
- 汚れなどが付着しているときは、「ディスク（BD・DVD・CD）のお手入れについて」（▶ **24** ページ）を参考に汚れを拭き取ってください。
- ディスク（BD・DVD・CD）に紙やラベル、シールなどを貼らないでください。

重 要

8cmアダプターは必要ありません

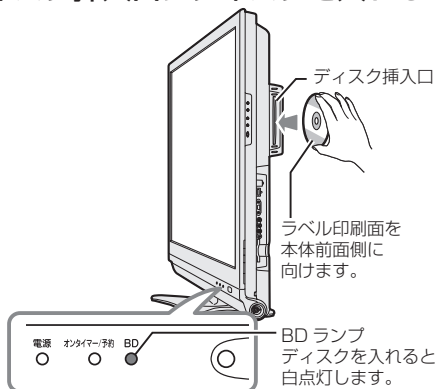
- 再生用の 8cm 盤 DVD ディスクや CD ディスクを本機で再生するときは、そのままディスク挿入口に入れてください。
- 8cm アダプターは使わないでください。

ディスクの入れかた

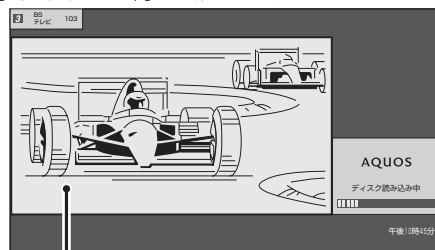
- **ディスクの挿入時や取り出し時には、指紋やホコリなどの汚れが付かないように、十分ご注意願います。**
- **ディスクの記録（再生）面に指紋やホコリなどの汚れが付着すると、録画に失敗したり、再生時に、画像の乱れや音飛びが発生します。**

1 本機の電源を入れる

電源 を押す

2 ディスク挿入口にディスクを入れる

- ラベル印刷面を図の向きにして入れます。
- 両面記録の DVD ディスクは、再生したい面をテレビ背面側にして入れます。

▼

- ディスクの読み込みが始まります。読み込みが完了するまでお待ちください。

ディスクを入れたときの表示例▲

次のページに続く

新品の BD-RE ／ BD-R ディスクを入れた場合

- 録画に使えるようにするための処理「初期化」が自動的に始まります。

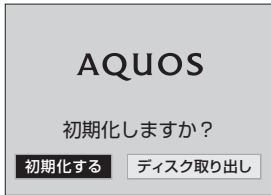
- 新品の BD-RE または BD-R でも、ディスクメーカーによっては「初期化する」「ディスク取り出し」と表示される場合があります。

  初期化をする場合は左右カーソルボタンで「初期化する」を選びます。

  本体右側面のボタンでも操作することができます。（▶ **32** ページ）

AQUOS

初期化しますか？

初期化する　ディスク取り出し

- 100%になったら完了です。

番組を録画した BD を入れた場合

- 読み込みが終わると再生リストが表示されます。このときは ホーム を押してもホームメニューは表示されません。
- ホームメニューを表示したいときは、終了 を押して再生リストを消してから ホーム を押してください。

市販の BD ビデオ・DVD ビデオディスクを挿入した場合

- BD ランプが白色に点灯します。
- BD ビデオ・DVD ビデオディスクを挿入した場合は、自動的に再生※が始まるディスクがあります。
  ※ オートプレイ対応ディスク挿入時

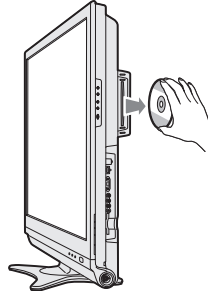
重 要

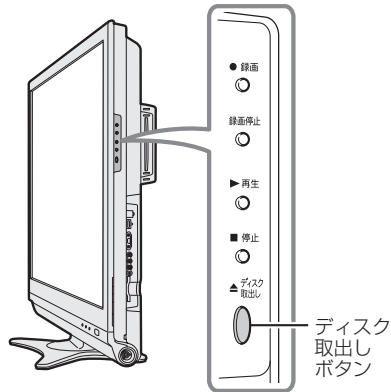
- 録画可能な BD-RE または BD-R を挿入した状態で電源コードを抜かないでください。ディスクが読めなくなったり、読み込みに時間がかかる場合があります。ディスクの読み込みが完了するまで 10 分以上かかる場合もあります。

ディスクの取り出しかた

1 本機の電源を入れた状態で、終了 または ■停止 を押します。

2 リモコンの 取出し ⏏ を押すとディスクが途中まで出ます。

3 途中まで出たディスクを手で取り出します。

- ディスクが出た後はすみやかに取り出してください。
- ディスクが出た状態で本体を揺すったりするとディスクが落ちる場合があります。
- 途中まで出たディスクを再度挿入するときは、ディスクを一度取り出してから入れ直してください。

- 終了ボタンまたは停止ボタンを押した後、本体のディスク取出しボタンを押してもディスクが出ます。

おしらせ

- ホームメニューから「ツール」－「ディスク取り出し」を選んでディスクを取り出すこともできます。

録画画質と録画時間

● 本機でデジタル放送を録画するときは、録画画質（録画時間）「標準（DR）」「2倍」「3倍」「5倍」「7倍」が選べます。（▶ **134** ページ）アナログ放送では、「標準（DR）」を選ぶと「標準（SP）」に、それ以外（2倍／3倍／5倍／7倍）を選ぶと「長時間（LP）」に設定されます。
（ビデオテープの標準モードや3倍モードのように録画モードを指定して録画ができます。）

標準（DR）モードの録画画質と録画時間

● 以下は標準（DR）モードの録画時間です。
・同じディスクを使用しても、放送の種類によって録画できる時間が異なります。

放送の種類 ＼ BDの種類	BD-RE/BD-R（SL/1層）25GBディスク使用時	BD-RE/BD-R（DL/2層）50GBディスク使用時
BS・110度CS ハイビジョン放送	約2時間10分	約4時間20分
地上デジタル ハイビジョン放送	約3時間	約6時間
標準放送	約4時間20分	約8時間40分

2倍／3倍／5倍／7倍 モードの録画画質と録画時間

● 録画するときの画質を下げると、1枚あたりに録画できる時間を増やすことができます。録画画質の設定については、次のページをご覧ください。

● 2倍モード　:録画時間が約2倍になります。
● 3倍モード　:録画時間が約3倍になります。
● 5倍モード　:録画時間が約5倍になります。
● 7倍モード　:録画時間が約7倍になります。

・録画時間は目安です。

録画時間の算出について

・BS/110度CSデジタルハイビジョン（HD）放送は約24Mbps、地上デジタルハイビジョン（HD）放送は約17Mbps、標準（SD）放送は約12Mbpsで算出しています。
・録画時間はその性能を保証するものではなく、実際の録画では入力映像の画質、その他の条件により上記の時間を下回るまたは上回る場合があります。録画時間は目安です。
・録画した時間と空き時間の合計は、録画時間と一致しない場合があります。

録画画質と録画される内容・楽しめる機能

放送の種類 ＼ 録画画質	標準（DR）画質	2倍／3倍	5倍／7倍
マルチビューサービス放送（ステレオ二重音声）	○	主映像（音声は放送と同じ音声を記録）	主映像（音声は放送と同じ音声を記録）
連動データ放送	○	○	×
二重音声放送／字幕／番組情報	○	○	○

本機で記録したBDディスクが再生可能なBDレコーダー／BDプレーヤーについて

・記録方式や記録に使用したディスクにより、他機での再生が制限されます。
本機で記録したBDを他機で再生するときは、下表を参考にしてください。
（下記の表に該当していても、ディスクの状態や記録内容によっては、再生できない場合があります。）
・他機での再生を保証するものではありません。

	記録方式／ディスクの種類	再生可能なBDレコーダー／BDプレーヤー
記録方式	DR(MPEG2-TS)記録	ほとんどのBDレコーダー／BDプレーヤーで再生が可能です。
	2倍／3倍／5倍／7倍（MPEG4 AVC/H.264)記録	MPEG4 AVC/H.264に対応したBDレコーダー／BDプレーヤーで再生が可能です。
ディスクの種類	BD-R Ver.1.2 LTH TYPEディスクに記録	BD-R Ver.1.2 LTH TYPEディスクに対応したBDレコーダー／BDプレーヤーで再生が可能です。
	BD-R Ver.1.3ディスク※に記録	BD-R Ver.1.3ディスクに対応したBDレコーダー／BDプレーヤーで再生が可能です。

※BD-R Ver.1.3 LTHディスクは、本機ではご使用になれません。

アナログ放送の録画画質

・地上Aや外部入力のアナログ信号の録画画質には、標準のSPモードと長時間のLPモードがあります。BD-RE/BD-R(SL/1層)25GBディスクには、標準のSPモードで約8時間40分、長時間のLPモードでは約16時間10分録画できます。BD-RE/BD-R(DL/2層)50GBディスクでは、標準のSPモードで約17時間20分、長時間のLPモードでは約32時間30分録画できます。デジタル録画画質を「標準（DR)」にするとアナログ録画画質は「標準（SP)」となり、デジタル録画画質を「2倍」～「7倍」にするとアナログ録画画質は「長時間（LP)」となります。

次のページに続く

録画画質の設定を変えるには

● 番組をブルーレイディスクに録画する際の、録画画質「標準（DR)」「2 倍」「3 倍」「5 倍」「7 倍」を設定して録画時間を選ぶことができます。画質を優先される場合は「標準（DR)」を、より長い時間の録画を優先される場合は「5 倍」に設定することをおすすめします。

※ 工場出荷時、デジタル録画画質は「5倍モード」、アナログ録画画質は「長時間（LP)」に設定されています。

おしらせ

デジタル放送の録画画質について

- 標準（DR）では、デジタル放送そのままの画質で録画します。（アナログ放送では SP です。）
- 2倍／3倍／5倍／7倍モードは、ハイビジョン画質で長時間録画に対応した録画画質です。（アナログ放送では LP です。また録画画質、録画される内容、他機での再生の制約などがあります。詳細は▶ **133** ページをご覧ください。）

1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

を押し
で選ぶ

2 （機能切換）を選ぶ

で選ぶ

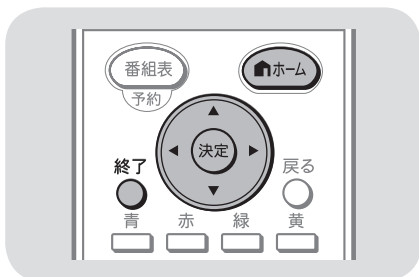
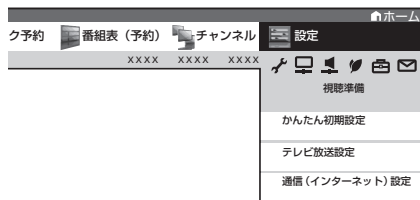
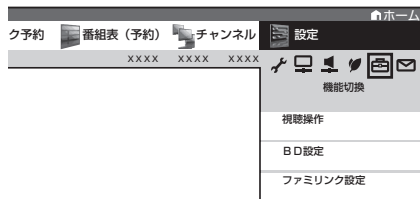
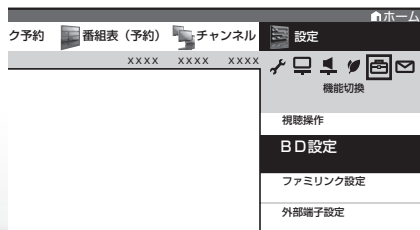
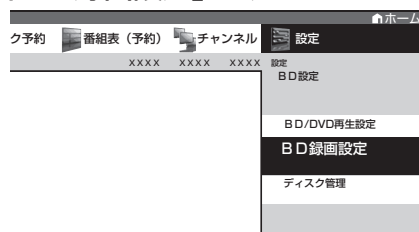
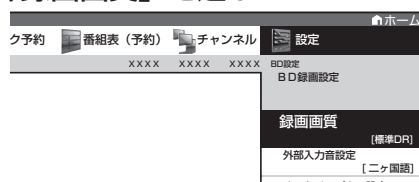
3 「BD 設定」を選ぶ

で選び
を押す

4 「BD 録画設定」を選ぶ

で選び
を押す

5 「録画画質」を選ぶ

で選び
を押す

6 「標準(DR)」「2倍」「3倍」「5倍」「7 倍」のいずれかを選ぶ

で選び
決定
を押す

- 録画画質設定で「標準（DR)」「2倍」「3倍」「5倍」「7倍」を選ぶと、アナログ録画画質も以下のように設定されます。

録画画質	
デジタル	アナログ
標準（DR)	標準（SP)
2倍	長時間（LP)
3倍	
5倍	
7倍	

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

外部ビデオ入力録画の音声を設定するときは（外部入力音声設定）

● 外部入力端子からの映像を録画する場合に、音声を「ステレオ」「二ヶ国語」のいずれかに設定することができます。

※ 外部入力音声設定は、工場出荷時「二ヶ国語」に設定されています。

重 要

- 二重音声放送を録画する際は、あらかじめ「外部入力音声設定」で「二ヶ国語」を選んでおいてください。
  さらに、入力４に接続している機器も二重音声として出力する音声設定にしてください。

1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

ホーム を押し

で選ぶ

2 （機能切換）を選ぶ

で選ぶ

3 「BD 設定」を選ぶ

で選び

決定 を押す

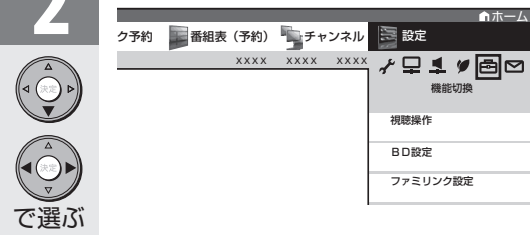
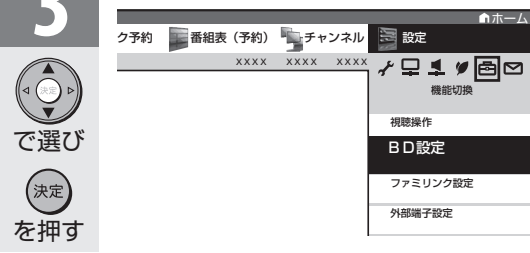
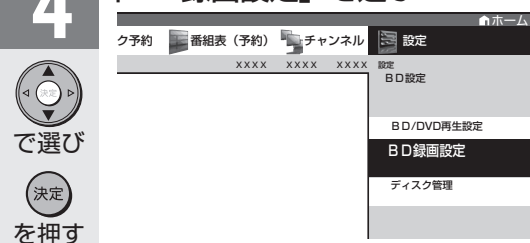
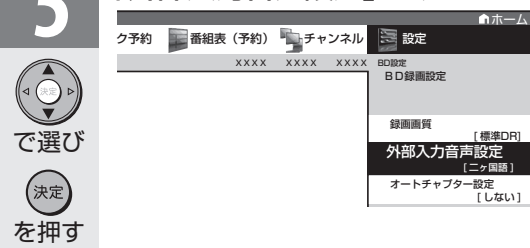
4 「BD 録画設定」を選ぶ

で選び

決定 を押す

5 「外部入力音声設定」を選ぶ

で選び

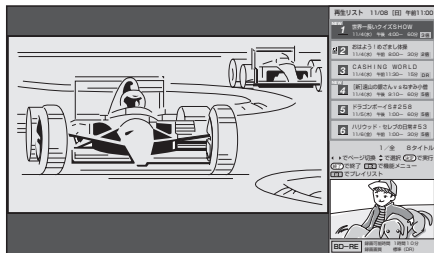
決定 を押す

6 「ステレオ」または「二ヶ国語」のいずれかを選ぶ

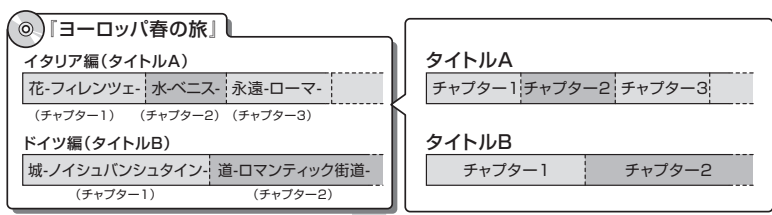
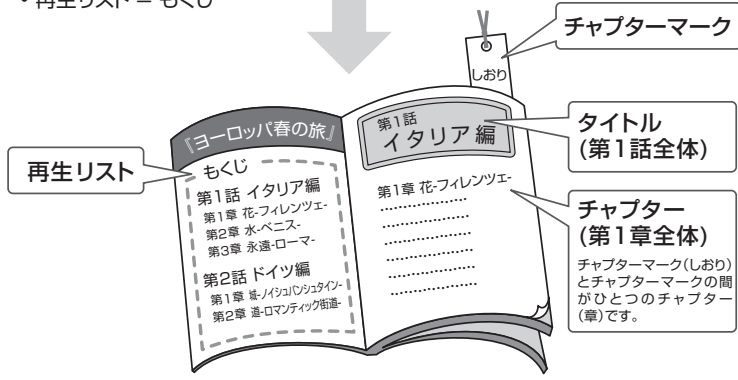
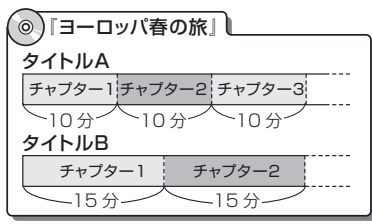
で選び

決定 を押す

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。
- アナログ放送では、「標準（DR）」を選ぶと「標準（SP）」に、それ以外（２倍／３倍／５倍／７倍）を選ぶと「長時間（LP）」に設定されます。

録画した番組の構成について

● 録画した番組は、1 回の録画ごとに「タイトル」として記録されます。各タイトル（録画した番組）は「再生リスト」に一覧表示され、再生・消去・保護ができます。（▶ **157・182・183** ページ）

・「タイトル」「チャプター」「再生リスト」の関係は以下のとおりです。

例）市販のディスクの場合

これを短編小説に例えると、次のような関係になります。
- タイトル ＝ 話
- チャプター ＝ 章
- 再生リスト ＝ もくじ

例）本機で録画したディスクの場合

※本機にはチャプターマークを任意の場所に記録する機能はありません。（BD にデジタル放送を録画するときに、チャプターマークを設定した間隔で自動的に入れるようにできます。
▶ **137** ページ）
図のタイトル A は「オートチャプター設定」を「10 分」に、タイトル B は「15 分」に設定した例です。

録画するときに自動的に入るチャプター間隔を変えたいときは（オートチャプター設定）

- BD にデジタル放送を録画するとき、チャプターマークを自動的に記録することができます。録画した番組にチャプターマークが記録されていると、あとで再生したいシーンを探すときに便利です。
- チャプターマークが自動で記録される間隔を、「10 分」「15 分」「30 分」から選べます。

1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

を押し
で選ぶ

ク予約　番組表（予約）　チャンネル　設定
視聴準備
かんたん初期設定
テレビ放送設定
通信（インターネット）設定
クイック起動設定 ［しない］

2 （機能切換）を選ぶ

で選ぶ

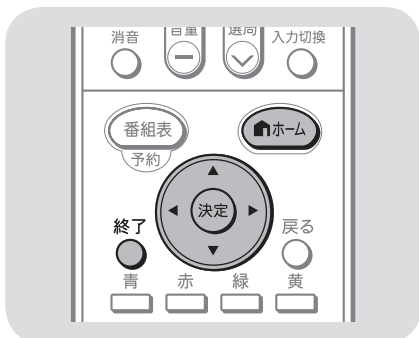
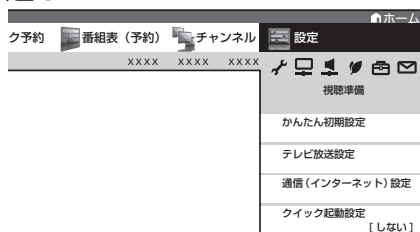
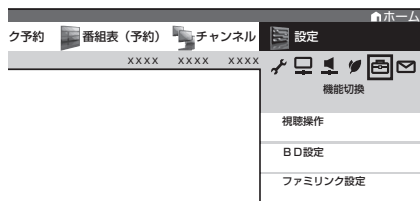
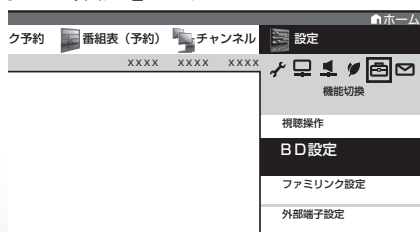
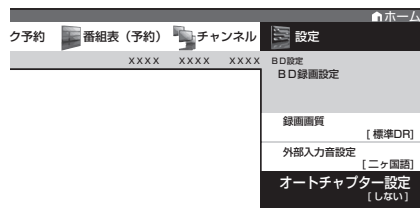
3 「BD 設定」を選ぶ

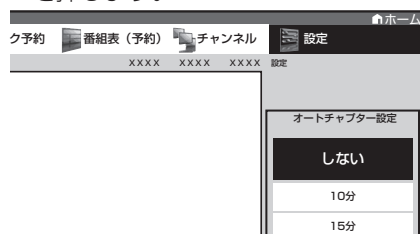
で選び
を押す

4 「BD 録画設定」を選ぶ

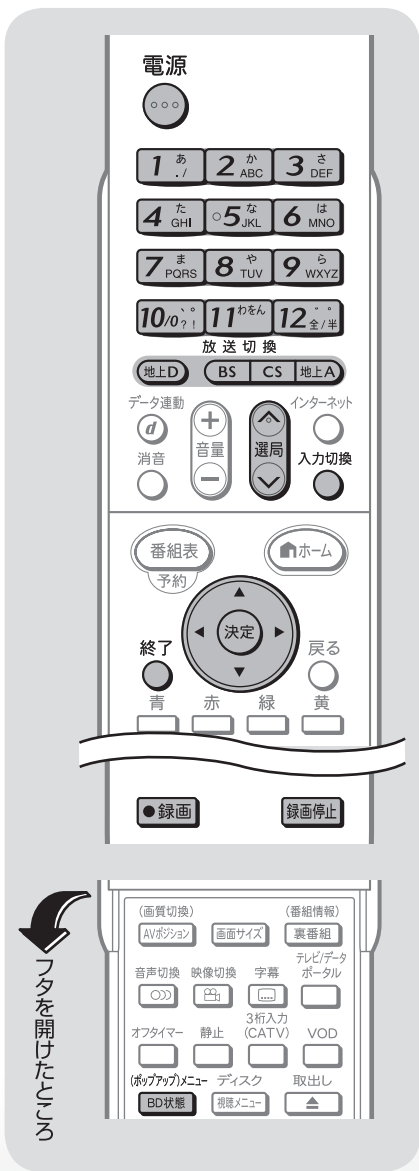
で選び
を押す

5 「オートチャプター設定」を選ぶ

で選び
を押す

6 「しない」「10 分」「15 分」「30 分」のいずれかを選ぶ

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

で選び
を押す

放送中の番組をBDに録画する

- 録画の前に「BDに録画をする前に」(▶ **130** ページ)をご覧ください。
- 予約情報を書き込んだディスクでは、通常の録画・予約録画は行えません。別のBDを挿入するか、予約情報を取り消してください。
  予約情報の取り消しかたは▶ **146** ページをご覧ください。

放送中の番組を録画する(一発録画)

- 今見ている番組をその場でBD-RE/BD-Rに録画します。
- デジタル放送の場合は、視聴中の番組が終わるまで録画し、番組が終了すると自動で録画が停止します。番組の延長にも対応します。
- アナログ放送・外部ビデオ入力では、録画ボタンを押してから1時間(1時間録画)、または設定した終了時間まで録画できます。

1 録画の準備をする

- 本機の電源を入れます。
- 本機にB-CASカードが入っていることを確認します。
- 録画画質の設定をします。(録画画質と録画時間については▶ **133** ページ)

2 録画用BD-REまたはBD-Rディスクを挿入する(▶ **131** ページ)

- 新品のBD-REまたはBD-Rを挿入したときは、本機で録画が行えるようにするための準備「初期化」が自動的に始まります。(▶ **132** ページ)
- ディスクへの録画可能時間を確認したいときは、(ポップアップ)メニュー BD状態 を押します。
- 再生リスト(▶ **156** ページ)が表示された状態では録画操作は行えません。録画を行うときは、終了 を押し、再生リストを消してから操作してください。

3 録画したい放送の種類を選ぶ

- 地上D BS CS 地上A のいずれかを押して選びます。
- 外部ビデオ入力を録画したい場合は、入力切換 を繰り返し押し、入力4を選んでください。

4 選局ボタンで録画したいチャンネルを選ぶ

5 録画をはじめる

●録画 を押す

デジタル放送の場合

- テレビ画面に録画開始のメッセージが表示されます。

録画開始のメッセージ例

この番組を最後まで録画します。

- 視聴中の番組が終わるより前に録画を止める場合は、録画停止 を続けて2回押してください。
- 本体右側面の録画ボタンや録画停止ボタンでも操作することができます。

アナログ放送・外部ビデオ入力の場合

- 録画ボタンを1回押すと、「1時間の録画を開始します。」とメッセージが表示され1時間録画が始まります。
- 続けて録画ボタンを押すと、終了時間指定画面が表示され、終了時間を指定できます。
- 録画停止などのボタン操作は、デジタル放送と同じです。

録画中に電源を切るときは

- リモコンの 電源 で電源を切ってください。本体の電源スイッチで電源を切ると、録画が停止します。

おしらせ

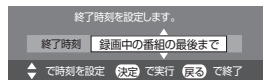
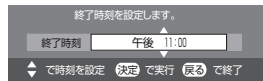
番組情報が取得できていないチャンネルを録画したときは

- デジタル放送で番組表が表示されていないチャンネルを録画したときは録画は自動で止まりません。
- 録画を止めるときは 録画停止 を押してください。録画終了時刻を設定したいときは**下記**をご覧ください。

録画終了時刻の設定をやり直すには

1 録画中に、終了時刻設定画面を表示させる

●録画 を押す

（デジタル放送の画面例）

2 終了時刻を選ぶ（15 分単位）

で選び 決定 を押す

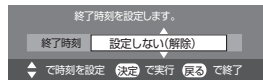
「録画中の番組の最後まで」を設定したとき

- 設定した時点での番組情報に従い、番組終了時刻が設定されます。
- 途中で録画を止めるときは、録画停止 を続けて 2 回押して停止してください。
- 電子番組表で番組情報が取得されていないときは、「録画中の番組の最後まで」は設定できません。
- アナログ放送のときは「録画中の番組の最後まで」は設定できません。

録画終了時刻を設定したとき

- 録画終了時刻が設定されます。設定した時刻になると、自動的に録画が停止します。
- 電源を切るときは、リモコンの 電源 で切ってください。
- 録画を途中で止めたいときは、録画停止 を続けて 2 回押してください。

設定を解除したいとき

- 「設定しない（解除）」を選びます。

「設定しない（解除）」を選んだとき

- 「設定しない（解除）」を選んだときは、録画停止 を押すまで最長 12 時間録画が続きます。
- BD-R をお使いの場合は、停止のし忘れに注意してください。（リモコンの電源ボタンで電源を切っても録画は停止しません。）

おしらせ

- BD 録画終了時刻設定画面の表示中は、録画ボタンと録画停止ボタンは働きません。
- 録画中に電源を切るときは、リモコンの電源ボタンで電源を切ってください。本体の電源スイッチで電源を切ると、録画が停止します。
- 1 枚のディスクに録画できるタイトル（録画した番組）数は、200 番組です。
  1 番組の連続録画可能時間は最長 12 時間です。

録画の終了時刻について

- 電子番組表で区切られた、番組の開始時刻約 2 分前を過ぎて録画を開始すると、次の番組の終了時刻が設定されます。
- 予約録画が録画している番組の終了時刻と重複するときは、録画中の番組は途中で録画停止となり、予約録画が実行されます。
- ディスクの録画可能時間が足りないときは、ディスクの録画可能時間がなくなると録画を停止します。

録画中に別の番組を見たいときは（デジタル放送のみ）

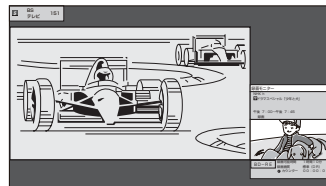
- デジタル放送を録画しているときに選局すると、録画を続けたまま別の番組が見られます。

1 地上D 放送切換 BS CS 地上A のいずれかを押し、見たい放送を選ぶ

2 1 ～ 12 または 選局 でチャンネルを選ぶ

おしらせ

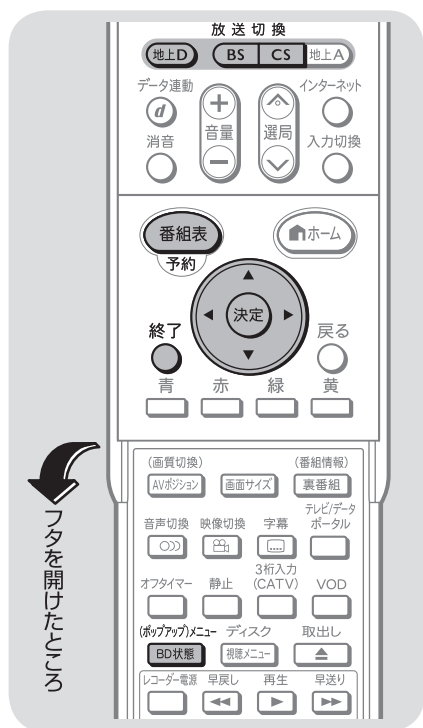
録画の確認をしたいときは

- 録画中に BD 状態ボタンを押すと、録画中の映像が画面右下に表示されます。（録画モニター）

- もう一度 BD 状態ボタンを押すか、終了ボタンを押すと録画モニターを終了します。
- 録画モニターが表示できるのは、左画面がデジタル放送視聴中のみです。
- 音声は、左画面（デジタル放送）の音声が出力されます。
- 録画モニター表示中に入力切換を行ったり、録画が終了したときは、録画モニターが終了します。
- 録画モニターに表示される録画経過時間は目安です。映像によっては、経過時間や映像の動きが一定に進まない場合があります。

番組をBDに予約録画する

デジタル放送は、電子番組表を使って予約録画することができます。

アナログ放送や外部ビデオ入力の映像は、アナログ予約画面で予約録画することができます。

デジタル放送の予約録画と、アナログ放送及び外部ビデオ入力の予約録画の操作は異なります。「デジタル放送を電子番組表で予約する（一発予約）」（▶**右記**）、「アナログ放送・外部ビデオ入力をアナログ予約画面で予約する（一発予約）」（▶**144** ページ）をご覧ください。

重 要

- 予約録画の前に「BDに録画をする前に」（▶ **130** ページ）をご覧ください。
- 予約情報を書き込んだディスクでは、通常の録画・予約録画は行えません。別のBDを挿入するか、予約情報を取り消してください。
  予約情報の取り消しかたは ▶ **146** ページをご覧ください。
- IPTV、インターネット、ホームネットワーク、IrSS™を視聴している時は予約録画できません。

デジタル放送を電子番組表で予約する（一発予約）

- 電子番組表から希望の番組を選ぶだけで、BDレコーダー機能で予約録画できます。
- 7日先まで予約録画できます。
- 予約の最大件数は、16番組です。

1 録画の準備をする

- 本機の電源を入れます。
- 本機にB-CASカードが入っていることを確認します。
- 録画画質を変更する場合、録画画質の設定をします。（▶ **134** ページ）

2 録画用BD-REまたはBD-Rディスクを挿入する（▶ 131 ページ）

- 新品のBD-REまたはBD-Rを挿入したときは、本機で録画が行えるようにするための準備「初期化」が自動的に始まります。（▶ **132** ページ）
- ディスクへの録画可能時間を確認したいときは、 を押します。
- 再生リストが表示されたときは、終了を押し、再生リストを消します。

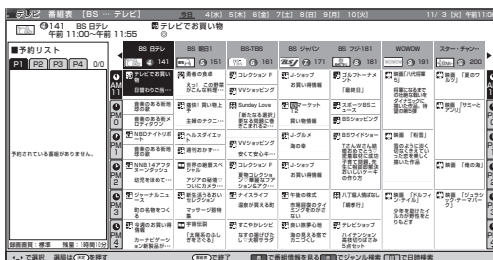
3 録画したい放送の種類を選ぶ

- 地上D BS CS のいずれかを押して選びます。

4 電子番組表を表示する

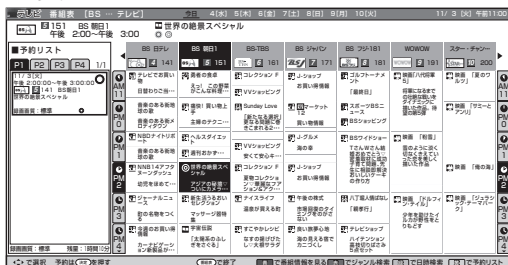
番組表（予約）を押す

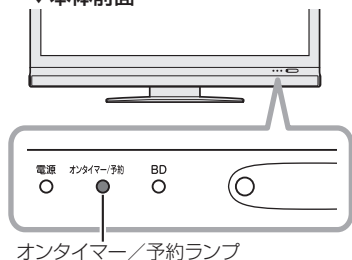
5 予約したい番組を選ぶ

で選ぶ

- ジャンルや日時を指定して番組を選ぶこともできます。（▶ **99** ページ）

6 予約する

を押す

- 決定すると、BD レコーダー機能での予約録画が設定されます。
- 画面左の予約リストに、予約が表示されます。
- 予約した番組には、予約アイコンが表示されます。

- 予約が設定されると、本体前面右下のオンタイマー／予約ランプが点灯します。

▼本体前面

- 予約が設定されると「この番組を BD 予約録画しました」というメッセージが表示されます。
- 録画禁止の番組を予約したときは、視聴予約となります。

7 電子番組表を消す

を押す

予約録画した内容を変更したいときは、▶ 146 ページをご覧ください。

予約を設定しているときや、録画中に電源を切るときは

- リモコンの電源ボタンで電源を切ってください。
- 本体の電源スイッチで電源を切ると、予約が実行されません。また、録画中の場合は、録画が停止します。

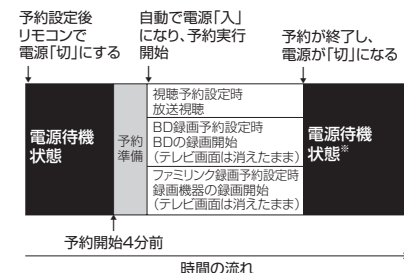
おしらせ

- 電子番組表で番組情報（▶ 94 ページ）の表示中に予約をしたときや、ジャンル検索（▶ 99 ページ）画面、番組詳細検索（▶ 100 ページ）画面から予約をしたときは、予約リストは表示されません。
- 予約録画に関する注意事項については「BDに録画をする前に」（▶ 130ページ）や「故障かな？と思ったら」（▶ 300ページ）を参照してください。
- 手順 6 で決定したあとに、次のような画面が表示されたときは、次ページをご覧ください。

この時間に予約されている番組があります。
予約されている番組を削除して、この番組を予約しますか?

予約する　予約しない

- 視聴年齢制限が設定されている番組を選ぶと、暗証番号入力画面が表示されます。暗証番号（▶ 218ページ）を入力してください。

その他のメッセージについては、▶ 311 ページをご覧ください。

予約設定時から予約終了後までの本機の動作

※ 視聴予約実行中に何らかのボタン操作をすると、予約した番組が終了しても電源待機状態にはなりません。

予約録画中に停止したいときは

- 録画停止ボタンを押してください。メッセージ画面が表示されますので、「予約を解除しますか？」で「する」を選んでください。
  このとき、録画先自動切換（▶ 213 ページ）を「自動（BD 優先）」、または「常時両方」に設定し、代理録画を行っている場合は、代理録画も連動して停止します。

予約設定後、ディスクを取り出したときは

- 予約録画開始時刻の 4 分前までに録画用の BD を挿入してください。

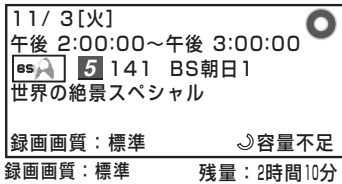
次のページに続く

予約設定時のメッセージについて

- 電子番組表で番組を予約したときに、取得された番組情報に基づいてテレビ画面にメッセージが表示されることがあります。必要に応じて、以下の設定を行ってください。
- 予約した番組によっては、番組情報の取得に時間がかかることがあります。

ディスク残時間が不足しており設定した予約が録画できないとき

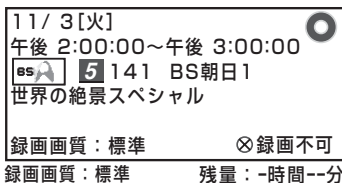
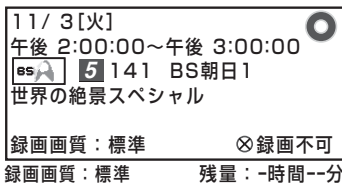
- 予約リスト（▶ **92** ページ）に「容量不足」と表示されます。

11/ 3[火]
午後 2:00:00～午後 3:00:00
BS 5 141 BS朝日1
世界の絶景スペシャル
録画画質：標準 容量不足
録画画質：標準 残量：2時間10分

- BD-RE を挿入しているときは、再生リストから不要な番組を消去することで、残量を増やせます。タイトル消去の手順について詳しくは▶ **182** ページをご覧ください。
- BD-R を挿入しているときは、不要な番組を消去しても残量は増えません。
  別の録画用ディスクを挿入してください。

ディスクが入っていないとき

11/ 3[火]
午後 2:00:00～午後 3:00:00
BS 5 141 BS朝日1
世界の絶景スペシャル
録画画質：標準 ⊗録画不可
録画画質：標準 残量：-時間--分

再生専用ディスクが入っているとき

11/ 3[火]
午後 2:00:00～午後 3:00:00
BS 5 141 BS朝日1
世界の絶景スペシャル
録画画質：標準 ⊗録画不可
録画画質：標準 残量：-時間--分

ディスクに書き込みができないときなど

- ディスク保護設定がされている書き込み不可のディスクが挿入されているときなどは、予約リスト（▶ **92** ページ）に「録画不可」と表示されます。ディスク保護設定について詳しくは、▶ **183** ページをご覧ください。

設定した予約が他の予約と重複しているとき

この時間に予約されている番組があります。
予約されている番組を削除して、この番組を予約しますか?

予約する　予約しない

- 既存の予約を取り消して、現在の予約を実行させることができます。

設定中の予約を残すとき

- 「予約する」を選ぶと、設定中の予約で設定を完了します。
- すでに設定された予約は、消えます。

すでに設定された予約を残すとき

- 「予約しない」を選ぶと、すでに設定された予約が残ります。
- 設定中の予約は、設定されません。

デジタル録画禁止の番組を予約したとき

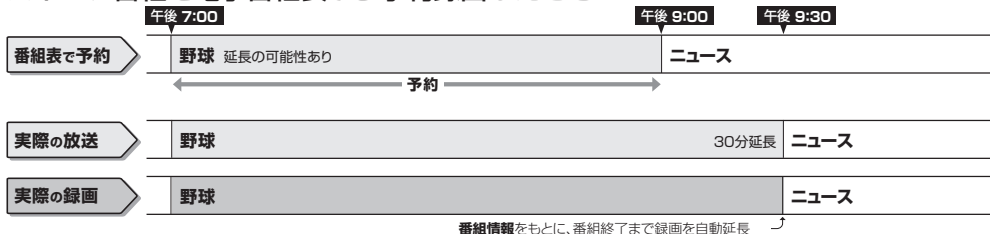
- 視聴予約になります。

おしらせ

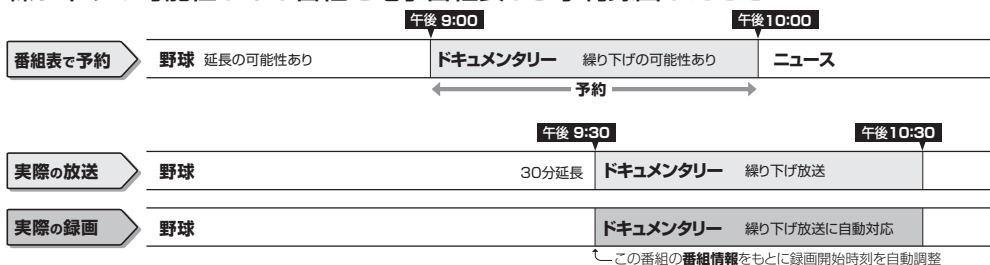
- BD レコーダー機能利用時のエラーメッセージ（▶ **311** ページ）も合わせてご覧ください。

電子番組表でのデジタル放送の延長予約について

- スポーツ中継など終了時刻が延長される可能性のある番組を電子番組表で予約すると、予約録画の終了時刻が自動で延長されます。
- 番組が延長されても番組の最後まで録画を行います。
- 前の番組が延長されて予約録画した番組が繰り下げられたときでも、予約録画した番組の最後まで録画します。

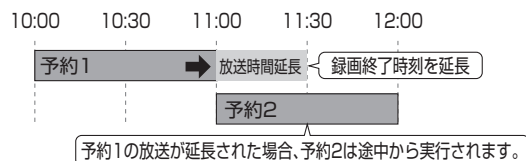
スポーツ番組を電子番組表から予約録画したとき

おしらせ

- 予約した番組が延長したり、繰り下げとなった予約と他のチャンネルの予約が重なったときは、重なった予約が実行されない、または番組の途中から予約が実行されます。
- 開始時刻、終了時刻を変更したときは、設定をし直した時刻で録画されます。（延長に対応しなくなります。）
- アナログ放送、外部ビデオ入力の録画には対応していません。

繰り下げの可能性がある番組を電子番組表から予約録画したとき

おしらせ

- 開始時刻、終了時刻を変更したときは、設定をし直した時刻で録画されます。（延長に対応しなくなります。）

番組の延長により、予約が重なった場合

- 先に始まった予約録画が終了したあと、次の重なった予約録画を途中から実行します。

- 番組が繰り下げられた場合も同様です。

- 番組が繰り下げられた結果、開始時刻が他の予約と同じ時刻になった場合は、繰り下げられた予約が破棄されます。

アナログ放送・外部ビデオ入力をアナログ予約画面で予約する（一発予約）

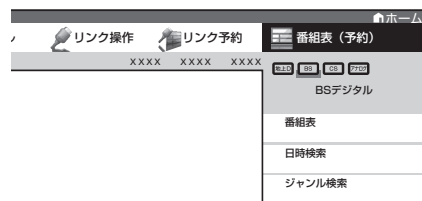
- 地上アナログ放送や外部ビデオ入力の映像では、予約録画のみに対応したアナログ予約画面をご利用いただけます。
  - ・番組内容は表示されません。
  - ・電子番組表からの予約はできません。
  - ・チャンネルの時間帯を選ぶだけで予約録画できます。
  - ・アナログ予約画面は、チャンネルごとに1時間単位で区切った画面です。
  - ・録画開始時刻、終了時刻を1分単位で設定したい場合は、一発予約を行った後、アナログ予約の変更で1分単位の変更を行います。
- 7日先まで予約録画できます。
- 予約の最大件数は、16番組です。
- アナログ放送と外部ビデオ入力は、操作が一部異なります。

アナログ放送を予約する

1 録画の準備をする
- ・本機の電源を入れます。
- ・録画画質を変更する場合、録画画質の設定をします。（▶ **134** ページ）

2 録画用BD-REまたはBD-Rディスクを挿入する（▶**131** ページ）
- ・新品のBD-REまたはBD-Rを挿入したときは、本機で録画が行えるようにするための準備「初期化」が自動的に始まります。（▶ **132** ページ）
- ・ディスクへの録画可能時間を確認したいときは、（ポップアップ）メニュー BD状態 を押します。
- ・再生リストが表示されたときは、終了 を押し、再生リストを消します。

3 ホームメニューから「番組表（予約）」を選ぶ

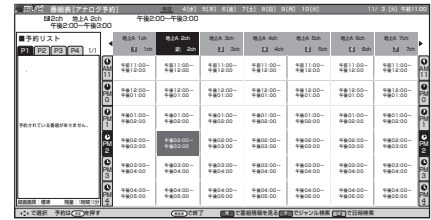
を押し
で選ぶ

4 アナログ（アナログ）－「録画予約」を選ぶ

で選ぶ

5 アナログ予約画面を表示させる

を押す

6 チャンネルと録画開始時間帯を選ぶ

で選び
を押す

- ・予約が完了しました。予約を1分単位で設定したい場合は、アナログ予約の変更、取り消しをする（▶下記）をご覧ください。予約開始の5分前までに録画用BDディスクを本機に挿入してください。
- ・予約が設定されると、本体前面右下のオンタイマー／予約ランプが点灯します（▶ **141** ページ）。
- ・予約が設定されると「この番組をBD予約録画しました」というメッセージが表示されます。
- ・アナログ放送・外部ビデオ入力の録画の場合は、予約情報を書き込めません（▶ **150** ページ）。
- ・アナログ放送で予約した番組が二重音声放送の場合、現在の音声設定によらず、主／副で録画開始されます。音声切換ボタンにより、主音声、副音声への切換ができますが、録画中に音声を切り換えると、録画している音声も連動して切り換わります。
  主音声に切り換えた部分は主音声のみ、副音声に切り換えた部分は副音声のみの録画になりますので、途中で音声を切り換えた録画番組を再生すると、音声切換ボタンを押しても、主音声に切り換えて録画した部分は主音声のみ、副音声に切り換えて録画した部分は副音声のみの再生になります。（主／副以外で録画した番組の再生時の表示は「ステレオ」と表示されます。）

7 アナログ予約画面を消す

予約
を押す

アナログ予約の変更、取り消しをする

1 ホームメニューから「番組表（予約）」－「アナログ（アナログ）」－「録画予約」を選び、アナログ予約画面を表示する

2 変更・取り消しをしたい予約を選ぶ

黄

を押す

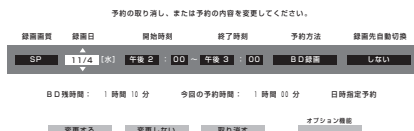
で選び

決定
を押す

3 予約の設定内容を変更する

• 録画日や時間、録画画質の変更をした場合は「変更する」を選んで決定ボタンを押します。
• 予約を取り消す場合は「取り消す」を選んで決定ボタンを押します。

で選び

決定
を押す

設定項目	録画日	開始時刻・終了時刻	録画画質	録画先自動切換
設定内容	• 日付※ • 毎週日曜 〜 • 毎週土曜 • 毎日 • 月ー土 • 月ー金	• 1 分単位	• 標準(SP) • 長時間(LP)	• しない

※「日付」は、「今日の日付」〜「28 日後の日付」が選べます。
• 予約方法は「BD 録画」のみです。
• 変更した内容が予約リストに反映されます。

4 アナログ予約画面を消す

番組表
予約
を押す

予約を設定しているときや、録画中に電源を切るときは

• リモコンの電源ボタンで電源を切ってください。
• 本体の電源スイッチで電源を切ると、予約が実行されません。また、録画中の場合は、録画が停止します。

おしらせ

• アナログ放送に切り換えてから番組表ボタンを押すと、アナログ放送では番組表が表示されない旨のメッセージとともに、アナログ予約画面が表示されます。
• 予約録画に関する注意事項については「BD に録画をする前に」(▶ **130** ページ)や「故障かな？と思ったら」(▶ **300** ページ) を参照してください。
• 手順 **3** で決定したあとに、次のような画面が表示されたときは、次ページをご覧ください。

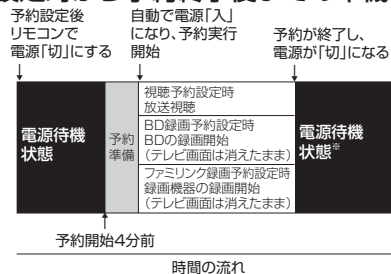
・その他のメッセージについては、▶ 311 ページをご覧ください。

予約設定時から予約終了後までの本機の動作

予約設定後リモコンで電源「切」にする
自動で電源「入」になり、予約実行開始
予約が終了し、電源が「切」になる

電源待機状態 → 予約準備 → 視聴予約設定時 放送視聴 / BD録画予約設定時 BDの録画開始(テレビ画面は消えたまま) / ファミリンク録画予約設定時 録画機器の録画開始(テレビ画面は消えたまま) → 電源待機状態※

予約開始4分前

時間の流れ

※ 視聴予約実行中に何らかのボタン操作をすると、予約した番組が終了しても電源待機状態にはなりません。

予約録画中に停止したいときは

• 録画停止ボタンを押してください。メッセージ画面が表示されますので、「予約を解除しますか？」で「する」を選んでください。

予約設定後、ディスクを取り出したときは

• 予約録画開始時刻の 4 分前までに録画用の BD を挿入してください。

外部ビデオ入力を予約する

● 予約の前に、外部入力機器の接続設定や、本機で予約する時刻に合わせたタイマー設定等を行ってください。
● 「アナログ放送を予約する」(▶ **144** ページ)の手順 **1** 〜 **5** に続いて、アナログ予約画面から外部入力の列の時間帯を選びます。

重 要

• 外部ビデオ入力からは、BD の AACS 規格上、著作権保護信号があるビデオ信号は録画できません。
• 二重音声放送を録画する際は、あらかじめ「外部入力音声設定」で「二ヶ国語」を選んでおいてください。
さらに、入力 4 に接続している機器も二重音声として出力する音声設定にしてください。

予約の確認・取り消し・変更をするには

- 予約の確認・取り消し・変更をすることができます。
- 日時を指定して予約したいときや、視聴予約（▶ **149** ページ）やファミリンク予約（▶ **211** ページ）、繰り返し予約は、この手順で予約方法を変更します。

おしらせ

- 予約する番組を変更するときは、一度予約を取り消してから新しい予約を設定し直してください。

実行中の BD 予約録画を解除するには
- リモコンふた上の録画停止ボタンを押してください。そのとき画面に表示される「予約を解除しますか？」の選択項目の「する」を選ぶと予約を解除できます。

1

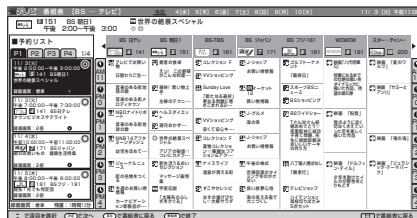
■デジタル放送の場合
番組表ボタンを押して電子番組表を表示する
■アナログ放送または外部ビデオ入力の場合
ホームメニューから「番組表（予約）」－「アナログ（アナログ）」－「録画予約」を選び、アナログ予約画面を表示する

2

黄 を押す

で選び

決定 を押す

確認・取り消し・変更をしたい予約を選ぶ
（デジタル放送の番組表）

- ◎で予約されている番組を選びます。
- ◎でページ P1 ～ P4 のいずれかを選びます。
- 予約リストに表示されるアイコン、番組表に表示されるアイコンについては、**93** ページをご覧ください。
- 予約の設定内容が表示され、確認できます。

予約の取り消し、または予約の内容を変更してください。

録画画質	録画日	開始時刻	終了時刻	予約方法	録画先自動切換
標準（DR）	11/3 ［火］	午後 2 : 00	～ 午後 3 : 00	BD録画	自動（BD優先）

BD残時間： 1 時間 10 分　今回の予約時間： 1 時間 00 分　番組指定予約

- 上記は、番組表から予約した予約の変更・取り消し画面です。日時指定予約の場合は、画面が若干異なります。
- 確認のみで終了する場合は、「変更しない」を選び、番組表または予約リストに戻ります。

◆予約を取り消したいとき

3

で選び

を押す

①「取り消す」を選ぶ
②「する」を選ぶ

［BSテレビ番組の予約設定］

予約方法：BD録画
録画画質：標準（DR）
録画先自動切換：自動（BD優先）
11月 3日［火］午後 2：00～午後 3：00

この番組の予約を取り消しますか？

する　しない

- 予約が取り消されます。
  手順 **2** の画面に戻ります。

◆予約の設定を変更するとき

つづき

で項目を

で内容を選ぶ

③変更したい項目の内容を選ぶ

予約の取り消し、または予約の内容を変更してください。

録画画質	録画日	開始時刻	終了時刻	予約方法	録画先自動切換
標準（DR）	11/3 ［火］	午後 2 : 00	～ 午後 3 : 00	BD録画	自動（BD優先）

BD残時間： 1 時間 10 分　今回の予約時間： 1 時間 00 分　番組指定予約

変更する　変更しない　取り消す　オプション機能 予約の書き込み

設定項目	予約方法※6	録画日	※3※6 録画画質	録画先自動切換※5※6
設定内容	・BD 録画 ・ファミリンク録画※1 ・視聴予約※4	・日付※2 ・毎週日曜 〜 ・毎週土曜 ・毎日 ・月ー土 ・月ー金	・標準（DR） ・2倍 ・3倍 ・5倍 ・7倍	・しない ・自動（BD 優先） ・常時両方

（アナログ放送または外部ビデオ入力の場合、変更できる項目は▶ **145** ページ）

※１ 予約方法がファミリンク録画の場合、「録画日」「開始時間」「終了時間」は変更できません。
※２ 「日付」は、「今日の日付」〜「28 日後の日付」が選べます。
※３ 「録画画質」が選択できるのは、予約方法がBD録画の場合のみです。ファミリンク録画、視聴予約は「録画画質」を選択できません。またアナログ放送では、「標準（DR）」を選ぶと「標準（SP）」に、それ以外（２倍／３倍／５倍／７倍）を選ぶと「長時間（LP）」に設定されます。
※４ 視聴予約については、**149** ページをご覧ください。
※５ 「録画先自動切換」が選択できるのは、デジタル放送を録画する場合と、予約方法がBD 録画で、「番組指定予約」に設定されている場合のみです。「録画先自動切換」について詳しくは **213** ページをご覧ください。
※6 アナログ放送の予約録画では、「予約方法」「録画画質」「録画先自動切換」の設定内容が異なります。

4 「変更する」を選ぶ

で選び

を押す

おしらせ

・「録画日」「開始時間」「終了時間」を変更すると、日時指定予約に変更されます。

5 「戻る」で決定する

を押す

［ＢＳテレビ番組の予約設定］

予約方法：ＢＤ録画
録画画質：標準（DR）
録画先自動切換：自動（BD優先）
11月 3日［火］午後 2：00〜午後 3：00

この番組をＢＤ録画予約しました。

戻る

繰り返し予約をする

● 毎日、毎週など、同じ番組を繰り返し予約録画できます。

1 140 ページの手順 1 〜 141 ページの手順 6 で繰り返し予約をしたい番組を選び、予約録画を設定する

2 もう一度同じ番組を選ぶ

・ 予約リストからも選べます。

で選び

を押す

3 ①「録画日」を選ぶ
②「毎週○曜」「毎日」「月ー土」「月ー金」のいずれかを選ぶ

で選び

で選び

を押す

予約の取り消し、または予約の内容を変更してください。

録画画質	録画日	開始時刻	終了時刻	予約方法	録画先自動切換
標準（DR）	毎週日曜	午後 2 ： 00	〜 午後 3 ： 00	ＢＤ録画	自動（BD優先）

ＢＤ残時間： 1 時間 10 分　今回の予約時間： 1 時間 00 分　番組指定予約

4 「変更する」を選ぶ

で選び

を押す

5 「戻る」で決定する

を押す

［ＢＳテレビ番組の予約設定］

予約方法：ＢＤ録画
録画画質：標準（DR）
録画先自動切換：自動（BD優先）
毎週日曜 午後 2：00〜午後 3：00

この番組をＢＤ録画予約しました。
繰り返し録画を実行するためには適切にディスクを交換する必要があります。
日時指定が設定されているので、放送時間への追従はできません。

戻る

BD ディスク情報・録画可能時間を調べたいときは

- BD または DVD ディスクが入った状態で (ポップアップ)メニュー BD状態 を押すと、ディスクの情報が画面右下に表示されます。
- ディスク情報の表示から、録画可能時間などを確認できます。

おしらせ

ホームメニューからディスク情報を表示する

- 「ツール」－「BD 状態」を選びます。
- 「設定」－「(機能切換)」－「視聴操作」－「BD 状態」を選びます。
- 再生中は、録画可能時間・ディスク情報は表示しません。市販の BD ビデオディスクなどでポップアップメニューがある場合は、ポップアップメニューが表示されます。
- 録画可能時間が足りない場合は、ディスクの空き容量がなくなるまで録画や予約録画が実行されます。
- ディスクが挿入されていないときは、BD 状態ボタンを押してもディスク情報画面は表示されません。
- デジタル放送受信中に表示される「標準（DR）」の録画可能時間は、現在受信しているデジタル放送を録画した場合の録画可能時間です。

ディスクの録画可能時間を確認する

1 ディスクを挿入する（▶ 131 ページ）

2 (ポップアップ)メニュー BD状態 を押す

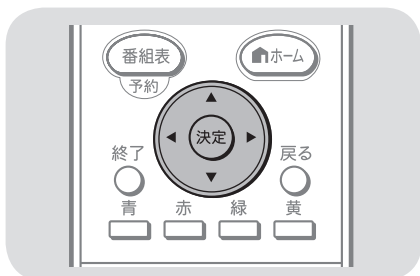
ディスク情報を表示する
- タイトルの再生中や番組の録画中にも、ディスク情報を見ることができます。

3 (ポップアップ)メニュー BD状態 を押す

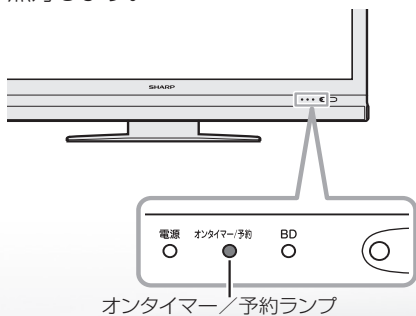
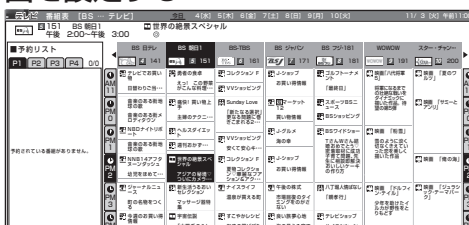
ディスク情報を消す

放送視聴中	録画中
①現在挿入しているディスクの種類を表示します。	
②現在の録画できる時間を表示します。 • 表示される残時間は、その時点の番組を録画する際、きめ細かいシーンの多い映像や動きの多い映像が続いた場合でも録画できる時間の目安です。 • 録画できないディスクが挿入されたときは、録画可能時間表示部が「ーー」または「0時間00分」と表示されます。	
③設定されている録画画質が表示されます。録画できないディスクが挿入されているときは、「ーー」と表示されます。	
④ディスク内の総タイトル数を表示します。	④録画開始からの経過時間を表示します。
⑤ディスク内の総チャプター数を表示します。	

見たい番組を予約する（視聴予約）

- 電子番組表で視聴予約すると、設定した時刻に自動的に予約した番組に切り換わります。（電源待機状態のときは、自動的に電源が入ります。）
- 見たい番組の見逃しを防いだり、番組開始までテレビを消しておきたい場合などに便利です。
- 一度 BD レコーダー機能への予約録画を設定し、「予約方法」を「視聴予約」に変更します。

おしらせ

- デジタル放送の有料放送を予約する場合は、有料放送のプラットフォームや放送局と、あらかじめ契約をしておく必要があります。契約をしていないと、予約どおりの視聴や録画はできません。
- 予約録画と合わせて、16 番組まで予約できます。さらに新たな予約をしたい場合は、予約の取り消し（▶ **146** ページ）が必要です。
- 予約を確認することもできます。（▶ **146** ページ）
- 録画禁止の番組を予約したときは、視聴予約となります。
- 別の予約と日時が重なっている場合は、先に設定した予約を破棄して新たな予約をするか、しないかを選択します。
- 視聴予約の開始によって本機の電源が入ったときは、番組が終了すると自動的に電源が切れます。ただし、何らかの操作をすると番組が終了しても電源は切れません。
- 視聴予約が設定されると、本体前面右下のオンタイマー／予約ランプが点灯します。

オンタイマー／予約ランプ

1 140 ページの手順 3 ～ 141 ページの手順 6 で視聴予約したい番組（まだ放送されていない番組）を選び、予約録画を設定する

- ジャンルや日時を指定して番組を選ぶこともできます。（▶ **95** ページ）

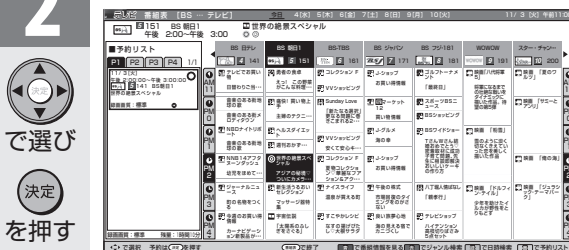
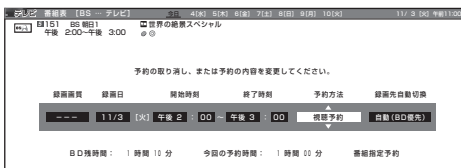
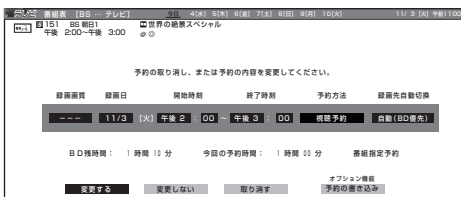
2 もう一度同じ番組を選ぶ

で選び
決定 を押す

3 「予約方法」で「視聴予約」を選ぶ

で選ぶ

4 「変更する」を選ぶ

で選び
決定 を押す

- 本機の電源を切るときは、リモコンで電源「切」（待機状態）にしてください。

お気に入りの番組専用のディスクを作る（予約の書き込み機能）

- 自分専用のディスクを作って、お気に入りの番組を予約録画設定し、BD-RE ディスクに予約情報を書き込むことができます。
- 予約情報を書き込んだディスクを作っておくと、本機にディスクを入れるだけで、設定した予約録画が働くようになります。本機の操作に慣れているかたに予約情報を書き込んでいただくと、本機の操作に慣れていないかたでもディスクを入れるだけで予約録画ができるので便利です。
- 予約情報を書き込んだディスクは、他の番組の録画ができないので、誤って他の番組の録画に使われる心配がありません。録画する番組をディスク毎に分けたり、ディスクを個人用にしたいときなどに便利です。（予約情報を書き込んだディスクは、通常の録画、予約録画には使用できません。）

ディスクに予約情報を書き込む

1 録画の準備をする

- 本機の電源を入れます。
- 本機に B-CAS カードが入っていることを確認します。
- 録画画質の設定をします。（▶ **134** ページ）

2 録画用 BD-RE ディスクを挿入する

- 新品の BD-RE ディスクを挿入したときは、本機で録画が行えるようにするための準備「初期化」が自動的に始まります。
- 初期化が行われた場合は、完了後「確認」で決定します。
- 再生リストが表示されたときは終了を押し、再生リストを消します。

3 録画したいデジタル放送の種類を選ぶ

地上D BS CS のいずれかを押す

4 電子番組表を表示する

番組表 予約 を押す

5 予約したい番組を選ぶ

で選ぶ

- ジャンルや日時を指定して番組を選ぶこともできます。(▶ **95** ページ)

6 予約する

決定 を押す

- 決定すると、BD レコーダー機能での予約録画が設定されます。
- 予約が設定されると「この番組を BD 録画予約しました」というメッセージが表示されます。
- 画面左の予約リストに、予約が表示されます。

7 もう一度同じ番組を選ぶ

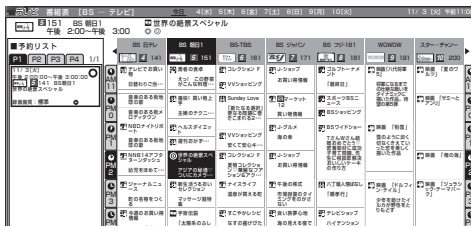
で選び 決定 を押す

8 「予約の書き込み」を選ぶ

で選び

を押す

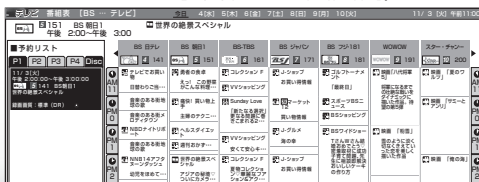
9 「了解」で決定する

決定 を押す

挿入されたディスクに予約情報を書き込みます。

・設定ディスクは指定のタイトルのみの録画に対応します。
・設定ディスクを入れると通常の予約録画は出来なくなります。
・ディスクの予約情報は、
　本機に入れるたびに予約リストへ追加されます。
・対応の機器以外にディスクを入れても
　予約情報を自動的に更新することはできません。
・対応していない録画画質で予約をする場合、
　録画を行う機器が、録画画質の設定を自動で変更します。
・「録画先自動切換」の設定は常に「しない」となります。
・タイトルをディスクのラベル面に記入することをお奨めします。

了解　設定をやめて戻る

(予約情報を書き込んだディスクを入れたときの電子番組表の画面例)

重 要

- アナログ放送・外部ビデオ入力の録画の場合は、予約情報を書き込めません。
- BD-R ディスクには、予約情報を書き込めません。
- 毎週や毎日などの日時指定予約(繰り返し予約)は、ディスクに設定できません。
- 1 枚のディスクには、1 つの予約録画しか設定できません。
- 「ディスクに予約を書き込む機能」を搭載していない機器で初期化や録画をした BD-RE ディスクには、予約情報を書き込めない場合があります。そのようなときは、本機のホームメニューから「設定」－「(機能切換)」－「BD 設定」－「ディスク管理」－「BD 初期化」を選んで初期化を行ってください。
- **初期化を行なうと既に録画されている内容も消去されます。消去された内容は復元できませんので初期化の際はご注意ください。**
- 予約情報を書き込んだディスクが入っているときは、他の予約録画は実行されません。
  また、視聴予約やファミリンク録画も実行されません。

おしらせ

予約が 16 個登録されているときは

- 予約はできません。予約リストから予約を 1 つ取り消してください。(▶ **146** ページ)

他機で予約情報を書き込んだディスクを、本機に挿入して予約実行するときは

- 他機で予約情報を書き込むときに、本機が対応していない録画画質の設定を書き込んだ場合、本機に挿入して予約を実行すると、本機の「BD 録画設定」(▶ **134** ページ)で設定している録画画質で録画されます。
  設定された録画画質によっては、番組の最後まで録画できないことがあります。
- 録画画質を変更したいときは、一度予約情報を書き込んだディスクを取り出して、「BD 録画設定」で設定を変更してから挿入し直してください。

次のページに続く

予約情報を書き込んだディスクで予約録画する

● 予約時間の開始時刻の 10 分前までに、予約情報を書き込んだディスクを本機に入れます。

1 予約時間の開始時刻の 10 分前までに、予約情報を書き込んだディスクを本機に入れる

- 予約情報を書き込んだディスクの予約が、本機の予約リストに追加されます。

(予約情報を書き込んだディスクを入れたときの電子番組表の画面例)

- 予約情報を書き込んだディスクを入れた状態で電源を切りたいときは、リモコンの電源ボタンで電源を切ってください。
  本体の電源スイッチで電源を切ると、予約録画が働きません。

2 予約録画の開始時刻になると、録画が始まります

● 他のディスクまたは予約録画終了後に、お気に入り番組の予約情報を登録するには、再度「ディスクに予約情報を書き込む」(**150** ～ **151** ページ)の手順 **2** から手順 **9** を行ってください。

おしらせ

予約情報を書き込んだディスクの取り扱いについて

- ディスクのラベル面に名前や番組名を書いておくと便利です。

予約情報を書き込んだディスクの予約情報を取り消したいとき

- 本機に予約情報を書き込んだディスクを入れて、ディスクに設定した予約を予約リストから選んで決定し、「録画予約を削除する」を選んで決定します。
- 予約終了後に取り消したいときは、▶**右記**をご覧ください。

予約録画終了後に予約情報を取り消したいとき

● 予約情報を書き込んだディスクは予約情報書き込み専用ディスクとなります。通常の録画、予約録画に使用したいときは次の操作で予約情報を取り消してください。

● 本機の電源を入れてから操作します。

1 予約情報を書き込んだディスクを挿入する

- 再生リストが表示されます。

2 再生リストを消す

終了 を押す

3 電子番組表を表示する

- 番組表の表示のしかたは、「番組をBDに予約録画する」(▶ **140** ページ)をご覧ください。

4 予約リストを選ぶ

黄 を押す

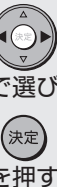
5 Disc を選び、決定する

で選び

を押す

6 「予約を削除する」を選び、決定する

で選び

を押す

7 「戻る」で決定する

- 予約情報が取り消され、番組表に戻ります。

を押す

本機に内蔵のBD(ブルーレイディスク)レコーダー※機能で再生する

※ 本書では、「BD(ブルーレイディスク)レコーダー」を「BDレコーダー」と記載しています。
「BD」は、「ブルーレイディスク」の略称です。

ページ

BDレコーダー機能を使った再生について

本機に内蔵の BD レコーダー機能を使った再生について

再生用に使えるディスクについて

- 本機は、BD ／ DVD ／ CD プレーヤーとしても使えます。
- 本機で再生に使えるディスクは以下のとおりです。

> • 市販のBDビデオ※1、DVDビデオ※1、CD
> • 本機の内蔵BDレコーダー機能で録画したBD-RE／BD-R
> • 他のBDレコーダーで録画したBD-RE／BD-R※2
> • AVCHD方式のデジタルビデオカメラで録画した8cmのDVD-RW／DVD-R／DVD-RAM※3
> • 他の機器で録画し、再生できるように処理(ファイナライズ)したDVD-RW／DVD-R／DVD+RW／DVD+R
> • JPEGファイルの記録されたCD-R/CD-RW/DVD-RW※4
> • 音楽用CDフォーマットされた音楽用CD/CD-R/CD-RW

※1 BD ビデオや DVD ビデオは、各国に合わせて再生できるソフトが決められています。その再生できるディスクのコードをリージョンコードといいます。本機では、BD ビデオはリージョンコード「A」または「All Region（オールリージョン)」、DVD ビデオはリージョンコード「2」または「All（オール)」のソフトが再生できます。
※2 一部再生できないディスクもあります。
※3 カートリッジから取り出せるタイプ。
※4 DVD-RW に JPEG ファイルを記録できるシャープ製レコーダーで記録されたもの。

- 本機で再生できるディスク･再生できないディスクについて詳しくは、▶ **332**～**333** ページをご覧ください。

再生の種類について

- 再生のしかたは、以下のとおりです。

再生の種類　ページ

おしらせ

- 再生についてお困りのときは「故障かな？と思ったら」（**300** ～ **303** ページ）をご覧ください。

再生中の画面表示について

- 挿入されたディスクの種類などが表示されます。
- BD 状態ボタンを押すと、カウンターなどが表示されます。（**148** ページ）

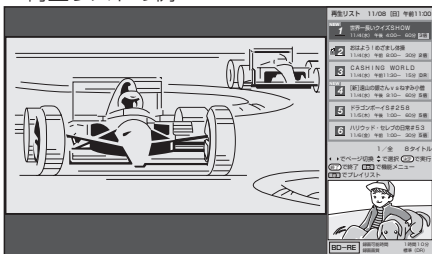
その他の便利な機能について

● 視聴制限レベルや優先言語の設定、録画した番組（タイトル）の保護や消去、使用済みのBD-RE を未使用の状態に戻すなどの便利な機能が使えます。

BDやDVDを再生する

BD-REやBD-R、DVD-RW、DVD-R を再生する

● BD-RE ／ BD-R や VR フォーマットで記録されている DVD は、「再生リスト」から録画した番組を選んで再生します。

▼再生リストの例

おしらせ

- BD-RE Ver.1.0（カートリッジ入り）は、本機で再生できません。また、本機に挿入することもできません。
- 他の BD レコーダーで録画した BD-RE は、再生できない場合があります。
- 他の BD レコーダーで H.264 長時間録画された BD ディスクは、本機では再生できない場合があります。
- AVCHD（ハイビジョン動画記録）方式のビデオカメラで DVD に記録した映像を本機で再生することができます。
- 再生リストに表示されるタイトル名は、最大で 40 文字です。他機で録画したディスクなどで本機で表示できない記号や文字があったときは「＊」表示となります。
- デジタル放送を録画画質「5 倍」「7 倍」で録画した番組は、連動データ放送が記録されていません。
- 他機で使用制限をかけた BD をセットすると、右のような画面になります。1 ～ 10 の数字ボタンで暗証番号を入力してください。

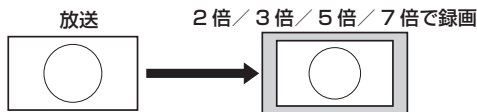
AQUOS

ディスクに使用制限がかかっています。
暗証番号を入力してください。

ー ー ー ー

- 暗証番号を 3 回まちがえると、ディスクが排出されます。ディスクを挿入してから、正しい暗証番号を入力してください。
- 再生リストに表示される映像は、イメージです。そのため、再生リストに表示される映像は、動きが一定に進まない場合があります。

再生時の映像について

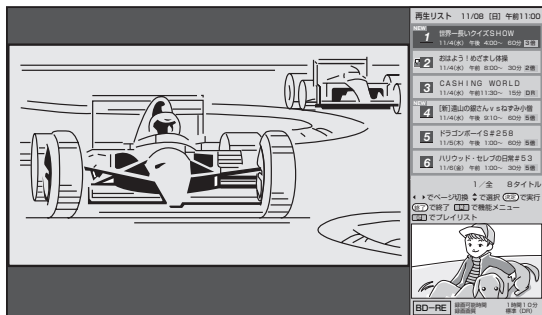
- 2倍／3倍／5倍／7倍で録画した番組を再生したときは、再生映像が放送視聴時と違って見える場合があります。

このような場合はリモコンふた内の画面サイズボタンを押し、画面サイズを調整してください。

再生リストからディスクを再生する

1

再生する BD-RE、BD-R、DVD-RW、DVD-R ディスクを挿入する（▶ **131** ページ）

（▶ **131** ページ）

- 視聴中の放送が縮小表示され、右端に再生リストが表示されます。

再生リストの操作のしかた

※

※再生リストに表示される録画可能時間は現在受信しているデジタル放送の録画可能時間です。

- 再生リストは、１ページに６タイトル（番組）まで表示されます。
- タイトルが７つ以上あるときは、◀▶ でページを切り換えることができます。
- デジタル放送の視聴中に再生リストを表示した場合は、右下のサムネイル（小画面）に再生リストで選択されているタイトル（番組）が動画で表示されます。
- ディスクが挿入されたまま放送や外部入力を視聴していた場合は、再生リストを押すと再生リストを表示します。
- 再生リストを消したいときは、終了を押します。

2

再生したい番組を選ぶ

で選び

を押す

- 再生が始まります。
- 途中で停止した BD-RE/BD-R/DVD-RW/DVD-R を再生したときは、前回停止した位置から再生されます。(つづき再生▶ **173** ページ)
- 再生を止めるときは ■停止 を押すと、それまで視聴していた放送または外部入力に戻ります。

おしらせ

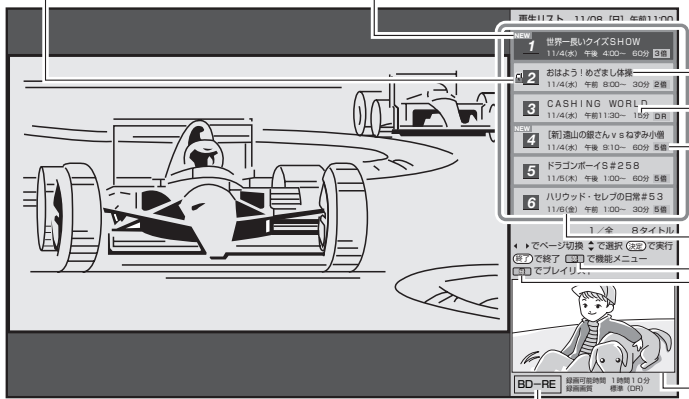
- BD レコーダー機能の録画中は、再生リストは表示されません。
- 再生リスト表示中の左画面では、データ放送は表示されません。
- 再生リスト表示中に予約が開始された場合は、再生リストが終了します。
- 再生リストに表示される全タイトル数は、BD の場合１〜 200 番組、DVD の場合１〜 99 番組です。
- 再生リストに表示されている番組は、１〜６の数字ボタンでも選ぶことができます。
- ディスクのカウンター表示については、▶ **148** ページをご覧ください。
- 再生リスト表示中の左画面に地上アナログ、外部入力が表示されているときは、右下のサムネイル（小画面）に映像は表示されません。
- 再生リスト表示中は、本体右側面のボタンでも操作することができます。（▶ **32** ページ）
- 他の BD レコーダーで録画したディスクにプレイリストがあるときは、緑ボタン（プレイリスト）を押すとプレイリスト画面に切り換えられます。
- タイトル（録画した番組）の消去・タイトルの保護も再生リストから行います。（▶ **182・183** ページ）

再生リストに表示される録画可能時間表示について

- 表示される録画可能時間は、ハイビジョン放送を録画できる時間です。

次のページに続く

保護（▶**183** ページ）したタイトルの場合、鍵マークが表示されます。

まだ視聴していない番組の場合「NEW」と表示されます。ディスクを取り出すと「NEW」の表示は消えます。

タイトル
・再生リストに表示されるタイトル名は、BD で最大 40 文字、DVD で最大 32 文字です。他機で録画したディスクなどで本機で表示できない記号や文字があったときは「＊」表示となります。

番組タイトル

番組の録画時間

録画画質※1
※1 本機以外で録画したディスクの場合、録画画質は表示されない場合があります。

録画した日時

黄ボタンで機能メニュー（消去・保護／解除）と再生の操作を切り換えます。

プレイリストのあるディスクを挿入したとき「オリジナル」と「プレイリスト」を切り換えます。

上のリストで選ばれている番組が、サムネイル（小画面）で再生されます。

ディスクの種類を表示します。

写真が記録された DVD-RW や CD-R/RW を再生する

1 写真が記録された DVD-RW や CD-R/RW を挿入する

2 グループ化された写真一覧を見る

再生リスト を押す

グループには マークが付いています。

・ 記録された情報量によっては、操作可能になるまで多少時間（数十秒）がかかります。

3 グループ内の写真を見る

で選び

決定 を押す

・ １画面最大 72 枚表示できます。

4 選んだ 1 枚の写真を拡大表示する

で選び

決定 を押す

5 画面表示された写真をスライドショーで見る

で選び

▶再生 を押す

・ グループ一覧画面や写真一覧画面で選んだ写真からスライドショー再生が始まります。
・ 一時停止するときは ⏸一時停止 を押します。
・ ▶再生 を押すと一時停止が解除されます。
・ ■停止 を押すと写真再生が停止し、放送視聴画面に戻ります。

スライドショーの表示間隔、リピートを設定する

1 写真一覧画面を表示中に 緑（写真再生設定）を押す

2 「スライドショー速度」を選んで 決定 を押す

→ 速め ←→ 普通 ←→ 遅め ←→ ゆっくり ←

を ◎ で選んで 決定 を押す

3 「リピート再生設定」を選んで 決定 を押す

4 「する」「しない」を選んで 決定 を押す

5 戻る を押し、設定を終了する

ファイナライズされた DVD ディスクを再生する

● ファイナライズされたディスクであれば他機で録画した DVD ディスクも再生できます。
（ファイナライズされていない DVD ディスクは本機で再生できません。）

1 ディスクを挿入する（▶ 131 ページ）

・挿入すると「ディスク読み込み中」と表示されます。

2 停止中（読み込み終了後）に、再生リストを表示させせる

再生リスト を押す

3 タイトルを選ぶ

・再生が始まります。

で選び

を押す

おしらせ

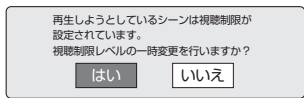
・DVD-R DL（2 層）ディスクは、再生できない場合があります。
・デジタル放送を録画した DVD ディスクを再生したとき、つぎの操作はできません。
　・番組情報は表示できません。
　・連動データは表示できません。
　・字幕は表示できません。
・ファイナライズとは、録画したディスクを他機でも再生できるようにする操作です。（本機にはファイナライズを行う機能はありません。録画した機器でファイナライズを行ってください。）
・ファイナライズされたディスクは、タイトルメニューなどの画面がそれぞれ異なりますが、再生できます。

市販の BD ビデオや DVD ビデオを再生する

● 映画などを収録した市販の BD ビデオや DVD ビデオディスクを再生します。

1 ディスクを挿入する(▶131ページ)

- 挿入すると「ディスク読み込み中」と表示されます。読み込み後、自動的に再生が始まるディスクもあります。
- 挿入すると自動的にメニュー画面が表示されるディスクもあります。画面の指示にしたがって操作してください。

- DVD ビデオの場合、再生できるディスクでも、シーンによっては視聴制限がかけられている場合があります。

「はい」を選んだとき

暗証番号を入力すると、視聴制限のかかったシーンを再生できます。暗証番号を 3 回まちがえると再生できません。(まちがえたときは、視聴制限のかかったシーンを飛ばして再生する、再生を停止する、ディスクが排出される、などディスクによって動作が異なります。)

「いいえ」を選んだとき

視聴制限のかかったシーンを再生しません。(視聴制限のかかったシーンを飛ばして再生する、再生を停止する、ディスクが排出される、などディスクによって動作が異なります。)

- BD ビデオの場合も視聴制限のため再生できない場合があります。そのようなときは、再生を止めてから BD の視聴制限の設定を変更してください。
- BD 視聴制限年齢については▶ **177** ページ
- 再生を止めるときは ■停止 を押します。
- つづき再生については▶ **173** ページ

おしらせ

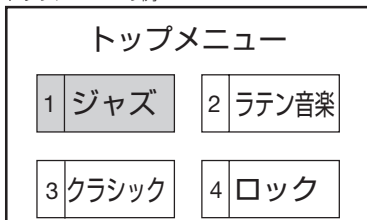
- 市販の BD ビデオや DVD ビデオディスクには、自動的に再生が始まるものや、「トップメニュー」や「ディスクメニュー」が記録されているものがあります。
  ディスクにメニューが記録されている場合は、再生したいタイトルや字幕設定を選べることがあります。
- 市販の BD ビデオや DVD ビデオを再生するときは、ディスクの取扱説明書や画面の指示に従って操作してください。
- 海外テレビ番組の DVD ビデオなどで、吹き替えの音源がない部分がオリジナル音源（外国語）になり日本語と交互に切り換わる場合があります。
- 市販の BD ビデオの再生中、ディスクによっては自動で一時停止になるものもあります。このようなディスクを再生し、自動で一時停止になったときは一時停止ボタンを押して一時停止を解除できます。
- ディスクによってはトップメニューを「タイトル」と呼んでいるものもあります。この場合も「トップメニューを表示させるには」(▶ **161** ページ) と同じ操作で表示できます。

トップメニューを表示させるには

（トップメニューがある場合）

トップメニュー 再生リスト を押す

再生中にトップメニューを表示する

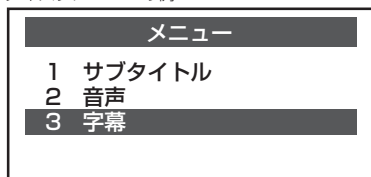
トップメニューの例

- 画面の指示にしたがって操作してください。

ディスクメニューを表示させるには

（ディスクメニューがある場合）

(ポップアップ)メニュー BD状態 を押す

再生中にディスクメニューを表示する

ディスクメニューの例

- 画面の指示にしたがって字幕や音声を選ぶなどの操作をしてください。

おしらせ

- BD ビデオ再生時の操作で、動作が遅くなったり正常に再生しなくなることがあります。
  このようなときは、ホームメニューから「設定」－「（視聴準備）」－「個人情報初期化」－「BD ビデオ初期化」で、BD ビデオの初期化を行います。

設定項目	設定内容
する	本機に記録された BD ビデオ用データをすべて消去し、初期状態にします。
しない	BD ビデオ用データを初期化せず残します。

- 「BD ビデオ初期化」を実行すると、BD ビデオで個別に設定したブックマークや、ゲームのスコアなどが消去されます。

ポップアップメニューを表示させるには

- BD ビデオには、再生を止めることなくいろいろな操作ができる「ポップアップメニュー」があります。

1 再生中にポップアップメニューを表示する

(ポップアップ)メニュー BD状態 を押す

ポップアップメニューの例

- ディスクによって表示される内容が異なります。ポップアップメニューの見かたや操作のしかたについては、ディスクに付属の取扱説明書をご覧ください。

2 項目を選ぶ

で選び 決定 を押す

3 操作が終わったら、ポップアップメニューを消す

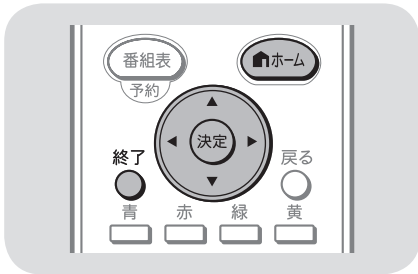
(ポップアップ)メニュー BD状態 を押す

- ポップアップメニューが自動的に消えるディスクもあります。

BONUS VIEW™、BD-LIVE対応のBDビデオを見る

● BDビデオにはBONUS VIEW™(ボーナスビュー)やBD-LIVE(BDライブ)という新しい再生機能に対応したものがあります。

BONUS VIEW™(ボーナスビュー):2画面に対応した副映像、副音声や、字幕が同時に楽しめます。本編再生中の画面に小画面で表示されます。

BD-LIVE(BDライブ):本機をインターネットに接続して特典映像などのさまざまな情報をダウンロードすることができます。

BONUS VIEW™ 対応の BD ビデオを楽しむ

1 BD ビデオをセットする

- BD ビデオをセットすると、自動的に再生が始まります。
- 自動的に再生が始まらないときは、手動で再生を開始します。

2 ディスクの取扱説明書に従い、BONUS VIEW(ボーナスビュー)の操作をする

画面は一例です

主映像／音声　副映像／音声

- ディスクによっては、副映像／音声が自動的に再生されます。また、再生可能な領域が制限されることがあります。
- 再生方法はディスクによって異なります。
- 詳しい使い方については、ディスクの説明書をご覧ください。

おしらせ

BD-LIVE（BD ライブ）を楽しむためのソフトを更新できます。

- BD-LIVE(BDライブ)機能は、専用のソフトを使用しています。BD-LIVE(BDライブ)に接続すると、ソフトを最新のものに更新できます。
- BD-LIVE(BDライブ)で楽しむために、ブロードバンドサービスに接続してお使いになることをおすすめします。
- BD-LIVE(BDライブ)で映像などの情報を保存中は、再生の操作が制限されることがあります。ダウンロードしたBD-LIVEの情報は、テレビ動作中にACコンセントを抜いたり、停電した場合、電源スイッチ長押しによるリセットをおこなうと失われます。そのときはBD-LIVEデータをダウンロードし直してください。
- BD-LIVE(BDライブ)は、自動的にインターネットに接続し、楽しむ機能です。BD-LIVE(BDライブ)対応のディスクが、本機やディスクの識別信号(ID)をインターネット経由でコンテンツプロバイダに送信することがあります。
- 本機は、自動的にインターネットに接続しないように設定することができます。設定のしかたについては、**235**ページをご覧ください。

ダウンロードしたデータを削除するときは

- BD-LIVE(BDライブ)でダウンロードされた情報などは、本機のメモリに保存されます。メモリの容量が足りないときは、データが保存されず画面にメッセージが表示されます。不要なデータを削除してください。
- 次の方法で消去してください。
  ホームメニューから「設定」－「(視聴準備)」－「個人情報初期化」－「BD ビデオ初期化」－「する」を選び、決定ボタンを押す。

BD-LIVE 専用の LAN の接続設定をする

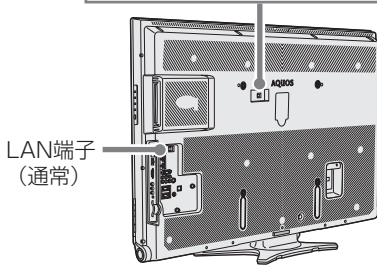
● BD-LIVE対応のBDビデオには、インターネット経由（LAN 経由）で追加できる映像や字幕、通信対応のゲームなどがあり、そのために LAN 端子との接続、および LAN 設定が必要となります。

重 要

- BD-LIVE 対応の BD ビデオを楽しむには、ブロードバンド環境が必要です。ご家庭のブロードバンド環境の確認等については、**236** ページ「ブロードバンド環境への接続と設定（インターネットの準備）」をご覧ください。
- 本機には BD-LIVE 専用の LAN 端子と通常の LAN 端子があります。BD-LIVE 対応の BD ビデオを見るときは、必ず BD-LIVE 専用の LAN 端子にも接続してください。

重要

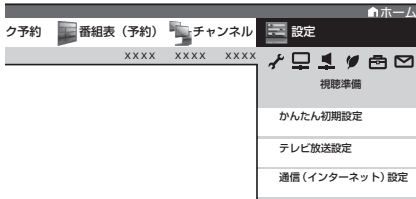
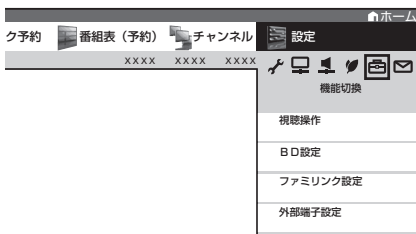
- 設定した BD-LIVE 用 LAN 設定で BD-LIVE 機能が利用できないときは、BE-LIVE 用 LAN 設定を再度確認してください。

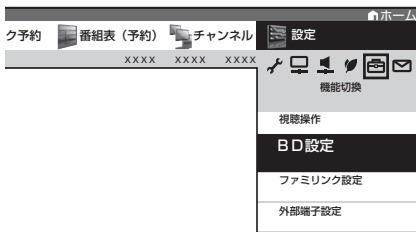
1 市販の LAN ケーブルで、本体裏面の BD-LIVE 専用 LAN 端子とブロードバンドルーターをつなぐ

- 詳しい接続のしかたについては、**241** ページ「ブロードバンドルーターと本機を接続する」をご覧ください。

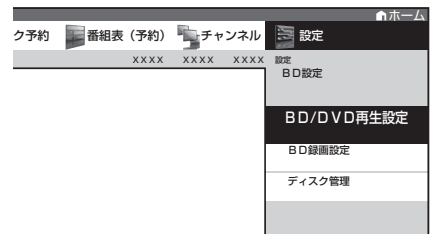
2 ホームメニューから「設定」を選ぶ

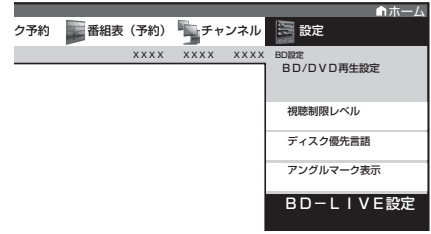
を押し
で選ぶ

3 （機能切換）を選ぶ

で選ぶ

4 「BD 設定」を選ぶ

で選び
を押す

5 「BD/DVD 再生設定」を選ぶ

で選び
決定
を押す

6 「BD-LIVE 設定」を選ぶ

で選び
決定
を押す

7 「BD-LIVE 用 LAN 設定」または「BD-LIVE 用プロキシサーバー設定」を選ぶ

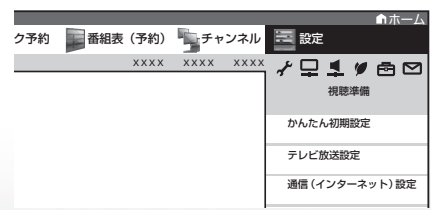
で選び
を押す

8 LAN 端子（通常）と同じ手順で各項目を設定する

- BD-LIVE 用 LAN 設定は、**245** ページ手順 **5** の②～ **246** ページ手順 **9** をご覧ください。
- BD-LIVE 用プロキシサーバー設定は、**244** ページ手順 **6** ～手順 **10** をご覧ください。

BD-LIVE の設定をする

● BD-LIVE 対応の BD ビデオを楽しむには、「BD-LIVE 設定」の「接続制限」を「許可する」または「制限付き許可」に設定しておく必要があります。「禁止する」に設定されている場合は使用できません。

1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

を押し
で選ぶ

次のページに続く

2 (機能切換)を選ぶ

で選ぶ

3 「BD 設定」を選ぶ

で選び
決定
を押す

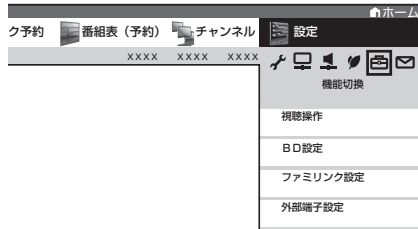
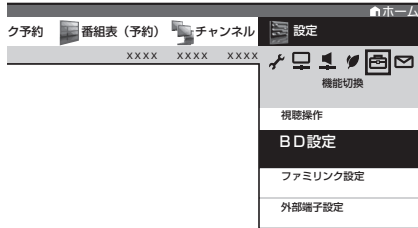
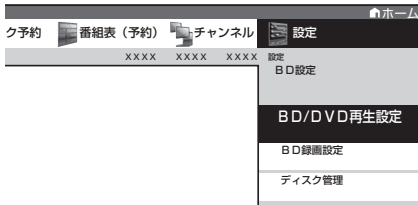
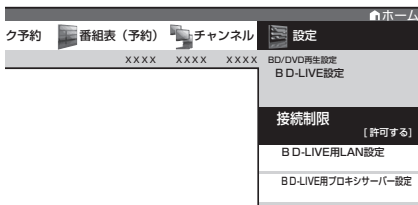
4 「BD/DVD 再生設定」を選ぶ

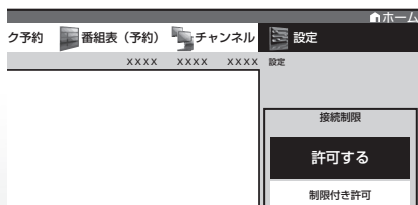
で選び
決定
を押す

5 「BD-LIVE 設定」を選ぶ

で選び
決定
を押す

6 「接続制限」を選ぶ

で選び
決定
を押す

7 「許可する」「制限付き許可」「禁止する」のいずれかを選ぶ

で選び
決定
を押す

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

BD-LIVE 対応の BD ビデオを楽しむ

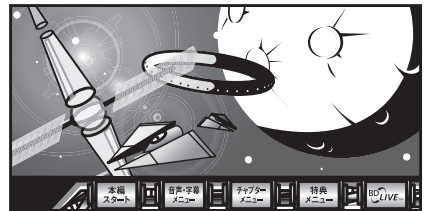
1 ネットワークの準備をする

(229 ページ)

2 BD ビデオをセットする

- BD ビデオをセットすると、自動的に再生が始まります。
- 自動的に再生が始まらないときは、手動で再生を開始します。

3 ディスクの取扱説明書に従い、BD-LIVE(BD ライブ)の操作をする

画面は一例です

- データが保存されるまで一定の時間がかかります。(データが保存されるまでの時間は、インターネット接続速度や番組のデータ量により、変わります。)

おしらせ

BD-LIVE(BD ライブ)を楽しむためのソフトを更新できます。

- BD-LIVE(BDライブ)機能は、専用のソフトを使用しています。BD-LIVE(BDライブ)に接続すると、ソフトを最新のものに更新できます。
- BD-LIVE(BDライブ)で楽しむために、ブロードバンドサービスに接続してお使いになることをおすすめします。
- BD-LIVE(BDライブ)で映像などの情報を保存中は、再生の操作が制限されることがあります。
- BD-LIVE(BDライブ)は、自動的にインターネットに接続し、楽しむ機能です。BD-LIVE(BDライブ)対応のディスクが、本機やディスクの識別信号(ID)をインターネット経由でコンテンツプロバイダに送信することがあります。
- 本機は、自動的にインターネットに接続しないように設定することができます。設定のしかたについては、**235**ページをご覧ください。

ダウンロードしたデータを削除するときは

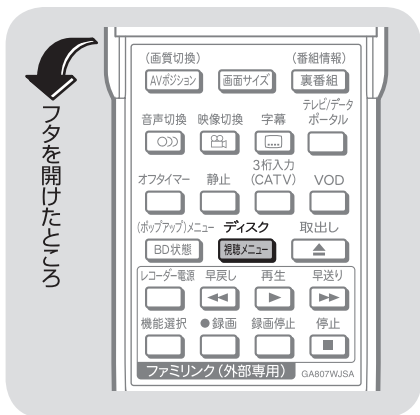
- BD-LIVE(BDライブ)でダウンロードされた情報などは、本機のメモリに保存されます。メモリの容量が足りないときは、データが保存されず画面にメッセージが表示されます。不要なデータを削除してください。
- 次の方法で消去してください。
  ホームメニューから「設定」－「 (視聴準備)」－「個人情報初期化」－「BDビデオ初期化」－「する」を選び、決定ボタンを押す。

音楽用CD を再生する

● 市販の音楽用 CD を再生できます。

再生する

1 再生するCDを挿入する（▶131 ページ）

- 再生リストに切り換わり、再生が始まります。
- 再生リストは、１ページに６タイトル（曲）まで表示されます。
- タイトルが７つ以上あるときは、 でページを切り換えることができます。
- ディスクが挿入されたまま放送や外部入力を視聴していた場合は、［再生］を押すと再生リストを表示します。
- 再生を止めるときは［■停止］を押すと、それまで視聴していた放送または外部入力に戻ります。

曲を選んで再生させるには

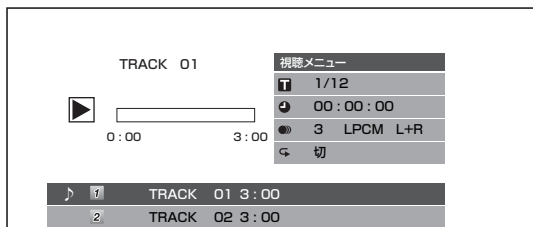
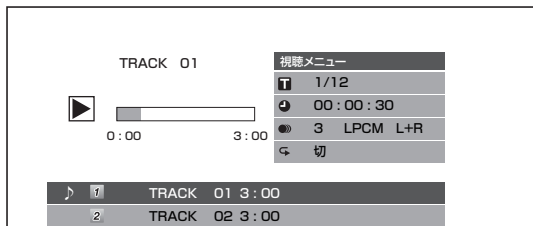
1 CD を挿入して再生リストを表示させる

を押す

・再生が始まります。

2 曲番号を選ぶ

で選び

を押す

・選んだ曲が再生されます。

再生リストが表示されないときは

- 再生リストボタンを押すと再生リストが表示されます。
- 再生ボタンを押して直接再生することもできます。
- ［黄］または［ディスク 視聴メニュー］を押すと視聴メニューに切り換わります。カーソルボタンで曲を選び、決定ボタンを押して再生できます。

再生中に使えるボタン（再生時の便利な機能）

● ディスクの再生中に使えるいろいろな機能です。

おしらせ

- ディスクによって操作が異なったり、操作が禁止されている場合があります。ディスクの取扱説明書もご覧ください。

以下のときは、「故障かな？と思ったら」（▶ 303 ページ）をご覧ください。

- 早送り／早戻しがうまくいかないとき
- 一時停止／コマ送り再生がうまくいかないとき
- スロー再生がうまくいかないとき

デジタル放送を録画したディスクを再生する場合は

- DVD ディスクの場合、データ放送や字幕は再生できません。

早送り／早戻しについて

- 早送り／早戻し中は、字幕は再生されません。
- 早送り／早戻し中は、画面にカウンタが表示されます。サーチを解除するとカウンタ表示は消えます。

BD−RE

早送り

- ディスクや再生しているシーンによっては、早送りをしたとき、本書に記載のスピードにならない場合があります。
- 次ボタンで次のタイトルを頭出ししたときや早送りボタンなどで最後まで再生したときは、最後のシーンが数秒間一時停止状態になった後、次のタイトルを再生します。
  上記の数秒間の一時停止状態のときに、早戻しボタンを押すと、そのシーンから早戻し再生が行えます。

タイトル（録画した番組）／チャプター（章）の頭出しをするには（スキップ）

● 1枚のディスクに複数の番組を録画した場合など、リモコンの [前] または [次] ボタンを押し、番組の頭出し（スキップ）が行える便利な機能です。

[次] または [前] を押す

再生中に頭出しをする はじめに戻す

- [次] を押すと、次のタイトル／チャプター（トラック）を頭出しします。
- [前] を押すと、いま見ているタイトル／チャプター（トラック）の先頭に戻ります。2 回続けて押すと、前のタイトル／チャプター（トラック）の先頭に戻ります。
- タイトルを頭出ししたときは、録画した番組の古い順から頭出しされます。

早送り／早戻しするには（サーチ）

● 再生中の映像を早送り／早戻しできます。

または

を押す

再生中に早送りまたは早戻しをする

- 押すたびにサーチの速さが変わります。

BDを再生しているとき

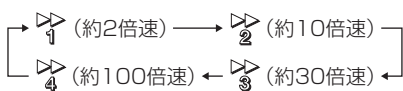
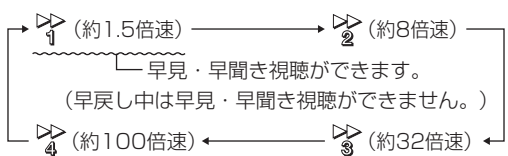
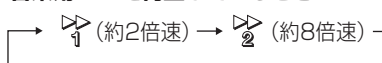
1（約2倍速）→ 2（約10倍速）→ 3（約30倍速）→ 4（約100倍速）→ 1 …

DVDを再生しているとき

1（約1.5倍速）→ 2（約8倍速）→ 3（約32倍速）→ 4（約100倍速）→ 1 …

1（約1.5倍速）：早見・早聞き視聴ができます。
（早戻し中は早見・早聞き視聴ができません。）

音楽用 CD を再生しているとき

1（約2倍速）→ 2（約8倍速）→ 1 …

- サーチを解除するときは、サーチ中に [再生] を押します。サーチが解除され、再生画面に戻ります。
- タイトル（録画した番組）をまたぐ早送り／早戻しはできません。

30 秒送り／ 10 秒戻しについて

- 30 秒送り／ 10 秒戻しを行うと、リピート再生（▶ **172** ページ）は解除されます。

少し先に飛ぶには（30 秒送り）

- 約 30 秒先に送ることができます。連続して押すと、さらに先へ送ることができます。
- コマーシャルを飛ばして見たいときなどに便利です。
- 連続押しは 6 回までできます。

を押す

再生中に少し先に飛ぶ

- 1 回押すと、約 30 秒先にジャンプします。
- 2回押すと、約1分先にジャンプします。
- 3回押すと、約1分30秒先にジャンプします。
- 4回押すと、約2分先にジャンプします。
- 5回押すと、約2分30秒先にジャンプします。
- 6回押すと、約3分先にジャンプします。

少し前に戻すには（10 秒戻し）

- 約 10 秒前に戻すことができます。ちょっと見のがしたところを見直すときなどに便利です。
- 連続押しは 6 回までできます。

を押す

再生中に少し前に戻す

- 1 回押すと、約 10 秒前に戻って再生します。
- 2回押すと、約 20 秒前に戻って再生します。
- 3回押すと、約 30 秒前に戻って再生します。
- 4回押すと、約 40 秒前に戻って再生します。
- 5回押すと、約 50 秒前に戻って再生します。
- 6回押すと、約 1 分前に戻って再生します。

次のページに続く

一時停止するには

● 再生中の映像を一時停止できます。

一時停止 を押す

再生中に一時停止する

- 一時停止します。
- 一時停止を解除するときは、再生 を押します。一時停止が解除され、再生画面に戻ります。
- 一時停止 を押しても一時停止を解除できます。

コマ送りするには（コマ送り／コマ戻し再生）

● コマ送り再生ができます。

次 または 前 を押して離す

一時停止中に押して離す

- 次 を押して離すと、コマ送りします。
- 前 を押して離すと、コマ戻しします。
- コマ送り／コマ戻し再生を解除するときは、再生 を押します。コマ送り／コマ戻し再生が解除され、再生画面に戻ります。
- DVD ディスクを再生する場合、VR フォーマットの DVD-RW/-R 以外のディスクでは、映像がずれることがあります。

スローモーションで見るには（スロー／逆スロー再生）

● スローモーション再生ができます。

次 または 前 を 2 秒以上押す

一時停止中に 2 秒以上押し続ける

- BD のタイトルは、約 1/16 倍速のスロー／逆スロー再生になります。
- DVD のタイトルは約 1/8 倍速のスロー／逆スロー再生となります。
- スロー再生は、タイトルの最後になると解除されます。
  逆スロー再生は、タイトルの先頭になると解除されます。
- スロー／逆スロー再生を解除するときは、再生 を押します。スロー／逆スロー再生が解除され、再生画面に戻ります。
- タイトルをまたぐスロー／逆スロー再生はできません。

一時停止／コマ送り再生について

- VR フォーマットの DVD-RW/-R 以外のディスクでコマ送り動作をしたときは映像がずれることがあります。
  ※ BD ビデオや DVD ビデオでは、ディスクによって一時停止／コマ送りの操作が禁止されているものもあります。
- BD ビデオの場合、コマ戻し再生はできません。

音楽用 CD の再生では、次の操作ができません。

- スロー再生・コマ送り

スロー再生について

- BD ビデオの場合、逆スロー再生はできません。

再生中に連動データ放送を見る／再生中に字幕や音声を切り換える

● 再生中に連動データ放送や、音声・字幕・映像の切り換えができます。

おしらせ

各機能の切り換えについて

- 字幕、アングル、音声は、ディスクによっては、ディスクメニューを使って選ぶ場合があります。ディスクの取扱説明書もご覧ください。
- 字幕、アングル、音声は、視聴メニューからも選べます。（▶ **171** ページ）

音声切換について

- 音声切換には、10 秒以上時間のかかる場合があります。
- 次のような場合は、二ヶ国語放送など二重音声の番組でも、音声切換ができません。
  - ビデオフォーマットの DVD-RW/-R ディスク
  - PCM 音声を記録した DVD-RW/-R ディスク
- DVD カラオケディスク（マルチカラオケ音声）は音声切換ができません。

再生中に連動データ放送を見るには

データ連動 ⓓ を押す

連動データ放送を含む番組の再生中に、記録されている連動データ放送の画面を表示する

- 連動データ放送画面の基本操作については、▶ **105** ページをご覧ください。

おしらせ

連動データ放送の録画について

※再生中の連動データ放送は、一部利用できない機能があります。

- 録画画質が「5 倍」「7 倍」の場合、連動データ放送は録画されていません。

音声を切り換えるには

音声切換 を押す

主・副音声のあるタイトルの再生中に、音声を切り換える

- 押すたびに音声が切り換わります。

音声表示の例▼

BD-RE

地上D

00:00:07/00:00:28

音声　1　AAC ステレオ

映像　1

字幕　日本語　入

>> お知らせがあります

押すたびに次のように切り換わります。

二ヶ国語（二重音声）放送が録画されている場合：

- 「主」、「副」、または「主　副」表示となります。

「ステレオ放送」「モノラル放送」を録画した場合：

- 「ステレオ」表示となります。（音声切換はできません。）

BD ビデオ／ DVD ビデオ：

- 現在再生されている音声番号が表示されます。

- 音声の表示は、約 3 秒後に消えます。

次のページに続く

字幕を切り換えるには

字幕
を押す

字幕のあるタイトルの再生中に、字幕を切り換える

• 押すたびに字幕が切り換わります。

字幕表示の例▼

映像やアングルを切り換えるには

映像切換
を押す

複数の映像やアングルのあるタイトルの再生中に、映像を切り換える

• 押すたびに映像が切り換わります。

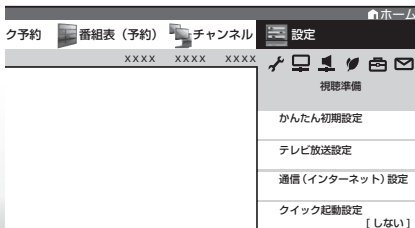
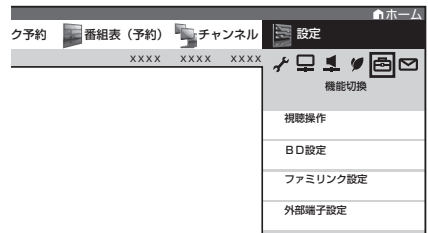
映像表示の例▼

アングルマーク

• 表示したアングルマークは、終了を押すと消えます。

アングルマークを表示したいときの設定

複数のアングルが記録されているシーンで画面右下にアングルマークを表示させるように設定することができます。

1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

ホーム を押し
で選ぶ

2 （機能切換）を選ぶ

で選ぶ

3 「BD 設定」を選ぶ

で選び
決定
を押す

4 「BD/DVD 再生設定」を選ぶ

で選び
決定
を押す

5 「アングルマーク表示」を選ぶ

で選ぶ

6 「する」または「しない」を選ぶ

で選び
を押す

再生中に設定をする（視聴メニュー）

● 再生しながら、再生情報を確認したり、タイトル（録画した番組）の頭出し、リピート再生が行えます。

・ BD ビデオや DVD ビデオの再生中に視聴メニュー画面を表示すると、BD ビデオや DVD ビデオ側の操作ができない場合があります。このような場合は視聴メニュー画面を消してください。
・ アングルや字幕などの表示が「－－」と表示される場合は、そのディスクに選択できるアングルや字幕が記録されていません。

1 再生中に視聴メニューを表示する

ディスク 視聴メニュー を押す

2 設定項目を選ぶ

で選び 決定 を押す

① 再生状態表示
動作状態やディスクの種類

② 設定項目（▶ 172 ページ）

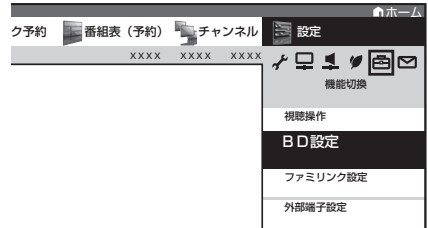
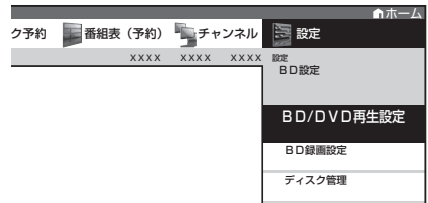
③ 操作ガイド表示

3 設定する（▶ 172 ページ）

や
で選び
を押す

4 設定を終了する

戻る または ディスク 視聴メニュー を押す

次のページに続く

画面表示と各設定項目について

- 再生しているディスクによって選択できる項目は異なります。

1 T タイトル（トラック）選択

- 再生中のタイトル番号（CD の再生中はトラック番号）が表示されます。番号を選択してタイトル（トラック）の頭出しができます。

2 C チャプター再生表示

- 再生中のチャプター番号が表示されます。番号を選択してチャプターの頭出しができます。
- 音楽用 CD はチャプターがありません。

3 再生経過時間表示

- ディスクのはじめから現在までの経過時間が表示されます。時間を指定して頭出しができます。
- BD ビデオの場合、ディスクによっては再生経過時間を表示できないものもあります。

4 字幕言語再生表示

- 現在選ばれている字幕の種類が表示されます。他の言語でも字幕が収録されている場合は、お好みの言語に切り換えられます。

5 アングル番号／映像再生表示

- 現在選ばれているアングルの番号が表示されます。
- 「アングルマーク表示」（▶ **170** ページ）設定により、複数のアングルが記録されているシーンで画面右下にアングルマークを表示させるように設定することができます。

6 再生（視聴）音声表示

- 現在選ばれている音声の種類が表示されます。

7 リピート再生

- 再生中のタイトル（チャプター）をくり返し再生したり、部分的にくり返し再生することができます。（▶**右記**）

タイトル（録画した番組）またはチャプターをくり返し再生する（リピート再生）

- 視聴メニューで、選んだタイトル（録画した番組）やチャプター（章）をくり返し再生できます。

1 くり返したいタイトル（トラック）またはチャプターを選んで再生する

を押す

2 ①再生中に視聴メニューを表示する

を押す

で選び

決定を押す

BDビデオ
再生
1／10
5／20
00:20:30
2 日本語
1
1 DD D5.1ch
切

②「⟲」を選ぶ

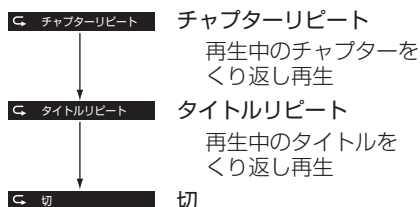
3 「チャプターリピート」または「タイトルリピート」を選ぶ

で選び

決定を押す

チャプターリピート
再生中のチャプターをくり返し再生

タイトルリピート
再生中のタイトルをくり返し再生

切

- リピート再生を開始します。
- 音楽 CD の場合は、「再生中のディスク」または「再生中のトラック」を選びます。
- 選択画面に戻るには戻るボタンを押します。
- リピート再生を解除するには、視聴メニュー画面で「⟲」を選び、「切」を選びます。

おしらせ

- ディスクによってはリピート再生が禁止されているものもあります。
- リピート再生状況を確認したいときは（ディスク 視聴メニュー）を押してください。
- 30 秒送り／ 10 秒戻し（▶ **167** ページ）を行うと、リピート再生は解除されます。

停止した場所からつづけて再生する／はじめから再生する

おしらせ

- 電源コードを抜いたり、ディスクを取り出したりすると、つづき再生が働かなくなります。
- その他、ディスクや再生状態によっては、つづき再生が働かないまたは正常に働かない場合があります。

BD-RE/BD-R/DVD（VR フォーマット）ディスクで、■停止を押して途中で止めた場合

◆つづきから再生するときは

1 再生する

▶再生 を押す

- つづきから再生できます。
- BD-RE などで再生リストが表示された場合は、つづき再生したいタイトルを選び、決定します。

◆はじめから再生するときは

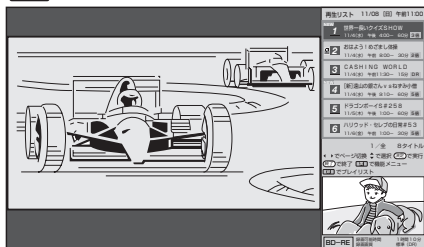
1 再生リストを表示する

再生リスト を押す

2 再生したいタイトルを選ぶ

で選ぶ

3 黄（機能メニュー）を押す。

を押す

4 「先頭から再生」を選ぶ

で選び 決定 を押す

- 選んだタイトルがはじめから再生されます。

BD ビデオ／DVD ビデオ／DVD（ビデオフォーマット）ディスクで、■停止を押して途中で止めた場合

◆つづきから再生するときは

1 再生する

▶再生 を押す

- つづきから再生できます。

◆はじめから再生するときは

1 もう一度、停止ボタンを押す

を押す

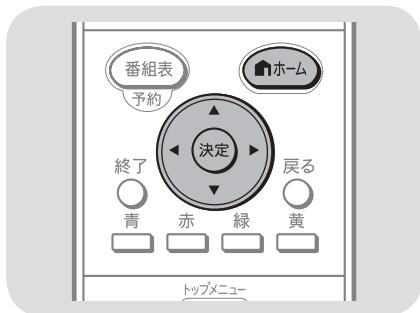
2 再生する

▶再生 を押す

- はじめから再生されます。

BD/DVD 再生時の音声を変更する

- BD/DVD の再生時の音声の設定を変更できます。

セリフが聞きづらいとき

設定項目	設定内容
標準	記録されている音声をそのまま出力します。
シフト※	ドルビーデジタル音声を再生したとき、ダイナミックレンジを調整し、セリフの部分を聞こえやすいように調整します。（音声が正常に聞こえないときは標準にしてください。）

※設定する際は、音量を下げてください。大きな音が出たり、スピーカーに過大な入力が入る場合があります。

1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

ホーム を押し
で選ぶ

2 （機能切換）を選ぶ

で選ぶ

3 「BD 設定」を選ぶ

で選び
決定 を押す

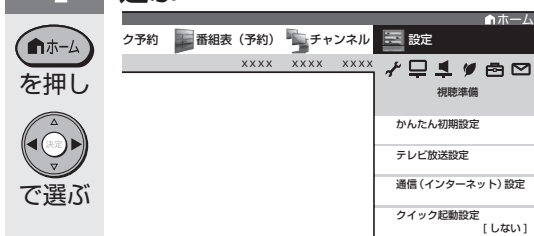
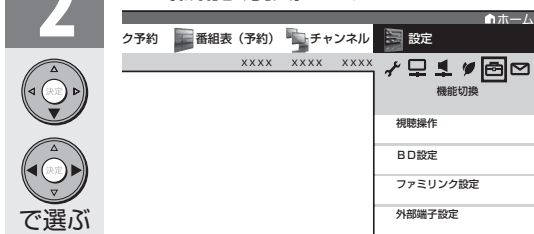
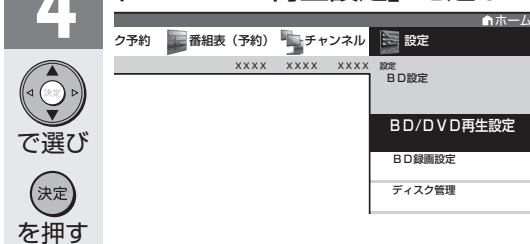
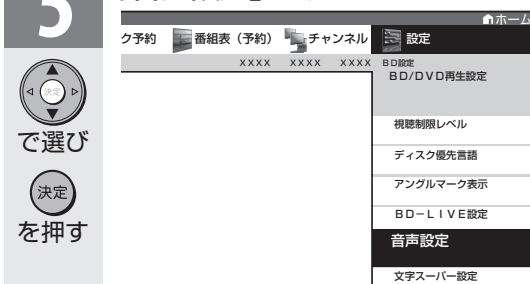
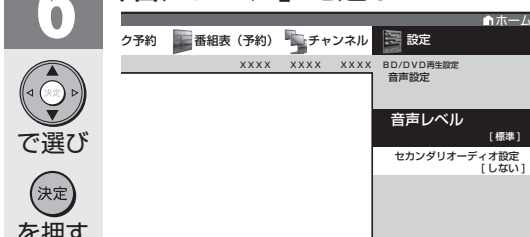
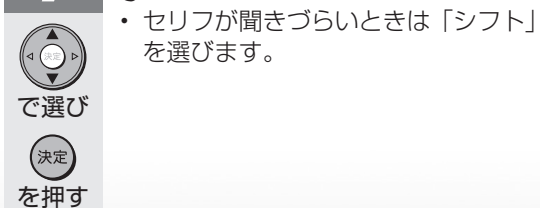
4 「BD/DVD 再生設定」を選ぶ

で選び
決定 を押す

5 「音声設定」を選ぶ

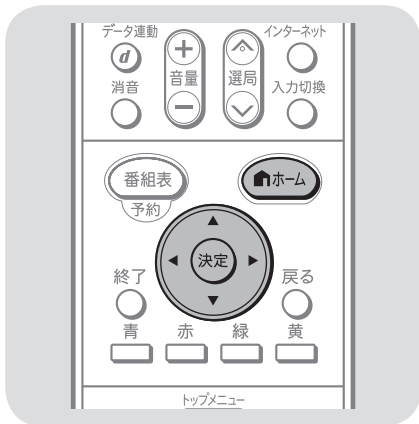
で選び
決定 を押す

6 「音声レベル」を選ぶ

で選び
決定 を押す

7 「標準」または「シフト」を選ぶ

- セリフが聞きづらいときは「シフト」を選びます。

で選び

を押す

操作音や第二音声を聞きたいとき

- BD ビデオソフト再生時、操作音（インタラクティブオーディオ）や第二音声（セカンダリオーディオ）を加えて聞くことができます。
- セカンダリオーディオの設定は、デジタル音声の信号形式がビットストリームの時のみ有効です。
- 信号形式が PCM の場合は、設定に関係なく常に操作音や第二音声を聞くことができます。

1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

を押し

で選ぶ

2 (機能切換）を選ぶ

で選ぶ

3 「BD 設定」を選ぶ

で選び

を押す

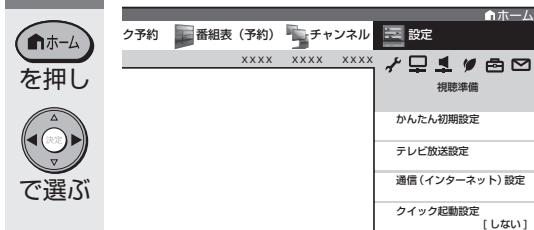
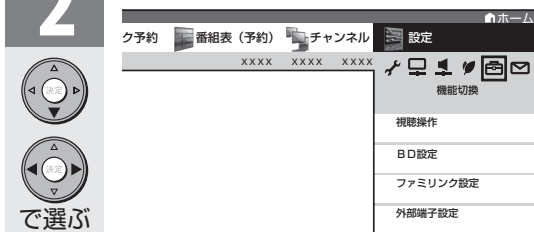
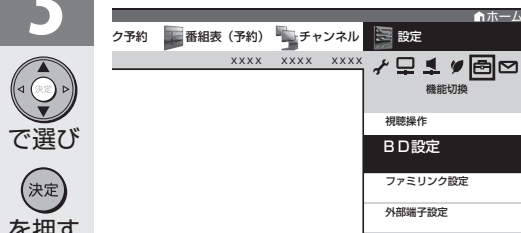
4 「BD/DVD 再生設定」を選ぶ

で選び

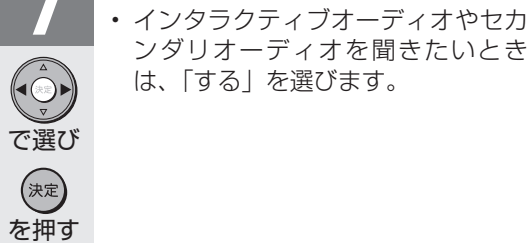
を押す

5 「音声設定」を選ぶ

で選び

を押す

6 「セカンダリオーディオ設定」を選ぶ

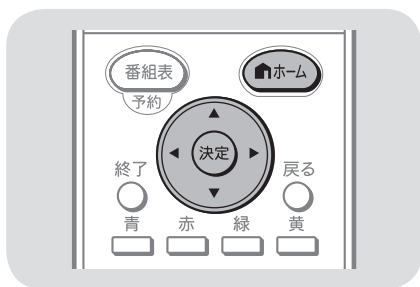
で選ぶ

7 「する」または「しない」を選ぶ

- インタラクティブオーディオやセカンダリオーディオを聞きたいときは、「する」を選びます。

で選び

を押す

災害発生時に文字情報を表示する

- デジタル放送では、災害が発生すると同時に文字情報（文字スーパー）を表示する場合があります。録画番組を再生中に、文字スーパーを表示させるかどうかを設定できます。
  ※工場出荷時は、「第一言語を表示」に設定されています。

設定項目	設定内容
第一言語を表示	デジタル放送で送られてくる第一言語※1 の文字スーパーを表示します。
第二言語を表示	デジタル放送で送られてくる第二言語※1 の文字スーパーを表示します。
表示しない	文字スーパーを表示しません。※2

※ 1 第一言語や第二言語は、放送局や番組によって指定されます。
※ 2 文字スーパーによっては、強制的に表示するものもあります。

文字スーパー設定をする

1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

を押し
で選ぶ

2 （機能切換）を選ぶ

で選ぶ

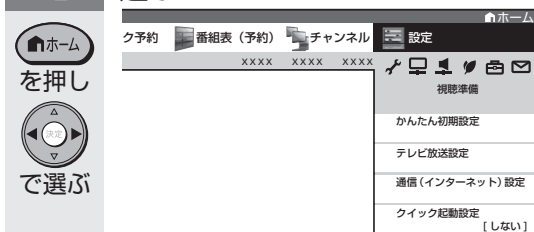
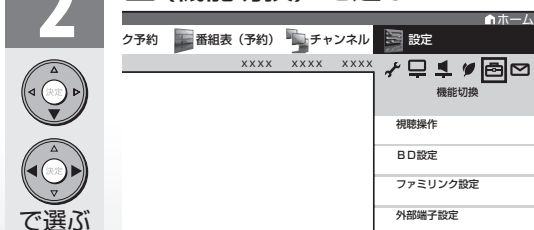
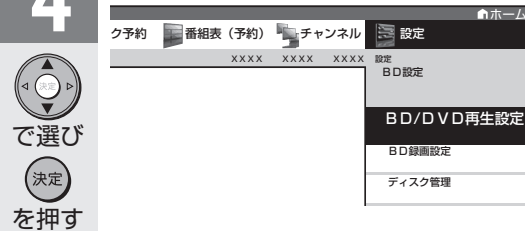
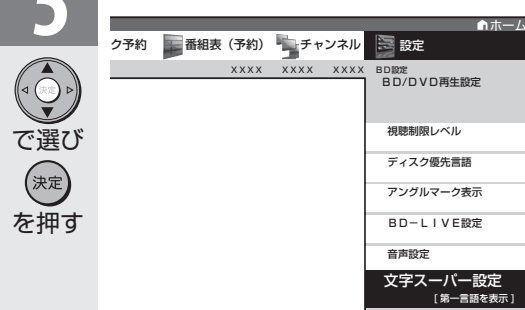
3 「BD 設定」を選ぶ

で選び
決定
を押す

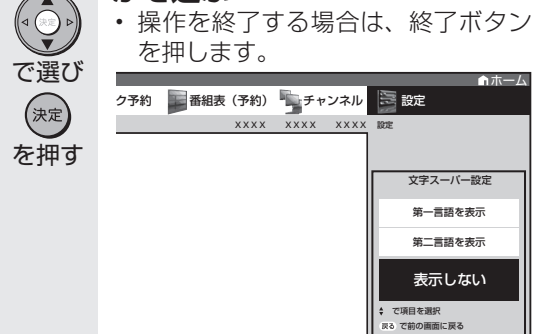
4 「BD/DVD 再生設定」を選ぶ

で選び
決定
を押す

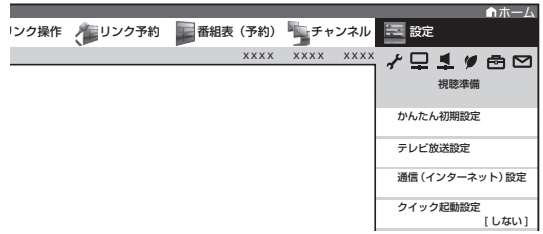
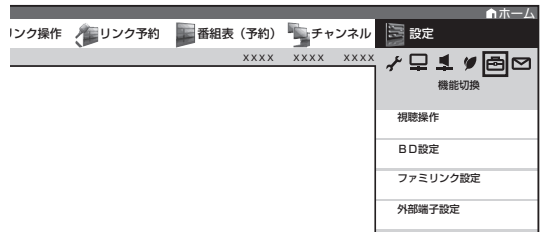
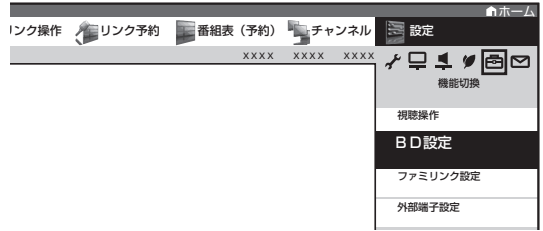
5 「文字スーパー設定」を選ぶ

で選び
決定
を押す

6 「第一言語を表示」「第二言語を表示」「表示しない」のいずれかを選ぶ

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

で選び
を押す

BD ／ DVD の視聴制限レベルを設定する

● ディスクの内容により、視聴制限を設定できます。

1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

ホーム を押し
で選ぶ

2 （機能切換）を選ぶ

で選ぶ

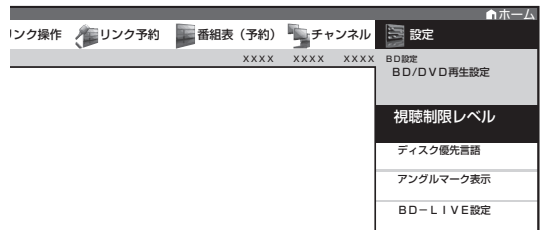
3 「BD 設定」を選ぶ

で選び
決定 を押す

4 「BD/DVD 再生設定」を選ぶ

で選び
決定 を押す

5 「視聴制限レベル」を選ぶ

で選び
決定 を押す

次のページに続く

6 暗証番号を入力する

〜
で入力

- 「暗証番号設定」（▶ **218** ページ）で設定した数字を入力します。
- 暗証番号の設定が済んでいない場合は、「暗証番号設定」（▶ **218** ページ）で暗証番号を設定してください。

7 「変更する」を選ぶ

で選び
を押す

- 工場出荷時の設定に戻したいときは、「初期化する」を選び、「する」を選びます。

8 DVD ビデオの視聴制限レベルを選ぶ

で選び
を押す

- 視聴制限を設定しない場合は「切」を選びます。

設定項目	設定内容
1	子供向けディスクを再生できます。成人指定ディスクと一般向けディスク（R 指定含む）は再生できません。
2 〜 3	一般向けディスク（R 指定を除く）と子供向けディスクを再生できます。成人指定ディスクと一般向け制限付き（R）指定ディスクは再生できません。
4 〜 7	一般向けディスク（R 指定を含む）と子供向けディスクを再生できます。成人指定ディスクは再生できません。
8	すべてのディスクを制限無しで再生できます。
切	視聴制限を「切」にします。

9 「次へ」で決定する

を押す

10 ① BD ビデオの視聴を制限する年齢を入力するか、「無制限」を選ぶ

で選び
〜
で入力

設定項目	設定内容
無制限	年齢制限をしません。
0 歳を制限 〜 99 歳以下を制限	0 歳〜 99 歳の間で年齢制限をします。

を押す

②「次へ」で決定する

11 ① BD/DVD ビデオの国コードを選ぶ

で選び
を押す

設定項目	設定内容
（国コード）	国コードを選びます。 （国コード一覧 **180** ページを参照）

を押す

②「完了」で決定する

ディスク優先言語を設定する

● ディスクを再生するときの優先言語（画面に表示するメニューや音声の言語）を選択できます。

1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

ホームを押し

で選ぶ

2 （機能切換）を選ぶ

で選ぶ

3 「BD 設定」を選ぶ

で選び

決定を押す

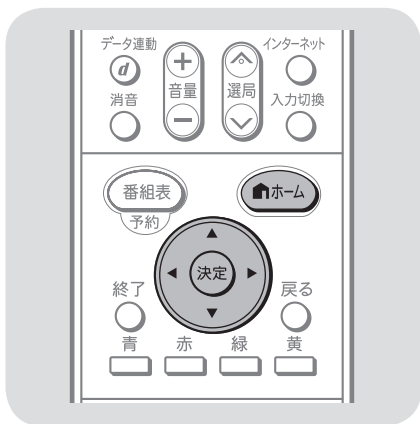
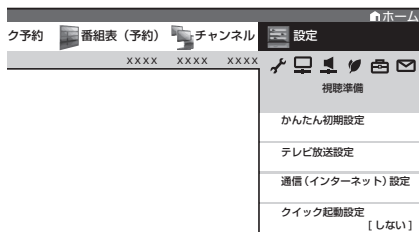
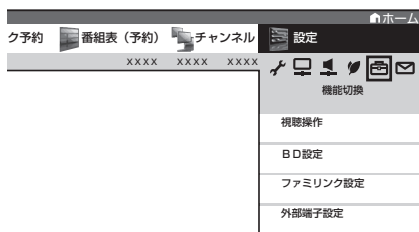
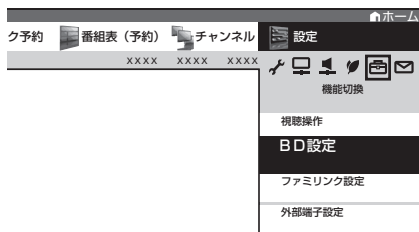
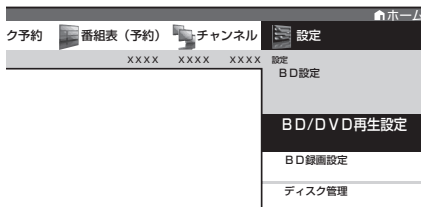
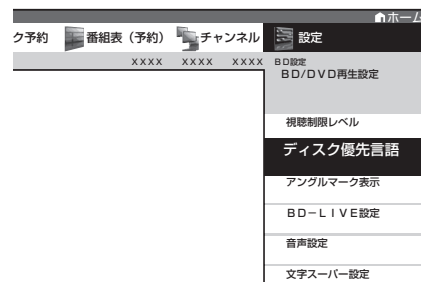
4 「BD/DVD 再生設定」を選ぶ

で選び

決定を押す

5 「ディスク優先言語」を選ぶ

で選び

決定を押す

6 「変更する」を選ぶ

- 工場出荷時の設定に戻したいときは、「初期化する」を選び、「する」を選びます。

で選び

決定を押す

7 ①字幕の言語を選ぶか、字幕の言語を言語コード（▶ 180 ページ）から選ぶ

で選び

決定を押し

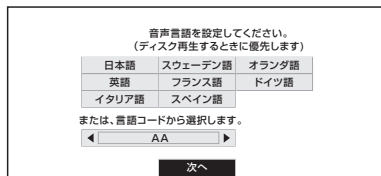
決定を押す

音声言語を設定してください。
（ディスク再生するときに優先します）

日本語	スウェーデン語	オランダ語
英語	フランス語	ドイツ語
イタリア語	スペイン語	

または、言語コードから選択します。

AA

次へ

②「次へ」で決定する

8 同様に音声言語を選んで決定する

9 同様にメニュー言語を選んで決定する

おしらせ

- 画面に表示されるメニューや音声の言語は、ディスクによって異なります。上記の設定を行っても、ディスクによっては自動的に言語が切り換わったり、字幕の表示／非表示や言語の切り換えを禁止している場合があります。また、ディスクメニューを使って選ぶ場合があります。

次のページに続く

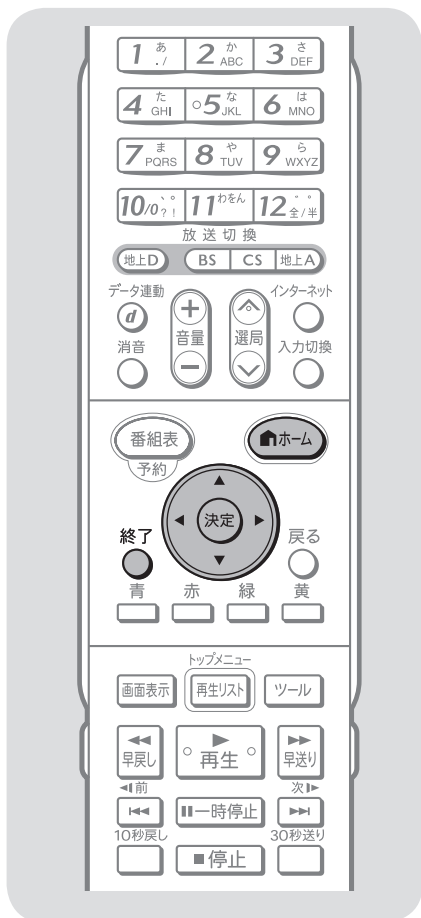
国コードの一覧表

アメリカ
カナダ
日本
ドイツ
フランス
イギリス
イタリア
スペイン
スイス
スウェーデン
オランダ
ノルウェー
デンマーク
フィンランド
ベルギー
香港
シンガポール
タイ
マレーシア
インドネシア
台湾
フィリピン
オーストラリア
ロシア
中国

言語コードの一覧表

AA アファル語
AB アブバジア語
AF アフリカーンス語
AM アムハラ語
AR アラビア語
AS アッサム語
AY アイマラ語
AZ アゼルバイジャン語
BA バジキール語
BE ベラルーシ語
BG ブルガリア語
BH ビハーリー語
BI ビスラマ語
BN ベンガル語、バングラ語
BO チベット語
BR ブルトン語
CA カタロニア語
CO コルシカ語
CS チェコ語
CY ウェールズ語
DA デンマーク語
DE ドイツ語
DZ ブータン語
EL ギリシャ語
EN 英語
EO エスペラント語
ES スペイン語
ET エストニア語
EU バスク語
FA ペルシャ語
FI フィンランド語
FJ フィジー語
FO フェロー語
FR フランス語
FY フリジア語
GA アイルランド語
GD スコットランドゲール語
GL ガルシア語
GN グアラニ語
GU グジャラート語
HA ハウサ語
HI ヒンディ語
HR クロアチア語
HU ハンガリー語
HY アルメニア語
IA 国際語
IE 国際語
IK イヌピック語
IN インドネシア語
IS アイスランド語
IT イタリア語
IW ヘブライ語
JA 日本語
JI イディッシュ語
JW ジャワ語
KA グルジア語
KK カザフ語
KL グリーンランド語
KM カンボジア語
KN カンナダ語
KO 韓国語
KS カシミール語
KU クルド語
KY キルギス語
LA ラテン語
LN リンガラ語
LO ラオス語
LT リトアニア語
LV ラトビア語、レット語
MG マダガスカル語
MI マオリ語
MK マケドニア語
ML マラヤーラム語
MN モンゴル語
MO モルダビア語
MR マラータ語
MS マレー語
MT マルタ語
MY ミャンマー語
NA ナウル語
NE ネパール語
NL オランダ語
NO ノルウエー語
OC プロバンス語
OM アファン語（オロモ語）
OR オリヤー語
PA パンジャブ語
PL ポーランド語
PS パシュトー語
PT ポルトガル語
QU ケチュア語
RM ラエティ＝ロマン語
RN キルンディ語
RO ルーマニア語
RU ロシア語
RW キニャルワンダ語
SA サンスクリット語
SD シンド語
SG サンゴ語
SH セルビアクロアチア語
SI シンハラ語
SK スロバキア語
SL スロベニア語
SM サモア語
SN ショナ語
SO ソマリ語
SQ アルバニア語
SR セルビア語
SS シスワティ語
ST セストゥ語
SU スンダ語
SV スウェーデン語
SW スワヒリ語
TA タミール語
TE テルグ語
TG タジク語
TH タイ語
TI ティグリニャ語
TK トゥルクメン語
TL タガログ語
TN セツワナ語
TO トンガ語
TR トルコ語
TS ツォンガ語
TT タタール語
TW トウィ語
UK ウクライナ語
UR ウルドゥ語
UZ ウズベク語
VI ベトナム語
VO ボラピュク語
WO ウォロフ語
XH コーサ語
YO ヨルバ語
ZH 中国語
ZU ズール語

BD ディスクの内容を消さない設定をする（BD ディスク保護）

● 間違って消さないよう、大切なタイトル（録画した番組）をディスクごとに保護できます。

1 保護したいディスクを挿入する

・ 再生リスト（▶ 157 ページ）が表示された場合は、終了で終了します。

2 ホームメニューから「設定」を選ぶ

ホーム を押し ◀▶ で選ぶ

3 （機能切換）を選ぶ

▲▼ ◀▶ で選ぶ

4 「BD 設定」を選ぶ

▲▼ で選び 決定 を押す

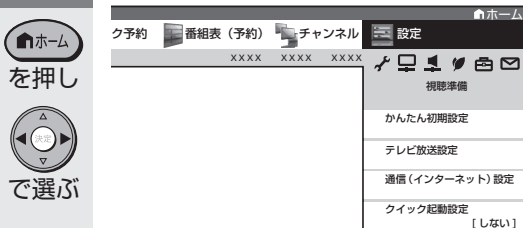
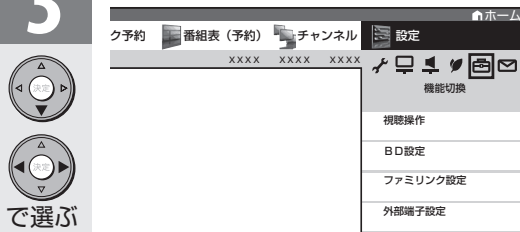
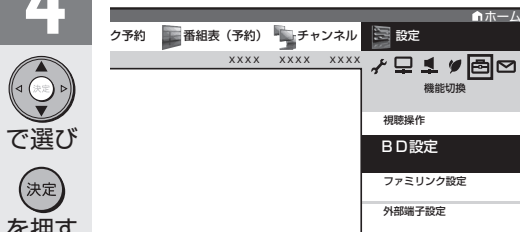
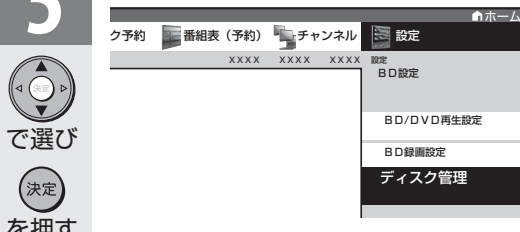
5 「ディスク管理」を選ぶ

▲▼ で選び 決定 を押す

6 「ディスク保護」を選ぶ

▲▼ で選び 決定 を押す

7 「保護する」または「保護解除」を選ぶ

▲▼ で選び 決定 を押す

・ 保護されたディスクの保護を解除するには、「保護解除」を選びます。

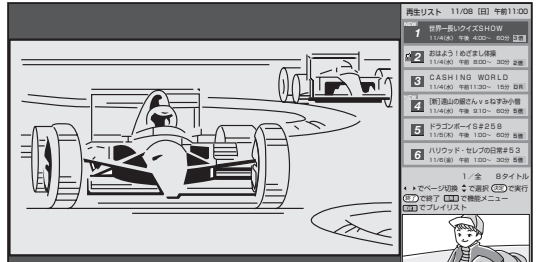
タイトル(録画した番組)を消去する

● すでに見て不要なタイトル（録画した番組）を再生リストから消去することができます。

1 タイトルを消去したいディスクを挿入する

2 再生リストから消去したいタイトルを選ぶ

で選ぶ

- 消去したいタイトルに「🔒」マークがついている場合は、先に「保護解除」（▶ 183 ページ）を行ってください。

3 機能メニューを表示し、「消去」を選ぶ

黄
を押し

で選び

決定
を押す

4 「1 タイトル消去」を選ぶ

で選び

決定
を押す

- 「全消去」を選ぶと、すべてのタイトルが消去されます。

5 「消去する」を選ぶ

で選び

を押す

- 選んだタイトルが消去されます。
- 消去中は、電源を切らないでください。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

重　要

- BD-RE または BD-R 以外のディスクはタイトルが消去できません。

おしらせ

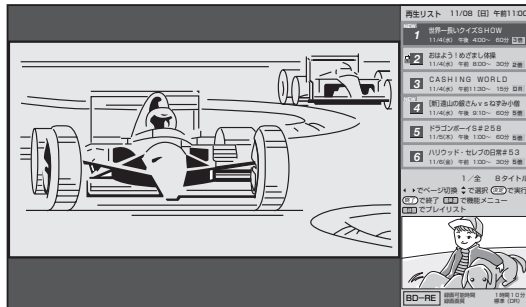
- 消去したタイトルは復活できません。
- BD-R ディスクはタイトルを消去しても残量は増えません。
- チャプターの消去はできません。

タイトル（録画した番組）を消さない設定をする

● 間違って消さないよう、大切なタイトル（録画した番組）をタイトルごとに保護できます。

1 タイトルを保護したいディスクを挿入する

2 再生リストから保護したいタイトルを選ぶ

で選ぶ

3 機能メニューを表示し、「保護／解除」を選ぶ

黄
を押し

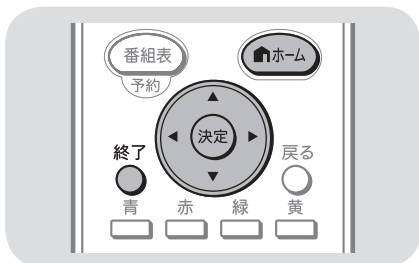
で選び

を押す

- タイトル保護を設定したタイトルには、再生リストを表示させたとき保護マーク「🔒」が付きます。

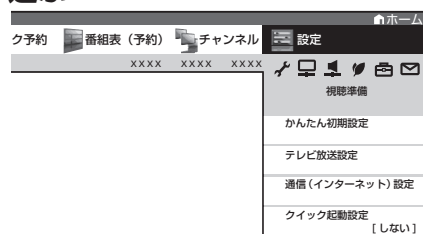
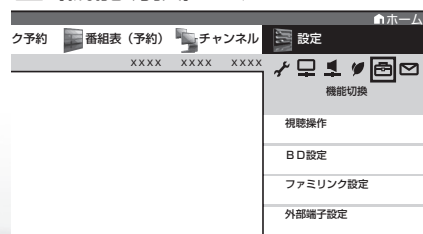
- 保護設定したタイトルを消去したいときは、「保護／解除」を選んでください。

BDを初期化する

- 未使用のBD-REまたはBD-Rを挿入したときは、自動的に初期化が始まります。(▶**132**ページ)
- 使用済みのBD-REディスクの中身を未使用の状態に戻したい場合は、次の操作で初期化をします。

おしらせ

- 録画済みのBD-REを初期化すると、録画されたタイトルがすべて消去されます。消されたタイトルは元に戻せませんので、内容をよく確認してください。
- 他社のレコーダーで録画したBD-REを挿入したときも、「初期化する」「ディスク取り出し」と表示されることがあります。「初期化する」を選ぶとディスクの内容が全て消去されます。消去したくない場合は、「ディスク取り出し」を選んでください。

1 初期化するディスクを挿入する

- 再生リスト(▶**157**ページ)が表示された場合は、終了で終了します。

2 ホームメニューから「設定」を選ぶ

ホームを押し 決定で選ぶ

3 (機能切換)を選ぶ

で選ぶ

4 「BD設定」を選ぶ

で選び 決定を押す

5 「ディスク管理」を選ぶ

で選び 決定を押す

6 「BD初期化」を選ぶ

で選ぶ

7 「する」を選ぶ

で選び 決定を押す

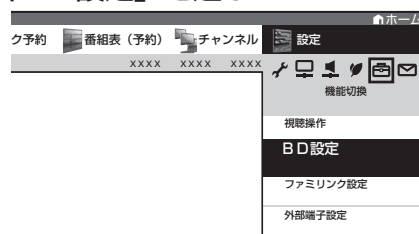
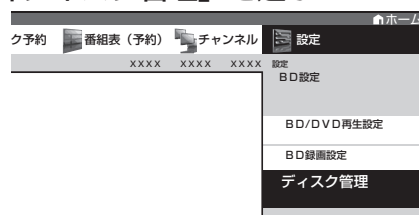
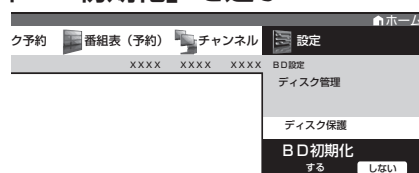
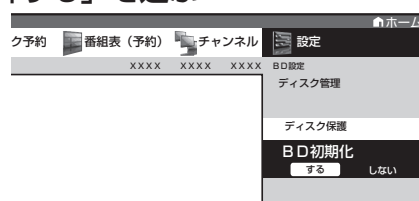
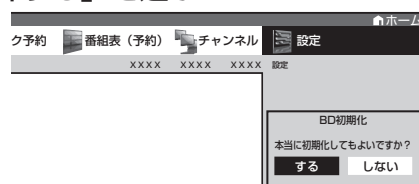
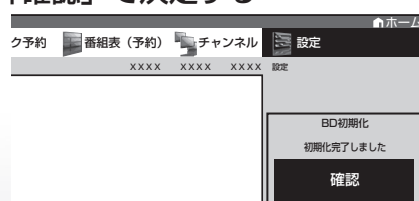
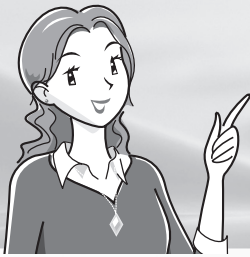
8 「する」を選ぶ

で選び 決定を押す

- 初期化が実行されます。

9 「確認」で決定する

決定を押す

ホーム ク予約 番組表（予約） チャンネル 設定
BD初期化
初期化完了しました
確認

- BD初期化中は、音量ボタン、消音ボタン以外のボタンは無効となります。

レコーダーやプレーヤー、パソコンなどをつなぐ

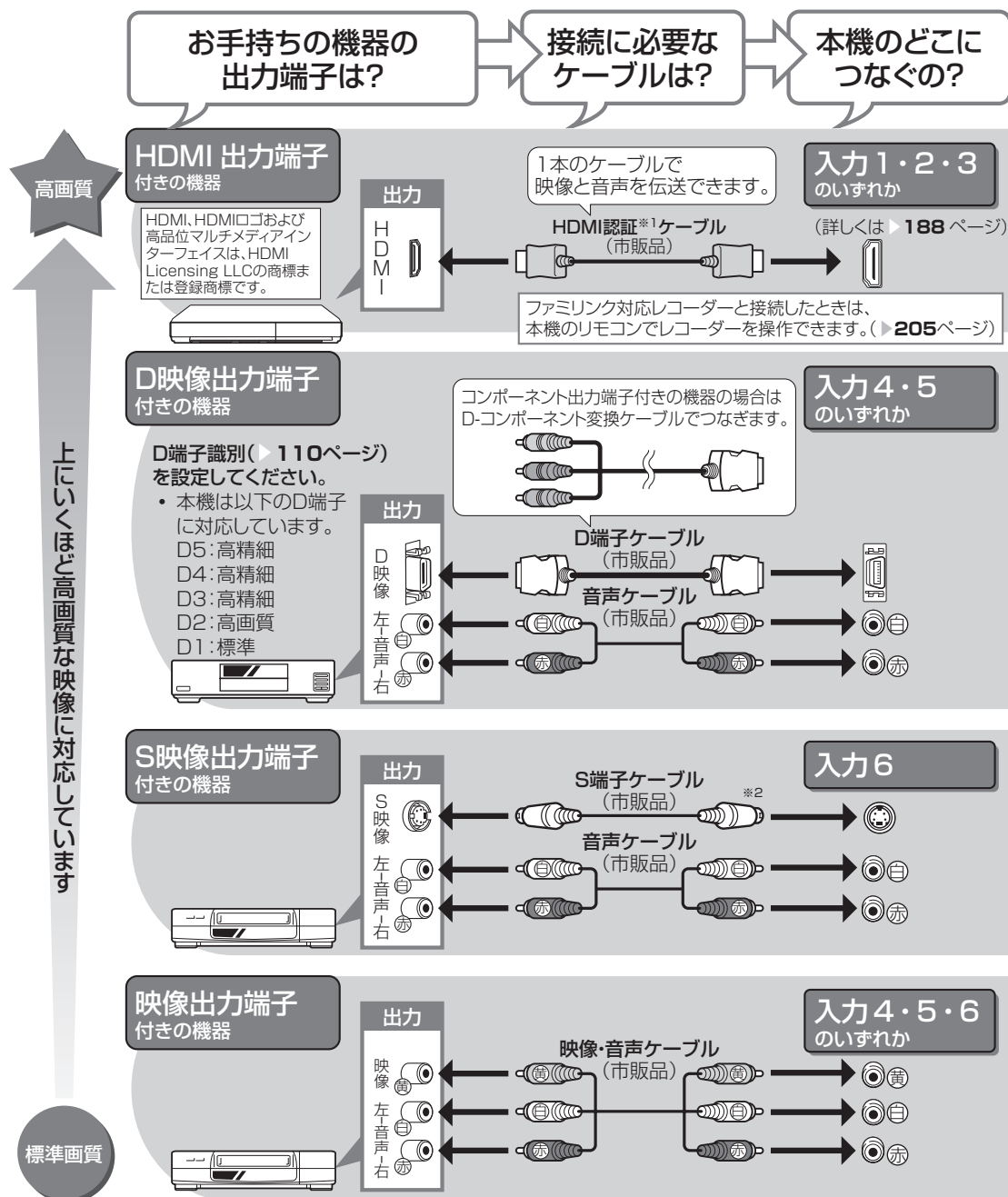
ビデオデッキやハードディスク・DVD(HDD/DVD)レコーダーで録画・再生する

ゲーム機やオーディオ機器、パソコンをつないで楽しむ

AQUOSレコーダーで録画・再生する(ファミリンク機能を使う)

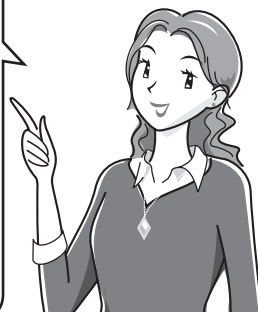
ビデオデッキや DVD プレーヤー などを再生する

ビデオデッキや DVD プレーヤーをつなぐ

- お手持ちの録画・再生機器の出力端子を確認し、高精細・高画質に対応した出力端子とつなぐと、よりきれいな映像が楽しめます。

※ 1 HDMI ケーブルは、必ず市販の HDMI 規格認証品（カテゴリー 2 推奨）をご使用ください。規格外のケーブルを使用した場合、映像が映らない、音が聞こえない、ファミリンクが動作しないなど、正常な動作ができません。

※ 2 入力 6 の S2 映像端子から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズで映し出すように設定できます。(S2 対応 110 ページ)

接続するときに気をつけること

- 接続の前に、接続する機器と、本機の電源を切ってください。
- 接続ケーブルのプラグは奥までしっかり差し込んでください。
  しっかり差し込めていないと、画像や音声にノイズや雑音が出る原因となります。
- 接続ケーブルを端子から抜くときは、ケーブルを引っ張らずにプラグを持って抜いてください。
- 複数の機器を接続したときは、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源は切ってください。
- 接続した機器の再生映像や音声にノイズや雑音が出るときは、接続した機器と本機を十分に離してください。

- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを通してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本機とビデオデッキを直接接続してお楽しみください。

ビデオ機器側の接続端子について

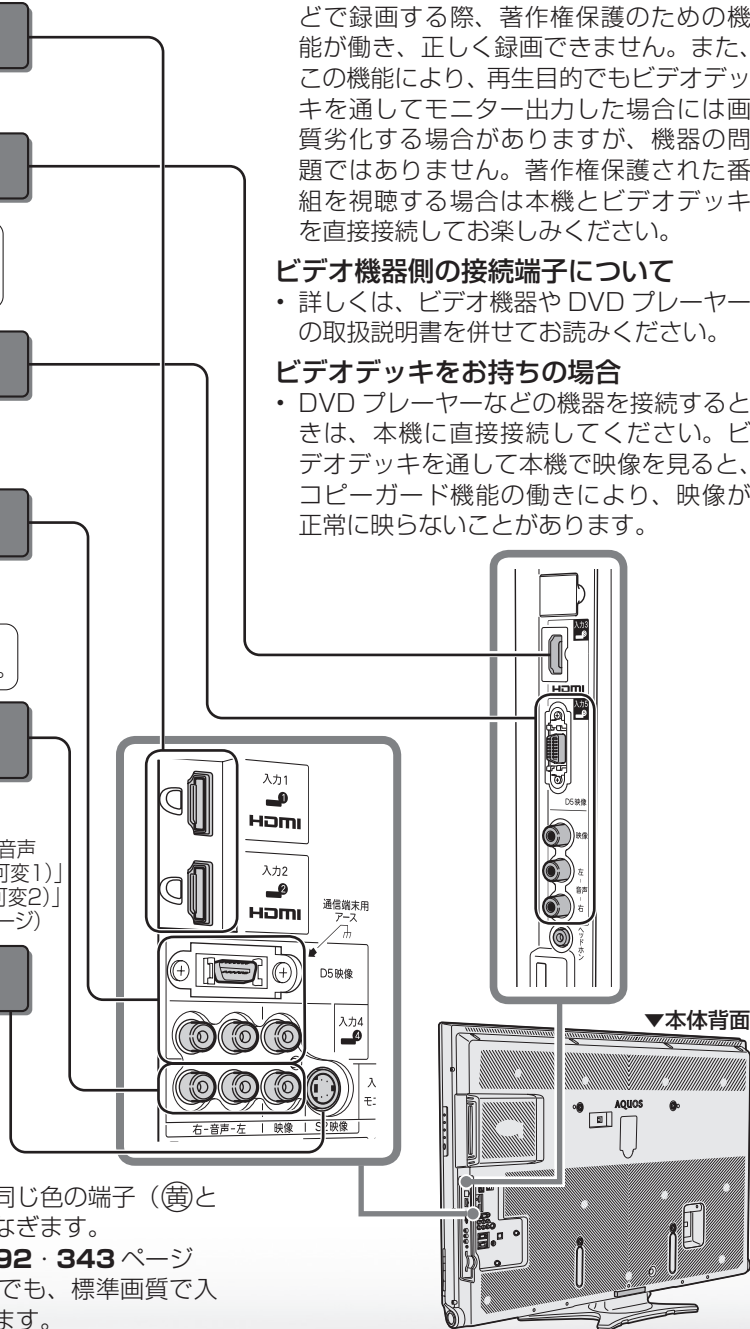
- 詳しくは、ビデオ機器や DVD プレーヤーの取扱説明書を併せてお読みください。

ビデオデッキをお持ちの場合

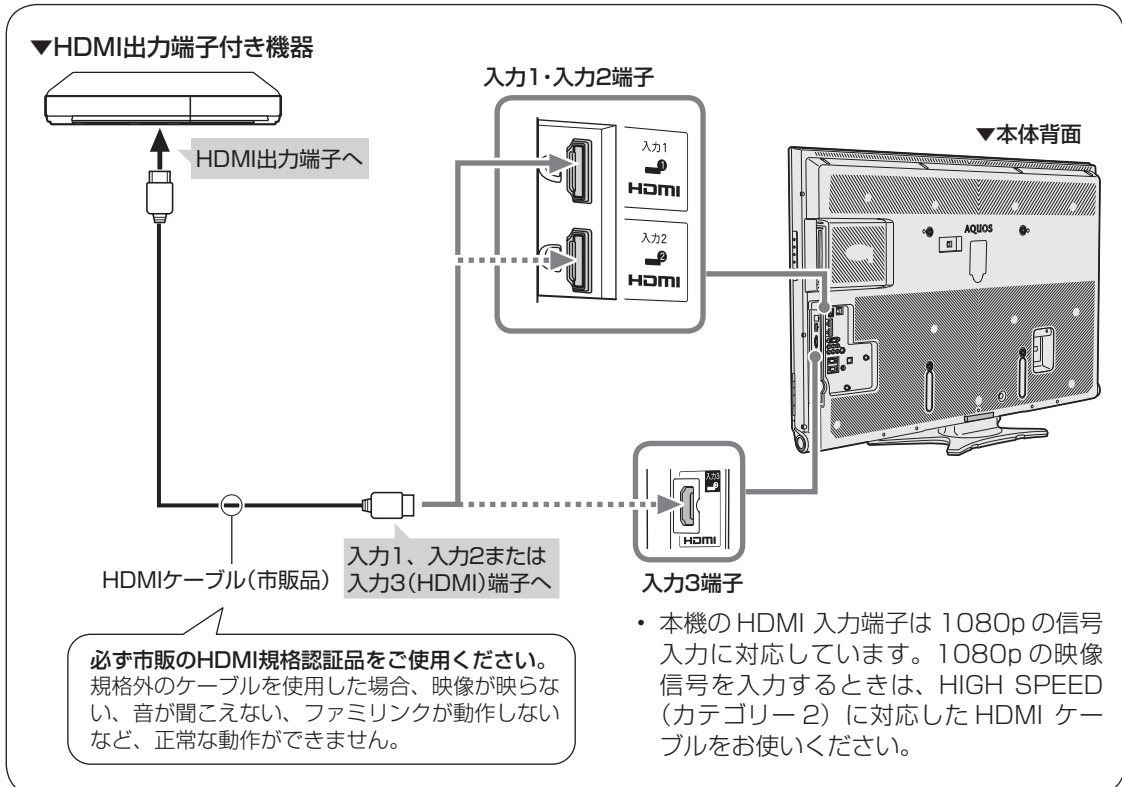
- DVD プレーヤーなどの機器を接続するときは、本機に直接接続してください。ビデオデッキを通して本機で映像を見ると、コピーガード機能の働きにより、映像が正常に映らないことがあります。

▼本体背面

おしらせ

- 映像・音声ケーブルは先端部と同じ色の端子（㊩と㊩、㊥と㊥、㊨と㊨）につなぎます。
- 映像の種類と画質について▶ **192**・**343** ページ
- 高精細・高画質に対応した端子でも、標準画質で入力された映像は標準画質になります。
- **ゲーム機との接続については、193 ページをご覧ください。**

次のページに続く

HDMI 出力端子付き機器の接続のしかた

- HDMI 端子は、映像と音声の信号を 1 本の HDMI 認証ケーブル（市販品）でつなぐことができる新しい規格の専用端子です。
- HDMI 出力端子付き機器の映像や音声を楽しむときは、入力切換で「入力 1」、「入力 2」または「入力 3」を選びます。

おしらせ

- HDMI 入力では、HDMI ケーブルによっては、映像にノイズが発生する場合があります。HDMI 認証ケーブルを使用してください。
- 入力 2 にレコーダーやオーディオを接続するときは、「設定」－「（機能切換）」－「外部端子設定」－「パソコン入力」－「入力音声選択」を「HDMI のみ」にしてください。（工場出荷時は、「HDMI のみ」に設定されています。）

対応している映像信号

- 1080p(24Hz/60Hz)、720p、1080i、480p、480i、VGA
- パソコンの接続については▶ **198** ページをご覧ください。

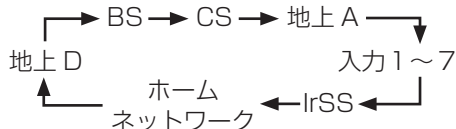
対応している音声信号

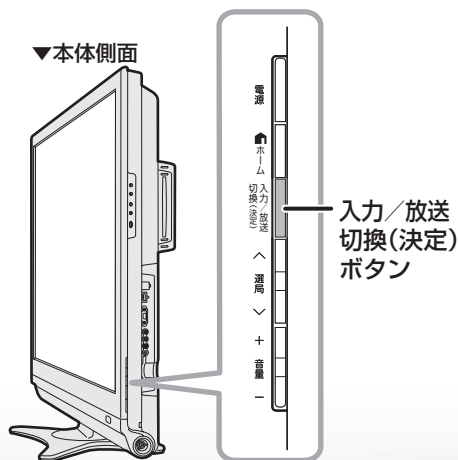
- 種類：リニア PCM
  サンプリング周波数：48kHz ／ 44.1kHz ／ 32kHz

HDMI出力端子付き機器がファミリンク対応AQUOSレコーダーやAQUOSオーディオなどの場合は、本機のリモコンで操作できます。
詳しくは▶**205**ページをご覧ください。

ビデオデッキや DVD プレーヤーの画面に切り換える（入力切換）

本体の入力／放送切換（決定）ボタンでも入力を切り換えられます

- ボタンを押すたびに次の順で切り換わります。

（放送の種類も切り換えられます。）

- このときは、入力切換メニューは表示されません。

灰色で表示した手順はビデオ機器の操作です。

1 ビデオ機器を本機に接続し、電源を入れる

2 再生したいビデオテープやディスクをセットする

3 入力切換メニューを表示する

入力切換 を押す

- 表示中に次の操作を行います。

4 繰り返し押し、機器を接続した入力名を選ぶ

入力切換 を押す

- 選択した入力に切り換わります。
- 上下カーソルボタンでも選べます。
- 例えば、本機の入力 1 に接続した機器の映像を見たいときは、「入力 1」を選びます。

選べる入力について

- 入力 4 ～ 6 は、ビデオ機器が接続されているときのみ選択できます。
- 入力 6 は、モニター音声出力（▶ **196** ページ）を「入力」にし、入力 6 にビデオ機器が接続されているときのみ選択できます。出力に設定している場合は「モニター音声出力」と表示されます。
- ホームネットワークは LAN 端子（通常）に接続されているときに選択できます。

5 ビデオ機器を再生状態にする

- ビデオ機器の再生映像が本機の画面に表示されます。
- ビデオ機器によっては、映像を出力するために設定が必要になる場合もあります。
  設定のしかたについては、接続したビデオ機器の取扱説明書をご覧ください。

次のページに続く

入力４～６の映像が表示されないときは（入力選択）

● 入力４～６の映像が表示されない場合、以下の操作を行ってください。

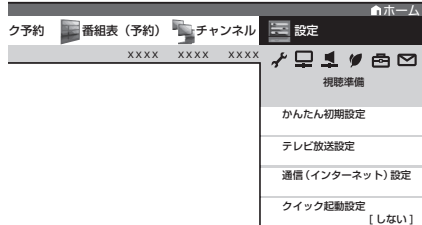
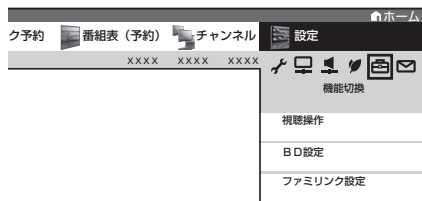
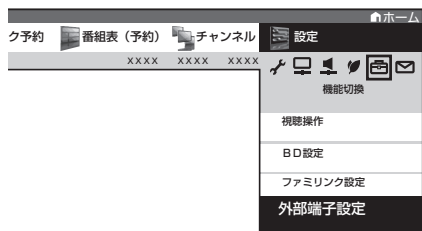
1 表示されない入力（入力４～６）を選ぶ

入力切換を押す

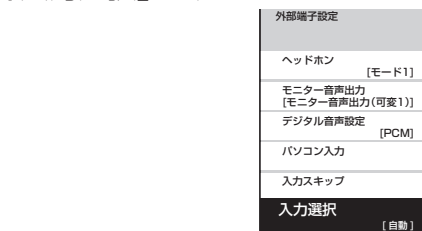
2 ホームメニューから「設定」を選ぶ

ホームを押し、で選ぶ

3 (機能切換）を選ぶ

で選ぶ

4 「外部端子設定」を選ぶ

で選び 決定を押す

5 「入力選択」を選ぶ

で選び 決定を押す

6 「D端子」「ビデオ映像」「S端子」のいずれかを選ぶ

で選び 決定を押す

- 工場出荷時の設定は「自動」です。
- 「自動」の場合、D端子またはS端子が映像端子より優先されます。（D端子は入力４･５、S端子は入力６のみです。）

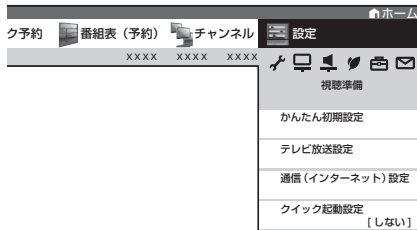
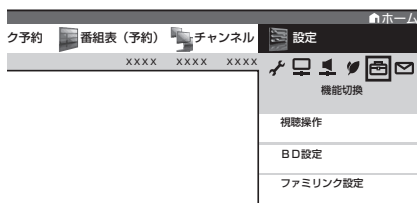
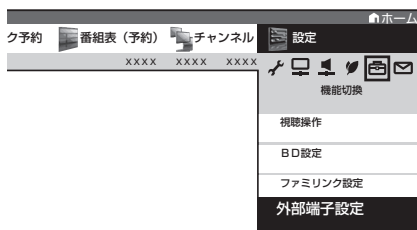
使用していない入力をスキップするには（入力スキップ）

● 入力１～３、入力７、IrSS™、ホームネットワーク、地上D、BS、CS、地上Aを使用しないときは、入力切換の際に飛ばすことができます。

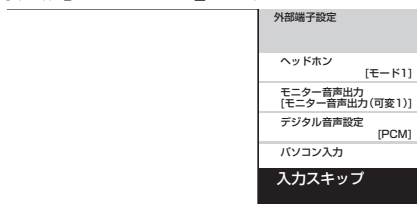
1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

ホームを押し、で選ぶ

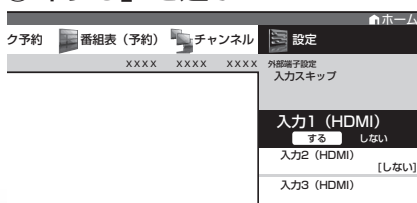
2 (機能切換）を選ぶ

で選ぶ

3 「外部端子設定」を選ぶ

で選び 決定を押す

4 「入力スキップ」を選ぶ

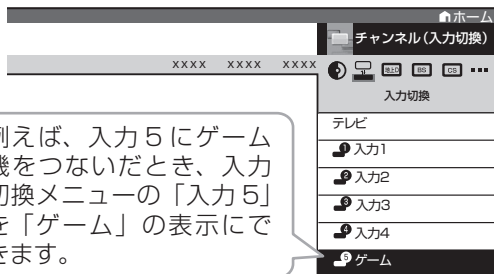
で選び 決定を押す

5 ①スキップしたい項目を選ぶ ②「する」を選ぶ

で選び 決定を押す

おしらせ

- 同様の操作で、本体の入力／放送切換（決定）ボタンでも設定できます。

入力切換の表示をお好みのなまえに変えるには

- 入力１～７に接続している機器に合わせ、入力切換メニューなどに表示される機器の名称を変更できます。

例えば、入力５にゲーム機をつないだとき、入力切換メニューの「入力５」を「ゲーム」の表示にできます。

- お好みの名称を入力できる「ユーザー設定」の「編集」機能もあります。

例）入力5を「ゲーム」の表示にする

1 変更したい入力を選ぶ

- ここでは「入力５」を選びます。

入力切換 を押す

2 ホームメニューから「設定」を選ぶ

を押し
で選ぶ

3 （機能切換）を選ぶ

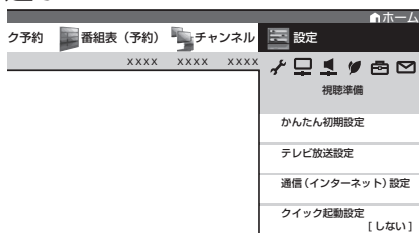
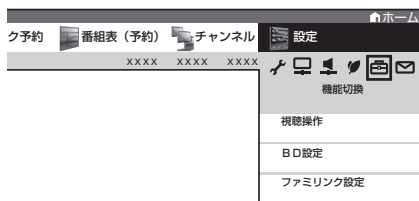
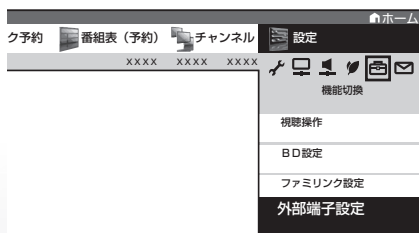
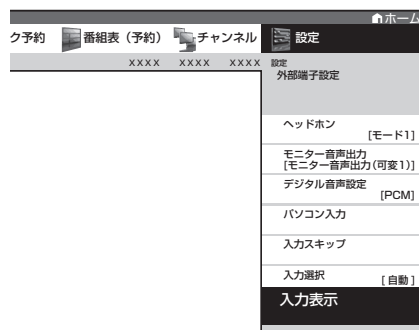
で選ぶ

4 「外部端子設定」を選ぶ

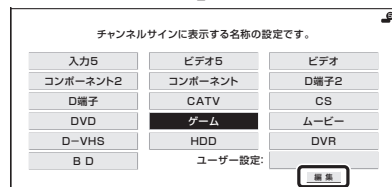
で選び
決定 を押す

5 「入力表示」を選ぶ

で選び

を押す

6 表示させたい名称を選ぶ

- ここでは「ゲーム」を選びます。

で選び
決定 を押す

ユーザー設定について

- お好みで機器の名称を入力したいときは、「編集」を選んで決定します。
  （文字を入力する▶**226**ページ）
- ここで入力できるのは全角で5文字まで、半角で10文字までです。

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

次のページに続く

表示できる名称について

- 入力ごとに設定できる名称は異なります。

入力1／入力2／入力3

(自動)入力1 ※	入力1 ※	ビデオ1 ※
ビデオ	HDMI	HDMI1 ※
DVD	ゲーム	HDD
DVR	BD	

※「入力2」選択時は、(自動)入力2 入力2 ビデオ2 HDMI2 と表示されます。(入力3も同様)

- HDMI機器を接続し、「(自動)入力1」の表示に設定されている場合、表示の内容が変わることがあります。(「(自動)入力2」「(自動)入力3」も同様)

入力4／入力5

入力4 ※	ビデオ4 ※	ビデオ
コンポーネント1 ※	コンポーネント	D端子1 ※
D端子	CATV	CS
DVD	ゲーム	ムービー
BD	HDD	DVR

※「入力5」選択時は、入力5 ビデオ5 コンポーネント2 D端子2 と表示されます。

入力6

入力6	ビデオ6	ビデオ
CATV	CS	DVD
ゲーム	ムービー	BD
HDD	DVR	

※ モニター音声出力を「モニター音声出力(固定)」、「モニター音声出力(可変1)」、「モニター音声出力(可変2)」のいずれかに設定しているときは、「モニター音声出力」と表示されます。

入力7

入力7	ビデオ7	ビデオ
RGB	DVD	ゲーム
PC		

見られる映像の種類について

HDMI 端子につないで見られる映像の種類

1080p（24Hz/60Hz）、720p、
1080i、480p、480i、VGA

- 対応している音声信号はリニア PCM、サンプリング周波数 48kHz、44.1kHz、32kHz です。

D端子につないで見られる映像の種類

D端子の種類	映像の種類
D5	1080p、720p、1080i、480p、480i
D4	720p、1080i、480p、480i
D3	1080i、480p、480i
D2	480p、480i
D1	480i

おしらせ

- 映像の種類について詳しくは、▶ **343** ページをご覧ください。

映像の種類（1080i など）は
放送方式の種類を走査線数で表したものです。
数字が大きいほど高精細な映像になります。
また D 端子の種類は数字が大きいほど
高画質な映像に対応しています。
本機は D5 映像の入力に対応しています。

ゲームを楽しむ

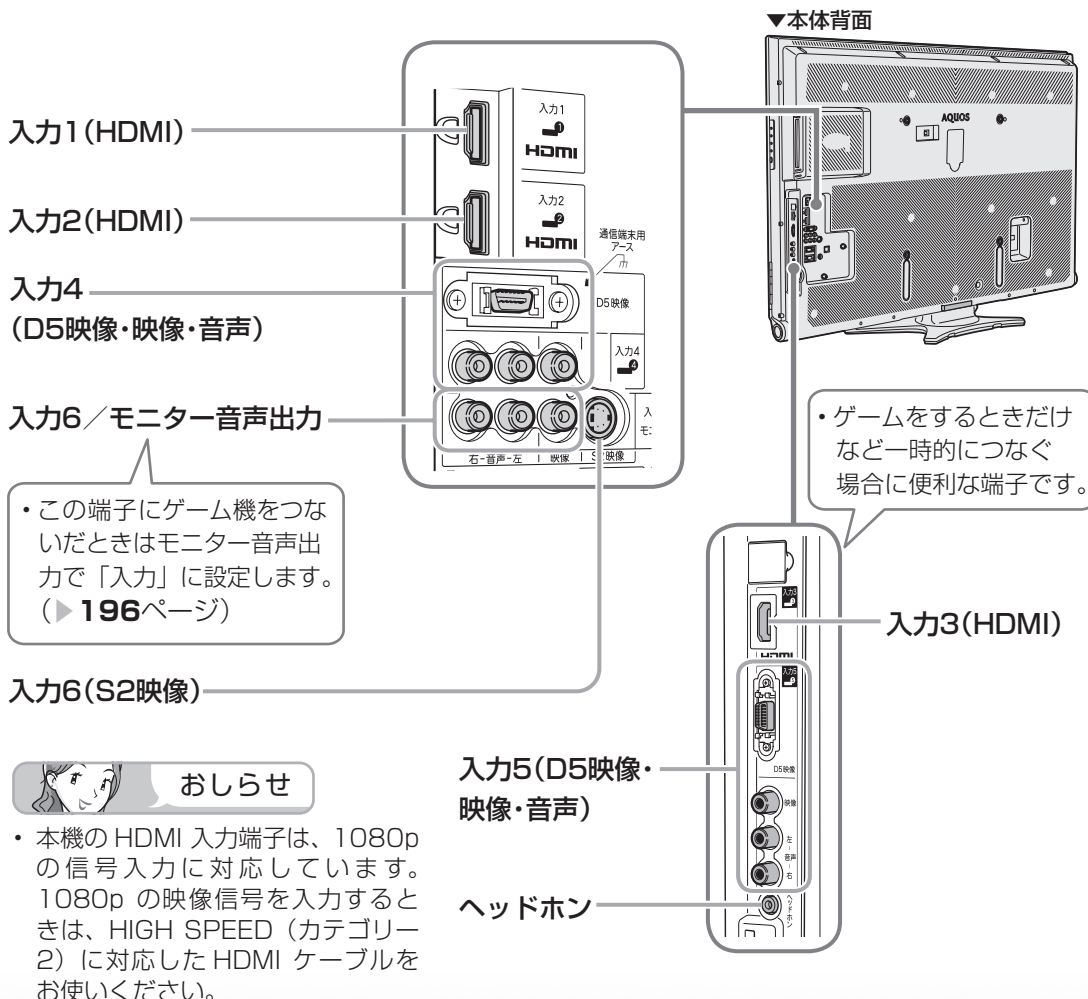
接続のしかた

- 接続について詳しくは、ゲーム機の取扱説明書をご覧ください。
  ゲーム機の種類により、本機と接続する端子や接続するケーブルが異なります。
- 本機の入力端子のうち、ゲーム機で対応している端子と接続してください。

接続するときに気をつけること

- 接続の前に、接続する機器と本機の電源を切ってください。
- 接続ケーブルのプラグは奥までしっかり差し込んでください。しっかり差し込めていないと、画像や音声にノイズや雑音が出る原因となります。
- 接続ケーブルを端子から抜くときは、ケーブルを引っぱらずにプラグを持って抜いてください。
- 複数の機器を接続したときは、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源は切ってください。
- 接続した機器の再生映像や音声にノイズや雑音が出るときは、接続した機器と本機を十分に離してください。

おしらせ

- 本機のHDMI入力端子は、1080pの信号入力に対応しています。1080pの映像信号を入力するときは、HIGH SPEED(カテゴリー2)に対応したHDMIケーブルをお使いください。

ゲームを楽しむときは

ゲームの画面に切り換える

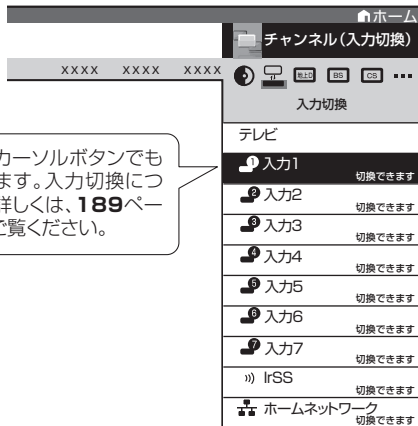
- ゲーム機をつないだら、ゲーム機の画面を表示しましょう。

1 ゲーム機と本機の電源を入れる

2 入力切換メニューを表示する
- 表示中に次の操作を行います。

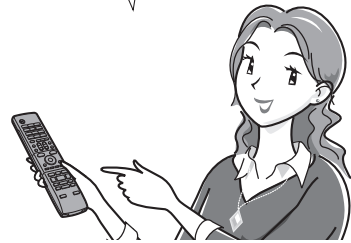
入力切換 を押す

3 繰り返し押して、ゲーム機を接続した入力を選ぶ
- 選択した入力に切り換わり、ゲーム機の画面が表示されます。
- 例えば、本機の入力 1 にゲーム機を接続した場合は、「入力 1」を選びます。

入力切換 を押す

本機でテレビゲームをお楽しみになる前に

- テレビゲームをお楽しみになるときは、画面の明るさを抑えて目にやさしい映像にし、ゲームに最適の AV ポジションの「ゲーム」にして、お使いいただくことをお奨めします。
- 光線銃などを使って画面を標的にするようなゲームは使用できません。

ゲームの反応が遅いときは

- ゲームによっては、映像の動きの速いシーンにおいて、反応が遅くなる場合があります。反応が遅くなるときは、AV ポジションを「ゲーム」に設定し、「(映像調整)」－「プロ設定」－「QS 駆動 (120Hz)」にし、設定を変更してください。

ゲームのプレイ時間を 30 分ごとに表示する(ゲーム時間表示設定)

- ゲームに夢中で時間を忘れてしまうことのないように、経過時間を知らせてくれる機能です。
- ホームメニューの「設定」－「(安心･省エネ)」－「ゲーム時間表示設定」で設定します。(入力 1 ～ 7 を選んでいるときに表示されます。)

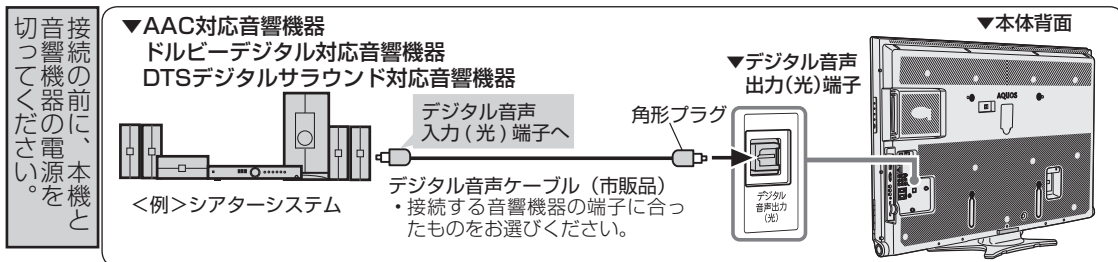
項目	内容
する	外部入力でゲームモードに設定されているときに、ゲームを始めてから 30 分経過するたびに画面左下にメッセージが表示されます。
しない	何も表示しません。

重 要

- 経過時間を表示させたいときは、ゲームを始める前に、ゲーム機をつないだ入力の AV ポジション(▶ 112 ページ)を「ゲーム」にしてください。
- 外部入力視聴時のみ有効です。

オーディオ機器で音声を楽しむには

デジタル音声（光）端子付きのオーディオ機器で聞く

● 本機のデジタル音声出力（光）端子は、MPEG2 AAC/ ドルビーデジタル /dts 音声フォーマットを出力できます。AAC/ ドルビーデジタル /dts サラウンド対応の音響機器を接続すると、迫力ある音声で楽しめます。

接続の前に、本機と音響機器の電源を切ってください。

おしらせ

- 接続する機器がビットストリーム /PCM の自動切換に対応していない場合は、機器側の設定を切り換えてください。
  詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- 地上アナログ放送や CATV 放送、ビデオ入力の音声は、「ビットストリーム」に設定しても「PCM」で出力されます。
- 「ビットストリーム」に設定すると、字幕放送や一部のデータ放送の音声が出力されません。
- 本機の電源を切ると、デジタル音声出力（光）端子からは出力されません。
- 本機では通常、デジタル音声出力の内容はスピーカー音声出力の内容と同じです。（視聴しているときの音声が出力されます。）
- ファミリンク対応のAVアンプ(AQUOSオーディオ)を市販の HDMI 認証ケーブルとデジタル音声ケーブルでつなぐと、ファミリンク機能で操作できます。（▶ **205** ページ）
- 再生する機器、ソフトによってはデジタル音声出力されない場合があります。

デジタル音声出力(光)端子から出力される音声の種類について

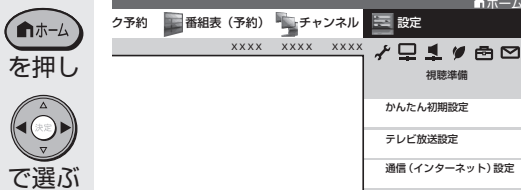
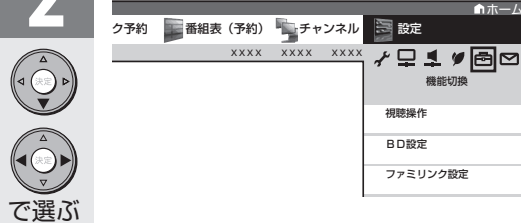
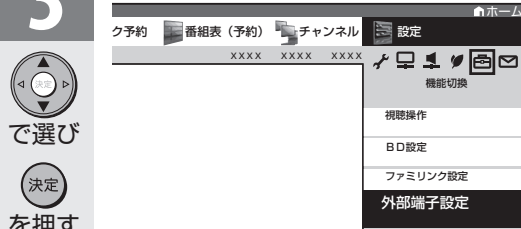
HDMI 端子からの入力音声信号※1	リニア PCM※2
視聴中のデジタル放送音声	リニア PCM※2、AAC
内蔵 BD ユニットでのディスク再生中の音声信号	リニア PCM※2、ドルビーデジタル、dts

※1　HDMI 端子で接続したレコーダーからの音声信号は、本機のデジタル音声出力（光）端子から、2ch のリニア PCM で出力されます。
レコーダーからの音声をサラウンドで楽しみたい場合は、直接レコーダーから AV アンプへ音声信号を入力してください。詳しくは、お手持ちのレコーダーおよび AV アンプの取扱説明書をご確認ください。本機で受信したデジタル放送（サラウンド対応番組）の場合は、デジタル音声出力（光）端子からサラウンドの AAC で出力できます。

※2　48kHz以下の2ch音声が出力されます。

- 「デジタル音声設定」を「ビットストリーム」に設定しているときは、市販の BD ビデオの「ドルビーデジタル EX6.1 ch」音声や「DTS・ES6.1 ch」音声など「6.1 ch」以上の音声は「5.1 ch」音声として出力されます。
- ロスレスオーディオの「DTS-HD Master Audio」や「ドルビー TrueHD」音声は「コアストリーム」(5.1 ch)」音声のみ出力されます。

出力される音声信号の設定（デジタル音声設定）

1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

ホーム を押し
▲▼◀▶ で選ぶ

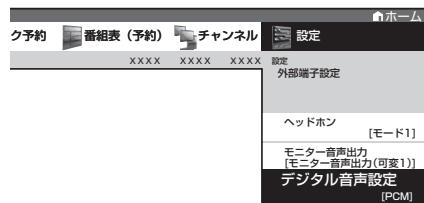
2 （機能切換）を選ぶ

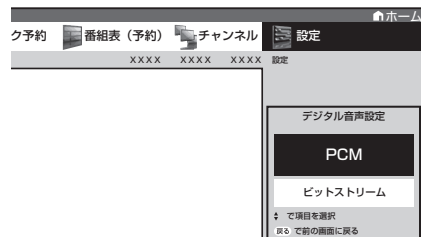
▲▼ で選ぶ
◀▶ で選ぶ

3 「外部端子設定」を選ぶ

▲▼ で選び
決定 を押す

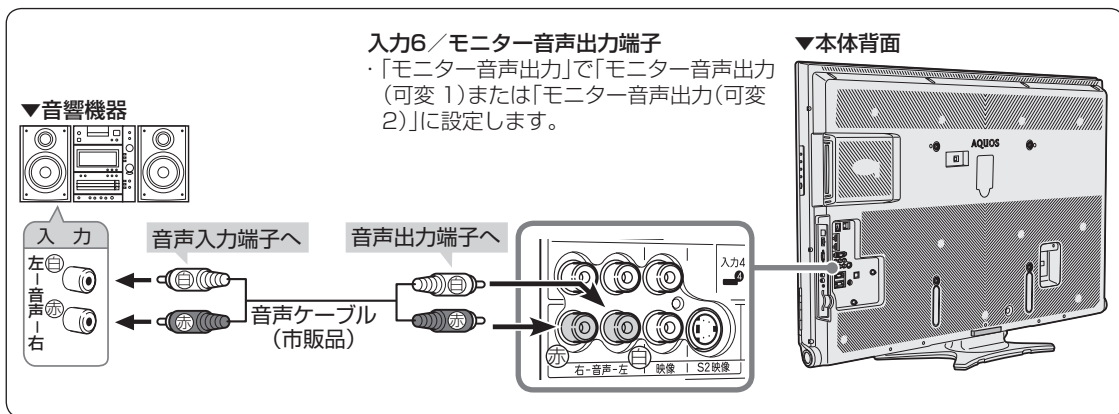
次のページに続く

4 「デジタル音声設定」を選ぶ

5 「PCM」または「ビットストリーム」を選ぶ

- **「PCM」**：AAC/ ドルビーデジタル /dts に対応していない機器につなぐときは、「PCM」に設定します。視聴している番組の音声と同じ音声（主、副、主／副）が出力されます。
- **「ビットストリーム」**：AAC/ ドルビーデジタル /dts 対応の AV アンプなどをつなぐときは、「ビットストリーム」に設定します。主と副の両方の音声が同時に出力されます。

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

アナログ音声端子付きのオーディオ機器で聞く

- 接続の前に、本機と音響機器の電源を切ってください。

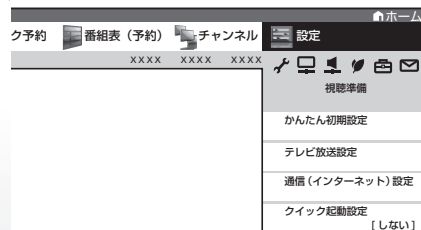
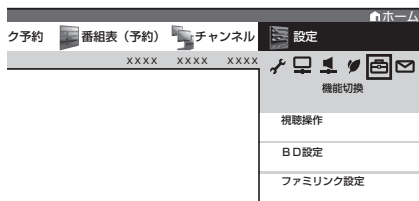
● 本機の入力 6 ／モニター音声出力端子に音響機器などをつなぐとアナログ音声を楽しめます。

モニター音声出力端子から音を出したいときは(モニター音声出力)

1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

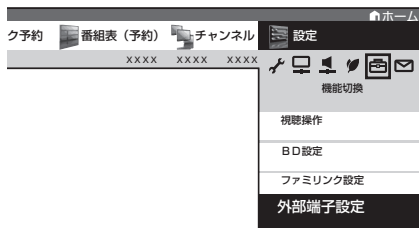
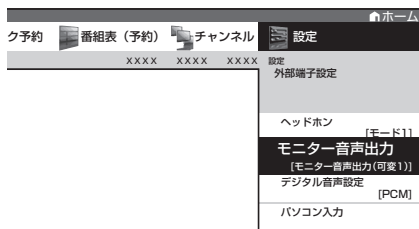
2 (機能切換)を選ぶ

で選ぶ

3 「外部端子設定」を選ぶ

で選び

決定 を押す

4 「モニター音声出力」を選ぶ

で選び

決定 を押す

5 「モニター音声出力(可変 1)」または「モニター音声出力(可変2)」を選ぶ

で選び

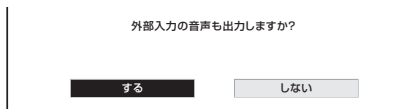
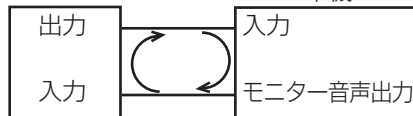
決定 を押す

- **モニター音声出力(可変 1)**：本機のスピーカーの代わりに、接続した音響機器で音声を聞くときに選びます。本機のスピーカーからの音声が停止します。
- **モニター音声出力(可変 2)**：本機のスピーカーと接続した音響機器の両方で音声を聞くときに選びます。ウーハーをつないで、低音を強調したいときなどの設定です。

- 出力される音量は音量ボタン(青)で調整できます。
- 「外部入力の音声も出力しますか?」と表示されます。

6 「する」または「しない」を選ぶ

で選び

決定 を押す

- 本機と音響機器をループ接続(下図)しないでください。ハウリング(ブー音)や画面の乱れを生じます。

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

- 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。
- 「モニター音声出力(固定)」、「モニター音声出力(可変 1)」、「モニター音声出力(可変 2)」のいずれかに設定したときは、入力切換メニューの「入力 6」の表示が「モニター音声出力」に変わります。
- アナログ放送録画中は、本機から音声が出力されません。

パソコンのモニターとして使う

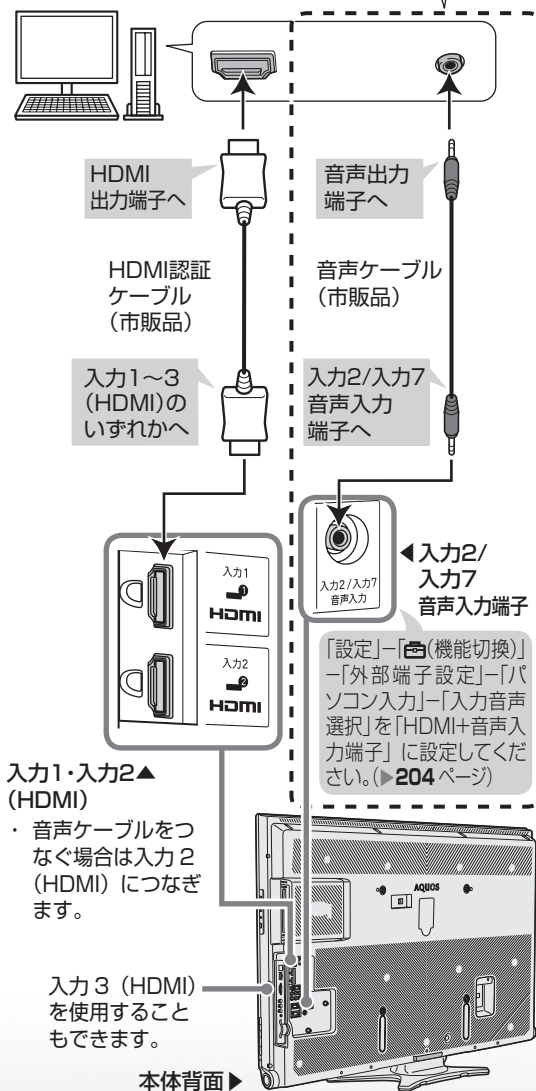
パソコンと接続する

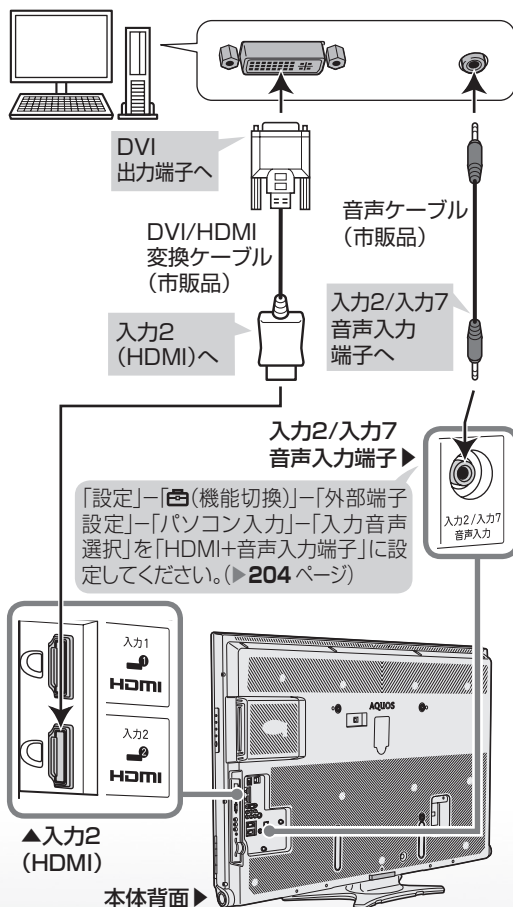
- 本機をパソコン（PC）のモニターとしても使用できます。

パソコンの出力端子を確認して適合するケーブルをご用意ください。

・接続の前に、本機とパソコンの電源を切ってください。

HDMI 出力端子付きパソコンと接続する（デジタル接続）

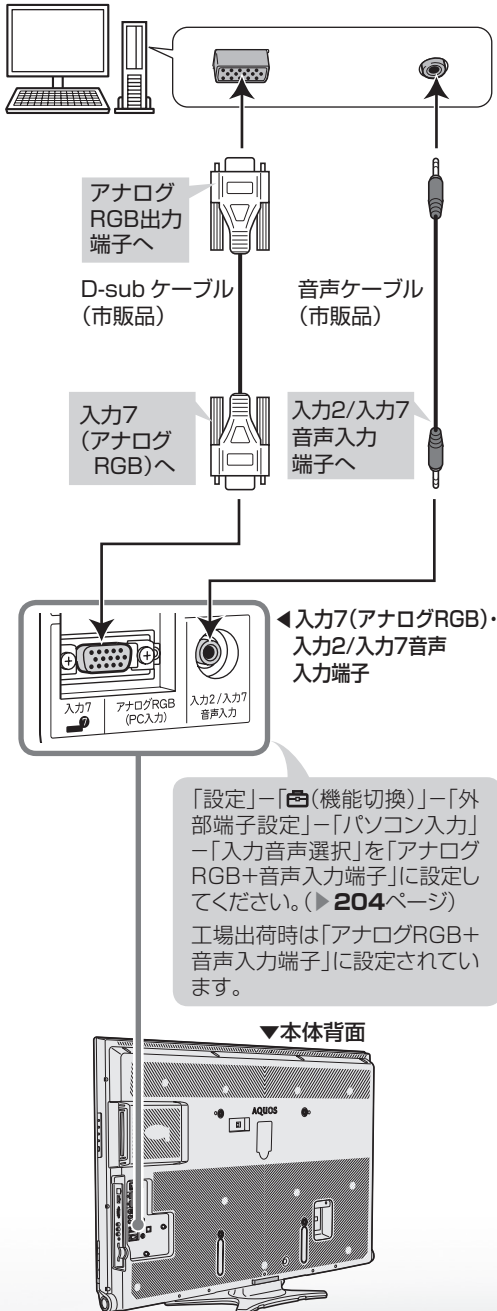
・ 市販の HDMI 認証ケーブルが必要です。

DVI 出力端子付きパソコンと接続する（デジタル接続）

- 市販の DVI/HDMI 変換ケーブルと音声ケーブルが必要です。
  音声ケーブルはパソコンの端子に合うものをご使用ください。
- 本機の HDMI 端子とパソコンの DVI 端子を変換ケーブルで接続しても、パソコンによっては HDMI 規格に対し十分サポートされていないものもあり、パソコンの画面が正しく表示されなかったり、まったく表示されない場合があります。
- 本機で対応していない信号が入力されたときには「この入力信号には対応しておりません」と表示されます。その場合はお使いのパソコンの取扱説明書にもとづき本機で対応している信号に設定してください。

アナログ RGB 出力端子付きパソコンと接続する（アナログ接続）

・市販の D-sub ケーブルと音声ケーブルが必要です。
音声ケーブルはパソコンの端子に合うものをご使用ください。

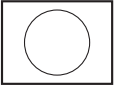
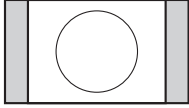
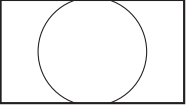
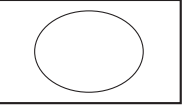
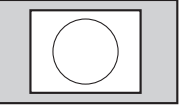
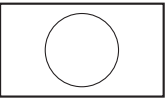
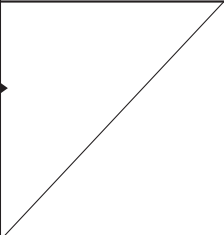
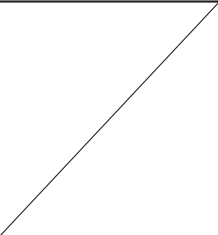
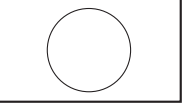
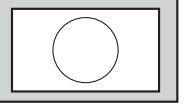
「設定」－「(機能切換)」－「外部端子設定」－「パソコン入力」－「入力音声選択」を「アナログRGB+音声入力端子」に設定してください。(▶204ページ)

工場出荷時は「アナログRGB+音声入力端子」に設定されています。

▼本体背面

パソコンの解像度について

- パソコン（PC）の DVI 出力／ RGB 出力の解像度を確認してください。
- 次の表は、本機が対応している解像度です。

	解像度 (画素)		水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	VESA規格
	VGA	720 × 400	31.5	70	
		640 × 480	31.5	60	○
			37.9	72	○
			37.5	75	○
	SVGA	800 × 600	35.1	56	○
			37.9	60	○
			48.1	72	○
			46.9	75	○
	XGA	1024 × 768	48.4	60	○
			56.5	70	○
			60.0	75	○
	WXGA	1360 × 768	47.7	60	○
	SXGA	1280 × 1024	64.0	60	○
	SXGA+	1400 × 1050	65.3	60	○
※	480p	720 × 480	31.5	60	
※	1080i	1920 × 1080	33.8	60	
※	720p	1280 × 720	45.0	60	
※	1080p	1920 × 1080	67.5	60	

※の入力信号の画面サイズについては、▶ **109** ページをご覧ください。

おしらせ

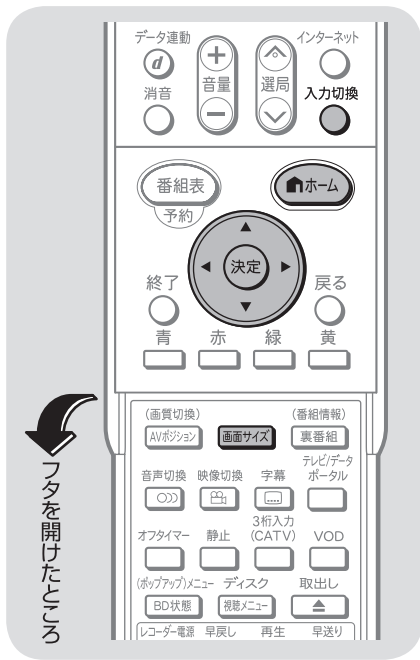
- 省エネの設定をすることができます。（▶ **221** ページ）
- 接続するパソコンによっては、本機で対応している信号であっても正しく表示できなかったり、まったく表示されない場合があります。
- 本機で対応していない信号が入力されたときは、「この入力信号には対応しておりません。」と表示されます。その場合、お使いのパソコンの取扱説明書などをご覧になり、本機で対応している信号に設定してください。
- アナログ接続時の表示設定は、自動同期調整で最良に近い状態に設定されます。（「自動で画面を調整する」 ▶ **201** ページ）
- PC 入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。画面サイズの種類については、「パソコンの画面を表示する」（▶ **200** ページ）をご覧ください。
- 特定の入力信号時、特定の条件下で画面の文字などににじみが出ることがあります。

パソコンの画面を表示する

画面サイズの選びかた

- 以下の画面サイズを選べます。（入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。）

入力信号	ノーマル	シネマ	フル	Dot by Dot
4:3映像 640×480、800×600 1024×768 1280×1024など	入力信号の縦横比をくずさずに、図のように映します。	入力信号の縦横比をくずさずに、画面の左右いっぱいまで拡大して映します。映像の上下が切れます。	画面いっぱいに映します。	入力信号の解像度どおりのパネル画素数で映します。
16:9映像 1360×768など			画面いっぱいに映します。	入力信号の解像度どおりのパネル画素数で映します。

おしらせ

- ホームメニューから選ぶ場合は、「設定」－「(機能切換)」－「視聴操作」－「画面サイズ」を選び、設定します。

1 パソコン（PC）の電源を入れる

2 パソコンを接続した入力を選ぶ

入力切換 を押す

- パソコンの画面が表示されます。

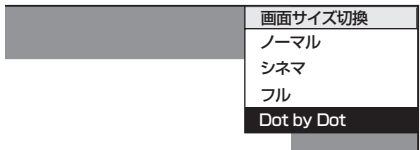
3 ①画面サイズ切換メニューを表示する

画面サイズ を押す

- 表示中に次の操作を行います。

②お好みの画面サイズを選ぶ

- 上下カーソルボタンでも選べます。

画面サイズ切換
ノーマル
シネマ
フル
Dot by Dot

4 画面サイズ切換メニューを消す

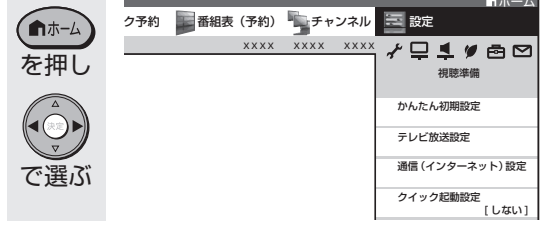
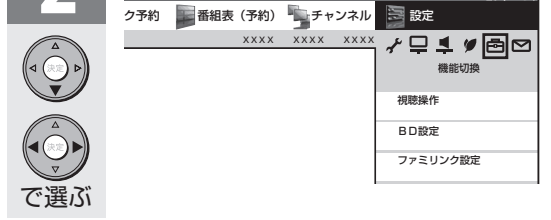
決定 を押す

- 画面の調整が必要なときは次のページをご覧ください。
- 画面が正しく映らないときは、▶ **203** ページをご覧ください。

アナログ接続したパソコンの画面を調整する

自動で画面を調整する

- 入力７にパソコン（PC）を接続している場合に、最良に近い画面に自動的に調整されます。クロック周波数、クロック位相などが調整されます。
- 動きのある映像や色のメリハリの少ない映像などの映像信号や PC によっては、自動調整だけでは、最適な画面にならないことがあります。その場合は、手動で調整してください。（▶**次ページ**）

1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

を押し

で選ぶ

2 (機能切換）を選ぶ

で選ぶ

3 「外部端子設定」を選ぶ

で選び

を押す

4 「パソコン入力」を選ぶ

で選び

を押す

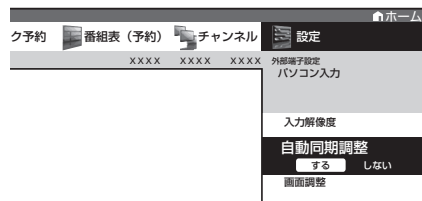
次のページに続く

5 「自動同期調整」を選ぶ

で選ぶ

6 「する」を選ぶ

で選び

を押す

- 「自動同期調整中」と表示されます。
- 自動調整が終了すると、「映像を調整しました。」と表示されます。
  正常に終了しないと、何も表示されずメニューに戻ります。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

- 画面が正しく映らないときは、▶ **203** ページをご覧ください。
- お使いのパソコンによっては、外部出力を有効にしないと映像が表示されない場合があります。シャープ製のノート型パソコンの場合では、Fn キーと F5 キーを同時に押すと、外部出力が有効になります。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

手動で画面を調整する

● 以下の項目が調整できます。（調整範囲は入力、信号、画面サイズによって変わります。）

項目	内容
水平位置	画像が右寄り、または左寄りの状態にあるときに調整します。
垂直位置	画像が上がり過ぎ、または下がり過ぎの状態にあるときに調整します。
クロック周波数	縦じま状のチラツキがあるときに調整します。
クロック位相	文字などを表示したときに、映像のチラツキが出たり、コントラストがつかないときに調整します。
リセット	工場出荷時の設定に戻します。

（例）　画面の垂直位置を調整する

1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

2 （機能切換）を選ぶ

で選ぶ

3 「外部端子設定」を選ぶ

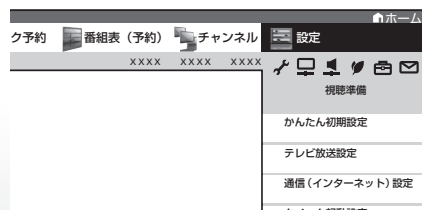
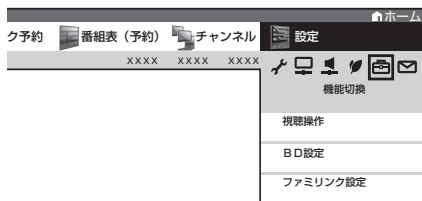
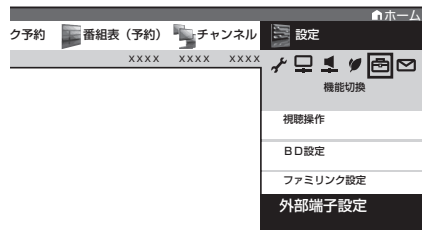
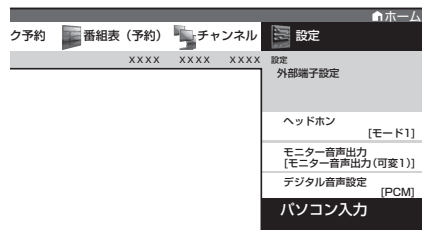
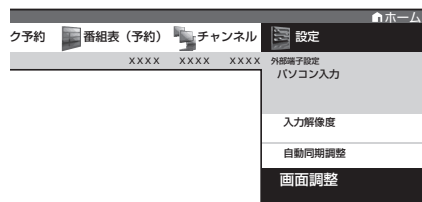
で選び　を押す

4 「パソコン入力」を選ぶ

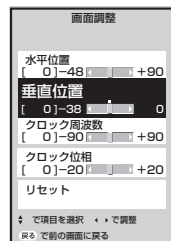
で選び

を押す

5 「画面調整」を選ぶ

で選び　を押す

6 「垂直位置」を選び、適切な位置に調整する

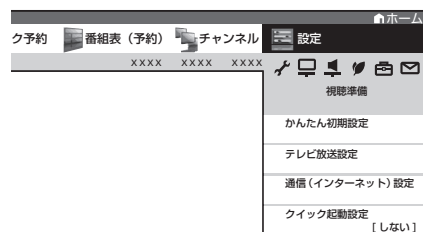
で選び

で調整する

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

画面が正しく映らないときは

入力解像度の設定

- アナログ接続の場合は、一部の入力解像度（768 ライン）において自動判別できない信号があるため、手動での入力解像度の選択設定が必要な場合があります。
- パソコン（PC）の解像度が「1024 × 768」または「1360 × 768」の場合に必要な設定です。

1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

を押し
で選ぶ

2 （機能切換）を選ぶ

で選ぶ

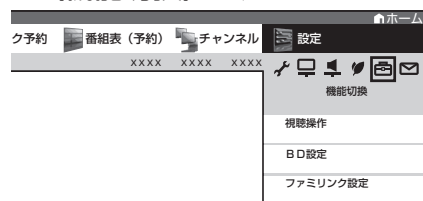
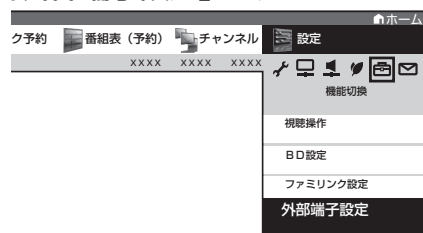
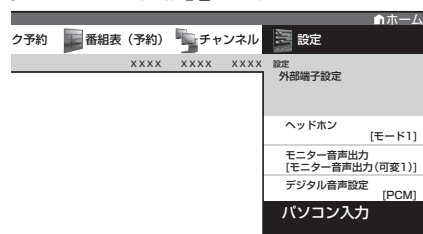
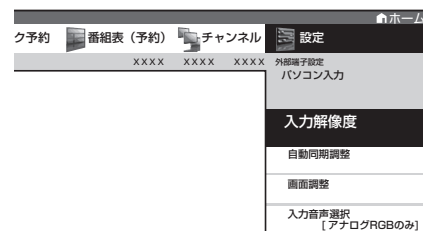
3 「外部端子設定」を選ぶ

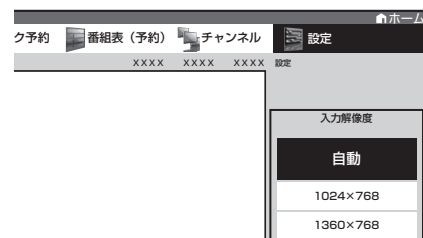
で選び
を押す

4 「パソコン入力」を選ぶ

で選び
を押す

5 「入力解像度」を選ぶ

で選び
を押す

6 入力解像度を選ぶ

で選び
決定
を押す

- 「自動」に設定しているときは、自動的に「1024x768」と「1360x768」の解像度を判別します。
- 垂直ライン数（非表示期間を含む）が特殊な一部の信号の場合は、解像度を正しく判別できないことがあります。
- 映像表示させた状態で正しい解像度を設定してください。設定後に映像表示させると、位置が大きくずれてしまうことがあります。この場合は、一度他の設定を選んだ後、再度正しい設定を選んでみてください。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

入力１～３に接続したパソコンの画面を調整する

- ホームメニューの「設定」－「（機能切換）」－「画面表示設定」－「画面位置」で設定します。詳しくは、「画面の位置がずれているときは（画面位置）」（▶ **108** ページ）をご覧ください。

おしらせ

- 画面の明るさや色の調整などについては「画面の明るさや色を変える（映像調整）」（▶ **114** ページ）をご覧ください。

パソコンの音声入力端子を設定する（入力音声選択）

- 入力２（HDMI）にパソコンを接続してアナログ音声入力端子を使用する場合や、入力７（アナログ RGB）にパソコンを接続してアナログ音声入力使用する場合の設定です。
- 「設定」－「(機能切換)」－「外部端子設定」－「モニター音声出力」（▶ **196** ページ）が「モニター音声出力（固定）」、「モニター音声出力（可変 1）」または「モニター音声出力（可変 2）」に設定されているときは、「入力音声選択」は選択できません。
- 入力２または入力７に切り換えてから設定を行ってください。

1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

を押し
で選ぶ

2 (機能切換）を選ぶ

で選ぶ

3 「外部端子設定」を選ぶ

で選び

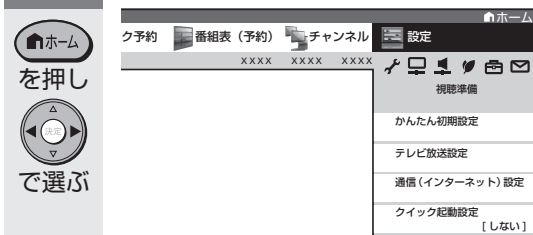
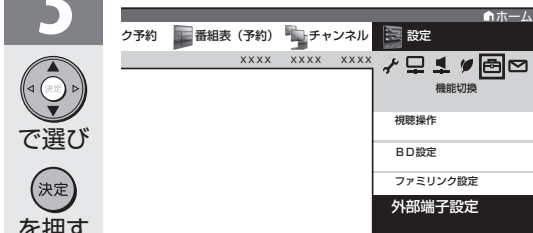
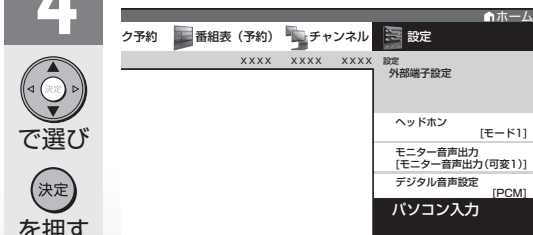
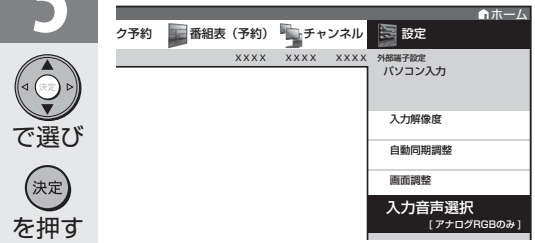
を押す

4 「パソコン入力」を選ぶ

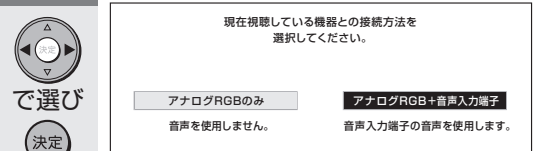
で選び
決定
を押す

5 「入力音声選択」を選ぶ

で選び

を押す

6 現在視聴している機器との接続方法を選ぶ

で選び

を押す

- パソコン（PC）を接続した端子により、選べる項目が異なります。

入力２選択時

項目	内容
HDMI のみ	HDMI ケーブルを使って入力２（HDMI）に接続し、HDMI から音声が入力される場合
HDMI ＋ 音声入力端子	HDMI ケーブルまたは DVI/HDMI 変換ケーブルを使って入力２（HDMI）に接続し、ミニプラグからアナログ音声を入力する場合

入力７選択時

項目	内容
アナログ RGB のみ	アナログ RGB ケーブルを使って入力７（PC）に接続し、音声を使用しない場合
アナログ RGB+ 音声入力端子	アナログ RGB ケーブルを使って入力７（PC）に接続し、ミニプラグからアナログ音声を入力する場合

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

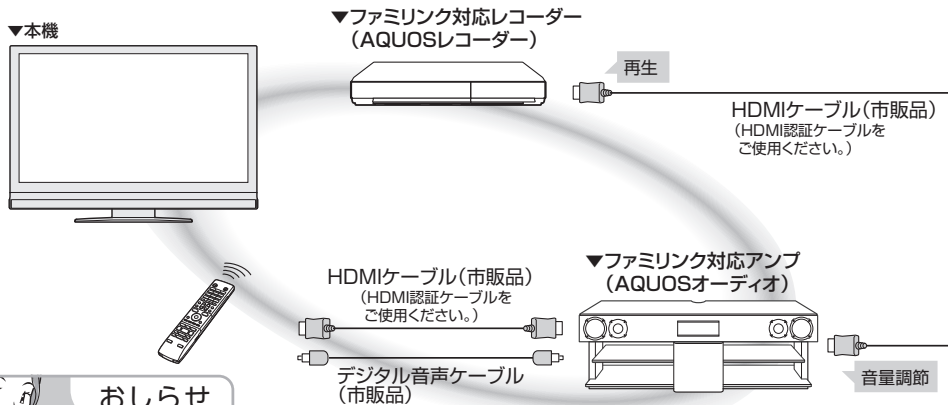
- 「入力音声選択」で「HDMI ＋音声入力端子」を選択した場合は、通常の HDMI 対応機器をアナログ音声を接続せずに HDMI ケーブルで接続しても音は出ません。（アナログ音声用の接続が必要です）
  通常の HDMI 対応機器を HDMI ケーブルのみで接続する場合は「入力音声選択」を「HDMI のみ」に戻してください。

ファミリンクを使うための準備をする

ファミリンクについて

● HDMI端子は、映像や音声信号だけでなく、HDMIケーブルを介して機器間を制御するコントロール信号もやり取りすることができます。この相互に機器間を制御できる規格—HDMI CEC (Consumer Electronics Control)—を使ってシャープ製の液晶テレビやレコーダー、AVアンプなどを相互に制御しスムーズに連携できるようにしたのが、ファミリンクです。

本機に、ファミリンクに対応したレコーダー(AQUOSレコーダー)やAVアンプ(AQUOSオーディオ)をHDMI認証ケーブルで接続すると、本機のリモコンまたはレコーダーに付属のリモコンで、下記の連動操作が楽しめます。

- テレビで見ている番組をワンタッチ録画
- テレビの電子番組表で録画予約
- 録画した番組をワンタッチ再生
- BD録画ができないときはファミリンク録画

おしらせ

- ファミリンクの対応機種についてはSHARP webページ内のAQUOSサポートステーション「他の機器と接続するときは→AQUOSファミリンクについて(対応機種)」をご覧ください。
  AQUOS サポートステーション
  http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html
- 本機のリモコンでファミリンクを使う場合には、本機に向けて操作してください。AQUOSレコーダーやAQUOSオーディオは直接リモコン信号を受信しません。
- 本機にはi.LINK端子はありません。そのため、ハイブリッドダブレコ機能搭載のAQUOSレコーダーと接続したときi.LINK録画(2番組同時録画)は働きません。

ファミリンクを使うには

最初に、
- 接続(▶206ページ)
- 本機の設定(▶207ページ)
- 接続する機器の設定

を行ってください。

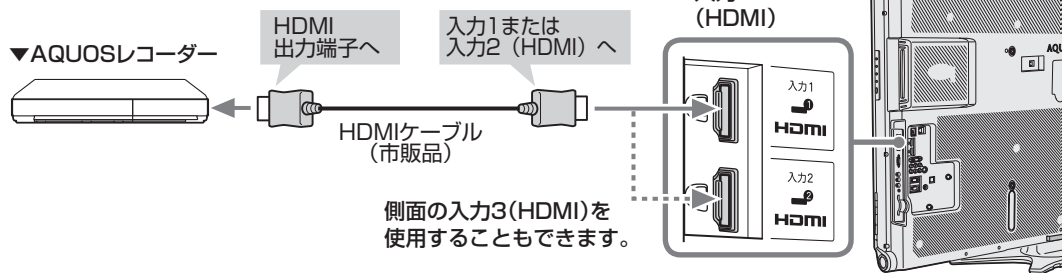
● AQUOSレコーダー側の設定も必要です。機器に付属の取扱説明書をご覧の上、設定を行ってください。

ファミリンク対応機器のつなぎかた

- 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。
- ファミリンクで操作できる AQUOS レコーダーは3台までです。
- HDMI ケーブルは必ず市販の HDMI 規格認証品（カテゴリー 2 推奨）をご使用ください。規格外のケーブルを使用した場合、映像が映らない、音が聞こえない、ファミリンクが動作しないなど、正常な動作ができません。
- 下記に示した接続方法以外で接続した場合には、正しく動作しないことがあります。

重 要

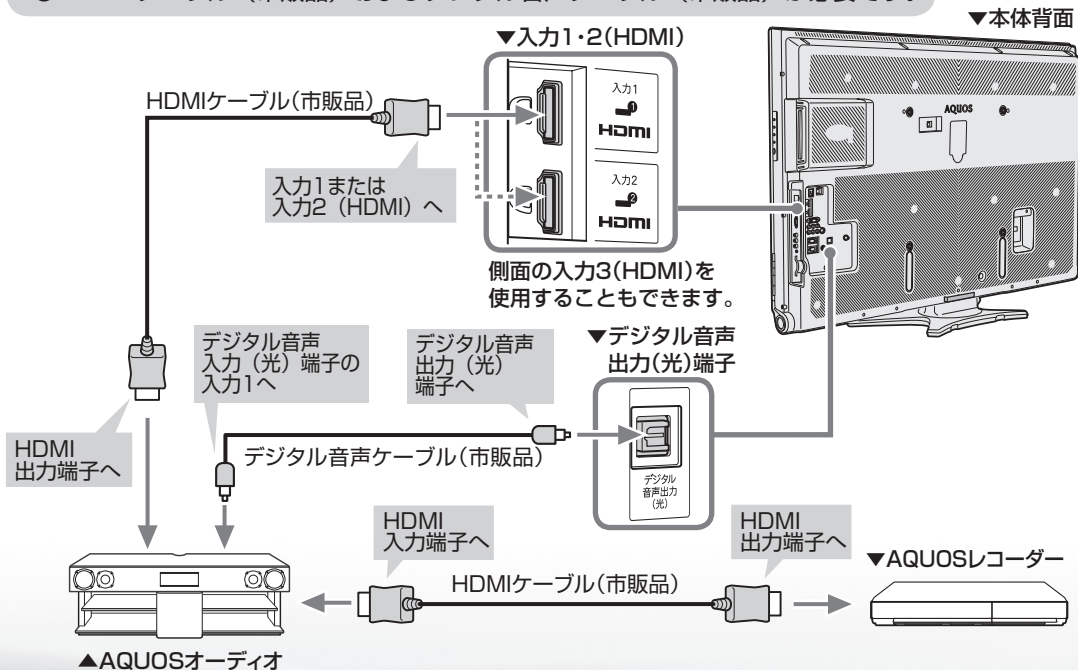
- ケーブルを抜き差ししたり接続方法を変えた場合は、すべての機器の電源を入れた状態で本機の電源を入れ直し、本機の入力を入力 1・2・3 に切り換えて映像と音声が正しいことを確認してください。

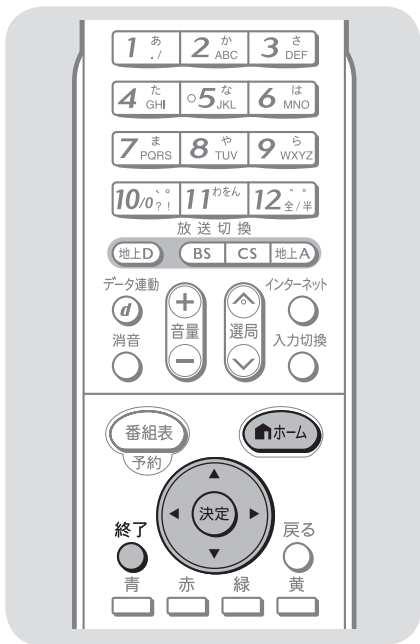
本機と AQUOS レコーダーをつなぐ

- 1080p の映像信号を入力するときは、HIGH SPEED（カテゴリー 2）に対応したHDMI ケーブルをお使いください。

● HDMI ケーブル（市販品）が必要です。

AQUOS オーディオを同時につなぐとき

- 1080p の映像信号を入力するときは、HIGH SPEED（カテゴリー 2）に対応したHDMI ケーブルをお使いください。

● HDMI ケーブル（市販品）およびデジタル音声ケーブル（市販品）が必要です。

ファミリンク機能を使うための設定をする

- 以下の設定をしないと、ファミリンクの連動機能などが働きません。
- 本機に付属のリモコンでも操作できます。

ファミリンク対応機器から本機を自動で起動する

- 「連動起動設定」を「する」に設定すると、ファミリンク対応機器を操作したときに、電源待機状態にある本機を自動的に電源が入ります。

1 ホームメニューから「リンク操作」を選ぶ

ホーム を押し
決定 で選ぶ

2 「ファミリンク設定」を選ぶ

で選び
決定 を押す

3 ①「連動起動設定」を選ぶ
②「する」を選ぶ

で選び
決定 を押す

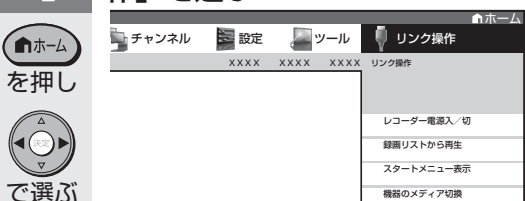
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

- 「設定」－「(機能切換)」－「ファミリンク設定」－「連動起動設定」を選んでも設定することができます。

レコーダーの接続時に、録画を行う機器を選ぶ

- AQUOS レコーダーを本機に接続している場合は、「録画機器選択」で、リモコンふた内のファミリンク部の録画ボタンを押したときに録画を行うファミリンク対応レコーダーを設定します。

1 ホームメニューから「リンク操作」を選ぶ

ホーム を押し
決定 で選ぶ

2 「ファミリンク設定」を選ぶ

で選び
決定 を押す

次のページに続く

3

で選び

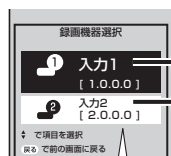
決定を押す

①「録画機器選択」を選ぶ
②リモコンふた内のファミリンク部の録画ボタンを押したときに録画する機器を選ぶ

・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

・「設定」－「(機能切換)」－「ファミリンク設定」－「録画機器選択」を選んでも設定することができます。

おしらせ

AQUOS オーディオを接続しているときの設定画面について

下図のように本機とレコーダーの間にAQUOSオーディオなどを接続した場合は､「(サブ)」と表示されます。

接続位置を数字コードで表示

一般の HDMI 機器が誤作動するときは

● ファミリンクに対応していない機器をつないでいるときに、その機器の電源が勝手に入ったりチャンネルが変わってしまう場合は、「しない」に設定してください。

重 要

・ファミリンク機能を使うときは、「ファミリンク制御（連動)」を「する」に設定します。「しない」に設定すると、ファミリンク機能が無効になります。

1

を押し

で選ぶ

ホームメニューから「リンク操作」を選ぶ

2

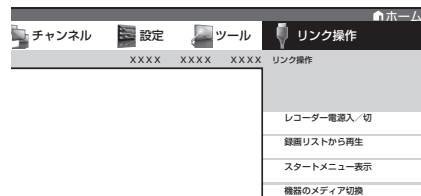
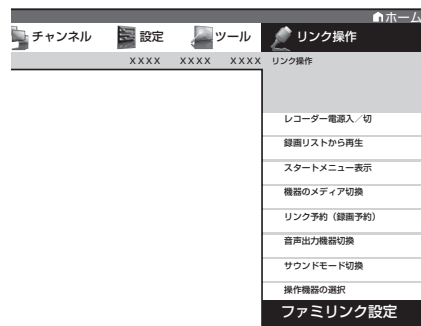
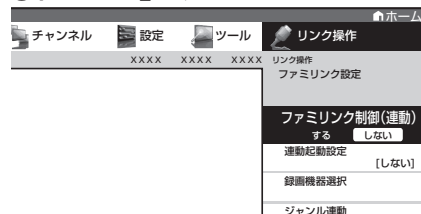
で選び

を押す

「ファミリンク設定」を選ぶ

3

で選び

決定を押す

①「ファミリンク制御（連動)」を選ぶ
②「しない」を選ぶ

・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

・「設定」－「(機能切換)」－「ファミリンク設定」－「ファミリンク制御（連動)」を選んでも設定することができます。

本機のリモコンでAQUOSレコーダーの選局などの操作をできるようにする

- 次の操作が本機のリモコンで行えます。
  - 選局ボタンと数字ボタン（チャンネルボタン）の 1 〜 10 で選局の操作ができます。
  - 番組表ボタンで番組表を表示できます。
  - 番組情報ボタンで番組情報を表示できます。
  - データ連動ボタンで連動データ放送を表示できます。
  - 番組情報ボタン、番組表ボタン、データ連動ボタンは、接続している機器によっては操作できない場合があります。
- この設定は、入力端子ごとに設定されます。

1 ホームメニューから「リンク操作」を選ぶ

を押し

で選ぶ

2 「ファミリンク設定」を選ぶ

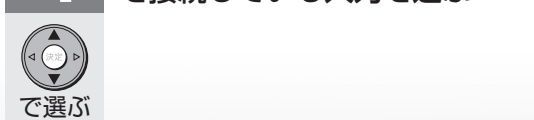
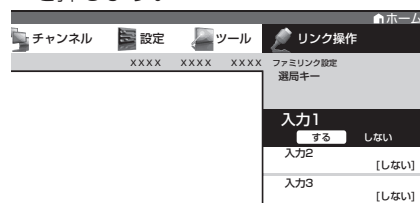
3 「選局キー」を選ぶ

4 本機のリモコンで操作する機器を接続している入力を選ぶ

で選ぶ

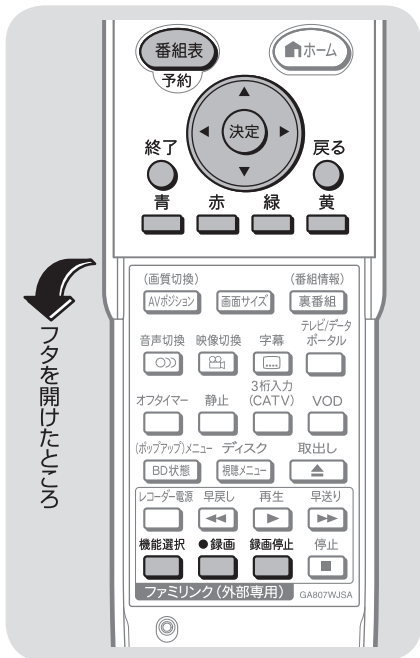
5 「する」を選ぶ

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

で選び
決定
を押す

おしらせ

- 「設定」－「（機能切換）」－「ファミリンク設定」－「選局キー」を選んでも設定することができます。

本機から AQUOS レコーダーの電源を入／切するには

- ホームメニューから「リンク操作」－「レコーダー電源入／切」を選ぶと、AQUOS レコーダーの電源を入／切できます。

ファミリンクで使う

フタを開けたところ

重要

ファミリンクで録画を行う前にAQUOS レコーダー側の録画準備が必要です。

次のことなどを確認します。

- 本機と AQUOS レコーダーをつないでいますか。
- B-CAS カードが挿入されていますか。
  有料放送を録画するときは、有料放送の受信契約時に登録したB-CASカードが、AQUOSレコーダーに挿入されていることを確認してください。
- アンテナが接続されていますか。
- 録画メディア（HDD、BD、DVD など）に空き容量がありますか。
- 本機のホームメニューの「リンク操作」−「ファミリンク設定」−「録画機器選択」で録画機器をつないでいる入力を選んでいますか。
  (▶ **207** ページ)
  初期設定では入力 1 に接続したレコーダーに録画する設定になっています。

見ている番組をすぐに録画する（ワンタッチ録画）

●録画 を押す

録画したい番組の視聴中に録画ボタンを押す

- 「録画機器選択」（▶ **207** ページ）で選択した AQUOS レコーダーのチャンネルが、本機で視聴中のチャンネルに切り換わり、AQUOS レコーダーに録画を開始します。
- お使いの AQUOS レコーダーによっては、録画終了時刻が表示されます。表示された時刻になると自動的に録画が停止されます。
- **録画終了時刻が表示されない AQUOS レコーダーの場合は**
  手動で録画の停止が必要です。録画したい番組が終わったら 録画停止 で録画を停止してください。

おしらせ

- 「録画機器選択」（▶ **207** ページ）で選択した AQUOS レコーダーで受信した放送を視聴しているときは、視聴している AQUOS レコーダーに録画を開始します。
- 「録画機器選択」（▶ **207** ページ）で選択した AQUOS レコーダー以外で受信した放送を視聴しているときや、他の外部入力を視聴しているときは、録画ボタンを押しても録画できません。

AQUOSレコーダーの再生・録画するメディア(HDD/DVDなど)を切り換える

1 機能選択 を押す

ファミリンク機能選択メニューを表示する

- ホームメニューから「リンク操作」を選んでも表示できます。

2

で選び 決定 を押す

「機器のメディア切換」を選ぶ

3

を押す

レコーダーのメディアの種類（「HDD」や「BD/DVD」、「DVD」など）を選ぶ

- AQUOS レコーダー側の操作したい録画メディアを選びます。
- 「機器のメディア切換」で 決定 を押すごとに、メディアが順次切り換わります。メディアが正しく切り換わったかどうかは、レコーダー側の表示をご確認ください。

AQUOS レコーダーに録画予約する

本機の電子番組表で予約録画するには

● 本機の電子番組表から接続している AQUOS レコーダーに予約録画できます。

1 AQUOS レコーダー側の準備をする

- 本機とAQUOSレコーダーを接続します。
- HDD に録画する場合は、HDD の残量を確認します。
- 有料放送を録画するときは、有料放送の受信契約時に登録した B-CAS カードが、AQUOS レコーダーに挿入されていることを確認してください。

2 電子番組表を表示する

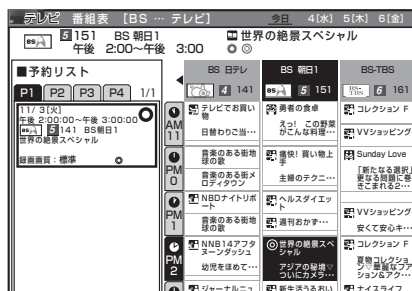
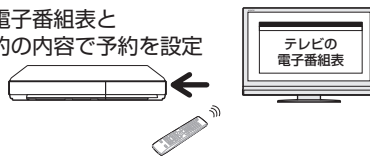
を押す

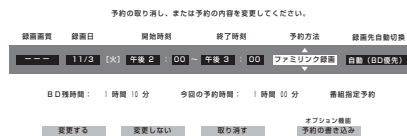
3 予約したい番組を選ぶ

で選び
を押す

- ジャンルや日時を指定して番組を選ぶこともできます。（▶ **95** ページ）

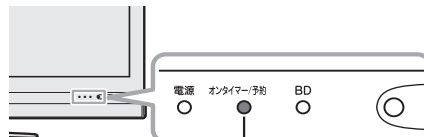
4 もう一度同じ番組を選ぶ

で選び
を押す

- 黄 を押して予約リストの中から選ぶことも可能です。

5 ①「予約方法」で「ファミリンク録画」を選ぶ ②「変更する」で決定する

で選び
決定 を押す

- 機器が利用できない場合は選択できません。
- 表示されている接続機器と違う機器に録画したい場合は、予約設定後に録画機器選択（▶ **207** ページ）を行ってください。
- AQUOS レコーダー側で設定した予約と日時が重複している場合は、「AQUOS レコーダーで日時の重なる番組が予約されていますので、レコーダーの予約が優先されます。」と表示されます。今選んでいる番組を予約したい場合は、AQUOS レコーダーの予約を取り消してください。

6 「戻る」で決定する

決定 を押す

- 電子番組表画面に戻ります。
- 予約が設定され、本体前面右下のオンタイマー／予約ランプが点灯します。

オンタイマー／予約ランプ

- テレビ側番組表でのファミリンク予約録画中は、テレビの主電源を切らないでください。テレビの主電源を切ると、録画停止してしまいます。

録画エラーのメッセージが出たときは、▶310ページをご覧ください。

次のページに続く

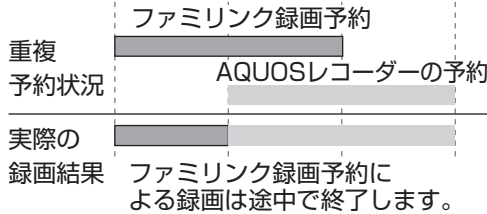
重 要

ファミリンクで予約録画するときのご注意

- 録画予約状態を解除すると、レコーダーの録画が停止して、電源が切れます。
- AQUOS レコーダーで日時の重なる番組が予約されている場合は、レコーダー側の予約が優先されます。

（例）　7:00　7:30　8:00　8:30

重複予約状況：ファミリンク録画予約／AQUOSレコーダーの予約

実際の録画結果：ファミリンク録画予約による録画は途中で終了します。

- レコーダー側の予約を取り消すと、本機でファミリンク予約録画した番組が録画されます。
- 番組の放送時間が延長された場合、録画の終了時刻が延長されるかは、お使いの AQUOS レコーダーによって異なります。
  詳しくは、SHARP web ページ内の AQUOS サポートステーション「他の機器と接続するときは→ AQUOS ファミリンクについて（対応機種）」をご覧ください。
  AQUOS サポートステーション
  http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html
- 録画予約した番組が開始する 2 分前から番組が開始する直前まで、選局や番組表などの操作はできません。
  ※番組によっては終了時刻が未定の場合もあります。このときは、番組の終了時刻が決定するまで、選局や番組表などの操作はできません。

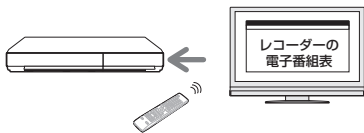
おしらせ

- 予約の確認・取り消し・変更については ▶ **146** ページをご覧ください。

AQUOS レコーダーの電子番組表で予約録画するには

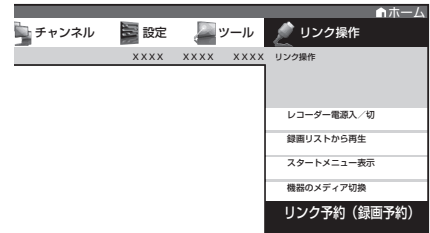
AQUOS レコーダーの電子番組表を呼び出して予約

1 ファミリンク機能選択メニューを表示する

機能選択 を押す

- ホームメニューから「リンク操作」を選んでも表示できます。

2 「リンク予約(録画予約)」を選ぶ

で選び

を押す

- ホームメニューから「リンク予約」を選んでも表示できます。
- 表示されたレコーダーを選択すると、レコーダー側の番組表が表示されます。

3 予約したい番組を選び、録画予約の操作をする

- レコーダー側の番組表は本機のリモコンの

で操作します。（詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。）

AQUOS レコーダーのスタートメニューを表示する

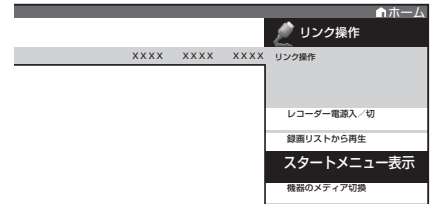
- AQUOS レコーダーのセットアップメニューなどを表示することができます。表示される内容は AQUOS レコーダーによって異なります。

1 ファミリンク機能選択メニューを表示する

機能選択 を押す

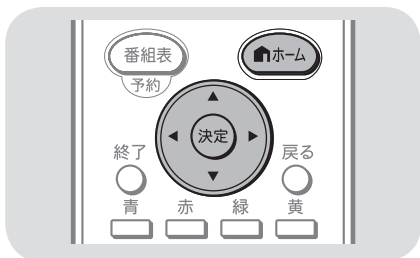
2 「スタートメニュー表示」を選ぶ

で選び

決定 を押す

- AQUOS レコーダーのスタートメニューが表示されます。
- AQUOS レコーダーの状態（録画中、電源待機中）によっては正しく表示されない場合があります。

- スタートメニューを表示できる AQUOS レコーダーの対応機種については、SHARP web ページ内の AQUOS サポートステーション「他の機器と接続するときは→ AQUOS ファミリンクについて（対応機種）」をご覧ください。
  AQUOS サポートステーション
  http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

本機でBD録画ができないときに自動でファミリンク録画に切り換える（録画先自動切換）

● BD 録画準備中にディスクの状態をチェックし、BD 録画ができない場合は自動的にファミリンク機器が起動し、代理録画を行います。

録画先自動切換を設定する

重 要

- 本機とファミリンク機器（レコーダー）の登録チャンネルを合わせておく必要があります。
- ファミリンク機器（レコーダー）側の録画メディア（HDD、BD、DVD など）の残時間によっては、代理録画ができない場合があります。あらかじめ、ファミリンク機器（レコーダー）側の録画メディア（HDD、BD、DVD など）の残時間をご確認ください。

1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

を押し　で選ぶ

2 （機能切換）を選ぶ

で選ぶ

3 「BD 設定」を選ぶ

で選び　を押す

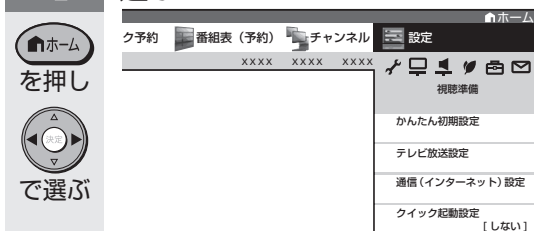
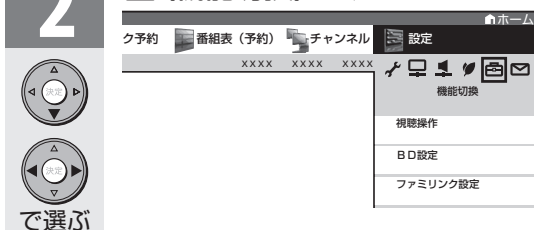
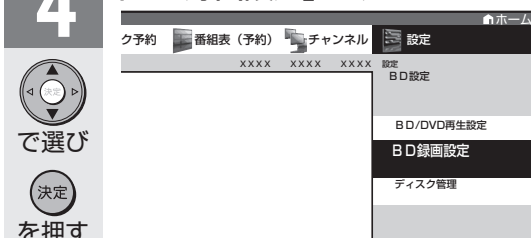
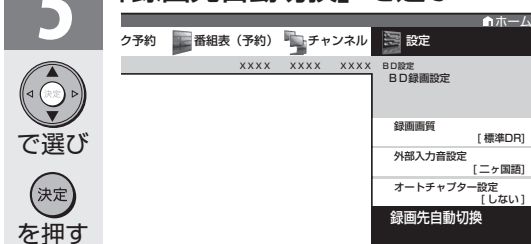
4 「BD 録画設定」を選ぶ

で選び

を押す

5 「録画先自動切換」を選ぶ

で選び

を押す

6 「自動（BD 優先）」「常時両方」「しない」のいずれかを選ぶ

で選び

を押す

項目	内容
自動（BD 優先）	DX2 で録画ができない状態のときに、自動でファミリンク録画に切り換えます。
常時両方	本機とファミリンク機器での録画を常に両方で行います。
しない	録画先自動切換を行いません。

おしらせ

- 次のような場合は、録画先自動切換は行われず、BD 録画失敗のレポートが作成されます。
  - ファミリンク接続された機器がない。
  - BD 録画とファミリンク機器の予約録画が重複していた。
  - ファミリンク機器が応答しない。

次のページに続く

録画予約時の設定

1 211 ページの手順 1 ～ 4 を行う

2 「録画先自動切換」で「自動（BD優先）」を選ぶ

で選ぶ

予約の取り消し、または予約の内容を変更してください。

録画画質	録画日	開始時刻	終了時刻	予約方法	録画先自動切換
標準(DR)	11/3 ［火］	午後 2 ： 00 ～	午後 3 ： 00	ＢＤ録画	自動（BD優先）

ＢＤ残時間： 1 時間 10 分　今回の予約時間： 1 時間 00 分　番組指定予約

本機のBDの状態	BD録画	ファミリンク録画
BD録画不可（ディスク無、再生専用など）	録画しない	録画開始
BD録画不可（容量不足）	途中まで録画	録画開始
BD録画可能	録画開始	録画しない

- 「常時両方」を選ぶと常にファミリンク録画が同時に行われます。

3 「変更する」を選ぶ

で選び

を押す

おしらせ

- 「録画日」「開始時間」「終了時間」を変更すると、日時指定予約に変更されます。

4 「戻る」で決定する

を押す

［ＢＳテレビ番組の予約設定］

予約方法：ＢＤ録画
録画画質：標準（DR）
録画先自動切換：自動（BD優先）
11月 3日［火］午後 2：00～午後 3：00

この番組をＢＤ録画予約しました。

戻る

AQUOS レコーダーを再生する

最後に録画した番組を AQUOS のリモコンで再生する（ワンタッチプレー）

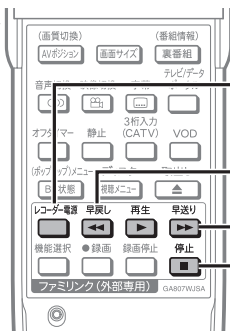
- 本機のリモコンでHDMI 接続したAQUOS レコーダーを操作できます。

再生 ► を押す

録画した番組を再生する

- 最後に再生または録画した番組が再生されます。
- 録画した番組の中（録画リスト）から見たい番組を選んで再生したいときは、ファミリンク機能選択メニューから「録画リストから再生」を選びます。

再生中の操作について

- ファミリンクで再生しているときは、リモコンふた内のファミリンクボタンで次の操作が行えます。

録画リストから再生する

- 本機のリモコンを使って、本機と HDMI 接続した AQUOS レコーダーの録画リストから見たい番組を再生します。
- あらかじめ「ファミリンク設定」の「連動起動設定」を「する」に設定します。（▶ **207** ページ）

1 ファミリンク機能選択メニューを表示する

機能選択 を押す

- ホームメニューから「リンク操作」を選んでも表示できます。

2 「録画リストから再生」を選ぶ

で選び

を押す

ホーム
リンク操作
XXXX　XXXX　XXXX　リンク操作
レコーダー電源入／切
録画リストから再生
スタートメニュー表示

- AQUOS レコーダーの電源が入り、本機の入力が切り換わります。
- AQUOS レコーダーの録画リストが表示されます。

3 再生したい番組（タイトル）を選び再生する

で選び

再生 ▶ を押す

・ 録画リストは本機のリモコンの

で選択などの操作ができます。
・ 選んだ番組が再生されます。
・ 停止したいときは、停止■を押します。
・ 停止したときは、切り換わった入力のままです。

おしらせ

・ AQUOSレコーダーがDVDモードになっていてDVDビデオなどの録画リストがないディスクがセットされている場合、録画リストは表示されません。
ファミリンク機能選択メニューから「機器のメディア切換」を選んで、AQUOSレコーダーのモードを切り換えてください。

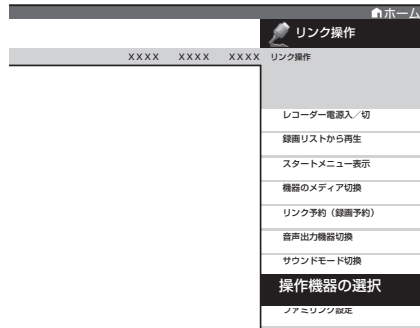
視聴する HDMI 対応のレコーダー（録画機器）を選ぶ

● 複数のHDMI 機器を接続している場合、視聴したいHDMI 機器を選ぶことができます。

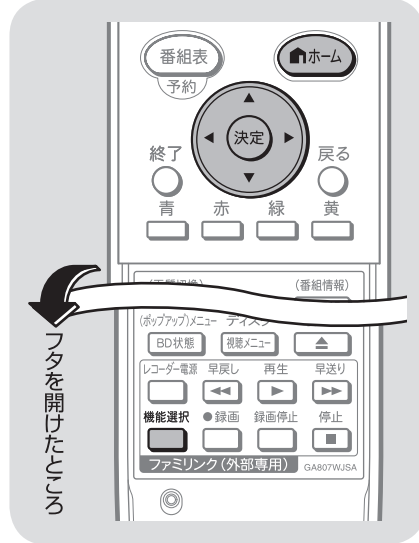
1 ファミリンク機能選択メニューを表示し、「操作機器の選択」を選ぶ

機能選択 を押し

で選び

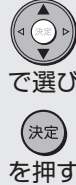
を押す

・ ホームメニューから「リンク操作」－「操作機器の選択」を選んでも表示できます。
・「操作機器の選択」で 決定 を押すたびに、接続されている機器を順次切り換えていきます。（ファミリンクに対応していない機器は、本機に直接接続されていない場合は選択することはできません。）

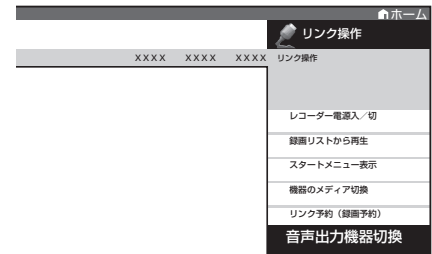
AQUOS オーディオで聞く

● AQUOS オーディオからのみ音声を出力できます。

1 ファミリンク機能選択メニューを表示する

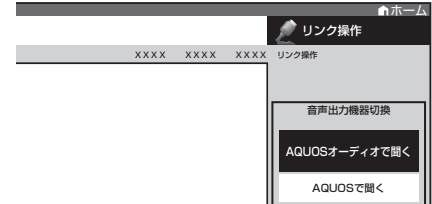
機能選択 を押す

・ ホームメニューから「リンク操作」を選んでも表示できます。

2「音声出力機器切換」を選ぶ

で選び

決定 を押す

3「AQUOS オーディオで聞く」を選ぶ

で選び

を押す

・ 本機の音声が停止し、AQUOS オーディオからのみ音声が出力されます。
・ 画面中央に「ファミリンク接続された AQUOS オーディオから音声を出力します。」と表示されます。
・ 本機のリモコンで AQUOS オーディオの音量調整、消音、音声切換の操作ができます。

次のページに続く

本機からの音声出力に戻したいときは

機能選択ボタンを押し、上下カーソルボタンで「音声出力機器切換」を選び「AQUOS で聞く」を選びます。

おしらせ

- AQUOS オーディオを接続していないときは、「AQUOS オーディオで聞く」は選べません。

「AQUOS オーディオで聞く」に設定中のご注意

- モニター音声出力（▶ **196**ページ）を「モニター音声出力（可変 1）」または「モニター音声出力（可変 2）」に設定しているときは、モニター音声出力の音声が停止します。
- 本機のメニューの「設定」－「音声調整」の設定はできません。

番組内容に適した音に切り換える

番組のジャンルに適したサウンドモードに自動切換する

● デジタル放送のジャンル情報に従って、AQUOS オーディオを適切なサウンドモードに切り換えられます。

1 ホームメニューから「リンク操作」を選ぶ

ホームを押し　で選ぶ

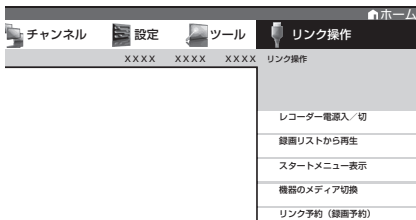
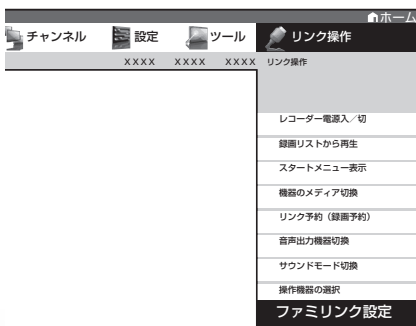
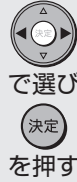
2 「ファミリンク設定」を選ぶ

で選び　決定を押す

3 「ジャンル連動」を選ぶ

で選ぶ

4 「する」を選ぶ

で選び　決定を押す

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

- 地上アナログ放送やDVD映像はジャンル情報がないので、「サウンドモード切換」で手動で切り換えます。
- サウンドモードについて詳しくは AQUOS オーディオの取扱説明書をご覧ください。

手動でサウンドモードを切り換える

● AQUOS オーディオのサウンドモードを手動で切り換えます。

1 ファミリンク機能選択メニューを表示する

機能選択を押す

- ホームメニューから「リンク操作」を選んでも表示できます。

2 「サウンドモード切換」を選ぶ

- 「サウンドモード切換」で決定ボタンを押すごとに、サウンドモードが順次切り換わります。

で選び　決定を押す

本機をさらに活用する

インターネットを楽しむ

インターネットで番組を楽しむ

写真を見る・音楽を聴く

視聴できる番組や操作を制限する

暗証番号を忘れたときは

- 受信契約されている、有料放送の放送局（WOWOW やスターチャンネルなど）までご連絡ください。放送局で暗証番号を消去します。
  暗証番号の消去には手数料がかかります。（2009 年 7 月現在）

暗証番号を変更するときは

①ホームメニューから「設定」ー「（視聴準備）」ー「各種設定」ー「暗証番号設定」を選ぶ
- 暗証番号入力画面が表示されます。

②数字ボタン（チャンネルボタン）で、暗証番号を入力する
- 暗証番号を入力すると、暗証番号を設定するときの画面になります。暗証番号を設定するときと同じ要領で設定をやり直してください。

暗証番号を設定し、視聴を制限する

- 視聴する人の年齢制限など、各種の制限を設定できます。これらの制限を設定するときや変更するときに、暗証番号を使います。

暗証番号設定

1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

ホーム を押し　で選ぶ

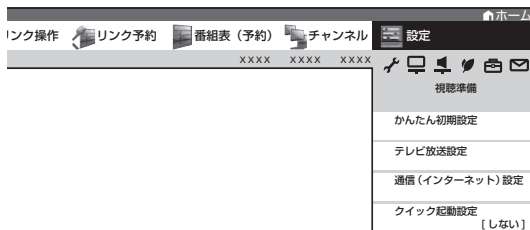
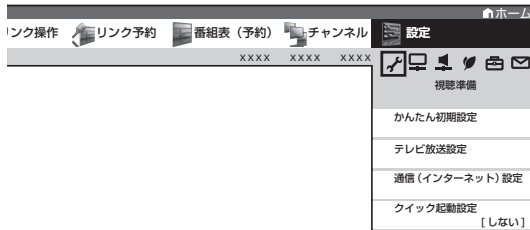
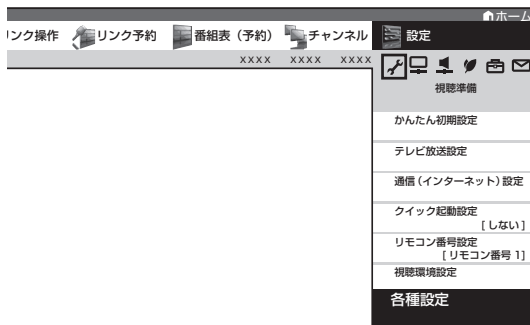
2 （視聴準備）を選ぶ

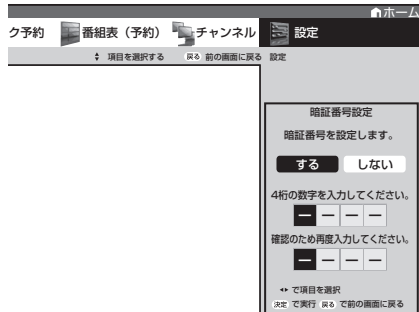
で選ぶ

3 「各種設定」を選ぶ

で選び　決定 を押す

4 「暗証番号設定」を選ぶ

で選び　決定 を押す

5 「する」を選ぶ

で選び
を押す

- 暗証番号を設定している状態で、「しない」を選んだ場合、確認の画面が表示されます。
  「する」を選ぶと、暗証番号が消去され「視聴年齢制限設定」「ネットサービス制限設定」「視聴制限レベル」「BE-LIVE 用プロキシサーバー設定」が初期化されます。

6 4桁の暗証番号を入力する

で入力

- 「0」を入力したい場合は10/0を押します。
- 暗証番号は必ずメモしてください。

7 確認のため、再度同じ暗証番号を入力する

で入力

- 間違った番号を入力した場合は、手順 6 からやり直してください。

8 「確認」で決定する

を押す

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

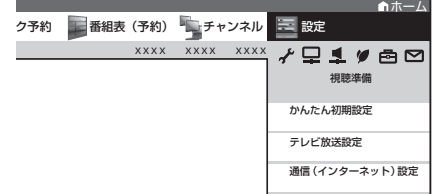
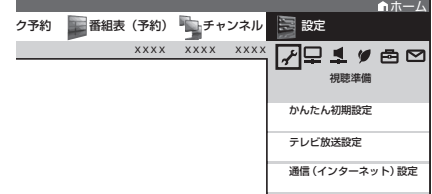
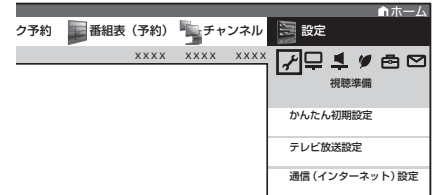
おしらせ

- ディスク動作中（再生、録画、ディスク読み込み中）などは、暗証番号設定の消去ができません。

視聴年齢制限設定

- 年齢制限のある番組の視聴を 4 ～ 20 歳の範囲で制限します。
- この設定をするには、暗証番号設定（▶ **218** ページ）が必要です。

- IPTV の成人向けチャンネルやコンテンツを視聴するためには、視聴年齢制限設定が必要です。視聴年齢制限を「20 歳」または「無制限」に設定すると、電子番組表などに成人向けチャンネルが表示されます。

1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

を押し
で選ぶ

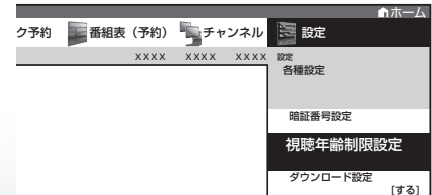
2 （視聴準備）を選ぶ

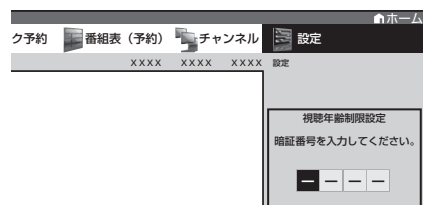
で選ぶ

3 「各種設定」を選ぶ

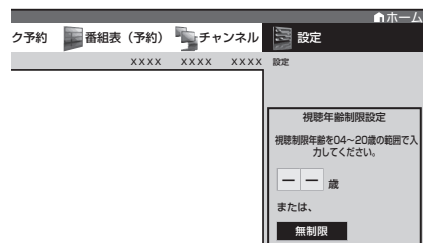
で選び
を押す

4 「視聴年齢制限設定」を選ぶ

で選び
を押す

次のページに続く

5 暗証番号を入力する

1～10 で入力

6 年齢の入力欄を選ぶ

- 制限しない場合は「無制限」を選び、決定ボタンを押します。

で選ぶ

7 制限する年齢の上限を入力する

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

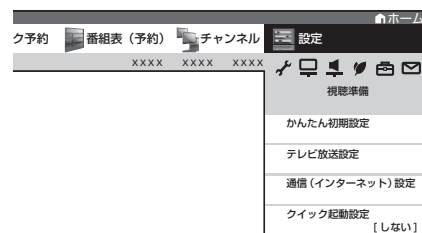
1～10 で入力し 決定 を押す

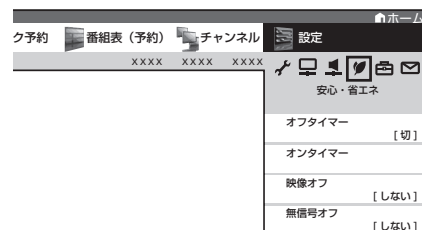
リモコンまたは本体の操作をロックする（チャイルドロック）

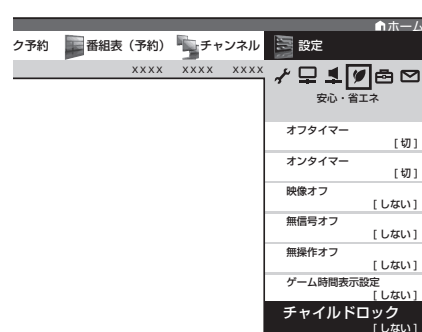
● リモコンまたは本体の操作をロックするよう設定できます。

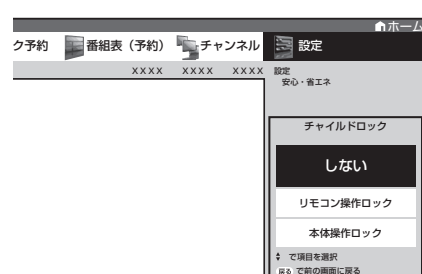
チャイルドロックの設定項目

項目	内容
しない	リモコンでも本体ボタンでも操作できます。
リモコン操作ロック	リモコンでの操作ができない状態にします。
本体操作ロック	本体ボタンでの操作ができない状態にします。（本体の電源スイッチはロックされません。）

1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

ホーム を押し で選ぶ

2 （安心・省エネ）を選ぶ

で選ぶ で選ぶ

3 「チャイルドロック」を選ぶ

で選び 決定 を押す

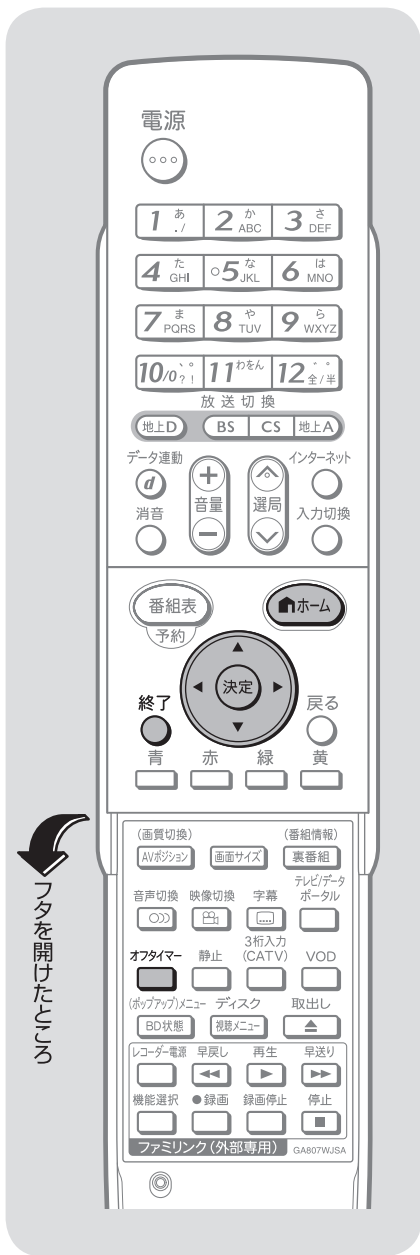
4 「しない」「リモコン操作ロック」「本体操作ロック」のいずれかを選ぶ

で選び 決定 を押す

おしらせ

- 誤ってリモコン操作をロックしてしまった場合は、本体の操作ボタンで上記の操作をし、ロックを解除してください。（▶ **32** ページ）

お子様などが誤って操作しても変わらないようにできます。

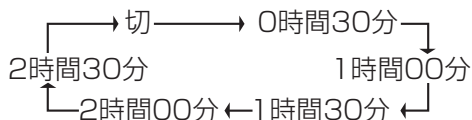
省エネの設定をする

フタを開けたところ

指定した時間後に電源を切る（オフタイマー）

- テレビを見ながらお休みになるときなどに便利です。

オフタイマー を押す

繰り返し押してオフタイマーを設定する

- 押すごとに次のように画面の表示が変わります。

- オフタイマーの残り時間が５分になると、残り時間が画面左下に表示されます。

おしらせ

ホームメニューからオフタイマー機能を設定することもできます

- 「ツール」−「タイマー機能」−「オフタイマー」を選びます。
- 「設定」 −「（安心・省エネ）」 −「オフタイマー」を選びます。
- オフタイマーを解除するには、「切」を選びます。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

オフタイマーの残り時間を確認するには

を押す

オフタイマーの残り時間を確認する

- オフタイマーがすでに設定されている場合は、オフタイマーの残り時間が表示されます。
- しばらくすると表示が消えます。
- 残り時間が表示されている間は、オフタイマーボタンを押さないでください。残り時間が変わってしまいます。

次のページに続く

放送終了後に電源を切る（無信号オフ）

● 放送終了後など､番組が映らない状態になると､約 15 分後に電源が切れるように設定できます｡

1 ホームメニューから｢設定｣を選ぶ

ホーム を押し　で選ぶ

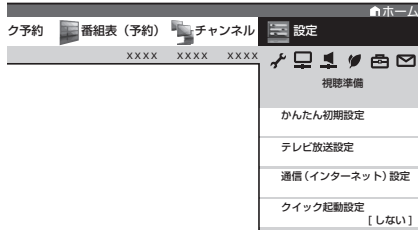
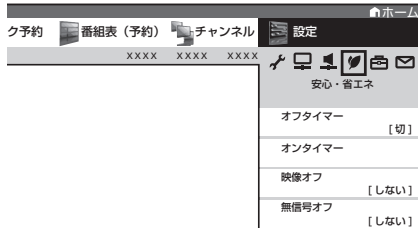
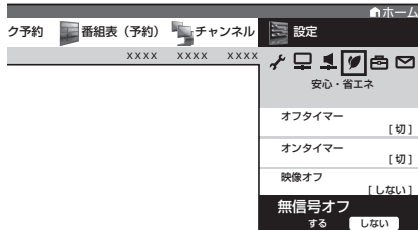
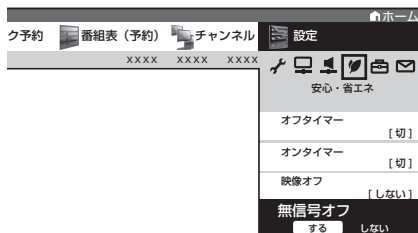
2 （安心・省エネ）を選ぶ

で選ぶ

3 「無信号オフ」を選ぶ

で選ぶ

4 「する」を選ぶ

で選び　決定 を押す

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。
- 電源が切れる 5 分前から画面左下に残り時間が表示されます。

無信号オフ機能について

- 工場出荷時は「しない」に設定されています。
- 放送が終了しても、他局の放送やその他の電波が混入するときや、ブルーバックなどのビデオ信号が入力されているときは、正しく動作しない場合があります。
- 放送電波の状態などにより、番組を見ているときに無信号オフ機能が働いて電源が切れる場合は、設定を「しない」にしてください。

操作しない状態のときに電源を切る（無操作オフ）

● 本機を操作しない状態が続くと、自動的に電源が切れるように設定できます。

1 ホームメニューから｢設定｣を選ぶ

ホーム を押し　で選ぶ

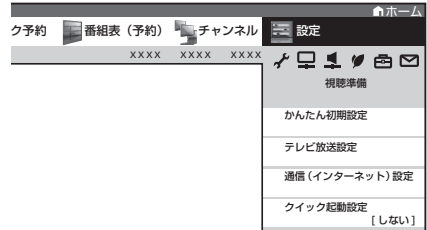
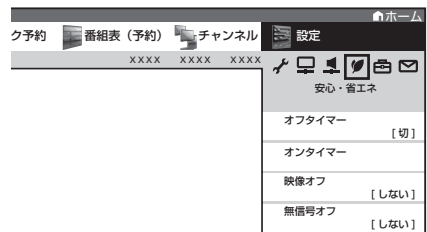
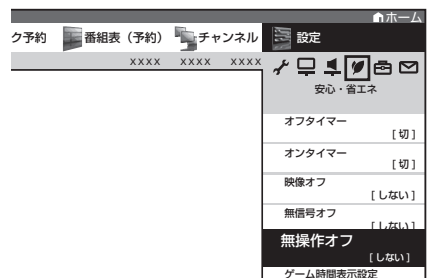
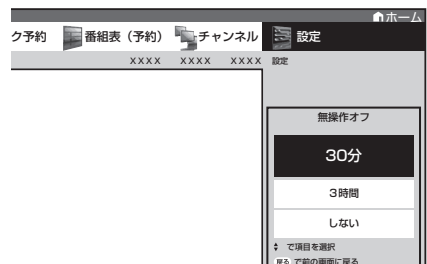
2 （安心・省エネ）を選ぶ

で選ぶ

3 「無操作オフ」を選ぶ

で選び　決定 を押す

4 「30 分」または「3 時間」を選ぶ

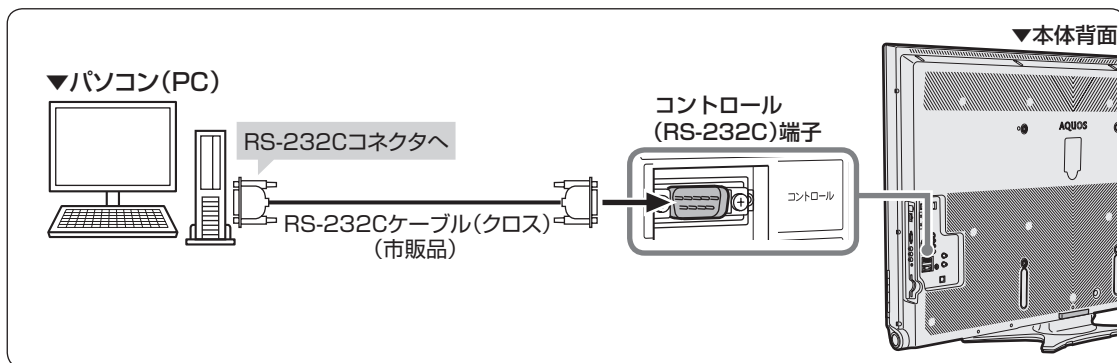
で選び　決定 を押す

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

- 工場出荷時は「しない」に設定されています。

パソコンで本機を操作する

パソコン（PC）を使い慣れたかたのご利用をお願いします。

接続のしかた

- ターミナルソフトなどを使って、チャンネル切換、音量調整、入力切換などの本機の操作ができます。

- パソコン側の RS-232C 通信仕様を、本機の通信仕様に合わせてください。
- 本機の仕様は、右のとおりです。

ボーレート	9600bps
データ長	8ビット
パリティ	なし
ストップビット	1 ビット
フロー制御	なし

通信のしかた

- パソコンから RS-232C コネクタを通じて、制御コマンドを送信します。本機は、送られたコマンドに応じて動作し、レスポンスメッセージをパソコン側に送ります。
- 複数のコマンドを同時に送信しないでください。正常時の戻り値(OK)を受け取ってから、次のコマンドを送信するようにしてください。

コマンド(パソコンから本機へ)

レスポンス(本機からパソコンへ)

・正常時

・異常発生時(通信エラーまたはコマンドに誤りがあったとき)

O K ⏎ 　　 E R R ⏎

リターンコード(ODH)　　リターンコード(ODH)

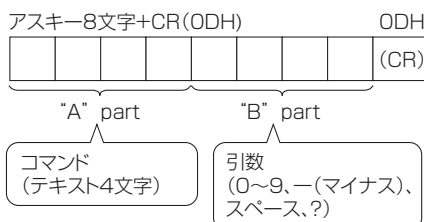
戻り値について

- コマンドの実行が終了したら、次の戻り値を返します。

O K (CR)

- コマンドが実行できなかったり、コマンド表になかったりした場合は、次の戻り値を返します。

E R R (CR)

コマンドと引数について

- "B" part は左詰めで入力し、残りはスペースで埋めます。(必ず 4 文字にしてください。) 設定可能範囲外の場合、「ERR」が返ります。

- 次ページのコマンド一覧で引数が「ー」になっているものは、「0」~「9」、「ー」(マイナス)、スペース、「?」であれば何を書いてもかまいません。
- いくつかのコマンドは、引数に「?」を与えることにより、現在の設定値を返します。

次のページに続く

RS-232C コマンド一覧

●下の表に掲載されている以外のコマンドについては動作保証範囲外です。

機　能		"A"part	"B"part	Part動作説明	備　考
電源		POWR	0		スタンバイへ移行
入力切換	トグル	ITGD	–※1	（トグル）	トグルで入力切換（入力切換ボタンと同じ）
	テレビ	ITVD	–		テレビに入力切換（チャンネルはそのまま[ラストメモリー]）
	入力1～7	IAVD	1～7※1	（入力端子番号）	入力1～入力7に入力切換
	放送切換（デジタル）	IDEG	–	（トグル）	デジタル放送のネットワーク切換
チャンネル切換	地上アナログ	CAIR	1～20	テレビのチャンネル番号	UV表示でなかったら入力切換含む（リモコン番号選択）
	CATV	CATV	13～63	CATVのチャンネル番号	CATV表示でなかったら入力切換含む
	BSデジタル3桁入力	CBSD	0～999	BSデジタルチャンネル番号	デジタル放送表示でなかったら入力切換含む
	CSデジタル3桁入力	CCSD	0～999	CSデジタルチャンネル番号	デジタル放送表示でなかったら入力切換含む
	地上デジタル	CTBD	0～999	地上デジタルチャンネル番号	枝番入力が必要な場合にはラスト枝番、同一チャンネル選択時は順に枝番を選択
	選局順	CHUP	–	テレビのチャンネル番号＋1	リモコン選局順と同じ動作（入力切換含む）
	選局逆	CHDW	–	テレビのチャンネル番号－1	リモコン選局逆と同じ動作（入力切換含む）
入力選択	入力4 入力5 入力6	INP4 INP5 INP6※1	0	自動	入力切換含む。入力4～6で有効
			1	D端子	入力4･5のみ有効
			3	S端子	入力6のみ有効
			4	ビデオ映像端子	入力4～6のみ有効
AVポジション		AVMD	0	（トグル）	現在選択できるものの中でトグル動作
			1	標準	
			2	映画	
			3	ゲーム	
			4	AVメモリー	
			5	ダイナミック（固定）	
			6	ダイナミック	
			7	PC	入力1～3･7選択時
			10	映画（リビング）	
			11	フォト	
			100	ぴったりセレクト	
音量		VOLM	0～60	音量値	
位置調整･画面調整	水平位置	HPOS	※2	移動値	
	垂直位置	VPOS	※2	移動値	
	クロック周波数	CLCK	※2	移動値	入力7にPC信号が入力されているときのみ有効
	クロック位相	PHSE	※2	移動値	入力7にPC信号が入力されているときのみ有効
画面サイズ		WIDE	0	（トグル）	
			1	ノーマル	（AV系／PC系）
			2	スマートズーム	（AV系）
			3	ワイド	（AV系）
			4	シネマ	（AV系／PC系）
			5	フル	（AV系／PC系）
			6	フル1	（AV系1080i）
			7	フル2	（AV系1080i）
			8	アンダースキャン	（AV系720p）
			9	Dot by Dot	（AV系1080i、1080p/PC系）
消音		MUTE	0	（トグル）	消音オン、オフのトグル
			1	消音	
			2	消音解除	
サラウンド		ACSU	0	（トグル）	トグル動作
			1	入	
			2	切	
音声切換		ACHA	–	（トグル）	
オフタイマー		OFTM	0	解除	
			1	オフタイマー30分	
			2	オフタイマー1時間	
			3	オフタイマー1時間30分	
			4	オフタイマー2時間	
			5	オフタイマー2時間30分	

※１入力６は、「モニター音声出力」の設定が「入力」に設定されているときのみ有効。
※２入力、信号、画面サイズによって範囲が変わります。

• "B"part欄の「－」は、「0」～「9」、「ー」（マイナス）、スペース、「？」であれば何を入力してもかまいません。

文字を入力する（ソフトウェアキーボード）

- インターネットで検索するときや入力表示の編集、LAN 設定をするときは、ソフトウェアキーボードで文字を入力します。
- ソフトウェアキーボードは、文字入力できる欄を選んで決定ボタンを押すと、表示されます。

（画面例）

キーワードを入力してください　検索

ソフトウェアキーボード

- 入力中の文字が表示されます。
- 予測変換候補が表示されます。画面は一例です。予測変換候補は保存された履歴によって変わります。
- 緑 で文字の種類（文字種）を選びます。文字種によって、数字ボタンで入力できる文字が変わります。
- リモコンの数字ボタン（チャンネルボタン）で入力できる文字が表示されます。

予測変換　ようこそ　AQUOS　シャープ

文字種：あ　ア　_A　_1　_記　機能

1 あ行	2 か行	3 さ行
4 た行	5 な行	6 は行
7 ま行	8 や行	9 ら行
10 記号	11 わをん—SP	12 ゛゜

で選択　決定 で決定　終了 入力取消　戻る 予測取消

青 漢字変換　赤 逆順　緑 文字種変更　黄 完了

文字の入力に使うリモコンのボタン

- 入力欄のカーソルを移動します。
- 予測変換しているときは変換候補を選びます。
- 漢字変換しているときは、左右で変換する範囲を指定し上下で変換候補を選びます。

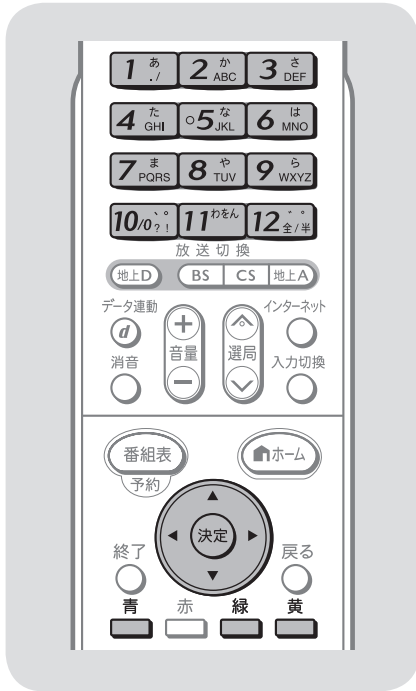
- 文字を消去します。
- 予測変換や漢字変換しているときは、変換を取り消します。

- 青：ひらがなを漢字に変換します。（漢字を入力できる欄のみ）
- 赤：予測変換や漢字変換の候補を逆順で選びます。
- 緑：文字の種類（文字種）を選びます。
- 黄：文字入力を完了します。ソフトウェアキーボードが消えます。

- 現在の入力をすべて取り消します。ソフトウェアキーボードも消えます。

次のページに続く

文字を入力する

● ここでは、例として「お早うございます」と入力する手順を説明します。

おしらせ

- 予測変換候補に入力したい文字が表示されている場合は、次の手順で語を入力します。
  ①下ボタンを押す
  ②上下左右ボタンで入力したい語を選び、決定ボタンを押す
- 入力中に文字を消去する場合は、左右カーソルボタンでカーソルを移動し、戻るボタンを押します。

文字入力の制限について

- 「設定」－「(機能切換)」－「外部端子設定」－「入力表示」で「編集」を選んだときや「設定」－「(視聴準備)」－「通信（インターネット）設定」－「通信設定」の LAN 設定の文字入力では、予測変換されません。
- 1 つの入力欄に入力できる文字数は全角で 128 文字まで、半角で 256 文字までです。
- 文字が入力されている欄を選んだときは、入力済みの文字が入力欄に表示されます。
  このとき、全角で 128 文字（半角の場合は 256 文字）を超える文字は削除されます。

1 文字を入力できる欄を選ぶ

で選び　決定　を押す

- ソフトウェアキーボードが表示されます。

文字を選ぶ

2 「お」を入力する

1 を押す

- 1 を 5 回押します。
  押すたびに、文字が「あ」「い」「う」「え」「お」と変わっていきます。

3 「は」を入力する

6 を押す

- 6 を 1 回押します。

4 同じようにして「よ」、「う」を入力する

「゛」（濁点）や「゜」（半濁点）を入力するときは
- 12 を押します。押すたびに「゛」と「゜」が切り換わります。

「っ」などの小さい文字を入力するときは
- 4 を 6 回押すと「っ」が入力されます。
  「ぉ」の場合は、1 を 10 回押します。

スペースを入力するときは
- 11 を 6 回押します。

入力できる文字は
- 「入力できる文字の一覧」（▶ **228** ページ）をご覧ください。

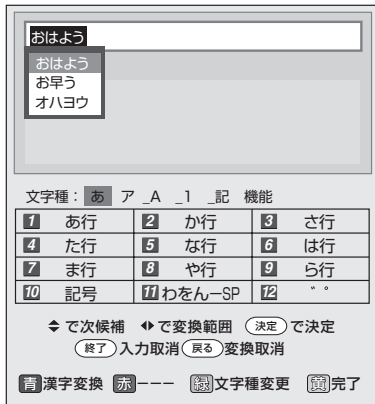
漢字やカタカナに変換する

5 入力欄の文字を変換する

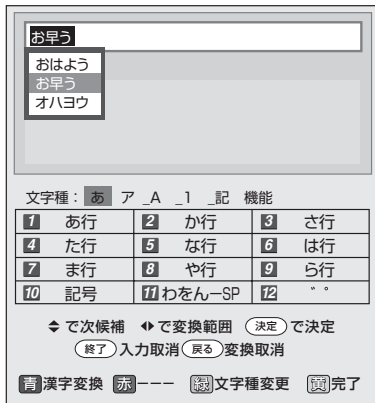
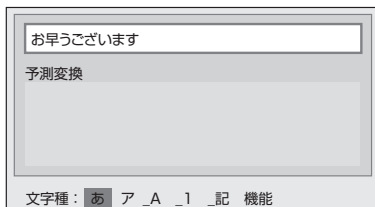
青 を押す

- 変換候補が表示されます。
- 左右カーソルボタンで変換する範囲を選べます。

6 入力したい文字を選ぶ

で選び 決定 を押す

- ここでは「お早う」を選びます。
- 次に続く文字の予測変換候補が表示されます。

7 続けて文字を入力する

1 〜 12 で入力

- ここでは「ございます」と入力します。

- 変換せずに続けて文字を入力する場合は、決定 を押します。

8 入力中の文字を確定する

黄 を押す

- 1 で選んだ入力欄に文字が入力されます。

改行するとき

1 改行したい箇所を選ぶ

2 繰り返し押し文字種から「機能」を選ぶ

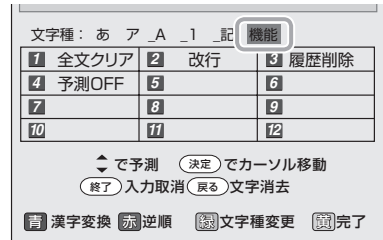
緑 を押す

文字種：あ ア _A _1 _記 機能

1 全文クリア	2 改行	3 履歴削除
4 予測OFF	5	6
7	8	9
10	11	12

⇕ で予測 決定 でカーソル移動
終了 入力取消 戻る 文字消去
青 漢字変換 赤 逆順 緑 文字種変更 黄 完了

3 「改行」を選ぶ

2 を押す

- 「↵」が入力されます。黄 を押して文字を確定すると、「↵」の部分で改行されます。

おしらせ

- 入力欄によっては、改行できない場合があります。また、改行以降の文字が消去される場合があります。
- 改行マークは、全角 1 文字として数えられます。

入力中の文字を全て消去するとき

● 入力欄に表示されている文字をまとめて消去することができます。

1 繰り返し押し、文字種から「機能」を選ぶ

緑 を押す

2 「全文クリア」を選ぶ

1 を押す

- 入力中の文字が全て消えます。
- 続けて文字を入力するときは、緑 を押して、文字種を選んでください。

次のページに続く

おしらせ

予測変換候補を工場出荷時状態に戻すには

①緑ボタンを繰り返し押し、文字種から「機能」を選ぶ。
②数字ボタン（チャンネルボタン）の「3」を押して「履歴削除」を選ぶ
- 予測変換候補が工場出荷時状態に戻ります。

予測変換機能を停止するには

①緑ボタンを繰り返し押し、文字種から「機能」を選ぶ
②数字ボタン（チャンネルボタン）の「4」を押して「予測 OFF」を選ぶ
- 予測変換機能が停止し予測候補の表示欄が消えます。予測変換機能を使用するときは上記と同じ手順で「予測 ON」を選んでください。

入力できる文字の一覧

● 文字種によって入力できる文字が変わります。

ひらがな（全角）

①	あいうえお ぁぃぅぇぉ	②	かきくけこ	③	さしすせそ
④	たちつてと っ	⑤	なにぬねの	⑥	はひふへほ
⑦	まみむめも	⑧	やゆよ ゃゅょ	⑨	らりるれろ
⑩	、。！？ ・「」	⑪	わをんーゎ （スペース）	⑫	゛゜

カタカナ（全角）

・文字種から「カタカナ」は選べません。カタカナ専用の入力欄を選んだときに入力できます。

①	アイウエオ ァィゥェォ	②	カキクケコ	③	サシスセソ
④	タチツテト ッ	⑤	ナニヌネノ	⑥	ハヒフヘホ
⑦	マミムメモ	⑧	ヤユヨ ャュョ	⑨	ラリルレロ
⑩	、。！？ ・「」	⑪	ワヲンーヮ （スペース）	⑫	゛゜

半角英字／全角英字

①	. / @ : -	②	abcABC	③	defDEF
④	ghiGHI	⑤	jklJKL	⑥	mnoMNO
⑦	pqrsPQRS	⑧	tuvTUV	⑨	wxyzWXYZ
⑩	? ! ( ) _	⑪	（スペース）	⑫	全角／半角切換

半角数字／全角数字

①	1	②	2	③	3
④	4	⑤	5	⑥	6
⑦	7	⑧	8	⑨	9
⑩	0			⑫	全角／半角切換

半角記号／全角記号

①	. / @	②	, : ;	③	_ - ¥
④	$ % &	⑤	# + *	⑥	= | ~※
⑦	" ' ^ '	⑧	( ) < >	⑨	[ ] { }
⑩	! ?	⑪	（スペース）	⑫	全角／半角切換

※全角の場合は「￣」になります。

16 進数

・文字種から「16 進数」は選べません。16 進数専用の入力欄を選んだときに入力できます。

①	1	②	2	③	3
④	4	⑤	5	⑥	6
⑦	7	⑧	8	⑨	9
⑩	0	⑪	abc	⑫	def :

おしらせ

- 入力欄によっては、英字、数字、記号の全角と半角の切り換えができない場合があります。

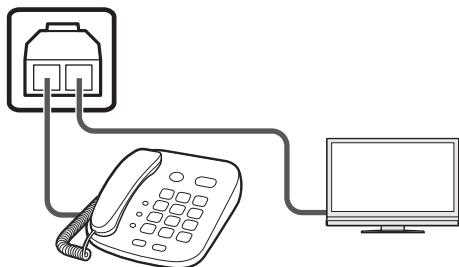
双方向通信／インターネット／ホームネットワークの準備をする

- 双方向通信・インターネット・ホームネットワークをお楽しみになるには、次の環境が必要です。

双方向通信を利用するとき

- **電話回線の用意が必要です。**
- **電話回線設定が必要です。**

おしらせ

- 一部の双方向番組はLAN接続でも利用できます。この場合、ブロードバンド環境が必要です。

接続と設定のしかたについて

電話回線の接続と設定（▶下記）

インターネット・ホームネットワークを利用するとき

- **インターネットとホームネットワークを利用するには、ブロードバンド環境の用意とLAN設定が必要です。※**

※本機には通常のLAN端子とBD-LIVE（▶ **162** ページ）専用のLAN端子があります。ここでのLAN設定は通常のLAN端子に接続してください。
※アクトビラ ビデオなどの映像配信サービス（動画）をご利用いただくには、光回線（FTTH）が必要です。

- **ホームネットワークを利用するには、インターネットプロバイダーとの契約は不要です。**

接続と設定のしかたについて

ブロードバンド環境への接続と設定（インターネットの準備）▶236ページ

電話回線の接続と設定

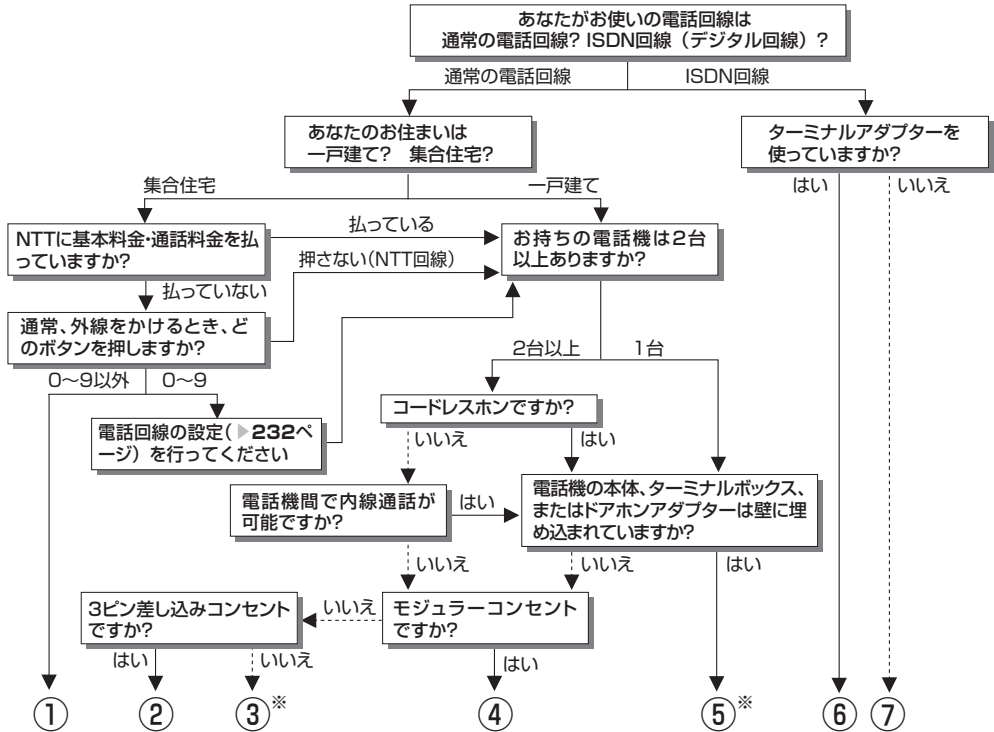
電話回線の接続と設定のながれ

電話回線の接続（▶ **230**～**231** ページ）
▼
電話回線の設定（▶ **232**～**233** ページ）
電話会社の設定（▶ **233** ページ）
▼
システム動作テスト（▶ **234** ページ）
▼
双方向サービスの利用の制限（▶ **235** ページ）
▼
完了

次のページに続く

電話回線の接続

電話回線の状態を確認する

- 右の図で電話回線の状態を確認した後、接続してください。
- 詳細は NTT へお問い合わせください。

① マンション交換機（PBX）を使用している可能性が大きいので、交換機を通さない電話回線につないでください。
② 市販の 3 ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプターをお求めください。
③ 専門業者によるモジュラーコンセントへの変換工事が必要です。
④ 市販の電話線とモジュラー分配器のみで接続可能です。（▶**231** ページ）
⑤ 専門業者による分岐工事が必要です。
⑥ 本機をターミナルアダプターに直接つないでください。
⑦ ターミナルアダプター（市販品）を使用し、本機をターミナルアダプターに直接つないでください。
詳しくは、お使いのターミナルアダプターの取扱説明書をご覧ください。
※ ③、⑤についての詳細は、お近くの NTT 営業窓口、もしくは 116（局番なし）でご相談ください。

電話回線に接続する

- 本機と電話機の電源を切り、下図の❶〜❺の順番で取りはずしと接続を行います。
- 電話線のプラグやモジュラー分配器は奥までしっかり差し込んでください。

● **ADSL回線を利用するときは、「ブロードバンド環境への接続と設定(インターネットの準備)」の説明(▶236ページ)をご覧ください。**

- ご加入の通信会社によっては、デジタル放送の双方向サービスを受けられない場合があります。詳しくは、ご加入の通信会社へご確認ください。

おしらせ

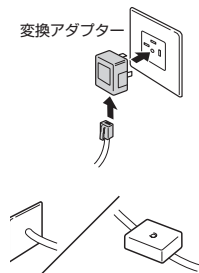
- 電話回線接続時には電話料金がかかります。（クイズ番組の答えを送信するときなど）
- 本機が放送局と通信しているとき、接続している電話機や FAX が鳴る場合がありますが、異常ではありません。

次の電話回線では注意が必要です。

光回線や ADSL を使用する、インターネットを介した IP 電話などの電話回線の場合

- ご加入の通信会社によっては、デジタル放送の双方向サービスが受けられない場合があります。詳しくは、ご加入の通信会社へご確認ください。

電話回線がモジュラージャックでない場合の接続

- 3 ピンプラグの場合は、市販の 3 ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプターをお求めください。
- 直結配線方式の場合は、簡単な工事が必要です。
  詳細はお近くの NTT 営業窓口、もしくは 116（局番なし）にお問い合わせください。

キャッチホンの場合

- 通信の途中でキャッチホンが入ると通信が切断されます。これを防ぐため、キャッチホンⅡへのご加入をおすすめします。
  詳細はお近くの NTT 営業窓口、もしくは 116（局番なし）にお問い合わせください。

FAX を使っている場合

- FAX の「電話機へ」と書かれたモジュラージャック端子に接続している電話機の電話線をはずし、代わりにモジュラー分配器を差し込み、分配器の一方に電話機の電話線を、もう一方に市販の電話線を接続してください。分配器で FAX と本機に分配すると、FAX が誤動作する場合があります。

本機が電話回線を使って通信している間は、電話機を使用しないでください。

- 通信中に電話をかけると、通信が切断されることがあります。通信中はデータ通信音（ピーヒョロヒョロ ....）が聞こえます。その間は電話をしないでください。

構内電話(ビジネスホン／ホームテレホン)の場合

- そのままでご利用になれないこともあります。その場合は単独の回線でのご利用をおすすめします。詳細は電話設置会社にご相談ください。

直接デジタル回線に接続することはできません。

- 会社やホテルなどでご使用になる場合は、電話回線が一般回線（アナログ）であることをご確認の上、ご利用ください。ISDN などのデジタル回線に接続する場合は、ターミナルアダプター（TA）等の端末器を介して接続してください。

次のページに続く

電話回線の設定

● 接続した電話回線の設定をします。

1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

ホーム を押し
で選ぶ

2 （視聴準備）を選ぶ

で選ぶ

3 「通信(インターネット)設定」を選ぶ

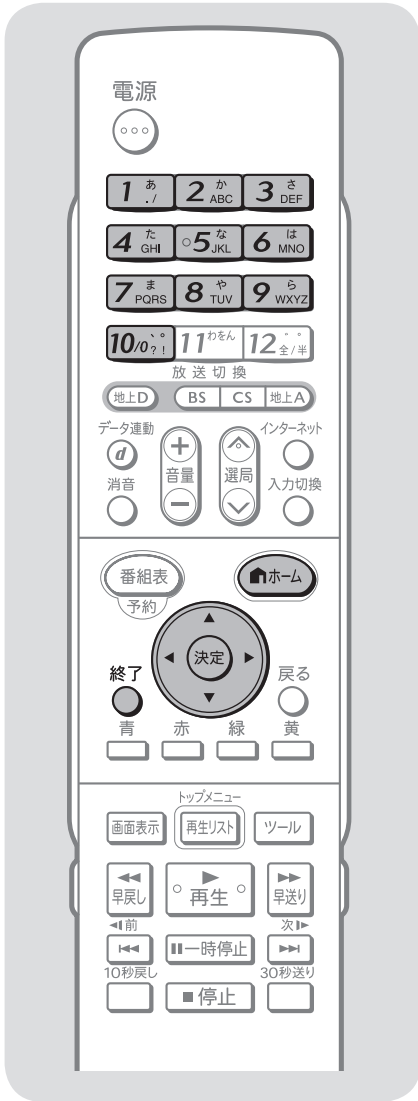
で選び
決定 を押す

4 「通信設定」を選ぶ

で選び
決定 を押す

5 ①「電話回線設定ー自動」を選ぶ
②「テスト実行」で決定する

で選び
決定 を押す

- 「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。
- 連続して電話回線の設定確認ができなかった場合は、自動的に外線発信番号の設定画面に切り換わります。

おしらせ

- 電話回線のテスト実行には、回線接続料がかかります。
- 電話回線のテスト実行には、回線の種類により最長7分程度かかる場合があります。
- 「電話回線設定ー手動」で設定した内容を確認したい場合は、「電話回線設定ー自動」で「テスト実行」を行ってください。

◆外線発信番号の設定

6

で選び

決定

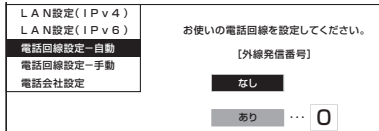
を押す

「なし」または「あり」を選ぶ

- 外線交換機を使用しない場合は、「なし」を選びます。（通常はこちらを選びます。）
- 電話交換機などをご使用の場合は、「あり」を選びます。数字ボタン（チャンネルボタン）（1～10/0）で、外線発信番号（0～9）を右のボックスに入力し、決定ボタンを押します。

7

決定

を押す

「テスト実行」で決定する

- 「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。
- 自動で電話回線の設定ができない場合は、以降の手順を行います。

◆手動による電話回線設定

8

で選び

を押す

「電話回線設定－手動」を選ぶ

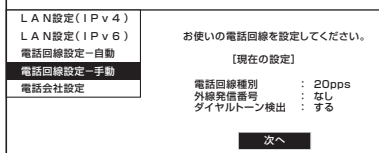
9

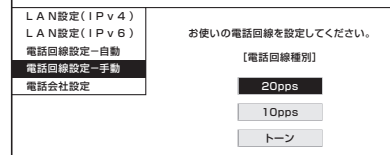
を押す

「現在の設定」を確認し、「次へ」で決定する

10

で選び

を押す

① 電話回線種別を選ぶ

- 契約している電話回線種別（ダイヤル方式）が分からない場合は、お近くのNTT営業窓口にお問い合わせください。

② 外線発信番号「なし」または「あり」を選ぶ

- 「あり」を選んだ場合は、数字ボタン（チャンネルボタン）（1～10/0）で、外線発信番号（0～9）を右のボックスに入力し、決定ボタンを押します。

③ ダイヤルトーン検出「する」または「しない」を選ぶ

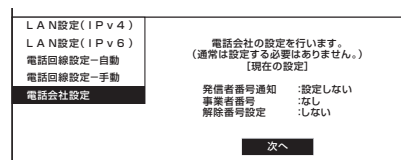
- NTT回線に直結している場合は「する」を選び、交換機を中継する場合は、交換機の機種により、「する」または「しない」を選んでください。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

電話会社の設定
（通常は設定する必要はありません。）

- 各放送局など、電話回線を使って通信する際に利用する電話会社に関する設定です。

発信者番号通知設定

- 通信後、放送局などの相手先に電話番号を通知するかしないかの設定です。

① ホーム（メニュー）ボタンを押し、ホームメニューを表示する
② カーソルボタンで「設定」－「（視聴準備）」－「通信（インターネット）設定」を選び、決定ボタンを押す
③ 上下カーソルボタンで「通信設定」を選び、決定ボタンを押す
④ 上下カーソルボタンで「電話会社設定」を選び、決定ボタンを押す
⑤「現在の設定」を確認し、「次へ」で決定ボタンを押す

次のページに続く

⑥ 上下カーソルボタンで「設定しない」「186」（電話番号を通知する）「184」（電話番号を通知しない）のいずれかを選び、決定ボタンを押す

事業者番号設定

- 電話回線での通信に利用する電話会社の事業者番号を登録します。

⑦ カーソルボタンで利用している電話会社の事業者番号を選び、決定ボタンを押す

解除番号設定

- マイラインプラスの登録をしている場合、登録している電話会社を使わずに発信するように設定できます。

⑧ 左右カーソルボタンで「する」（マイラインプラスを解除するための番号「122」を付けて発信する）または「しない」（マイラインプラスを解除しないで発信する）を選び、決定ボタンを押す

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

システム動作テスト

● 本機は、電話回線の接続やB-CASカードの挿入が正しく行われているかなどをテストできます。

1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

2 （お知らせ）を選ぶ

3 「システム動作テスト」を選ぶ

4 「テスト実行」で決定する

決定 を押す

- 表示が「テスト実行中」に変わります。テストが終了すると「テスト終了」になります。

5 結果を確認し、「テスト終了」で決定する

決定 を押す

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

システム動作テストに失敗したときは

- 電話回線の接続と設定を確認してください。（▶ **230**〜**233** ページ）
- B-CAS カードが正しく挿入されているか確認してください。（▶ **43**ページ）

双方向サービスやインターネット接続の利用を制限する

● 双方向サービスを行うと回線の利用料金がかかる場合がありますので、デジタル放送やインターネットでの接続を禁止したいときに便利な設定です。

おしらせ

・この設定には暗証番号の入力が必要です。暗証番号の設定（▶ 218 ページ）をしていない場合は、先に暗証番号を設定してください。

1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

ホーム を押し
で選ぶ

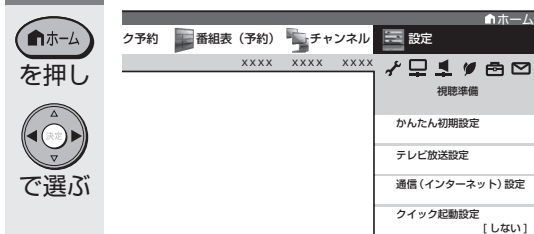
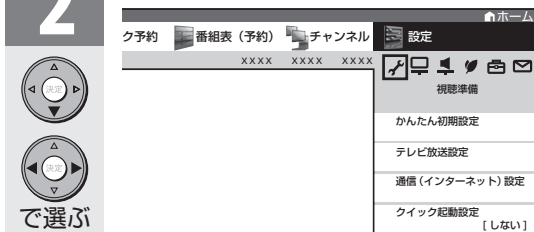
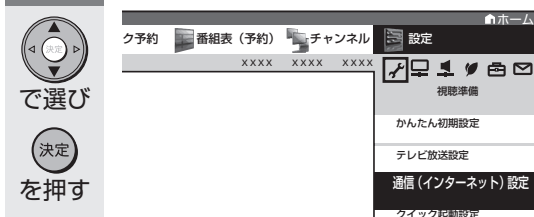
2 （視聴準備）を選ぶ

で選ぶ

3「通信（インターネット）設定」を選ぶ

で選び
決定 を押す

4「ネットサービス制限設定」を選ぶ

で選び
決定 を押す

5「デジタル放送接続制限」または「インターネット接続制限」を選ぶ

で選び
を押す

・**デジタル放送接続制限**：デジタル放送の双方向通信を禁止します。
・**インターネット接続制限**：インターネットの接続を禁止します。禁止すると、インターネットの表示や IPTV の視聴ができなくなります。

6 暗証番号を入力する

で入力

7「する」を選ぶ

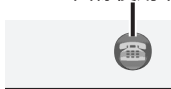
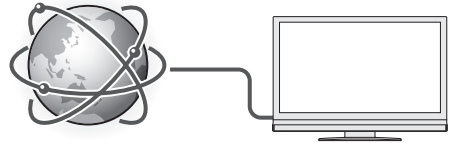
で選び
を押す

・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

・「デジタル放送接続制限」を「禁止しない」に設定した場合はデータ送信時に以下のアイコンを表示します。

灰色のときは**回線コール中**

青色のときは**回線使用中**

ブロードバンド環境への接続と設定（インターネットの準備）

- 本機をご家庭にあるブロードバンド環境に接続すると、次のことをお楽しみになれます。
  - ・オーナーズラウンジ AQUOS.jp やインターネットの表示
  - ・アクトビラ ビデオの視聴
  - ・デジタル放送の双方向通信（LAN 接続に対応している番組のみ）
  - ・ホームネットワーク上の写真データの表示・印刷／音楽データの再生
  - ・IPTV の視聴
  - ・BD-LIVE 対応 BD ビデオの利用※

※本機には通常の LAN 端子と BD-LIVE（▶**162** ページ）専用の LAN 端子があります。BD-LIVE をご利用になる際は BD-LIVE 専用 LAN 端子に接続してください。

「AQUOS.jp」とは

- AQUOS のお客様のためのサイトとして、「AQUOS.jp」を公開しています。

本機の活用のしかたやよくあるお問い合わせなど、お客様にとってお役に立つ情報を提供していますのでご活用ください。

おしらせ

- IPTV を視聴するためには、IPTV サービス事業者との契約などが必要です。
- **ホームネットワーク（▶ 280 ページ）を利用するときは、インターネットプロバイダーへの契約は不要ですが、ブロードバンドルーターの設置と家庭内 LAN への本機の接続が必要です。**
- アナログ回線ではインターネットに接続できません。
- **LAN 接続しても電話回線で通信が行われることがありますので、電話回線にもつないでください。**（▶ **231** ページ）

ブロードバンド環境への接続と設定のながれ

本機が接続できるブロードバンド環境を確認する（▷ 237 ～ 240 ページ）

- 本機をインターネットに接続するには、ブロードバンド環境が必要です。

▼

ブロードバンドルーターと本機を接続する（▷240 ～ 241ページ）

- LAN ケーブル（市販品）を使って、ブロードバンドルーター（市販品）と本機をつなぎます。

AQUOS.jpを表示してみる（▶242ページ）

- AQUOS.jp が表示されないときは、「インターネットに接続できない場合は」（▶ **243** ページ）をご覧ください。

▼

インターネットへの接続を制限する（▷235ページ）

- プロキシ形式のフィルタリングサービス (インターネットでの有害情報が含まれる特定ページへのアクセスを禁止する機能) を利用する場合や、プロバイダーなどから指定がある場合は、プロキシサーバー設定で入力してください。（▶ **244** ページ）

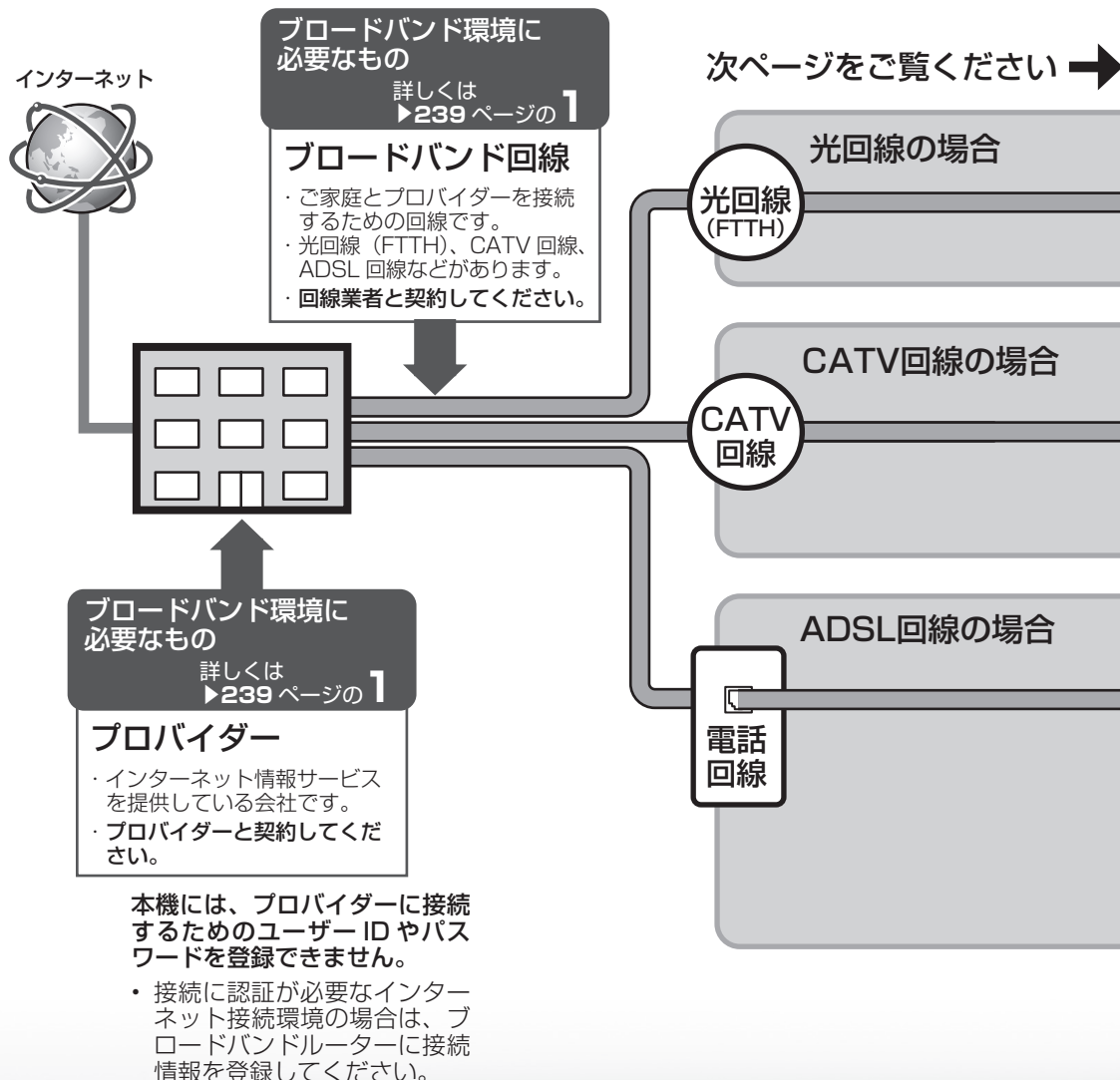
▼

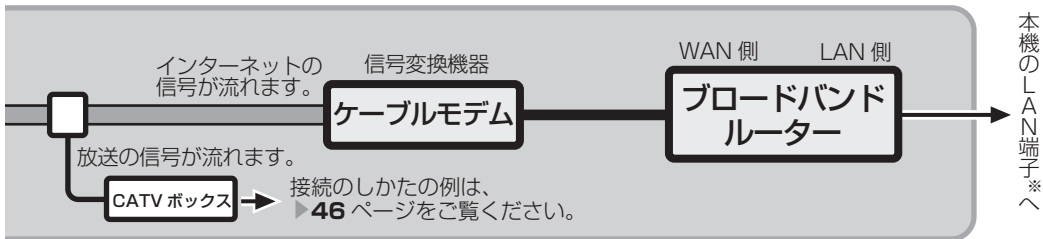
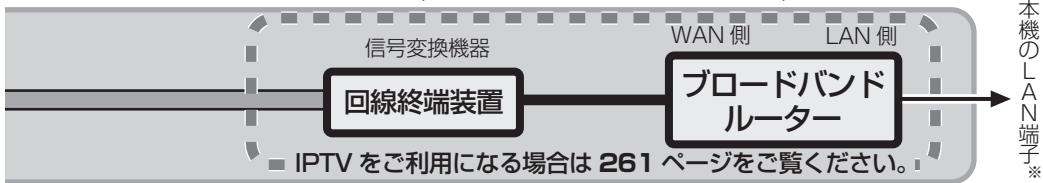
完了

本機が接続できるブロードバンド環境を確認する

- 本機をインターネットに接続するためには、次の環境（ブロードバンド環境）が必要です。
- すでにブロードバンド環境がある場合は、本機をブロードバンドルーターに接続してください。（▶**240** ページ）
- **IPTV やアクトビラ ビデオなどの映像配信サービス（動画）をご利用いただくには、光回線（FTTH）が必要です。**
- **映像配信サービス（動画）をご利用いただく場合、本機と回線終端装置は LAN ケーブルで接続してください。**

  LAN ケーブル接続以外では諸条件（ノイズなど）によって通信速度が一時的に低下し、画像の乱れや停止などが発生することがあります。
  - IPTV のご利用には、実効速度（常時）20Mbps 以上の光回線（FTTH）が必要です。
  - アクトビラ ビデオ・フルのご利用では、実効速度（常時）12Mbps 以上の光回線（FTTH）が必要です。

本機をインターネットに接続するためのブロードバンド環境

本機には、プロバイダーに接続するためのユーザー ID やパスワードを登録できません。
- 接続に認証が必要なインターネット接続環境の場合は、ブロードバンドルーターに接続情報を登録してください。

次のページに続く

※ 本機には通常の LAN 端子と BD-LIVE（▶162 ページ）専用の LAN 端子があります。
通常のインターネットに接続する場合は、LAN 端子（通常）に接続してください。（▶241 ページ）

ブロードバンド環境がないときは

- インターネットの接続サービスを行っている「プロバイダー」や、光回線（FTTH）・CATV 回線・ADSL 回線などを提供している「回線事業者」と契約する必要があります。詳しくはお買いあげの販売店やプロバイダー、回線事業者などにご相談ください。
  次のような手順が必要です。

1 **サービスを提供するプロバイダーや回線事業者と契約する**

- パソコン売り場などにあるパンフレットなどをご覧になり、申し込むプロバイダーや回線事業者を選びます。
- お申し込みになる前に、次の内容をプロバイダーや回線事業者に確認してください。
  - 申し込むサービスがお住まいの地域で提供されているか。
  - ブロードバンドルーターの機種に指定や制限がないか。
  - インターネットに接続する機器の台数やサポートなどに指定や制限がないか。
  - ADSL モデムやケーブルモデムなどの信号変換機器を、お客様自身で購入する必要があるか。
    購入する場合は、信号変換機器の種類も確認してください。
- 申し込み手続きが完了すると、プロバイダーからインターネットの接続に必要な設定情報が発行されます。

おしらせ

- プロバイダーによっては、ブロードバンド回線とセットでサービスを提供している会社もあります。
- プロバイダーの料金や回線使用料金はさまざまです。また、同じプロバイダーであっても、コースによって価格が異なります。
- 申し込みをされてから回線を使用できるようになるまでに、工事が必要になったり、手続きに時間がかかったりする場合があります。

2 **必要に応じてブロードバンドルーターを購入する**

- ブロードバンドルーターは、一般的にパソコン周辺機器売り場やパソコンショップで販売されています。

おしらせ

- 信号変換機器には、ブロードバンドルーター機能が内蔵されているものもあります。この場合、ブロードバンドルーターは必要ありません。ただし、LAN ケーブルを接続するための端子が 1 つしかない場合、ハブ（市販品）が必要です。信号変換機器にブロードバンドルーター機能が内蔵されているかどうかは、販売店やプロバイダー、回線事業者にご確認ください。

次のページに続く

3 LAN ケーブルを購入する

- LAN ケーブルは、一般的にパソコン周辺機器売り場やパソコンショップで販売されています。
- LAN ケーブルは、10BASE-T/100 BASE-TX タイプのものをご使用ください。
- LAN ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの 2 種類があり、モデムやルーターなどの種類によって、使用するものが異なります。詳しくは、モデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。
- LAN ケーブルをお買い求めになる前に、本機とブロードバンドルーターを設置する場所を決めて、必要なケーブルの長さを測っておいてください。
- 通常のインターネットと BD-LIVE ビデオを並行して利用される場合は、LAN ケーブルを 2 本ご用意ください。

4 ブロードバンド回線と信号変換機器、信号変換機器とブロードバンドルーターを接続する

- **237** ～ **238** ページのように接続します。接続について詳しくは、お申し込みになったプロバイダーや回線事業者にご確認ください。接続の際は、それぞれの取扱説明書も併せてお読みください。

おしらせ

- IPTV サービスが IPv6 サービスの場合には、IPv6 に対応したブロードバンドルーターが必要になります。
- ADSL モデムやケーブルモデムにルーター機能がある場合は、ブロードバンドルーターは不要です。モデムの取扱説明書に従ってルーター機能をオンにしてください。なお、ご自身で別途ブロードバンドルーターを用意して接続する場合はモデムのルーター機能を無効にしないと正しく通信できない場合があります。詳しくは、モデムやブロードバンドルーターの取扱説明書をご覧ください。

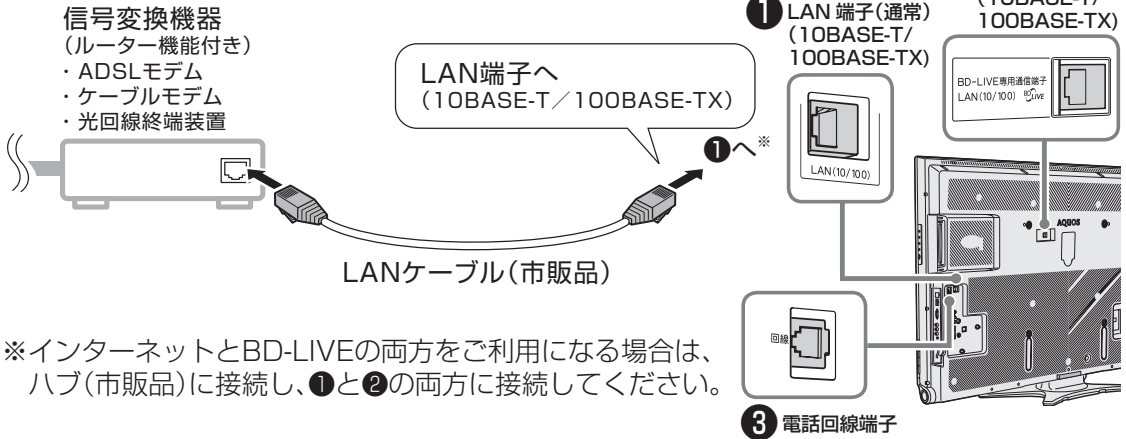
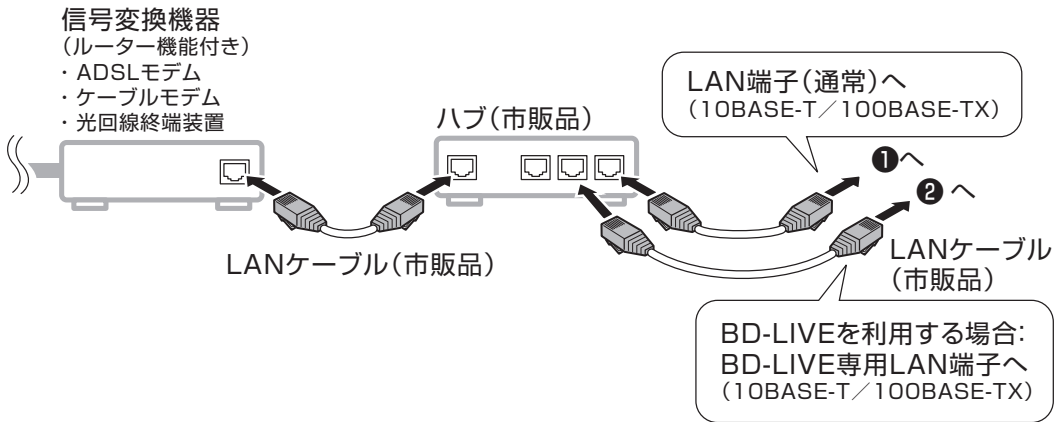
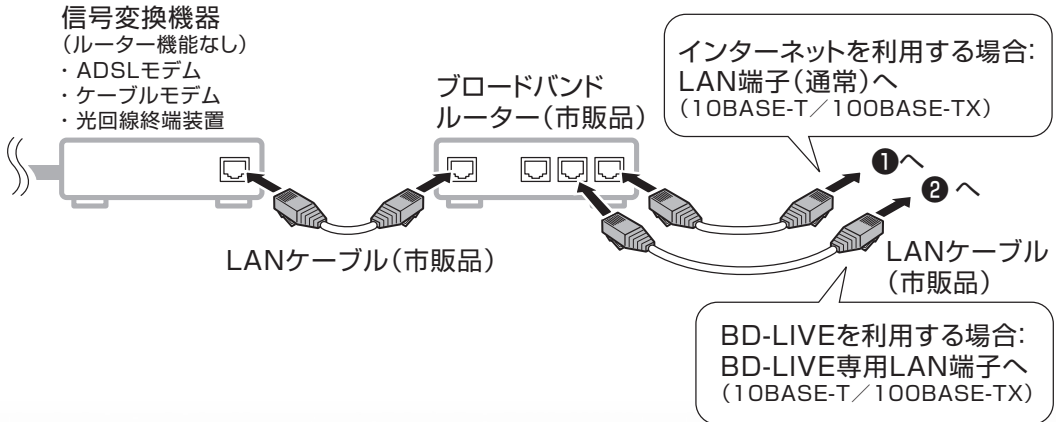
5 ブロードバンドルーターの設定をする

- プロバイダーから提供された設定情報（接続のためのユーザー ID やパスワード、IP アドレス、DNS など）をブロードバンドルーターに設定します。
- 設定の操作については、ブロードバンドルーターの取扱説明書をご覧ください。
- 設定にはパソコンが必要になる場合があります。パソコンをお持ちでない方は、お買いあげの販売店や、お申し込みになったプロバイダーや回線事業者にご相談ください。

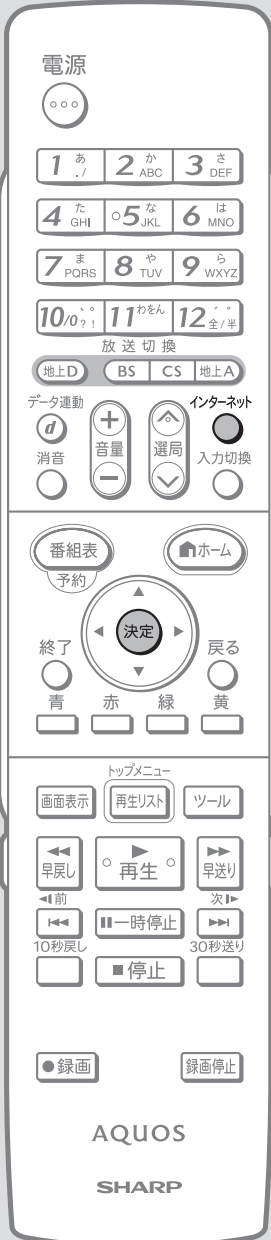
ブロードバンドルーターと本機を接続する

- 本機のLAN端子やBD-LIVE専用LAN端子とブロードバンドルーターのLAN側の端子をLANケーブルで接続します。
- 通常のインターネットを利用する場合はLAN端子（通常）に、BD-LIVEを利用する場合はBD-LIVE専用LAN端子に接続してください。インターネットとBD-LIVEの両方を利用する場合は、両方のLAN端子に接続してください。
- ブロードバンド回線からブロードバンドルーターまでの環境（接続）については、▶**237～238**ページをご覧ください。

接続例 A　ルーター機能付き ADSL モデム／ケーブルモデム／光回線終端装置などに、LAN 端子の空きがある場合

※インターネットとBD-LIVEの両方をご利用になる場合は、ハブ(市販品)に接続し、❶と❷の両方に接続してください。

接続例 B　ルーター機能付き ADSL モデム／ケーブルモデム／光回線終端装置などに、LAN 端子の空きがない場合

接続例 C　ADSL モデム／ケーブルモデム／光回線終端装置などに、ルーター機能が付いていない場合

- IPTVやアクトビラ ビデオなどの映像配信サービスをご利用になる場合は、上記LANケーブルでの接続をおすすめします。

次のページに続く

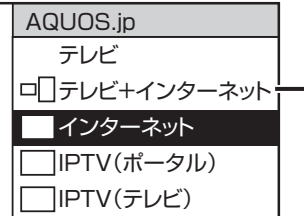
AQUOS.jp を表示してみる

1 AQUOS.jp メニューを表示する

インターネット を押す

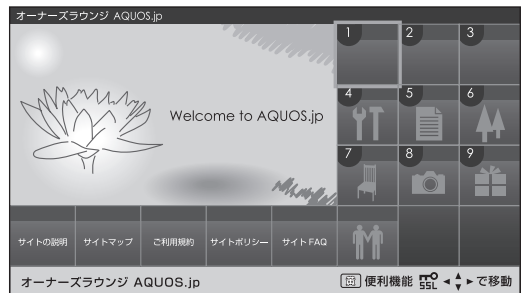
・ 表示中に次の操作を行います。

2 インターネットボタンを繰り返し押し、「インターネット」を選ぶ

インターネット を押す
決定 を押す

・ 上下カーソルボタンでも選べます。

テレビも同時に見たい場合に選びます。

・ AQUOS.jp が表示されましたか？

▼ AQUOS.jp の画面（例）

・ AQUOS.jp の表示内容は一例です。
・ テレビの画面に戻すときは、終了ボタンを押します。インターネットの画面だけを表示しているときは、選局ボタン（緑）や放送切換ボタンでも戻せます。

AQUOS.jp が表示されたら

・ インターネットへの接続は完了です。本機でインターネットをお楽しみください。
インターネットについての操作は「インターネットを楽しむ（AQUOS.jp）」（▶ **247** ページ）をご覧ください。

AQUOS.jp が表示されないときは

・「LAN 接続していません」または、エラーメッセージが表示されます。終了ボタンを押して、テレビの画面に戻してから「インターネットに接続できない場合は」（▶ **243** ページ）をご覧になって、インターネットに接続してください。

インターネットに接続できない場合は

本機のネットワークの設定を確認する

1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

を押し
で選ぶ

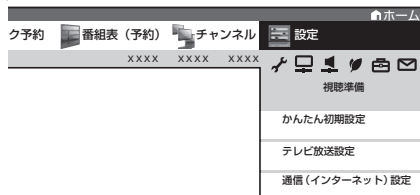
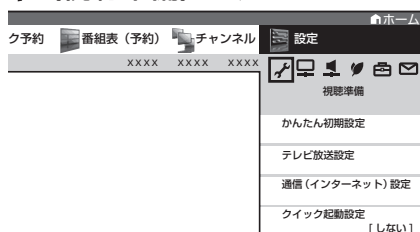
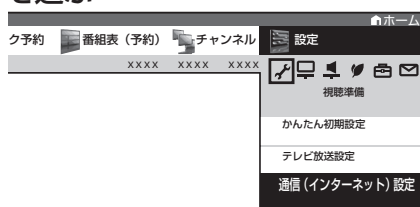
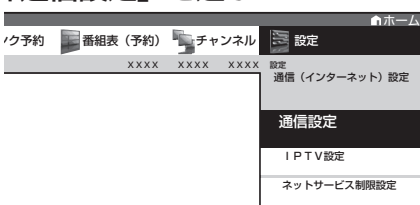
2 （視聴準備）を選ぶ

で選ぶ

3 「通信（インターネット）設定」を選ぶ

で選び
決定
を押す

4 「通信設定」を選ぶ

で選び
を押す

5 「LAN 設定（IPv4）」を選ぶ

- 各項目に数値が表示されているか確認します。

で選び
決定
を押す

LANの情報を設定します。

［現在の設定］
IPアドレス　：自動設定　192.168.100.5
ネットマスク：自動設定　255.255.255.0
ゲートウェイ：自動設定　192.168.100.1
DNS　　　　：自動設定　192.168.100.1
MACアドレス：00:00:00:00:00:00

- この画面に表示されている数値は一例です。
  お客様のネットワーク環境によって表示される数値は異なります。

各項目が空欄の場合

● 次のことを確認してください。

- ブロードバンドルーターの電源が入っていますか。
  ブロードバンドルーターによっては、電源を入れてから使用できるようになるまで少し時間のかかるものもあります。
- 本機の LAN 端子とブロードバンドルーターの LAN 端子が、正しく接続されていますか。
- ブロードバンドルーターの DHCP 機能（IP アドレスなどを自動で割り当てる機能）が有効になっていますか。
  DHCP 機能を使用しない場合は、LAN 設定で IP アドレスなどを入力してください。（▶ **245** ページ）

各項目に数値が表示されている場合

● 下記の「**その他の原因について**」をご覧ください。

その他の原因について

● LAN 設定を確認しても原因が分からないときは、次のことを確認してください。

- 接続する機器の電源は入っていますか。
- ブロードバンドルーターと、回線終端装置やケーブルモデム、ADSL モデムなどとが正しく接続されていますか。
- ブロードバンド回線と、回線終端装置やケーブルモデム、ADSL モデムなどとが正しく接続されていますか。
- 通常のインターネットを閲覧する場合は LAN 端子（通常）へ、BD-LIVE ビデオを利用する場合は BD-LIVE 専用 LAN 端子に接続されていますか。
- ブロードバンドルーターのインターネット接続に関する設定は正しく設定されていますか。
- ブロードバンド環境を使ってインターネットを活用しているかたは、パソコンなどがインターネットに接続できるか確認してみてください。
- ホームメニューの「設定」－「（視聴準備）」－「通信（インターネット）設定」－「ネットサービス制限設定」－「インターネット接続制限」を「しない」に設定してください。（▶ **235** ページ）

● ここに記載している項目をすべて確認しても原因が分からないときは、プロバイダーや回線事業者にお問い合わせください。

次のページに続く

プロキシ設定機能を利用する（プロキシサーバー設定）

● プロキシ形式のフィルタリングサービス（インターネットでの有害情報が含まれる特定ページへのアクセスを禁止する機能）を利用する場合や、プロバイダーなどから指定がある場合は、プロキシサーバー設定で入力してください。

おしらせ

・この設定には暗証番号の入力が必要です。暗証番号の設定（▶ **218** ページ）をしていない場合は、先に暗証番号を設定してください。

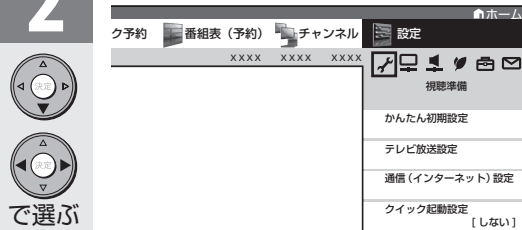
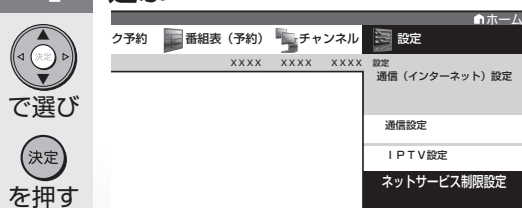
1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

を押し
で選ぶ

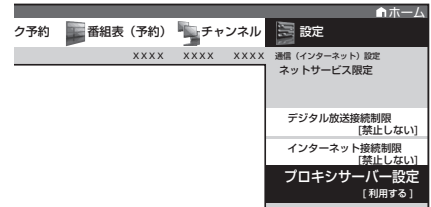
2 （視聴準備）を選ぶ

で選ぶ

3 「通信（インターネット）設定」を選ぶ

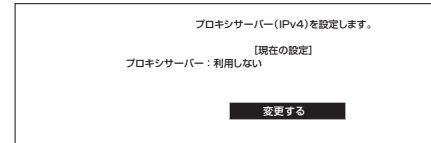
で選び
を押す

4 「ネットサービス制限設定」を選ぶ

で選び
を押す

5 「プロキシサーバー設定」を選ぶ

で選び
を押す

6 暗証番号を入力する

1 ～ 10 で入力

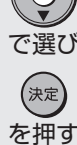
7 「変更する」を選ぶ

を押す

8 「する」を選ぶ

で選び
決定 を押す

9 プロキシサーバーのアドレスとポート番号を入力する

で選び
を押す

・各欄を選ぶとソフトウェアキーボードが表示されます。
1～12で文字を入力し 黄 で確定します。
詳しくは文字を入力する（▶ **226** ページ）をご覧ください。

10 「完了」で決定する

決定 を押す

・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

本機の LAN 設定を変更する

おしらせ

プロバイダーから発行された資料で、DNS のアドレスが見つからないとき

- DNS は、ドメインネームサーバーやネームサーバーと記載される場合もあります。

● IP アドレスなどを手動で設定する場合は、LAN 設定を変更します。

1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

ホーム を押し
で選ぶ

2 （視聴準備）を選ぶ

で選ぶ

3 「通信（インターネット）設定」を選ぶ

で選び
決定 を押す

4 「通信設定」を選ぶ

で選び
決定 を押す

5

① 「LAN 設定（IPv4）」を選ぶ
- IPv6 を設定するときは「LAN 設定（IPv6）」を選びます。

② 「変更する」を選ぶ

で選び
決定 を押す

次のページに続く

6 IP アドレスなどを入力する場合、「しない」を選ぶ

で選び
を押す

- 「IP アドレスなどの入力のしかた」（▶右記）をご覧になり、ブロードバンドルーターの設定に合わせて、IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイを入力し、「次へ」で決定ボタンを押します。

入力する必要がない場合

- 「する」を選び、決定ボタンを押したあと、「次へ」で決定ボタンを押します。

7 DNS の IP アドレスなどを入力する場合、「しない」を選ぶ

で選び
を押す

- 「IP アドレスなどの入力のしかた」（▶右記）をご覧になり、プロバイダーから発行された資料をもとに、DNS の IP アドレスを入力し、「次へ」で決定ボタンを押します。
- セカンダリの指定がない場合は、空欄のまま入力を完了してください。

入力する必要がない場合

- 「する」を選び、決定ボタンを押したあと「次へ」で決定ボタンを押します。

「IPv6」を設定している場合

- このあと手順 9 へ進みます。

8 「しない」を選ぶ

で選び
を押す

- 設定した内容が表示されます。
- より詳細な設定では、LAN 接続スピードを設定できます。
  通常は、工場出荷状態（自動検出）のままで使用できます。

9 「完了」で決定する

決定
を押す

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

IP アドレスについて

- TCP/IP ネットワークに接続されたネットワーク機器に個別に割り振られた識別番号です。

ネットマスクについて

- TCP/IP ネットワークを複数の小さなネットワークに分割して識別管理する識別番号です。

ゲートウェイについて

- 異なるネットワークを相互に通信可能にする機器の識別番号です。

IP アドレスなどの入力のしかた

1 入力欄を選ぶ

で選び
を押す

- ソフトウェアキーボードが表示されます。

2 文字を入力する

1 ～ 12 で入力

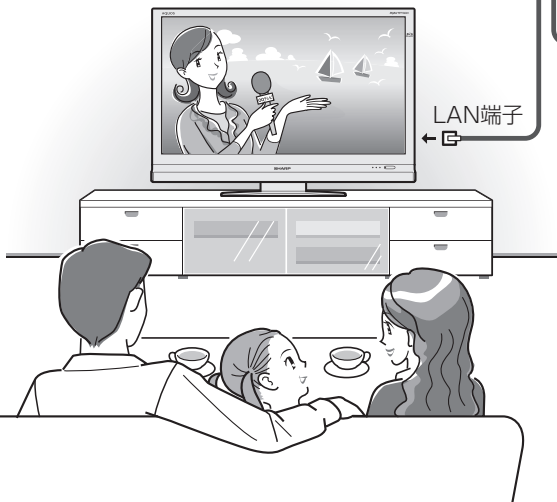
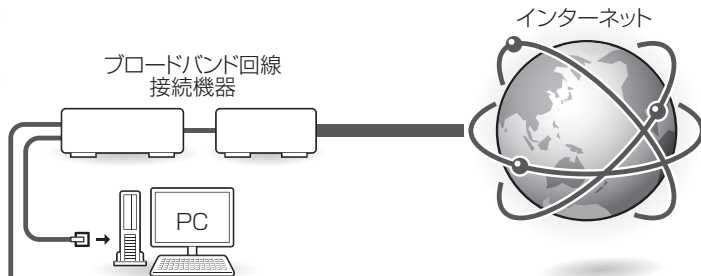
- 「0」を入力する場合は 10 を押します。
- IPv6 の場合 11 で「ABC」、12 で「DEF:」を入力できます。

3 入力した文字を確定する

黄
を押す

- ソフトウェアキーボード上の文字が入力欄に入力されます。

IPアドレス	192	---	---	---

インターネットを楽しむ（AQUOS.jp）

インターネット（AQUOS.jp）の準備

● AQUOS のお客様のためのサイトとして、「AQUOS.jp」を公開しています。本機の活用のしかたやよくあるお問い合わせなど、お客様にとってお役に立つ情報を提供していますのでご活用ください。

接続について

● インターネットに接続するには、ブロードバンド環境が必要です。「ブロードバンド環境への接続と設定のながれ」（▶ **236** ページ）に従い、接続と設定を行ってください。

AQUOS.jp を表示する

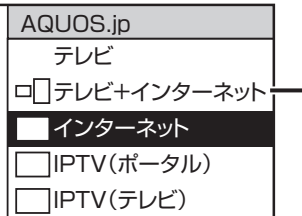
1 インターネット を押す

AQUOS.jp メニューを表示する

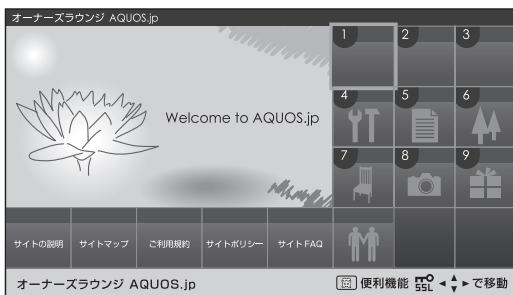
・ 表示中に次の操作を行います。

2 インターネット を押す　決定 を押す

インターネットボタンを繰り返し押し、「インターネット」を選ぶ

・ 上下カーソルボタンでも選べます。

テレビも同時に見たい場合に選びます。

・ ブラウザが起動し、AQUOS.jp が表示されます。

次のページに続く

- AQUOS.jp の表示内容は一例です。
- テレビの画面に戻すときは、終了ボタンを押します。インターネットの画面だけを表示しているときは、選局ボタン（緑）や放送切換ボタンでも戻せます。

パソコンでインターネットを活用されているお客様へ

● 本機でインターネットを活用するときは、パソコンの一般的なブラウザと比べて動作の異なる場合があります。ご了承ください。

- ファイルのダウンロードはできません。
- 表示したページの履歴は表示できません。
- インターネットボタンを押したあと最初に表示されるページは変更できません。
- ポップアップウインドウは、別のタブで表示されます。
- ページによっては、動画や音声が再生されなかったり、文字や画像が正しく表示されなかったりする場合があります。
- PDF（電子文書）を読み込む機能はありません。
- メールの送受信機能はありません。

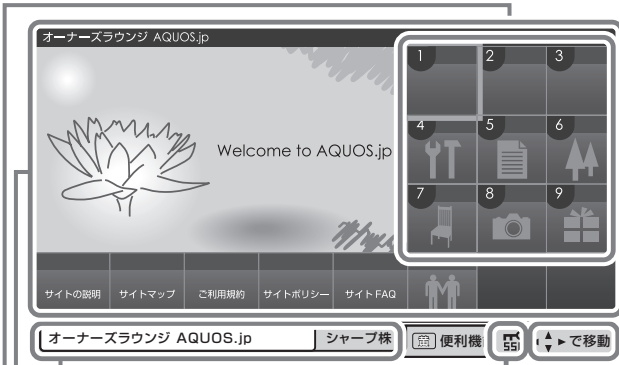
おしらせ

AQUOS.jp が表示されないときは
- 「インターネットに接続できない場合は」（▶ **243** ページ）をご覧ください。
- 予約録画実行中は、インターネットを表示できません。

テレビと同時に表示したときは
- テレビの音声が聞こえます。インターネットのページの音声は聞けません。
- テレビのチャンネルは選局ボタン（緑）で切り換えてください。数字ボタン（チャンネルボタン）では、選局できません。
- テレビとインターネットの画面の位置は変更できません。
- テレビとインターネットを同時に使用しているときは、ファミリンクでの外部接続の操作はできません。

視聴予約しているときは
- 視聴予約した時間になると、予約した番組が 1 画面で表示されます。

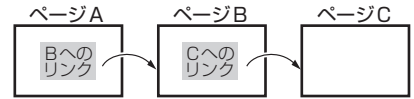
インターネットを見る画面（ブラウザ※）の使いかた

※インターネットのページを表示するためのソフトウェアのことです。

タブ

ページ
（AQUOS.jpの表示内容は一例です。）

セキュリティで保護されているページの場合、明るく表示されます。

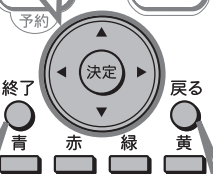
リンクについて

- インターネットのページには、他のページ（サイト）に移動できる「リンク」があります。
- 「リンク」の見た目は文章や画像などさまざまですが、選ぶとリンク先へ移動できる働きは同じです。
- 選んでいる項目（リンクや文字入力欄など）が黄色の枠で囲まれます。

「リンク」からリンク先へ移動できます。

ページに続きがある場合は、その方向が明るく表示されます。

 でそのページの続きが見られます。

- 押した方向にリンクのある文字や画像があるときは、先に文字や画像が選ばれます。この場合は数回同じ方向のボタンを押してください。

インターネットのページに番号が割り当てられている場合は、数字ボタン（チャンネルボタン）を押すと、リンク先のページを呼び出せます。

- インターネットの画面を表示しているときに電源プラグが抜けたり、停電などによって電源が切れたりすると、ブックマークや Cookie などの情報が正しく保存されない場合があります。また、ブラウザ動作による不具合があった場合、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

おしらせ

セキュリティの通知画面が表示されたとき

- 決定ボタンを押すと、画面が消えます。
- この画面は、セキュリティで保護されているページを表示するときや、保護されているページから保護されていないページに切り換わるときに表示されます。
- この画面を表示させるかどうかは、「セキュリティ設定」で設定できます。（▶ **259** ページ）

Cookie の確認画面が表示されたとき

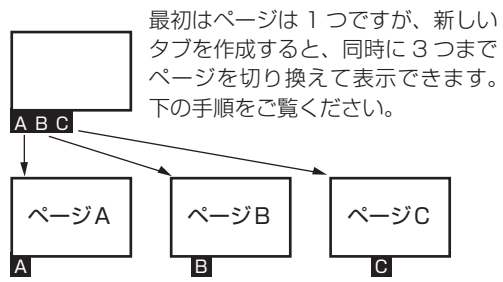
- Cookie（▶ **344** ページ）を受信するかどうかを選び、決定ボタンを押してください。
- この画面を表示させるかどうかは、「Cookie 設定」で設定できます。また、Cookie はまとめて削除することもできます。（▶ **260** ページ）

ページの中に ☒ が表示されたとき

- ページの読み込みに失敗したか、本機で表示できない形式の画像などに表示されます。ツールバーの（再読み込み）（▶ **250** ページ）を選んで、ページを表示し直してみてください。

次のページに続く

タブの使いかた

● インターネットのページを、同時に３つまで切り換えて表示できます。それぞれのページに「タブ」が付き、「タブ」でページを切り換えます。

1 タブ操作メニューを表示する

緑 を押す

- ツールバーから表示することもできます。

選んだタブのページを表示します。

選んだタブを消します。（リモコンの 赤 でも消せます。）

新しいタブを作ります。

選んでいないタブを消します。

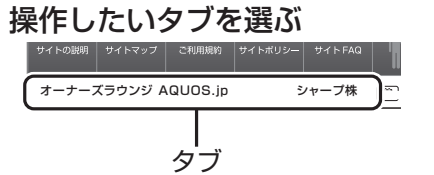
- タブ操作メニューを閉じた状態からリモコンの 青 で、選択しているリンク先のページを新しいタブで表示することができます。
- すでにタブを３つ表示しているときは、一番右のタブに表示されているページが書き換わります。

2 操作したいタブを選ぶ

タブ

で選ぶ

3 「このタブを選択」を選ぶ

で選び

決定 を押す

ツールバー（便利機能）の使いかた

● ツールバーを使って、ブラウザの操作や設定が行えます。

ツールバー（便利機能）を表示する

黄 を押す

ツールバー（便利機能）

- でボタンを選び 決定 を押すとその機能が実行されます。（▶**下記**）
- ツールバー（便利機能）を消したいときは、もう一度黄ボタンを押します。

ツールバー（便利機能）について

ボタン	はたらき
	リンク先のページを新しいタブで表示します。
	タブ操作メニューを表示します。
	１つ前のページに戻ります。
	前のページを見たあとに元のページに再び進みます。
	ページを再表示します。ページを読み込んでいるときは、読み込みを中止します。
	AQUOS.jp を表示します。
	URL を入力するときに選びます。（▶**251** ページ）
	ブックマークを開くときに選びます。（▶**253** ページ）
	表示中のページをブックマークに登録します。（▶**253** ページ）
	ブラウザメニューを表示します。（▶**257** ページ）

おしらせ

- ツールバー（便利機能）を表示中に、インターネットボタンを押して画面を切り換えると、ツールバー（便利機能）が消えます。

URL（アドレス）を入力してページを表示する

- URL（アドレス）は、インターネットの個々のページを家に例えたときの、住所（アドレス）のようなものです。雑誌や広告などで URL を知っているときは、URL を入力してページを表示できます。
- URL は、一般的に「http://」から始まります。

おしらせ

・「ブラウザ制限」を「する」にしている場合（▶ **252** ページ）、アドレスの入力 は選べません。

1 ツールバー（便利機能）を表示する

黄
を押す

2 ツールバー（便利機能）の （アドレスの入力）を選ぶ

で選び

を押す

3 入力欄を選ぶ

で選び

を押す

・ソフトウェアキーボードが表示されます。

4 表示したいページの URL を入力する

・文字入力の方法については▶ **226** ページをご覧ください。

5 「開く」を選ぶ

で選び

を押す

次のページに続く

◆ URL を入力して表示したページを、入力履歴の一覧から選ぶ

1 ツールバー（便利機能）を表示する

黄 を押す

2 ツールバー（便利機能）の（アドレスの入力）を選ぶ

で選び
を押す

3 「入力履歴」を選ぶ

- 入力履歴の一覧が表示されます。

で選び
を押す

4 URL を選ぶ

アドレスの入力 …入力履歴
http://www.sharp.co.jp
https://aquos.jp

で選び
を押す

- アドレスの入力画面に戻ります。入力欄には、選んだ URL が入力されています。

入力履歴を削除するときは

①入力履歴の一覧で、削除したい URL を選び、青ボタンを押す
- 入力履歴メニューが表示されます。

②上下カーソルボタンで「削除」を選び、決定ボタンを押す
- 入力履歴をすべて削除したいときは「すべて削除」を選びます。

③左右カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押す

アドレス入力機能を禁止する（ブラウザ制限）

● 有害サイトへのアクセスを防ぐために、URL を入力してページを表示させる機能を禁止することができます。

おしらせ

- 「ブラウザ制限」を「する」にすると、アドレスの入力およびブックマークの編集は選べません。

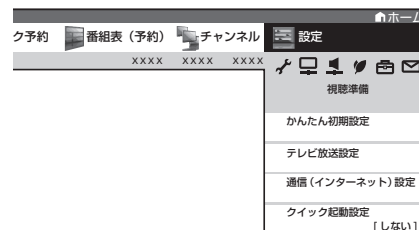
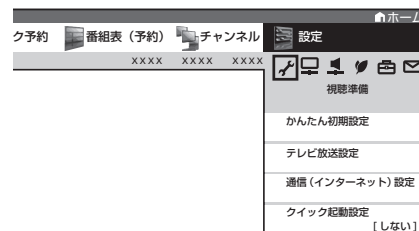
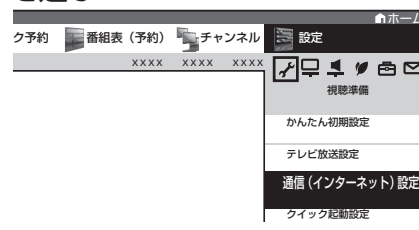
1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

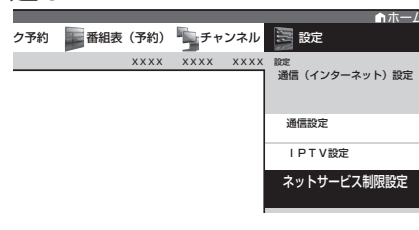
を押し
で選ぶ

2 （視聴準備）を選ぶ

で選ぶ

3 「通信（インターネット）設定」を選ぶ

で選び
を押す

4 「ネットサービス制限設定」を選ぶ

で選び
を押す

5 「ブラウザ制限」を選ぶ

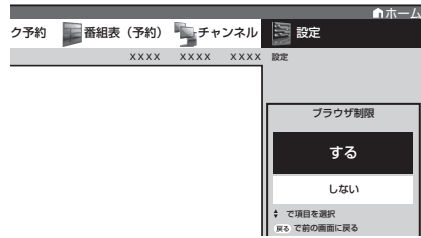
で選び　決定 を押す

- 暗証番号の設定をしていない場合は、先に暗証番号の設定をしてください。（▶ **218** ページ）

6 暗証番号を入力する

1～10/0 で入力

7 「する」を選ぶ

で選び　決定 を押す

表示しているページの URL を保存する（ブックマーク登録）

● ページをブックマーク（▶**347** ページ）に登録しておくと、次に表示するときはブックマーク一覧から選んで、表示できます。

1 ブックマークに登録したいページを表示する

2 ツールバー（便利機能）を表示する

黄 を押す

3 ツールバー（便利機能）の（ブックマークに登録）を選ぶ

で選び　決定 を押す

4 「する」を選ぶ

で選び　決定 を押す

- ブックマークに登録されます。

ブックマークに登録したページを開く

1 ツールバー（便利機能）を表示する

黄 を押す

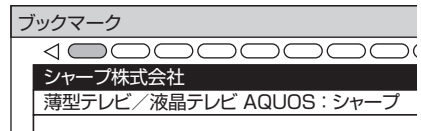
2 ツールバー（便利機能）の（ブックマークを開く）を選ぶ

で選び　決定 を押す

- ブックマーク一覧が表示されます。（画面例）

次のページに続く

3

で選ぶ

表示したいブックマークを選ぶ
- ブックマークを 11 以上登録しているときは、左右カーソルボタンでブックマーク一覧の表示を切り換えます。

4

を押す

決定する
- 選んだページが表示されます。

ブックマークを新しいタブで開くときは
- 決定ボタンの代わりに青ボタンを押し、「新しいタブで開く」を選んで決定ボタンを押します。

ブックマークのタイトルや URL を編集する

● ブックマークのタイトルや URL を編集（書き換え）できます。

おしらせ

- 「ブラウザ制限」を「する」にしている場合（▶ **252** ページ）、ブックマークの編集は選べません。

1

黄
を押す

ツールバー（便利機能）を表示する

2

で選び

を押す

ツールバー（便利機能）の ♡（ブックマークを開く）を選ぶ
- ブックマーク一覧が表示されます。

3

で選ぶ

ブックマーク一覧から、編集したいブックマークを選ぶ
- ブックマークを 11 以上登録しているときは、左右カーソルボタンでブックマーク一覧の表示を切り換えます。

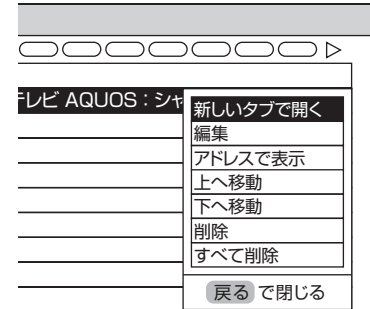
4

青
を押す

ブックマークメニューを表示する
（画面例）

5

で選び

を押す

「編集」を選ぶ
- ブックマークの編集画面が表示されます。

6

で選び

を押す

タイトル欄またはアドレス欄（URL）を選ぶ
- ソフトウェアキーボードが表示されます。

7

タイトルや URL を入力する
- 文字入力の方法については▶ **226** ページをご覧ください。

8

で選び

を押す

編集が終わったら「する」を選ぶ
- 入力した文字が保存されます。

ブックマーク一覧の表示を変更する

- ブックマーク一覧をページのタイトルで表示するか URL で表示するか選べます。

1 ツールバー（便利機能）を表示する

黄 を押す

2 ツールバー（便利機能）の ♡（ブックマークを開く）を選ぶ

で選び

を押す

- ブックマーク一覧が表示されます。

3 ブックマークメニューを表示する

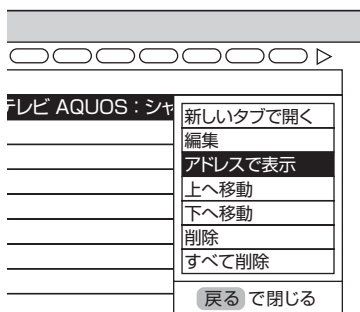
青 を押す

4 ブックマークメニューの「アドレスで表示」または「タイトルで表示」を選ぶ

で選び

を押す

（画面例）

テレビ AQUOS：シャ
新しいタブで開く
編集
アドレスで表示
上へ移動
下へ移動
削除
すべて削除
戻る で閉じる

- ブックマークの表示が変更されます。

ブックマーク一覧の表示順序を入れ換える

1 ツールバー（便利機能）を表示する

を押す

2 ツールバー（便利機能）の ♡（ブックマークを開く）を選ぶ

で選び

を押す

- ブックマーク一覧が表示されます。

3 表示順序を変更したいブックマークを選ぶ

で選ぶ

4 ブックマークメニューを表示する

青 を押す

5 「上へ移動」または「下へ移動」を選ぶ

で選び

を押す

- 表示順序が入れ換わります。

次のページに続く

ブックマークを削除する

1 ツールバー（便利機能）を表示する

黄 を押す

2 ツールバー（便利機能）の ♡（ブックマークを開く）を選ぶ

- ブックマーク一覧が表示されます。

で選び
を押す

3 削除したいブックマークを選ぶ

で選ぶ

4 ブックマークメニューを表示する

青 を押す

5 「削除」を選ぶ

- ブックマークをすべて削除したいときは「すべて削除」を選びます。

で選び
を押す

6 「する」を選ぶ

で選び
を押す

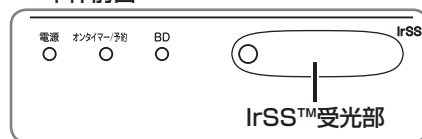
携帯電話を使ってページを表示する

- 携帯電話から IrSS™ で URL（アドレス）を含むフォトリモ ™ 画像を本機に送信することでインターネットのページを表示させることができます。
- フォトリモ ™ 画像を送信するにはフォトリモ ™ 機能対応の携帯電話が必要です。フォトリモ ™ 画像の入手にあたってはユーザ登録などの手続きが必要な場合があります。フォトリモ ™ 機能対応の携帯電話については AQUOS サポートステーション「Q&A 情報」をご覧ください。http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

1 携帯電話を操作してフォトリモ ™ 画像の送信準備をする

- 携帯電話の操作については携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

2 携帯電話から本機の IrSS™ 受光部に向かってフォトリモ ™ 画像を送信する

▼本体前面

- 確認画面が表示された後、自動的にフォトリモ ™ 画像で指定されたページに移動します。

おしらせ

- 「ブラウザ制限」を「する」にしている場合（▶ **252** ページ）、フォトリモ ™ 機能は利用できません。
- ホームネットワークモードやインターネット経由のビデオ再生中など一部のモードではフォトリモ ™ 画像を受信することができません。この場合は入力切換ボタンまたはインターネットボタンを押して「テレビ」を選んでから、再度送信してください。
- 移動先のサーバやインターネット回線に問題がある場合は確認画面が表示されたままになったり、エラーが表示されたりすることがあります。
- フォトリモ ™ 画像が壊れている場合はエラーが表示されたり、確認画面で「移動」を選択する必要があったりすることがあります。
- フォトリモ ™ 機能は写真や絵に URL を埋め込むための IrDA® 規格、EMAP 仕様に準拠しています。

インターネットを見るための設定を確認・変更するには

- ブラウザの設定はブラウザメニューで確認・変更できます。
- ブラウザメニューには表示設定メニューとセキュリティ設定メニューがあります。

ブラウザメニューの基本操作

1 ツールバー（便利機能）を表示し、（メニュー）を選ぶ

黄 を押す

で選び 決定 を押す

- ブラウザメニューが表示されます。

表示設定	セキュリティ設定
拡大・縮小表示	ページの拡大・縮小の表示設定を選択してください。
文字コード	○ 拡大
ページ情報	◉ 標準
リセット	

2 「表示設定」または「セキュリティ設定」を選ぶ

で選ぶ

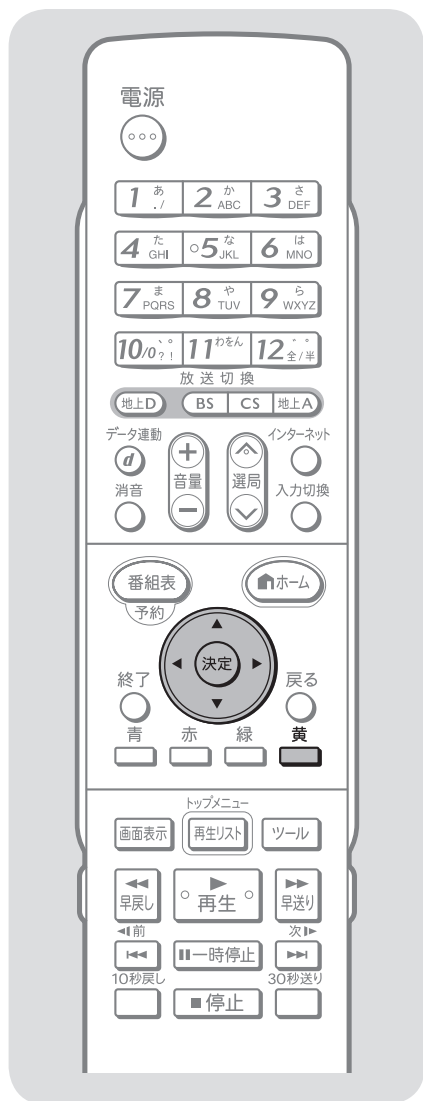
表示設定	セキュリティ設定
セキュリティ	セキュリティに関する設定を行います。
Cookie設定	
サーバー証明書	
ブラウザ情報	

3 変更する項目を選ぶ

で選び 決定 を押す

4 設定の変更や内容の確認をする

- 各項目の詳しい操作については、表示設定メニュー（▶ **258** ページ）およびセキュリティ設定メニュー（▶ **259** ページ）をご覧ください。

5 変更や確認が終わったら、ブラウザメニューを消す

黄 を押す

おしらせ

- ブラウザメニュー表示中に、インターネットボタンを押して画面を切り換えると、ブラウザメニューが消えます。

次のページに続く

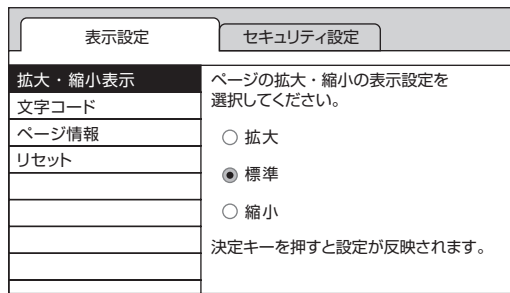
表示内容の設定（表示設定メニュー）

・ブラウザメニューの基本操作については、▶ **257** ページをご覧ください。

表示サイズを変更する（拡大・縮小表示）

● ページの表示サイズを変更できます。

表示設定　セキュリティ設定

拡大・縮小表示	ページの拡大・縮小の表示設定を選択してください。
文字コード	○ 拡大
ページ情報	◉ 標準
リセット	○ 縮小
	決定キーを押すと設定が反映されます。

- 上下カーソルボタンで表示したいサイズを選び、決定ボタンを押します。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

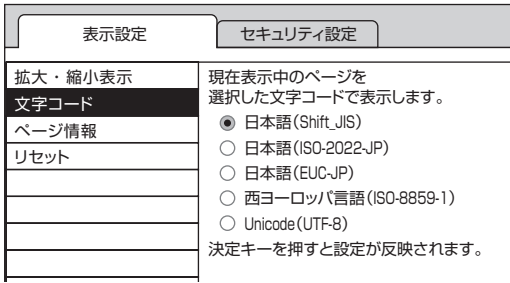
おしらせ

- 文字のサイズだけを大きくすることはできません。

ページの文字が正しく表示されないときは（文字コード）

● ページ上の文字が正しく表示されないときは、文字コードを変更すると正しく表示される場合があります。

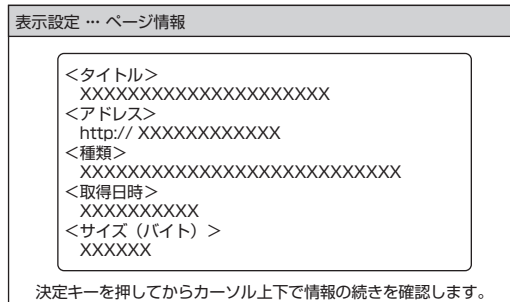
表示設定　セキュリティ設定

拡大・縮小表示	現在表示中のページを選択した文字コードで表示します。
文字コード	◉ 日本語(Shift_JIS)
ページ情報	○ 日本語(ISO-2022-JP)
リセット	○ 日本語(EUC-JP)
	○ 西ヨーロッパ言語(ISO-8859-1)
	○ Unicode(UTF-8)
	決定キーを押すと設定が反映されます。

- 上下カーソルボタンで文字コードの種類を選び、決定ボタンを押します。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

おしらせ

- 「リセット」を行っても、各証明書の有効 / 無効（▶ **259** ページ）および文字コードの設定は戻りません。

ページの情報を確認する

● 表示しているページの情報を確認できます。

表示設定 … ページ情報

<タイトル>
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
<アドレス>
http:// XXXXXXXXXXXX
<種類>
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
<取得日時>
XXXXXXXXXX
<サイズ（バイト）>
XXXXXX

決定キーを押してからカーソル上下で情報の続きを確認します。

- 情報が途中で切れている場合は、決定ボタンを押すと、上下カーソルボタンで続きを確認できます。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

ブラウザの設定を工場出荷時の状態に戻す（リセット）

● ブラウザメニューで設定できる項目を、工場出荷時の状態に戻せます。

1 ブラウザメニューで「表示設定」を選ぶ

で選び
決定 を押す

2 「リセット」を選ぶ

- 確認の画面が表示されます。

で選び

を押す

3 「する」を選ぶ

- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

で選び

を押す

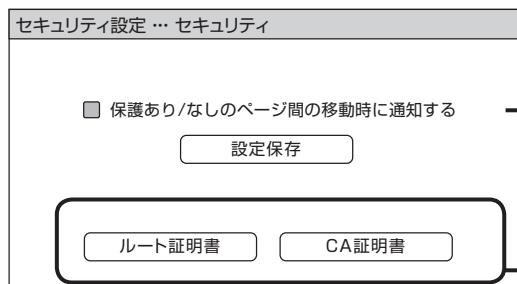
セキュリティに関する設定（セキュリティ設定メニュー）

・ブラウザメニューの基本操作については、▶257ページをご覧ください。

セキュリティの設定をする／本機のルート証明書・CA 証明書を確認する（セキュリティ）

● この画面では次のことができます。

- セキュリティで保護されたページ（サイト）とされていないページ（サイト）の間を移動するときに、メッセージを表示するかどうかの設定
- 本機に保存されている証明書※の確認と、証明書の有効・無効の切り換え

※ページを表示しても安全であることを証明するものです。

チェックをつけると、セキュリティで保護されたページとされていないページを移動するときにメッセージが表示されます。
変更するときは、チェックの付けはずしをし、「設定保存」を選び、決定ボタンを押してください。

各証明書の一覧を表示します。

証明書を確認するとき

1 上記の画面で確認したい証明書の種類を選ぶ

で選び
を押す

・証明書の一覧画面が表示されます。

2 確認したい証明書を選ぶ

で選び
決定
を押す

- 選んだ証明書の内容が表示されます。
- 情報が途中で切れている場合は、決定ボタンを押すと、上下カーソルボタンで続きを確認できます。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

証明書を無効にするとき

1 上記の画面で無効にしたい証明書の種類を選ぶ

で選び
を押す

・証明書の一覧画面が表示されます。

2 無効にしたい証明書を選びサブメニューを表示する

で選び
青
を押す

3 「無効にする」を選ぶ

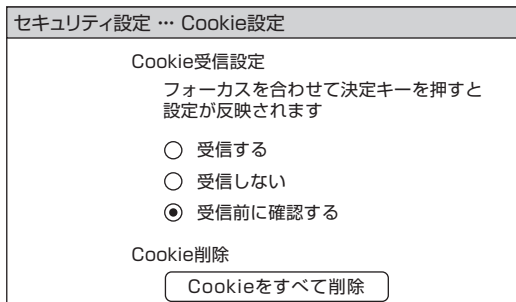
で選び
を押す

- 無効にした証明書は証明書の一覧画面でチェックがはずれます。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

次のページに続く

Cookie（クッキー）の設定を変更する

- Cookie（▶ **344** ページ）の受信方法の設定と、受信した Cookie の削除ができます。

セキュリティ設定 … Cookie設定
Cookie受信設定 フォーカスを合わせて決定キーを押すと設定が反映されます ○ 受信する ○ 受信しない ◉ 受信前に確認する Cookie削除 Cookieをすべて削除

- 上下カーソルボタンで選びたい設定を選び､決定ボタンを押します。
- 「受信前に確認する」にしておくと、Cookie を使用するページを表示するときに確認のメッセージが表示されます。Cookie を受信するかどうかを選び、決定ボタンを押してください。
- 操作を終了するときは､黄ボタンを押します。

Cookie をすべて削除するときは

・Cookie を削除すると、入力した情報を再度入力する必要があります。

1 上記の画面で「Cookie をすべて削除」を選ぶ

で選び
を押す

2 「する」を選ぶ

- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

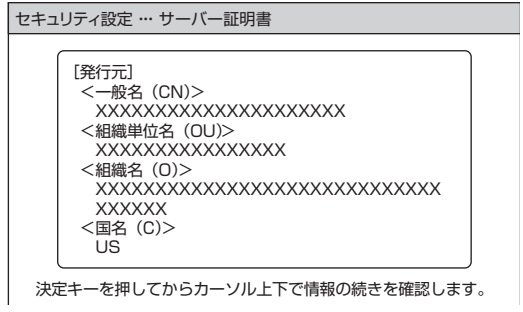
で選び
を押す

サーバー証明書を確認する

- セキュリティで保護されているページのサーバー証明書を確認できます。

セキュリティ設定 … サーバー証明書
［発行元］ <一般名（CN)> XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX <組織単位名（OU)> XXXXXXXXXXXXXXXX <組織名（O)> XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXX <国名（C)> US
決定キーを押してからカーソル上下で情報の続きを確認します。

- 情報が途中で切れている場合は､決定ボタンを押すと､上下カーソルボタンで続きを確認できます。
- 操作を終了するときは､黄ボタンを押します。

重 要

ブラウザの閲覧制限機能について

- 本機には、インターネットのページ閲覧を禁止、もしくは、制限するための機能が複数組み込まれています。お子様などが本機を使ってインターネットをご覧になる場合には、この機能の利用をお勧めします。
- 利用にあたって以下の機能を搭載しています。必要な機能を選び設定を行ってください。なお、全ての設定に暗証番号の入力 (パスワードロック機能) が必要です。
  - インターネット接続を禁止する▶ **235** ページ
  - アドレス入力機能を禁止する (ブラウザ制限)▶ **252** ページ
  - プロキシ設定機能を利用する (プロキシサーバー設定)▶ **244** ページ

- 本製品には、株式会社 ACCESS の NetFront Browser を搭載しています。
- ACCESS、ACCESS ロゴ、NetFront は、日本国、米国、およびその他の国における株式会社 ACCESS の登録商標または商標です。
- 本製品の一部分に Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。

IPTV を視聴するための準備

IPTV を視聴するために

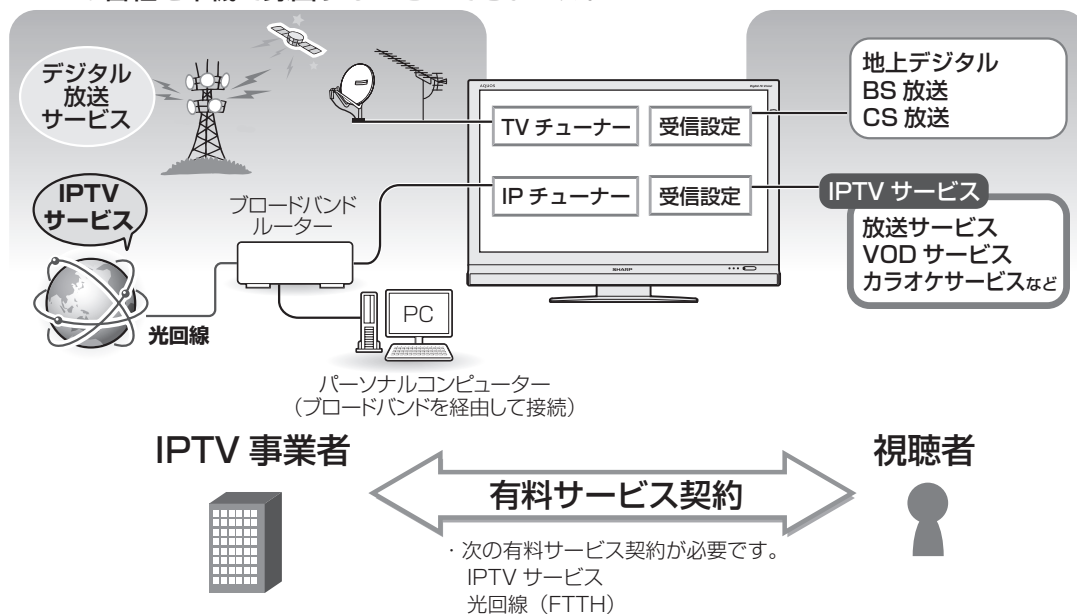
IPTV とは

● IPTV とはブロードバンド回線を使って受信するテレビ放送などのサービスです。従来のテレビ放送は壁のアンテナ端子につないで受信しますが、IPTV はご家庭に設置しているブロードバンドルーターなどとつないで受信します。

● IPTV のサービスには、テレビ放送サービスやビデオオンデマンドサービスなどがあります。

※ IPTV の番組を本機で録画することはできません。

パーソナルコンピューター（ブロードバンドを経由して接続）

・次の有料サービス契約が必要です。
IPTV サービス
光回線（FTTH）

IPTV を視聴するための準備の流れ

IPTVサービスの契約をする
・IPTVサービス事業者のホームページやパンフレットなどをご覧ください。
・本機はIPTVのチューナーを内蔵しているため、**IPTVを受信するためのセットトップボックス(STB)は不要**です。

▼

光回線(FTTH)に接続する▶262ページ

▼

IPTVの基本登録をする▶263ページ
・IPTVサービスを利用するための登録をします。

▼

IPTVのチャンネルを設定する▶265ページ
・IPTVの放送サービスをご利用になる場合に必要です。

おしらせ

・IPTV サービスによっては、IPTV を見るためのサービスとビデオを見るためのサービスでコースが分かれているものもあります。
・IPTV のご利用には、実効速度（常時）20Mbps 以上の光回線（FTTH）が必要です。
・引っ越した場合、IPTV が視聴できなくなる場合があります。その場合は、かんたん初期設定を行った後、ポータルの案内に従って操作してください。

光回線（FTTH）に接続する

● ご契約のIPTVサービスによって必要になるブロードバンド環境が異なります。詳しくはIPTVサービス申込書や接続に関する案内などをご覧ください。ただし、**本機はIPTVのチューナーを内蔵しているため、IPTVを受信するためのセットトップボックス（STB）は不要**です。

IPv6環境の接続のしかた

● IPTVサービスが、IPv6方式の場合に必要な接続です。

本機のIPv6接続はIPTVの受信にのみ使用します

・インターネットやホームネットワーク機能をお使いになるときは、IPv4環境も必要です。

インターネット

プロバイダー
インターネット情報サービスを提供している会社です。

光回線（FTTH）

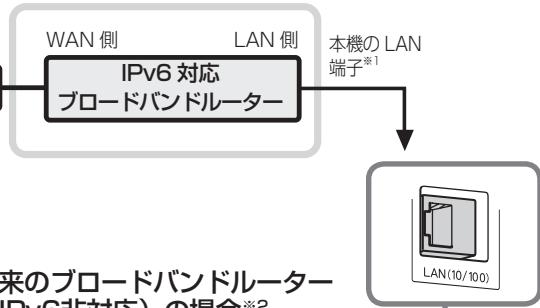
信号変換機器

IPv6に対応したブロードバンドルーターの場合

WAN側　LAN側

IPv6対応ブロードバンドルーター

本機のLAN端子※1

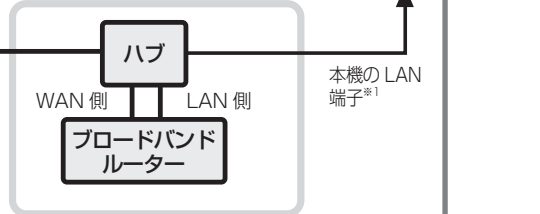
LAN(10/100)

従来のブロードバンドルーター（IPv6非対応）の場合※2

ハブ

WAN側　LAN側

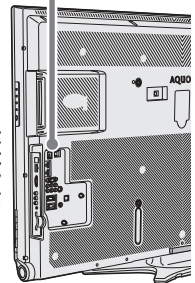
ブロードバンドルーター

本機のLAN端子※1

▶本体背面

IPv6とは

・インターネットでの通信に関する規約のことです。インターネットに接続された機器はIPを利用して通信していて、機器ごとにIPアドレス（住所のようなもの）が割り振られています。近年インターネットの普及により、従来のIP（IPv4）では数が足りなくなってきたため、新しくIPv6方式が定められました。

※1 IPTVの視聴には通常のLAN端子に接続します。同時にBD-LIVEも使用するときはBD-LIVE（▶**162**ページ）専用のLAN端子にも接続してください。

※2 詳細なセキュリティの設定が必要です。通常は、IPv6対応のブロードバンドルーターと接続してください。

IPv4環境の接続のしかた

● ブロードバンド環境への接続と設定（インターネットの準備）（▶**236**ページ）をご覧になり、ブロードバンドルーターと本機を接続してください。

IPTV の基本登録をする

- IPTVを視聴するためには、ポータル画面で基本登録をする必要があります。
- 基本登録を完了してから放送を受信できる状態になるまで、しばらく時間がかかる場合があります。

1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

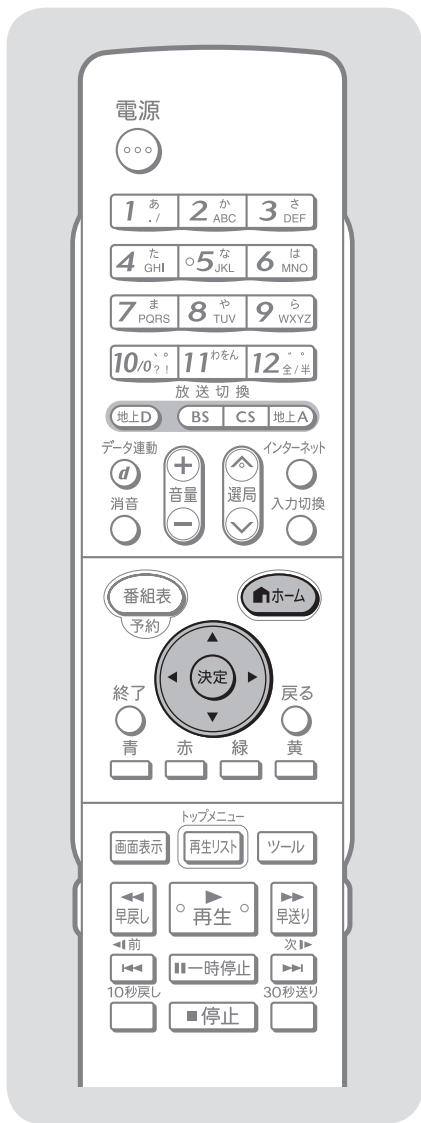
ホーム を押し ◀▶ で選ぶ

2 (視聴準備)を選ぶ

▲▼ ◀▶ で選ぶ

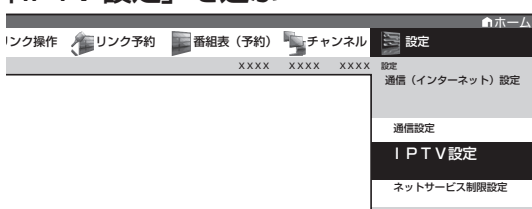
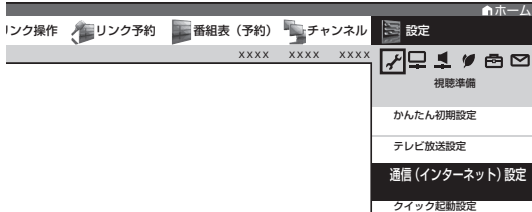
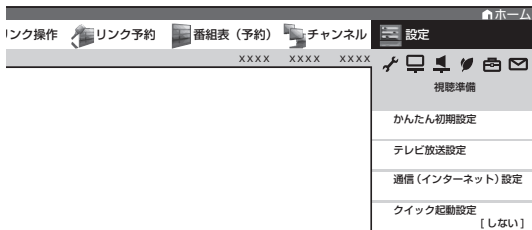
3 「通信(インターネット)設定」を選ぶ

▲▼ で選び 決定 を押す

4 「IPTV 設定」を選ぶ

▲▼ で選び 決定 を押す

おしらせ

「IPTV 設定」－「サービス設定」について

- かんたん初期設定の「IPTV 設定」を「する」にした場合、IPTV のサービス設定は「する」に設定されていますので、改めて設定する必要はありません。新たに IPTV の契約をした場合は、IPTV のサービス設定を「する」に設定してください。

次のページに続く

◆ IPTV サービスの設定をする

5 「サービス設定」を選ぶ

で選び

を押す

6 「する」を選ぶ

で選び
決定 を押す

サービス設定
基本登録
チャンネル設定
デジタル登録
受信状態

IPTVサービスの設定をしますか?
（IPTVサービスを提供する
光ファイバー回線の契約が必要です。）
［現在の設定］
IPTV設定：利用不可

する　しない

7 「終了」で決定する

決定 を押す

◆基本登録をする

8 「基本登録」を選ぶ

で選び
決定 を押す

9 基本登録をする IPTV 事業者名を選ぶ

で選び
決定 を押す

サービス設定
基本登録
チャンネル設定
デジタル登録
受信状態

基本登録を行う事業者を選択してください。
事業者の登録ページに移動します。

事業者ID　事業者名
00　○○○
01　×××

- IPTV 事業者の基本登録画面が表示されます。

（例）

10 基本登録をする

で選び

を押す

- 以降の操作は画面の表示に従って行ってください。

IPTV のチャンネル設定は、**265** ページをご覧ください。
ただし、基本登録を完了してから受信できるまで、しばらく時間がかかる場合があります。

おしらせ

IPTV の基本登録画面が表示されないときは

- IPTV サービス事業者がIPv6 でサービスを行っている場合は､｢設定｣－｢ (視聴準備)｣－｢通信（インターネット）設定｣ －｢通信設定｣ －｢LAN 設定 (IPv6)｣を選び､各項目に数値が入っているか確認します。
  各項目が空欄の場合は次のことを確認してください。
  - ブロードバンドルーターの電源が入っていますか。ブロードバンドルーターによっては、電源を入れてから使用できるまで少し時間のかかるものがあります。
  - ブロードバンドルーターが IPv6 に対応したものになっていますか。また、IPv6 を使用できる設定になっていますか。
  - 本機とブロードバンドルーターの間に無線 LAN を接続していませんか。無線 LAN では､IPv6 の通信が出来ない場合があります。
  - 本機のLAN 端子とブロードバンドルーターの LAN 端子が正しく接続されていますか。
  - 光回線の終端装置 (ONU) や途中の機器の電源が入っていますか。また、必要なケーブルは正しく接続されていますか。

  これらの確認を行っても原因が分からないときは、回線事業者や IPTV サービスへお問い合わせください。
- IPTV サービス事業者がIPv4 でサービスを行っている場合は、「インターネットに接続できない場合は」（▶ **243** ページ）をご覧ください。

IPTV のチャンネルを設定する

● IPTV の放送サービスを受信するときはチャンネル設定が必要です。
IPTV のチャンネル設定の前に、IPTV の基本登録が必要です。

1 地上D BS CS のいずれかを押す

デジタル放送を選ぶ

- インターネットボタンを押して「AQUOS.jp」メニューから「IPTV」を選んで設定することもできます。

2 ホーム を押し 決定 で選ぶ

ホームメニューから「設定」を選ぶ

3 で選ぶ

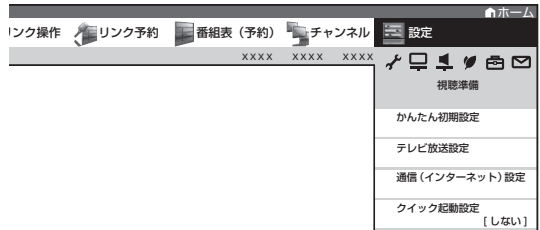
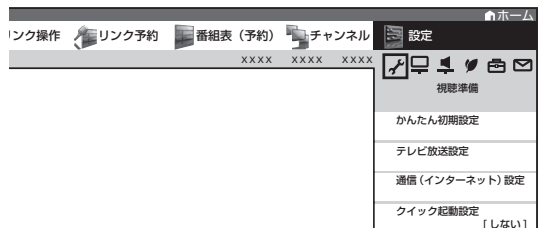
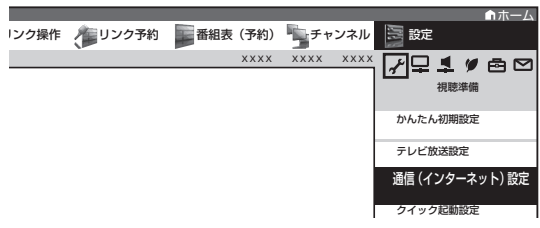
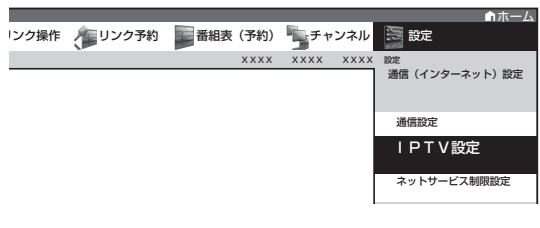
(視聴準備)を選ぶ

4 で選び 決定 を押す

「通信(インターネット)設定」を選ぶ

5 で選び 決定 を押す

「IPTV 設定」を選ぶ

重 要

チャンネルを追加するときは

- 「IPTV ー自動」を行った後で、新しくサービスに加入するなど開始された放送チャンネルを追加する場合、次ページの手順 7 で「IPTV ー追加」を選びます。すでに登録されているチャンネルはそのまま残り、新しく確認されたチャンネルが追加されます。追加が終わったら、「終了」で決定ボタンを押します。

次のページに続く

6 「チャンネル設定」を選ぶ

で選び 決定 を押す

サービス設定
基本登録
チャンネル設定
デジタル登録
受信状態

IPTVの受信チャンネルの設定です。
（チャンネル設定をする前に、必ずLAN設定を設定しておいてください。

7 「IPTV －自動」を選ぶ

で選び
を押す

8 「する」を選ぶ

で選び 決定 を押す

- 自動設定が始まります。

- 自動設定が終わるまでしばらくお待ちください。

9 「終了」を選ぶ

決定 を押す

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

IPTV のチャンネルが見つからなかったときは

- 次の画面が表示されます。

- IPTV の放送サービスに加入していて、この画面が表示された場合は基本登録を行ってください。（▶ **263** ページ）
- 基本登録がお済みでこの画面が表示された場合は、ポータル画面で、受信できる状態になっているか確認してください。
- IPTV の放送サービスに加入していない場合、チャンネルは登録されません。

- 「しない」を選んだ場合は、チャンネルの登録を行いません。次に表示される画面で「終了」を選びます。

選局ボタンで選べる不要なチャンネルを飛ばす／スキップしたチャンネルを電子番組表や裏番組一覧で非表示にするには

1. 手順 7 で「IPTV －個別」を選び、決定する
2. スキップするチャンネルを選び、決定する
3. 「スキップ」を選び、決定する
4. 「選局順逆時にこのチャンネルをスキップして選局しますか？」の表示で「する」を選び、決定する
5. 「番組表、裏番組の表示時にも、このチャンネルをスキップしますか？」の表示で「する」または「しない」を選び、決定する
   - 手順 5　で「する」を選ぶとスキップ設定したチャンネルが、番組表や裏番組一覧に表示されなくなります。
     ただし、スキップ設定したチャンネルでも視聴中の場合は、番組表や裏番組一覧に表示されます。

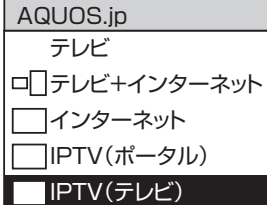
IPTV を見る

IPTV のチャンネルを選ぶ

※ IPTV の放送サービスを視聴するための手順です。

● IPTV を見るための準備については、「IPTV を視聴するための準備の流れ」（▶ **261** ページ）をご覧ください。

1 IPTVに切り換える

インターネットボタンを数回押して「IPTV(テレビ)」を選びます。

2 チャンネルを選ぶ

次の方法があります。

選局ボタンで選ぶ

・ 登録されたチャンネル順に選局できます。

3桁のチャンネル番号を入力する

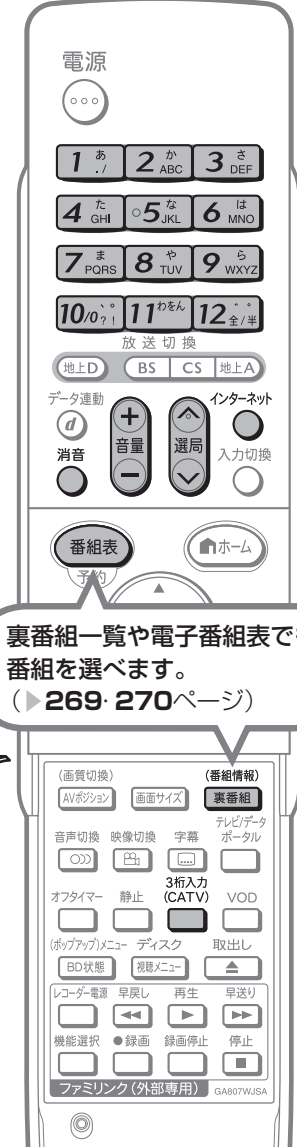
・ 3 桁のチャンネル番号を入力して選局できます。受信できるチャンネルが多数ある場合に便利です。

・ 複数の IPTV サービスに加入していて、3 桁チャンネル番号が重複する場合は、4 桁目（枝番）の選択画面が表示されます。数字ボタン（チャンネルボタン）で枝番を入力してください。

数字ボタン(チャンネルボタン)で選ぶ

・ IPTV のチャンネル設定した直後は、各放送局のプロモーションチャンネルが設定されます。
・ 各ボタンによく見るチャンネルを登録することができます。(▶**271**ページ)

3 音量を調節する

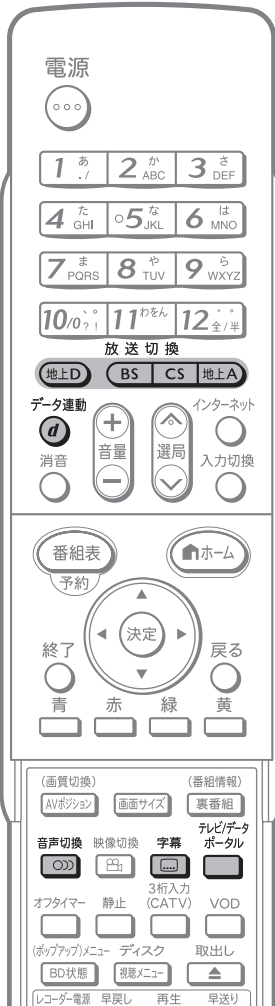
・ 「+」で音が大きく、「−」で音が小さくなります。

画面下部に音量レベルが表示されます。

裏番組一覧や電子番組表でも番組を選べます。
（▶**269**･**270**ページ）

おしらせ

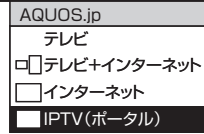
・ 消音 を押すと、一時的に音を消せます。

次のページに続く

視聴中の操作について

IPTVサービスのポータル画面に切り換えるには

詳しくは「IPTVのポータル画面を活用する」（▶**272**ページ）

インターネットボタンを数回押して「IPTV（ポータル）」を選びます。

AQUOS.jp
テレビ
テレビ+インターネット
インターネット
IPTV（ポータル）

テレビ/データ ポータル　前回表示したポータル画面に、切り換えます。

データ連動　見ているIPTVの放送サービスに連動したポータルがある場合に、そのポータル画面に切り換えます。

- ビデオオンデマンドなどのタイトルを選ぶには、ポータル画面から項目を選んで操作します。
- IPTVサービスによっては、IPTVを受信する前にポータル画面で受信の手続きが必要になる場合があります。このときは、ポータル画面に切り換えてください。

字幕や音声を切り換えるときは

音声切換

- 複数の音声がある番組の場合は、押すたびに音声が切り換わります。

字幕

- 字幕がある番組の場合は、押すたびに字幕の表示・種類が切り換わります。

デジタル放送や地上アナログ放送に戻すときは

放送切換　地上D　BS　CS　地上A

- 放送切換ボタンの中から見たい放送の種類のボタンを押してください。

IPTV の視聴について

- IPTV は光回線（FTTH）を使って受信するため、通信回線の使用状況によっては、映像が粗くなったり、一時的に停止したりする場合があります。
  IPTV の受信状態については「設定」－「（視聴準備）」－「通信（インターネット）設定」－「IPTV 設定」－「受信状態」で確認できます。
- 番組やコンテンツによっては標準画質のものもあります。この場合は、ハイビジョン放送に比べ画質は粗くなります。
- 放送サービスやビデオオンデマンドサービスをご利用になる場合は、次のことにもご注意ください。
  - 映像コンテンツの中には、有料のものもあります。映像コンテンツを再生する前に画面上でよく確認してください。
  - ほとんどの有料コンテンツには、視聴期間が設定されています。視聴期間が切れると新たに料金がかかります。
  - 有料コンテンツを購入後、ビデオが視聴できないなどの不具合があった場合、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

IPTV の番組を調べる

● テレビ放送の視聴中と同じように、IPTV を視聴しているときも裏番組の一覧や番組表を使って放送中の番組や今後の番組を調べることができます。

放送中の番組を調べる

1 IPTV を視聴中に裏番組の一覧を表示する

(番組情報)
裏番組
を押す

・ 複数のプラットホームを受信している場合は、「テレビ / データ / ポータル」ボタンでプラットホームを切り換えられます。

2 見たい番組を選ぶ

で選び
決定
を押す

・ 選んだ番組に切り換わります。

おしらせ

・ ポータル表示中および VOD 再生中は、番組情報が表示されます。
番組情報画面の操作については、**104** ページをご覧ください。

おしらせ

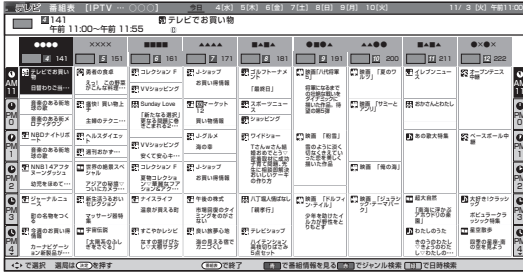
・ プラットホームとは、IPTV サービス事業者がサービスを提供する際に使用している環境のことです。1 種類の IPTV サービスに加入しているときでも、IPTV サービスによっては複数のプラットホームを使用している場合があります。また、複数の IPTV サービスに加入していても使用しているプラットホームは 1 つだけの場合もあります。

次のページに続く

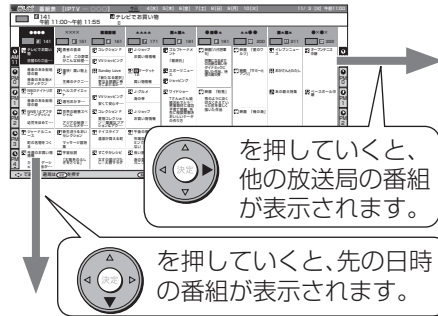
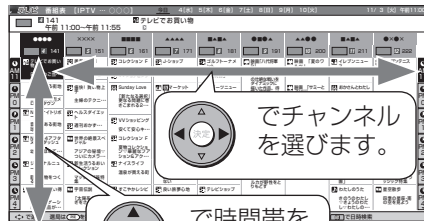
番組の放送予定を調べる

1 電子番組表を表示する

予約
を押す

• 一時的に音声が停止します。

2 チャンネルや時間帯の表示範囲を切り換えて放送予定を調べる

で選び
決定
を押す

（時間帯を縦に表示した場合）

• 複数のプラットホームを受信している場合は、「テレビ / データ / ポータル」ボタンでプラットホームを切り換えられます。
• 本機では、IPTV の番組は予約できません。
• 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

テレビ放送の番組表と同じように次の操作ができます

青 番組の情報を表示します。

赤 ジャンルで検索します。

緑 指定した日時の番組表を表示します。

詳しい操作は▶ **94 ～ 95** ページをご覧ください。

おしらせ

• 現在の時間帯より前の番組表は表示できません。
• IPTV の番組表に表示される情報の期間は最大 8 日分です。
• 電子番組表の表示方式を切り換えることができます。(▶ **97**ページ)
• IPTVの電子番組表を表示しているときは、放送切換ボタンを押しても、他のデジタル放送の番組表には切り換わりません。
• IPTVの成人向けチャンネルやコンテンツを視聴するためには、視聴年齢制限設定が必要です。視聴年齢制限を「20歳」または「無制限」に設定すると、電子番組表などに成人向けチャンネルが表示されます。

数字ボタン(チャンネルボタン)で選べる IPTV のチャンネルを変更する

● よく見る IPTV のチャンネルは数字ボタン(チャンネルボタン)に登録しておくと便利です。

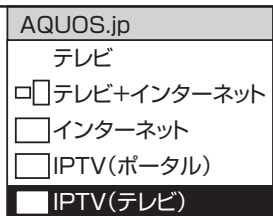
1 AQUOS.jp メニューを表示する

インターネット を押す

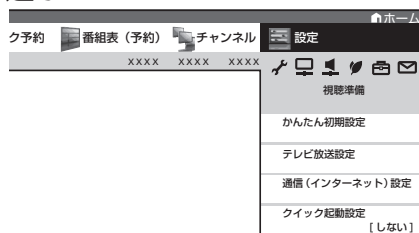
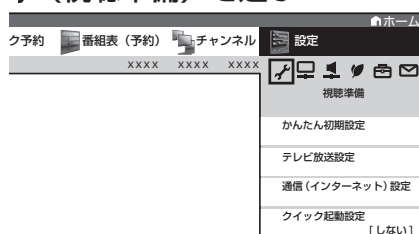
2 インターネットボタンを繰り返し押し、「IPTV（テレビ）」を選ぶ

インターネット を押す
決定 を押す

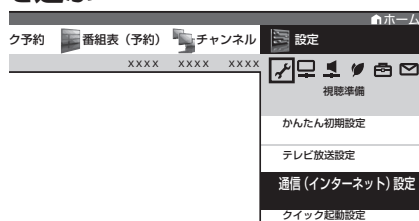
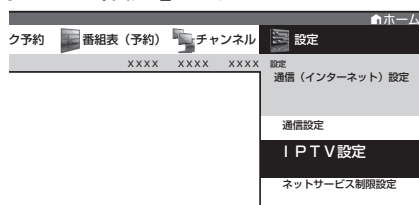
• 上下カーソルボタンでも選べます。

AQUOS.jp
テレビ
テレビ+インターネット
インターネット
IPTV(ポータル)
IPTV(テレビ)

3 登録したいチャンネルを選局する

4 ホームメニューから「設定」を選ぶ

ホーム を押し
で選ぶ

5 (視聴準備）を選ぶ

で選ぶ

6 「通信（インターネット）設定」を選ぶ

で選び
を押す

7 「IPTV 設定」を選ぶ

で選び
を押す

8 「デジタル登録」を選ぶ

で選び
を押す

次のページに続く

9 「する」を選ぶ

で選び
を押す

・ チャンネルの一覧が表示されます。

10 「登録」を選ぶ

で選び
を押す

11 登録したいチャンネルボタンを押す

～
で入力

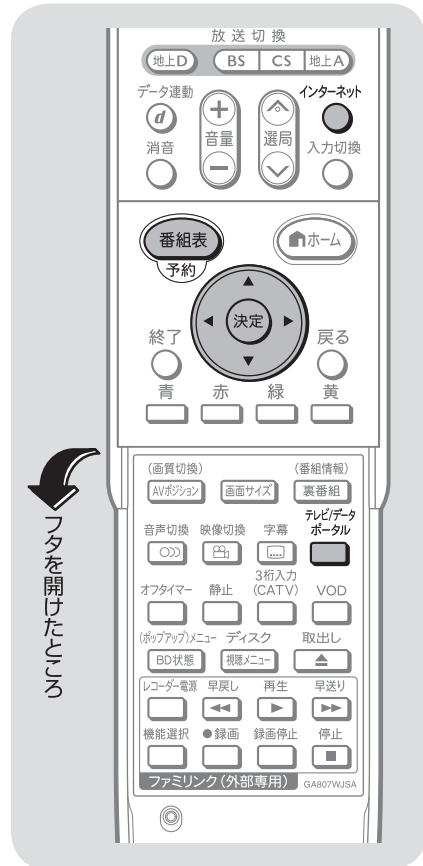
・ 終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

・ 登録できるのは、12 局までです。
・ 設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、手順 10 で「初期化」を選び、決定ボタンを押します。

IPTV のポータル画面を活用する

● ポータル画面とは IPTV サービスの窓口となる画面のことです。
● ポータル画面では、次のようなことができます。
  ・IPTV サービスの基本登録をする
  ・ビデオオンデマンドサービスのタイトルを選ぶ
  ・IPTV サービス事業者からのお知らせを確認する
  ・IPTV サービスのサービスプランを変える

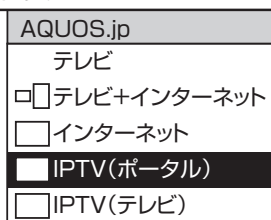
※できることは IPTV サービスによって異なります。詳しくは IPTV サービス事業者にお問い合わせください。

ポータル画面を操作する

1 AQUOS.jp メニューを表示する

インターネット
を押す

2 インターネットボタンを繰り返し押し、「IPTV（ポータル）」を選ぶ

インターネット を押す
決定 を押す

- 上下カーソルボタンでも選べます。
- 前回表示したポータル画面が表示されます。

3 ポータルリストを表示する

番組表 予約 を押す

4 表示したいポータル画面を選ぶ

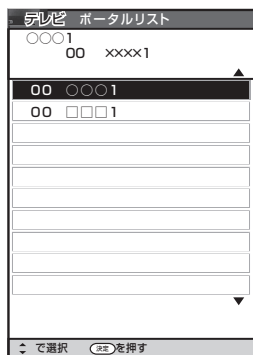
で選び
を押す

- 選んだポータル画面が表示されます。

（例）

IPTVポータル
全国の天気
警報・注意報
ニュース
ビデオ
マイポータル
申し込み

5 画面の中から目的の項目を選ぶ

で選び
を押す

- 選んだ項目によっては、新しい画面が表示され、その中からさらに項目を選ぶものもあります。

ポータル画面から、IPTV のテレビ放送に切り換えるには

- インターネットボタンを押して AQUOS.jp メニューから「IPTV（テレビ）」を選択してください。

おしらせ

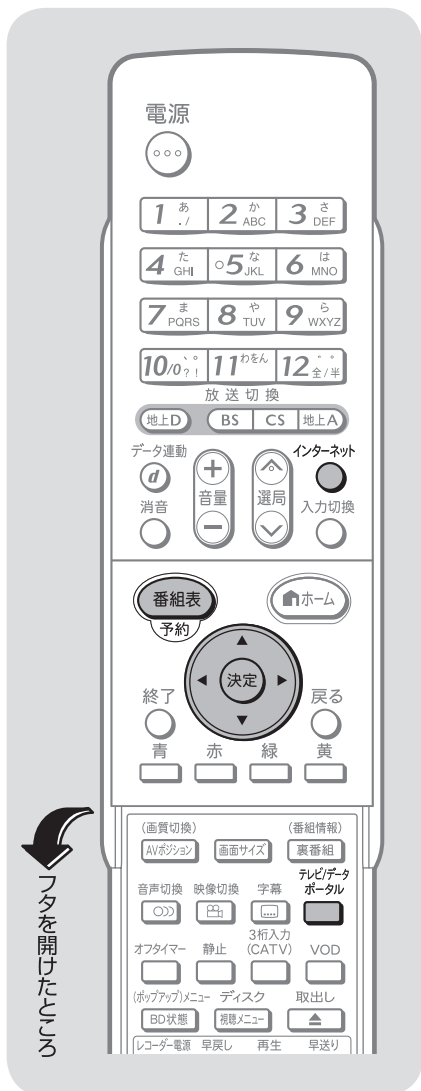
- 次の場合、テレビ／データ／ポータルボタンを押すと IPTV のテレビ放送が表示されます。
  - ・ポータル画面に映像が表示されているとき
  - ・IPTV のビデオオンデマンドを全画面で再生しているとき
- ホームメニューからポータルリストを見ることもできます。
  「番組表（予約）」－「IPTV（ポータル）」－「ポータルリスト」を選びます。

IPTV のビデオオンデマンド（VOD）を楽しむ

- ビデオオンデマンドとは映画などのタイトルを見たいときに、見ることができるレンタルビデオのようなサービスです。
  ※「VOD」とは、Video on Demand のことです。

重 要

ビデオオンデマンドを利用するためには

- IPTV サービスの中でも、ビデオオンデマンドを利用できるサービスに加入しておく必要があります。

おしらせ

- ビデオオンデマンドは、「ビデオサービス」や「ビデオレンタル」などと呼ばれる場合もあります。

ビデオオンデマンドのタイトルを再生する

- タイトルの検索や再生の手続きなどは、主にポータル画面（▶ **272** ページ）で行います。

◆ポータル画面を表示する

1 インターネット を押す　決定 を押す

インターネットボタンを繰り返し押し、「IPTV（ポータル）」を選ぶ

- 上下カーソルボタンでも選べます。
- 前回表示したポータル画面が表示されます。

2

番組表 予約 を押す

ポータルリストを表示する

3

で選び

決定 を押す

表示したいポータル画面を選ぶ

◆ビデオオンデマンドのタイトルを探す

4

で選び

決定 を押す

① **画面の項目からビデオオンデマンドに関する項目を選ぶ**

② **再生したいタイトルを選ぶ**

- 以降の操作は画面の表示に従ってください。タイトルによっては再生する前に視聴に関する注意事項や制限事項などが表示される場合がありますので、よく読んでから再生してください。

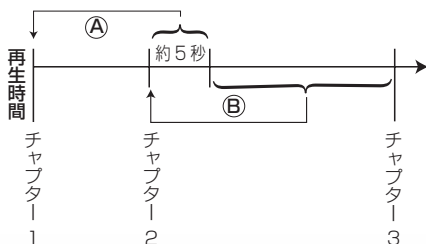
再生中の操作のしかた

● ビデオオンデマンドのタイトルを再生しているときは、VOD 操作パネルで、一時停止や再生などの操作ができます。

ホームメニューからVOD操作パネルを見ることもできます

- 「ツール」−「VOD」を選びます。
- 「設定」−「(機能切換)」−「視聴操作」−「VOD」を選びます。

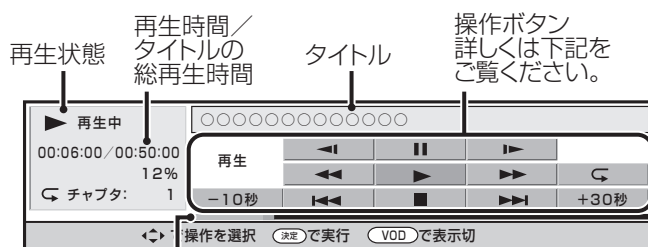
逆頭出しボタン（⏮）は再生位置によってはたらきがかわります。

- 再生位置がチャプターから約5秒以内の場合は、そのひとつ前のチャプターに(下図Ⓐ)、5秒を超えている場合は、直前のチャプター(下図Ⓑ)に戻ります。

1 VOD 操作パネルを表示する

- 画面の一部に映像が表示されているようなコンテンツの場合は、VOD 操作パネルが表示されない場合があります。

2 操作したい機能のボタンを選ぶ

で選び 決定 を押す

- VOD 操作パネルの表示を消すときは、もう一度 VOD ボタンを押します。

VOD 操作パネルの見かた

プログレスバー
ここを選ぶと、左右カーソルボタンで再生位置を移動できます。

- VOD 操作パネルの表示とコンテンツの操作情報が一致しないことがあります。

操作ボタンの機能について

ボタン	機能	ボタン	機能	ボタン	機能
◀▮	スロー巻戻し再生	▮▮	一時停止	▮▶	スロー再生
◀◀	巻戻し再生	▶	再生	▶▶	早送り再生
⏮	前のチャプター※に戻って頭出し（逆頭出し）	■	停止	⏭	1つ先のチャプター※に進んで頭出し（順頭出し）

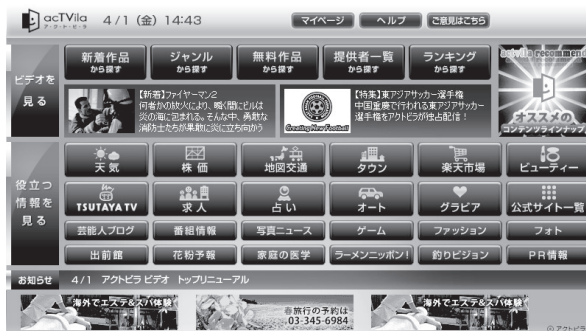
※チャプターとは、サービスであらかじめ設定された、再生区切り位置です。

ボタン	機能	ボタン	機能	ボタン	機能
−10秒	10秒後戻し	+30秒	30秒先送り	リピート	リピート 1つのタイトルを繰り返し再生します

- 視聴するコンテンツによっては、操作できない機能があります。

アクトビラ ビデオを見る

アクトビラ ビデオとは

● テレビ向けインターネットサイト「アクトビラ」が提供している映像配信サービスです。

• 画面に表示される内容は変更になる場合があります。

おしらせ

アクトビラを利用するときは

• サービスへの入会などは不要です。ただし、アクトビラ ビデオのコンテンツによっては有料のものもあります。
• リモコンの基本操作は、「インターネットを見る画面（ブラウザ）の使いかた」（▶ **249** ページ）と同様です。

● アクトビラ ビデオには「アクトビラ ビデオ」と「アクトビラ ビデオ・フル」があります。

・アクトビラ ビデオ
インターネットのページ上で再生する映像コンテンツです。文字や写真と同時に映像も楽しめます。ページ上の項目や本機の VOD 操作パネルを使って操作します。

・アクトビラ ビデオ・フル
全画面で再生する映像コンテンツです。大画面で迫力ある映像を楽しめます。本機の VOD 操作パネルを使って操作します。

おしらせ

必要な回線速度について

• アクトビラ ビデオをお楽しみになる場合は、実効速度6Mbps程度必要です。
アクトビラ ビデオ·フルの場合は、実効速度12Mbps程度必要です。
• 光回線（FTTH）においても、お客様のご利用環境（ハブやルーターの性能など）や回線の混雑状況などにより、時間帯によっては実効速度が低下する場合があります。

プロキシサーバーについて

• プロキシサーバーを設定せずにアクトビラ ビデオを視聴してください。
プロキシサーバーを通じてインターネットに接続する環境の場合は、アクトビラ ビデオを視聴できなかったり、一部動作に制限があることがあります。

必要な準備について

● インターネットに接続するためのブロードバンド環境のうち、光回線（FTTH）が必要です。本機を光回線（FTTH）に接続してください。詳しくは「ブロードバンド環境への接続と設定（インターネットの準備）」（▶ **236** ページ）をご覧ください。

アクトビラ ビデオについて

● 映像コンテンツの中には、有料のものもあります。映像コンテンツを再生する前に画面上でよく確認してください。
● ほとんどの有料コンテンツには、視聴期間が設定されています。視聴期間が切れると新たに料金がかかります。
● 回線の使用状況によっては、映像が粗くなったり、一時的に停止したりする場合があります。
● コンテンツによっては標準画質のものもあります。この場合は、ハイビジョン放送に比べ映像が粗くなります。
● 有料コンテンツを購入後、ビデオが視聴できないなどの不具合があった場合、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

アクトビラ ビデオを見る

- アクトビラ ビデオをお楽しみになるためには、回線の実効速度が6Mbps程度必要です。実効速度は、お手持ちのパソコンを用いて、アクトビラのホームページ(http://actvila.jp)の「スピードテスト」で確認することができます。(2009年7月現在)

おしらせ

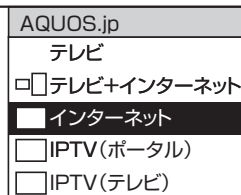
- 「テレビ+インターネット」の状態でアクトビラ ビデオを再生すると、自動的にインターネットの1画面表示になります。
- アクトビラ ビデオ再生時には画面サイズボタンは使えません。
- アクトビラ ビデオを再生しているとき、一部ブラウザ操作に制限があります。(タブ操作やブラウザメニューの「拡大・縮小表示」、文字入力など)

1 AQUOS.jp メニューを表示する

インターネット を押す

2 インターネットボタンを繰り返し押し、「インターネット」を選ぶ

インターネット を押す
 を押す

- 上下カーソルボタンでも選べます。

- ブラウザが起動し、AQUOS.jp が表示されます。

- AQUOS.jp の表示内容は一例です。

3 「アクトビラ」を選ぶ

 で選び 決定 を押す

- アクトビラのポータル画面が表示されます。

4 視聴したいアクトビラ ビデオのコンテンツを選ぶ

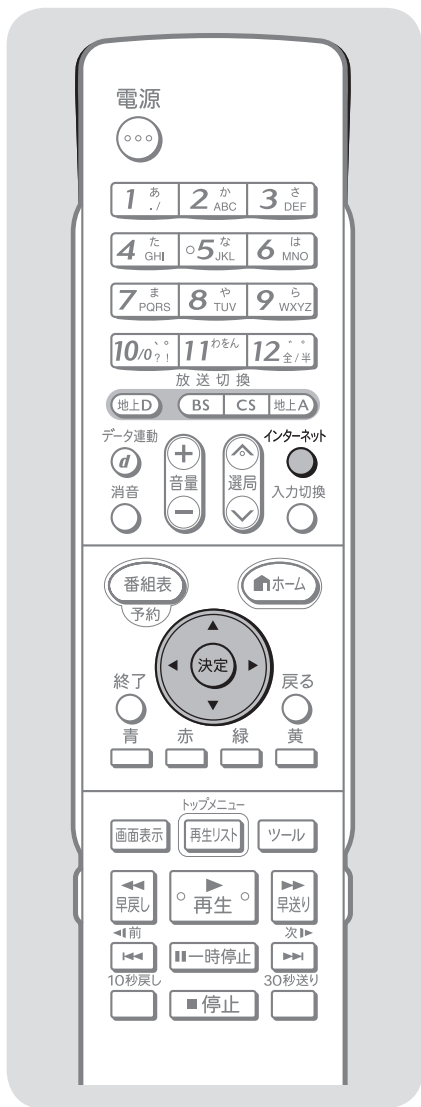
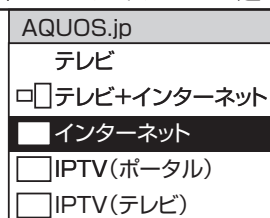
 で選び を押す

- 以降の操作は画面の表示に従って操作してください。例えば、カーソルボタン（上・下・左・右）で「再生」などの項目を選びます。
- 早送りや早戻しの操作は、画面に表示されているボタンを使います。(映像コンテンツによっては早送りや早戻しができないものもあります。)
- VOD 操作パネルで操作することもできます。(▶ **279** ページ)
- アクトビラ ビデオ・フルを再生した場合は、全画面で表示されます。このときは「アクトビラ ビデオ／アクトビラ ビデオ・フルを再生しているときの操作のしかた」(▶ **279** ページ) をご覧ください。

テレビの画面に戻すときは

- 終了ボタンを押します。選局ボタン(緑)や放送切換ボタンでも戻せます。

アクトビラ ビデオ・フルを見る

- アクトビラ ビデオ･フルをお楽しみになるためには、回線の実効速度が12Mbps程度必要です。実効速度は、お手持ちのパソコンを用いて、アクトビラのホームページ(http://actvila.jp)の「スピードテスト」で確認することができます。(2009年7月現在)

1 AQUOS.jp メニューを表示する

インターネット を押す

2 インターネットボタンを繰り返し押し、「インターネット」を選ぶ

インターネット を押す
決定 を押す

- 上下カーソルボタンでも選べます。

- ブラウザが起動し、AQUOS.jp が表示されます。

- AQUOS.jp の表示内容は一例です。

3 「アクトビラ」を選ぶ

で選び
決定 を押す

- アクトビラのポータル画面が表示されます。

4 視聴したいアクトビラ ビデオ・フルのコンテンツを選ぶ

で選び

を押す

- 再生を開始すると、全画面の表示に切り換わります。再生中の早送りや早戻しの操作については、「アクトビラ ビデオ／アクトビラ ビデオ・フルを再生しているときの操作のしかた」(▶ **279** ページ)をご覧ください。

テレビの画面に戻すときは

- 終了ボタンを押します。選局ボタン(緑)や放送切換ボタンでも戻せます。

コンテンツの再生を停止するときは

- VOD 操作パネルで停止ボタンを選びます。

- 「テレビ+インターネット」の状態でアクトビラ ビデオ･フルを再生すると、自動的に映像の1画面表示になります。

アクトビラ ビデオ／アクトビラ ビデオ・フルを再生しているときの操作のしかた

● アクトビラ ビデオ／アクトビラ ビデオ・フルを再生しているときは、VOD 操作パネルで、早送りや巻戻しの操作ができます。

1 VOD を押す

VOD 操作パネルを表示する

2 で選び 決定 を押す

操作したい機能のボタンを選ぶ

- VOD 操作パネルの表示を消すときは、VOD ボタンを押します。

VOD 操作パネルの見かた

- VOD 操作パネルの表示とコンテンツの操作情報が一致しないことがあります。

操作ボタンの機能について

ボタン	機能	ボタン	機能	ボタン	機能
◄I	スロー巻戻し再生	II	一時停止	I►	スロー再生
◄◄	巻戻し再生	►	再生	►►	早送り再生
I◄◄	前のチャプター※に戻って頭出し（逆頭出し）	■	停止	►►I	1つ先のチャプター※に進んで頭出し（順頭出し）

※チャプターとは、サービスであらかじめ設定された、再生区切り位置です。

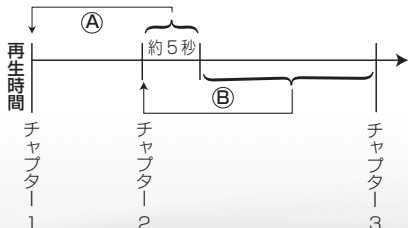
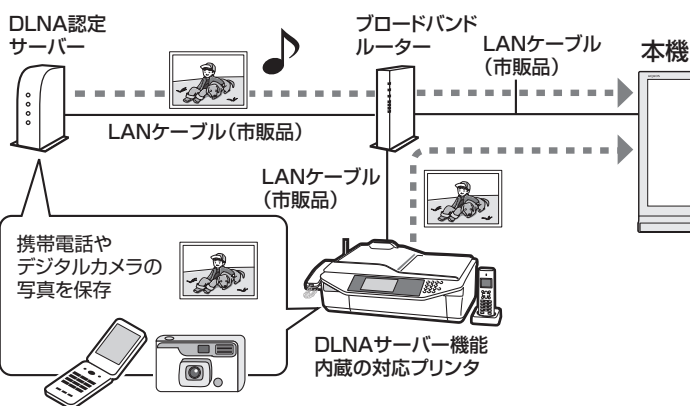
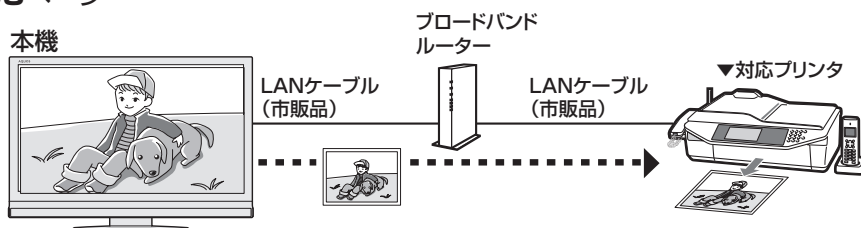
ボタン	機能	ボタン	機能	ボタン	機能
−10秒	10秒後戻し	+30秒	30秒先送り	リピート	リピート 1つのタイトルを繰り返し再生します

- 視聴するコンテンツによっては、操作できない機能があります。
- アクトビラ ビデオ・フルを VOD 操作パネルを表示しないで視聴しているときに、戻るボタンを押すと再生が終了します。

ホームメニューからVOD操作パネルを見ることもできます

- 「ツール」−「VOD」を選びます。
- 「設定」−「（機能切換）」−「視聴操作」−「VOD」を選びます。
- VOD操作パネルでアクトビラ ビデオを操作した場合、ブラウザからのVOD操作が正しく動作しないことがあります。

逆頭出しボタン（I◄◄）は再生位置によってはたらきがかわります。

- 再生位置がチャプターから約5秒以内の場合は、そのひとつ前のチャプターに（下図Ⓐ）、5秒を超えている場合は、直前のチャプター（下図Ⓑ）に戻ります。

写真を見る・音楽を聴く

使用可能なサーバー／プリンター／携帯電話について

SHARP webページ内のAQUOSサポートステーション「Q&A情報」をご覧ください。

AQUOSサポートステーション
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

ホームネットワークで写真を楽しむ

本機で表示できる写真データの形式

- 対応データ形式：DCF2.0規格対応JPEG静止画※1※2
- 最大ファイルサイズ：6MB ※3
- 最大解像度(画像サイズ)：4096 x 4096　画素※3※4

※1　以下の形式に対応しています。
色情報：YUV420、YUV422、ベースライン DCT
JPEG ヘッダーの回転タグは 4 方向（上、下、右 90 度、左 90 度）に対応しています。

※2　以下の形式は表示できません。
プログレッシブＪＰＥＧ、ロスレス回転ＪＰＥＧ（パソコンで回転させた場合に多い）、グレースケールＪＰＥＧ、ＹＵＶ４４４（パソコンで加工した画像に多い）形式の JPEG など
なお、サーバーによってはデータ形式変更やファイルサイズの縮小、画像サイズの変更を行うため、上記制限のあるファイルでも表示されることがあります。

※3　約 1000 万画素以上のデジタルカメラや携帯電話では解像度（画像サイズ）や画質設定により、この制限を超えるため本機で高品位に表示できないことがあります。デジタルカメラや携帯電話の解像度（画像サイズ）や画質設定を小さめに変えて撮影するようにしてください。撮影後はデジタルカメラや携帯電話のリサイズ機能でサイズを小さくすることができる場合があります。またプリンタの扱えるファイルサイズ上限により印刷できないことがあります。詳しくはプリンタの取扱説明書をご覧ください。

※4　上記制限を超える写真はサーバーにより 160 × 120 画素のサムネイル画像が全画面に表示されます。このため、解像度が大幅に低下することがあります。

使用可能なサーバーやプリンタについて

- サーバーおよび本機対応プリンタの動作確認機種の最新情報については、SHARP web ページ内の AQUOS サポートステーション「Q&A 情報」をご覧ください。
  AQUOS サポートステーション
  http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html
- サーバーやプリンタの操作については、それぞれの取扱説明書またはサポートホームページをご覧ください。

おしらせ

- 本機は DLNA 認定フォトプレーヤー (DLNA CERTIFIED™ Photo Player) です。
- DLNA 認定機器とは DLNA ガイドラインに適合した、デジタルメディアプレーヤーまたはサーバーです。
- JPEG 静止画は DCF2.0 規格のデジタルカメラまたはカメラ付携帯電話で撮影されたものが対象です。
- サーバーや静止画によっては、再生できないことがあります。パソコンソフトで加工した静止画は表示できないことがあります。
- 本機には静止画を保存することはできません。
- 印刷中にチャンネル切換や入力切換を行うと印刷が正しく完了しないことがあります。またシャープ製ファクシミリ複合機（DLNA サーバー機能、およびプリント機能内蔵）では印刷中のエラーはプリンタには表示されますが、本機の画面に表示されないことがあります。
- サーバー機器は 10 台まで選択できます。
- サーバー機器の設定についてはサーバー機器の取扱説明書またはサポートホームページなどをご覧ください。
- サーバーから取得したリストをそのまま表示するため、写真の無いフォルダが表示される場合があります。
- 予約録画実行中は、ホームネットワーク機能を使用できません。

DLNA 認定サーバー内の写真の表示／印刷について

- 本機の「ホームネットワーク」で表示できるのは、ホームネットワークに接続された DLNA 認定サーバーの JPEG 静止画の写真だけです。
- 現在動作を確認しているサーバーおよび本機対応プリンタについては、左記の SHARP web ページ内の AQUOS サポートステーションをご覧ください。
- SD カードスロットをもつサーバーではスロットに SD カードが入っているときだけサーバー機能が動作する場合があります。また、サーバーに JPEG ファイルを書き込んでから、サーバーのデータとしてホームネットワーク側に提供されるまで数分かかる、または更新設定をしないと反映されない場合があります。詳しくはサーバー機器の取扱説明書をご覧ください。
- JPEG 静止画のファイルサイズが大きいとスライドショーでの写真表示に時間がかかることがあります。
- DLNA とは、デジタル時代の相互接続性を実現させるために標準化活動を推進している団体です。
  DLNA®、DLNA ロゴおよび DLNA CERTIFIED™は、Digital Living Network Alliance の商標です。
  DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.

次のページに続く

ホームネットワークのサーバーにある写真を表示する

1 入力切換メニューを表示する

入力切換 を押す

2 入力切換ボタンを繰り返し押し、「ホームネットワーク」を選ぶ

入力切換 を押す

- 上下カーソルボタンでも選べます。

入力切換	
テレビ	
入力1	切換できます
入力2	切換できます
入力3	切換できます
入力4	切換できます
入力5	切換できます
入力6	切換できます
入力7	切換できます
IrSS	切換できます
ホームネットワーク	切換できます

- ホームネットワークの初期画面が表示されます。
- フォトフレームモードを「オン」にしているときは、スライドショーが始まります。
- ホームネットワークはLAN接続されているときに選択できます。

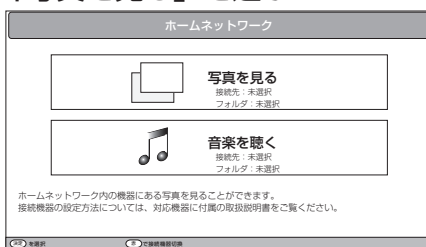
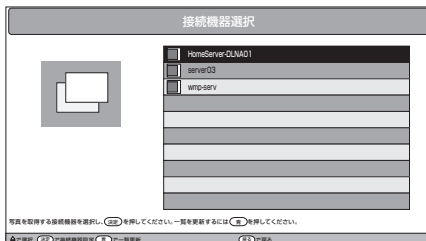
3 「写真を見る」を選ぶ

で選び
を押す

4 サーバー機器を選ぶ

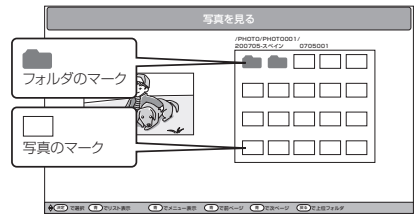
で選び
を押す

接続機器選択
HomeServer-DLNA01
server03
wmp-serv

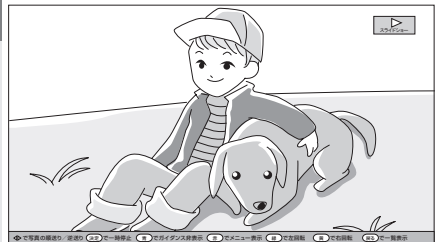
写真を取得する接続機器を選択し、決定を押してください。一覧を更新するには青を押してください。

- 一度スライドショーが表示されれば、次回は「写真を見る」を選ぶと最後にスライドショーを表示した写真フォルダリストが表示されます。

5 フォルダを選ぶ

で選び
決定 を押す

- フォルダと写真が混在している場合は両方が表示されます。

- 青ボタンを押すと、一覧の表示のしかたを変えられます。（▶ **284** ページ）
- フォルダ内の写真が一覧表示されます。

6 写真を選ぶ

で選び
決定 を押す

- 写真が全画面表示になり、スライドショーになります。
- スライドショーを停止するには、もう一度決定ボタンを押します。
- 「BGM再生」（▶ **283** ページ）を「する」に設定しているときは、音楽が流れます。

おしらせ

- シャープ製ファクシミリ複合機では、動作中にSDカードを抜くと写真を取得できません。また電話やFAXの使用中や操作パネルに操作中のメッセージなど（ダイアログと呼ばれています）が表示されている間はDLNAサーバー機能が停止します。
  詳しくはファクシミリ複合機の取扱説明書またはサポートホームページなどをご覧ください。

写真が表示されず、エラーメッセージが表示されたときは

- 「ホームネットワーク利用時のエラーメッセージ」（▶ **314～315** ページ）をご覧ください。
- 本機で表示できる写真データの形式については ▶ **281** ページをご覧ください。
- スライドショーの途中で「次の写真を取得できません」と表示されたときは、接続やサーバーの設定を確認してください。

写真表示のしかたを変える

● スライドショーの間隔や BGM のオン／オフなど、写真表示の設定を変更できます。

1 写真表示中に、写真メニューを表示する

赤
を押す

2 設定したい項目を選ぶ

で選び
を押す

設定のための項目

働きについては、右記をご覧ください。

■写真メニュー
- 写真の印刷
- 写真一覧表示
- 表示モード切換 [ノーマル]
- リピート再生 [しない]
- スライドショーの間隔 [約10秒]
- BGM再生 [する]
- フォトフレームモード [オン]
- 接続機器変更
- 初期画面へ戻る

3 好みの設定を選ぶ

• 下の画面は「表示モード切換」の例です。

- ノーマル
- シネマ

で選び
を押す

おしらせ

• 表示モードが「ノーマル」のときは、左右に黒い帯が出ることがあります。
• 表示モードが「シネマ」のときは、拡大により、写真の一部がはみ出すことがあります。

設定のための項目

項目	内容
表示モード切換※1	「ノーマル」（縦横比を変えずに画面内に最大で収める）と「シネマ」（縦横比を変えずに、黒帯をなくすように画面内に最大で収める）を切り換えます。
リピート再生	「する」と「しない」（スライドショーで最後の写真のあとに最初の写真に戻るか、一覧表示に戻るか）を切り換えます。
スライドショーの間隔※2	スライドショーで、次の写真に行くまでの時間を設定します。「約5秒」「約10秒」「約30秒」「約60秒」から選びます。
BGM 再生	「する」にすると、サーバーの最後に再生したフォルダの音楽が流れます。サーバーに音楽がないときや再生できないときは、内蔵BGM（弦楽セレナーデ・ホ短調）が流れます。
フォトフレームモード※3	•「オン」にすると次にホームネットワークを選んだとき、自動でスライドショーを開始します。スライドショーされるのは最後に表示したフォルダです。

※1 写真の縦横比が16:9の横画像では、表示モード切換しても、表示が見かけ上変わらない場合があります。
※2 サーバーや写真によってはスライドショーの間隔が設定値通りにならない場合があります。
※3 サーバーによってはスライドショーを開始することができないものや、サーバーの起動から十分に時間が経過していないとスライドショーを開始できない場合があります。

次のページに続く

一覧表示のしかたを変える（リストとサムネイル）

- フォルダの一覧表示中または写真の一覧表示中に、リスト表示とサムネイル表示を切り換えることができます。

青 を押す

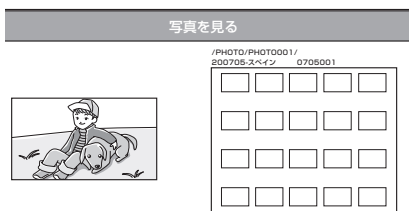
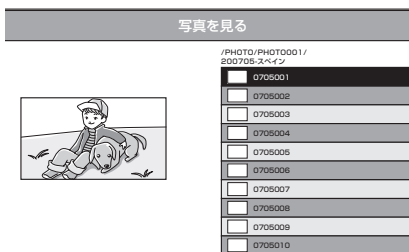
「写真を見る」の画面で一覧表示のしかたを変える

▼サムネイル表示の例

▼リスト表示の例

写真を見る

/PHOTO/PHOTO0001/
200705-スペイン

0705001
0705002
0705003
0705004
0705005
0705006
0705007
0705008
0705009
0705010

- 写真フォルダ一覧メニュー（▶右記）から「サムネイル表示へ切換」または「リスト表示へ切換」を選んでも切り換えられます。

おしらせ

- サーバー機器や写真データによってはサムネイルが表示されないことがあります。
- 縦位置で撮影した写真でもサムネイルは横位置で表示されることがあります。（サーバーの仕様により異なります。）

写真やフォルダの一覧表示中の便利な機能（写真フォルダ一覧メニュー）

- 写真やフォルダの一覧表示中に、写真フォルダ一覧メニューを呼び出して便利な機能を使うことができます。

1 写真一覧表示中に、写真フォルダ一覧メニューを表示する

を押す

2 設定したい項目を選ぶ

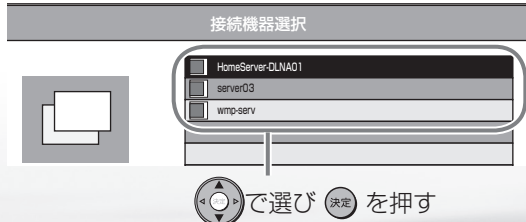
で選び

を押す

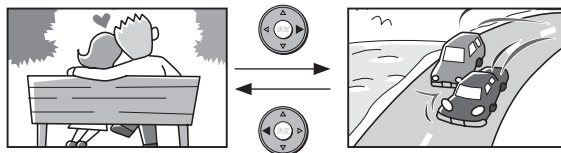
■写真フォルダ一覧メニュー
リスト表示へ切換
BGM再生 [する]
接続機器変更
トップフォルダへ移動
初期画面へ戻る

利用できる項目

項目	内容
リスト表示へ切換／サムネイル表示へ切換	写真やフォルダが一覧表示されているとき、リスト表示とサムネイル表示を切り換えます。
BGM 再生	「する」にすると、サーバーの最後に再生したフォルダの音楽が流れます。サーバーに音楽がないときや再生できないときは、内蔵 BGM（弦楽セレナーデ・ホ短調）が流れます。
接続機器変更	ホームネットワークに複数のサーバーを接続しているとき、写真を見るためのサーバーを変更します。接続機器選択画面では、上下カーソルボタンでサーバーを選び、決定ボタンを押します。
トップフォルダへ移動	操作中のサーバーの一番上のフォルダを表示します。
初期画面へ戻る	初期画面を表示します。

▼接続機器選択画面

写真表示中の操作について

- 写真表示中に、次の写真に切り換えたり写真を回転させたりすることができます。
- 画面の下部に、操作方法を示すガイダンス（操作案内）が表示されます。ガイダンスの表示に従って、ボタンを押して操作してください。

- 右カーソルボタンで次の写真を表示します。
- 左カーソルボタンで１つ前の写真を表示します。

- リピート再生時は、最後の写真で右カーソルボタンを押すと最初の画面に戻ります。リピートしない場合は、一覧表示（サムネイル表示またはリスト表示）に戻ります。

- スライドショーを開始します。
- もう一度決定ボタンを押すとスライドショーを停止します。

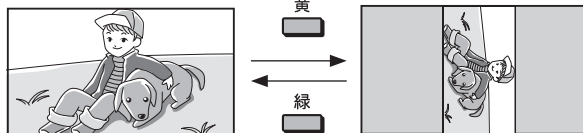
- ガイダンス（操作案内）の表示・非表示を切り換えます。

ガイダンス（操作案内）

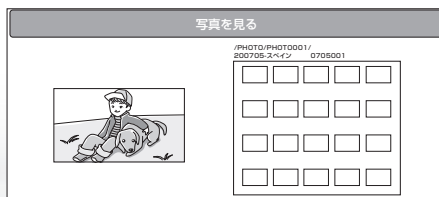
◀ ▶で順送り／逆送り （決定）で一時停止 （青）でガイダンス非表示 （赤）でメニュー表示 （緑）で左回転 （黄）で右回転

- 写真メニューを表示します。

■写真メニュー

写真の印刷	
写真一覧表示	
表示モード切換	[ノーマル]
リピート再生	[しない]
スライドショーの間隔	[約10秒]
BGM再生	[する]
フォトフレームモード	[オン]
接続機器変更	
初期画面へ戻る	

- 写真を右に 90 度回転します。

- 写真を左に 90 度回転します。

- 一覧表示（サムネイル表示またはリスト表示）に戻ります。

- 初期画面に戻ります。

ホームネットワークで音楽を楽しむ

おしらせ

- 本機はDLNA認定音楽プレーヤー（DLNA CERTIFIED Audio Player）です。
- DLNA認定機器とはDLNAガイドラインに適合した、デジタルメディアプレーヤーまたはサーバーです。
- サーバーや音楽ファイルによっては再生できないことがあります。パソコンでは再生できても、本機で再生できない場合があります。
- サーバーから取得したリストをそのまま表示するため、音楽の無いフォルダが表示される場合があります。
- 予約録画実行中は、ホームネットワーク機能を使用できません。

本機で再生できる音楽データの形式

- LPCM：
  サンプリング周波数44.1/48KHz、stereo/mono
- MP3形式で作成されたファイル：
  サンプリング周波数32/44.1/48kHz　32kbpsから320kbps、stereo/mono

使用可能なサーバーについて

- サーバーの動作確認機種の最新情報については、SHARP webページ内のAQUOSサポートステーション「Q&A情報」をご覧ください。
  AQUOSサポートステーション
  http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html
- サーバーの操作については、それぞれの取扱説明書またはサポートホームページをご覧ください。

DLNA認定サーバー内の音楽ファイルの再生について

- 本機の「ホームネットワーク」で再生できるのはホームネットワークに接続されたDLNA認定サーバーの対応ファイル形式のものだけです。
- 音楽ファイルをサーバーに書き込んでもサーバーのデータとしてホームネットワークに反映されるのに非常にかかる、または更新設定をしないと反映されない場合があります。詳しくはサーバー機器の取扱説明書をご覧ください。
- DLNAとは、デジタル時代の相互接続性を実現させるために標準化活動を推進している団体です。
  DLNA®、DLNAロゴおよびDLNA CERTIFIED™は、Digital Living Network Allianceの商標です。
  DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.

ホームネットワークのサーバーにある音楽を再生する

1 入力切換メニューを表示する

を押す

2 入力切換ボタンを繰り返し押し、「ホームネットワーク」を選ぶ

入力切換 を押す

- 上下カーソルボタンでも選べます。

- ホームネットワークの初期画面が表示されます。
- フォトフレームモードを「オン」にしているときは、スライドショーが始まります。このときは終了ボタンを押すとホームネットワークの初期画面が表示されます。
- ホームネットワークはLAN接続されているときに選択できます。

3 「音楽を聴く」を選ぶ

で選び

を押す

ホームネットワーク
写真を見る
音楽を聴く
ホームネットワーク内の機器にある写真を見ることができます。
接続機器の設定方法については、対応機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

4 サーバー機器を選ぶ

で選び

を押す

- 一度音楽が再生されれば、次回は「音楽を聴く」を選ぶと最後に再生した音楽フォルダリストが表示されます。

5 フォルダを選ぶ

で選び 決定 を押す

- フォルダと曲名が混在している場合は両方が表示されます。

- フォルダ内の曲名が一覧表示されます。

6 曲名を選ぶ

で選び

を押す

- 音楽が再生されます。

画面の左半分は再生している曲に関する情報が表示されます。

画面の右半分は再生する曲を変えるときに使います。

で曲名を選び 決定 を押すと、その曲が再生されます。

戻る で、1つ上のフォルダを表示できます。

赤 で表示されるメニューからトップフォルダや、再生中の曲が保存されているフォルダを表示することもできます。
（▶288ページ）

- 再生中の音楽ファイルと同じフォルダに複数の音楽ファイルがあるときは、フォルダ内の音楽ファイルが順番に再生されます。

再生中の操作

- 曲の最初から再生するとき
  ◀を押す
- 前の曲を再生するとき
  ◀を続けて2回押す（約3秒以内に押してください）
- 次の曲を再生するとき
  ▶を押す
- 音楽を停止するとき
  青 を押す

スライドショーのBGMをお好みの音楽にするには

① BGMにしたい曲を再生する
②終了ボタンを押す
　ホームネットワークの初期画面が表示されます。
③上下カーソルボタンで「写真を見る」を選ぶ
④写真を選び決定ボタンを押してスライドショーを開始する
　スライドショーが始まります。BGMには①で再生したフォルダ内の曲が流れます。

- スライドショー等の「写真を見る」機能を、お好みのBGMでご利用いただいている場合、音楽サーバーから切断される等の理由によりBGMが停止する場合がありますが、その場合も「写真を見る」機能はそのまま続行されます。再度BGMを再生するには、初期画面より「音楽を聴く」を選び、音楽を再生し直してください。

次のページに続く

音楽の一覧表示中や再生中の便利な機能

- 繰り返し再生の設定や音楽を聴くためのサーバーの変更などができます。

1 音楽一覧表示中または再生中に、音楽メニューを表示する

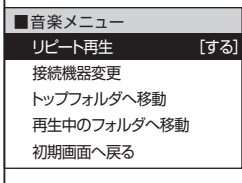
赤 を押す

2 設定したい項目を選ぶ

で選び

決定 を押す

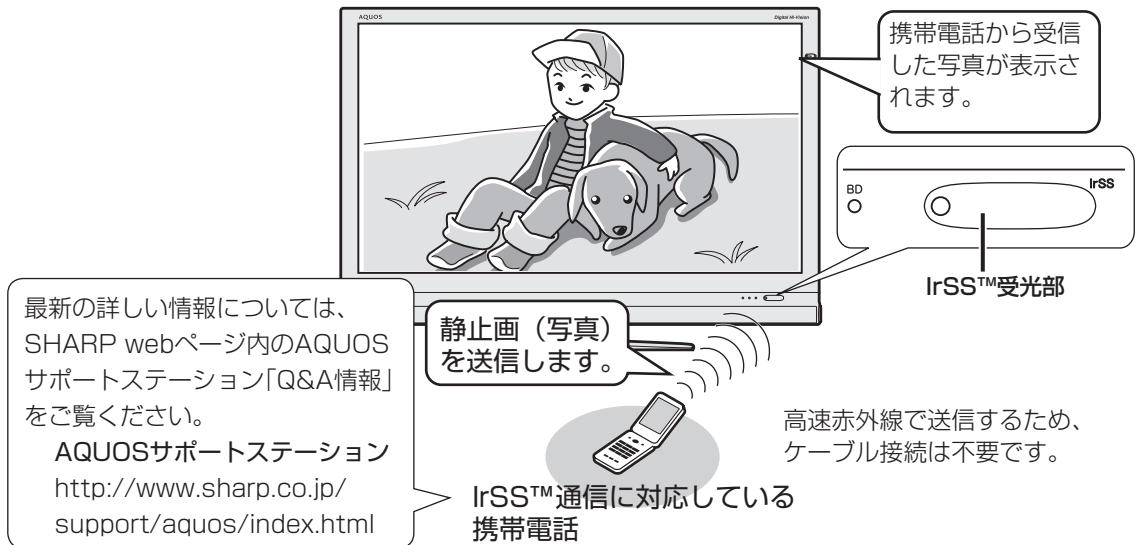
3 好みの設定を選ぶ

で選び

を押す

項目	内容
リピート再生	フォルダ内の音楽をすべて再生したときに、もう一度最初から再生するかどうかを設定します。 （1 曲のみのリピートはできません。）
接続機器変更	ホームネットワークに複数のサーバーを接続しているとき、音楽を聴くためのサーバーを変更します。接続機器選択画面では、上下カーソルボタンでサーバーを選び、決定ボタンを押します。
トップフォルダへ移動	操作中のサーバーのトップフォルダを表示します。
再生中のフォルダへ移動	現在再生している曲のフォルダへ移動します。 停止中の場合は「停止中のフォルダへ移動」と表示されます。
初期画面へ戻る	初期画面を表示します。

IrSS™通信で携帯電話の写真を楽しむ

● IrSS™ 対応の携帯電話に記録されている静止画を本機で受信し、表示できます。

最新の詳しい情報については、SHARP webページ内のAQUOSサポートステーション「Q&A情報」をご覧ください。
AQUOSサポートステーション
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

おしらせ

- 本機で受信できるのは、静止画だけです。
- 携帯電話からの出力が禁止されている静止画は、携帯電話から送信できません。
- IrSS™ 通信の送受信は片方向通信です。そのため、本機が受信できない場合でも、携帯電話の送信は正常に終了します。
- 本機からは静止画を送信できません。
- 携帯電話の機種によっては、携帯電話本体に挿入して使うメモリーカード（SD、mini SD、micro SD カードなど）に記録された静止画を送信できないことがあります。この場合は、携帯電話の本体メモリーにいったんコピーまたは移動してから送信してください。なお、画像のサイズ制限でコピーや移動ができなかったり、携帯電話側でデータ管理情報の更新をしないと携帯電話から送信できないことがあります。詳しくは携帯電話に付属の取扱説明書をご覧ください。
- IrSS™ 通信とは、IrSimple1.10 準拠の片方向通信機能Home Appliance Profileを表します。
- IrSS™ または IrSimpleShot™ は、Infrared Data Association® の商標です。
- 他の機器に対して IrSS™ 送信する場合、高速赤外線の届く範囲に本機が設置されていると本機の入力が IrSS™ モードに切り換わることがあります。IrSS™ モードへの自動切換を禁止したい場合には「設定」－「(機能切換)」の「IrSS自動切換」を「しない」に設定してください。
- 本機には静止画を保存することはできません。チャンネル切換や入力切換をしたり、新たな静止画を表示すると、前に表示していた静止画のデータは本機から消去されます。

本機が対応している仕様

- 対応データ形式：JPEG ※1 ※2
- 最大ファイルサイズ：約 3MB
- 最大解像度：4096 × 2160 画素

※1　以下の形式に対応しています。
色情報：YUV420、YUV422、ベースラインDCT
（JPEGヘッダーの回転タグは4方向（上、下、右90度、左90度）に対応しています。）

※2　以下の形式は表示できません。
プログレッシブJPEG、ロスレス回転JPEG（パソコンで回転させた場合に多い）、グレースケールJPEG、YUV444（パソコンで加工した画像に多い）形式のJPEGなど

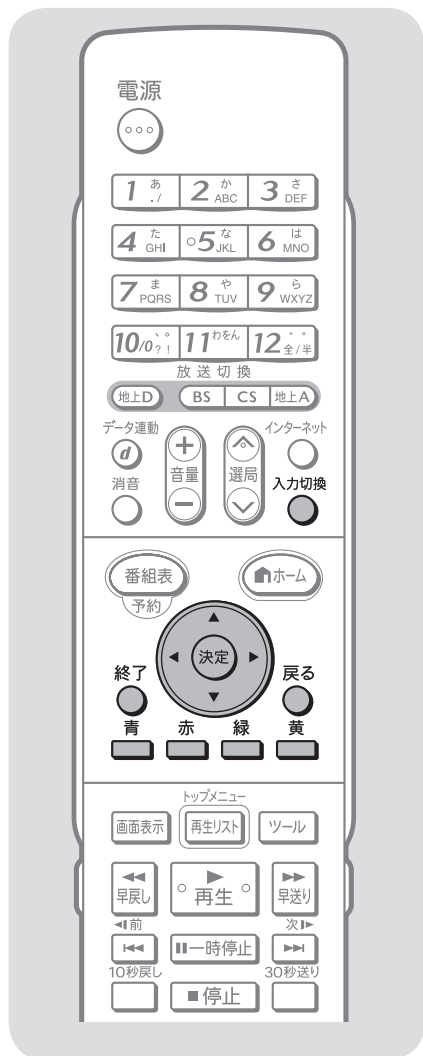
- これらの制限がありますので、本機に IrSS™ 通信で静止画を送信する場合、IrSS™ 送信をサポートしている動作確認機種自体で撮影（作成）された静止画を送信してください。

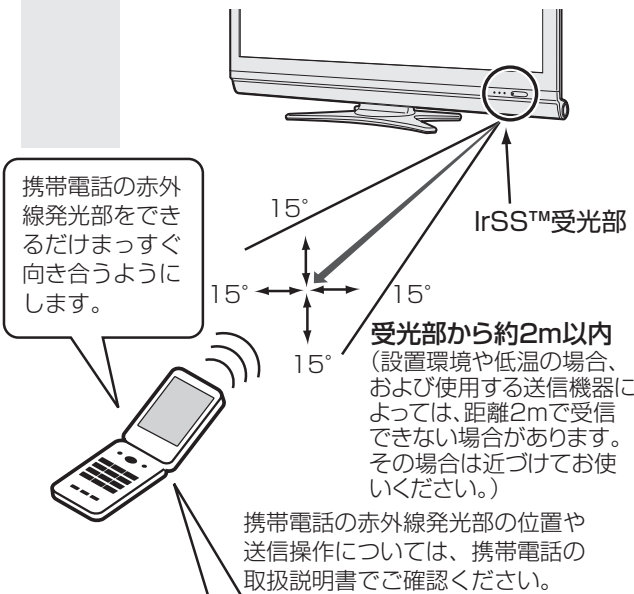
ファミリンク設定時の静止画受信

- IrSS™ 対応の AQUOS レコーダーを本機と HDMI ケーブルで接続している場合に、携帯電話から送信したデータを IrSS™ 対応の AQUOS レコーダーが受信すると、その画像がファミリンクを経由して本機で表示されます。

次のページに続く

携帯電話※から静止画を受信する

※ IrSS™ 通信対応の携帯電話

1 携帯電話を操作して、送信したい静止画を選択し、送信する

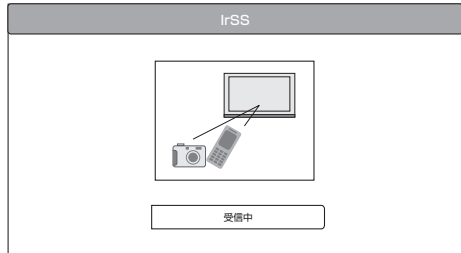
- 下図で示す範囲から送信してください。

メニューから「送信」を選ぶ機種の送信のしかた

- 送信したい静止画を選んだ後に、メニュー項目から「送信」を選んで送信します。

IrSS™ボタンで送信する機種の送信のしかた

- 送信したい静止画を選んだ後に、IrSS™ボタンを押して送信します。（しばらく押しつづけると送信する機種もあります。）

2 本機で静止画を受信する

- 本機が受信を始めると、次の画面が表示されます。

- 受信中に戻るボタンまたは終了ボタンを押すと、受信スタンバイ画面になります。
- 数秒後に静止画が表示されます。
- 携帯電話から続けて静止画を送信すると、受信の完了とともに静止画が切り換わります。前の静止画に戻したいときは、手順 1 からやり直してください。
- 本機には静止画を保存できません。

おしらせ

- 「設定」－「(機能切換)」の「IrSS自動切換」を「しない」に設定しているときは、手順 1 の前に入力切換ボタンを繰り返し押して「IrSS」を選び IrSS™ モードのスタンバイ画面が表示されるまでお待ちください。
  工場出荷時は「設定」－「(機能切換)」の「IrSS 自動切換」が「する」になっています。
- 予約録画実行中は、IrSS™ 機能を使用できません。

受信に失敗したときは

- 受信に失敗したときは、画面にエラーメッセージが表示されます。(IrSS™ に関するエラーメッセージ▶ **313** ページ)
- 次のような場合は、赤外線受信に失敗します。
  - 通信規格が IrSS™ の規格以外の場合 (高速赤外線あるいは IrSS™ と表記されていない携帯電話や PC の赤外線通信など)
  - 距離が遠すぎるなど、受信データをとりこぼした場合
  - 受信が途切れた場合
  - 本機が対応している仕様以外のデータの場合
  - 写真データが大きすぎる場合
  - 写真データが壊れている場合
  - 通信中に直射日光などの強い光が当たったり、リモコン操作による赤外線が当たったりした場合
    (一部のノート PC やゲーム機などでは赤外線を利用するものがあります。本機の IrSS™ も赤外線を使用するため、その影響により写真の受信に失敗する場合があります。そのようなときは、ノート PC やゲーム機本体や赤外線センサー部を本機と離して設置するか、ノート PC やゲーム機の使用を終えてから再度写真を送信してください。)

IrSS™ モードに自動で切り換わらないようにするには（IrSS 自動切換）

● 工場出荷時の設定では、他の機器に対して IrSS™ 送信する場合、高速赤外線の届く範囲に本機が設置されていると本機の入力が IrSS™ モードに切り換わることがことがあります。IrSS™ モードに自動で切り換わらないようにするには、次の手順で「IrSS 自動切換」を「しない」に設定してください。

① IrSS™ モードの場合は入力切換ボタンを押して「テレビ」を選ぶ

②ホーム（メニュー）ボタンを押してホームメニューを表示する

③カーソルボタンで「設定」－「（機能切換)」－「IrSS 自動切換」を選び、決定ボタンを押す

④左右カーソルボタンで「しない」を選び、決定ボタンを押す

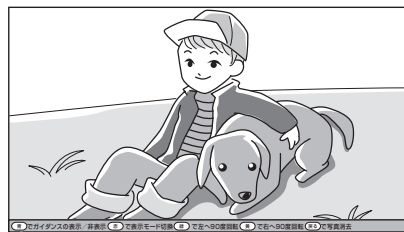
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

上記の設定をしたあと IrSS™ モードに切り換えるには、入力切換ボタンを繰り返し押して「IrSS」を選んでください。

写真表示中の操作について

● 本機のリモコンで、受信した静止画を回転するなどの操作ができます。

● 画面の下部に、操作方法を示すガイダンス（操作案内）が表示されます。ガイダンスの表示に従って、ボタンを押して操作してください。

- ガイダンス（操作案内）の表示・非表示を切り換えます。
- ガイダンスを非表示にした場合、続けて受信･表示される写真データにもガイダンスは表示されません。

ガイダンス（操作案内）

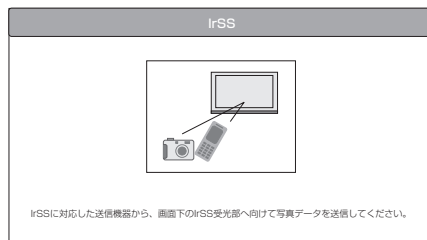
決定 で写真の印刷 青 でガイダンスの表示／非表示 赤 で表示モード切換 緑 で左へ90度回転 黄 で右へ90度回転 戻る で写真消去

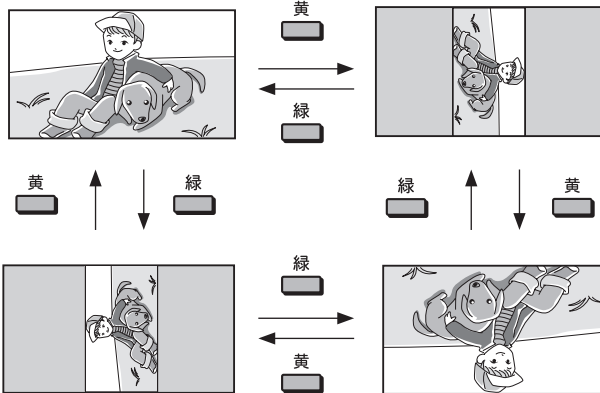
はじめに / 準備 / 番組を見る / BDレコーダー機能で録画・予約録画 / BDレコーダー機能で再生 / レコーダー・プレーヤー・パソコンなどにつなぐ / ファミリンクで録画・再生 / 本機の機能の活用 / 故障かな・仕様・寸法図など / English Guide

次のページに続く

戻る

- 表示している画像を消して、受信スタンバイ（待機）画面を表示します。

黄
緑

- 黄ボタンで写真を右に 90 度回転します。
- 緑ボタンで写真を左に 90 度回転します。
- 画像を回転させていても、続けて受信されるデータは回転しない状態（正位置）で表示されます。

赤

- 「表示モード切換」メニューが表示されます。
- 何回か押して表示モードを選びます。
- 上下カーソルボタンでも選べます。
- 選べる表示モードは右のとおりです。

ノーマル	Dot by Dot
元の写真 ▼ 表示	元の写真 ▼ 表示 元の写真の縦横いずれかの画素サイズが本機の解像度（1920×1080 画素）より大きい（はみ出す）場合は「Dot by Dot」メニューは表示しません。また回転すると画面からはみ出す場合は回転できません。
・縦横比を変えずに画面内に最大で収めます。	・画素の数や縦横比を変えずに元のまま表示します。
シネマ	**フル**
元の写真 ▼ 表示	元の写真 ▼ 表示
・縦横比を変えずに、黒帯を無くすように画面内に最大で収めます。 ・拡大により、写真の一部がはみ出す場合があります。	・縦横比と写真の画素サイズを無視して、画面内いっぱいに表示します。

- 写真の縦横比が16:9 の横画像では、表示モード切換しても、表示が見かけ上変わらない場合があります。

表示した写真を印刷する

● 表示した写真は、ホームネットワークの対応プリンタで印刷することができます。

◆印刷設定画面を表示する

1

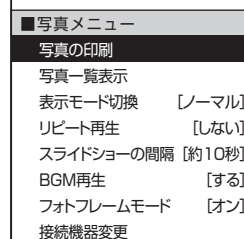
赤

を押す

で選び

を押す

ホームネットワークで写真を表示した場合

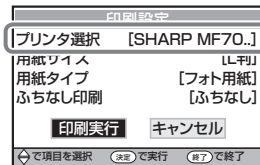
写真メニューを表示し、「写真の印刷」を選ぶ

- 印刷設定メニューが表示されます。手順 **2** へ進んでください。

決定を押す

IrSS™ で静止画を受信して表示した場合

印刷設定メニューを表示する

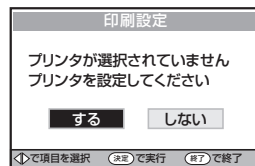
2

プリンタ名を確認する

- ホームネットワークに接続された対応プリンタ名が表示されていれば印刷することができます。
- 用紙の設定をするときは、次のページへ進みます。
- 印刷をするときは「印刷実行」を選びます。

プリンタが選択されていない場合は

- 「プリンタを設定してください。」と表示されます。「する」を選んで決定すると、プリンタ選択メニューが表示されます。

▼

使用するプリンタを選んで決定すると、印刷設定画面に戻ります。

おしらせ

- 対応プリンタにはホームネットワーク接続するための設定が必要です。詳しくはプリンタの取扱説明書またはサポートホームページなどをご覧ください。
- 本機対応プリンタの動作確認機種の最新情報については、SHARP webページ内のAQUOS サポートステーションをご覧ください。
  AQUOS サポートステーション
  http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html
- 印刷に使うプリンタを指定する場合や印刷に使うプリンタを変更する場合は、印刷設定画面で「プリンタ選択」を選んで決定します。プリンタ選択画面で、プリンタを選んで決定します。

対応プリンタ名が表示されないときは

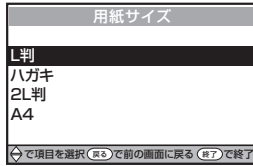
- 対応プリンタの電源が入っているか、対応プリンタにIP アドレスが設定されているかを確認してください。

次のページに続く

◆用紙の設定をする

3

で選び
を押す

「用紙サイズ」を選ぶ

- 用紙サイズ画面が表示されます。

- 「L判」「ハガキ」「2L判」「A4」の中で、プリンタが対応しているものの中から選んで決定します。

4

で選び
を押す

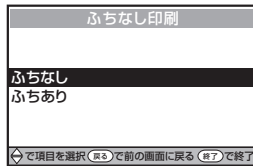
「用紙タイプ」を選ぶ

- 用紙タイプ画面が表示されます。

- 「普通紙」「コート紙」「フォト用紙」の中で、プリンタが対応しているものの中から選んで決定します。

5

で選び
を押す

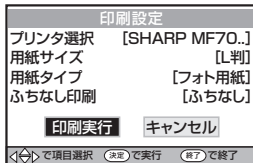
「ふちなし印刷」を選ぶ

- ふちなし印刷画面が表示されます。

- 「ふちなし」「ふちあり」のどちらかを選んで決定します。
- ふちなし印刷が不可能な場合は、「ふちなし」は選べません。

◆印刷する

6

で選び
を押す

「印刷実行」を選ぶ

- 「この写真の印刷を受け付けました」という表示が出て、印刷が実行されます。
- 印刷中に選局や入力切換をすると印刷が完了しないことがありますので、「この写真の印刷を受け付けました」の表示が消えるまでお待ちください。

おしらせ

- 用紙タイプ、用紙サイズはプリンタにより呼び方が本機と異なる場合があります。
  「普通紙」はコピー用紙などに相当します。
  「コート紙」はつや消しのある写真用用紙に相当します。
  「フォト用紙」は写真印画紙のような光沢のある写真用用紙に相当します。
- プリンタにセットされた用紙と、印刷設定画面での用紙設定が一致していないと用紙の一部にのみ印刷されたり、写真の一部のみ印刷される場合があります。

おしらせ

- 印刷に失敗したときは、画面にエラーメッセージが表示されます。（ホームネットワーク利用時のエラーメッセージ▶ **314～315** ページ）

故障かな？と思ったら／こんなときは

ページ

故障かな？と思ったら

ページ

こんなときは

故障かな？と思ったら／エラーメッセージが出たら

● 次のような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。
なお、アフターサービスについては「保証とアフターサービス」（▶ **330** ページ）をご覧ください。

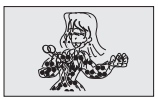
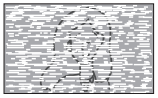
全般について

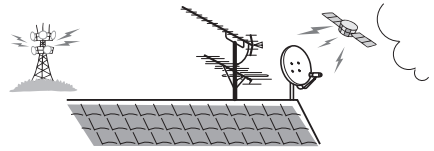
故障かな？と思ったら

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
？ 映像も音声も出ない	• 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 • 電源が切れていませんか。 • テレビ（地上アナログ放送、CATV）やデジタル放送を見たいのに、ビデオ入力などに切り換えられていませんか。 • 外部機器の映像が出ないときは、正しく入力切換ができているか確認してください。 • 接続ケーブルが抜けていないか確認してください。	**51** **55** **189** **189** –
リモコンが動作しない	• 乾電池の極性（⊕、⊖）が逆になっていませんか。 • リモコンの乾電池が消耗していませんか。 • リモコンはリモコン受光部に向けてお使いください。 • リモコン番号が本体と一致しているか確認してください。画面左下に「リモコン番号の設定が異なります。」と表示されているときは、リモコン番号の設定が必要です。 以下の場合は、リモコンで動作しにくくなります。 • リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物があると、操作できないことがあります。 • 乾電池が消耗すると、操作できる距離が徐々に短くなりますので、早めに新しい乾電池に交換してください。 • リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっていると、リモコンが動作しにくくなります。 照明の向きを変えるなどしてみてください。 • 蛍光灯などが近くにある場合には、動作しにくいことがあります。 • 受信設備の消耗減衰のために（映り等に影響する場合もあります）操作切換が遅くなることがあります。（天候等の環境で受信強度の数値が変動するとノイズの影響を受けます。） • 電池の端子が酸化（薄黒く）、消耗、室温低下で不活発になり、動作しにくいことがあります。	**54** **54** **54** **123~124** –
映像は出るが 音声が出ない	• 音量調整が最小になっていませんか。 • 「消音」状態になっていませんか。 • ヘッドホン端子にヘッドホンのプラグが差し込まれたままになっていませんか。 • モニター音声出力が「モニター音声出力（可変1）」に設定されていませんか。 • D映像･S映像端子は映像用です。これらを使用するときは、音声端子も接続してください。 • 入力2の場合「入力音声選択」が「HDMI＋音声入力端子」になっていませんか。 • 入力7の場合「入力音声選択」が「アナログRGBのみ」になっていませんか。	**86** **86** **26** **196** **196** **204** **204**
ビデオが映らない、 ビデオが映らなくなった	• ビデオ機器の電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 • ビデオ機器の電源は入っていますか。 • ビデオ機器を接続している入力を選んでいますか。 • ビデオ機器からアンテナケーブルがはずれていませんか。	– – **189** –

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
音声は出るが映像が出ない	・映像オフが「する」になっていませんか。 ・映像ケーブルが抜けていませんか。	122 186
色が薄い 色あいが悪い	・「色の濃さ」、「色あい」は正しく調整されていますか。	114
画面が暗い 黒色が潰れる	・「AVポジション」をご確認ください。「標準」でも暗いと感じる場合は、「AVメモリー」を試してください。	112
特定のチャンネルだけ映らない	・チャンネルの「受信微調整」がずれていませんか。	77
画面が大きくなったり、小さくなったりする	・オートワイド機能が「する」になっていませんか。設定を「しない」に変更してください。	110
テレビの上部が熱い	・内部の回路から発生する熱で温まった空気が自然な対流により、上部を通って抜ける構造になっているため、上部が温かくなります。本体の温度が異常に上昇したときは画面右下に「温度」または「モニター温度」の文字が点滅し、その後、自動的に電源が切れます。	–
画面右下に「温度」または「モニター温度」の文字が点滅し、その後、自動的に電源が切れる	・本機の温度が上昇したためです。温度が上昇した原因を取り除いてください。 ・本機の設置状態や場所が、温度が上がりやすい状態にないかご確認ください。本機背面の通風孔がふさがらないように設置してください。 ・本機の内部や通風孔にたまっているホコリで、外部から取り除けるものはこまめに取り除いてください。内部のホコリの除去については、お買いあげの販売店にご相談ください。	– – –
リモコンや本体のボタンの操作ができない	・外部からの雑音や妨害ノイズが原因かもしれません。本体の電源スイッチで電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて約1分放置した後、再度差し込んで電源を入れてみてください。 ・チャイルドロックが設定されていませんか。 ・本体とリモコンのリモコン番号を同じ番号に設定していますか。画面左下に「リモコン番号の設定が異なります。」と表示されているときは、リモコン番号の設定が必要です。	– 220 123~124
ときどき「ピシッ」と音がする	・温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。	–
リモコンで電源を切った後に、ときどき「カチ」と音がする(数回鳴る場合があります。)	・本機の電源が待機状態のときでも、次の場合は動作している音が鳴ることがあります。 ・デジタル放送の予約録画を実行している場合 ・ダウンロードをしている場合 ・有料放送の契約情報を取得している場合 ・地上デジタル放送の電子番組表の情報を取得している場合	140 317 – 96

停電時に設定が保持されている項目と設定が解除される項目

- テレビにおける設定内容（メニュー内設定項目、音量など）は保持されます。
- 番組予約（視聴予約／予約録画）が、予約動作開始時刻を経過しているときは消去されます。
- 時刻設定は消去されます。デジタル放送が受信できないなど、時刻の自動設定がされないときは、ホームメニューから「設定」－「（視聴準備）」－「各種設定」－「時計設定」－「時刻設定」で設定してください。（時刻が合っていないときは（時刻設定） ▶ **107** ページ）
- 停電前が下記の状態のものは解除されます。
  ・静止画 ・オフタイマー ・消音（消音ボタンによる）・映像オフ

地上アナログ放送について

故障かな？と思ったら

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
映像が出ず雑音のみ出る	• アンテナ線がはずれたり、ショートしたりしていませんか。 • アンテナ線は正しく接続されていますか。	46~49
画像にはん点が出る	• 自動車、電車、ネオンなどからの雑音電波を受けていませんか。アンテナをできるだけ道路やネオンなどから離れた場所に立ててください。	20
映像が二重になる（ゴースト）	• 近くに山や大きな建物・樹木がある場合、それらの反射電波の影響も考えられます。 アンテナの向きや高さを変えてみてください。	–
色じま模様が出る	• 近所のテレビからの妨害電波を受けていませんか。アンテナの向きや高さを調整すれば、妨害をある程度少なくすることができます。 • 古いアンテナケーブルは使わないでください。	– 46~49
雪が降っているような画面になる	• アンテナ線は正しく接続されていますか。 • 屋外アンテナ線が切れたり、はずれたりしていませんか。 • アンテナの向きが変わったり、アンテナが壊れたりしていませんか。 • 平行フィーダー線の場合、本機から線をできるだけ離してみてください。	46~49 – – 46

デジタル放送関係について

故障かな？と思ったら

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
映像も音声も出ない	• 個人でBS・110度CSデジタル放送用アンテナを設置しているのに、アンテナ電源が「切」になっていませんか。 • 個人で BS・110 度 CS デジタル放送用アンテナを設置し、そのアンテナに複数の機器を接続している場合で、本機以外の機器の中にも必要に応じてアンテナへ電源を供給する設定がある場合、電源供給のタイミングによってはどちらからも電源供給されない状態になり、映像も音声も出なくなる場合があります。このときは、本機のアンテナ電源を「入」にしてください。 • その局が放送していない時間帯ではありませんか。 • ビデオ入力などに切り換えられていませんか。 • B-CASカードは正しく挿入されていますか。	61 61 – 189 43

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
画面に四角のノイズ（モザイク）が出る	• アンテナの向きがずれていませんか。 • 受信強度を確認してください。 • アンテナの前方に障害物はありませんか。 • アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。	– 61~62 – 46~49
WOWOWやスターチャンネルなどの有料放送が視聴できない	• B-CASカードは正しく挿入されていますか。 • 有料放送を視聴するための契約はしていますか。	43 44
110度CSデジタル放送が受信できない	• アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。 • ブースターや分配器などをご使用になっている場合は、110度CS帯域（2150MHz）まで対応した機器に交換する必要があります。	47~49 47•49
BSデジタル・110度CSデジタル放送に雑音が出たり、まったく受信できなくなる	• 強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着していませんか。これは気象条件によるもので、アンテナや本機の故障ではありません。 • 春分や秋分の前後 20 日程度は人工衛星が地球の陰（食）になるため、深夜一時的に電波が止まる場合があります。これは故障ではありません。	– –
地上デジタル放送が受信できない	• お住まいの地域で地上デジタル放送は開始されていますか。 • 地上デジタル放送の受信に必要なUHFアンテナが正しく設置されていますか。 • アンテナ線は正しく接続されていますか。 • お住まいの地域を地域選択で正しく設定していますか。 • チャンネル設定は正しくされていますか。	– – 46~49 63~65 65~68
画面にノイズが出る	• VHF/UHFのアンテナケーブルがBS･110度CSデジタルアンテナケーブルと接近していませんか。	–
特定のチャンネルだけ映らない	• 契約していない有料放送ではありませんか。 • 受信強度を確認してください。	44 61~62
電子番組表（EPG）が表示されない 電子番組表（EPG）に表示されない番組がある	• 地上デジタル放送の場合、視聴していないチャンネルは、電子番組表に情報が表示されません。番組表取得を「する」に設定すると、リモコンで電源を切った（待機状態）ときに各放送チャンネルの番組表情報を取得します。 • デジタル放送を選局していますか？ • 電源を入れた後、最初に番組表を表示するときは、番組表データの受信に時間がかかります。しばらくお待ちください。 • スキップを「する」に設定していませんか。	96 – – 67~68•266
番組の予約をしても受信できない	• 契約していない有料放送、視聴年齢が制限されている番組などを予約していませんか。	–
デジタル放送が受信できない	• 外部からの雑音や妨害ノイズが原因かもしれません。本体の電源スイッチで電源を切って、電源プラグをコンセントから抜いて約1分放置した後、再度差し込んで電源を入れてみてください。 • BSデジタル放送および110度CSデジタル放送の視聴には、BS･110度CS共用アンテナ（市販品）およびBS･110度CSデジタル用アンテナケーブル（市販品）が必要です。	– –

録画や再生について の故障かな？と思ったら

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
BDやDVDディスクの画面が映らない	• BDやDVDディスクに指紋や汚れが付いていませんか。BDやDVDディスクをクリーニングしてください。	24
映像が停止する	• 本機に衝撃や振動を与えませんでしたか。不安定な場所で使用していませんか。衝撃や振動を感知すると停止します。	–
スピーカーから音が出ない、音が歪む	• 一時停止またはスロー再生/早送り/早戻し中は、音声が出ません。 • BDまたはDVDディスクをクリーニングしてください。 • BDまたはDVDディスクに記録されている音声に、オーディオ信号以外の音声や規格外の音声が記録されているなど音声の記録状態によっては、音声が出ない場合があります。 • デジタル音声ケーブルを使ってオーディオ機器と接続したとき、デジタル音声設定を「ビットストリーム」に設定しているときは、「DTS－HD Master Audio」や「ドルビーTrueHD」など7.1ch音声は出力されません。「コアストリーム(5.1ch)」音声のみ出力されます。 • 市販のBDビデオの「ドルビーデジタルEX6.1ch」音声や「DTS･ES6.1ch」音声など6.1以上の音声は出力されません。5.1ch音声となります。	24 195 –
録画が中断されている	• 録画中に停電などがありませんでしたか。	–
録画ができない、録画が途中で止まる	• 録画ができるディスクは、BD-RE Ver.2.1ディスク、BD-R Ver.1.1、Ver.1.2、Ver.1.2 LTH、Ver.1.3ディスク(Ver.1.3はLTHを除く)のみです。DVDディスクには録画ができません。 • ディスク保護が設定されているBD-RE Ver.2.1、BD-R Ver.1.1、Ver.1.2、Ver.1.2 LTH、Ver.1.3ディスク(Ver.1.3はLTHを除く)を使用したときは録画可能ディスクでも再生専用ディスクとなります。(録画や初期化は行えません。) • 電波状態が悪い番組では、途中で録画が停止する場合があります。 • BDの空き時間は足りていますか。BD-REの場合はBDに録画された不要なタイトルを消去して、録画に必要な空き容量を確保してください。BD-Rの場合は新しいディスクをご用意ください。 • ディスク再生中は録画ができません。 • 録画が禁止された映像は録画できません。 • BDをクリーニングしてください。 • 傷、そり、汚れやピックアップの状態、ご使用のディスクと本機との相性により、適切な録画ができない場合があります。 • 停電などがありませんでしたか。 • 本体の電源スイッチで電源を切っていませんでしたか。	– 181 – 148･182 – 130 24 – – –
BE-LIVE機能が利用できない	• BE-LIVE用LAN設定を再度確認してください。	162

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
予約したのに録画されていない、途中で切れている	・予約待機中/録画中に停電がありませんでしたか。録画中に停電などで録画が中断された場合は、その番組は保存されません。 ・停電などで録画が中断された場合、録画が中断された時点より前の部分の内容が数分ぶん損なわれることがあります。 ・BDの録画可能時間は充分でしたか。録画可能時間が少ない場合、不要なタイトルを消去してください。 ・放送時間が変更されていませんか。 ・番組が延長されていませんでしたか。 ・電波状態が悪い番組では、途中で録画が停止する場合があります。 ・電源プラグがコンセントから抜けていませんでしたか。 ・「受信機レポート」を確認してください。 ・途中から録画禁止の番組が始まったときなどは、録画は中断されます。 ・BDをクリーニングしてください。 ・予約した番組の前の番組が時間延長になりませんでしたか。予約を開始しようとしたときに、放送局から送られてくる番組の開始時刻の情報が正しく更新されていない場合があります。この場合は予約が失敗となります。日時指定予約の場合、前の番組が延長しそうなときは最大延長時間を加味し、予約することをおすすめします。 ・「予約の実行に失敗しました。」というレポートがある場合は、予約の実行に失敗しています。 ・レポートに「前の予約番組が延長されたため、予約の開始ができませんでした。」または「番組放送時間が変更されました。」と書かれている場合は、番組の放送時間の変更により録画ができなかった事例です。 ・レポートに「予約の開始時間に電源が切れていた。」と書かれている場合は、本体の電源を切ったり、電源コードを抜いたりして、予約開始時刻に電源が入らなかった事例です。予約録画した場合は、必ずリモコンで電源を切ってください。	– – 148・182 – – 51 316 130 24 316
電子番組表から予約したのに、途中で番組が終わっている	・デジタル放送の場合、放送局から番組延長の情報が送られてこないと番組延長機能が働きません。	–
BSデジタル放送のラジオ放送、データ放送が記録されていない	・ラジオ放送、データ放送は記録できません。	–
BDやDVDディスクが再生できない	・BDビデオまたはDVDビデオの場合、リージョンコードが一致しているか確認してください。 リージョンコードが「A」、またはリージョンコードの記載がない(リージョンコードが設定されていない)BDビデオが再生できます。 ・BD-RE Ver.1.0は再生できません。 ・DVDディスクの場合は、録画した機器でファイナライズを行ってください。 ・ディスクに指紋や汚れが付いている場合は、クリーニングしてください。 ・ディスクをディスク挿入口に正しく挿入してください。 ・本機内部の結露(つゆつき)を除去してください。	332 24 131 22・24

次のページに続く

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
BDやDVDディスクが再生できない	・ディスクの記録状態、傷、そり、汚れやピックアップの状態、ご使用のディスクと本機との相性により、適切な再生ができない場合があります。 ・他のBDレコーダーでH.264長時間録画されたBDディスクは再生できない場合があります。	22・24
市販のBDビデオまたはDVDビデオを再生中、吹き替え音声が切り替わってしまう	・市販のBDビデオまたはDVDビデオによっては、テレビ放映当時の音声をそのまま収録しているものがあります。そのため、吹き替えの音源がない部分は、オリジナルの音源になりますので、日本語と外国語が交互に切り換わる動作をする場合があります。	
市販のBDビデオやDVDビデオが再生できない	・視聴制限が設定されていると、BDビデオやDVDビデオを再生できないことがあります。 BDビデオの場合は、再生を停止し、視聴制限年齢を解除してください。 DVDビデオの場合は、暗証番号を入力し、ホームメニューで視聴制限レベルを設定し直してください。 ・ディスクのパッケージをご覧になり、リージョンコードをお確かめください。BDビデオやDVDビデオには、国によって再生を制限するためのリージョンコードが設定されています。日本で再生できるのは次のとおりです。 **BDビデオ** → リージョンコード「A」またはリージョンコードの記載がないディスク **DVDビデオ** → リージョンコード「ALL」または「2」 ・PAL、SECAM方式のBDビデオは再生できません。	218 332 –
他のDVDレコーダーで録画・編集したDVDディスクが途中で再生されなくなる	・他のDVDレコーダーで編集したディスクのプレイリストは、12時間以上再生できません。 ・DVD-R DL(2層)ディスクは再生できない場合があります。	– –
つづき再生が働かない	・ディスクのつづき再生は、ディスクを取り出すと働かなくなります。 ・その他、ディスクや再生状態によっては、つづき再生が働かない場合があります。	– –
二ヶ国語の音声が切り換えられない	・オーディオ機器とデジタル接続して使用している場合は、アンプ側で音声切換の操作を行ってください。 アンプ側に音声切換機能がないときは、アナログ接続して本機側で切り換えてください。	–
再生リスト(録画番組一覧)が表示されない	・一度ディスクを取り出し、再度挿入してみてください。 ・一度本体の電源スイッチで電源を切り、再度電源を入れてみてください。	131~132 55
再生リストのタイトル名に「＊」が表示される	・他機で付けたタイトル名で本機で表示できない文字は、「＊＊＊＊････」と表示されます。	–
録画した最後の数秒間が再生されない	・再生した番組の終了位置は、他機で録画時に録画を停止した位置と多少ずれることがあります。 ・連続した予約設定で先に録画した番組は番組の終了が数秒早くなるため、番組の最後が録画されません。	– –
スロー再生がうまくいかない	・タイトルの最後になると、スロー再生が解除されます。 ・タイトルをまたぐスロー再生はできません。 ・BDビデオの場合、逆スロー再生はできません。	– – –

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
一時停止／コマ送り再生がうまくいかない	• DVD-RW/-Rディスク（VRフォーマット）以外のディスクでコマ送り動作をしたときは映像がずれることがあります。 • 市販のBDビデオやDVDビデオでは、ディスクによって一時停止／コマ送りの操作が禁止されているものがあります。 • BDビデオの場合、コマ戻し再生はできません。	－ － －
早送り／早戻し（サーチ）がうまくいかない	• ディスクや再生しているシーンによっては、早送りサーチをしたとき、本書に記載のスピードにならない場合があります。 • タイトルをまたぐサーチはできません。（音楽用CDは除く）BD・DVDディスクの場合は、再生状態になります。	－ －
他機で録画したDVDディスクが本機で再生できない	• 録画した機器でファイナライズをしていないDVDディスクは本機で再生できないことがあります。録画に使用した機器で、ファイナライズを行ってください。 • 本機で対応していないフォーマットで録画したディスクは再生できません。 • パソコンなどで作成したディスクは再生できない場合があります。	－ － －
再生できない/再生が中断される	• デジタル放送をBDに録画しているときは、再生はできません。 • 再生中に選局操作をしたときは、再生が停止します。 • 予約録画開始時刻になると、再生が停止し、録画が始まります。	－ － －
再生できないタイトルがある	• 正常に録画されなかった映像は再生できません。 • 録画時間が短い場合は、再生できないことがあります。	－ －
データ放送が再生できない	• 連動データ放送は、録画画質「5倍」「7倍」の場合は録画されていません。	－
ディスクを挿入しても出てきてしまう	• 市販のBDビデオやDVDビデオの場合、リージョンコードが一致しているか確認してください。 • 再生できるディスクかどうか、確認してください。 • BDまたはDVDディスクをディスク挿入口に正しく挿入してください。 • BDまたはDVDディスクをクリーニングしてください。 • 録画されていないDVD-RAMを挿入していませんか。 • ディスク挿入時、表裏を間違えていないか確認してください。	332 332 131 24
ディスクが出ない	• 本体の電源スイッチが切のときは、ディスク取り出しはできません。 • 本体の電源スイッチを押して、電源を入れ直してください。電源ランプが点灯してから、本体のディスク取出しボタンまたはリモコンの取出しボタンを押してください。 • ディスク録画中、ディスク初期化中、BDドライブの起動中にはディスクの取り出しはできません。動作終了後に取出しボタンを押して取り出してください。 • 上記の操作を行ってもディスクが出てこないときは、お買いあげの販売店またはお客様相談センターにお問い合わせください。	－ 331 － 330
ディスクを挿入すると「ピピッ」と音がする	• ディスクを読み込むための音で故障ではありません。	－
（ホーム）を押してもホームメニューが表示されない	• メッセージが表示されたときは、メッセージに従って操作してください。	－
MDレコーダーとデジタル接続をしてCDからMDに録音したとき、CDとMDの曲番が合わない	• CDの曲間が短い場合は、CDと録音したMDの曲番が一致しないことがあります。 • 視聴メニューでトラックの指定を行った場合などは、CDと録音したMDの曲番が一致しないことがあります。	165 165

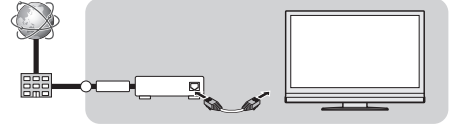
インターネット関係について

故障かな？と思ったら

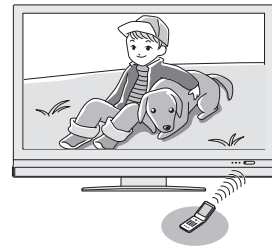
こんなときに	ここをお確かめください	ページ
AQUOS.jpのページが表示されなくなった	•ブロードバンドルーターや信号変換機器の電源が切れていませんか。 •LANケーブルがはずれていませんか。 •「ネットサービス制限設定」−「インターネット接続制限」を「禁止しない」に設定してください。 •ブロードバンド回線やプロバイダーのメンテナンスなどにより、接続できない期間ではありませんか。しばらく、時間をおいてからもう一度接続してください。	− 241 235 −
文字が読めない文字になった	•ブラウザメニューの文字コードを変更してください。	258
カーソルボタンでページの続きを表示できない	•ページの読み込みが終わるまでお待ちください。	−
インターネットに接続できない	•「ブロードバンド環境への接続と設定（インターネットの準備）」をご覧いただき、接続・設定状況をご確認ください。 •【パソコンをお持ちの場合】 本機に差し込まれているLANケーブル(CAT5以上)をパソコンに差し込み、パソコンでインターネットに接続できるかどうか試してください。 できる場合は、ブロードバンドルーターからLAN側（本機側）の接続・設定を確認してください。できない場合は、ブロードバンドルーターからWAN側（プロバイダー側）の接続・設定を確認してください。 •【停電などにより、モデムやケーブルモデム、ブロードバンドルーターの電源をいったん切った場合など】 電源が再投入されてから数分程度インターネットが復旧するまで時間がかかる場合があります。 •外部からのノイズなどにより、通信機能に障害が発生した可能性があります。本体の電源スイッチで電源を切り、1分間放置した後、再度電源を入れてください。	236～241 − − −
電話線をつないだのにインターネットに接続できない	•電話回線ではインターネットを利用できません。 「ブロードバンド環境への接続と設定（インターネットの準備）」をご覧いただき、LAN回線に接続してください。	236～241
ホームページの音声が聞こえない ホームページの動画が再生できない	•本機では、一部の形式の音声ファイル(WAVやAAC形式の一部)については再生可能ですが、一般のWebページで配信されている動画や音声はパソコン向けに作られており、特に本機の機種名が対応機種としてそのWebページに明記されていない限りは、基本的に再生できないとお考えください。	−
パソコンのインターネット機能でできることが、本機ではできない	•本機でインターネットを活用するときは、パソコンの一般的なブラウザと比べて以下のような点などが異なりますので、ご了承ください。 　•ファイルのダウンロードはできません。 　•PDF（電子文書）を読み込む機能はついておりません。 　•メールの送受信機能はありません。	−
フォトリモ™通信に反応しない	•携帯電話の赤外線発光部の位置を携帯電話の取扱説明書で再度ご確認ください。 •携帯電話をIrSS™の受光部に近づけて再度送信してみてください。	− 289

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
映像や音声がときどき停止する	•お使いのブロードバンド回線は光回線（FTTH）ですか。アクトビラ ビデオやアクトビラ ビデオ･フルをお楽しみになる場合は、光回線（FTTH）が必要です。	237
	•ご家庭のブロードバンド環境に接続しているパソコンで、大容量のファイルをダウンロードしたり、動画をストリーミング再生したり、別のテレビでもアクトビラ ビデオの再生をしたりしていませんか。回線の使用状況によっては、映像や音声が停止します。他の機器の使用を中断したあと、もう一度アクトビラ ビデオ･フルを再生してみてください。	−
	•本機とブロードバンドルーターをLANケーブルで接続していますか。無線LANなどLANケーブル以外の通信機器を使用している場合は、通信機器の性能により一時的に停止する場合があります。本機とブロードバンドルーターをLANケーブルで接続してください。	240
	•ブロードバンドルーターなどの機器の性能によっては、通信速度が足りない場合があります。回線事業者やプロバイダーから機器をレンタルしている場合は、ご加入の回線事業者やプロバイダーに確認してみてください。	−
	•光回線（FTTH）をご利用の場合でも、ご加入のプランによってはアクトビラ ビデオを再生するために十分な通信速度でない場合があります。ご加入の回線事業者やプロバイダーに確認してみてください。	−
アクトビラの画質が悪い	•デジタル放送とは異なる方式で映像を配信しているため、デジタル放送のハイビジョン放送と画質が異なります。	−
	•映像の圧縮率が高いコンテンツの場合は、低画質になります。	−

IPTV 関係について

故障かな？と思ったら

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
ポータル情報が取得できない	• お使いのブロードバンドルーターはIPv6に対応していますか。本機とブロードバンドルーター間に、無線LANを使っていませんか。無線LANを使用していると、IPv6での接続が出来ない場合があります。LANケーブルで接続してください。	−
チャンネル登録で失敗する	• IPTVのマルチキャスト開通処理が完了していない可能性があります。ポータル画面で回線番号の登録をしてください。	−
テレビ放送やVODの映像が乱れる	• 使用している光回線をIPv4のインターネット接続と共用している場合は、家庭内の別の機器がインターネットに接続しているとテレビ放送やVODの映像が乱れることがあります。	−
ライセンスが無いと表示される	• 追加契約が必要なチャンネルです。契約状況についてポータルで確認するか、サービス事業者にご確認ください。	−

IrSS™ について

故障かな？と思ったら

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
IrSS™通信に反応しない	• 送信機器の赤外線発光部の位置を取扱説明書で再確認してください。	−
	• 送信機器をIrSS™の受光部に近づけて再度送信してください。	289
	• 送信機器の赤外線通信がIrSS™通信に対応しているかどうか確認してください。	−

おしらせ　**停電時に設定が保持されている項目と設定が解除される項目**

- テレビにおける設定内容（ホームメニュー内設定項目、音量など）は保持されます。
- 番組予約（視聴予約／予約録画）が、予約動作開始時刻を経過しているときは消去されます。
- 時刻設定は消去されます。時刻の自動設定がされないときは、ホームメニューの「設定」－「（視聴準備)」－「各種設定」－「時計設定」－「時刻設定」で設定してください。（時計を合わせる（時刻設定） ▶ **107** ページ）
- 停電前が下記の状態のものは解除されます。
  ・静止画　・オフタイマー　・消音（消音ボタンによる）　・映像オフ

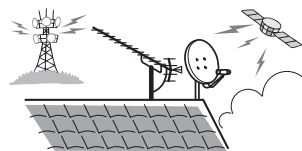
B-CAS カードや放送の受信・視聴に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	ページ
B-CASカードを正しく挿入してください。 B-CASカードを挿入していてもこのメッセージが表示される場合は、カードを差し直してください。	****	• B-CASカードを正しく挿入してください。挿入してある場合は、挿入し直してください。	43
このB-CASカードは使用できません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	• B-CASカスタマーセンターおよびご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	43~44
このカードは使用できません。 正しいB-CASカードを装着してください。	****	• 本機に付属のB-CASカードを挿入してください。	43
このチャンネルは契約されていません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
このB-CASカードには必要な情報が有りません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
放送チャンネルではないため、視聴できません。	E200	• このチャンネル(番組)は視聴できません。	–
受信状態が悪くなっています。 この番組は降雨対応画面に切り換えることができます。	E201	• 降雨対応画面に切り換えて視聴していただくか、天気の回復をお待ちください。	39
アンテナ信号レベルが強すぎて放送が受信できません。信号レベルを調整してください。	****	• アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の挿入が必要です。販売店などにご相談ください。	–
放送が受信できません。アンテナの接続状況や調整をご確認ください。 雨や雪などの天候の影響で一時的に受信できない場合もあります。	E202	• アンテナ線を確認してください。 • アンテナの設定が合っているか確かめてください。 • 雨や雪などの天候の影響で一時的に受信できない場合もあります。	46~49 61~62 –
現在放送されていません。番組表などで放送時間を確認してください。 雨や雪などの天候の影響で一時的に受信できない場合もあります。	E203	• 番組表などで放送時間を確かめてください。 • 雨や雪などの天候の影響で一時的に受信できない場合もあります。	– –

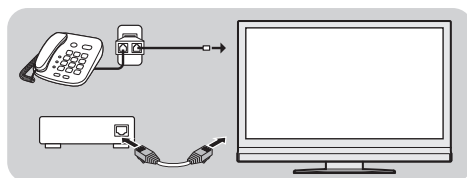
次のページに続く

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	ページ
○○○チャンネルが見つかりません。番組表などでチャンネルを確認してください。	**E204**	• 番組表などでチャンネルを確かめてください。	**–**
アンテナ線の接続や設定に不具合がありますのでアンテナ電源を「切」にしました。 受信できない場合は、本体の電源を切ってから、アンテナとの接続を確認してください。	＊＊＊＊	• 電源を入れ直してください。 • BSデジタル放送や110度CSデジタル放送が受信できない場合は、本体の電源を切り、アンテナとの接続を確認してから電源を入れ直してください。	**–** **47～49** **61～62**
○○○チャンネルのサービスは、この受信機では受信できません。	**E210**	• 選局されたチャンネルとは別のチャンネルを選局してください。	**–**
契約期限が切れています。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	**–**
このチャンネルは視聴条件により、ご覧いただけません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	**–**
受け付け時間を過ぎていますので購入できません。	＊＊＊＊	• 番組の冒頭の限られた時間しか購入できない番組もあります。	**–**
電話回線を接続の上、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	• 電話回線の接続を確認の上、電源を切ってからB-CASカードを一度抜き、挿入し直してください。 • ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	**43•230～231** **–**
データの通信に失敗しました。	**E301**	• 電話回線の接続を確認して、ホームメニューの「通信(インターネット)設定」を正しく行ってください。	**230～233**
データが受信できません。	**E400**	• 現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	**–**
対象地域外のため、データを表示できません。	**E401**	• 現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	**–**
この受信機では、データを表示できません。	**E401**	• 現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	**–**
データの表示に失敗しました。	**E402**	• 現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	**–**

アンテナ受信強度

に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた	ページ
受信強度が60以下です。【B】	・受信強度が60以上になるようにアンテナの向きや接続を調整してください。	61～62
アンテナ信号が強すぎます。【C】	・アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の取り付けが必要です。 販売店などにご相談ください。	－
アンテナ信号が不足しています。【C】	・ブースターの調整や取り付けが必要です。 販売店などにご相談ください。	－
アンテナ信号が良くありません。【D】	・受信強度が60以上で表示される場合、アンテナ信号が劣化しています。アンテナの設定が合っているか確認しても改善しない場合は、販売店などにご相談ください。	46～49 61～62
受信できません。【E】	・アンテナが正しく設置されているか確認してください。 ・アンテナ線を確認してください。 ・アンテナの設定が合っているか確かめてください。	－ 46～49 61～62

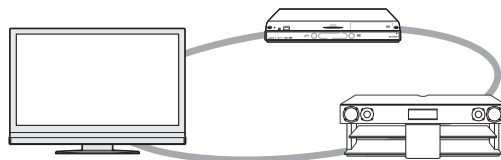
双方向通信

に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	ページ
番組で指定されたプロバイダへの接続に失敗しました。[C104]	C104	・電話回線の接続を確認の上、「電話回線設定」の内容をご確認ください。	229～233
番組で指定されたプロバイダへの接続に失敗しました。[C105]	C105	・電話回線の接続を確認の上、「電話回線設定」の内容をご確認ください。	229～233
番組で指定された情報センター※1への接続に失敗しました。[C006]	C006	・電話回線の接続を確認の上、「電話回線設定」の内容をご確認ください。	229～233
アクセスできませんでした。[C204]	C204	・ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	－
サーバー証明書※2が不正のため、アクセスを中断します。[C208]	C208	・ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	－
サーバー証明書※2に問題があり、アクセスを中断します。[C209]	C209	・ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	－

次のページに続く

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	ページ
双方向サービスを利用するには、デジタル放送接続制限を「禁止しない」に設定してください。	****	・「ネットサービス制限設定」－「デジタル放送接続制限」で「しない」を選択してください。	235
登録してあるプロバイダへの接続に失敗しました。電話回線設定を確認してください。	****	・電話回線設定を確認してください。	232～233
まだルート証明書※3を受信していません。セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	****	・アクセスしないことをお勧めします。	ー
サーバー証明書※2の信頼性が確認できません。セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	****	・アクセスしないことをお勧めします。	ー
まだ新しいルート証明※3を受信していません。セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	****	・アクセスしないことをお勧めします。	ー

※1 情報センター……双方向通信において、お客様からのデータを受け取るセンター。
※2 サーバー証明書…暗号化通信に使われる暗号鍵。Webサーバーに保存される。有効期限が記述されており、この期間を過ぎると使用できない。
※3 ルート証明書……暗号化通信に使われる復号鍵。放送波で伝送され、受信機に保存される。有効期限が記述されており、この期間を過ぎると使用できない。

ファミリンク録画時のエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた
録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	S05	・録画ができない「コンテンツ（放送や番組）」、または録画ができない「記録メディア（HDD･BD･DVDなどの録画媒体）」です。「コンテンツ（放送や番組）」または「記録メディア（HDD･BD･DVDなどの録画媒体）」を確認してください。
録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。 録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	S06 S07	・このネットワークは録画することができません。 ・ファミリンク録画機能を使用せず、録画機器の録画機能をご利用ください。
録画に失敗しました。 録画に失敗しました。 録画に失敗しました。 録画に失敗しました。	S09 S10 S11 S12	・ファミリンク録画機能を使用せず、録画機器の録画機能をご利用ください。

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた
録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	S13	• この「コンテンツ(放送や番組)」は録画することができません。
録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	S14	• 「コンテンツ(放送や番組)」を確認してください。
録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。	S16	• 「記録メディア(HDD・BD・DVDなどの録画媒体)」を確認してください。
録画に失敗しました。 現在、再生中のため録画できません。	S17	• 再生を停止した後、再度録画を設定してください。
録画に失敗しました。 別の録画を実行中のため、録画できません。	S18	• 現在録画中のため、新たに録画できません。
録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。	S19	• 「記録メディア(HDD・BD・DVDなどの録画媒体)」が書き込み禁止です。 • 「記録メディア(HDD・BD・DVDなどの録画媒体)」を確認してください。
録画に失敗しました。 放送を受信できないため、録画できません。	S20	• 放送が受信できません。設定が正しく行われているか、確認してください。
録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。	S21	• 「記録メディア(HDD・BD・DVDなどの録画媒体)」に録画できません。 • 「記録メディア(HDD・BD・DVDなどの録画媒体)」を確かめてください。
録画に失敗しました。 記録可能な容量がありません。	S22	• 「記録メディア(HDD・BD・DVDなどの録画媒体)」の容量を確認してください。
録画に失敗しました。 視聴制限がかかっています。	S23	• 視聴制限を解除して再度録画を設定してください。
録画に失敗しました。 レコーダーが録画できない状態になっています。	S31	• 録画機器を確認してください。

BD レコーダー機能利用時のエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
このディスクは再生できません。 ディスクが読み込めませんでした。	• ディスクを確かめて入れ直してください。 • 録画中に停電したり、誤って電源コードを抜きませんでしたか。そのようなディスクは認識できなくなる場合があります。 • ディスクに指紋や汚れが付いている場合は、ディスクをクリーニングしてください。(▶**24**ページ)
ディスクが挿入されていません。	• 録画用BD-REまたは録画用BD-Rを挿入してください。
録画できるディスクが入っていません。予約の開始ができませんでした。	• 録画用BD-REまたは録画用BD-Rを挿入してください。
この操作はできません。	———

次のページに続く

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
ディスクに保護がかかっています。 ディスクの保護を外すか、録画可能なブルーレイディスクを挿入してください。	• ディスク保護を解除するか、別の録画用ディスクを入れ直してください。
ディスクが修復できませんでした。	―――
ディスクを確認しています。 完了まで10 分以上かかる場合があります。	• ディスクの確認が完了するまでお待ちください。確認は10分以上かかる場合があります。
初期化できませんでした。	• ディスクを確かめて入れ直してください。 • ディスクに指紋や汚れが付いている場合は、ディスクをクリーニングしてください。（▶**24**ページ）
タイトルが一杯でこれ以上録画できません。 不要なタイトルを消去するか、他のディスクを使用してください。	• 不要なタイトルを消去してください。
録画可能なディスクを挿入してください。	• 録画用BD-REまたは録画用BD-Rを挿入し直してください。
ディスクが満杯なので録画できません。 不要なタイトルを消去するか、他のディスクを使用してください。	• 空き容量のあるBD-RE またはBD-R を入れてください。 • 不要なタイトルを消去してください。
ディスクが満杯なので録画を停止しました。不要なタイトルを消去するか、他のディスクを使用してください。	• 不要なタイトルを消去してください。
現在のBD 残時間では最後まで録画できない可能性があります。満杯まで録画します。	• 空き容量が十分にあるBD-RE またはBD-R を入れてください。 • 不要なタイトルを消去してください。
日付・時刻が設定されていません。 日付・時刻を設定してください。	• 時計合わせを行ってください。
選局・再生に失敗しました。 チャンネルを切り換えてください。	• 本体の電源スイッチを押して、電源を入れ直してください。（▶**331**ページ） 状況が改善されない場合は、販売店またはシャープお客様相談センター（▶**330**ページ）にご相談ください。
録画禁止になりましたので、録画を停止しました。	―――
このディスクは保護されています。	• ディスク保護を解除してから行ってください。
この番組は録画できません。	• 独立データ放送は録画できません。
録画禁止の番組です。 録画できません。	• 「録画禁止」の番組は、録画できません。
番組の時間が未定のため、予約録画ができません。	• 終了時刻が未定の番組、長さが1分未満の番組、長さが48時間超の番組は予約録画できません。
予約可能時間を過ぎたので、リモコンの録画ボタンで直接録画してください。	• リモコンふた上の録画ボタンで、直接録画してください。

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
予約できる番組数を超えているため、予約できません。	• 予約できる番組は、最大16番組です。新しい予約を設定する場合は、どれか他の予約を消去してください。
録画できない番組のため、視聴予約にしました。	• 録画禁止の番組は予約録画できません。 • 独立データ放送やラジオ放送は、録画できません。
この番組をBD予約録画しました。（録画番組の連動データは、記録されません）	• 連動データを録画したい場合は、録画画質を「標準（DR）」「2倍」「3倍」のいずれかに設定してください。
BDドライブがはずれているため、視聴予約しました。	• 内蔵のBDドライブがはずれている可能性があります。販売店またはシャープお客様相談センター（▶**330**ページ）にご相談ください。

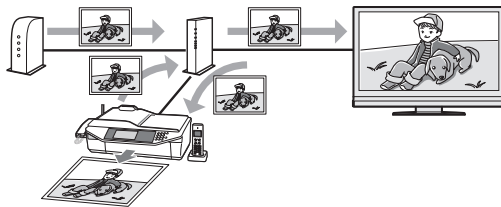
IrSS™

に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
この形式の写真データは表示できません。	• 規格外の写真は表示できません。
データの容量が大きすぎます。	• データの容量が約3MB以下のデータを送信してください。
写真のサイズが大きすぎます。	• 画素サイズ4096×2160以下のデータを送信してください。
このデータは表示できません。	• JPEG以外のデータや、壊れたデータは表示できません。なお、パソコンでは表示可能な場合があります。
送信機器を本機の受光部に近づけて、再度送信してください。（他の機器からは離してご使用ください）	• 送信機器を本機右下のIrSS™受光部の正面から上下左右15度以内、2m以内に近づけて、再度送信してみてください。 また、データ容量の大きな画像の送信には数秒かかる場合がありますので、送信が完了するまで送信機器をIrSS™受光部から離さないようにご注意ください。
ホームネットワークモードのときはIrSS受信できません。 **IPTVのときはIrSS受信できません。** **このデータは処理できません。**	• ホームネットワークモードやインターネット、IPTV視聴中はIrSS™自動切換機能が働きません。IrSS™モードに切り換えてからIrSS™送信してください。また、IrSS™モードが入力スキップ設定されている場合、予約録画実行中もIrSS™自動切換機能が働きません。これらを解除してからIrSS™送信してください。 • 「設定」－「（機能切換）」の「IrSS自動切換」を「しない」に設定している場合は、IrSS™モードに切り換えてからIrSS™送信してください。
IrSS受信準備中です。しばらく待ってから、再度IrSS送信してください	• 電源を入れてすぐにIrSS™送信した場合に表示されます。数秒待ってから再度IrSS™送信してください。

フォトリモ™ に関するエラーメッセージ

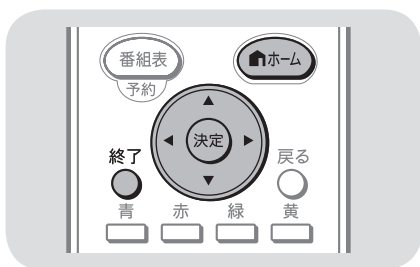
画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
期限切れのデータは処理できません。	• フォトリモ™データが期限切れになっています。 サービスが提供中にもかかわらずこのメッセージが表示される場合にはフォトリモ™データを再度入手していただくか、サービス事業者に確認してください。
期限前のデータは処理できません。	• フォトリモ™データがまだ有効になっていません。 サービスが提供中にもかかわらずこのメッセージが表示される場合には、サービス事業者に確認してください。
このデータは無効化されました。	• フォトリモ™データのセキュリティが保証できなくなったため、データが使えなくなりました。 フォトリモ™データを再度入手していただくか、サービス事業者に確認してください。
このデータは処理できません。	• フォトリモ™データではない画像データは処理できません。 フォトリモ™データが壊れている場合にもこのメッセージが表示されます。この場合にはフォトリモ™データを再度入手してください。
IrSS受信できません。IrSS自動切換えで[する]を設定してください。	• 「設定」－「 (機能切換)」－「IrSS自動切換」で「する」を設定し、再度送信してください。
IrSS受信できません。ブラウザ制限で「しない」を設定してください。	• 「設定」－「 (視聴準備)」－「通信(インターネット)設定」－「ネットサービス制限設定」－「ブラウザ制限」で「しない」を設定し、再度送信してください。

ホームネットワーク利用時のエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
この形式の写真データは表示できません。	• 規格外の写真は表示できません。 なお、パソコンで写真を編集すると、本機で表示できない規格のデータ形式に変更される場合があります。
データの容量が大きすぎます。	• データの容量が6MB以下のデータとしてください。 • デジタルカメラや携帯電話の撮影時の設定で画素サイズを小さくすると、6MB以下のデータで撮影できる場合があります。 例）　4300×3225 ⇒ 2048×1536 また撮影済みのデータではデジタルカメラや携帯電話のリサイズ機能を使うと変更できる場合があります。

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
写真のサイズが大きすぎます。	• 画素サイズ4096×4096以下の写真にしてください。 • デジタルカメラや携帯電話の撮影時の設定で画素サイズは変更できる場合があります。 例） 4300×3225 ⇒ 2048×1536 また撮影済みの写真ではデジタルカメラや携帯電話のリサイズ機能を使うと変更できる場合があります。
このデータは表示できません。	• 本機で表示可能な仕様のJPEG以外のデータや、壊れたデータは表示できません。
次の写真を取得できません。 接続機器の接続や設定を確認してください。	• 写真取得時サーバー機器に接続できなくなっています。 ホームネットワーク機器の接続設定を確認してください。 またSDカードを持つサーバー機器ではSDカード挿入後ホームネットワークに公開するまで時間がかかる場合がありますので、しばらくお待ちください。
接続できません。 接続機器の接続や設定を確認してください。	• サーバー機器の電源が入っているか、ホームネットワーク機器の接続設定を確認してください。 またSDカードを持つサーバー機器ではSDカード挿入後SDカードの内容をホームネットワークに公開するまで時間がかかる場合がありますので、しばらくお待ちください。
印刷設定 機器が見つかりません。 対応プリンタの電源、接続を確認ください。	• プリンタの電源が入っていないか、プリンタがホームネットワークに接続されていないか、ホームネットワーク接続設定が正しくされていない可能性があります。 プリンタの電源、接続、設定を確認してください。
写真の印刷 印刷の準備をしています。	• プリンタに印刷指示を行っていますので、しばらくお待ちください。
写真の印刷 この写真の印刷を受け付けました。	• プリンタへの印刷指示を完了しました。 写真を表示することができます。
写真を表示できません。 フォルダが削除されたか、機器が再起動された可能性があります。	• サーバー機器によっては、サーバー起動直後やデータの追加削除を行うと本メッセージが表示される場合があります。故障ではありません。
印刷できません。 プリンタが使用中の可能性があります。	• プリンタが印刷実行中か使用中の場合にさらに印刷しようとすると、このメッセージが表示される場合があります。 印刷完了または使用できるようになるまでお待ちください。
印刷を中断しました。 プリンタとの接続を確認してください。	• プリンタが何らかの原因で印刷を中断しました。 プリンタの状態または正常に接続できているか確認してください。
印刷できません。 プリンタを確認してください。	• プリンタが何らかの原因で印刷できなくなりました。 プリンタのインクや用紙が無くなっていないか、用紙が詰まっていないか、カバーが開いていないか、などを確認してください。
機器に接続できません。 接続機器選択へ移動します。	• 前回接続したサーバー機器の電源が入っているか、ホームネットワーク機器の接続設定を確認してください。
フォルダにアクセスできません。 トップフォルダへ移動します。	• サーバー機器によっては、サーバー起動直後やデータの追加削除を行うと本メッセージが表示される場合があります。故障ではありません。

お知らせを見る

● 受信契約した放送局から視聴者に向けて発信されるメッセージを見たり、B-CAS カード番号などが確認できます。

項目	内容
受信機レポート	予約の失敗や変更に関するレポートやB-CASカードに関する情報など、受信機に関係したレポートを表示します。
放送局メッセージ	受信契約した放送局から発信されるメッセージを見ることができます。
ボード（CSデジタル）	送られている、CS各ネットワークの掲示板（ボード情報）のタイトル一覧を表示して、ご覧になりたいタイトルを選び、メッセージを表示することができます。 ボード情報は、そのとき放送で送られているものを表示しますので、消去はできません。 ※地上アナログ放送視聴中、予約録画実行中は選べません。
B-CASカード	受信機レポートで報告された不具合に関して、放送事業者のカスタマーセンターに連絡されるときに、お客様の契約確認のためB-CASカードの番号を表示するものです。 カード識別…メーカー識別用のアルファベット1文字と3桁の数字からなります。 カードID……カード固有の番号です。

1 ホームメニューを表示し、「設定」を選ぶ

を押し
で選ぶ

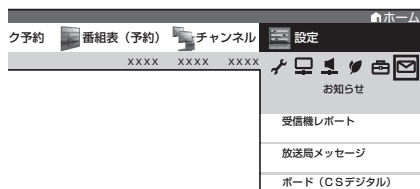
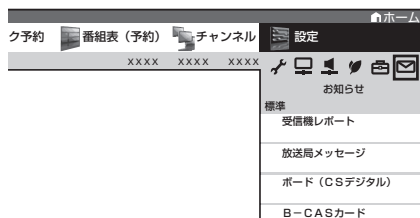
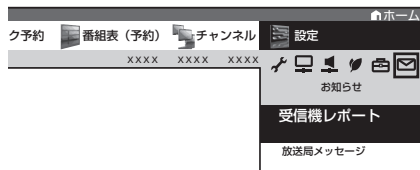
2 ✉（お知らせ）を選ぶ

で選ぶ

3 見たい項目を選ぶ

で選び

を押す

ク予約　番組表（予約）　チャンネル　設定　お知らせ　受信機レポート　放送局メッセージ

・項目によっては、このあとネットワーク（放送の種類）を選ぶ手順になります。

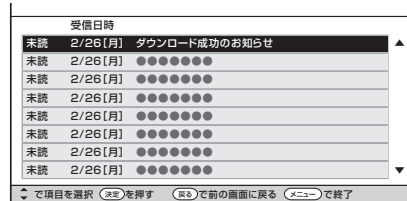
4 見たい情報を選ぶ

(例)「ダウンロード成功のお知らせ」を見る

で選び

を押す

5 情報の内容を確認する

で選び
を押す

・ページを切り換えるときは「一覧へ」「前へ」「次へ」などを選び、決定ボタンを押します。
・画面に従って操作してください。
・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

・ホームメニューから「ツール」ー「お知らせ（受信機レポート）」を選んでも、受信機レポートを見ることができます。
・未読の放送局メッセージがある場合は、画面右上のチャンネルサインに「お知らせ」と表示されます。未読の放送局メッセージをすべて表示すると、「お知らせ」の表示が消えます。
・受信機レポートの表示中、左右カーソルボタンで「消す」を選んで決定ボタンを押すと、その受信機レポートが消去されます。

本機のソフトウェアを更新するときは（ダウンロード設定）

- ソフトウェアの更新とは、本機内のソフトウェアを書き換えて、機能アップや機能改善などを行うためのものです。
- 本機のソフトウェア更新はダウンロードで行います。自動的に行う方法とお客様が必要に応じ、手動で行う方法があります。お買いあげ時は利便性を考えて「する」（自動）に設定されています。

おしらせ

ダウンロードの可能な環境について

・ダウンロードはBSデジタル放送および地上デジタル放送で実施されます。ケーブルテレビのセットトップボックスを利用してデジタル放送を受信している場合など、デジタル放送を直接受信できない環境ではダウンロードできません。

ダウンロードについて

・ソフトウェアの受信（ダウンロード）には、数分程度の時間がかかります。その間は、リセットの操作、電源プラグの抜き差しを行わないでください。ダウンロードが失敗する場合があります。
・ダウンロードによって、設定内容が工場出荷時の状態に戻ったり、予約設定がなくなる場合があります。その場合は、設定し直してください。
・**ダウンロードは、本機の電源が待機状態（電源ランプが赤色点灯）のときに実行されます。リモコンの電源ボタンで、待機状態にしてください。**
本体の電源スイッチで電源を切っている場合や電源コードをコンセントから抜いている場合、ダウンロードは実行されません。

自動ダウンロードを「しない」に設定する

- 自動的にダウンロードを行いたくない場合は、「しない」に設定します。

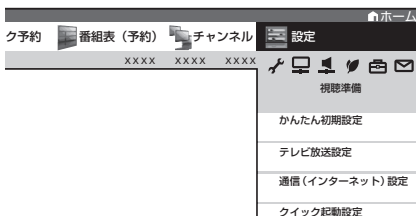
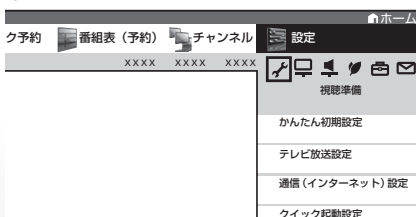
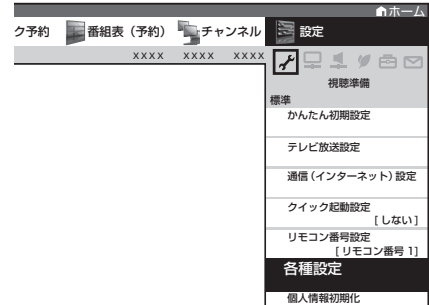
1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

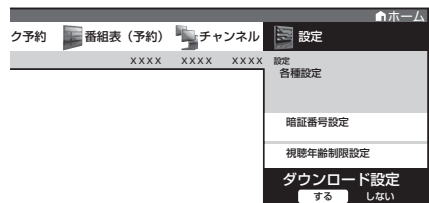
を押し
で選ぶ

2 （視聴準備）を選ぶ

で選ぶ

3 「各種設定」を選ぶ

で選び
を押す

4 「ダウンロード設定」を選ぶ

で選ぶ

5 「しない」を選ぶ

操作を終了する場合には、終了ボタンを押します。

で選び
を押す

次のページに続く

手動でダウンロードを行う

● 自動ダウンロードを「しない」に設定した場合、放送局メッセージに「ダウンロードのお知らせ」が届いているときに、手動でダウンロードを行えます。

1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

を押し
で選ぶ

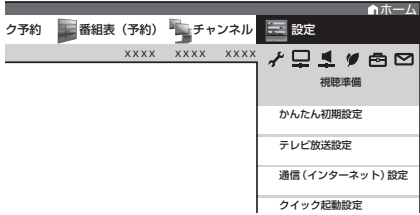
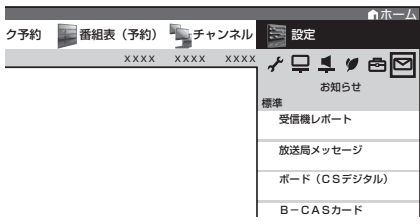
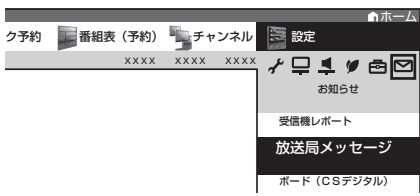
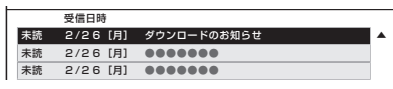
2 ✉（お知らせ）を選ぶ

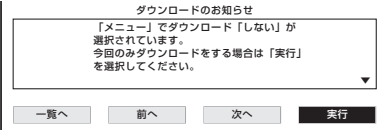
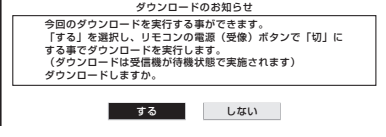
で選ぶ

3 「放送局メッセージ」を選ぶ

で選び
を押す

4 「ダウンロードのお知らせ」を選ぶ

で選び
を押す

5 ①画面の表示内容を確認し、「実行」を選ぶ

で選び
を押す

②画面の表示内容を確認し、「する」を選ぶ

• ダウンロードが成功すると、「お知らせ」の「放送局メッセージ」の中に、ダウンロードが成功した旨のメッセージが書き込まれます。
（お知らせを見る▶ **316** ページ）

本機から個人情報をすべて消すには（本機を廃棄するときなど）

● 本機には、放送局とデータの送受信を行うために入力した個人情報と操作情報が記録されています。本機を譲渡したり廃棄したりする際には、個人情報の初期化を行いこれらの情報を消去してください。

重 要

- お客様が設定した情報内容（チャンネル設定、予約、各調整値、LAN 設定、暗証番号、IPTV の基本登録情報やアクトビラの購入情報、インターネット関連のデータなど）がすべて初期化されます。
- **この操作は元に戻せません。必要のない場合は、操作を行わないでください。**
  データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

おしらせ

初期化すると

- 本体のリモコン番号は 1 になります。リモコン番号を変更してお使いになっていた場合は、リモコンのリモコン番号を「1」にしてください。

1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

を押し

で選ぶ

2 （視聴準備）を選ぶ

で選ぶ

3 「個人情報初期化」を選ぶ

で選び

決定 を押す

4 「する」を選ぶ

で選び

決定 を押す

5 「する」を選ぶ

で選び

決定 を押す

- 表示が「初期化実行中」（点滅）に変わります。
  初期化には、しばらく時間がかかります。

- 初期化が終了すると、画面が数秒間消え、かんたん初期設定画面が表示されます。電源を切るときは、本体の電源スイッチを押してください。

ホームメニュー項目の一覧

テレビ／入力４～６／インターネット／ホームネットワーク／IrSS 選択時

（入力1～3・入力７選択時については、▶324～327 ページをご覧ください。）

設定

視聴準備

- かんたん初期設定 ※8※21（▶57、59 ページ）
  - 接続確認：次へ
  - 地域設定
  - 郵便番号設定：次へ
  - チャンネル設定：する、しない
  - BS/CS アンテナ設定 ※10：する、しない、次へ、手動で再設定
  - IPTV 設定 ※22：する、しない
  - 完了確認：完了、再設定
- テレビ放送設定 ※22
  - チャンネル設定 ※8※9（▶65、69 ページ）
    - 地上デジタル ※10
      - 地上デジタルー自動：する、しない
      - ー追加：する、しない
      - ー個別：各 CH の設定
      - ー選局順：モード１、モード２
    - BS デジタル ※10：（個別）各 CH の設定
    - CS デジタル ※10：（個別）各 CH の設定
    - 地上アナログ
      - 地上アナログー自動：する、しない
      - ー追加：する、しない
      - ー地域番号：する、しない
      - ー個別：する、しない
    - デジタル登録 ※10：する、しない
  - アンテナ設定 ※8※9※10（▶61 ページ）
    - 電源・受信強度表示：オート、入、切
    - 周波数設定
    - 信号テストー地上 D
    - 信号テストーBS
    - 信号テストーCS
  - 地域設定 ※37：地域選択、郵便番号設定（▶63 ページ）
- 通信（インターネット）設定
  - 通信設定 ※28（▶232～233、245 ページ）
    - LAN 設定（IPv4）
      - 現在の設定（設定の確認）
      - IP アドレス設定
      - DNS 設定
      - 詳細設定開始確認
      - ネットワーク接続スピード
      - ネットワーク設定確認（テスト実行、完了）
    - LAN 設定（IPv6）
      - 現在の設定（設定の確認）
      - IP アドレス設定
      - DNS 設定
    - 電話回線設定ー自動
    - 電話回線設定ー手動
      - 現在の設定
      - 電話回線種別：20pps、10pps、トーン
      - 外線発信番号
      - ダイヤルトーン検出：する、しない
    - 電話会社設定
      - 現在の設定
      - 発信者番号通知
      - 事業者番号
      - 解除番号設定：する、しない
  - IPTV 設定 ※22（▶263、265、271 ページ）
    - サービス設定：する、しない
    - 基本登録：事業者 ID、事業者名
    - チャンネル設定 ※10
    - デジタル登録 ※24：する、しない
      - IPTVー自動：する、しない
      - ー追加：する、しない
      - ー個別：各 CH の設定
    - 受信状態
  - ネットサービス制限設定（▶235、244、252 ページ）
    - デジタル放送接続制限
      - 現在の設定：禁止する、禁止しない
      - 設定画面：する、しない
    - インターネット接続制限
      - 現在の設定：禁止する、禁止しない
      - 設定画面：する、しない
    - プロキシサーバー設定
      - 現在の設定：プロキシサーバー、利用する、利用しない、アドレス、ポート
      - 設定画面：する、しない、完了
    - ブラウザ制限
      - 現在の設定：禁止する、禁止しない
      - 設定画面：する、しない

- 表中の※については▶ 327 ページのおしらせをご覧ください。

視聴準備（つづき）

- クイック起動設定（▶106ページ）：しない、しない(BDは有効)、する（常にBDは有効）、する（2時間のみ有効）
- リモコン番号設定（▶123ページ）
  - リモコン番号1：する、しない
  - リモコン番号2：する、しない
- 視聴環境設定
  - 部屋の照明設定（▶113ページ）
    - センサーの色温度：低8～標準～高8
    - センサーの照度：暗8～標準～明8
  - 視聴環境設定(音声) ※23（▶119ページ）
    - 標準
    - 個別設定
      - 洋室：壁寄せ、コーナー置き、壁掛け
      - 寝室：壁寄せ、コーナー置き、壁掛け
      - 和室：壁寄せ、コーナー置き、壁掛け
- 各種設定
  - 暗証番号設定 ※22※25：する、しない(▶218ページ)
  - 視聴年齢制限設定 ※9：XX歳、無制限(▶219ページ)
  - ダウンロード設定：する、しない(▶317ページ)
  - 時計設定(▶105ページ)
    - 時刻設定 ※15：時刻　時　分
    - 時刻表示：する、する(30分ごと)、しない
- 個人情報初期化 ※8（▶319ページ）
  - 個人情報初期化 ※37：する、しない
  - BDビデオ初期化：する、しない

映像調整(▶114～116ページ)

- AVポジション(画質切換)：ぴったりセレクト、標準、映画、映画(リビング)、ゲーム、AVメモリー、フォト、ダイナミック、ダイナミック(固定) ※20(映画、映画(リビング)、ゲーム)
- 明るさセンサー ※1※2※30：切、入、入：表示あり
- 明るさ ※1※2※38：-16～標準～+16（-5、5）
- 映像 ※1※2※38：0～+40（-10、10）
- 黒レベル ※1※2※38：-30～0～+30（-10、10）
- 色の濃さ ※1※2※38：-30～0～+30（-10、10）
- 色あい ※1※2※3※38：-30～0～+30（-10、10）
- 画質 ※1※2※20※38：-10～+10（-5、5）
- 肌色補正 ※1※2
  - 色相：-30～0～+30
  - 彩度：-30～0～+30
  - 明度：-30～0～+30
  - リセット
- プロ設定 ※1※2
  - カラーマネージメント-色相／カラーマネージメント-彩度／カラーマネージメント-明度
    - R：-30～0～+30
    - Y：-30～0～+30
    - G：-30～0～+30
    - C：-30～0～+30
    - B：-30～0～+30
    - M：-30～0～+30
    - リセット
  - 色温度 ※30
    - 高／高－中／中／中－低／低
      - Rゲイン(低)：-30～0～+30
      - Gゲイン(低)：-30～0～+30
      - Bゲイン(低)：-30～0～+30
      - Rゲイン(高)：-30～0～+30
      - Gゲイン(高)：-30～0～+30
      - Bゲイン(高)：-30～0～+30
      - リセット
  - QS駆動(120Hz) ※20：アドバンス(強)、アドバンス(標準)、スタンダード、しない
  - アクティブコントラスト ※20※30：する、しない
  - ガンマ設定：-2～0～+2
  - I/P設定 ※4※20※30：動画より、静止画より
  - フィルムモード ※5※20※30：アドバンス(強)、アドバンス(標準)、スタンダード、しない
  - デジタルNR ※20※27※30：しない、強、中、弱、アクティブ
  - 3次元設定 ※6※30：標準、動画より、静止画より
  - モノクロ ※30：する、しない
  - 明るさセンサー設定 ※30：最大値設定：-16～0～+16 / 最小値設定：-16～0～+16
- リセット ※1※2：する、しない

音声調整(▶117～120ページ)※7※26

- オートボリューム ※1※2※23※30：強、中、弱、切
- 高音 ※1※2：-15～0～+15
- 低音 ※1※2：-15～0～+15
- バランス ※1※2：左30～中央～右30
- サラウンド ※1※2※30：切、入
- 音質補正 ※1※2※30：モード1、モード2、モード3
- リセット ※1※2：する、しない
- 声の聞きやすさ：モード1、モード2、モード3、しない

安心・省エネ(▶221～222ページ)

- オフタイマー：残りXX時間XX分、0時間30分、1時間00分、1時間30分、2時間00分、2時間30分、切
- オンタイマー ※18
  - オンタイマー：切、入
  - 曜日：毎日、毎週日曜～毎週土曜、月－土、月－金
  - オン時刻(時)：オンタイマー時刻設定　時
  - オン時刻(分)：オンタイマー時刻設定　分
  - オン入力 ※19：テレビ、入力1～入力7、ディスク
  - オンCH
  - 音量：0～60
- 映像オフ：する、しない(▶122ページ)
- 無信号オフ ※21：する、しない
- 無操作オフ：30分、3時間、しない
- ゲーム時間表示設定 ※17：する、しない(▶194ページ)
- チャイルドロック：しない、リモコン操作ロック、本体操作ロック(▶220ページ)

次のページに続く

機能切換
視聴操作
番組情報 ※22、画面サイズ、テレビ / データ / ポータル、BD 状態、VOD、静止、3 桁入力、CATV（▶79、88、104、109、148、275 ページ）
BD 設定 ※21※37（▶134 ～ 184 ページ）
BD/DVD 再生設定
BD 録画設定
ディスク管理
視聴制限レベル
変更する、初期化する
DVD ビデオの視聴制限レベル
次へ
BD ビデオの視聴制限年齢
ＸＸ歳、無制限
BD/DVD ビデオの国コード
完了
ディスク優先言語
変更する、初期化する
字幕言語
次へ
音声言語
次へ
メニュー言語
完了
アングルマーク表示
する、しない
BD-LIVE 設定
接続制限
許可する、制限付き許可、禁止する
BD-LIVE 用 LAN 設定
現在の設定（設定の確認）
IP アドレス設定
DNS 設定
詳細設定開始確認
LAN 接続スピード
LAN 設定確認（テスト実行、完了）
BD-LIVE 用プロキシサーバー設定
現在の設定、設定画面
音声設定
音声レベル
標準、シフト
セカンダリオーディオ設定
する、しない
文字スーパー設定
第一言語を表示、第二言語を表示、表示しない（▶176 ページ）
録画画質
標準（DR）、2 倍、3 倍、5 倍、7 倍
外部入力音声設定
ステレオ、二ヶ国語
オートチャプター設定
しない、10 分、15 分、30 分
録画先自動切換
自動（BD 優先）、常時両方、しない
ディスク保護
保護する、保護解除
BD 初期化
する、しない
ファミリンク設定（▶207 ～ 209、216 ページ）
ファミリンク制御（連動）
する、しない
連動起動設定
する、しない
録画機器選択
入力 1、入力 1（サブ）、入力 2、入力 2（サブ）、入力 3、入力 3（サブ）
ジャンル連動 ※16
する、しない
選局キー
入力 1
する、しない
入力 2
する、しない
入力 3
する、しない
外部端子設定
ヘッドホン
モード 1、モード 2（▶125 ページ）
モニター音声出力（▶196 ページ）
モニター音声出力（固定）
する、しない
モニター音声出力（可変 1）
する、しない
モニター音声出力（可変 2）
する、しない
入力
デジタル音声設定 ※8※22
PCM、ビットストリーム（▶195 ページ）
入力スキップ（▶190 ページ）
入力選択 ※32※33
（選択入力で内容変化）自動、D 端子、ビデオ映像、S 端子
入力表示 ※33※34（▶191 ページ）
（選択入力で内容変化）ユーザー設定：編集
入力 1（HDMI）
する、しない
入力 2（HDMI）
する、しない
入力 3（HDMI）
する、しない
入力 7（PC）
する、しない
IrSS
する、しない
ホームネットワーク
する、しない
地上デジタル（本体）
する、しない
BS デジタル（本体）
する、しない
CS デジタル（本体）
する、しない
地上アナログ（本体）
する、しない
IrSS 自動切換 ※21
する、しない（▶289 ～ 291 ページ）
番組表設定 ※28※37（▶96 ～ 98 ページ）
番組表取得
する、しない
表示方式
モード 1、モード 2
表示順
モード 1、モード 2
ジャンルアイコン設定
（各ジャンル）標準、薄く、注目
ジャンルおすすめ設定
する、しない
ジャンルおすすめリセット
する、しない
画面表示設定
文字サイズ
標準、大きな文字（▶121 ページ）
Language（言語）※37
日本語、English（▶355 ページ）
表示色 ※37
グレー系、ブルー系、レッド系、グリーン系（▶122 ページ）
選局効果
する、しない（▶107 ページ）
字幕表示 ※8※22
する、しない（▶103 ページ）
番組名表示 ※22
する、しない（▶104 ページ）
映像反転
しない、左右反転（▶122 ページ）
画面位置 ※21
水平位置 ※11、垂直位置 ※11、リセット（▶108 ページ）
オートワイド ※12※21※25（▶110 ページ）
映像判別
する、しない
S2 対応 ※13
する、しない
D 端子識別 ※14
する、しない
お知らせ（▶316ページ）
受信機レポート
放送局メッセージ
ボード（CS デジタル）※21※25※37
CS1、CS2（▶39 ページ）
B-CAS カード
実行
システム動作テスト
テスト実行（▶234 ページ）

ツール

- AV ポジション(画質切換) ※39：ぴったりセレクト、標準、映画、映画(リビング)、ゲーム、AV メモリー、フォト、ダイナミック、ダイナミック(固定)(▶**112** ページ) ※20(映画、映画(リビング)、ゲーム)
- 映像調整(▶**114** ページ)※1※39
  - 明るさセンサー ※2※30：切、入、入：表示あり
  - 明るさ ※2※38：-16 ～標準～ +16 (-5、5)
  - 映像 ※2※38：0 ～ +40 (-10、10)
  - 黒レベル ※2※38：-30 ～ 0 ～ +30 (-10、10)
  - 色の濃さ ※2※38：-30 ～ 0 ～ +30 (-10、10)
  - 色あい ※2※3※38：-30 ～ 0 ～ +30 (-10、10)
  - 画質 ※2※20※38：-10 ～ +10 (-5、5)
  - 肌色補正 ※2
    - 色相：-30 ～ 0 ～ +30
    - 彩度：-30 ～ 0 ～ +30
    - 明度：-30 ～ 0 ～ +30
    - リセット
  - プロ設定 ※2
    - カラーマネージメント-色相
    - カラーマネージメント-彩度
    - カラーマネージメント-明度
      - R：-30 ～ 0 ～ +30
      - Y：-30 ～ 0 ～ +30
      - G：-30 ～ 0 ～ +30
      - C：-30 ～ 0 ～ +30
      - B：-30 ～ 0 ～ +30
      - M：-30 ～ 0 ～ +30
      - リセット
    - 色温度 ※30
      - 高／高－中／中／中－低／低
        - Rゲイン(低)：-30～0～+30
        - Gゲイン(低)：-30～0～+30
        - Bゲイン(低)：-30～0～+30
        - Rゲイン(高)：-30～0～+30
        - Gゲイン(高)：-30～0～+30
        - Bゲイン(高)：-30～0～+30
        - リセット
    - QS 駆動(120Hz) ※20：アドバンス(強)、アドバンス(標準)、スタンダード、しない
    - アクティブコントラスト ※20※30：する、しない
    - ガンマ設定：-2 ～ 0 ～ +2
    - I/P 設定 ※4※20※30：動画より、静止画より
    - フィルムモード ※5※20※30：アドバンス(強)、アドバンス(標準)、スタンダード、しない
    - デジタル NR ※20※27※30：しない、強、中、弱、アクティブ
    - 3次元設定 ※6※30：標準、動画より、静止画より
    - モノクロ ※30：する、しない
    - 明るさセンサー設定 ※30：最大値設定：-16 ～ 0 ～ +16 / 最小値設定：-16 ～ 0 ～ +16
  - リセット ※2：する、しない
- 音声調整 (▶**117** ページ)
  - オートボリューム ※1※2※7※23※26※30：強、中、弱、切
  - 高音 ※1※2※7※26：-15 ～ 0 ～ +15
  - 低音 ※1※2※7※26：-15 ～ 0 ～ +15
  - バランス ※1※2※7※26：左 30 ～中央～右 30
  - サラウンド ※1※2※7※26※30：切、入
  - 音質補正 ※1※2※7※26※30：モード1、モード2、モード3
  - リセット ※1※2※7※26：する、しない
  - 声の聞きやすさ ※7※26：モード1、モード2、モード3、しない
- 番組情報(▶**86** ページ) ※22
- 画面サイズ ※39：※33(ノーマル、シネマ、フル、フル1、フル2、Dot by Dot、アンダースキャン)
- 3桁入力 (▶**88** ページ)
- テレビ / データ / ポータル (▶**79** ページ)
- VOD (▶**275** ページ)
- BD 状態 (▶**148** ページ)
- ディスク取り出し(▶**132** ページ)
- 画面表示設定 (▶**103**、**104**、**107**、**108**、**111**、**121**、**122**、**203**、**355** ページ)
- リンク操作 (▶**209** ～ **216** ページ)
- タイマー機能 (▶**221** ページ)
  - オフタイマー：残り XX 時間 XX 分、0時間 30 分、1時間 00 分、1時間 30 分、2時間 00 分、2時間 30 分、切
  - オンタイマー ※18
    - オンタイマー：切、入
    - 曜日：毎日、毎週日曜～毎週土曜、月－土、月－金
    - オン時刻(時)：オンタイマー時刻設定　時
    - オン時刻(分)：オンタイマー時刻設定　分
    - オン入力 ※19：テレビ、入力 1 ～入力 7、ディスク
    - オン CH
    - 音量：0 ～ 60
- お知らせ(受信機レポート) (▶**316** ページ)

リンク操作(▶209～216ページ)

- レコーダー電源入／切
- 録画リストから再生
- スタートメニュー表示
- 機器のメディア切換
- リンク予約(録画予約)
- 音声出力機器切換：AQUOS オーディオで聞く、AQUOS で聞く
- サウンドモード切換 ※16
- 操作機器の選択
- ファミリンク設定
  - ファミリンク制御(連動)：する、しない
  - 連動起動設定：する、しない
  - 録画機器選択：入力1、入力1(サブ)、入力2、入力2(サブ)、入力3、入力3(サブ)
  - ジャンル連動 ※16：する、しない
  - 選局キー
    - 入力1：する、しない
    - 入力2：する、しない
    - 入力3：する、しない

リンク予約(▶212ページ)

- レコーダーの番組表を表示

チャンネル(▶85ページ)

次のページに続く

入力１～３／入力７

（記載以外の参照ページについては、
▶ **320～323** ページをご覧ください。）

映像調整(▶114～116ページ)

音声調整 ▶321ページと同じ

安心・省エネ

機能切換

次のページに続く

機能切換（つづき）

- ファミリンク設定（▶207～209、216 ページ）
  - ファミリンク制御（連動）：する、しない
  - 連動起動設定：する、しない
  - 録画機器選択：入力1、入力1（サブ）、入力2、入力2（サブ）、入力3、入力3（サブ）
  - ジャンル連動 ※16：する、しない
  - 選局キー
    - 入力 1：する、しない
    - 入力 2：する、しない
    - 入力 3：する、しない
- 外部端子設定
  - ヘッドホン：モード1、モード2（▶125 ページ）
  - モニター音声出力（▶196 ページ）
    - モニター音声出力（固定）：する、しない
    - モニター音声出力（可変1）：する、しない
    - モニター音声出力（可変2）：する、しない
    - 入力
  - パソコン入力 ※35
    - 入力解像度 ※29：自動、1024×768、1360×768
    - 自動同期調整 ※31：する、しない
    - 画面調整 ※31：水平位置、垂直位置、クロック周波数、クロック位相、リセット
    - 入力音声選択 ※33※35：HDMI のみ、HDMI+ 音声入力端子、アナログ RGB のみ、アナログ RGB+ 音声入力端子
  - 入力スキップ（▶190 ページ）
    - 入力 1（HDMI）：する、しない
    - 入力 2（HDMI）：する、しない
    - 入力 3（HDMI）：する、しない
    - 入力 7（PC）：する、しない
    - IrSS：する、しない
    - ホームネットワーク：する、しない
    - 地上デジタル（本体）：する、しない
    - BS デジタル（本体）：する、しない
    - CS デジタル（本体）：する、しない
    - 地上アナログ（本体）：する、しない
  - 入力表示（▶191 ページ）：（選択入力で内容変化）ユーザー設定：編集
- IrSS 自動切換：する、しない（▶289～291 ページ）
- 画面表示設定
  - 文字サイズ：標準、大きな文字（▶121 ページ）
  - Language（言語）※37：日本語、English（▶355 ページ）
  - 表示色 ※37：グレー系、ブルー系、レッド系、グリーン系（▶122 ページ）
  - 選局効果：する、しない（▶107 ページ）
  - 映像反転：しない、左右反転（▶122 ページ）
  - 画面位置 ※36：水平位置 ※11、垂直位置 ※11、リセット（▶108 ページ）
  - オートワイド ※36（▶110 ページ）
    - 映像判別：する、しない
    - HDMI 識別：する、しない

お知らせ（▶316ページ）

- 受信機レポート
- 放送局メッセージ
- ボード（CS デジタル）※37：CS1、CS2（▶39 ページ）
- B-CAS カード：実行
- システム動作テスト：テスト実行（▶234 ページ）

リンク操作 ▶**323**ページと同じ

番組表(予約) ▶**323**ページと同じ

おしらせ

※ 1 AVポジションごとに設定できます。また、AVポジションごとに工場出荷時の設定が異なります。
※ 2 AVポジションが「ダイナミック(固定)」になっているときは設定できません。
※ 3 「プロ設定」の「モノクロ」が「する」に設定されているときは選択できません。
※ 4 プログレッシブ信号入力時には選択できません。またPC信号入力時も選択できません。
※ 5 AVポジションが「ゲーム」のときは選択できません。
※ 6 アナログ放送視聴時またはビデオ映像端子から入力された映像を表示しているときに選択できます。
※ 7 「ヘッドホン」が「モード1」でヘッドホンが挿入されているとき、または「モニター音声出力」が「モニター音声出力(可変1)」に設定されているときは選択できません。
※ 8 予約録画実行中は選択できません。
※ 9 テレビ視聴時のみ表示されます。
※ 10 アナログ放送視聴時は選択できません。
※ 11 設定の範囲は、入力、信号、画面サイズによって異なります。
※ 12 デジタル放送視聴時には選択できません。
※ 13 入力6選択時のみ表示されます。
※ 14 入力4・5選択時のみ表示されます。
※ 15 時刻が自動設定されている場合は選択できません。
※ 16 ファミリンク対応のAQUOSオーディオが接続されていないときは選択できません。
※ 17 入力1～7のときのみ選択できます。
※ 18 時刻が設定されている必要があります。
※ 19 「モニター音声出力」が「入力」以外のとき、「入力6」はスキップされます。
※ 20 ホームネットワーク、IrSS選択時は表示されません。または選択できません。
※ 21 インターネット、ホームネットワーク、IrSS選択時は表示されません。または選択できません。
※ 22 テレビ視聴時、ディスク再生時またはIPTV視聴時に表示されます。
※ 23 「声の聞きやすさ」が「しない」のときのみ選択できます。
※ 24 IPTV視聴時のみ選択できます。
※ 25 IPTV視聴時は選択できません。
※ 26 IrSS選択時は表示されません。または、選択できません。
※ 27 PC入力時、AVポジションが「PC」のときは選べません。
※ 28 入力4～6選択時は選べません。
※ 29 入力7選択時で入力信号の解像度が1024×768または1360×768のときに選択できます。
※ 30 AVポジションが「ぴったりセレクト」のときは選べません。
※ 31 入力7のときのみ変更可能です。
※ 32 入力4～6選択時のみ表示されます。
※ 33 現在選択されている入力により、表示項目が異なります。
※ 34 入力1～7選択時のみ表示され、それぞれで設定できます。
※ 35 入力2または入力7選択時に表示されます。
※ 36 入力1～3選択時のみ表示されます。
※ 37 ディスク再生中は表示されません。
※ 38 AVポジションが「ぴったりセレクト」のときは可変範囲が変わります。
※ 39 「テレビ+インターネット」のときは選択できません。

- 条件によりメニュー項目に⃠マークがつき、灰色で表示される場合がありますが、その項目は選択することができません。
- テレビ、入力4～6選択時のメニュー項目一覧については、▶**320～323**ページをご覧ください。

おもな仕様について

品名		液晶カラーテレビ		
形名		LC-52DX2	LC-46DX2	LC-40DX2
液晶パネル	表示サイズ	52V型 （横1152mm× 縦648mm／ 対角1322mm）	46V型 （横1018mm× 縦573mm／ 対角1168mm）	40V型 （横886mm× 縦498mm／ 対角1016mm）
	駆動方式	TFT（薄膜トランジスタ）アクティブマトリクス駆動方式		
	画素数	1,920（水平）×1,080（垂直）画素		
アンテナ入力		VHF/UHF 75Ω不平衡型（地上デジタル入力共用）、BS-IF 75Ω不平衡型		
スピーカー		6.5cm 丸型2個		
音声実用最大出力（JEITA）		総合20W（10W+10W）		
使用電源		AC100V・50/60Hz		
消費電力		303W（待機時電力： 0.1W、クイック起動 「する」時電力：37W）※1	267W（待機時電力： 0.1W、クイック起動 「する」時電力：37W）※1	235W（待機時電力： 0.1W、クイック起動 「する」時電力：37W）※1
年間消費電力量		• 区分名：BJJ • 受信機型サイズ：52V • 年間消費電力量： 227kWh／年 [標準時※2]	• 区分名：BJJ • 受信機型サイズ：46V • 年間消費電力量： 202kWh／年※1 [標準時※2]	• 区分名：BJJ • 受信機型サイズ：40V • 年間消費電力量： 168kWh／年※1 [標準時※2]
接続端子		HDMI入力3系統3端子、D5映像入力2系統2端子、S2映像入力1系統1端子、ビデオ入力3系統3端子（入力6はモニター音声出力兼用）、モニター音声出力1系統1端子（入力6兼用）、アナログRGB（PC入力）端子、音声入力端子（入力7／入力2用）、デジタル音声出力（光）1系統1端子、アンテナ入力地上デジタル／地上アナログ（VHF・UHF）端子、アンテナ入力BS・110度CS端子、ヘッドホン接続端子、AC入力端子、コントロール（RS-232C）端子、電話回線端子、LAN2系統2端子（10BASE-T/100BASE-TX、LAN/BD-LIVE専用）		
受信チャンネル		地上アナログVHF1～12ch・UHF13～62ch、CATV13～63ch、BSデジタル001～999ch、110度CSデジタル000～999ch、地上デジタル（ワンセグを除く）011～528ch（CATVパススルー対応）		
BS・110度CSチャンネル受信仕様	変調	時分割多重mPSK		
	トランスポート	MPEG2 システム		
	映像	MPEG2（MP@HL）		
	音声	MPEG2 AAC		
	限定受信システム	ARIB CASシステム		
	受信周波数帯域	11.71GHz～12.75GHz		
	IRD受信周波数帯域	1032MHz～2071MHz		
地上デジタルチャンネル受信仕様	変調	直交周波数分割多重（OFDM）		
	トランスポート	MPEG2 システム		
	映像	MPEG2（MP@HL）		
	音声	MPEG2 AAC		
	限定受信システム	ARIB CASシステム		
	受信周波数帯域	93MHz～767MHz		
	CATVパススルー対応	UHF帯、ミッドバンド（MID）帯、スーパーハイバンド（SHB）帯、VHF帯		

区分	項目			仕様		
記録	録画可能ディスク※4			BD-RE Ver.2.1(SL/1層、DL/2層)、 BD-R Ver.1.1(SL/1層、DL/2層)、 BD-R Ver.1.2(SL/1層、DL/2層)、 BD-R Ver.1.2 LTH、BD-R Ver.1.3※7		
	デジタル放送	標準(DR)	BS/CSハイビジョン画質	約2時間10分(25GB時)、約4時間20分(2層50GB時)		
			地上Dハイビジョン画質	約3時間(25GB時)、約6時間(2層50GB時)		
			標準画質	約4時間20分(25GB時)、約8時間40分(2層50GB時)		
		2倍		約4時間20分(25GB時)、約8時間40分(2層50GB時)		
		3倍		約6時間30分(25GB時)、約13時間(2層50GB時)		
		5倍		約10時間50分(25GB時)、約21時間40分(2層50GB時)		
		7倍		約15時間10分(25GB時)、約30時間20分(2層50GB時)		
	アナログ放送	標準(SP)		約8時間40分(25GB時)、約17時間20分(2層50GB時)		
		長時間(LP)		約16時間10分(25GB時)、約32時間30分(2層50GB時)		
	連続可能録画時間			最大12時間		
	記録方式	映像		MPEG2、MPEG4 AVC/H.264		
		音声		MPEG2 AAC		
再生	再生可能ディスク			BD-RE Ver.2.1※4(SL/1層、DL/2層)、 BD-R Ver.1.1(SL/1層、DL/2層)、 BD-R Ver.1.2(SL/1層、DL/2層)、 BD-R Ver.1.3(1層、2層)、BD-R Ver.1.2 LTH、 BDビデオ(1層、2層)、DVDビデオ(1層、2層)、 DVD-RW(1層)※5、DVD-R(1層、2層)※5、DVD+RW(1層)※6、 DVD+R(1層、2層)※6 DVD-RAM(カートリッジから取り出せるもの)、 音楽CD、CD-R (音楽CDフォーマット)、CD-RW (音楽CDフォーマット)		
タイマー		予約番組数(最大)		16番組		
外形寸法		ディスプレイ部のみ		幅1262× 奥行130× 高さ830(mm)	幅1122× 奥行130× 高さ753(mm)	幅992× 奥行129× 高さ646(mm)
		スタンド装着時		幅1262× 奥行328× 高さ882(mm)	幅1122× 奥行328× 高さ805(mm)	幅992× 奥行293× 高さ685(mm)
本体質量		ディスプレイ部のみ		約27.0kg	約23.0kg	約19.0kg
		スタンド装着時		約32.0kg	約27.5kg	約22.0kg
使用温度				5℃～35℃		

■ 製品改良のため仕様の一部を予告なく変更することがあります。
■ 液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素があります。0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが故障ではありません。
■ JIS C 61000-3-2適合品
JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部：限度値－高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
■ 年間消費電力量とは：省エネ法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間(4.5時間)を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。
■ 年間消費電力量の区分名とは、「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」では、テレビに使用される表示素子、アスペクト比、画素数、受信可能な放送形態及び付加機能の有無等に基づいた区分を行なっている。その区分名称を言う。
※1 ブルーレイディスク未挿入時。
※2 一般的にご家庭で使用する際のメーカー推奨の映像モード。(本機では、AVポジション「標準」の場合です。)
※3 録画可能時間は目安です。テレビ画面に表示される「残時間」は、きめ細かいシーンの多い映像や動きの多い映像など(ビットレートの高い映像)が録画できる時間の目安です。
実際の録画可能時間は、放送内容によってはテレビ画面に表示される「残時間」よりも長く録画することができます。
※4 BD-RE Ver.1.0は本機では使用できません。
BD-RE Ver.2.1でも、カートリッジタイプのディスクは使用できません。
※5 ファイナライズ済ディスクのみ再生できます。
※6 ビデオフォーマットのファイナライズ済ディスクのみ再生できます。
※7 BD-R Ver.1.3 LTHディスクは、本機ではご使用になれません。

保証とアフターサービス

よくお読みください

保証書(別添)

■ 保証書は、「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

■ **保証期間**
お買いあげの日から1年間です。
保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
※本機を分解すると、保証が無効になります。

使い方や修理のご相談など

■ 修理・使い方・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、及び万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にお問い合わせください。

【お客様相談センター】

携帯・PHS OK **0120 - 001 - 251**
携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

※詳細は、取扱説明書の裏表紙をご確認ください。

補修用性能部品の保有期間

■ 当社は、液晶カラーテレビの補修用性能部品を、製品の製造打切後、8年保有しています。
■ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは　出張修理

■「故障かな？と思ったら／エラーメッセージが出たら」（▶ **296** ページ）を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

- 品　　名 ：液晶カラーテレビ
- 形　　名 ：LC-52DX2／LC-46DX2／LC-40DX2
- お買いあげ日(年月日)
- 故障の状況(できるだけくわしく)
- ご　住　所
(付近の目印もあわせてお知らせください)
- お　名　前
- 電話番号
- ご訪問希望日

便利メモ

お客様へ…お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年　月　日	電話（　　）　—

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

愛情点検

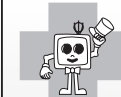
●長年ご使用のテレビの点検をぜひ！（熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。）

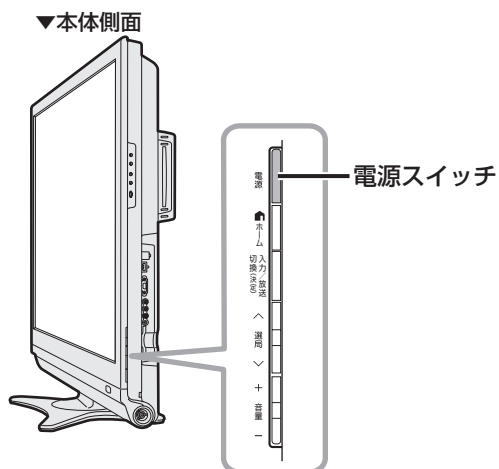
このような症状はありませんか

- ●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- ●上下、または左右の映像が欠けて映る。
- ●映像が時々、消えることがある。
- ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- ●内部に水や異物が入った。

▶ **ご使用中止**

故障や事故防止のため、スイッチを切りコンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

本機の操作ができなくなったときは

- 強い外来ノイズ（過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など）を受けた場合や誤った操作をした場合などに、本機が操作できないなどの異常が発生することがあります。
  このときは、本体の電源スイッチを押して、一旦電源を切ったあと、再度電源を入れてから、操作をやり直してください。
  電源を入れ直してもまだ操作できないときは、本体の電源スイッチを 5 秒以上押し続けてください。本機の電源がいったん切れますので、約 1 分待ってから電源スイッチを押して電源を入れたあと、再び操作をやりなおしてください。この操作をしてもチャンネル設定やメニュー、予約などの設定項目は保持されます。

- 再度電源を入れた直後はデータ取り込みのため、画面表示には多少時間がかかります。

本機で使えるディスクについて

本機で再生できるディスク

ディスクの種類	再生できる条件	ディスクの大きさ	録画方式（フォーマット）	再生できる内容
Blu-ray Disc BD-Video BDビデオ	リージョンコードⒶまたは、Ⓐを含む意味のもの 1層／2層	12cm盤	BDMVフォーマット	音声+映像（動画）
BD-RE	Ver. 2.1、SL（1層）／DL（2層）	12cm盤	BDAVフォーマット	音声+映像（動画）
BD-R	Ver. 1.1、SL（1層）／DL（2層） Ver. 1.2、SL（1層）／DL（2層） Ver. 1.2、LTH TYPE Ver. 1.3※1、SL（1層）／DL（2層）	12cm盤	BDAVフォーマット	音声+映像（動画）
DVDビデオ	リージョンコード ALL または 2 の含まれるディスク1層／2層	12cm盤 8cm盤	ビデオフォーマット	音声+映像（動画）
DVD-RW　DVD-R　DVD-R DL（2層）		12cm盤 8cm盤	VRフォーマット ビデオフォーマット （ファイナライズ済ディスク） AVCHDフォーマット※3	音声+映像（動画）
			写真フォーマット	JPEGファイル※2
DVD+RW, DVD+R, DVD+R DL（2層）		12cm盤 8cm盤	ビデオフォーマット （ファイナライズ済ディスク）	音声+映像（動画）
DVD-RAM	カートリッジからディスクを取り出せるタイプ	12cm盤 8cm盤	VRフォーマット AVCHDフォーマット※3	音声+映像（動画）
音楽用CD　CD-R　CD-RW		12cm盤 8cm盤	音楽用CDフォーマット	音声
			JPEGファイルを記録したディスク	JPEGファイル

• HDV 方式のディスクは、再生できない場合があります。
※1 BD-R Ver.1.3 LTH ディスクは、本機ではご使用になれません。
※2 DVD-RW に JPEG ファイルを記録できるシャープ製レコーダーで記録されたもの。
※3 ビデオカメラで撮影された、8cm 盤ディスクのみ対応。

本機で再生できないディスク

• 本機で再生できるディスクでも、次のような場合はまったく再生できないか、正常な再生ができないことがあります。

BD ビデオ	• リージョンコード「A」以外のディスク（正式な販売地域以外のディスク） リージョンコードの記載がないディスクは、NTSC 方式のディスクであれば再生できることもあります。 • PAL 方式、SECAM 方式のディスク
BD-RE BD-R	• BD-RE Ver.1.0 は本機で再生できません。 • カートリッジタイプのディスクは再生できません。

DVD ビデオ	• リージョンコード「ALL」、「2」が含まれていないディスク（正式な販売地域以外のディスク） • PAL 方式、SECAM 方式のディスク（海外で製造されたディスク） • 無許諾のディスク（海賊版のディスク） • 業務用のディスク

DVD-RW DVD+RW DVD-RAM DVD-R DVD+R	• データが記録されていないディスク • 記録に使用したレコーダーによっては、再生できません。 • ファイナライズされていないディスク **次のディスクは再生できない場合があります。** • DVD-R（VR フォーマット）ディスク • DVD-R DL（2 層）ディスク • DVD+R DL（2 層）ディスク
HD DVD	• HD DVD 方式のディスクは再生できません。
音楽用 CD	• 著作権保護を目的とした信号（コピーコントロール信号）の入った CD は再生できない場合があります。 • DTS 音声とリニア PCM 音声が混在しているディスクは再生できません。 **本製品は、CD（コンパクトディスク）規格に準拠した音楽用 CD の再生を前提として設計されています。**

CD-R CD-RW	• データが記録されていないディスク • ファイナライズされていないディスク • 音楽フォーマット、JPEG ファイル以外のフォーマットで記録されたディスク • 音楽や映画などと静止画（JPEG ファイル）が混在したディスクは、静止画（JPEG ファイル）を再生できません。または、ディスクによってはまったく再生できません。 • ディスクの記録状態／ディスク自体の状態によっては、再生できません。 • ディスクと本機の相性、または記録に使用したレコーダーによっては再生できません。
ビデオ CD	• ビデオ CD は本機で再生できません。
DTS CD	• リニア PCM 音声のトラックが混在するなど、一部のディスクによっては、正常に再生できないことがあります。

本機で録画できるディスク

• 本機で録画に使用できるディスクは、BD-RE Ver. 2.1 ディスク、BD-R Ver.1.1 ディスク、BD-R Ver.1.2 ディスク、BD-R Ver.1.2 LTH ディスク、BD-R Ver.1.3 ディスクです。
• 必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをご使用ください。

ディスクの種類 / ディスクの特長		Blu-ray Disc BD-RE（12cm 盤）※1	Blu-ray Disc BD-R（12cm 盤）※1
ディスクのバージョン		Ver.2.1（SL/1 層および DL/2 層）	Ver.1.1（SL/1 層および DL/2 層），Ver.1.2（SL/1 層および DL/2 層）Ver.1.2 LTH、Ver.1.3※4
繰り返し録画		○	×
追加録画		○	
放送を録画	録画可能の番組の録画	○	
	ダビング 10※3 の番組の録画	○	
	1 回だけ録画可能の番組の録画	○	
	録画禁止の番組の録画	×	
新品のディスクを使うとき		初期化が必要です。（自動で初期化されます。）	
再初期化		○	×
他の機器で録画したディスクを再生する		○※2	

上記ロゴマークがディスクレーベル面に入った、JIS 規格に合格したディスクをご使用ください。
規格外のディスクを使用された場合には、再生の保証はいたしかねます。また、再生できても、画質・音質の保証はいたしかねます。

※ 1 8cm 盤の BD-RE/BD-R は録画に使えません。
※ 2 BD-RE Ver.1.0（カートリッジ入り）は、本機で再生できません。また、本機に挿入することもできません。
※ 3 ダビング 10 の番組は BD に録画すると、「1 回だけ録画可能」の番組として録画されます。オリジナルの映像は他の機器へダビングできません。
※ 4 BD-R Ver.1.3 LTH ディスクは、本機ではご使用になれません。

次のページに続く

推奨ディスク

- 必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをご使用ください。
- ディスクによっては本機との相性により、性能を十分に発揮できない（使用できない）場合がありますので、弊社で確認済みの下記メーカー製ディスクの使用をおすすめします。

BD-RE（Ver.2.1/1x-2x）に準拠したディスク

ディスクのバージョン	メーカー			
Ver.2.1（1 層）	TDK	パナソニック	ソニー	三菱化学メディア
Ver.2.1（2 層）	TDK			

BD-R（Ver.1.1/1x-2x、Ver.1.2/1x-4x、LTH）に準拠したディスク

ディスクのバージョン	メーカー			
Ver.1.1	TDK	パナソニック	ソニー	三菱化学メディア
Ver.1.2	TDK	パナソニック	ソニー	三菱化学メディア
Ver.1.2 LTH	太陽誘電（That' s）			
Ver.1.3※	TDK	パナソニック	ソニー	

※ Ver.1.3 LTH TYPE のディスクは、本機ではご使用になれません。

DVD ディスクの再生について

- 録画した機器でのファイナライズ処理が必要です。
- 他機で DVD-RW（CPRM 対応）に録画した「1 回だけ録画可能」の番組も再生できます。
- 他機で DVD-R（CPRM 対応）に録画した「1 回だけ録画可能」の番組も再生できます。（再生できない場合もあります。）
- 他機で録画した DVD-R DL（2 層）ディスクは、記録状態によっては再生できない場合があります。

本機で記録した BD ディスクが再生可能な BD レコーダー／ BD プレーヤーについて

- ▶ **133** ページをご覧ください。

本機で録画・再生できないディスク

- 次のディスクは、本機で録画・再生はできません。再生できても正常に再生されないことがあります。誤って再生すると、大音量によってスピーカーを破損する原因となる場合がありますので、絶対に再生しないでください。

BD-RE Ver.1.0、CDG※、フォトCD、CD-ROM、CD-TEXT※、CD-EXTRA※、VCD、SVCD、SACD、PD、CDV、CVD、DVD-ROM、DVD オーディオ、その他、特殊な形のディスク（♡ハート型や⬡六角形のディスクなど）、HD DVD

※ 音声のみ再生できます。

本機で使用している特許など

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報

ソフトウェア構成
本機に組み込まれているソフトウェアは、それぞれ当社または第三者の著作権が存在する、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成されています。

当社開発ソフトウェアとフリーソフトウェア
本機のソフトウェアコンポーネントのうち、当社が開発または作成したソフトウェアおよび付帯するドキュメント類には当社の著作権が存在し、著作権法、国際条約およびその他の関連する法律によって保護されています。
また本機は、第三者が著作権を所有しフリーソフトウェアとして配布されているソフトウェアコンポーネントを使用しています。それらの一部には、GNU General Public License（以下、GPL）、GNU Lesser General Public License（以下、LGPL）、またはその他のライセンス契約の適用を受けるソフトウェアコンポーネントが含まれています。

ソースコードの入手方法
フリーソフトウェアには、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、そのコンポーネントのソースコードの入手を可能にすることを求めるものがあります。GPLおよびLGPLも、同様の条件を定めています。こうしたフリーソフトウェアのソースコードの入手方法ならびにGPL、LGPLおよびその他のライセンス契約の確認方法については、以下のWEBサイトをご覧ください。
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/source/download/index.html（シャープGPL情報公開サイト）
なお、フリーソフトウェアのソースコードの内容に関するお問合わせはご遠慮ください。
また当社が所有権を持つソフトウェアコンポーネントについては、ソースコードの提供対象ではありません。

謝辞
本機には以下のフリーソフトウェアコンポーネントが組み込まれています。

- linux kernel
- module-init-tools
- uClibc
- glibc
- DirectFB
- OpenSSL
- zlib
- AGG(ver.2.4)
- NTP
- XMLRPC-EPI
- Expat
- DHCPv6
- Simple IPv4 Link-Local address
- dlmalloc
- util-linux

本機で使用しているソフトウェアのライセンス表示

ライセンス表示の義務
本機に組み込まれているソフトウェアコンポーネントには、その著作権者がライセンス表示を義務付けているものがあります。そうしたソフトウェアコンポーネントのライセンス表示を、以下に掲示します。

BSD License

OpenSSL License

SSLeay License

XMLRPC-EPI

Expat

NTP

MP3はFraunhofer IISおよびThomsonからライセンスされたMPEG Layer-3音声コーディング技術です。

次のページに続く

本機は、MPEG2 AACに関する下記番号の特許を使用しています。

特許番号

5,848,391	5,291,557	5,451,954	5,400,433	5,222,189
5,357,594	5,752,225	5,394,473	5,583,962	5,274,740
5,633,981	5,297,236	4,914,701	5,235,671	07/640,550
5,579,430	08/678,666	98/03037	97/02875	97/02874
98/03036	5,227,788	5,285,498	5,481,614	5,592,584
5,781,888	08/039,478	08/211,547	5,703,999	08/557,046
08/894,844	5,299,238	5,299,239	5,299,240	5,197,087
5,490,170	5,264,846	5,268,685	5,375,189	5,581,654
5,548,574	5,717,821			

この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロヴィジョン社の許可が必要です。また、その使用は、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイパービューでの使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することは禁じられています。

この製品では、シャープ株式会社が表示画面で見やすく、読みやすくなるように設計したLCフォント（複製禁止）が搭載されております。LCフォント、LCFONT、エルシーフォント及びLCロゴマークはシャープ株式会社の登録商標です。なお、一部LCフォントでないものも使用しています。

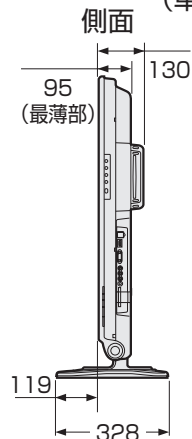
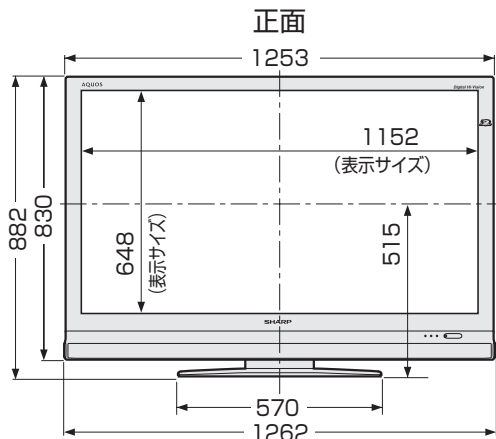
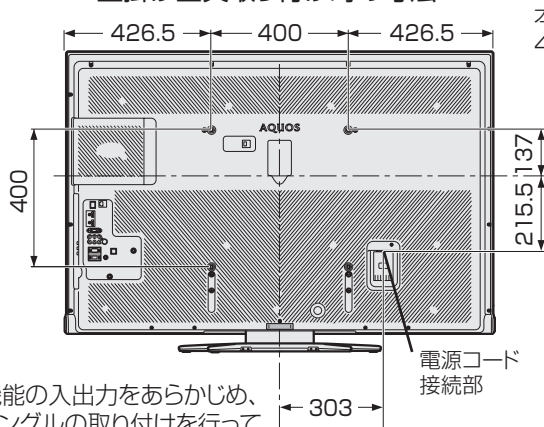
IrSS™またはIrSimpleShot™は、Infrared Data Association®の商標です。

商標・登録商標など

- 本機は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- Dolby、ドルビーおよびダブル D（DD）記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- DTS は、デジタルシアターシステムズ社の登録商標です。
- DTS 2.0 + Digital Out は、デジタルシアターシステムズ社の商標です。
- Manufactured under license under U.S. Patent #'s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,487,535 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS and DTS 2.0 + Digital Out are registered trademarks and the DTS logos and Symbol are trademarks of DTS, Inc. © 1996-2008 DTS, Inc. All Rights Reserved.
- Blu-ray Disc は商標です。
- BD LIVE™は、Blu-ray Disc Association の商標です。
- Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。
- DVDは DVD フォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。
- AVCHD はパナソニック（株）とソニー（株）の商標です。
- BONUS VIEW™ は Blu-ray Disc Association の商標です。

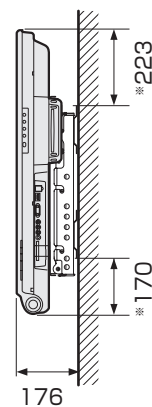
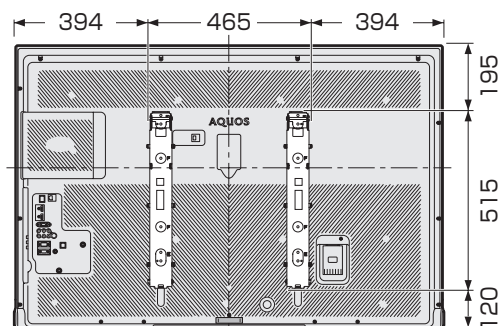
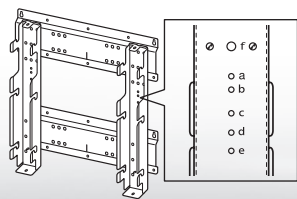
寸法図／壁掛け金具取り付け時の寸法

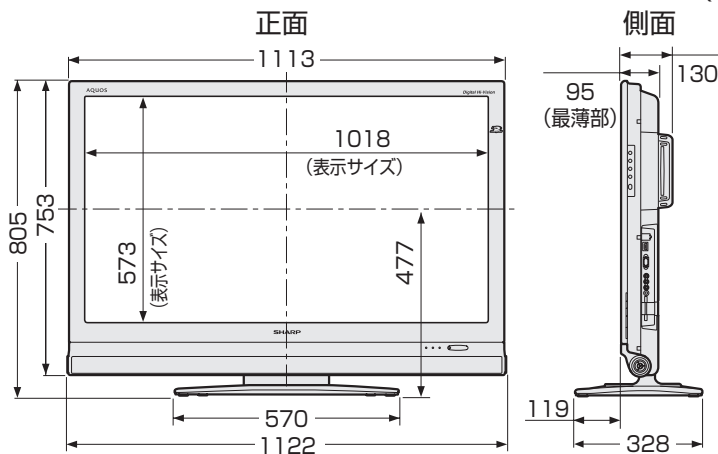
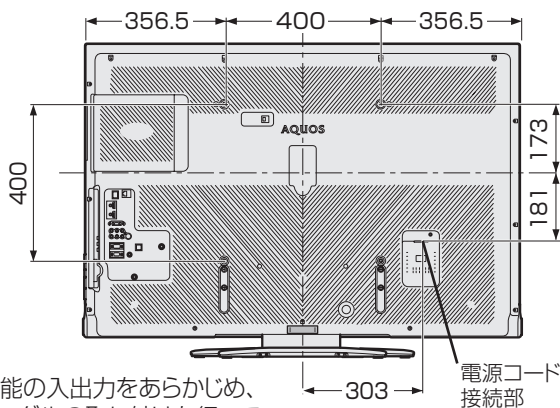
LC-52DX2

（単位：mm）

壁掛け金具取り付け時の寸法

本機の金具取付ピッチは400mmです。

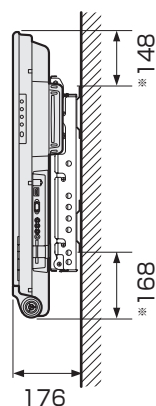
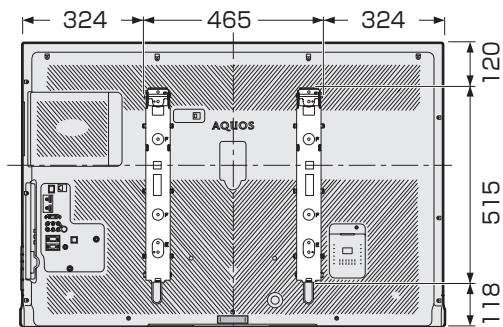
・ご使用になる機能の入出力をあらかじめ、接続してからアングルの取り付けを行ってください。

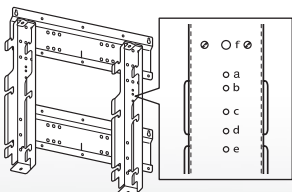
壁掛け金具AN-52AG6使用時

※取付位置を変更することで50mm変動します

壁掛け金具AN-52AG6の壁用金具Bには、画面の中心を示す表示「f」があります。

次のページに続く

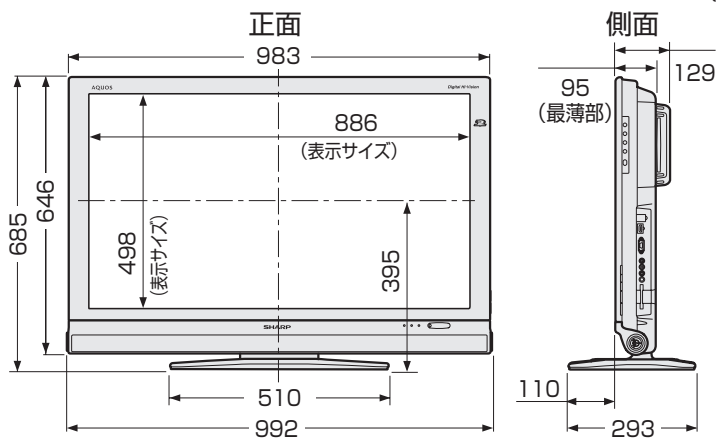
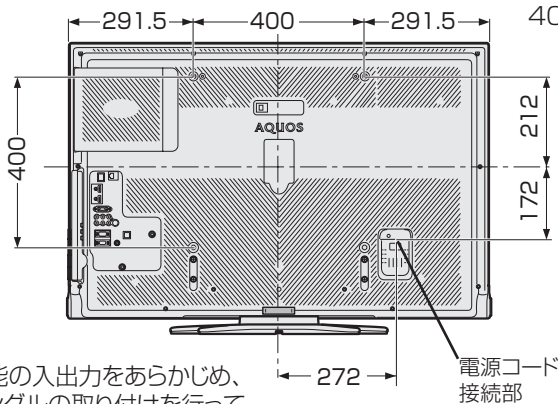
LC-46DX2

（単位：mm）

壁掛け金具取り付け時の寸法

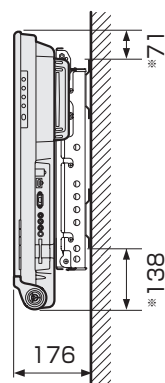
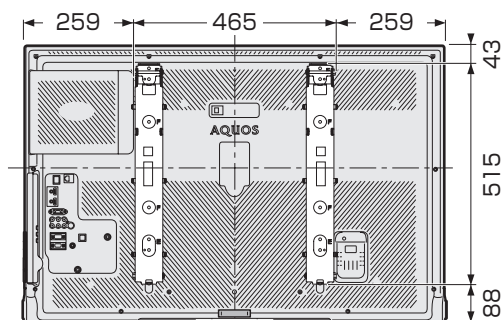
本機の金具取付ピッチは400mmです。

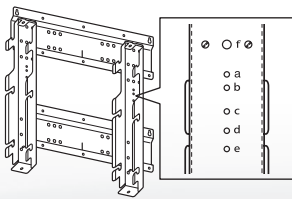
・ご使用になる機能の入出力をあらかじめ、接続してからアングルの取り付けを行ってください。

壁掛け金具AN-52AG6使用時

壁掛け金具AN-52AG6の壁用金具Bには、画面の中心を示す表示「b」があります。

※取付位置を変更することで50mm変動します

LC-40DX2

（単位：mm）

壁掛け金具取り付け時の寸法

本機の金具取付ピッチは400mmです。

・ご使用になる機能の入出力をあらかじめ、接続してからアングルの取り付けを行ってください。

壁掛け金具AN-52AG6使用時

壁掛け金具AN-52AG6の壁用金具Bには、画面の中心を示す表示「d」があります。

※取付位置を変更することで50mm変動します

壁に掛けて設置する

スタンドをはずす

● 別売の壁掛け金具（AN-52AG6）で壁掛け設置する場合などは、付属のスタンドをはずして使用します。スタンドをはずす前に、壁掛け設置に必要な準備を行ってください。（壁掛け設置のしかた（例）▶ **341** ページ）

重 要

- 取付方法など詳しくは、壁掛け金具に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 液晶カラーテレビの設置には、特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付工事業者にご依頼ください。お客さまご自身による工事は一切行わないでください。配線工事についても、壁の厚さや強度を事前に確認ください。
  当社製の専用壁掛け金具以外をご使用された場合や、取付不備、取扱い不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません。

- はずしたスタンドは本機以外に使用しないでください。
- 必ず 2 人以上で作業してください。

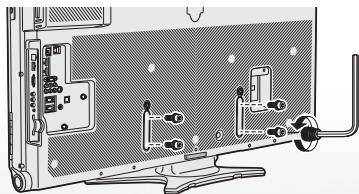
取り付け角度について

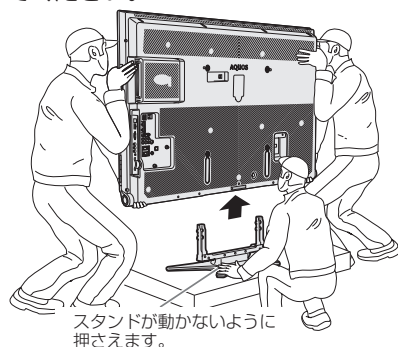
- 傾けて設置しないでください。
  BD ユニットが傾き正常な録画・再生ができません。

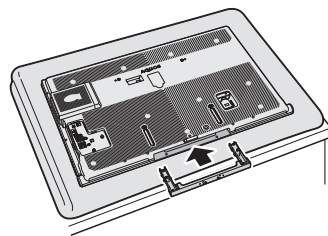
準備する

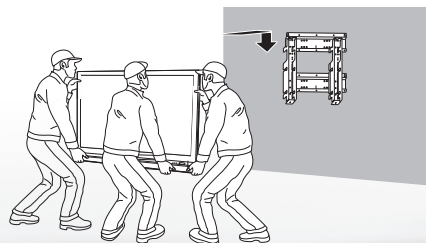
- 本機に接続するケーブルやコードは、確実に取り付けてください。
- 電源プラグは、コンセントから抜いておいてください。また、録画機器などと接続するためのケーブルは、録画機器側をはずしておいてください。
  これらのコードやケーブルは、壁に掛けたあとにつなぎます。
- BD-LIVE 専用 LAN 端子を使用する場合は、事前に LAN ケーブルを接続しておいてください。
- 本体背面のキャップ（4 箇所）を取りはずしておきます。

1 本体取付け用六角ネジ（4 箇所）を取りはずす

- 付属の六角レンチを使います。

2 本機を持ち上げてスタンドから取りはずす

- スタンドを押さえ、液晶テレビを少し後ろに傾けながらはずしてください。
- スピーカーネット部を強く押さないでください。

本体にスタンド金具を取り付ける

- テーブルなどの台の上に毛布などの柔らかい布を敷き、その上に本体を寝かせてください。
- スタンド金具の取り付けかたは、**342** ページをご覧ください。

3 壁掛け金具ユニットを取り付ける

- 角度設定していない状態（0° 設定）で取り付けます。
- 壁掛け金具の取扱説明書に従って、壁掛け設置します。
- 本機はかなりの重量があります。硬い床などに落とさないよう、また足の上に落とさないようご注意ください。

壁掛け設置のしかた（例）

- 本機を別売の壁掛け金具を使って壁掛け設置して使用することができます。スタンドを取り付けている場合は、必ず付属のスタンドをはずしてください。（スタンドをはずす ▶ **340** ページ）

おしらせ

- 壁掛け金具 AN-52AG6 を取り付ける場合は、AN-52AG6 に付属のテレビ取付用ねじⒷ（M6、長さ12mm）をご使用ください。
  壁用金具を壁に取り付ける場合は、市販のねじ（径 6mm）をご使用ください。

1 液晶テレビを設置する壁面のテレビの四隅となる位置にテープなどを貼り、テレビの外形寸法の目印をつける

- 水平・垂直の角度や寸法は正確に測ってください。
- テープ類は跡が残らないものをご使用ください。

2 4 箇所の目印から対角線を引き、その交点（テレビの中心となる位置）に目印を付ける

- 糸を対角線に張り、交点に目印を付けるなど跡が残らないようにします。

3 この目印と壁用金具のディスプレイ中心を示す刻印を合わせ、壁用金具を壁に取り付ける

- 下記および右記の寸法の数値は目安です。作業状態などにより異なってきます。

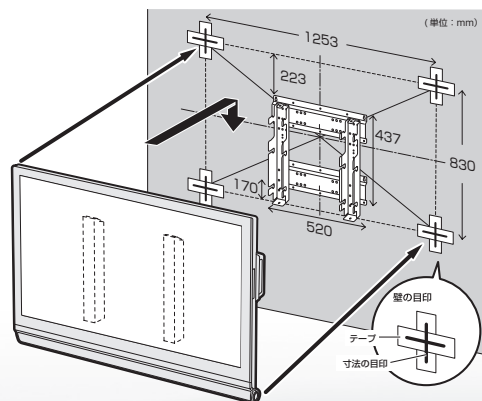
4 ①スタンドをはずす（▶ **340** ページ）
②スタンド金具を取り付ける（▶ **342** ページ）
③壁掛け金具ユニットを液晶テレビに取り付ける
④壁に掛ける

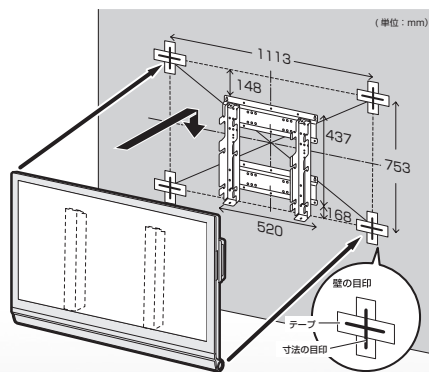
- 壁面の寸法の目印（テレビの四隅）を目安にして取り付けます。

5 目印のテープ類を取り除く

6 本機につないでいるコード、ケーブル類を接続する

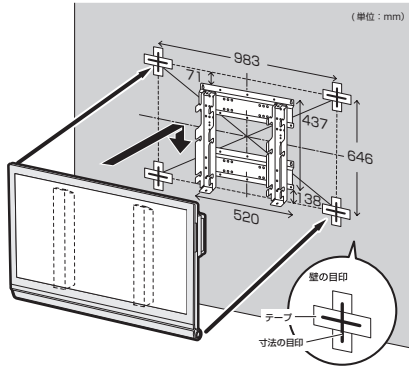
LC-52DX2

壁掛け金具 AN-52AG6 使用時

LC-46DX2

壁掛け金具 AN-52AG6 使用時

次のページに続く

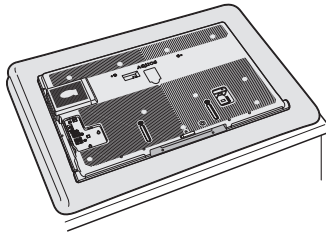
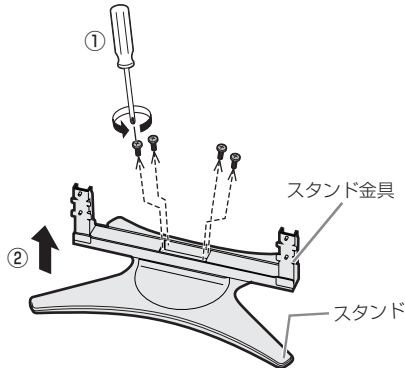
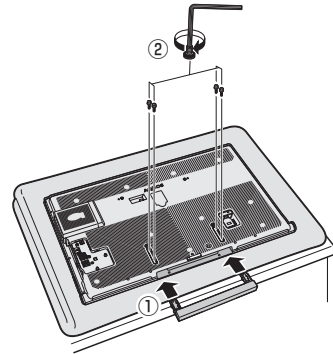
はじめに
準備
番組を見る
BDレコーダー機能で録画・予約録画
BDレコーダー機能で再生
レコーダー・プレーヤー・パソコンなどにつなぐ
ファミリンクで録画・再生
本機の機能の活用
故障かな・仕様・寸法図など
English Guide

LC-40DX2

壁掛け金具 AN-52AG6 使用時

スタンド金具の取り付けかた

● 壁掛け設置をするときは、スタンド金具を本体に取り付けてください。

1 本体を寝かせる

・ テーブルなどの台の上に毛布などの柔らかい布を敷き、その上に本体を寝かせてください。

2 スタンド金具を、スタンドから取りはずす

3 本体にスタンド金具を取り付ける

用語の解説

●1080p、720p、1080i、480p、480i

映像の種類	画質（放送の種類）
1080p	走査線 1125 本（有効走査線 1080 本）、プログレッシブ方式。 デジタルハイビジョンの高画質です。
720p	走査線 750 本(有効走査線 720 本)、プログレッシブ方式。 デジタルハイビジョンの高画質です。
1080i	走査線 1125 本（有効走査線 1080 本）、インターレース方式。 デジタルハイビジョンの高画質です。
480p	走査線 525 本(有効走査線 480 本)、プログレッシブ方式。 デジタルハイビジョンに近い画質です。
480i	走査線 525 本(有効走査線 480 本)、インターレース方式。 地上アナログ放送（VHF/UHF）やBS アナログ放送と同等の画質です。

●1080p(24Hz)
映像信号の方式の1つであり、フィルム映画などは、この方式により毎秒24コマ(24p信号)で撮影されています。

●110度CSデジタル放送
BSデジタル放送の放送衛星(BS)と同じ東経110度に打ち上げられた通信衛星(CS)を利用したデジタル放送です。細かいジャンルに特化した多数の専門チャンネルの中から見たいチャンネルを購入して視聴するしくみになっています。一部、無料放送もあります。

●16:9
デジタルハイビジョン放送の画面縦横比です。従来の4:3映像に比べ、視界の広い臨場感のある映像が楽しめます。

●AAC(Advanced Audio Coding)
デジタル放送は、限られた電波を有効利用するため、映像や音声などを圧縮してから送信されます。
AACはデジタル放送で利用されている音声圧縮方式で、圧縮率が高いにもかかわらず、高音質で多チャンネル音声(5.1チャンネルサラウンドなど)にも対応できる方式です。

●ADSL回線
ブロードバンド回線のひとつで、アナログ固定電話回線の音声通話に使用しない帯域を使った回線です。

●AQUOS.jp
AQUOSのお客様のためのメンバーズサイトです。
AQUOSに関する情報を公開しています。

●AV
Audio Visual（またはAudio Video)の略で、音響と映像に関する技術や製品の総称です。
テレビやレコーダー、オーディオプレイヤーなどをAV機器と呼びます。

●AVCHD
ハイビジョン動画記録フォーマットであり、8cm DVD への記録をH.264/MPEG-4 AVC 方式で行うものです。

●AV-HDDレコーダー
テレビ放送を内蔵のAV-HDD（エーブイ-ハードディスクドライブ)に録画する機器です。
テレビ放送を放送画質のまま、長時間(数十時間)録画することができます。

●B-CASカード(ビーキャスカード)
各ユーザー独自の番号などが記載されている、BS／110度CS／地上デジタル放送視聴用ICカードのことです。B-CASカードを受信機に挿入すると、接続されたデジタル放送の視聴が可能となります。
また、有料放送の視聴を希望される場合は、放送局への申し込みが必要です。詳しくは、それぞれの有料放送を行う放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。

●BD-LIVE(BDライブ)
インターネットに接続したブルーレイディスクプレーヤーを通じて、特典映像などのさまざまな情報をダウンロードできるサービスです。

●BD-R
本機で録画用として使用できるディスクです。一回だけ録画ができる、追記型のブルーレイディスクです。また、BD-R Ver.1.1ディスクおよびBD-R Ver.1.2ディスクにはSL/1層とDL/2層ディスクがあります。
必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをご使用ください。

次のページに続く

●BD-RE
本機で録画用として使用できるディスクです。
繰り返し録画ができる、書き換え型のブルーレイディスクです。録画した番組を消去したり、録画済みのディスクを初期化することで、繰り返し録画ができます。
ディスクのバージョンにはVer.1.0、Ver.2.1があり、本機ではVer.2.1がご使用になれます。また、BD-RE Ver.2.1ディスクにはSL/1層とDL/2層ディスクがあります。
必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをご使用ください。

●BSデジタル放送
2000年12月から本格サービスが開始された衛星放送で、BS（アナログ）放送に比べ、より高画質で多チャンネルの放送を楽しむことができます。さらに、BSデジタル放送では、ニュース・スポーツ・番組案内などの情報提供、オンラインショッピングやクイズ番組への参加が可能なデータ放送など、多彩なサービスを行います。

●BONUS VIEW™（ボーナスビュー）
2画面に対応した副映像、副音声や、字幕が同時に楽しめます。本編再生中の画面に小画面で表示されます。

●CATV（ケーブルテレビ）
ケーブル（有線）テレビ放送のことです。放送サービスが実施されている地域で、ケーブルテレビ局と契約することによって、放送を受信できます。それぞれの地域に密着した情報を発信しているのが特徴です。最近では多数のチャンネルや自主放送を行う都市型のケーブルテレビ局も増えています。本機は「パススルー方式」のCATVに対応しています。

●CATV回線
ブロードバンド回線のひとつで、ケーブルテレビ網を使った回線です。

●Cookie
Webサイトから、ブラウザに対して一時的に書き込まれる情報です。
例えば、買い物ができるWebサイトでは、購入したい商品を選んだときに情報が書き込まれ、選んだ商品を確認するときや、商品の代金を計算するときに利用されます。

●CPRM（Content Protection for Recordable Media）
デジタルメディアに対する著作権保護技術のことです。

●DL
デュアルレイヤーの略で、片面2層ディスクのことです。

●DLNA（Digital Living Network Alliance）
デジタル機器の相互接続を実現させるための標準化活動を推進している団体です。
デジタルAV機器やPCなどがホームネットワーク内で画像や音楽などのデータをやり取りするためのガイドラインを定めています。

●DTS
DTS Inc.社が開発した、劇場向けデジタル音声システムのことです。音声6chを使って、正確な音場定位とリアルな音響効果が得られます。DTS対応プロセッサーやアンプとの接続で映画館のような音声が楽しめます。

●DVI（Digital Visual Interface）
コンピュータとディスプレイを接続するための規格のひとつです。デジタル信号で映像データをやりとりするため、画質の劣化が少なく、高画質な表示ができます。DVI-Iは、デジタル信号に加え、アナログ信号での映像データのやりとりもできます。

●D端子
高画質映像信号用コネクタの通称です。従来、輝度信号（Y）と色差信号（C_B/P_B、C_R/P_R）を3本のケーブルで接続（コンポーネント接続）していたのを1本のケーブルで接続できるようにしたのがD端子ケーブルです。輝度・色差信号のほかにも、映像フォーマットを識別する制御信号を送ることができます。
走査線数と走査方式によってD1 ～ D5の規格があり（本機はD5に対応）、数字が大きいほど、より高画質な映像に対応できます。

●EPG（Electronic Program Guide）
デジタル放送で送られてくる番組情報のデータを使って画面で見られるようにした電子番組表のことです。
本機では、電子番組表から番組を選んで選局や予約録画をすることができます。

●HDMI（High Definition Multimedia Interface）
ハイビジョン映像信号、マルチチャンネルオーディオ信号、双方向伝送対応のコントロール信号を1本のケーブルで接続できるAVインターフェースです。
高精細な映像入力に対応しています。

●HTML
インターネットのページを作るための記述ルールです。この記述ルールをブラウザが読み取って、ページが表示されます。

●IP(Internet Protocol)
インターネットでの通信に関する規約のことです。ネットワークに接続された機器はIPを利用して通信していて、機器ごとにIPアドレス(住所のようなもの)が割り振られています。

●LAN
Local Area Network (ローカル・エリア・ネットワーク)の略で、コンピューター・ネットワークの形式のひとつです。一般家庭や企業のオフィスなど、小さな規模で用いられています。

●MPEG(Moving Picture Experts Group)
デジタル放送の信号は大容量のため、圧縮技術が必要です。MPEGは、デジタル動画圧縮技術の符号化方式の1つです。一般に「エムペグ」と読みます。MPEG2は、「動き補償」「予測符号化」などの技術を使って画像データを圧縮するもので、圧縮レートは画像の内容により可変ですが、だいたい40分の1に圧縮することができます。

●NTSC(National Television System Committee)
日本でも採用している現行のカラーテレビ放送方式の標準規格のことです。現在、日本、アメリカのほか、韓国、カナダ、メキシコなどで採用しています。この規格は、毎秒30フレーム(フィールド周波数60Hz)、有効走査線数480本のインターレース方式です。

●PCM(Pulse Code Modulation)
音楽CDやDVDビデオなどは、音声がデジタルデータで記録されています。音楽CDで利用されているPCMは、音声などを数値に変換してデジタルデータにする方式のひとつです。圧縮を行わないので、原音に近い高品質な音を再現できます。本機とオーディオ機器をデジタル音声(光)端子で接続すると、音声をPCMとAACのどちらで出力するか設定できます。

●S1/S2映像
セパレート(S)映像信号に、画面比率4:3で上下に黒帯のあるワイド映像(レターボックス)や、もと16:9の映像を横方向に圧縮して4:3にした映像(スクイーズ)を自動判別する信号を加えた映像信号のことです。映画サイズの番組やビデオソフトを見るときは、自動的にレターボックスは「シネマ」に、スクイーズは「フル」になります。
セパレート(S)映像信号は、輝度信号と色信号を分離して伝送することで映像の劣化を抑えています。

●SL
シングルレイヤーの略で、片面1層ディスクのことです。

●WAN
Wide Area Network (ワイド・エリア・ネットワーク)の略で、コンピューター・ネットワークの形式のひとつです。広域通信網とも呼ばれ、大きな規模で用いられています。

●Webサイト
サーバーに保存されている、関連したページの集まりのことです。AQUOS.jpもひとつのWebサイトです。

●インターネット
世界中にある小さなコンピューター・ネットワークがお互いにつながりを持つようになってできた、世界規模のネットワークです。

●インターネットサービスプロバイダー
ご家庭のパソコンなどをインターネットに接続するためのサービスを提供している事業者のことです。プロバイダーと呼ばれたり、ISPと表記されることもあります。

●インターレース(飛び越し走査)
NTSC方式のテレビやビデオの画像表示では、480本の有効走査線のうち、まず奇数番めの有効走査線(240本)を1/60秒で描きます(この1画面を1フィールドといいます)。次に偶数番めの有効走査線(240本)を1/60秒で描きます。これで、合わせて有効走査線480本の1枚の完全な画像(フレーム)を作っていく方式です。「480i」「1080i」の「i」はインターレース(interlaced)を表します。

●液晶パネル
液晶を封入したパネルの電極間に電気を流すと、映像として見えるように開発された表示素子です。環境に配慮した低消費電力で動作する利点があります。

次のページに続く

●お知らせ
BS ／ 110度CS ／地上デジタル放送局から視聴者へメッセージを送るサービスです。

●オリジナル／プレイリスト
オリジナル
テレビ放送などを録画した映像（タイトル）を「オリジナル」と呼びます。
プレイリスト
オリジナルのタイトルから、必要なシーンだけをコピーして再生したりできるタイトルのことを「プレイリスト」と呼びます。（本機ではプレイリストは作成できません。）

●キャッシュ
ブラウザが、表示したページのデータを一時的に保管しておくところです。
ページのデータは、インターネットを通じて取り込まれています。いつもインターネットからデータを取り込んで表示させると、常にデータを取り込むための時間がかかってしまいます。このため、保管したデータを再利用し、データを取り込むための時間を節約しています。

●コピーガード（コピー制御信号）
複製防止機能のことです。著作権者などによって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画することができません。

●コンポーネント接続
映像信号を輝度信号（Y）と色差信号（CB/PB、CR/PR）の３つのコンポーネント（構成部分）に分離して伝送する接続方法です。コンポーネント映像端子は３つの端子に分かれているので、接続には３つのプラグに分かれた専用コード（コンポーネントケーブル）を用います。通常の映像端子による接続に比べ、色のキレが良く、チラツキのない画質が得られます。

●コンポジット接続
通常の映像端子（ビデオ端子）を使って映像信号を伝送する接続方法です。映像端子は１つのみで、ふつう黄色で表示されており、形状は音声端子と同じです。コンポジット接続による映像･音声端子の接続では、黄･白･赤の３色に分かれたAVケーブルを使うのが一般的です。

●サーバー
コンピューター･ネットワークでサービスや情報を提供するコンピューターのことです。
インターネットの世界では、Webページのデータを保存しているWWWサーバー、指定したURLがどこにあるかを探すDNSサーバー、企業などの内部ネットワークとインターネットの間で効率よくWebページを表示したり、内部ネットワークを保護したりするプロキシサーバーなど、いろいろなサーバーが無数にあります。

●再生リスト
再生できる番組が一覧で確認できる画面です。

●視聴制限（パレンタルレベル）
デジタル放送やBDビデオ、DVDビデオディスクの中には、視聴者の年齢に合わせて、放送やディスクを見るための規制レベルが設定されているものがあります。そのような放送やディスクを視聴したときの規制レベルを設定することができます。

●スプリッター
ADSL回線でインターネットに接続する際に、インターネット用のデータ信号と電話用の音声信号を分離する機器です。

●セカンダリオーディオ
BDでは、第１音声（主音声、プライマリオーディオ）の他に、特典として第２音声（副音声、セカンダリオーディオ）が収録されているものがあります。BDによっては、インターネットからダウンロードして楽しむことができる場合もあります。

●タイトルとチャプター、ディスク内の構成
BDやDVDディスクに録画されている番組のことを「タイトル（録画した番組）」といいます。
タイトルは、さらに「チャプター（章･区切り）」という単位で構成されています。
タイトルとチャプターを短編小説に例えると、次のような関係になります。
- タイトル ＝ 話
- チャプター ＝ 章
- 再生リスト ＝ もくじ

本機では、お好きな場所にチャプターマークをつけることはできません。

●地上デジタル放送
2003年12月から東京・大阪・名古屋の3大都市圏の一部地域で開始され、2006年12月に全国の都道府県庁所在地で開始されている放送です。ゴーストのない高品質映像、デジタルハイビジョン放送、データ放送や双方向サービス、多チャンネルといった、これまでの地上アナログ放送にはなかった特長をもっています。

●チャプター
ディスクのタイトル中にある章をチャプターといいます。

●つづき再生
ディスクの再生中に一度停止すると、停止した位置を本機が記憶し、停止した位置から続けて再生することができる機能です。

●特徴検索
デジタル放送の番組検索機能です。本機がご用意した検索条件からお好きなものを選択し、条件に当てはまる番組を検索することができます。

●ドルビーデジタル(5.1ch)
ドルビー社が開発した立体音響効果のことをいいます。ドルビーデジタル(5.1ch)対応プロセッサーやアンプとの接続で、映画館のようなディスクの再生音声が楽しめます。

●ハイビジョン放送
デジタルハイビジョンの高画質放送のことです。従来の地上アナログテレビ放送が480本の有効走査線で表示しているのに対し、デジタルハイビジョン放送は720本や1080本の有効走査線を使用しているため、より緻密で高画質な映像を楽しめます。BSデジタル放送では、番組によって「デジタルハイビジョン映像」と「デジタル標準映像」という異なる画質で放送されています。

●ハブ
LANなどのネットワークのケーブルを分けたり、中継したりする機器です。

●光回線
ブロードバンド回線のひとつで、光ファイバー網を使った回線です。
ADSL回線やCATV回線に比べてデータの転送スピードの速さが特長です。

●ビデオフォーマット
DVDの録画方式のひとつです。本機で再生するには、ファイナライズという処理が必要です。

●ファイナライズ
DVD-RW/-Rディスクを、録画に使用した機器以外でも再生できるようにすることです。
本機では、ディスクをファイナライズすることはできません。ファイナライズは録画した機器で行ってください。

●ブックマーク
ページのURLを記憶する機能です。
ブックマークに登録することで、URLを入力したり、何度もリンクをたどったりする必要がなくなります。
「お気に入り」と呼ばれることもあります。

●ブラウザ
インターネットのページを見るためのソフトウェアです。Webブラウザ、インターネットブラウザなどと呼ばれることもあります。

●フルデジタル1ビットアンプ
シャープ独自の1ビットアンプは音声信号を直接1ビットのデジタル信号に変換し、そのまま高品質の電力増幅を行うアンプです。
これをフルデジタル化することによりさらに高効率・高性能アンプとして進化させました。
この「フルデジタル1ビットアンプ」は、デジタル放送などの音声信号を、アナログ処理することなく直接1ビット変換することにより、効率の良い増幅を行います。
1秒間に12,288,000回(12.288MHｚ…CDの約278倍)という超高速サンプリングから得られる高い分解能によって、「音の立ち上がりの速さ」や「音のつながりの滑らかさ」に卓越した再現能力をもつと同時に、「伝送経路においてノイズの影響を受けない」というフルデジタル化の特長と融合して高精細で原音に忠実な音の再生を実現しています。

●ブロードバンド回線
一度に大量のデータをやりとりすることができるインターネットに接続するための回線のことです。
光回線、CATV回線、ADSL回線などがあります。

●プログレッシブ(順次走査)
飛び越し走査(「インターレース」の項を参照)をしないで、すべての走査線を順番どおりに描く方法です。480pの場合、480本の有効走査線を順番どおりに描きます。インターレース方式に比べ、チラツキのないことが特徴で、文字や静止画を表示するときなどに適しています。「480p」「720p」の「p」はプログレッシブ(progressive)を表します。

次のページに続く

●マルチアングル
BDやDVDビデオディスクの特長の一つで、同じ画像を角度を変えて撮影したものを、一枚のディスクに収録し、アングルを変えて再生画像を楽しめる機能です。（マルチアングル記録のディスクで楽しめる機能です。）

●マルチ音声
デジタル放送やBD、DVDビデオディスクの特長の一つで、同じ画像に対して異なる音声をいくつも記録し、音声を切り換えて楽しめる機能です。

●文字コード
コンピューターの内部は、すべて0と1の組み合わせで成り立っています。画面に表示される文字も0と1の組み合わせになります。この0と1の組み合わせをどの文字にするかを取り決めたものが文字コードです。
世界中にはさまざまな文字があり、その文字に合わせて各地域で標準となっている文字コードがあります。このため、インターネットのページを作成するために使われた文字コードとブラウザの文字コードが異なる場合もあり、この場合、文字が正しく表示されなくなることがあります。

●予約の書き込み機能
BD-REに予約情報を書き込み、予約情報の書き込まれたディスクを挿入するだけで予約録画が行える機能です。

●リージョンコード（再生可能地域番号）
BDビデオやDVDビデオは、各国に合わせて再生できるソフトが決められています。その再生できるディスクのコードをリージョンコードといいます。
本機では、BDビデオはリージョンコード「A」、DVDビデオはリージョンコード「2」または「ALL」のソフトが再生できます。

●リニアPCM音声
BD･DVD･音楽用CDに用いられている、非圧縮の信号記録方式です。

●リンク
インターネットのページ上にあって、他のページなどを表示するための入り口のことです。
一般的には、青い文字や青い枠で表示されたり、下線がついていたりします。

索引

本体およびリモコンの「各部のなまえ」については、
▶ 25 ～ 28 ページをご覧ください。

●英数字・記号

●あ行

●か行

次のページに続く

●さ行

●た行

●な行

●は行

●ま行

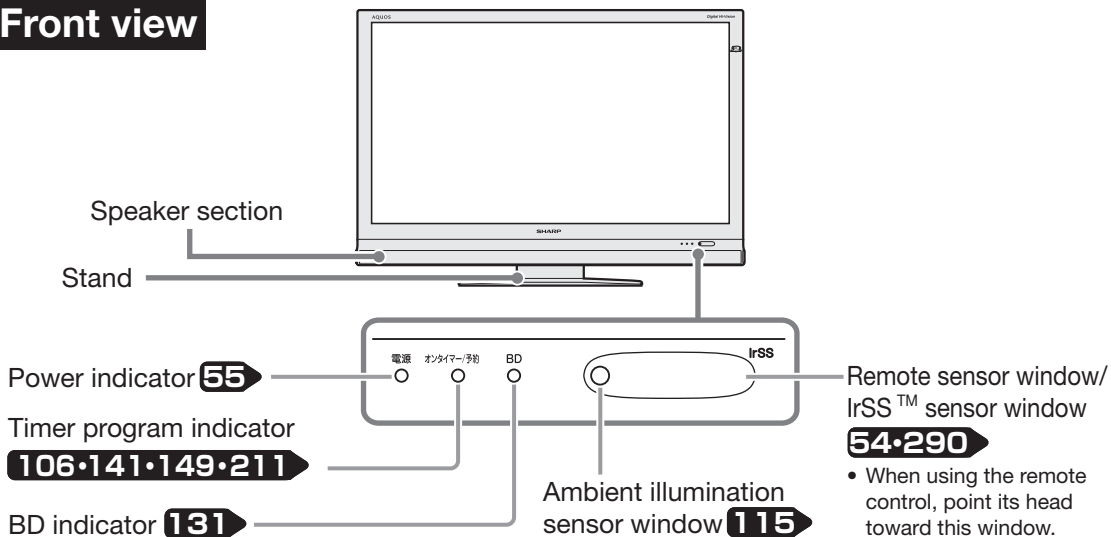
●や行

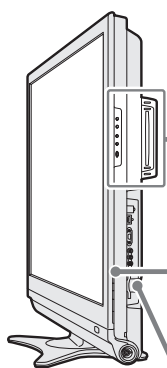
●ら行

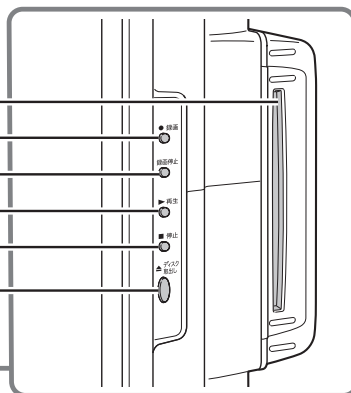
●わ行

Part Names - Main Unit English Guide

- The number shown in each ▶ is the page number where the part's function and/or use are explained in Japanese.

Front view

Adjusting the LCD panel angle
- The LCD panel can be rotated horizontally up to 20° clockwise and counter-clockwise.
- Hold the stand firmly when you adjust the monitor's angle.

Right side view

Control panel

- Disc slot 131
- BD REC 138
- BD REC STOP 138
- Disc PLAY 157
- Disc STOP 157
- Disc EJECT 132

- Main power switch 55
- Home Menu 32
- Input / TV select (Enter) button 189
- Channel up (︿) /down (﹀) buttons
- Volume up (+) /down (–) buttons

B-CAS Card

B-CAS card slot 43

The illustrations below are those of LC-52DX2.
LC-46DX2/LC-40DX2 has the same layout of jacks and terminals as LC-52DX2.

Connect the telephone line

Telephone line jack 231•241

Connect a Blu-ray Disc player, AV amplifier, etc.

AV in 1 and 2 (HDMI) 50•186•187 193•198•206

AV in 4 (D5) 50•186•193

AV in 6 186•193

RS-232C 223

AV in 7 (PC) 199

PC input (audio) 198•199•204

LAN jack (10BASE-T/100BASE-TX) 241

Connect a recorder

AV in 6 /Monitor out (REC OUT) 186•193•196

BS·CS 110 antenna input terminal 47~49

Digital audio output jack (optical) 195

VHF·UHF antenna input terminal 46~49

Connect the AC cord

AC cord connector (AC 100V) 43

The provided power connector may have different shape from that shown in the drawing.

AV in 3 (HDMI) 50•186•187•193•198•206

AV in 5 (D5) 186•193

Connect a video game equipment, video camera, etc.

Headphones jack

Part Names - Remote Control Unit

See Page 85 for how to select a program.

Active/Standby 55
Press to engage the TV set in the active or standby mode.

Channel select 86
- Press to select a channel.
- Use to input a number for various settings.

Terrestrial analog/Terrestrial Digital/BS/CS 85
Select the CS digital channel for the first time. 60

Linked data broadcast 90•105•169

Mute 86
Press to temporarily turn off the sound. Press again to return the sound volume to the previous level.

Volume up (+)/down (–) 86
Press to adjust the volume.

EPG 92•94•140•211
Press to display or turn off the Electronic Program Guide (EPG: 番組表) when receiving a digital broadcast.
Select a future program in EPG to set a timer program.

Finish 32
Press to finish menu operation, etc.
* This button can be conveniently used when you are at a loss during menu or EPG operation, etc.

List the programs recorded on a BD 157
Display the Top Menu of the disc 161

Display 87
Press to display or turn off the channel call, etc.

Play back programs recorded on a disc 156
Fast forward, rewind, etc. during playback 166～168

View the Internet or IPTV 247 • 267

Input select 189

Channel up (∧)/down (∨) 86
Press to select channels in the current network, media and CATV channels in the ascending or descending order.
* CATV channels are factory set to be skipped.

Display the “Home” Menu 32
Press to start some useful operations of the TV.

Cursor (up, down, left, right) 32
Enter/Confirm 32

Return 32

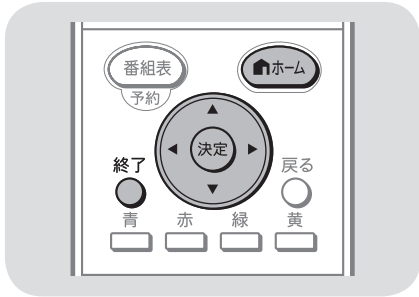
Color 94～95 • 105
Use to operate EPGs and data program screens.

Display the Tool Menu 30

REC 138
REC STOP 138

電源
1 あ .・/ 2 か ABC 3 さ DEF
4 た GHI 5 な JKL 6 は MNO
7 ま PQRS 8 や TUV 9 ら WXYZ
10 /0 11 わをん 12 全/半
放送切換
地上D BS CS 地上A
データ連動 インターネット
音量 選局
消音 入力切換
番組表 予約 ホーム
終了 決定 戻る
青 赤 緑 黄
トップメニュー
画面表示 再生リスト ツール
早戻し 再生 早送り
前 次
一時停止
10秒戻し 30秒送り
停止
●録画 録画停止

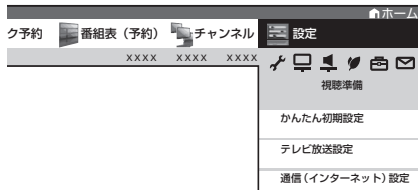
Switching the Display Language to English
ホームメニューなどの言語を英語にする

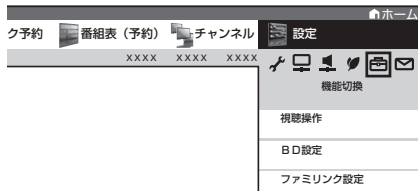
- Using the Home menu screen, you can switch the on-screen display language to English.
  ホームメニューなどの画面表示を英語にすることができます。

誤ってホームメニューを英語にしてしまったときは

- ホームメニューから「Setup」－「🧰 (Change Function)」 －「Menu Design」 －「言語 (Language)」を選んで決定し、「日本語」を選んで決定すると日本語になります。

1 Select “設定” (Setup) on the Home menu.
ホームメニューから「設定」を選ぶ

Press

and select with

2 Select “🧰(機能切換)” (Change Function).
🧰（機能切換）を選ぶ

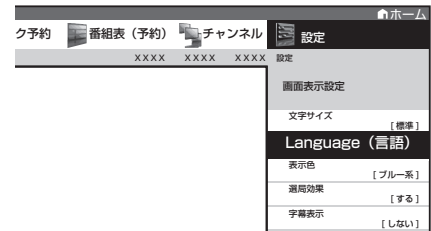
Select with

3 Select “画面表示設定” (Menu Design).
「画面表示設定」を選ぶ

Select with

Press

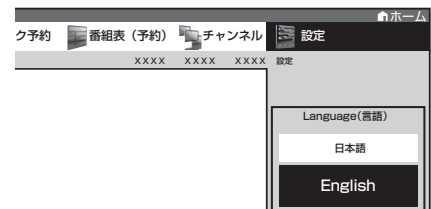
4 Select “Language（言語)”.
「Language（言語)」を選ぶ

Select with

Press

5 Select “English”.
「English」を選ぶ
Enter.
決定する

Select with

Press

- The menu screen is now displayed in English.
- 画面表示が英語になります。

6 Finish this operation.
終了する

Press

エコロジークラスでいきましょう。シャープ。

液晶カラーテレビ LC-52DX2／LC-46DX2／LC-40DX2

この製品は、こんなところがエコロジークラス。

省エネ **「明るさセンサー」を活用**

周囲の明るさに応じて液晶画面の明るさを自動的に調整する「明るさセンサー」機能がついています。この機能を「入」にすると周囲が暗いときには、自動的に画面を暗くするので、省エネになります。

上手に使って、もっともっとエコロジークラス。

◎外出やおやすみのときは電源を切って

リモコンで液晶テレビの電源を切っても、少量の電力を消費しています。こまめに本体の電源を切ることにより、更に効果的な省エネになります。

※ただし、録画予約、衛星ダウンロードを行う場合は、リモコンで電源を切ってください。

■ 廃棄時のご注意

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ(ブラウン管式、液晶式、プラズマ式)を廃棄される場合は、収集･運搬料金、再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

■ よくあるご質問などは
パソコンから検索できます ▶▶▶

パソコン

http://www.sharp.co.jp/support/

シャープ　お問い合わせ　検索

使い方や修理のご相談など

【お客様相談センター】

0120 - 001 - 251

携帯電話･PHSからもご利用いただけます。

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

電話：043 - 331 - 1626	FAX：043 - 297 - 2696
〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2	

受付時間　●月曜～土曜:**9:00～20:00**　●日曜･祝日:**9:00～17:00**　(年末年始を除く)

●電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。
●電話番号･受付時間などについては、変更になることがあります。(2009.7)

シャープ株式会社

本　　　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
AVシステム事業本部　〒329-2193　栃木県矢板市早川町174番地

アメリカ大豆協会認定の大豆油インキを使用しています。
この取扱説明書は再生紙を使用しています。

TINS-E457WJZZ
09P07-CH-OM
Printed in China